





フルカラー版

機動戦士ガンダム

18

# THE ORIGIN

—ララァ編・後—

安彦良和

原案

矢立肇・富野由悠季

メカニックデザイン

大河原邦男





これまでのあらすじ

## オデッサ陥落

そして戦場は再び宇宙へ……

宇宙世紀0079、スペースコロニー群サイド3はジオン公国を名乗り、地球連邦政府に独立戦争を挑んできた。当初劣勢と思われていたジオンだが、新型兵器MS（モビルスーツ）が多大な戦果を挙げ、戦争は膠着状態へと陥っていた。

開戦から八ヶ月ほど過ぎたころ、中立地帯サイド7は突如シャア・アズナブル率いるジオン軍MS部隊の襲撃を受ける。サイド7に住む少年、アムロ・レイは父が極秘に開発していた連邦軍の新型MS“ガンダム”に搭乗し、これを撃破。その戦果によりアムロはガンダムのパイロットとして強襲揚陸艦ホワイトベースに乗り込み、連邦軍本部が位置する南米ジャブローを目指すこととなる。

地球へと降下し、公王末子ガルマ・ザビ配下のジオン北米方面軍、“青い巨星”ランバ・ラルなどジオン軍歴戦の勇者たちとの激闘を経て次第に戦士として成長していくアムロとホワイトベースのクルーたち。そんな彼らがジャブローにたどり着くや息

平穏な街角で

少年は残酷な

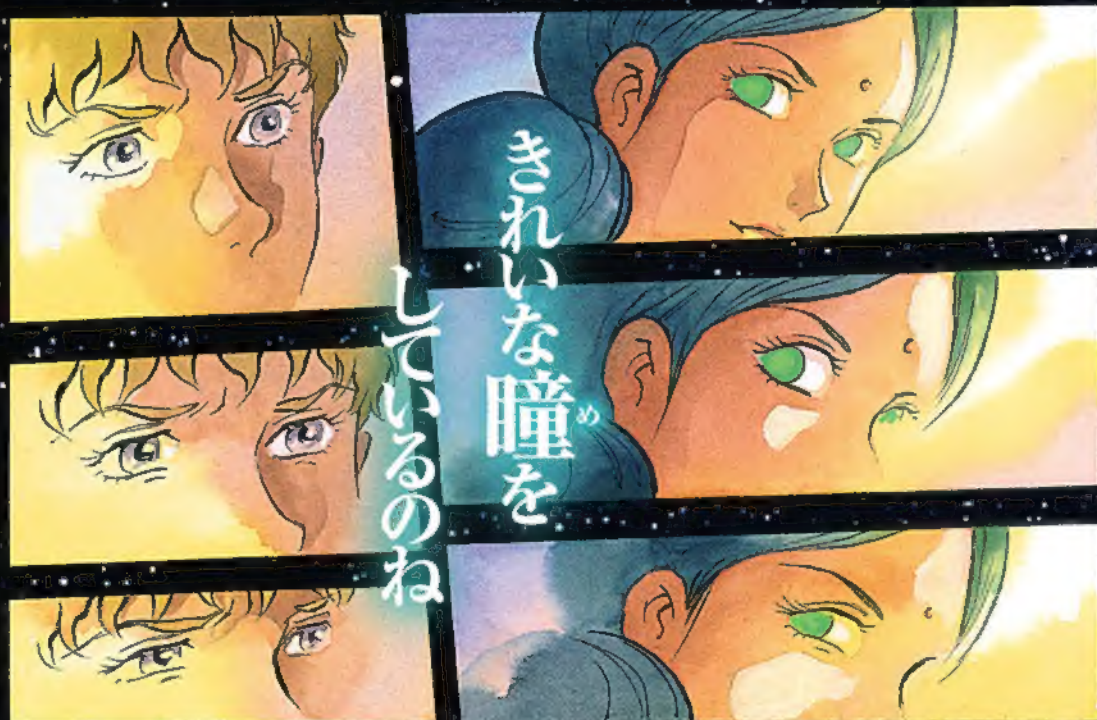
再会を果たす。

→サイド6で買い物の途中、行方不明となった父を見つけた後を追うアムロ。だが父は酸素欠乏症により正気を失っていた。





父と決別したアムロの前に  
現れた不思議な少女ララァ  
二つの孤独な魂が共感する。



つく間もなく、連邦軍本部はシャアに手引きされ  
たジオン南米方面軍の奇襲に見舞われる。

だがレビル將軍の奇策と量産型MSジムの投入  
により、これを撃退した連邦軍は、その勢い冷めぬ  
間にジオン地球侵攻軍の本拠地オデッサをも攻略  
し、一気に地上の覇権を握ることとなる。

かくして主戦場が再び宇宙に移り、陽動部隊と  
しての任が課せられたホワイトベースは補給のた  
め、中立地帯サイド6に寄港する。そこでアムロは  
生き別れた父と再会し、その変わり果てた姿にシ  
ョックを受ける中、不思議な少女ララァ・スンと出  
会い、さらに宿敵シャアとの対面を果たした。

その直後、親ジオン派のラング政権よりサイド  
6からの出港を強いられたホワイトベースと、待ち  
構えていたジオン軍コンスコン部隊との戦闘が始  
まるが、アムロの驚異的な活躍によってコンスコン  
部隊は壊滅。そしてテレビ中継でその戦いぶりを  
観たシャアは、アムロからニュータイプとしての覚  
醒を感じていた……。

アムロ、シャア、そしてララァ  
彼らの出会いによって  
運命は大きく変っていく。



◆コンスコン少将率いるジ  
オン軍の包囲網の中、アム  
ロは圧倒的な戦闘力を発揮し、  
次々と敵機を打ち破っていく。





# 機動戦士ガンダム THE ORIGIN<sup>18</sup> —ララァ編・後—

## C O N T E N T S

SECTION VI ————— 005

SECTION VII ————— 045

SECTION VIII ————— 081

SECTION IX ————— 117

SECTION X ————— 153

SECTION XI — 193



—ララァ編・後—

SECTION  
VI





かなり荒れています

でも  
聞かされて  
いたほどでは

ミラーの角度調整機構が  
破壊されているようです

内部はおそらく  
常時薄暮状態  
でしょう

メインの港は  
機能して  
いません

外壁に目立った損傷は  
ありません

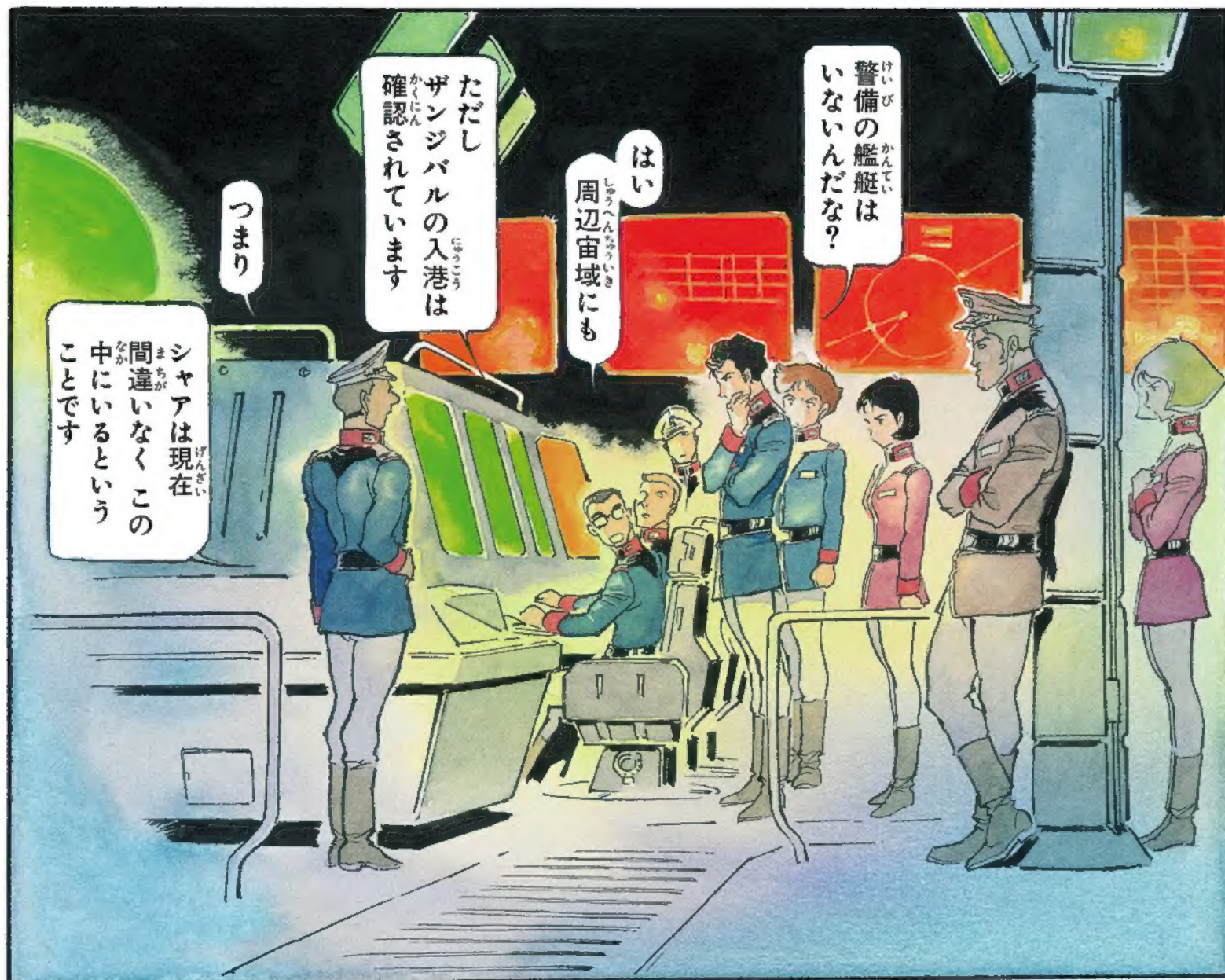
大気の流出も  
ないようです

ただ

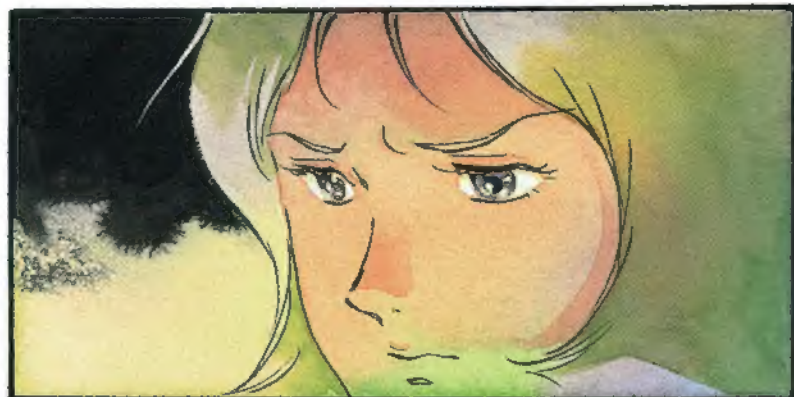
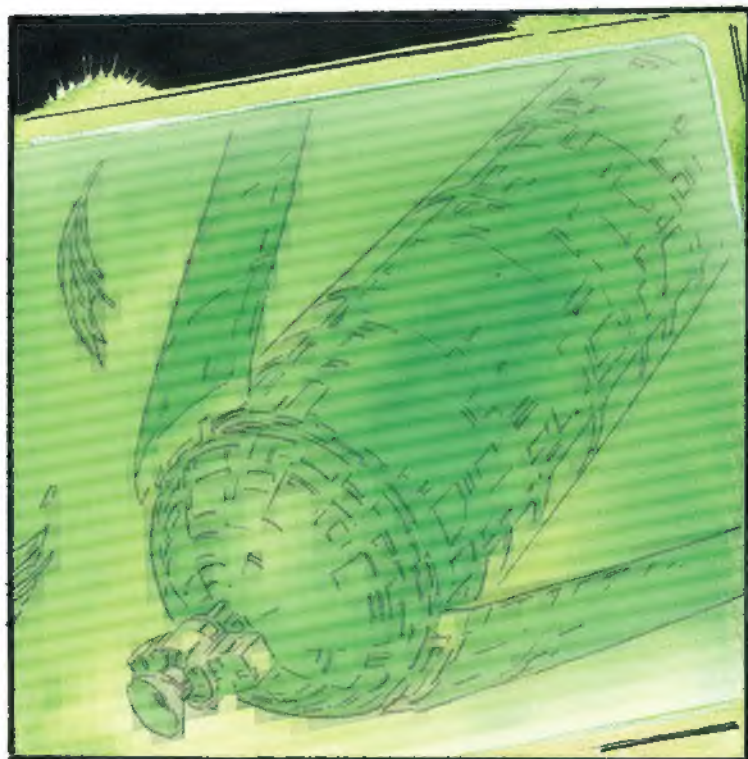
侵入はこの  
ミラー側宇宙港から  
のみ可能です

ふううむ  
……

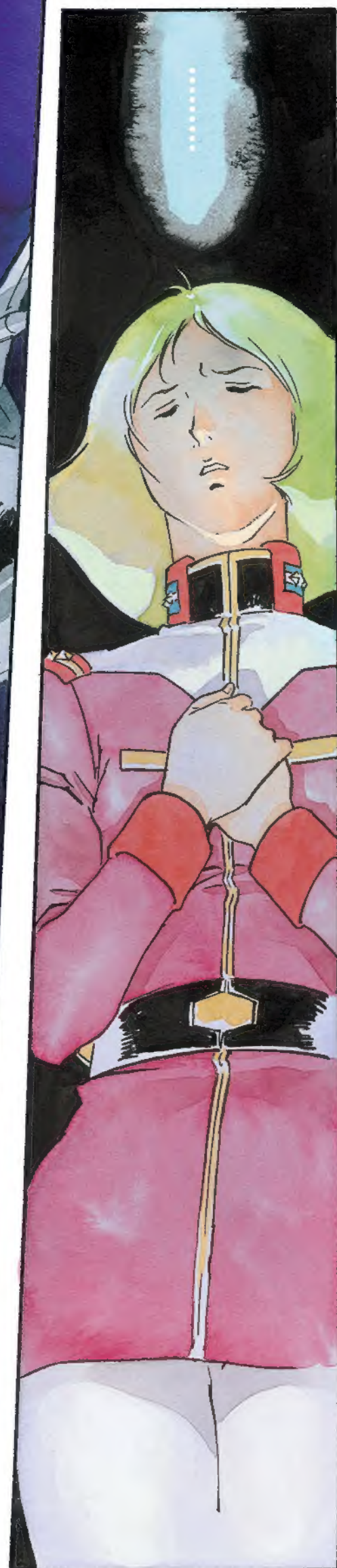
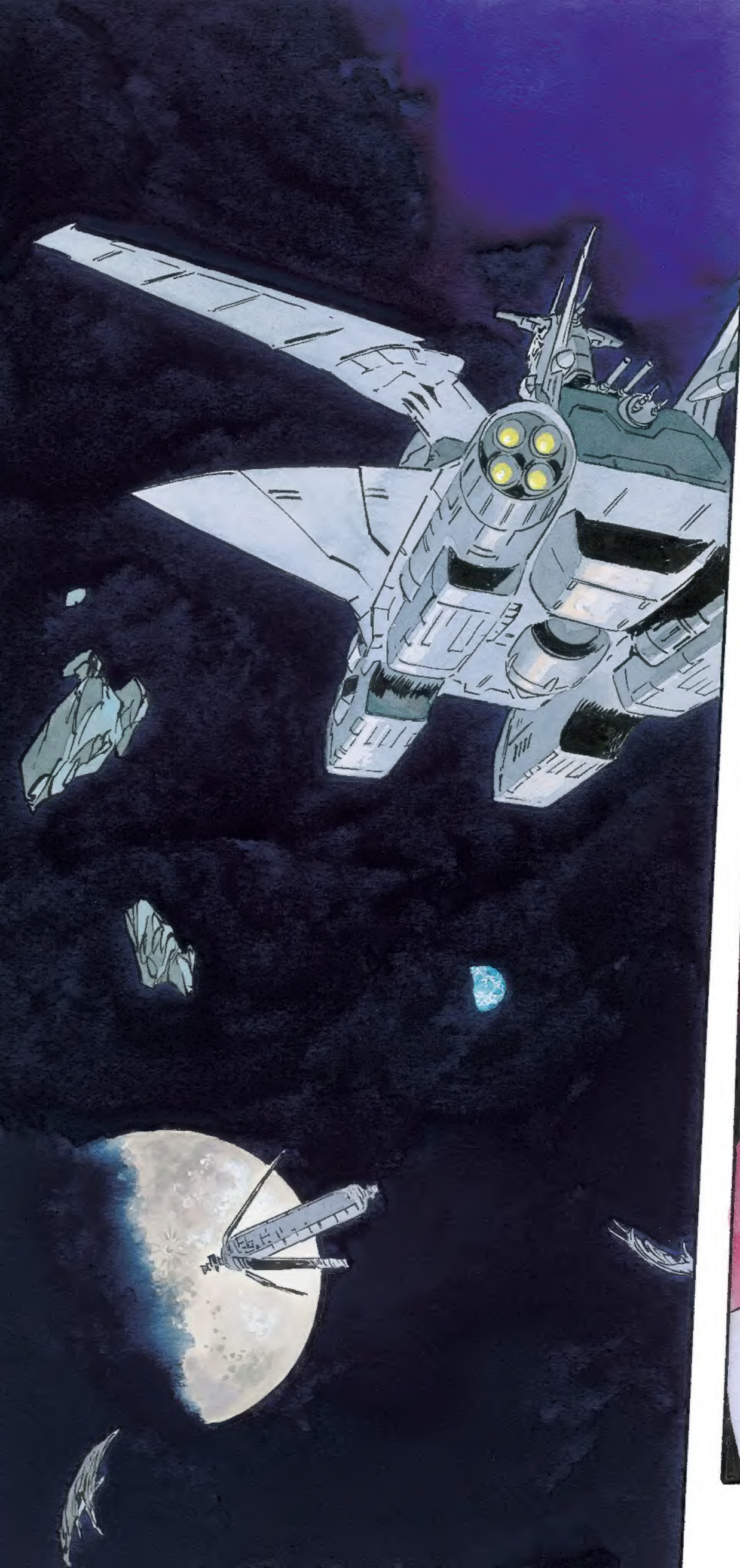




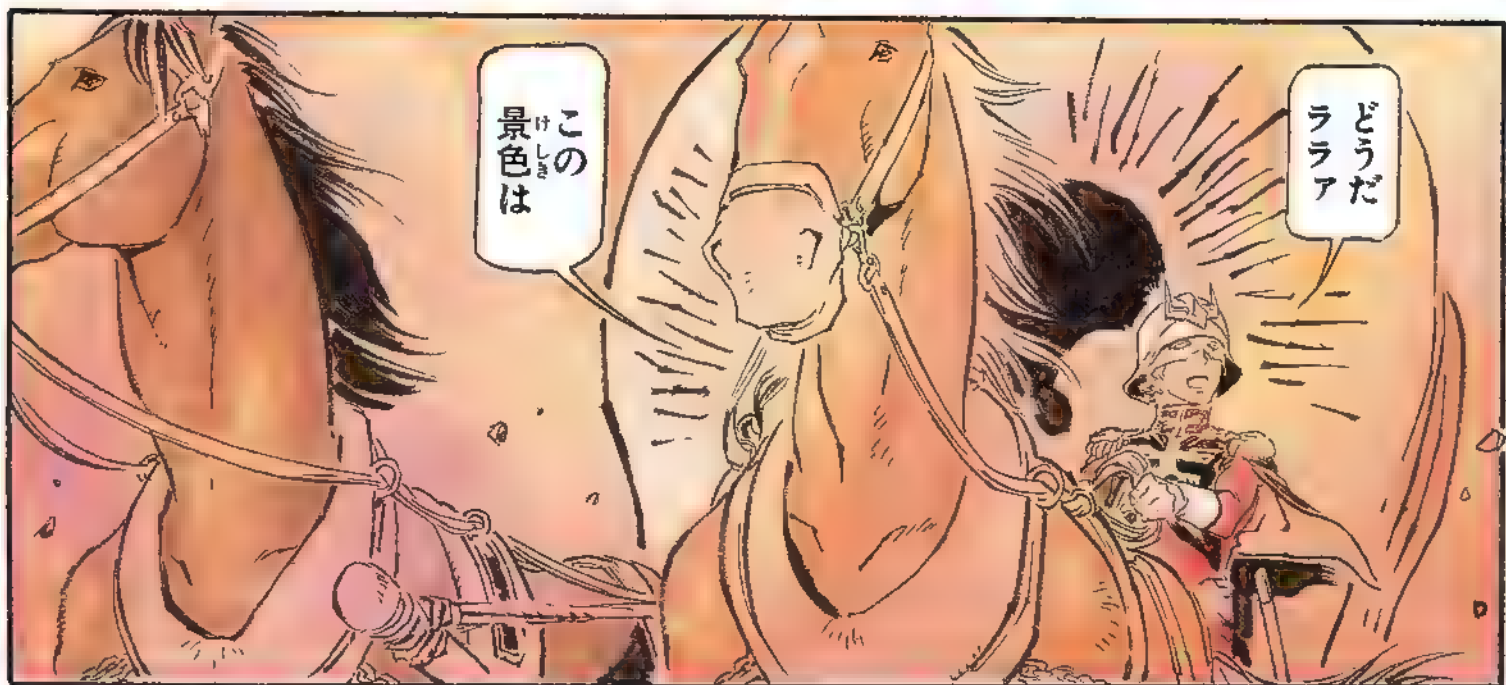
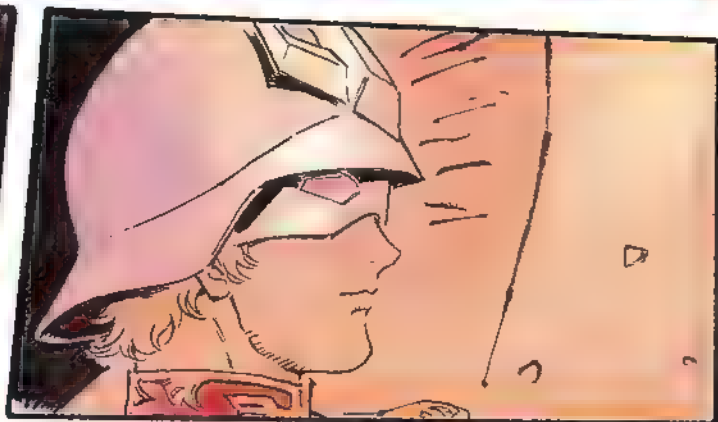
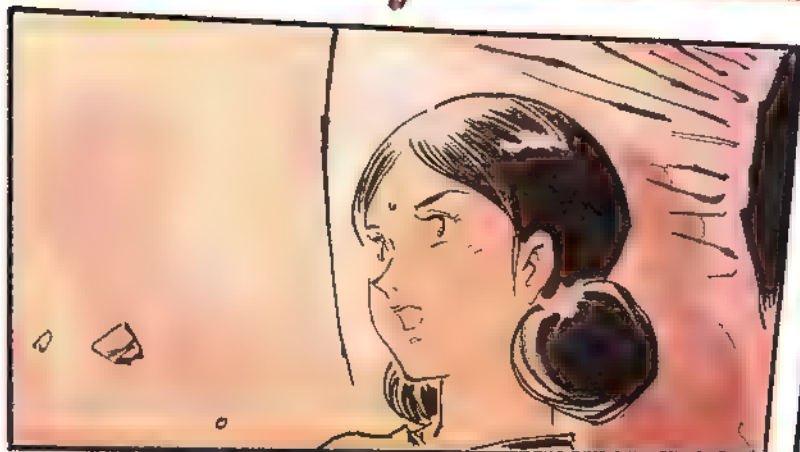
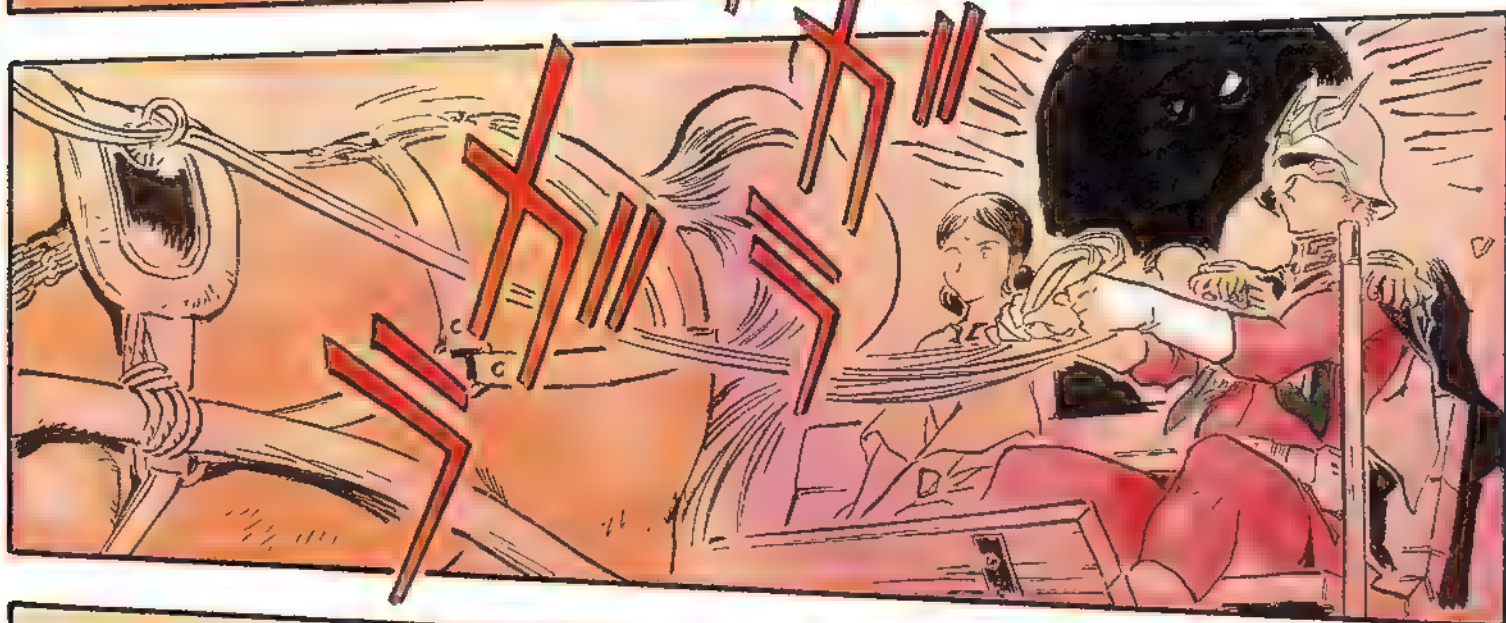
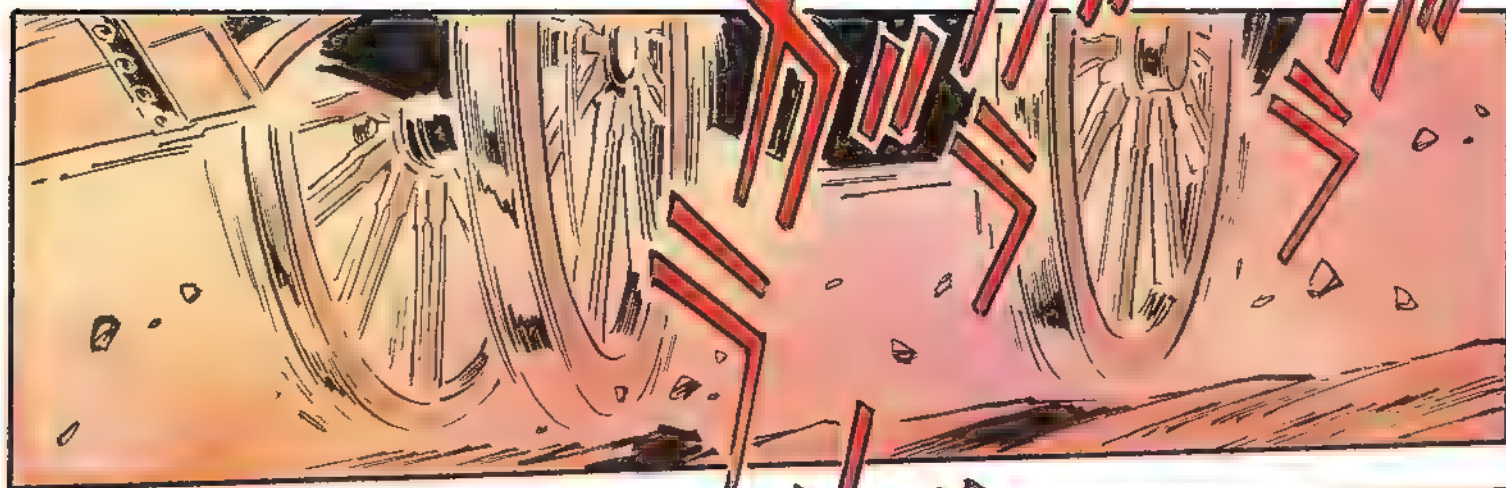














ここはテキサス  
コロニーといって

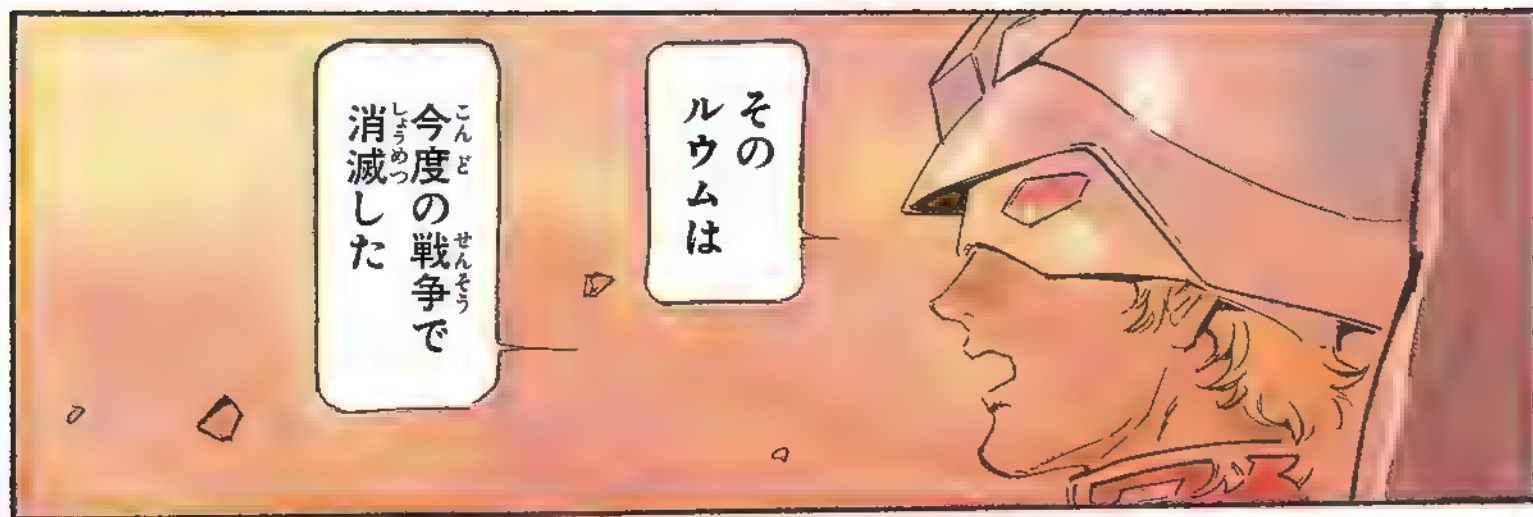
サイド5—ルウムが  
潤沢な資金に  
任せて作った  
テーマパークだった

宇宙移民を  
旧世紀の北アメリカ  
移民になぞらえて

開拓者精神を  
涵養するという  
ふれこみだったが

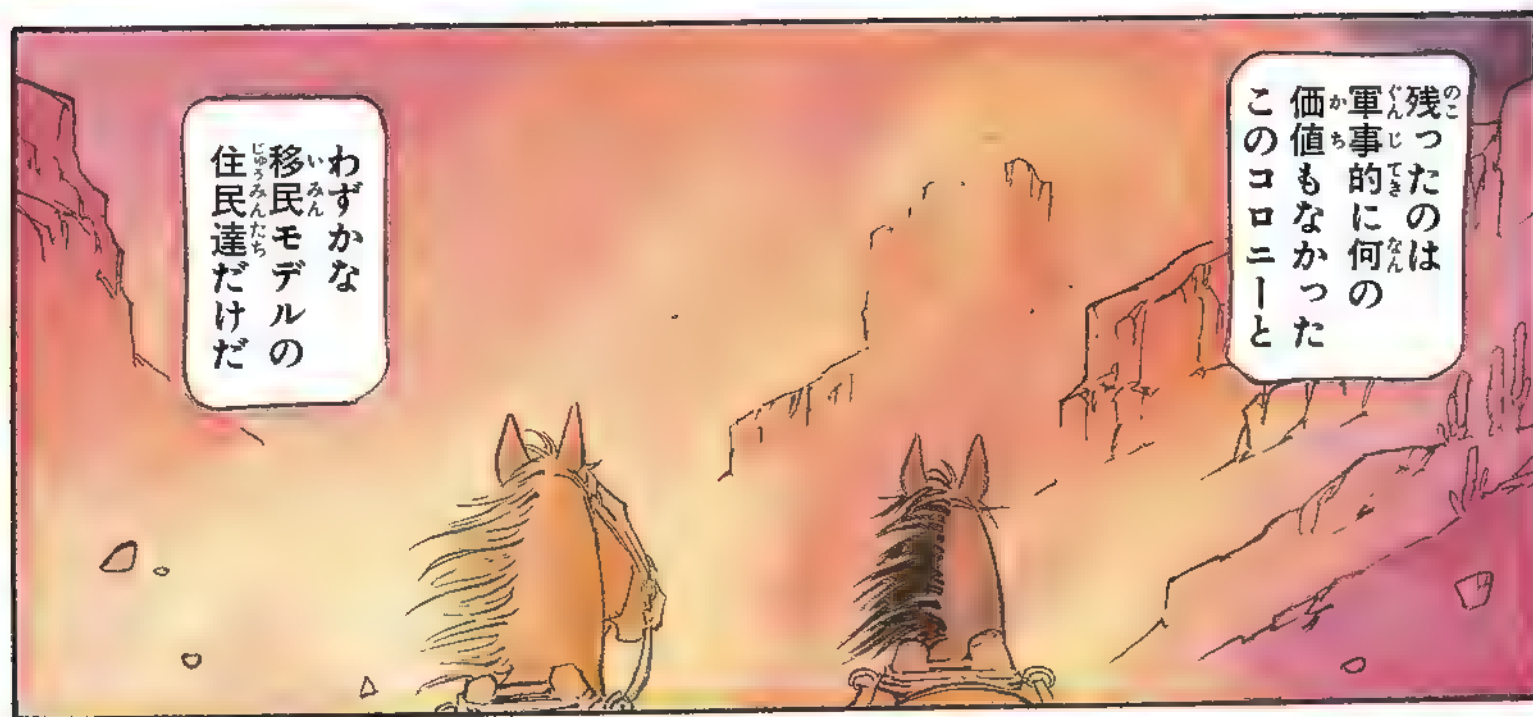






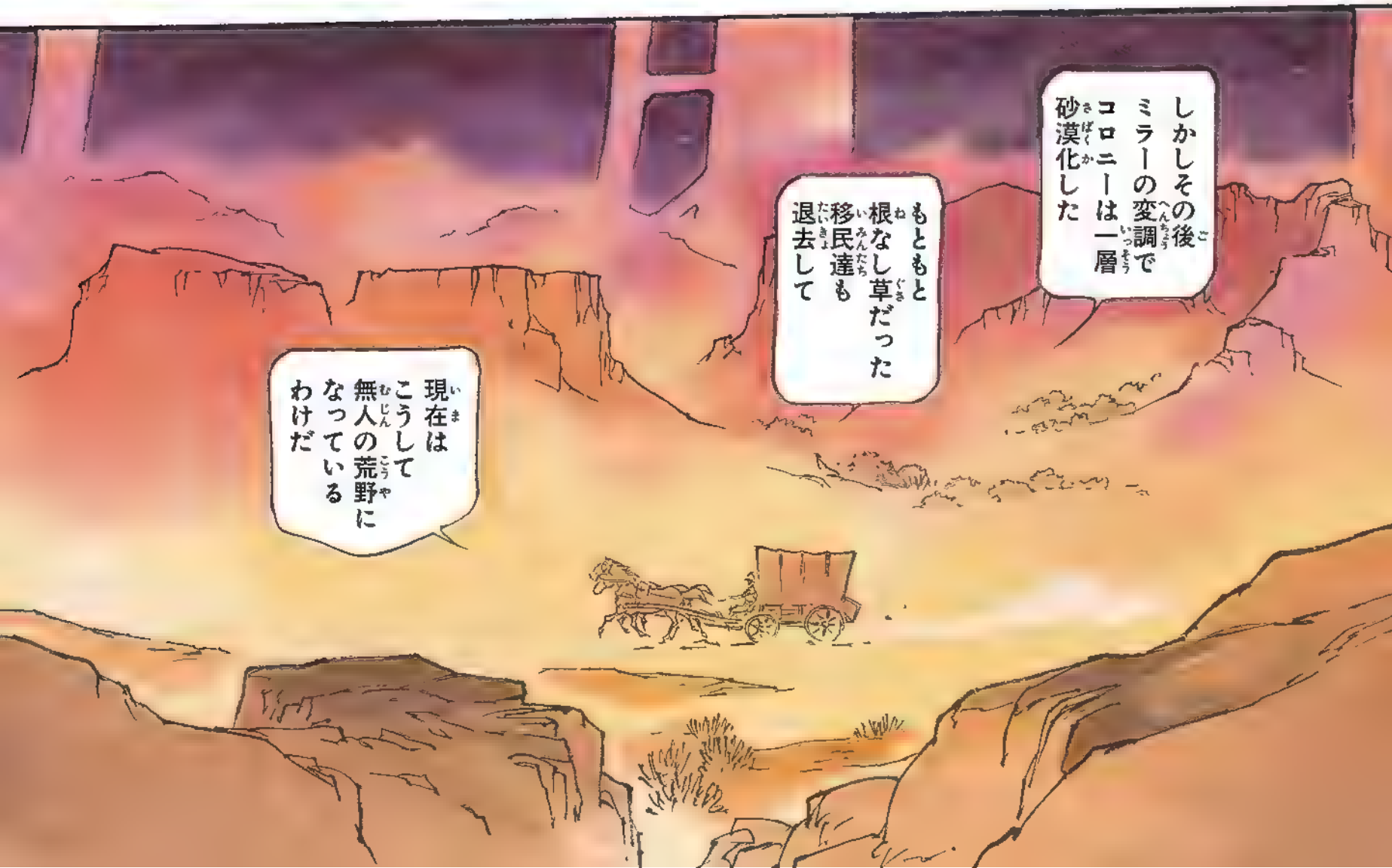
その  
ルウムは

こんど  
今度の戦争で  
消滅した



残ったのは  
軍事的に何の  
価値もなかった  
このコロニーと

わずかな  
移民モデルの  
住民達だけだ

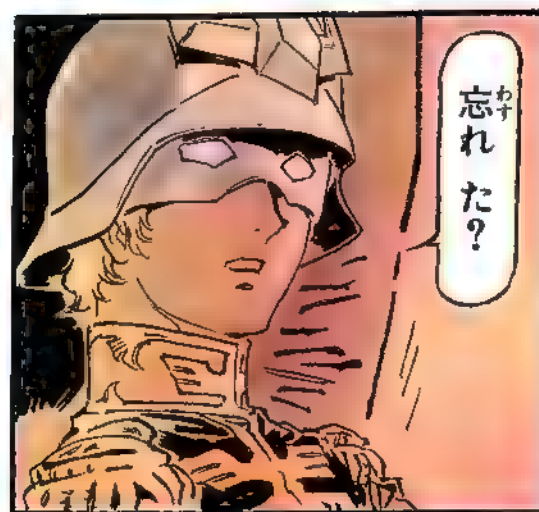
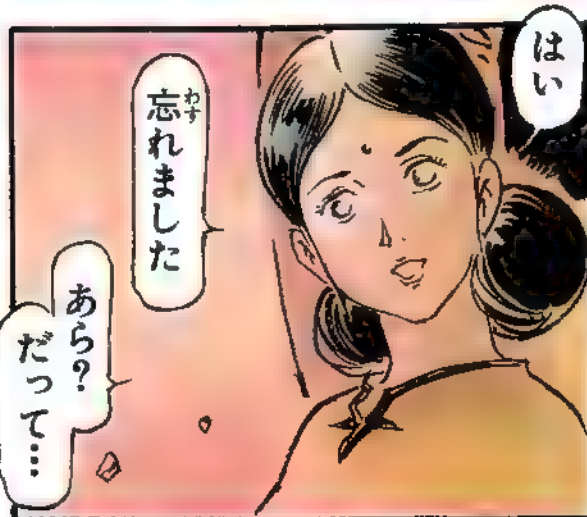
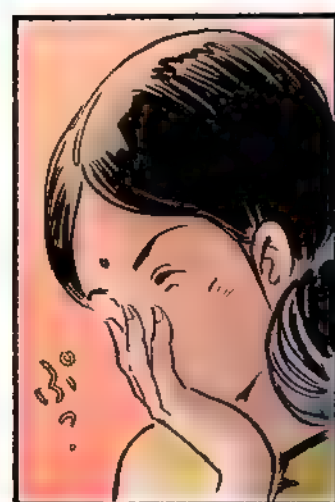
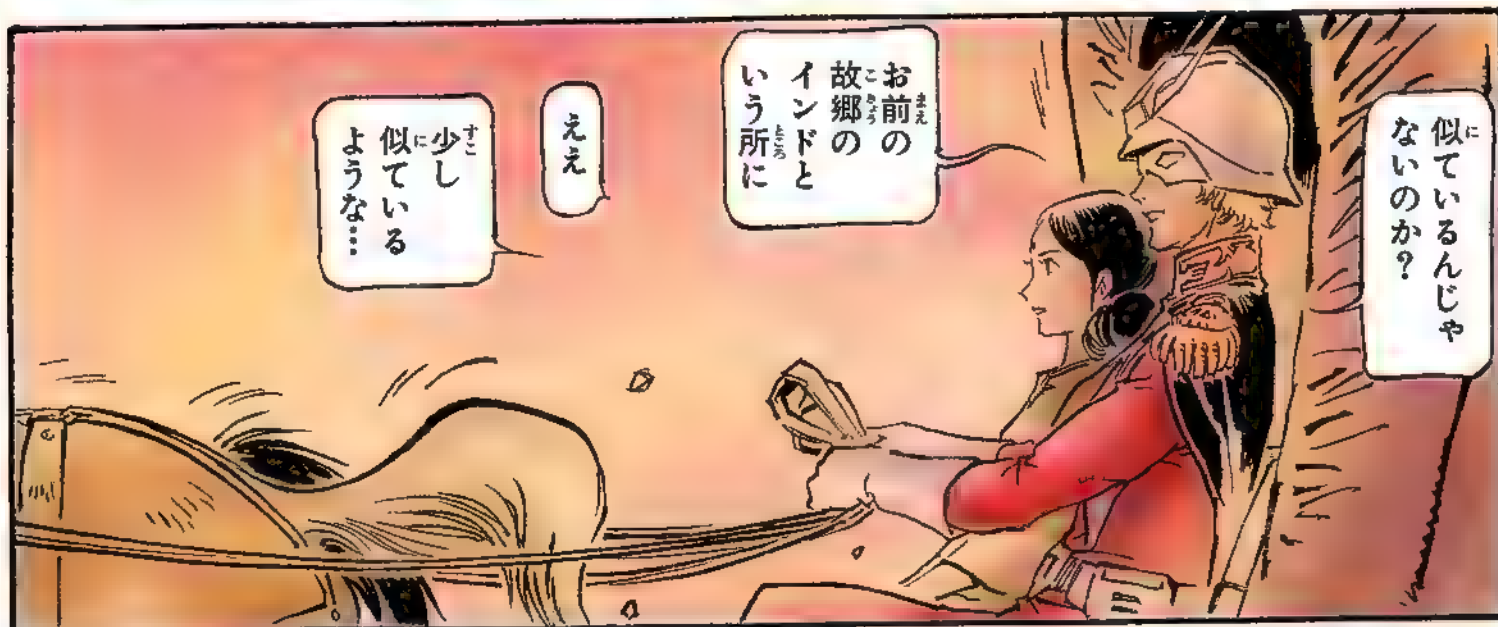
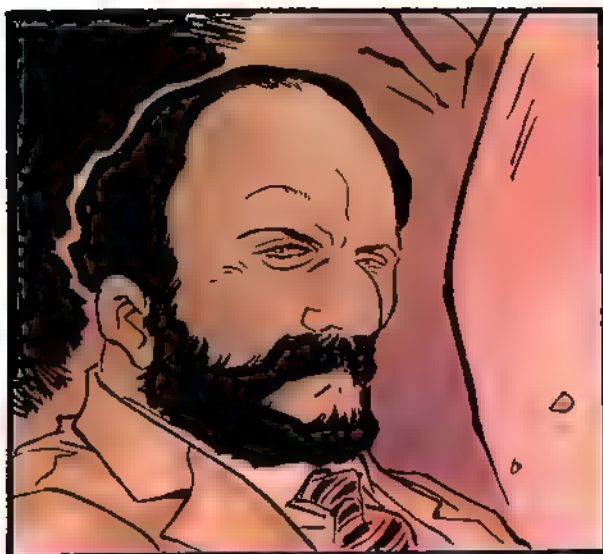


しかしその後  
ミラーの変調で  
コロニーは一層  
砂漠化した

もともと  
根なし草だった  
移民達も  
退去して

現在は  
こうして  
無人の荒野に  
なっている  
わけだ







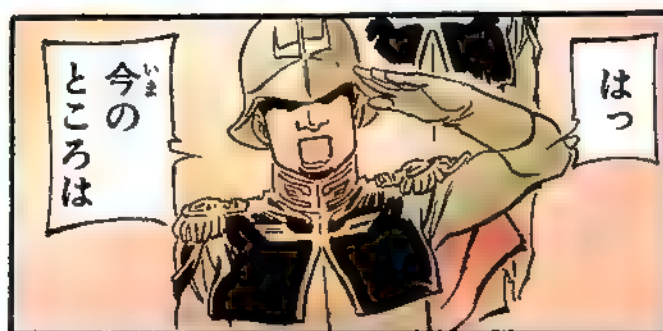
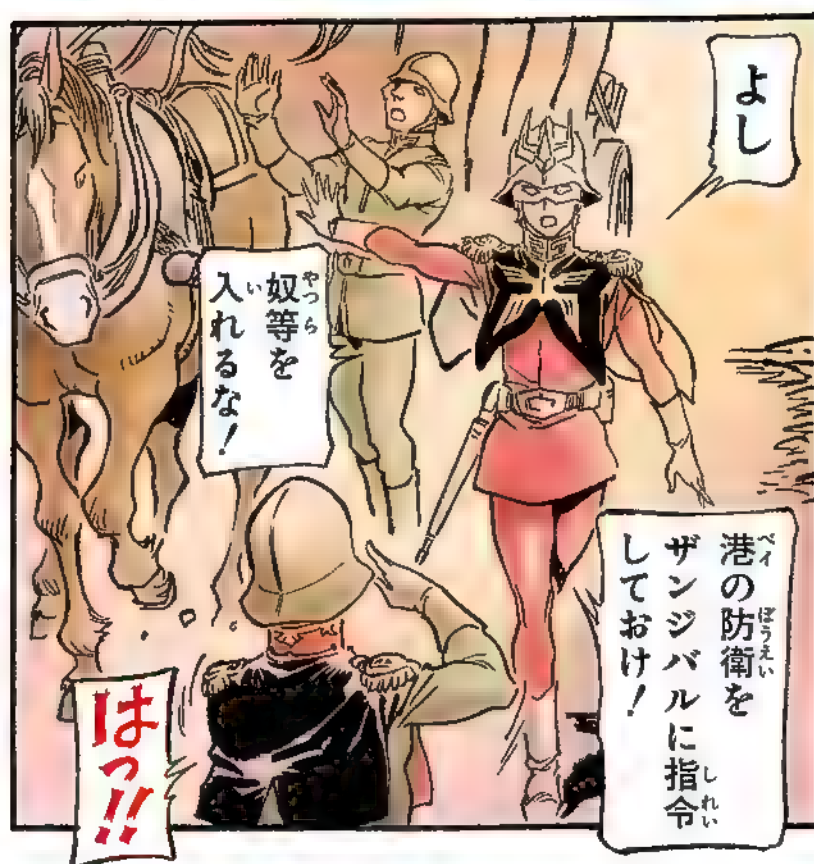
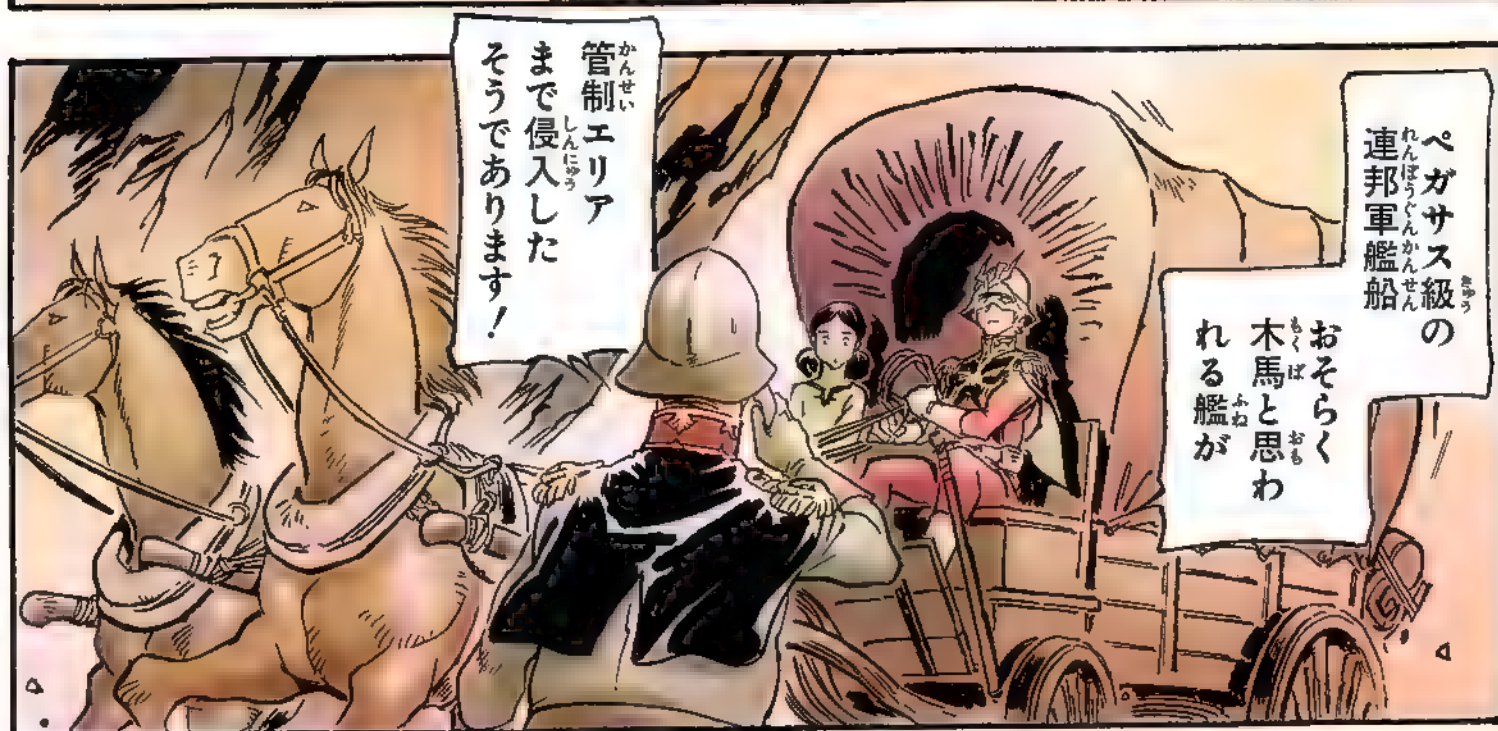
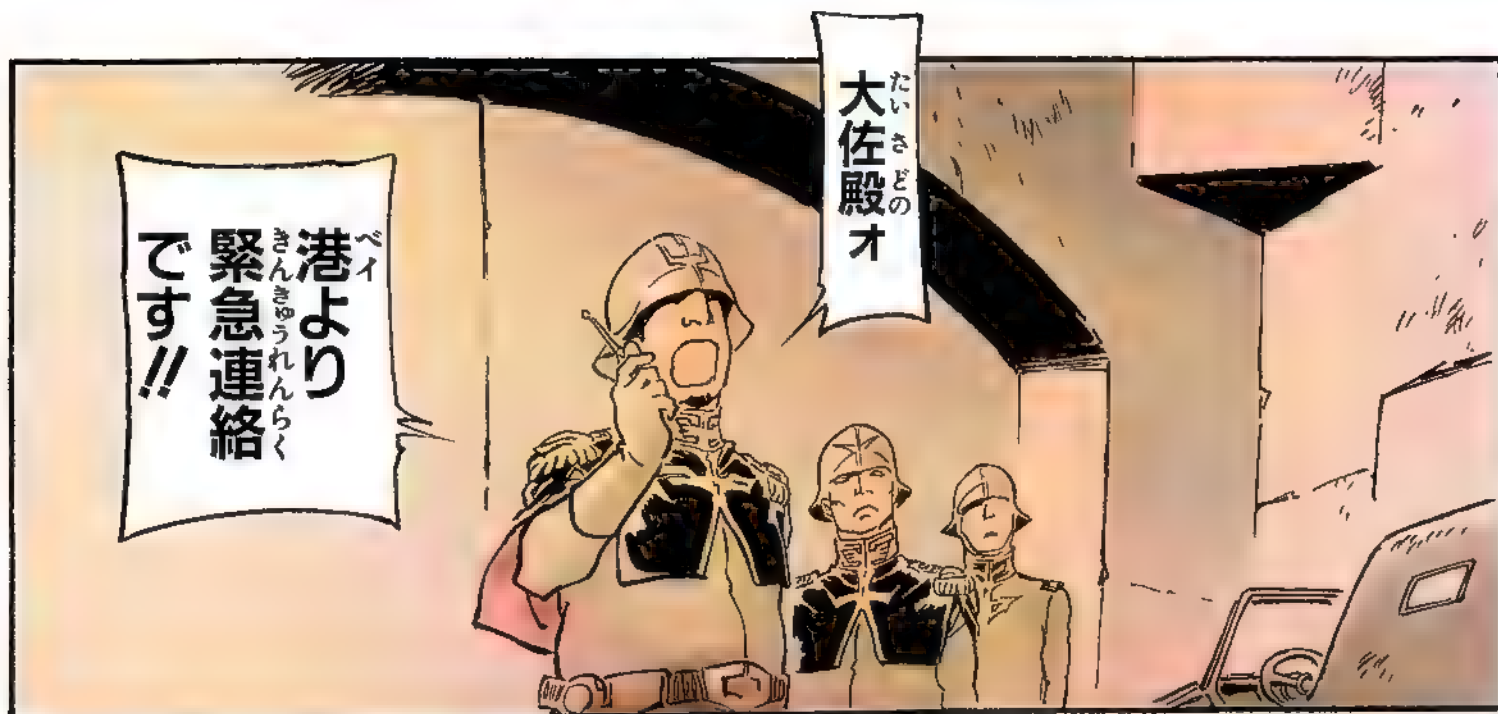
大佐<sup>たいさ</sup>が

忘れ<sup>わす</sup>  
させて

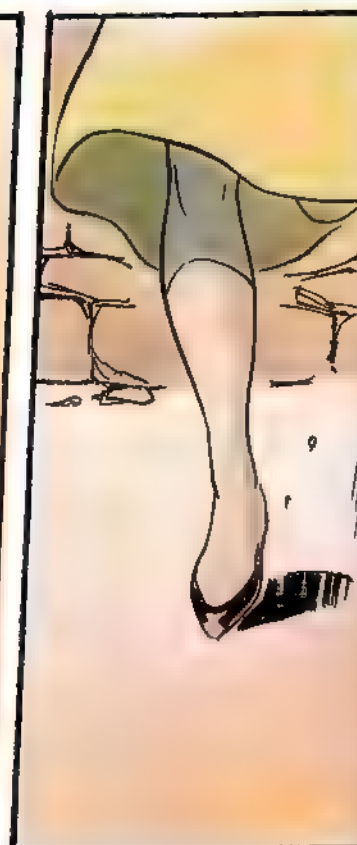
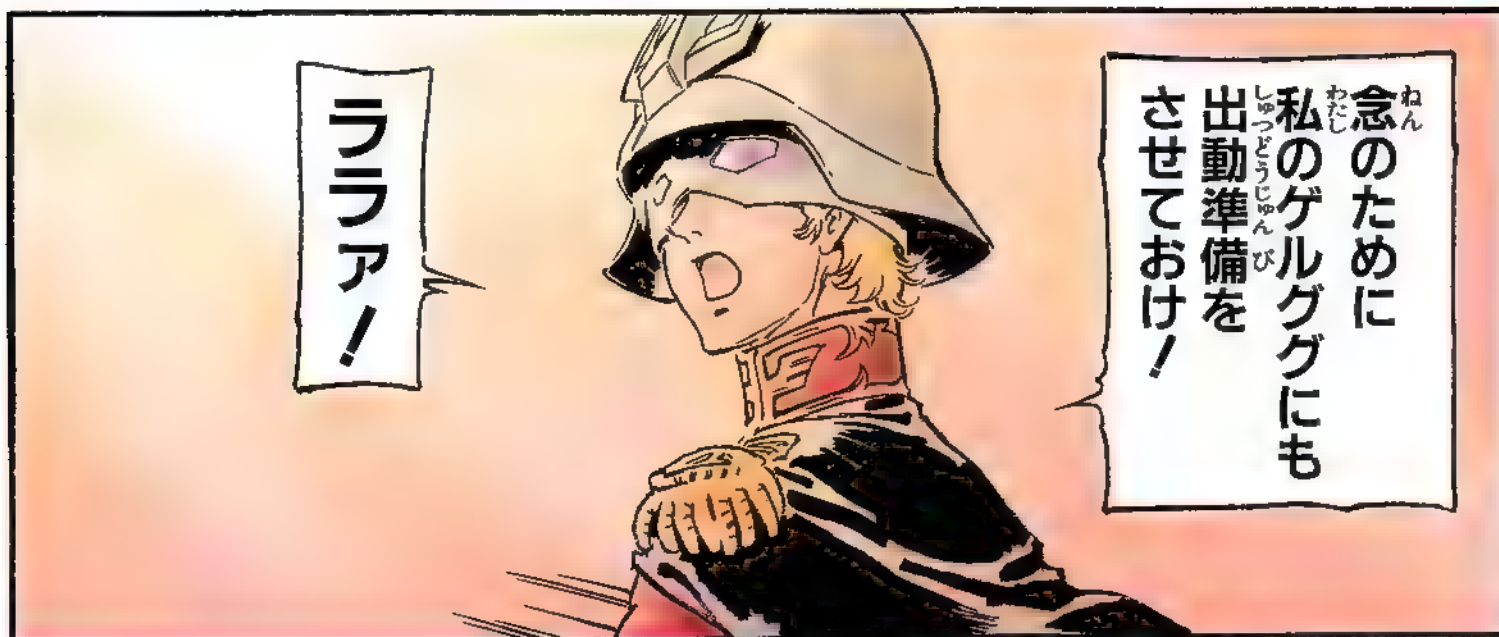
くださったん  
でしよう？



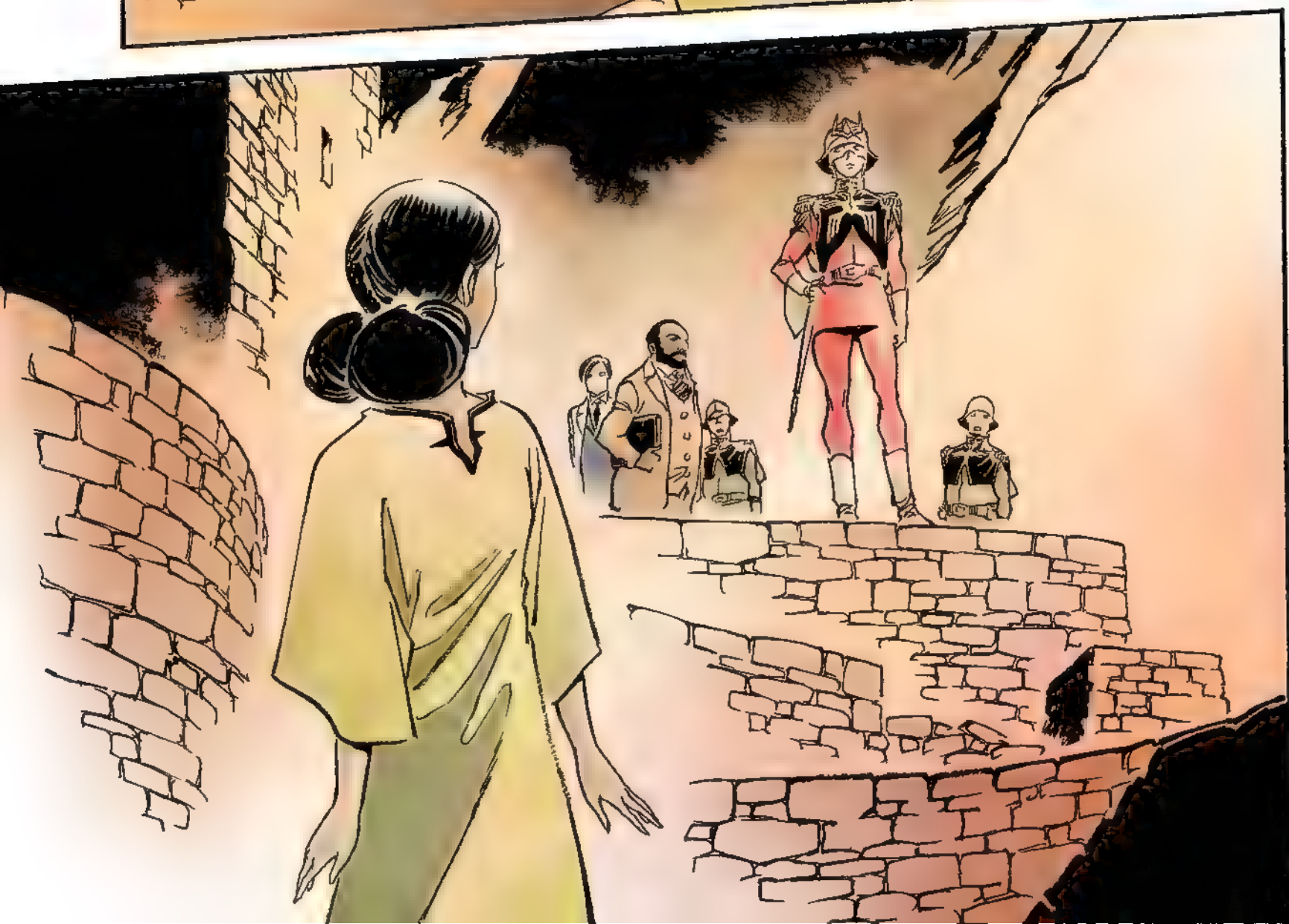
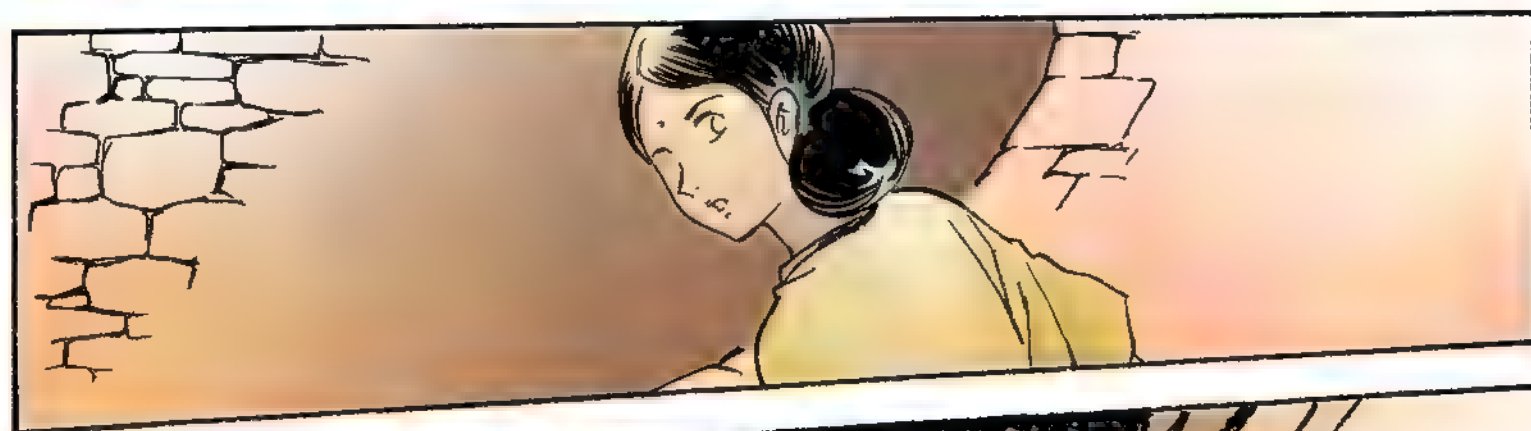




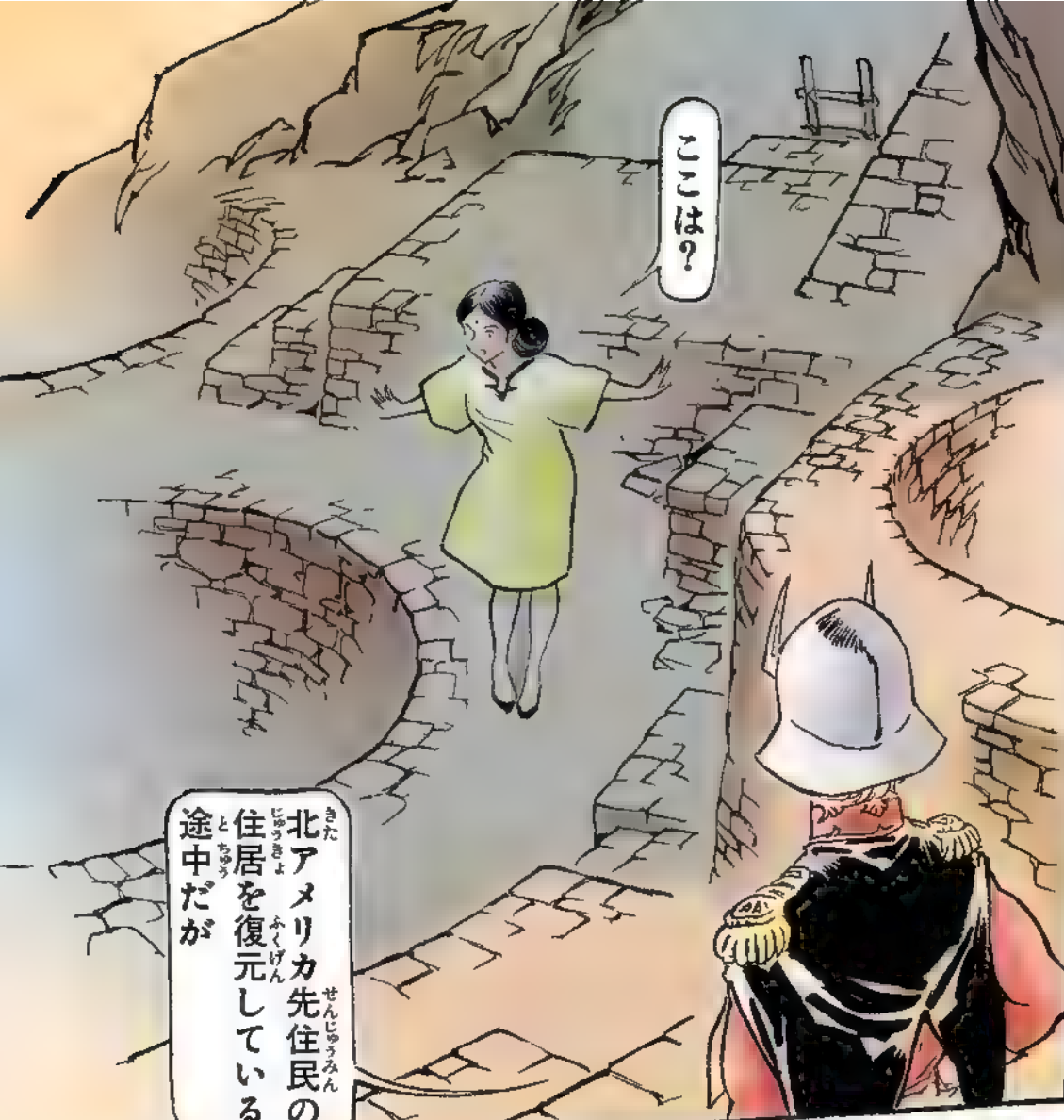




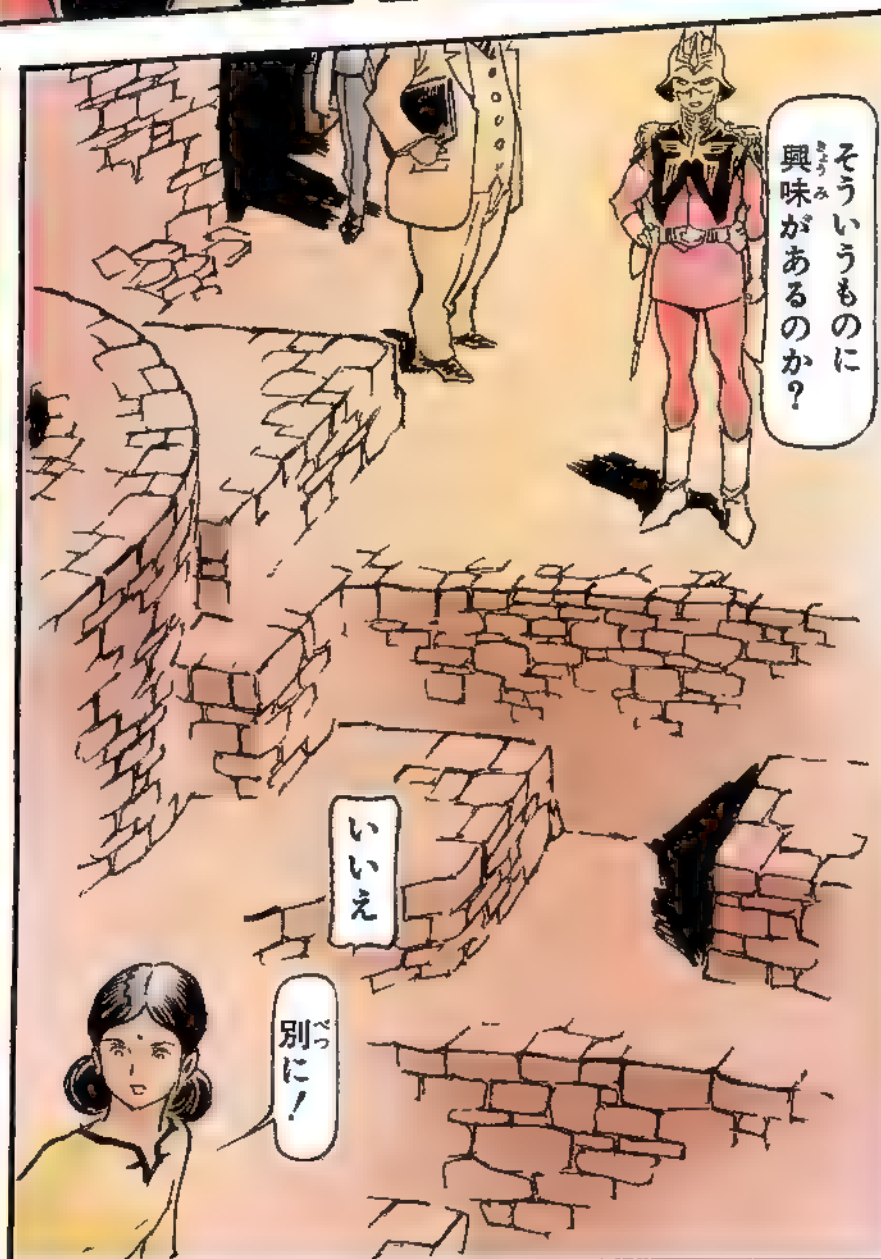
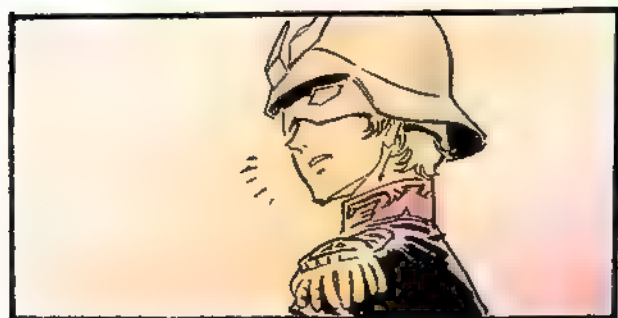
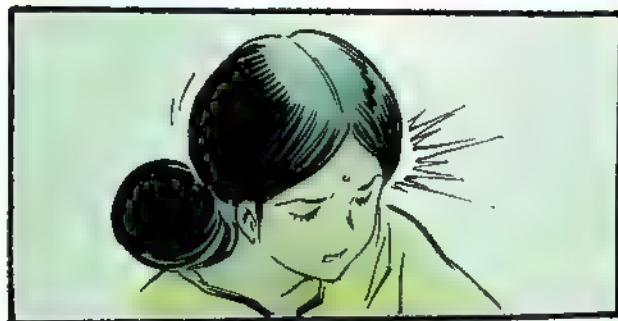
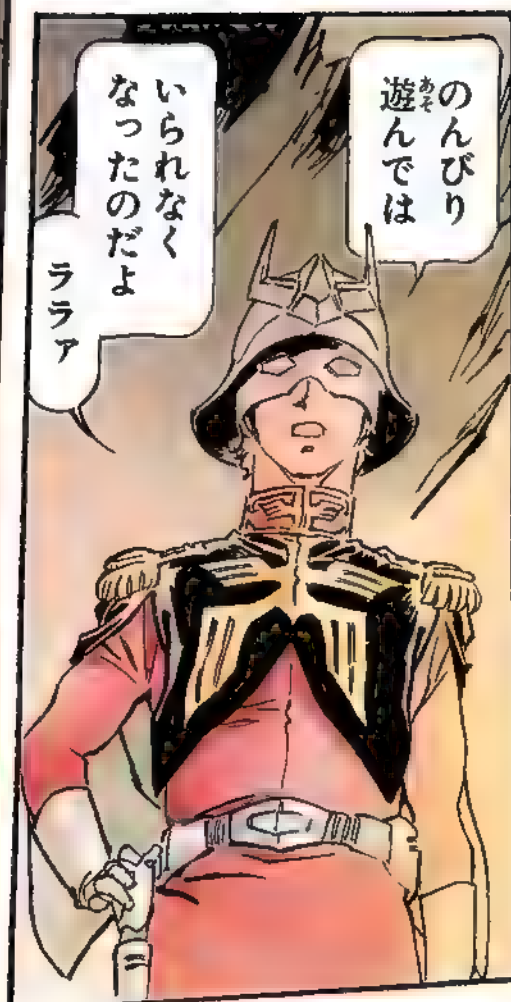




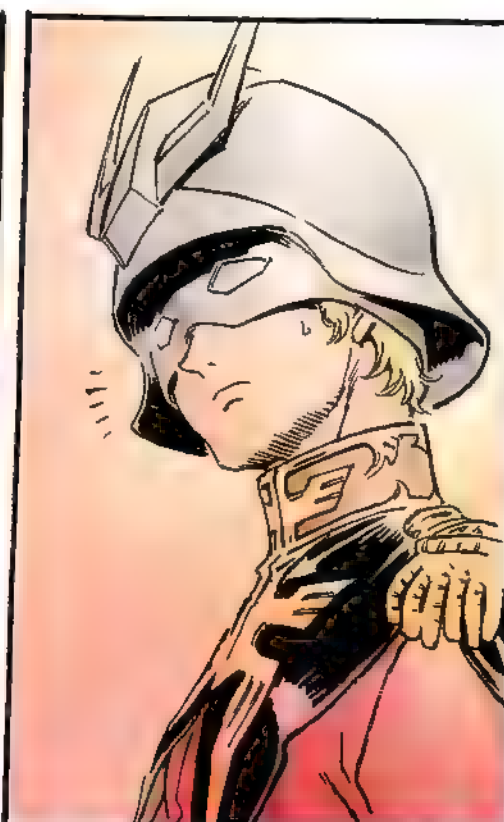
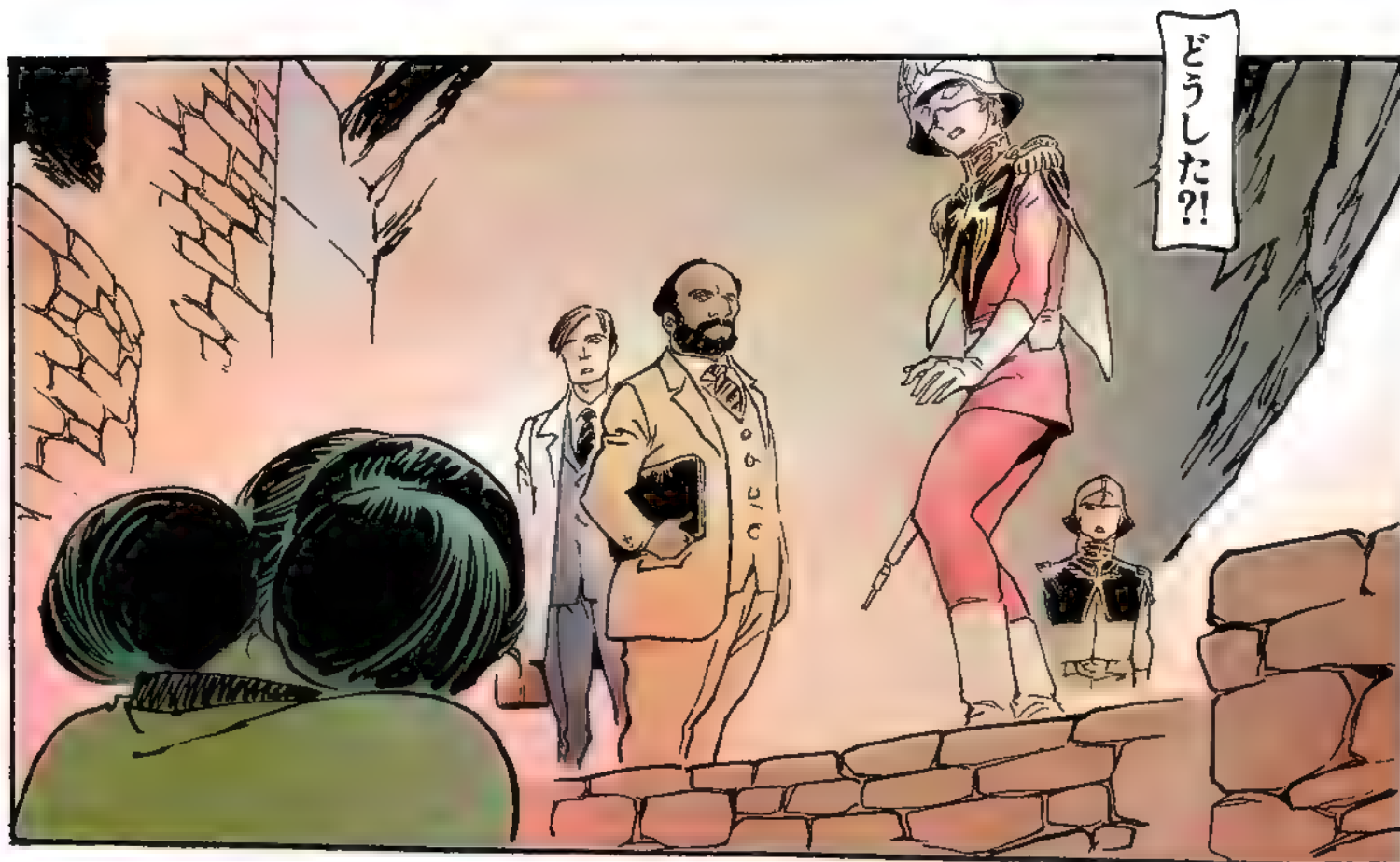




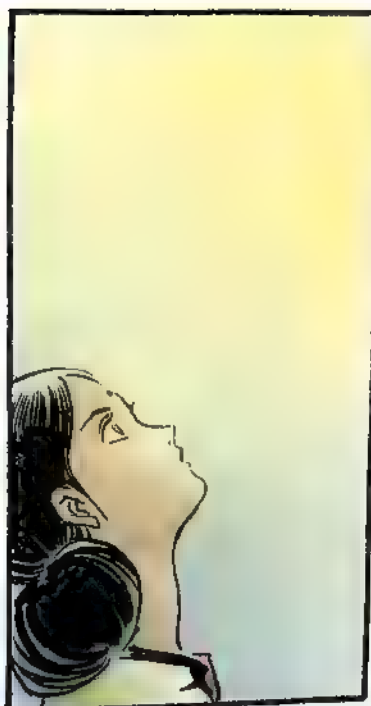
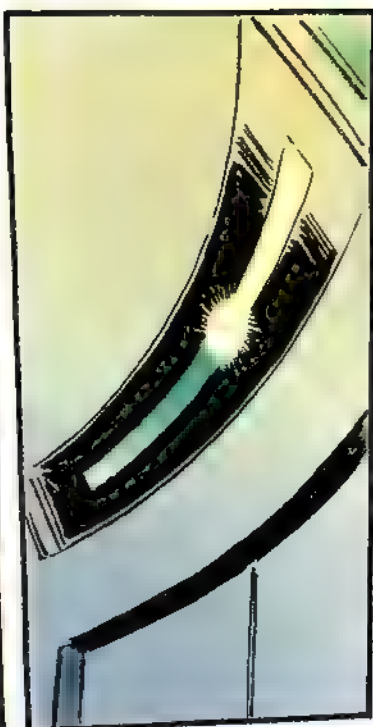
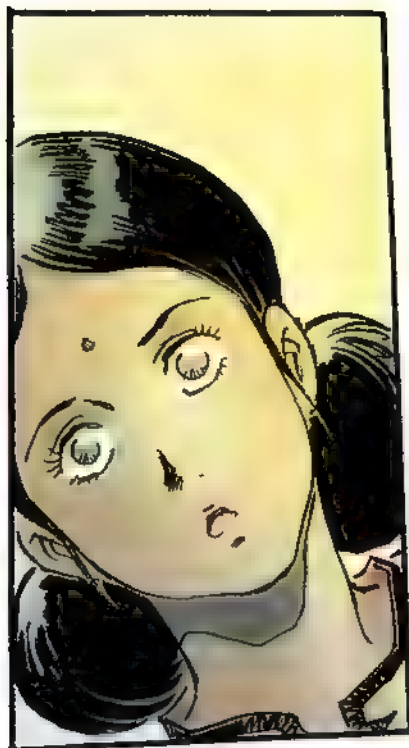
きた  
北アメリカ先住民の  
住居を復元している  
途中だが



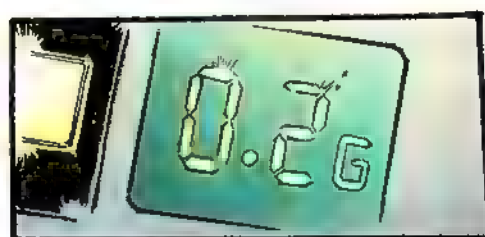
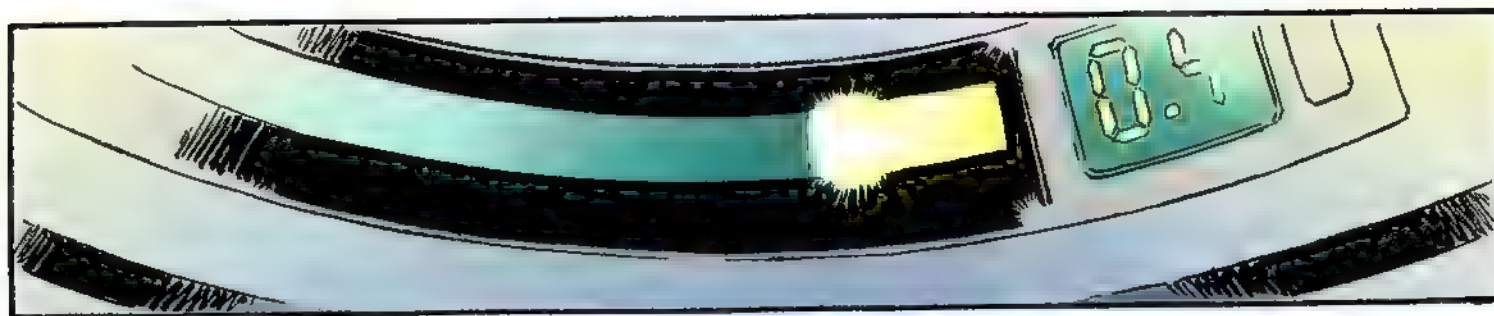




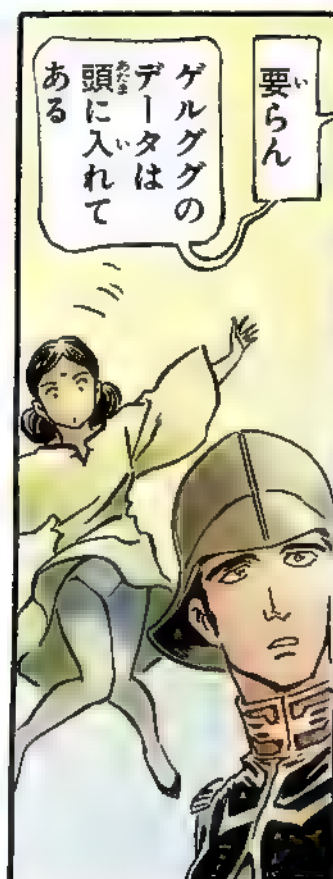
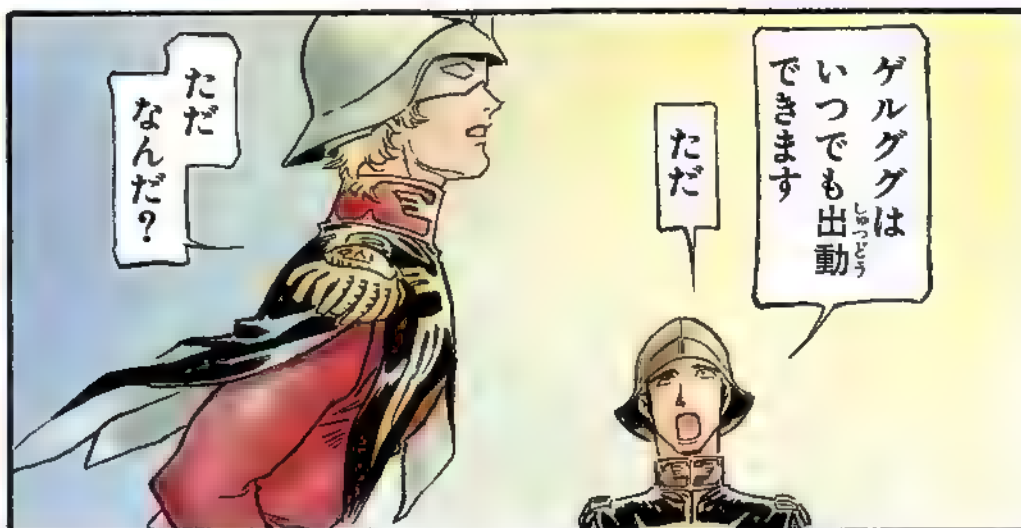
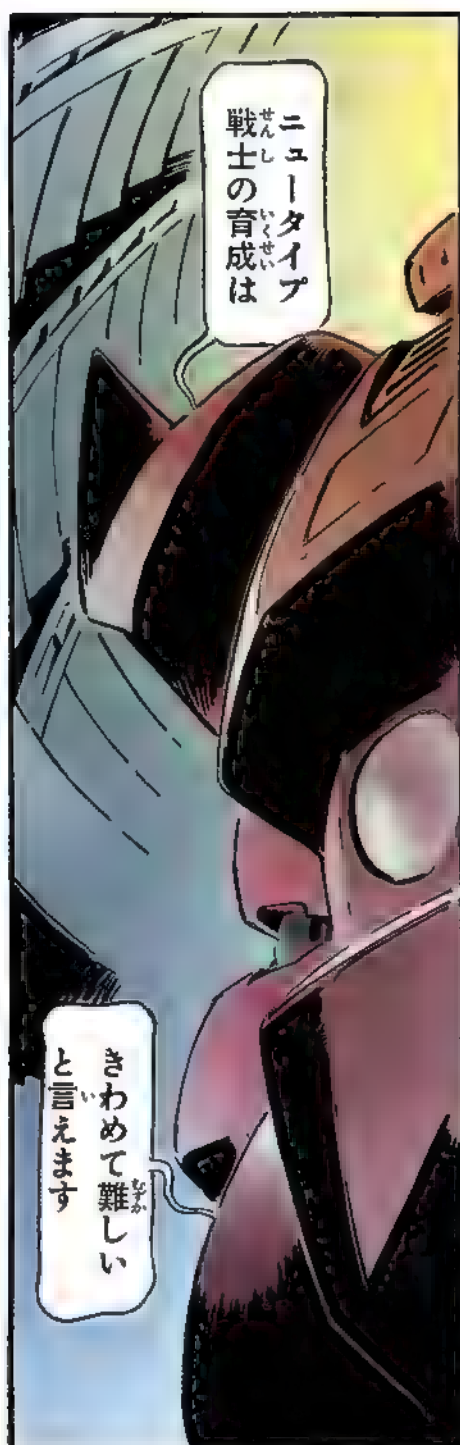




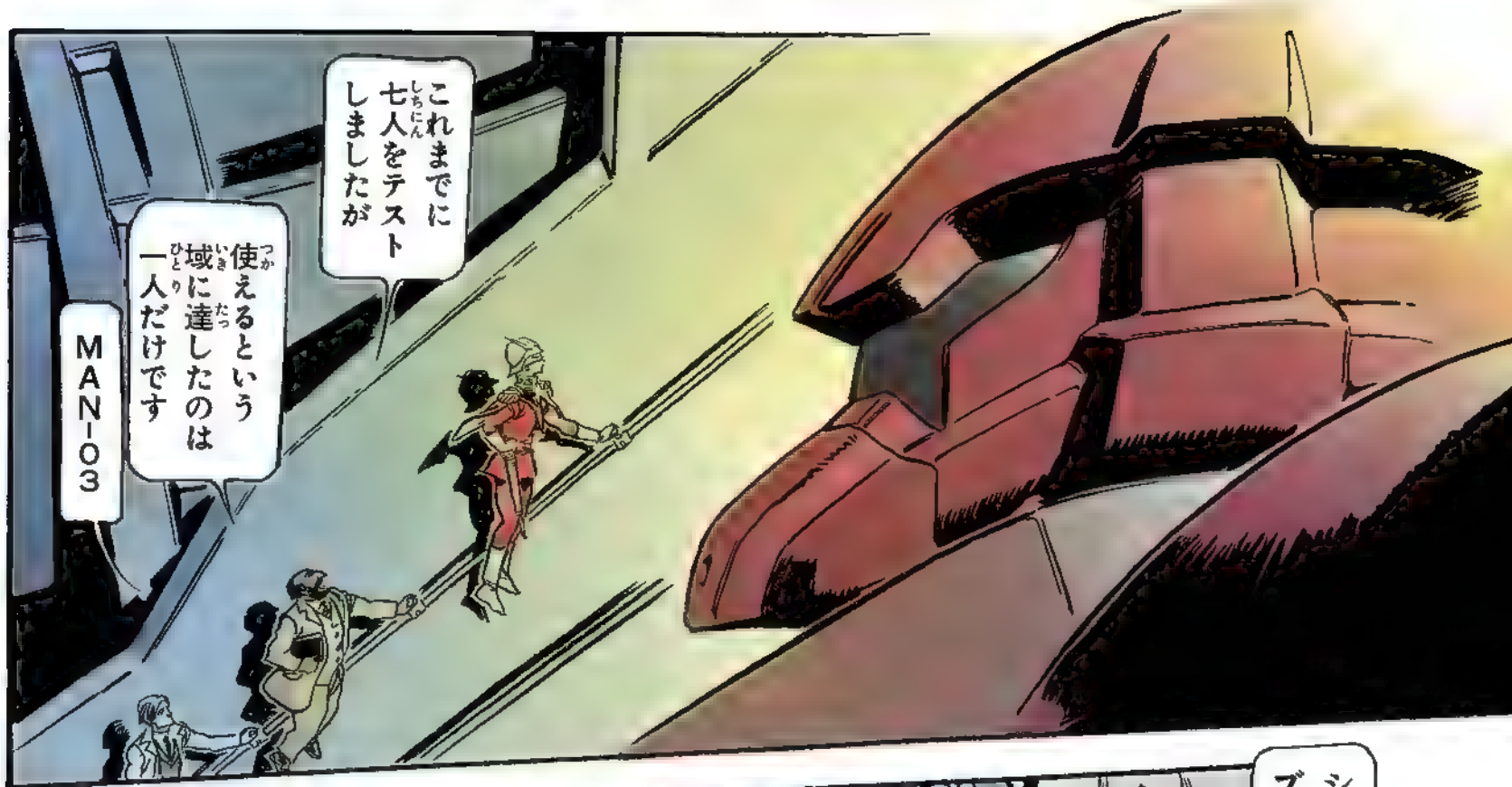












これまでに  
七人をテスト  
しましたが

つか  
使えるという  
域に達したのは  
一人だけです

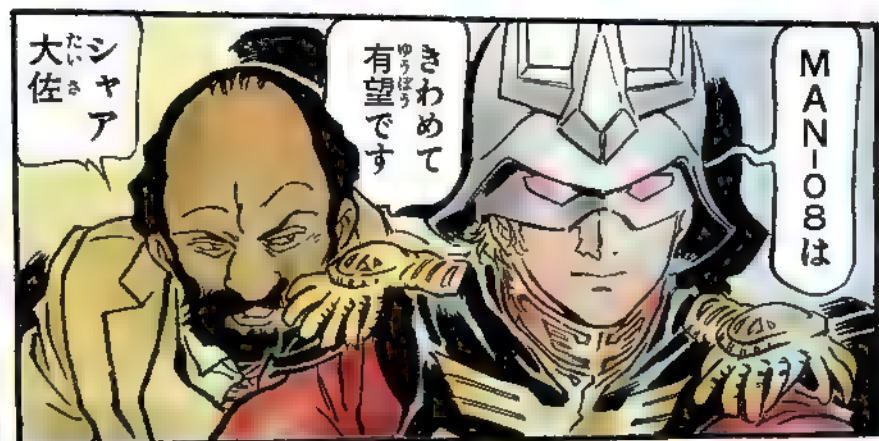
MANI03



シャリア・  
ブル大尉

そうです

その大尉ですら  
スコアは彼女より  
下だった



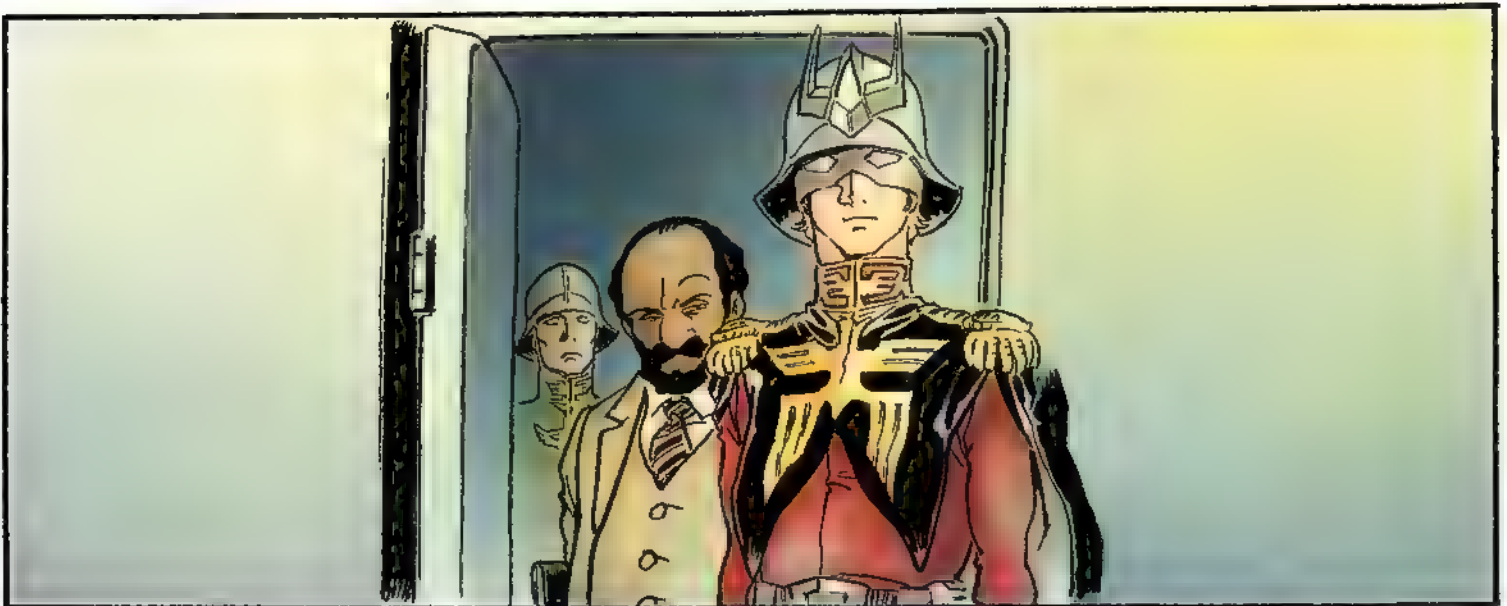
MANI08は

きわめて  
有望です

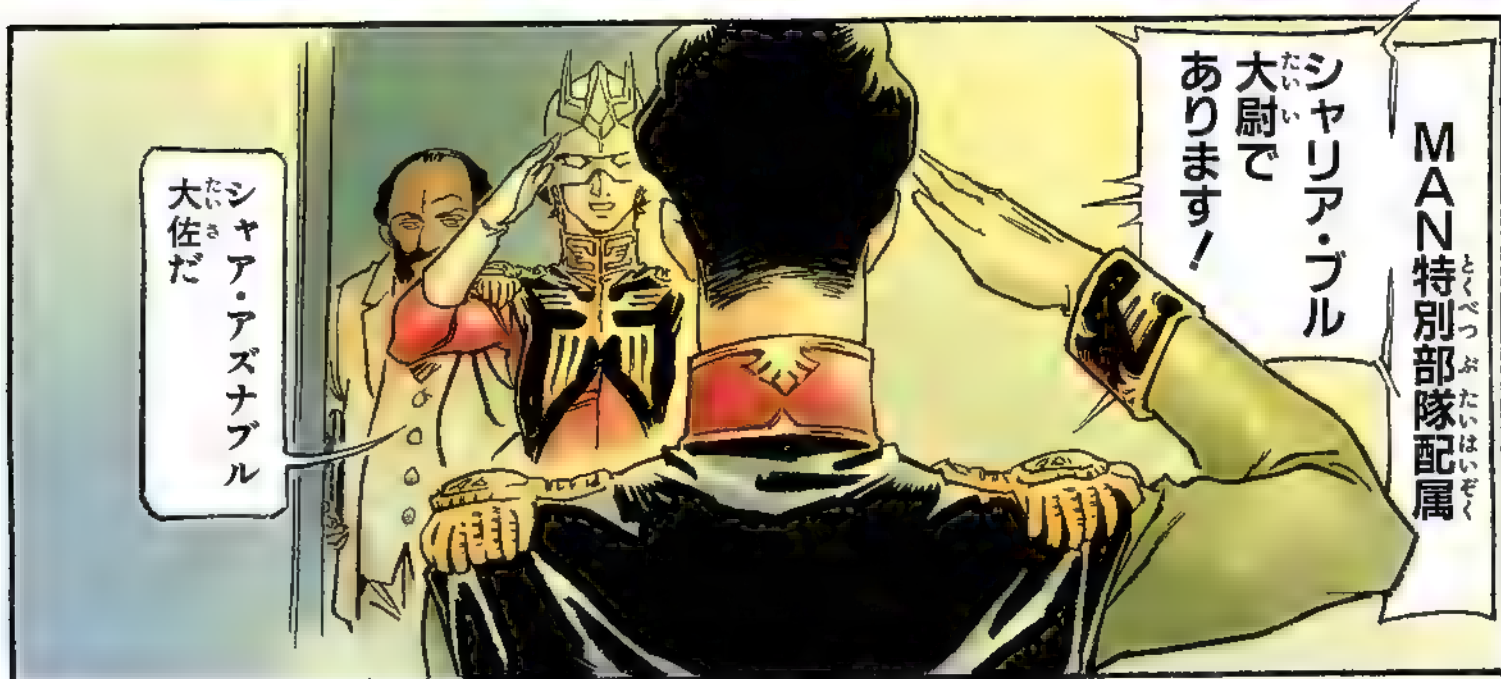
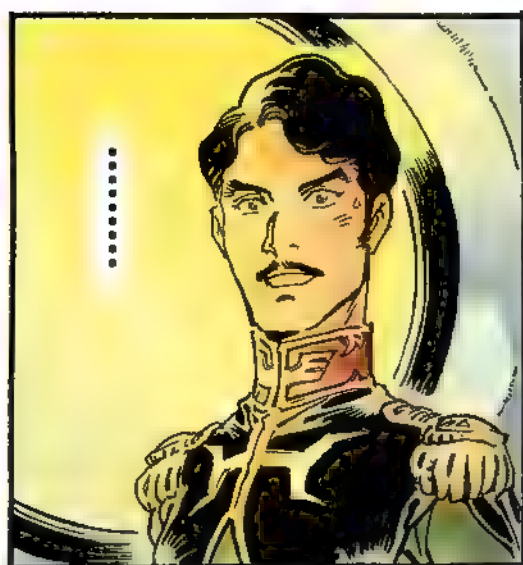
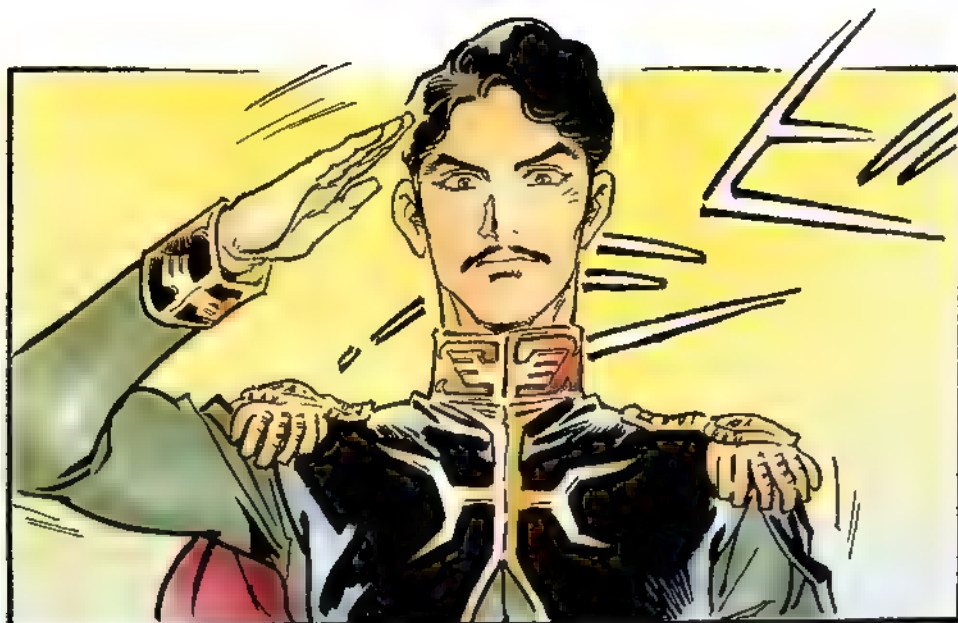
シャ  
大佐











MAN 特別部隊配属

シャリア・ブル  
大尉で  
あります！

シャア・アズナブル  
大佐だ

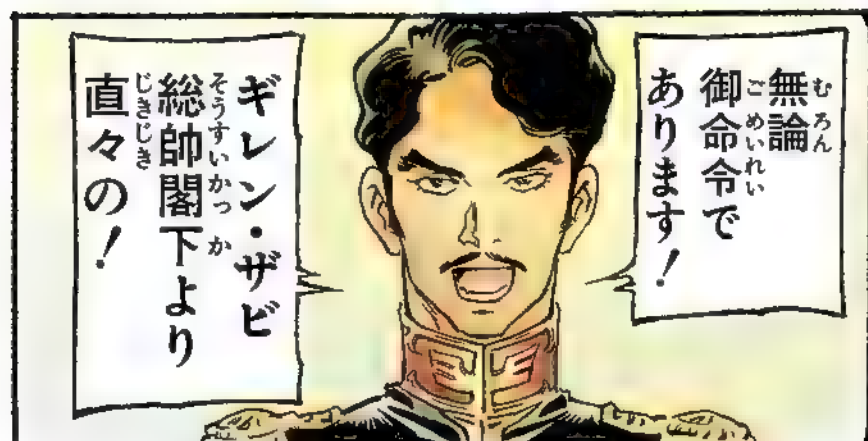


木星船団  
指揮官としての  
輝かしい  
キャリアのことだ

この部隊へは  
志願したのか？



君のことは  
よく知っている



無論  
御命令で  
あります！

ギレン・ザビ  
総帥閣下より  
直々の！





君ほどの  
能力の者なら  
どこにいても  
相應の働きが  
できる

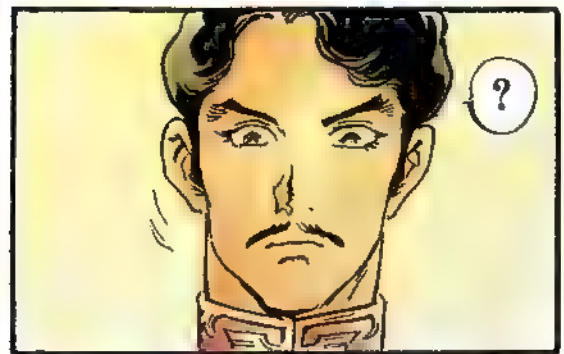
何を  
好きこのんで  
と思ったのだ



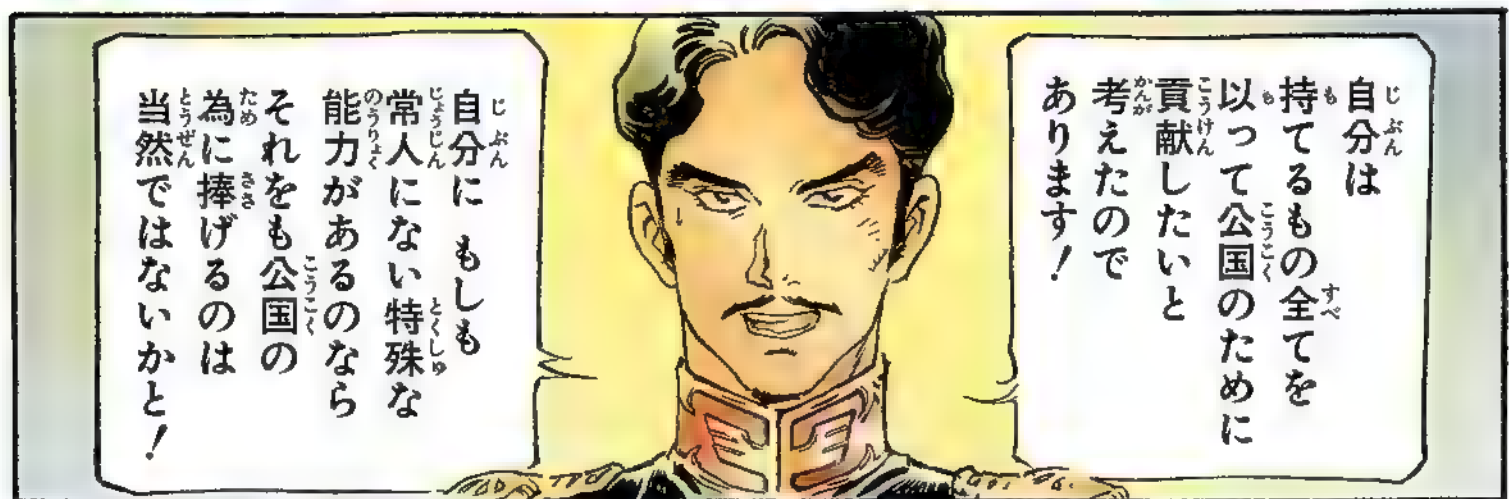
なるほど

道理で...

な

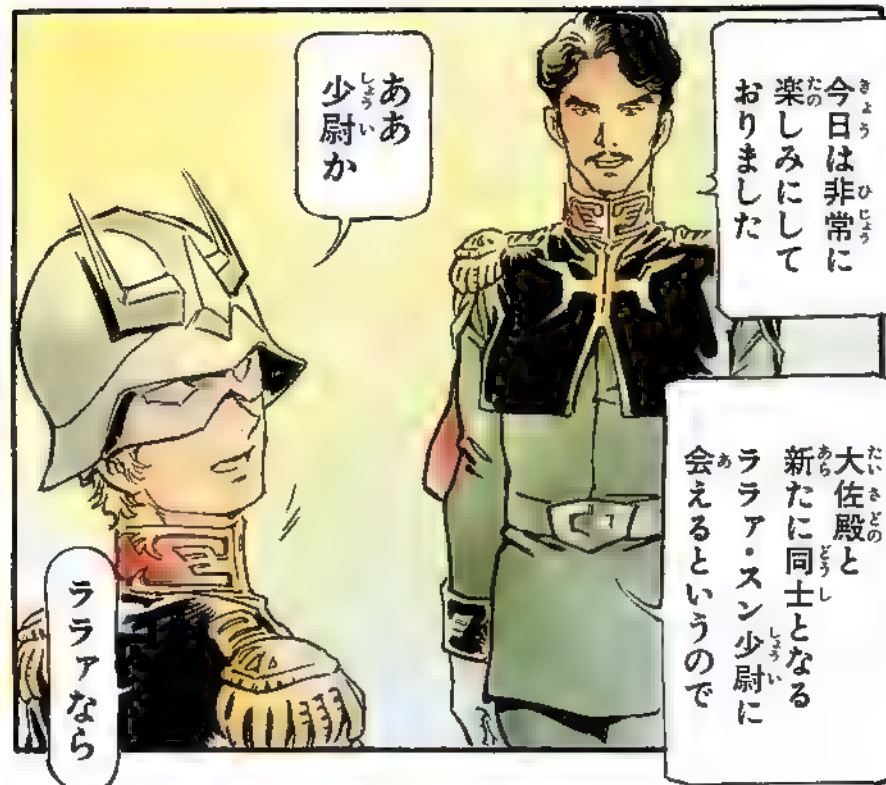
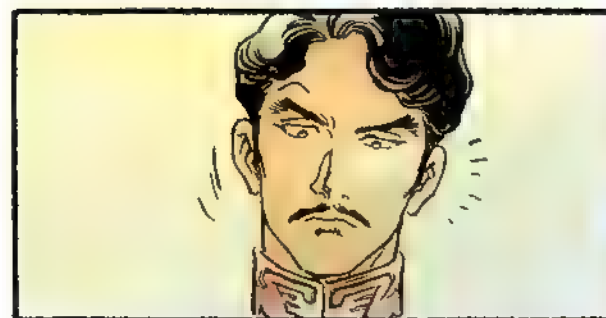
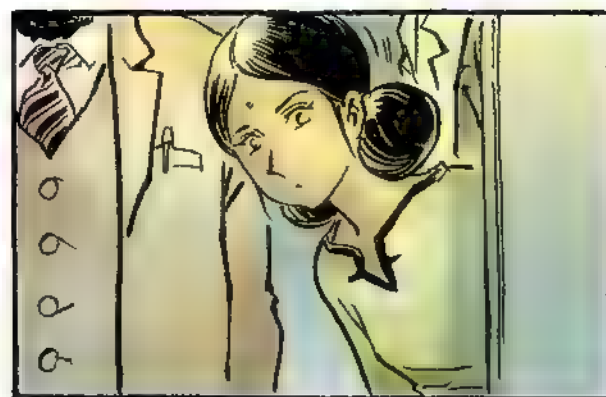


?



自分は  
持てるもの全てを  
以って公国のために  
貢献したいと  
考えたので  
あります！

自分にもしも  
常人にない特殊な  
能力があるのなら  
それをも公国の  
ために捧げるのは  
当然ではないかと！



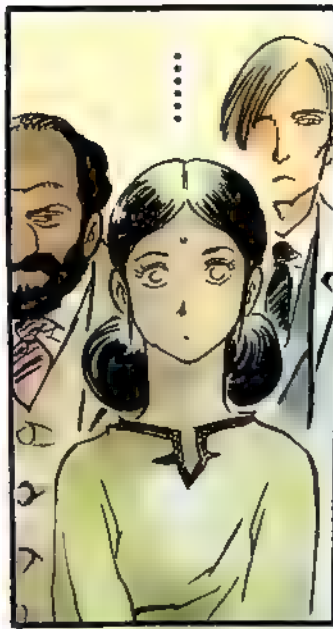
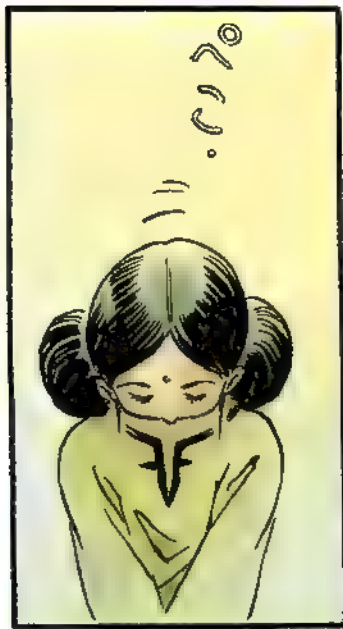
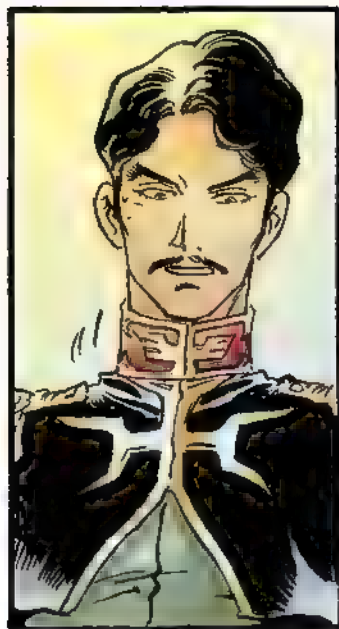
今日は非常に  
楽しみにして  
おりました

ああ  
少尉か

大佐殿と  
新たに同士となる  
ラア・スン少尉に  
会えるというので

ラアなら

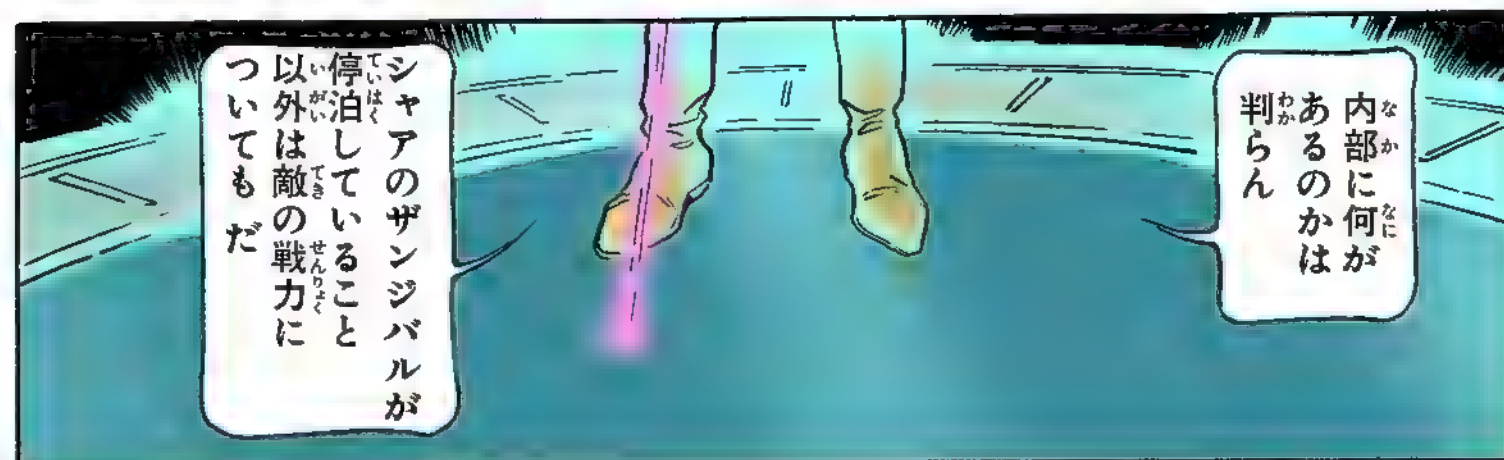
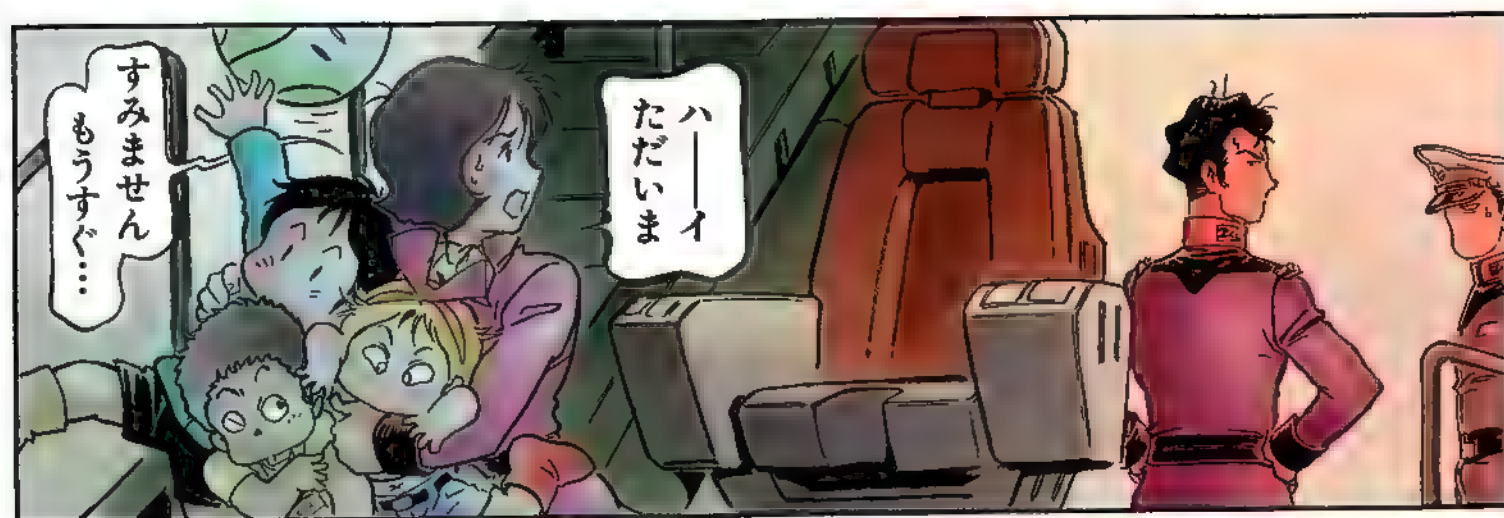
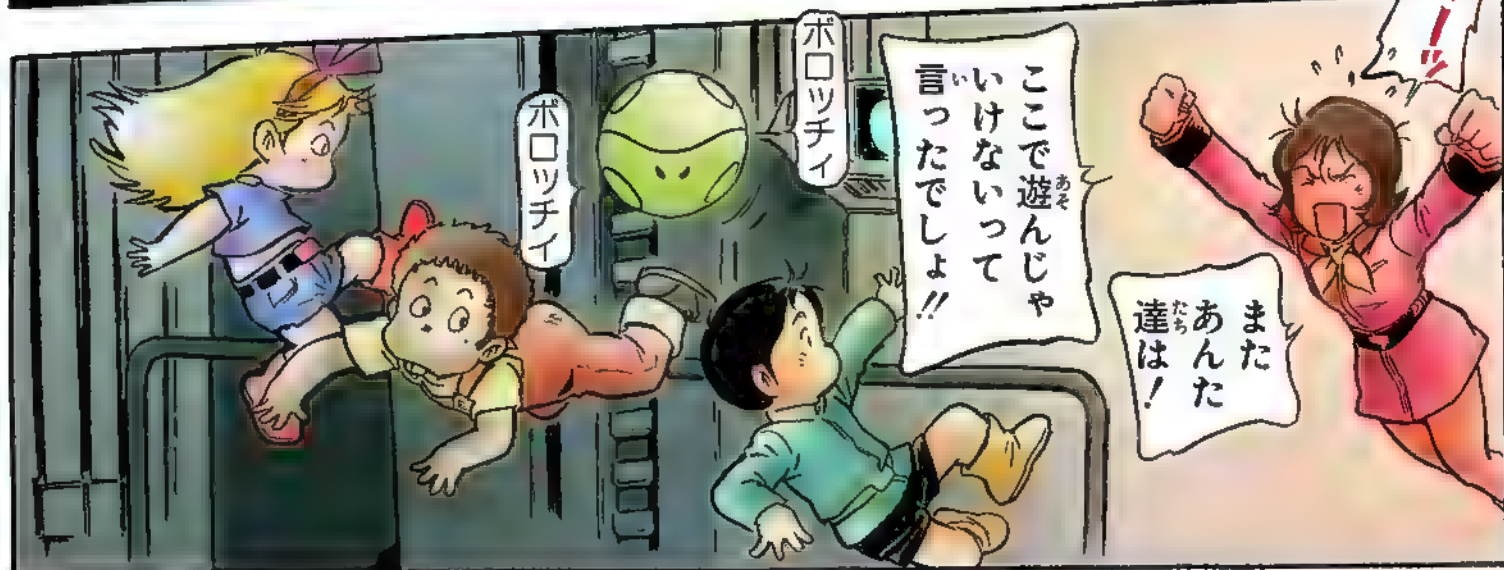
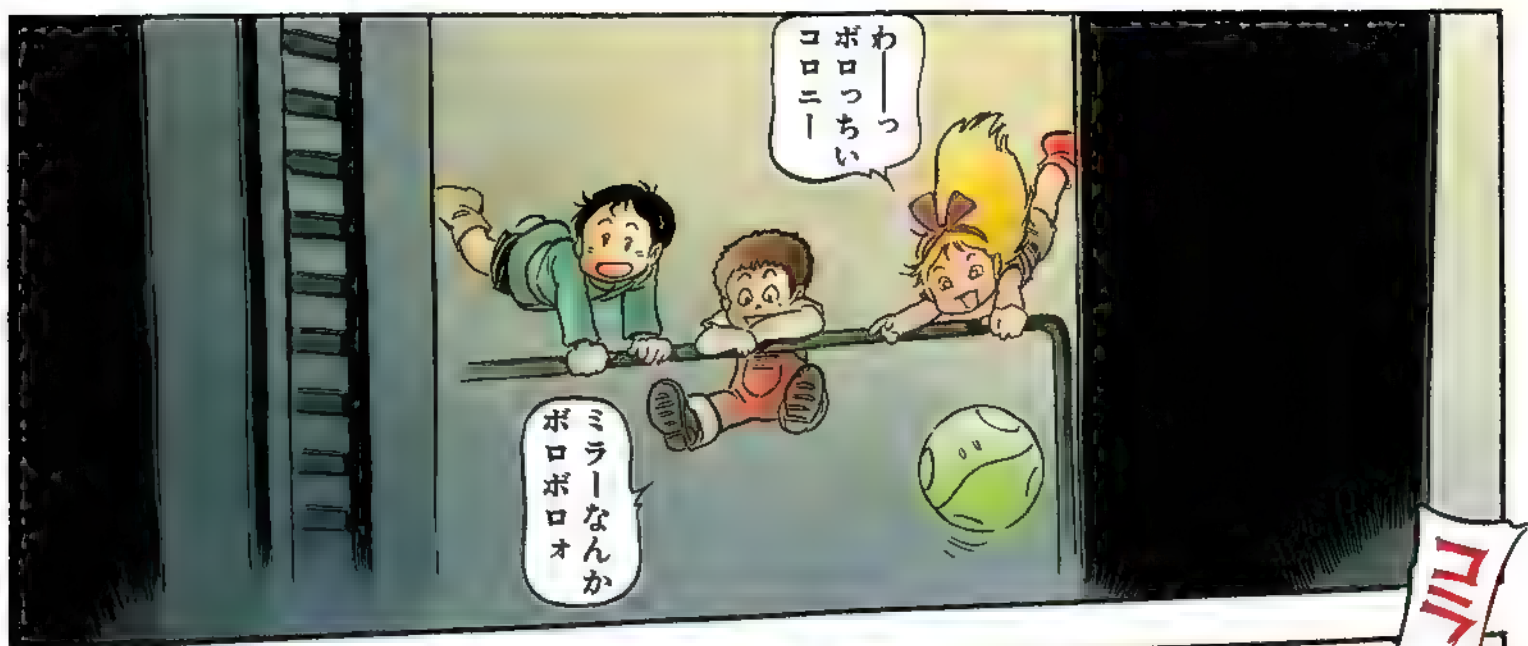




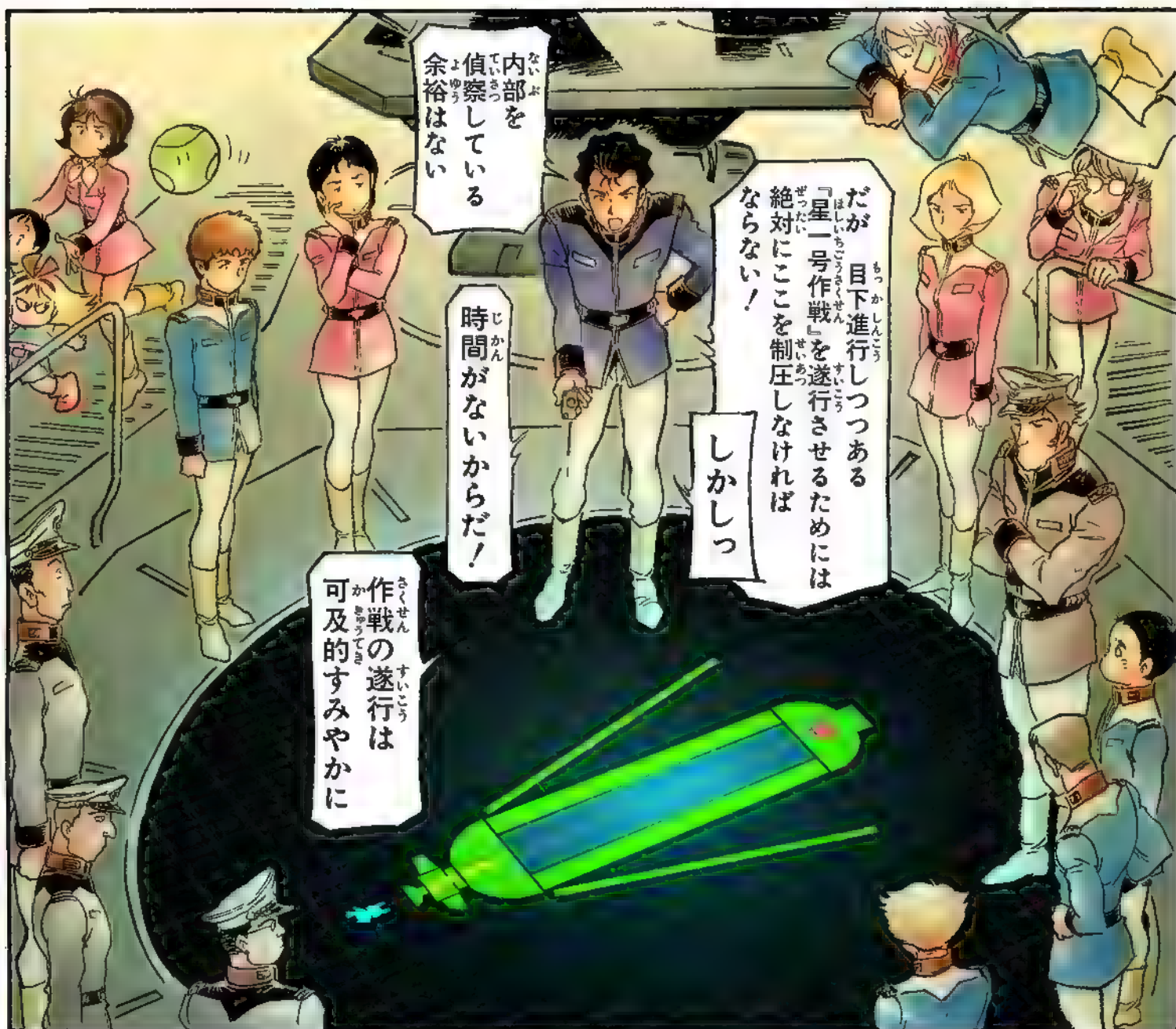




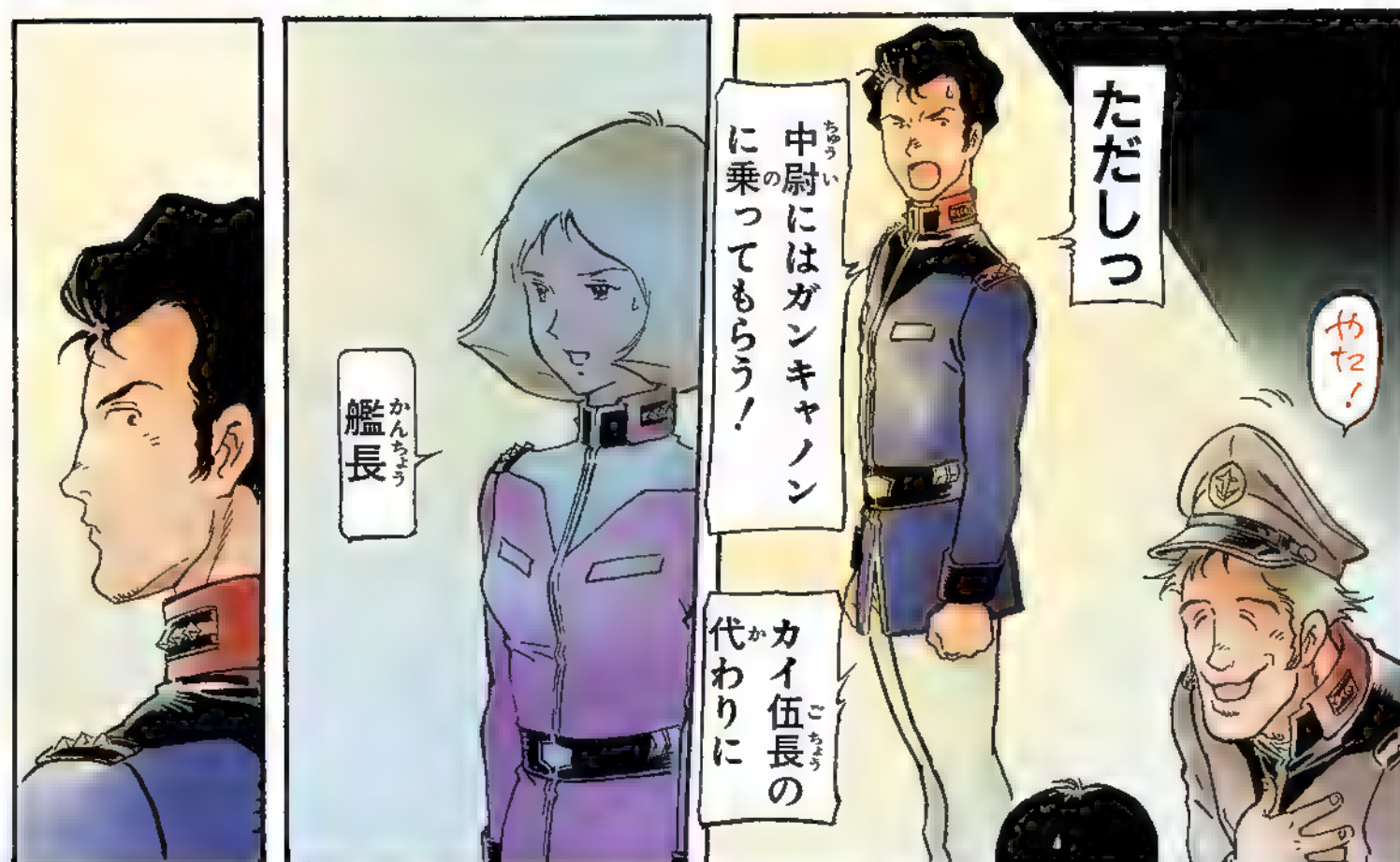




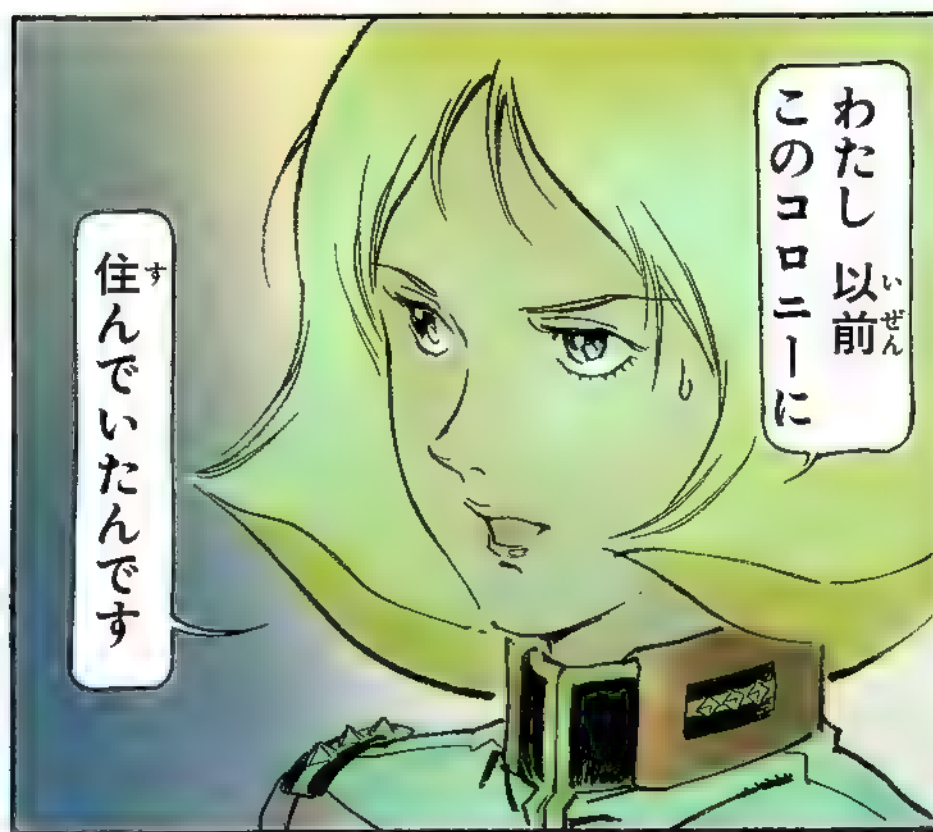
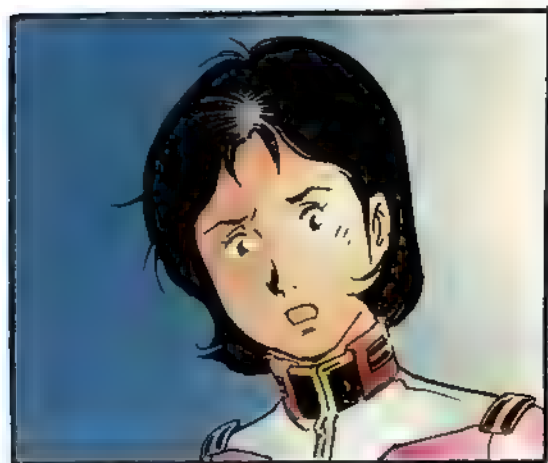
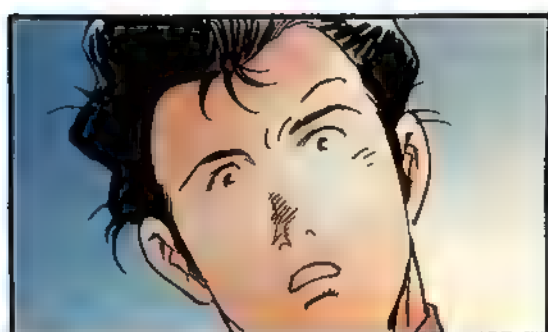
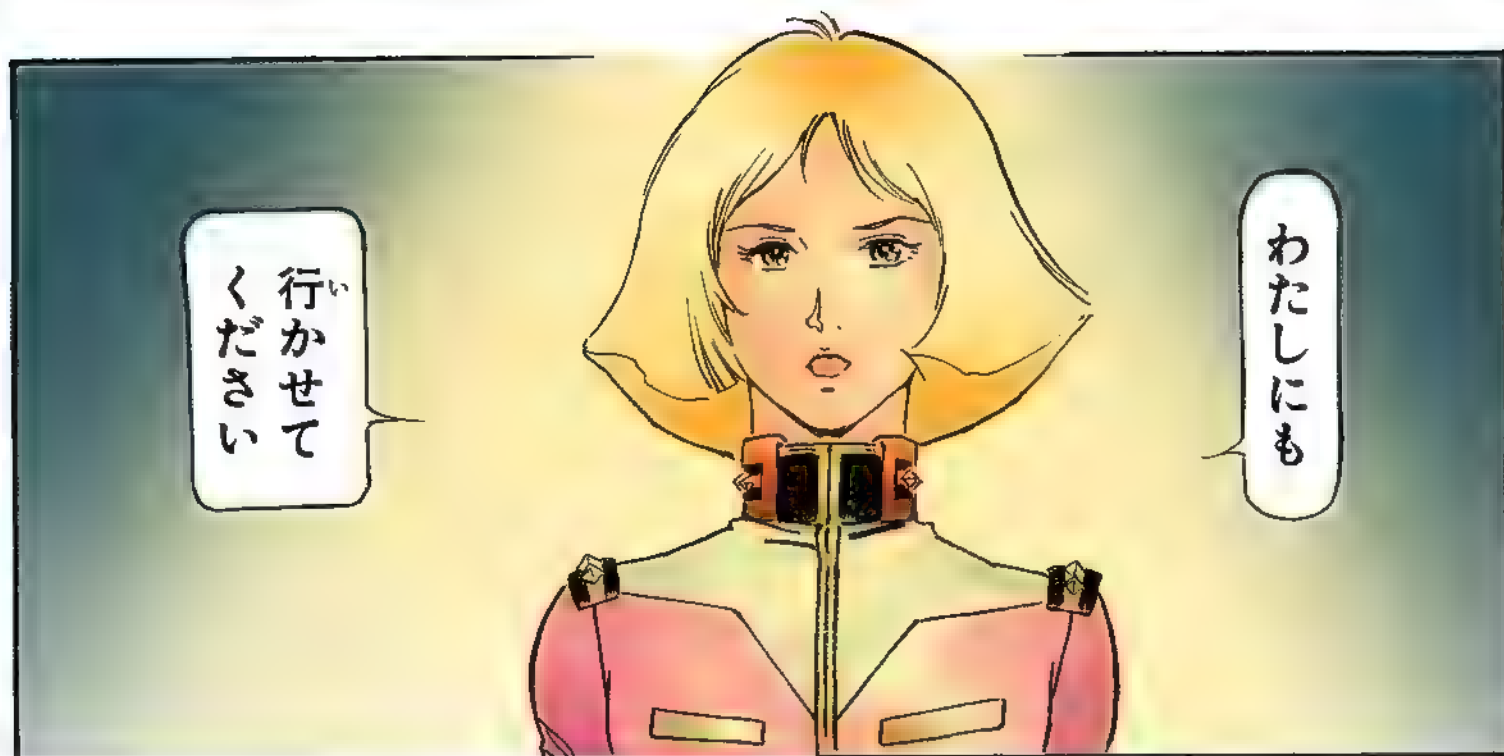




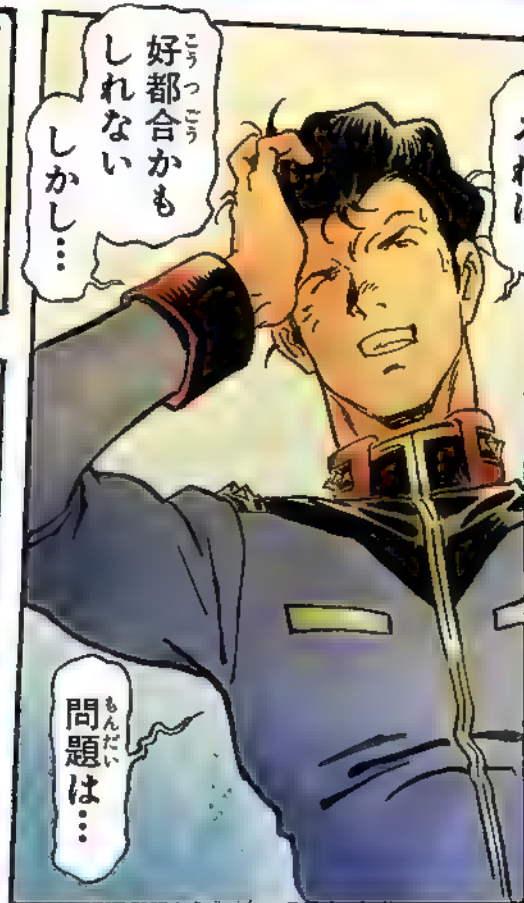
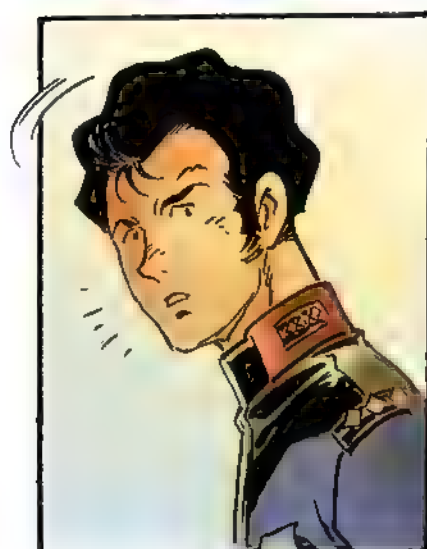
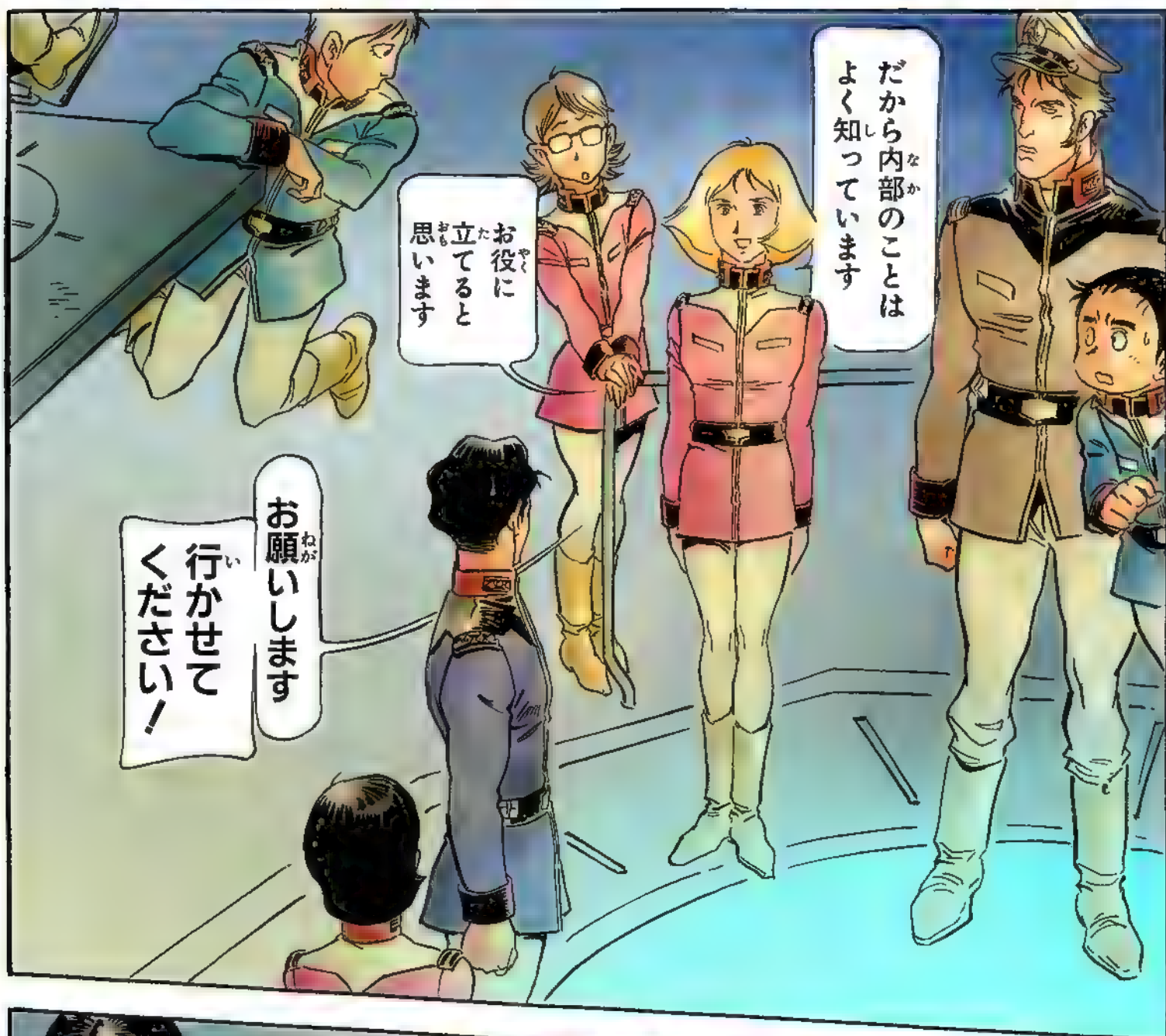




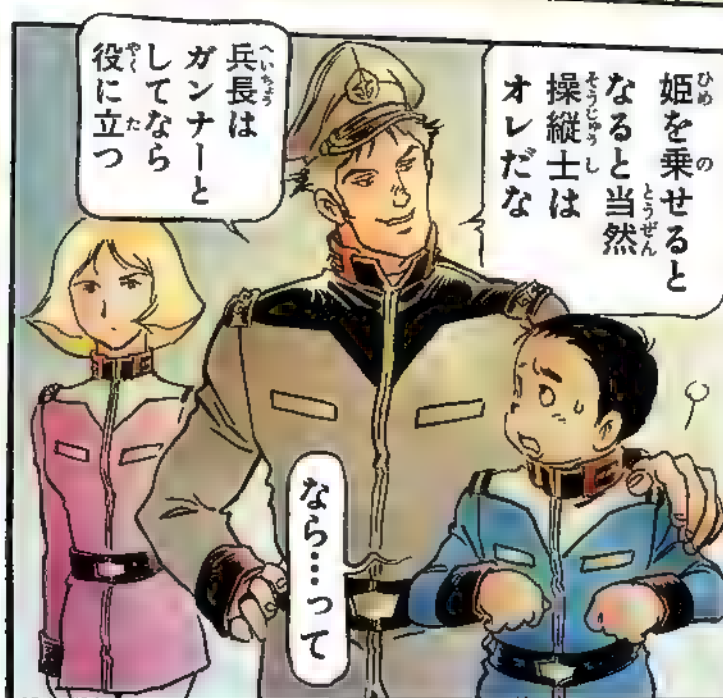
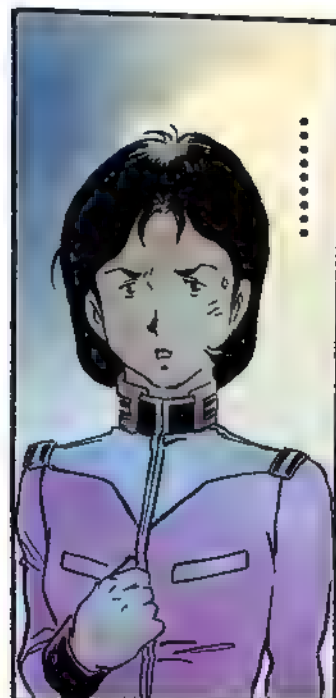
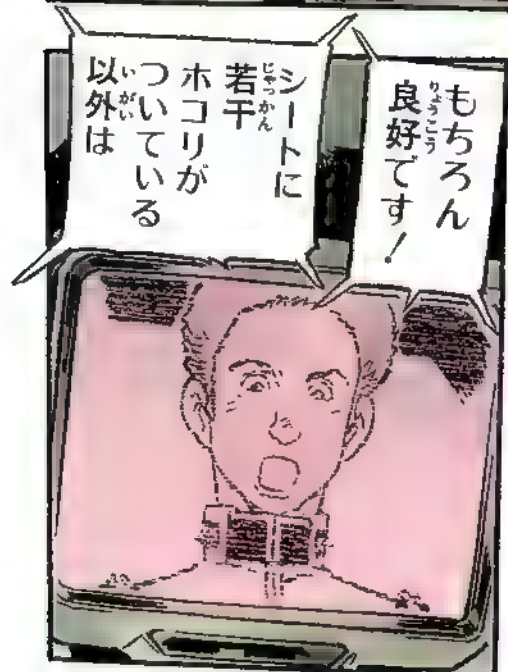
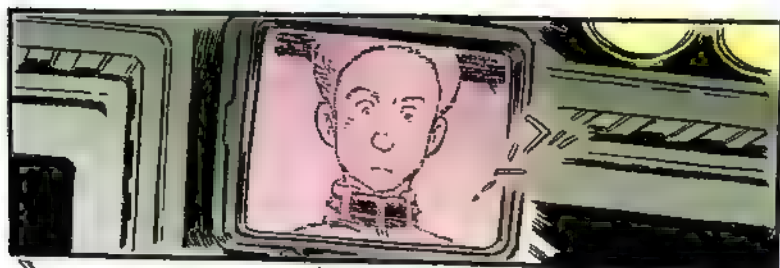


















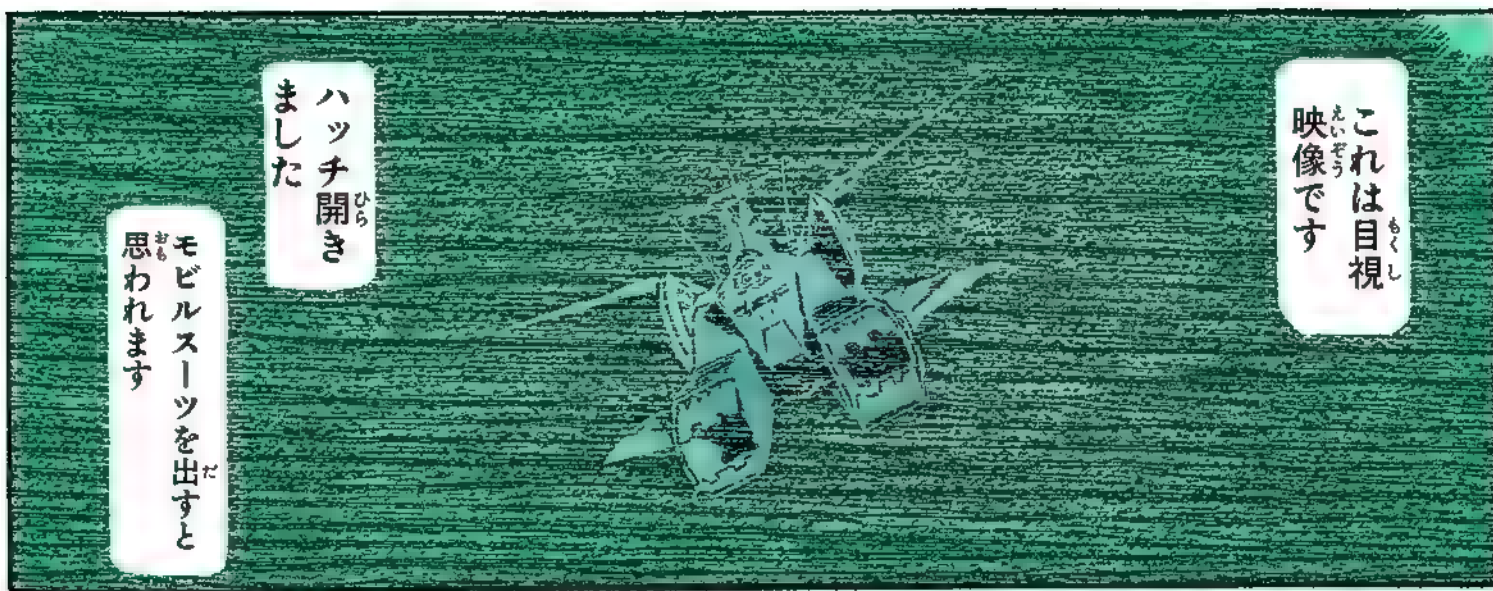
ミノフスキー粒子の濃度は希薄ですがレーダー波は感知しておりません

港のゲートは半開状態です

了解しました

更に接近します

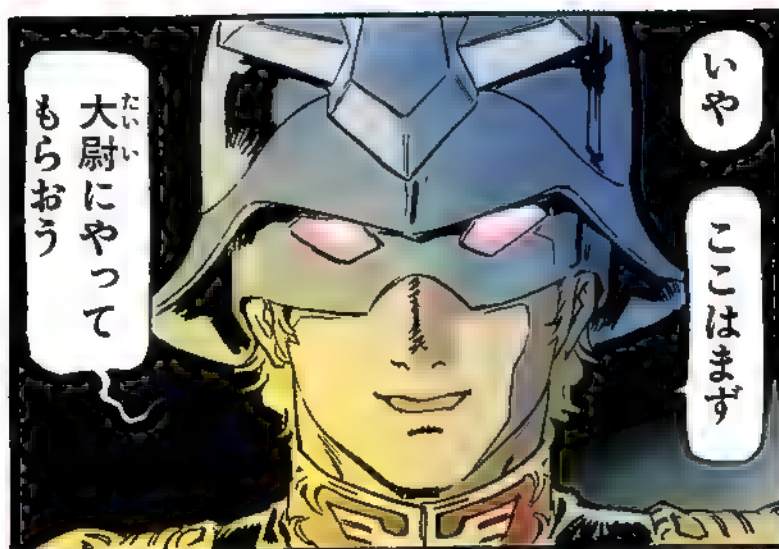




これは目視  
映像です

ハッチ開き  
ました

モビルスーツを出す  
と思われま



いや

ここはまず

大尉にやっ  
てもらおう



ゲルググで  
お出になり  
ますか？

大佐殿



ニュータイプ部隊が  
成るか成らぬか

訓練の  
到達点を見る  
良い機会だ

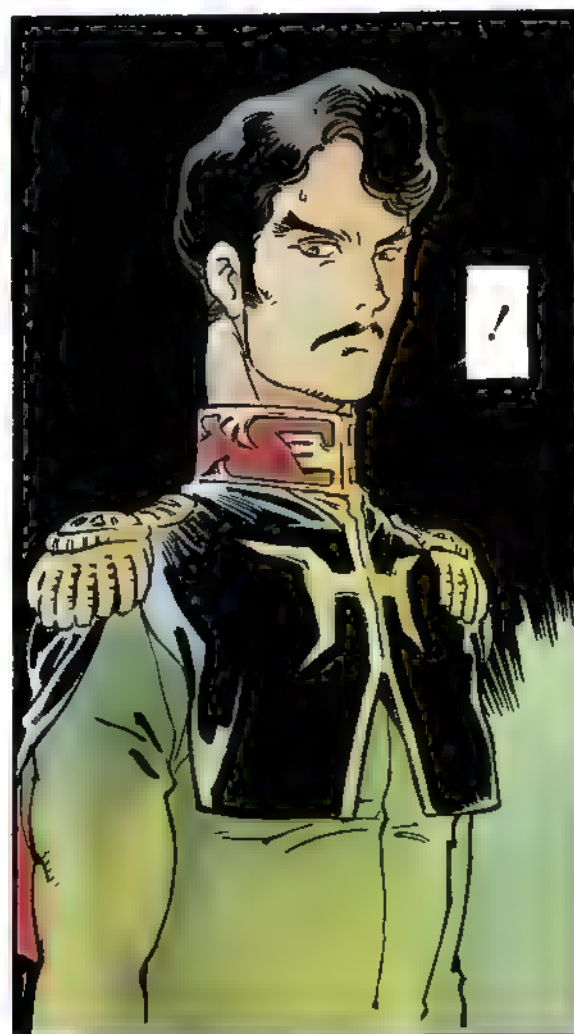


わかりました



相手は木馬

いい機会だぞ  
シャリア・ブル大尉



!



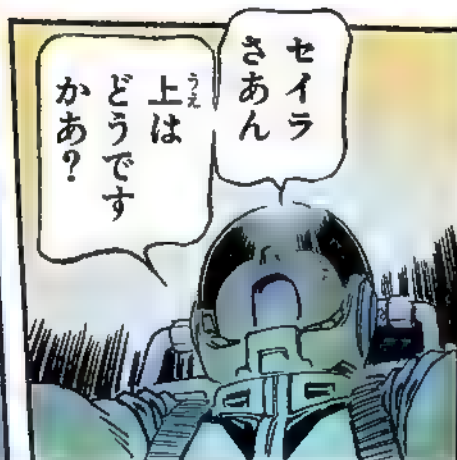
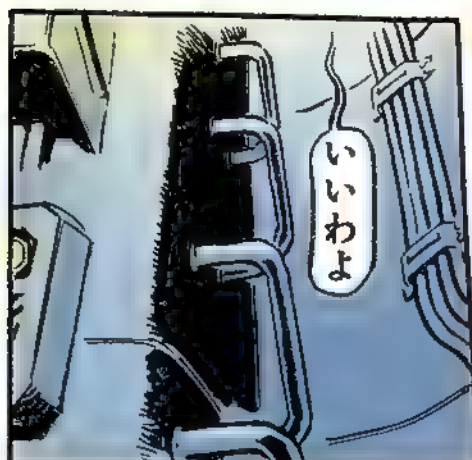
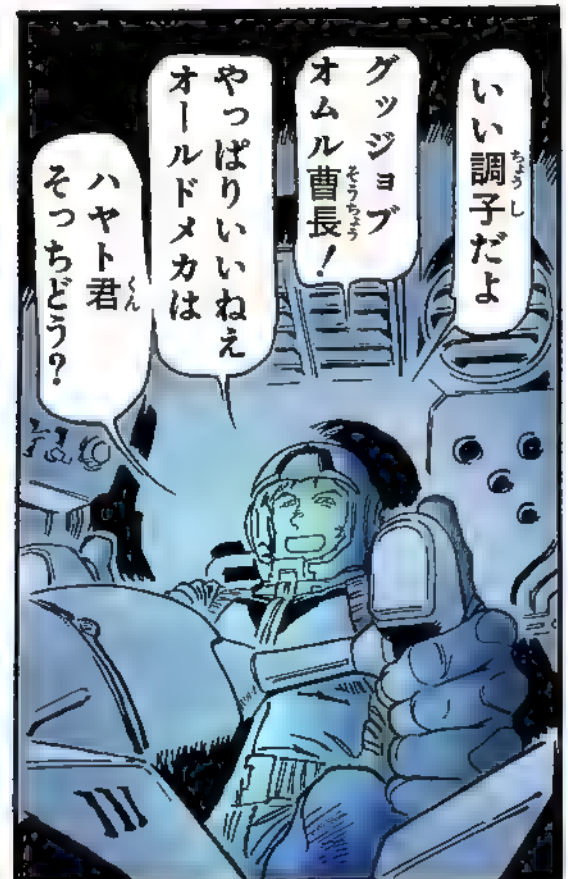
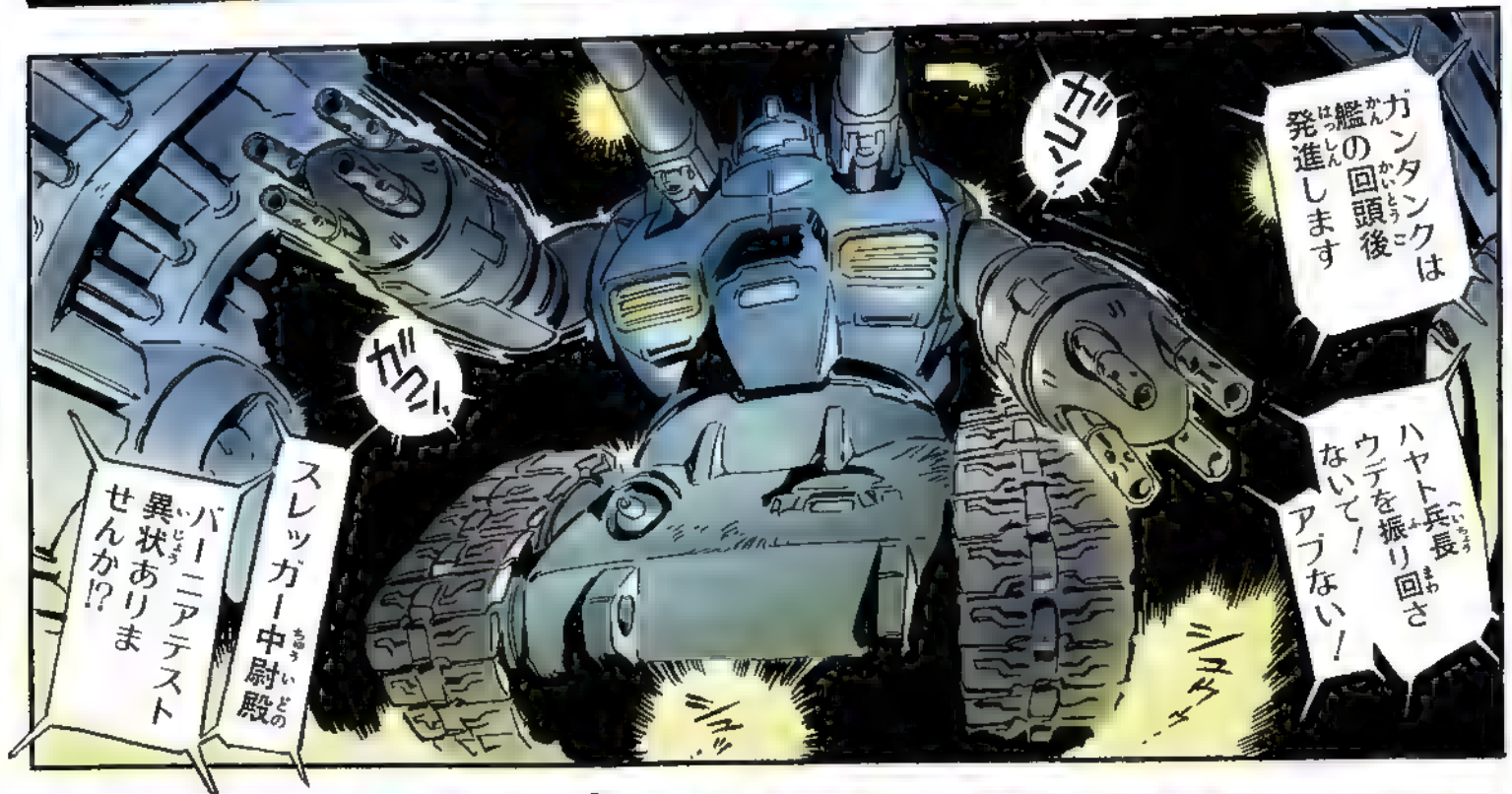
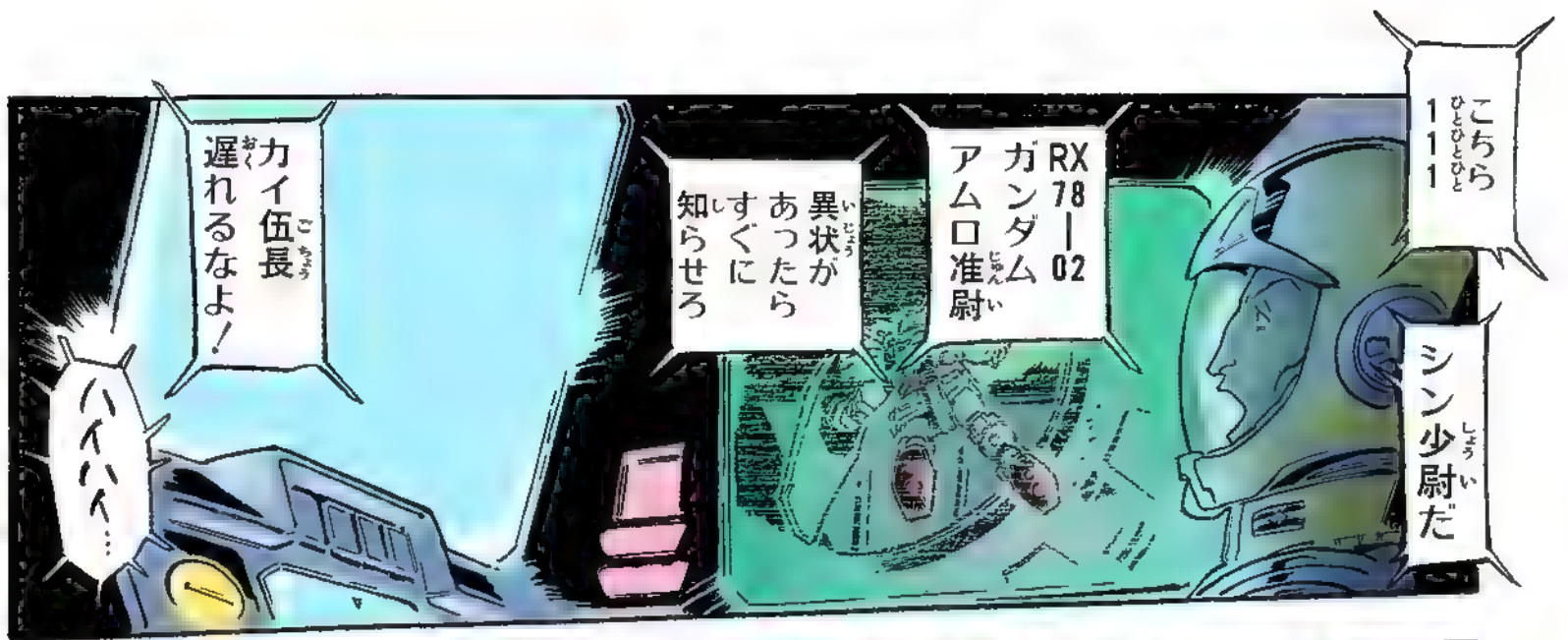


みごと  
御期待に<sup>こきたい</sup>こた  
<sup>らん</sup>えて  
ご覧に  
います

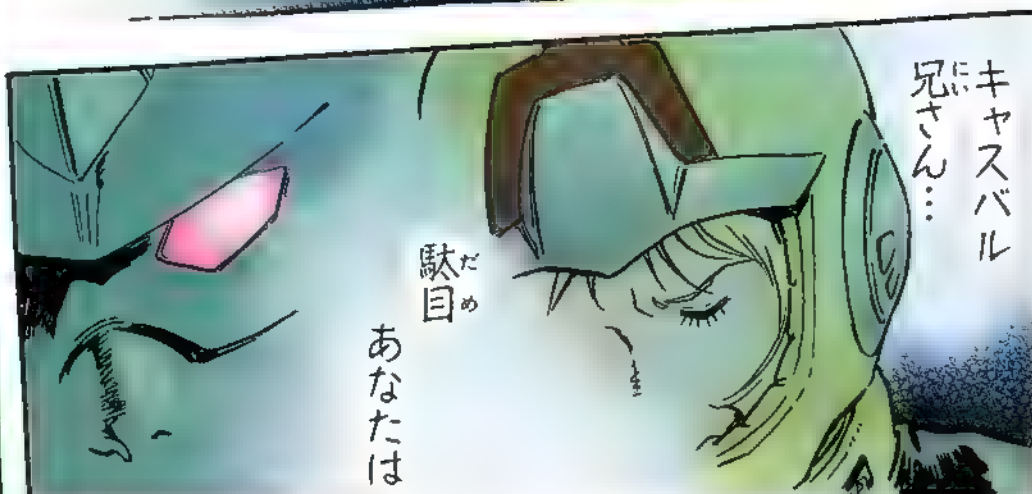
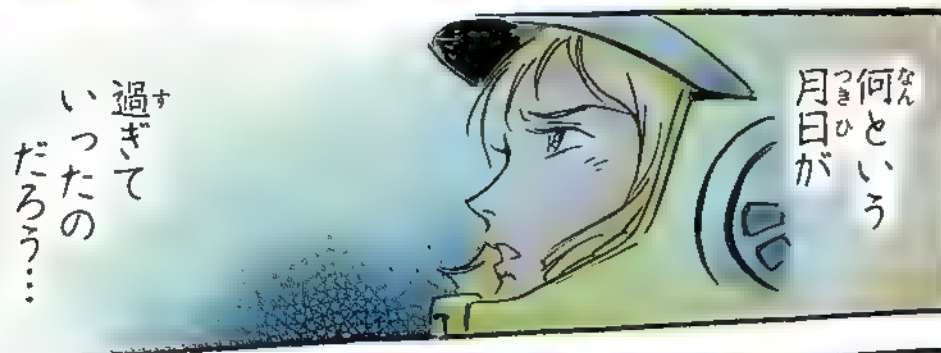
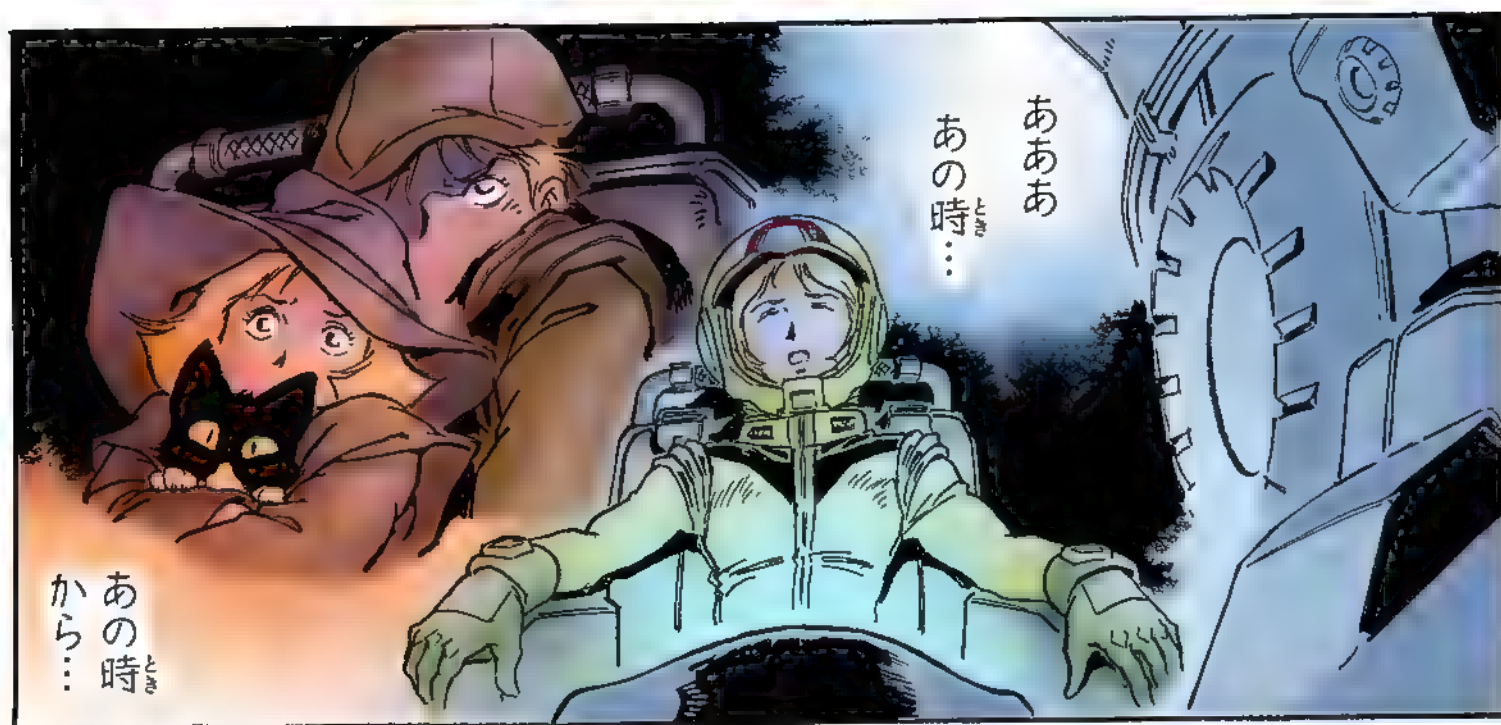
シャア  
大佐<sup>たいさ</sup>  
殿<sup>どの</sup>



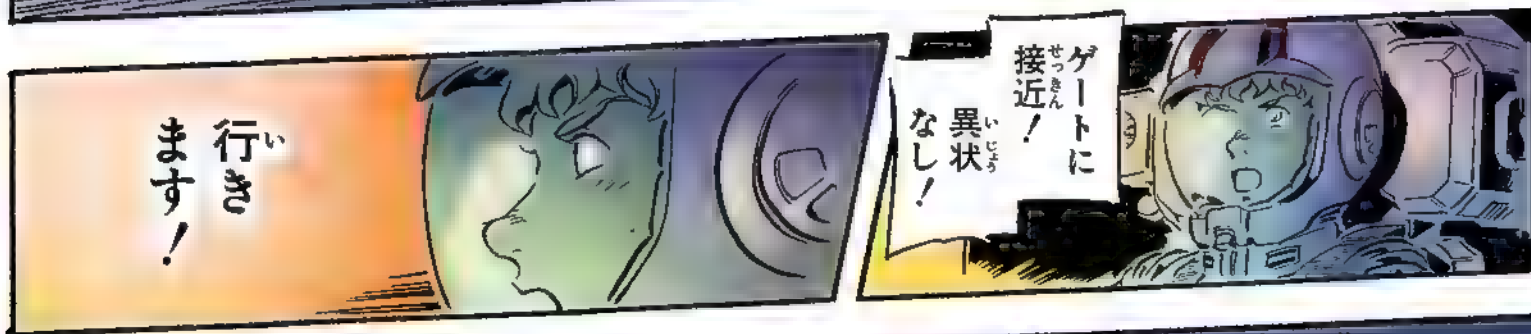
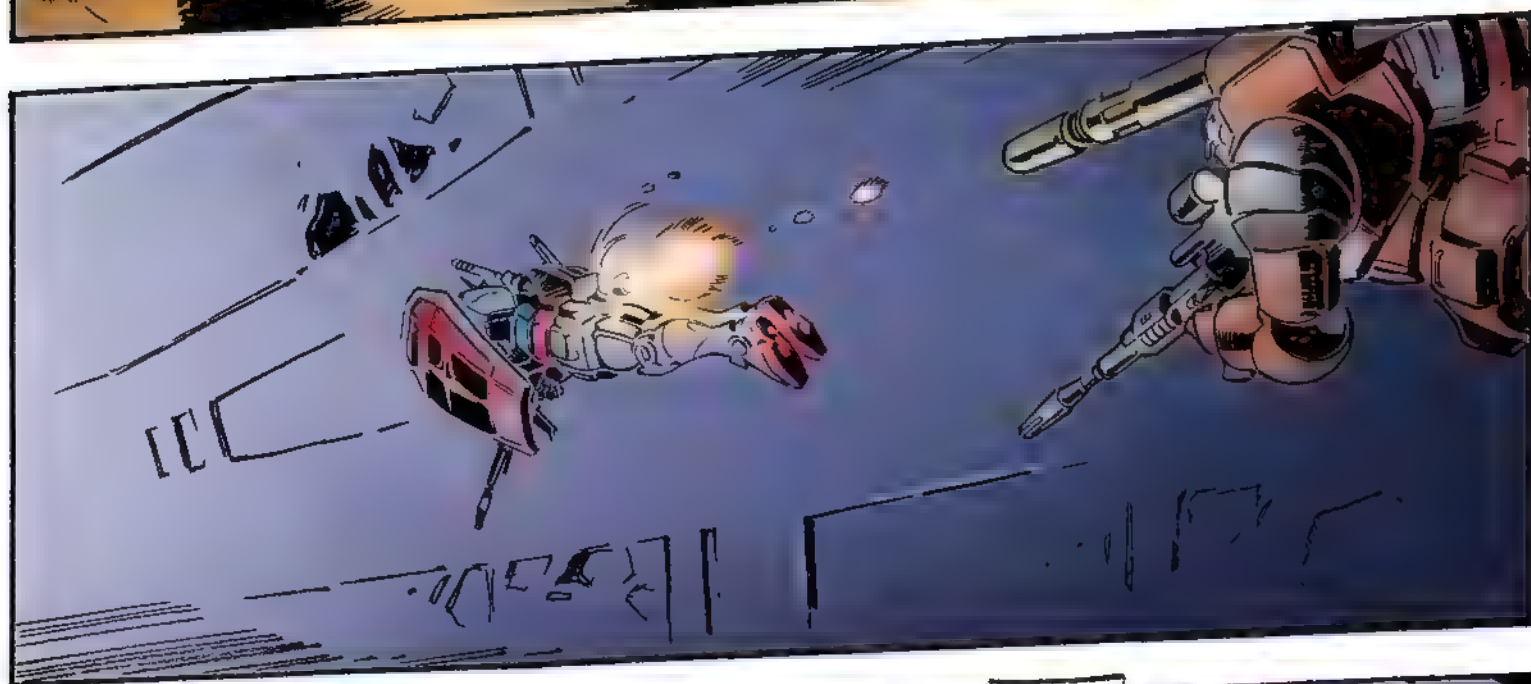
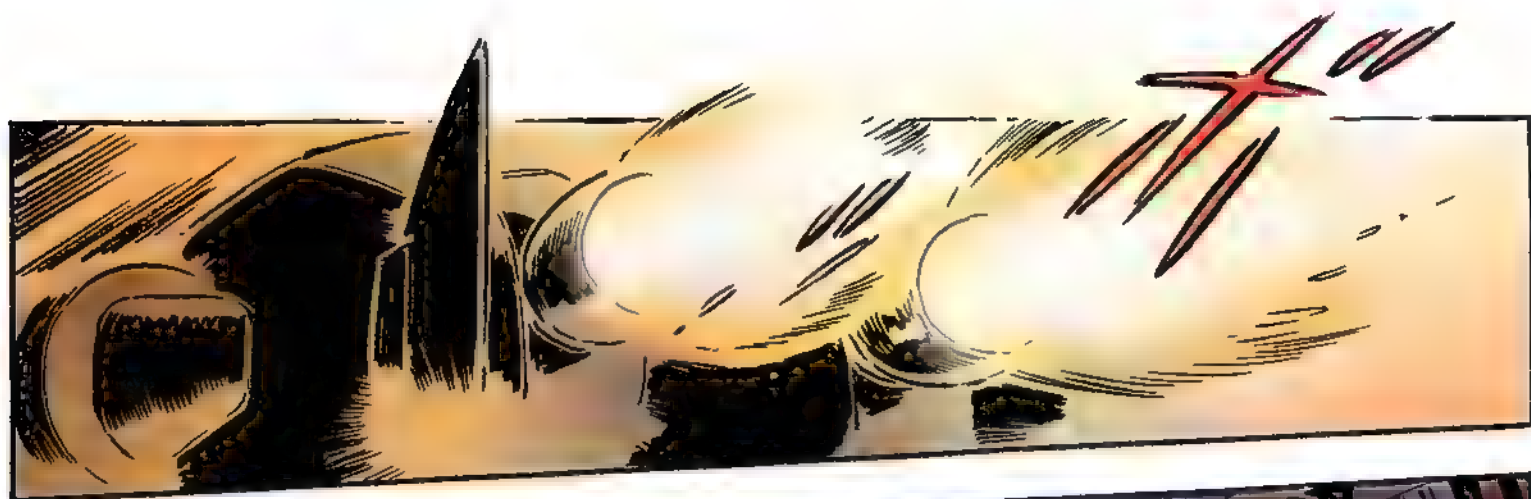










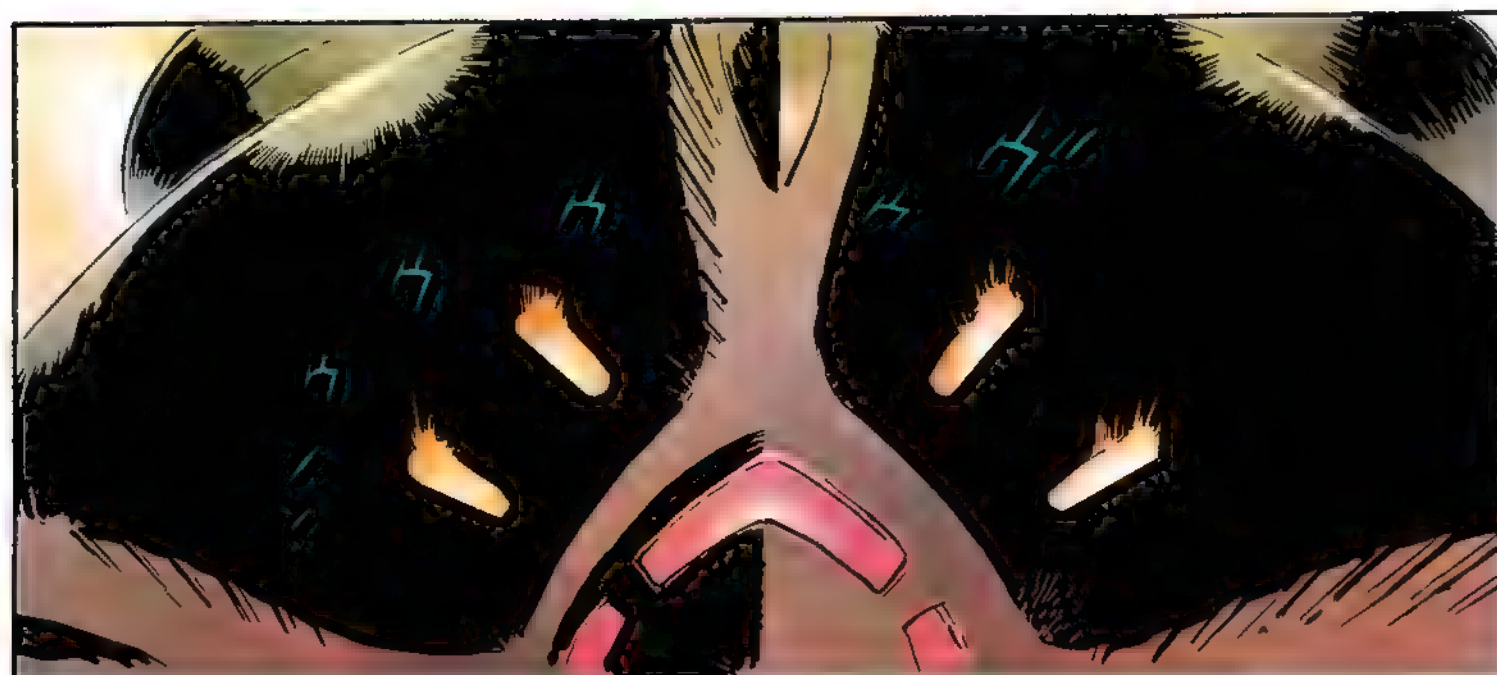
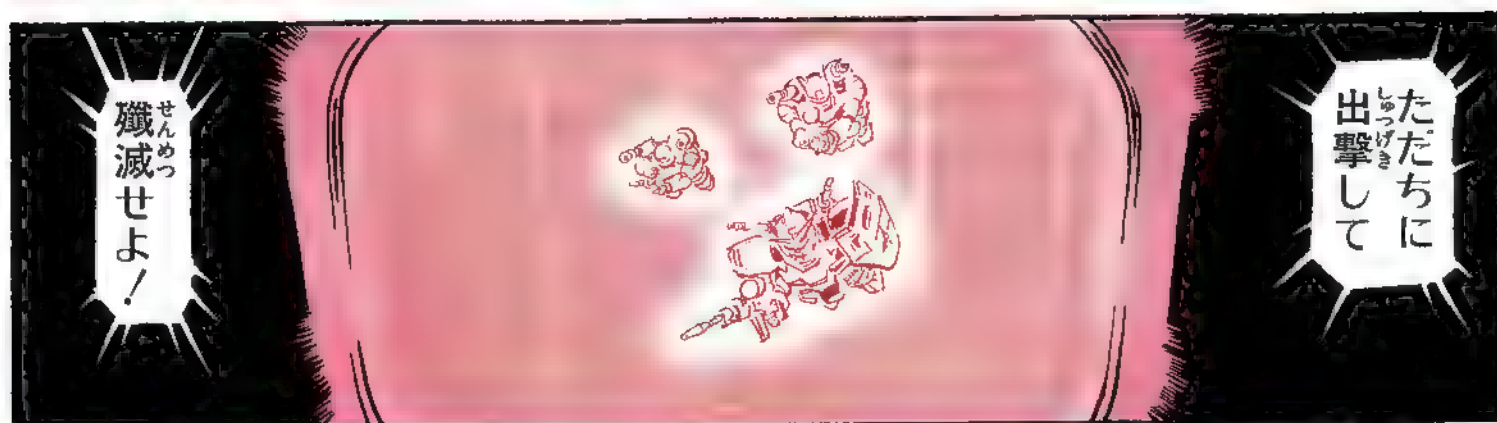
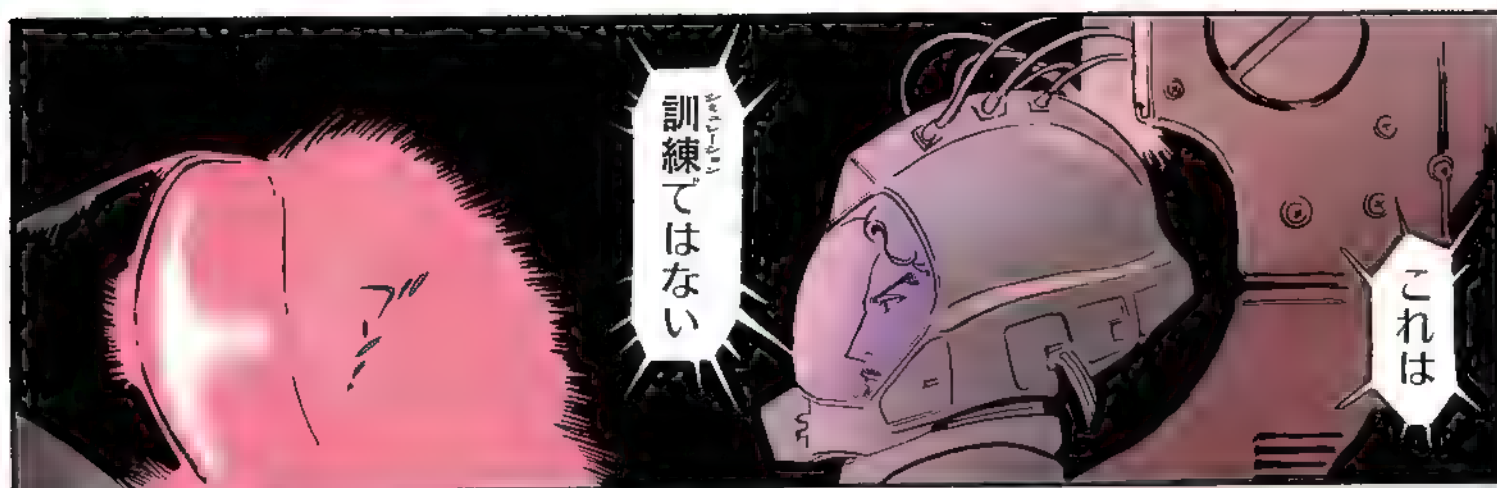
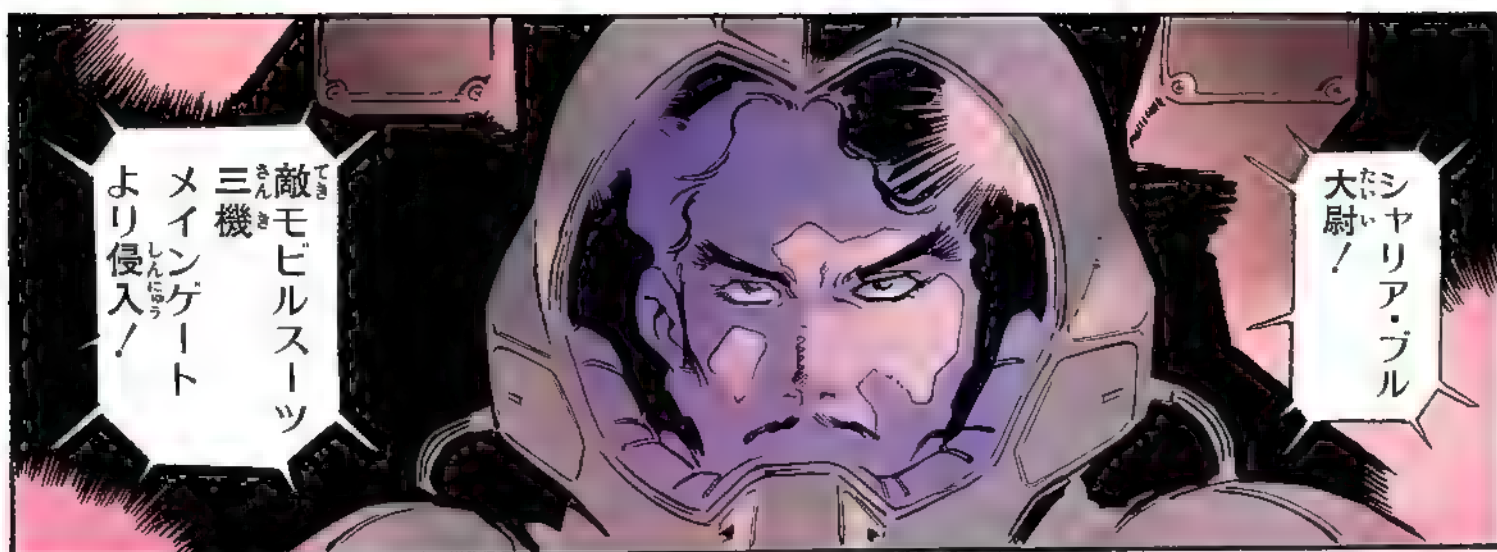


いき  
ます!

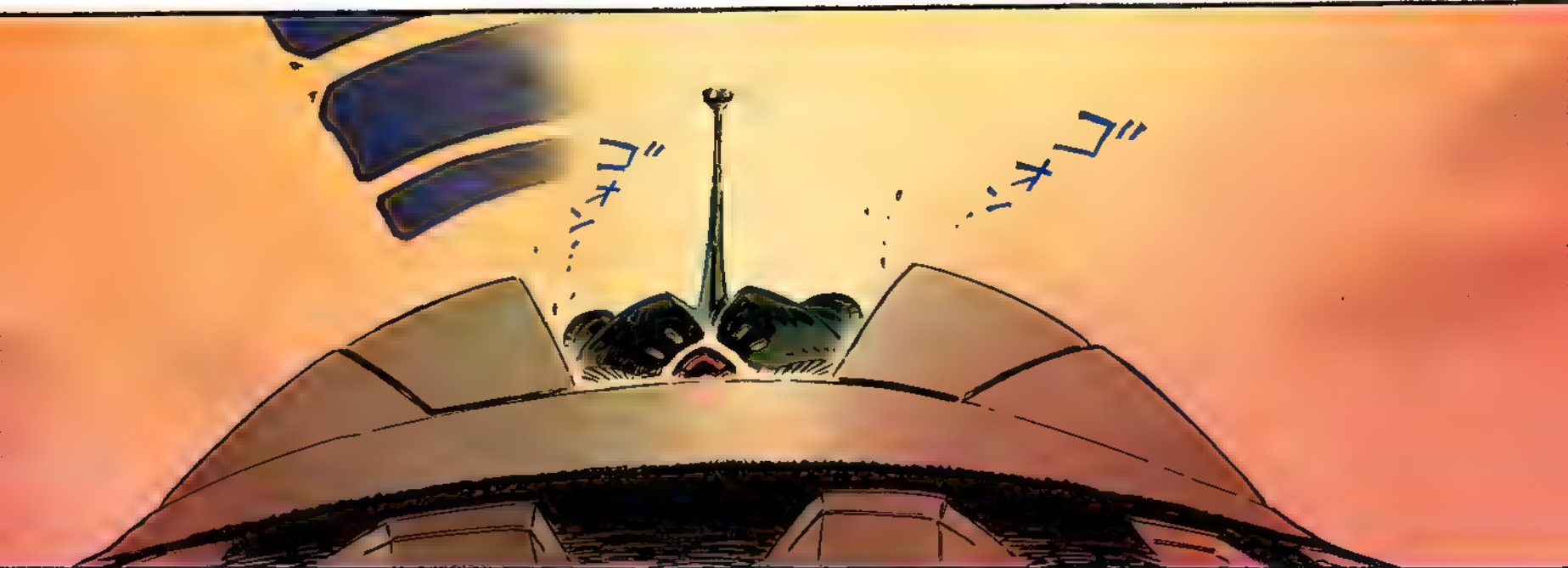
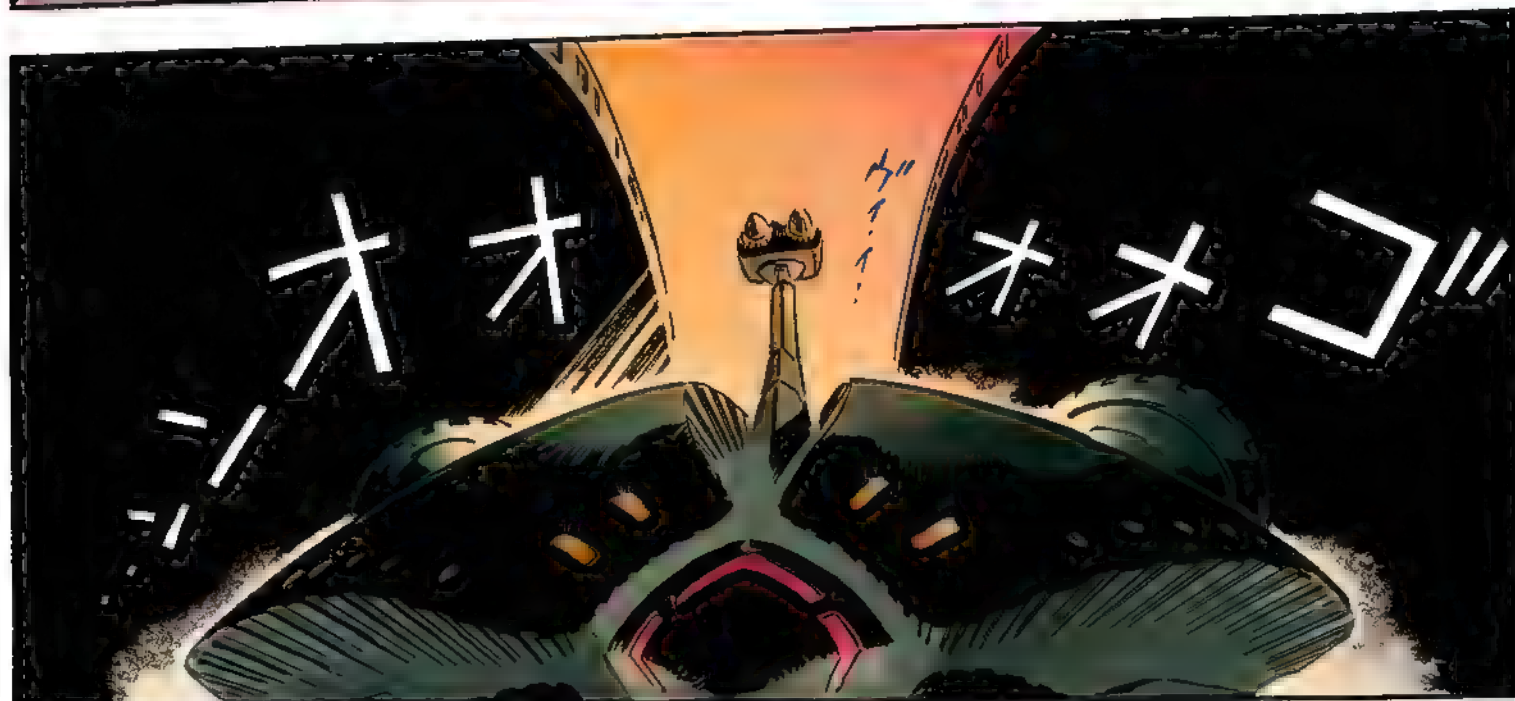
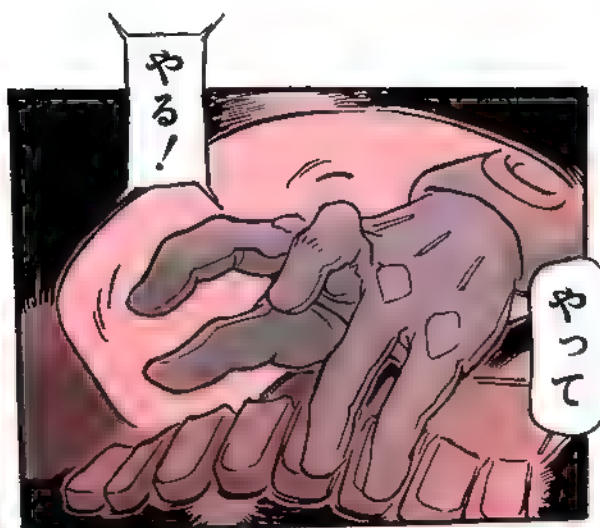
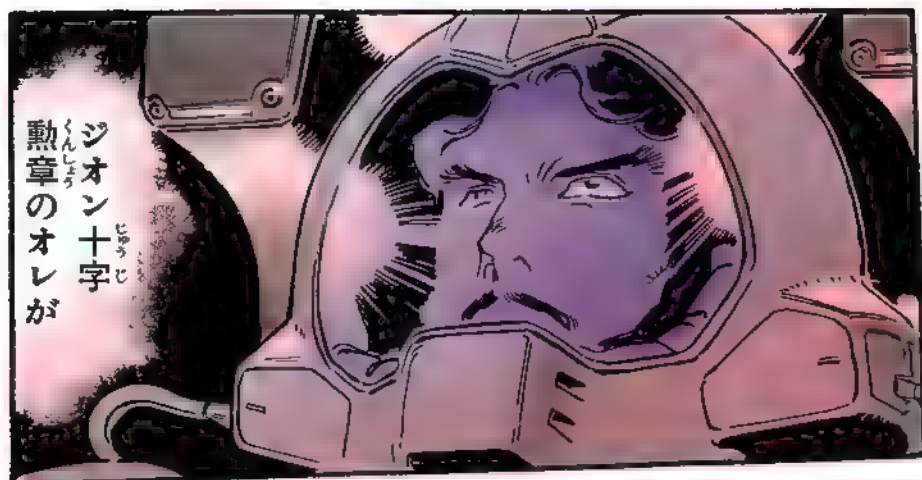
ゲートに  
せつせん  
接近!  
異状  
なし!



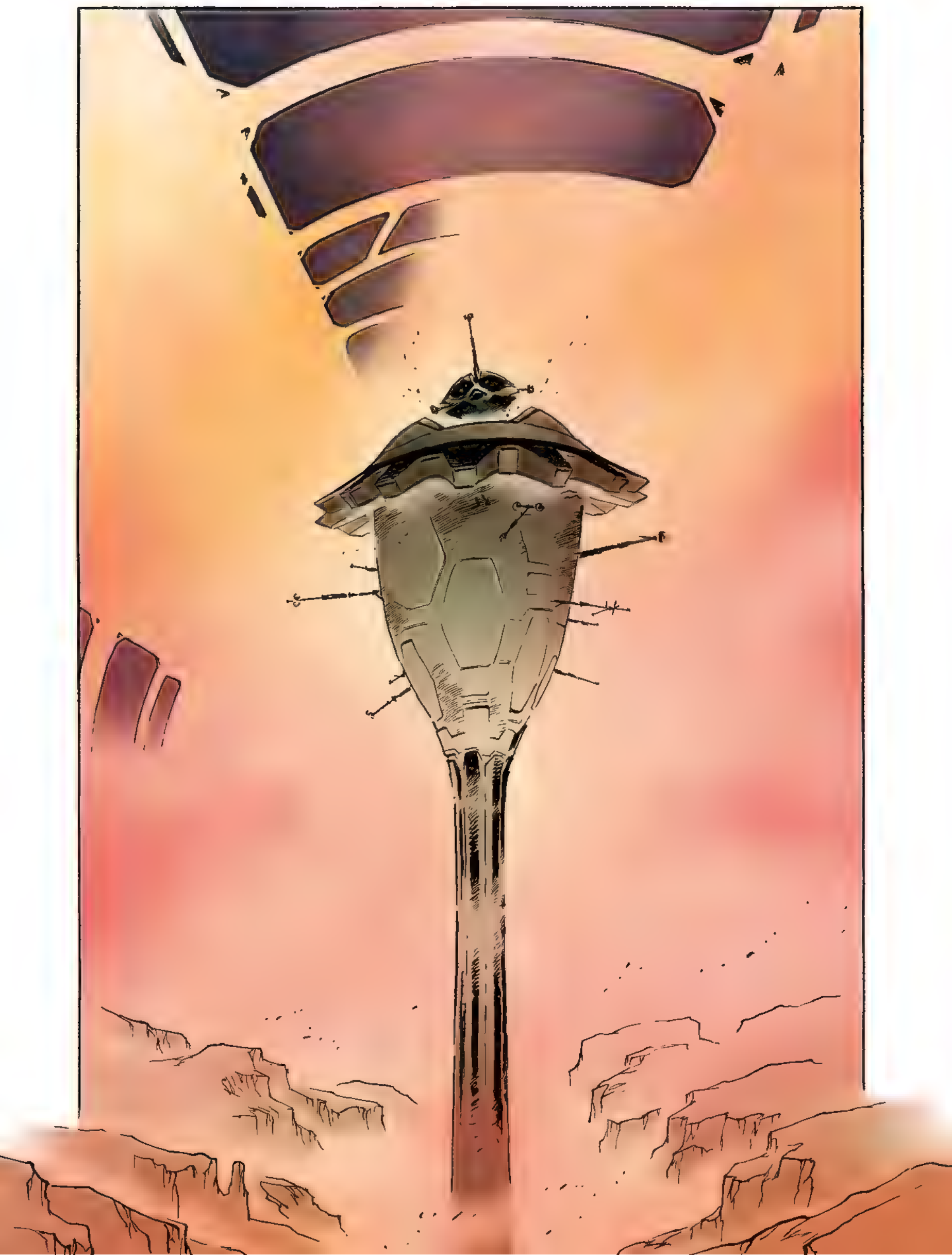












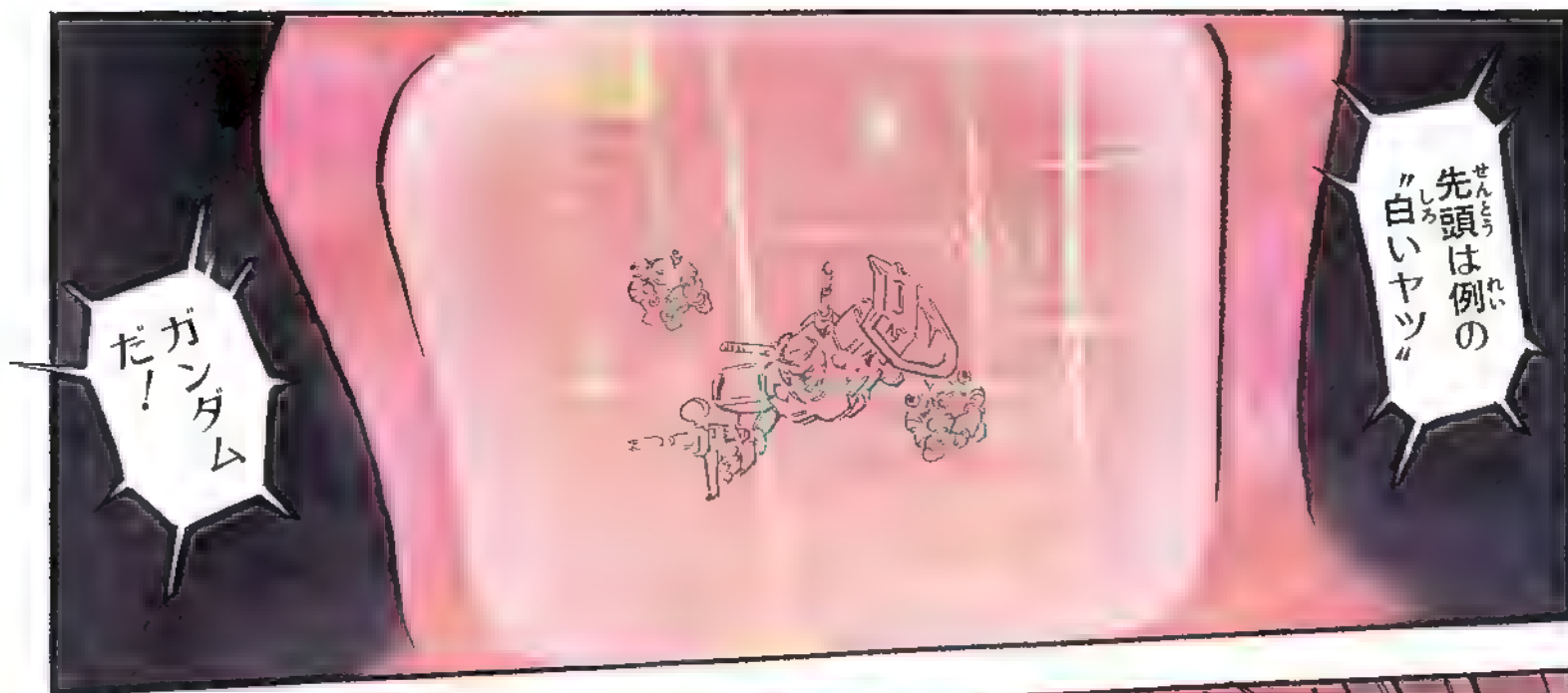




— ララァ編・後 —

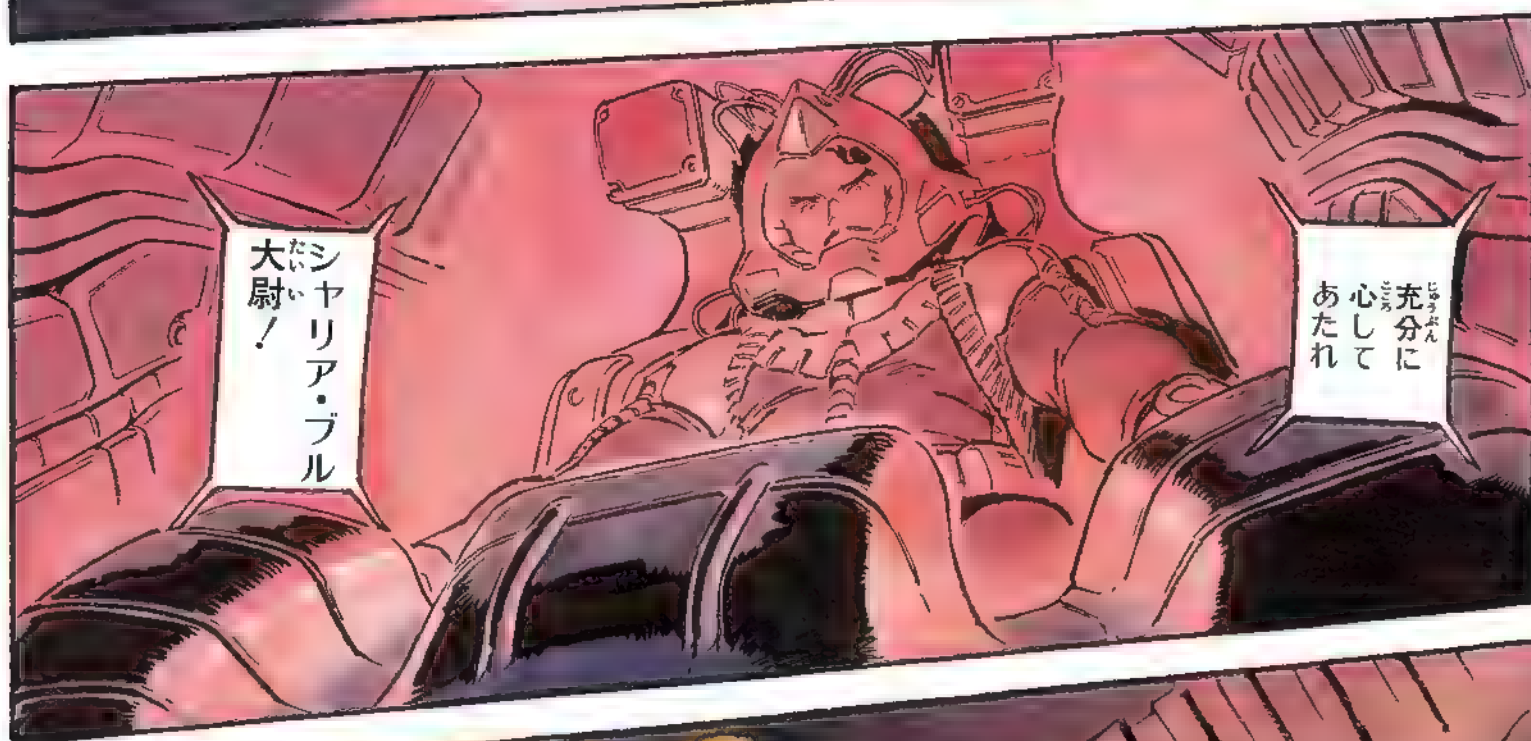
SECTION  
VII





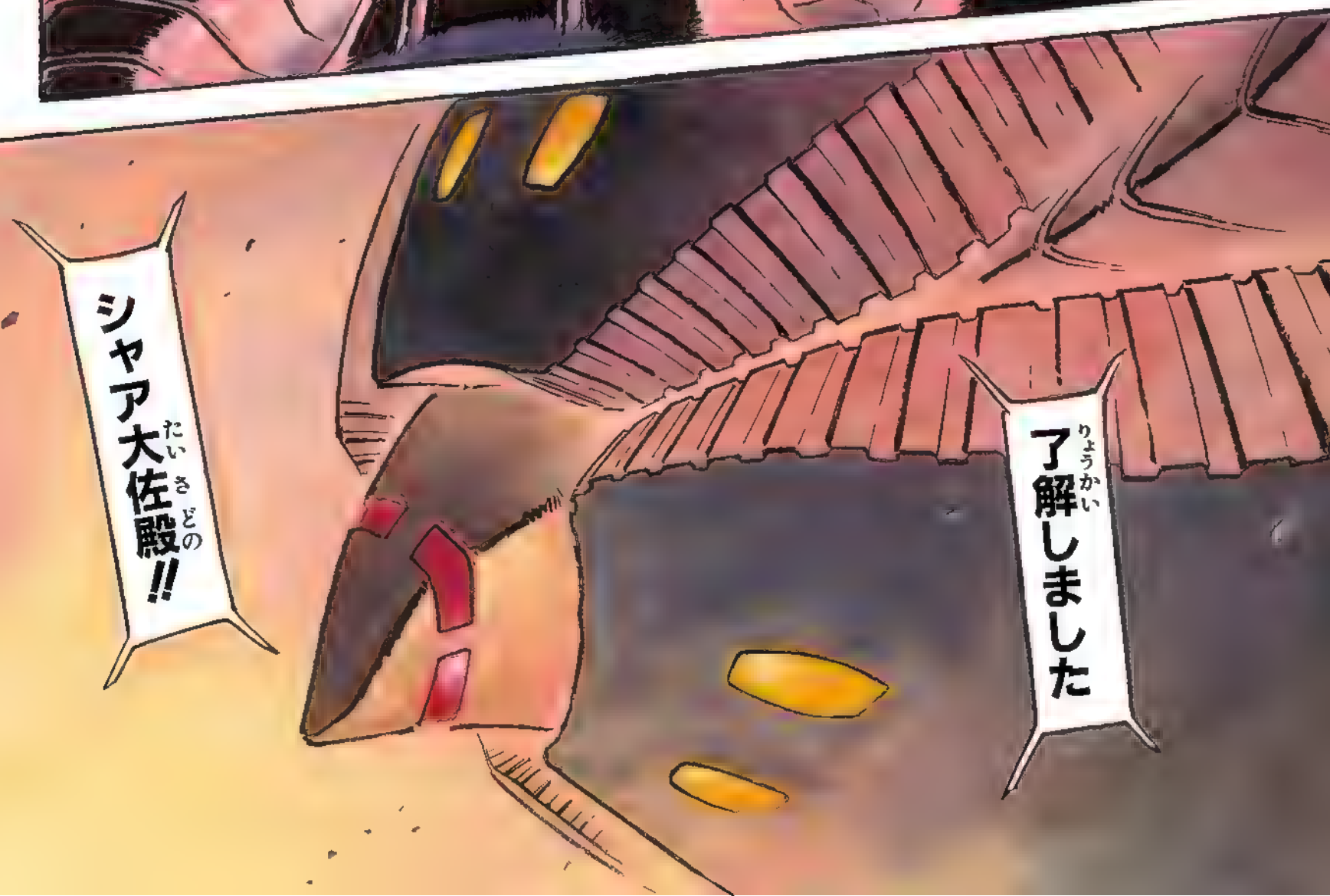
ガンダム  
だ!

先頭は例の  
白いヤツ



シャリア・ブル  
大尉!

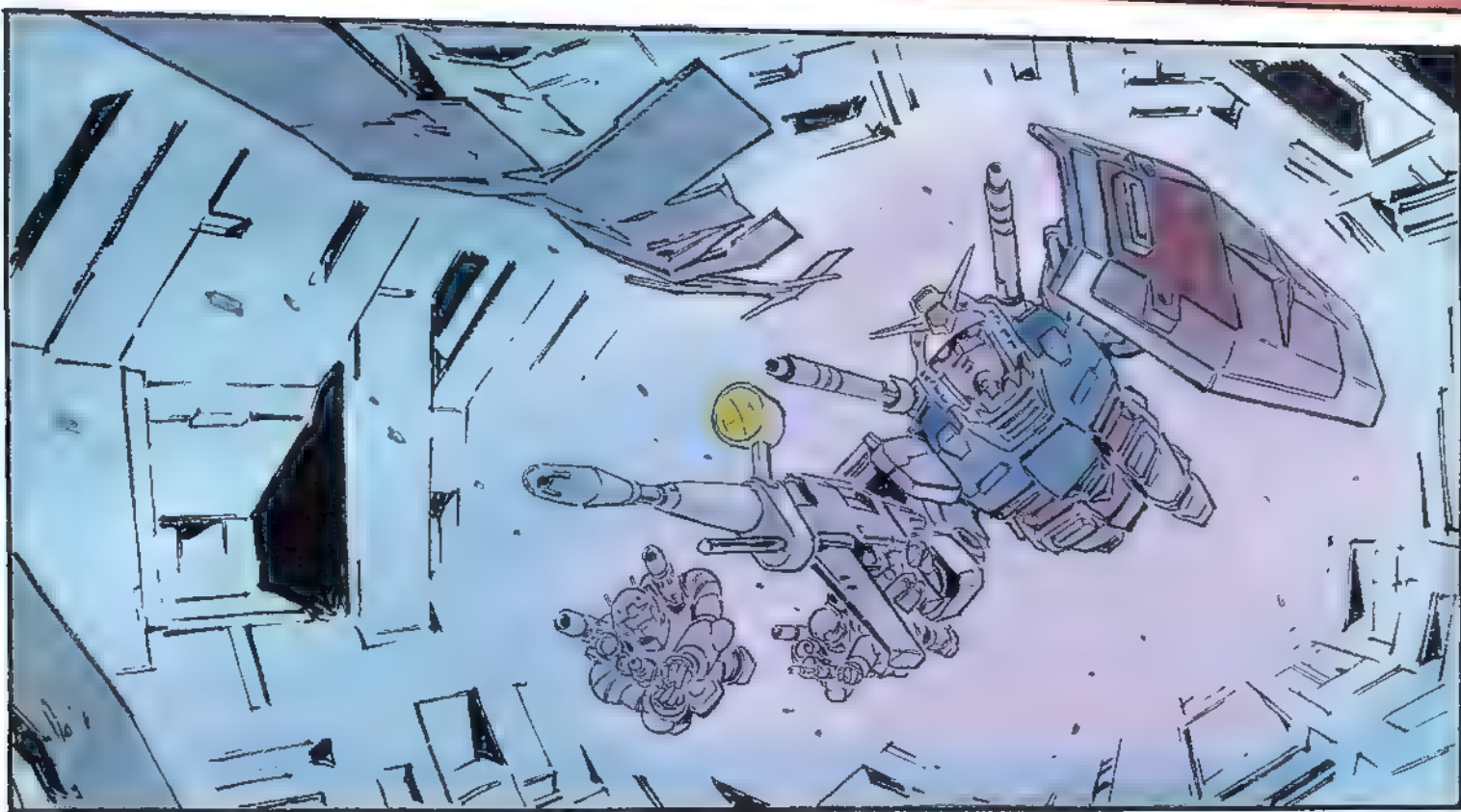
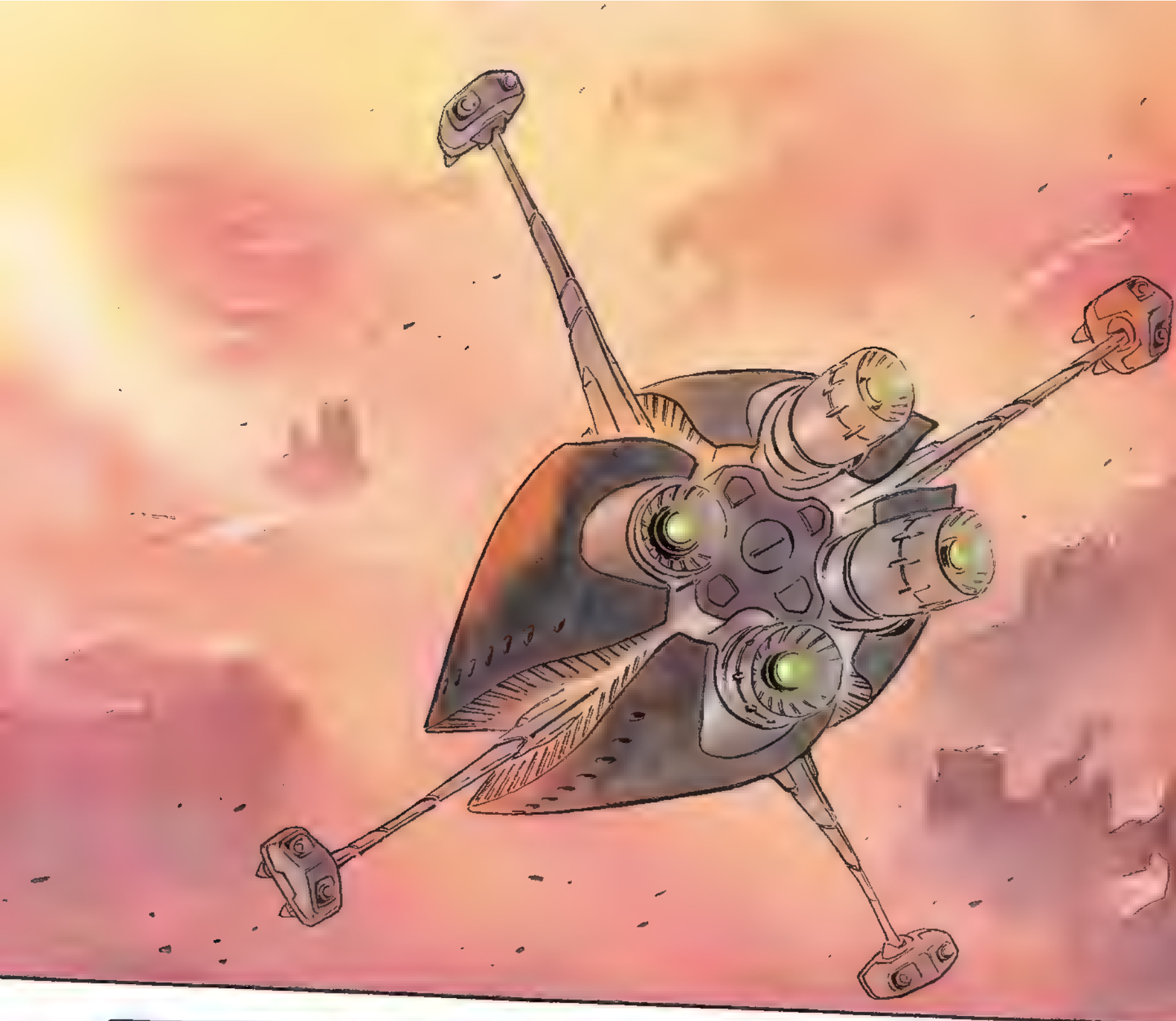
充分に  
心して  
あたれ



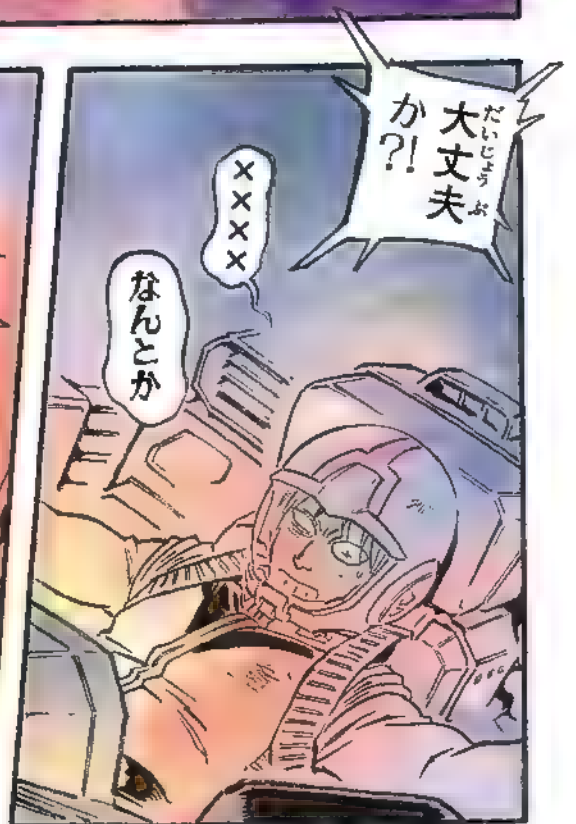
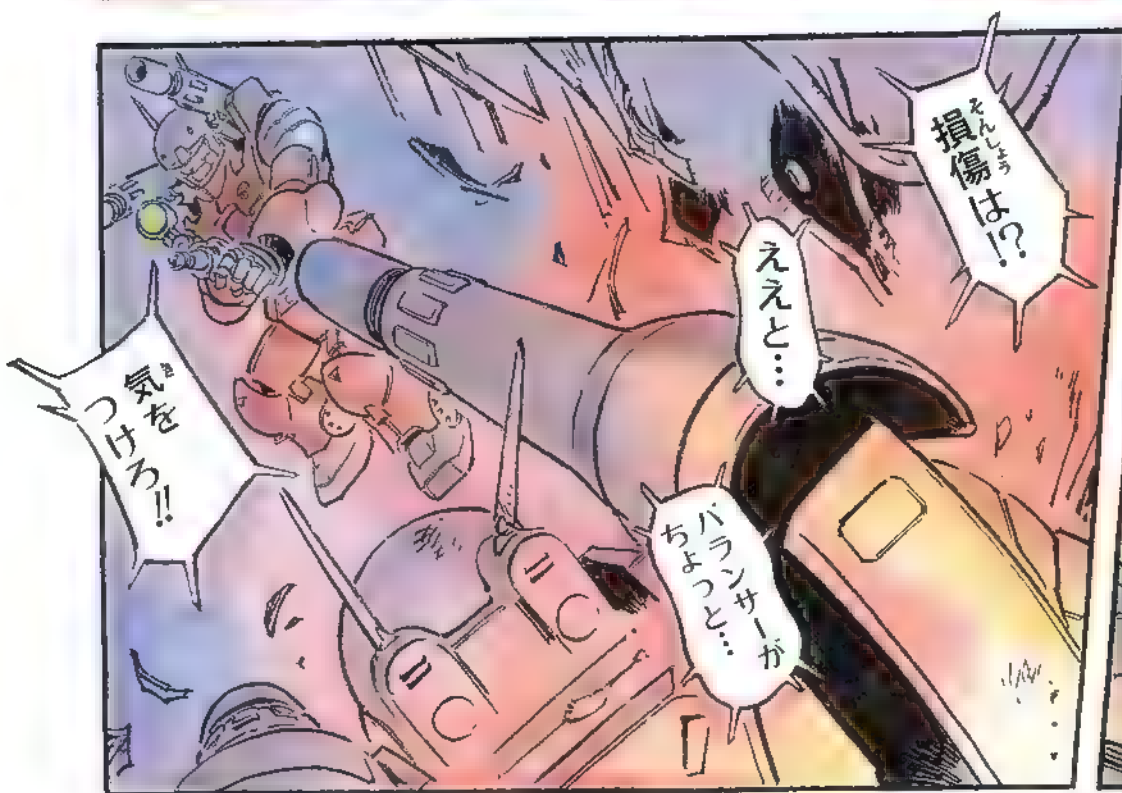
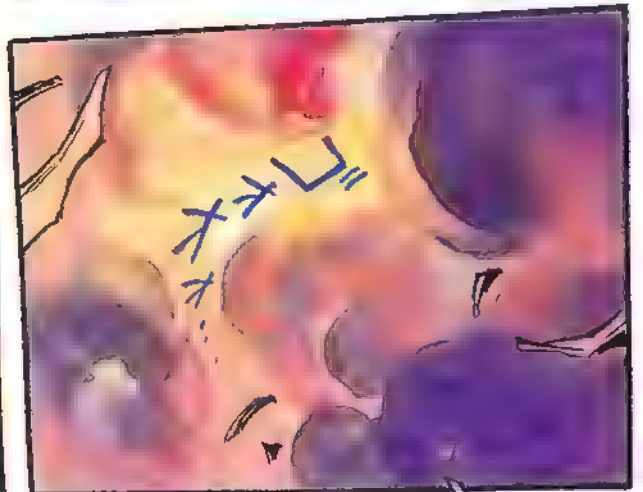
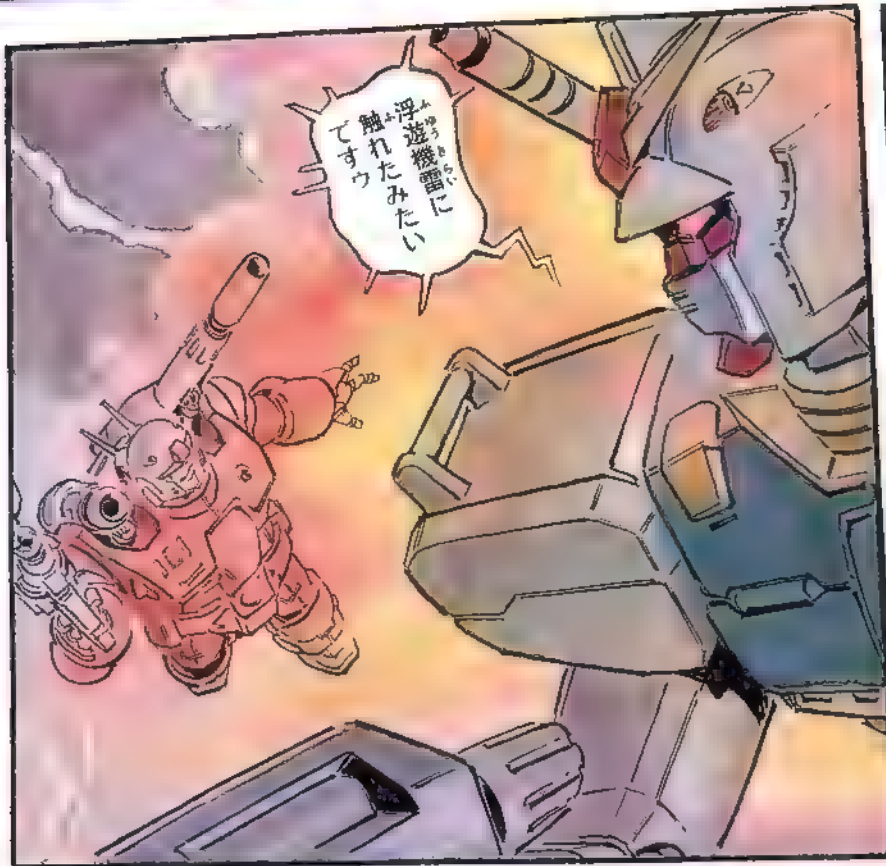
シャア大佐殿!!

了解しました

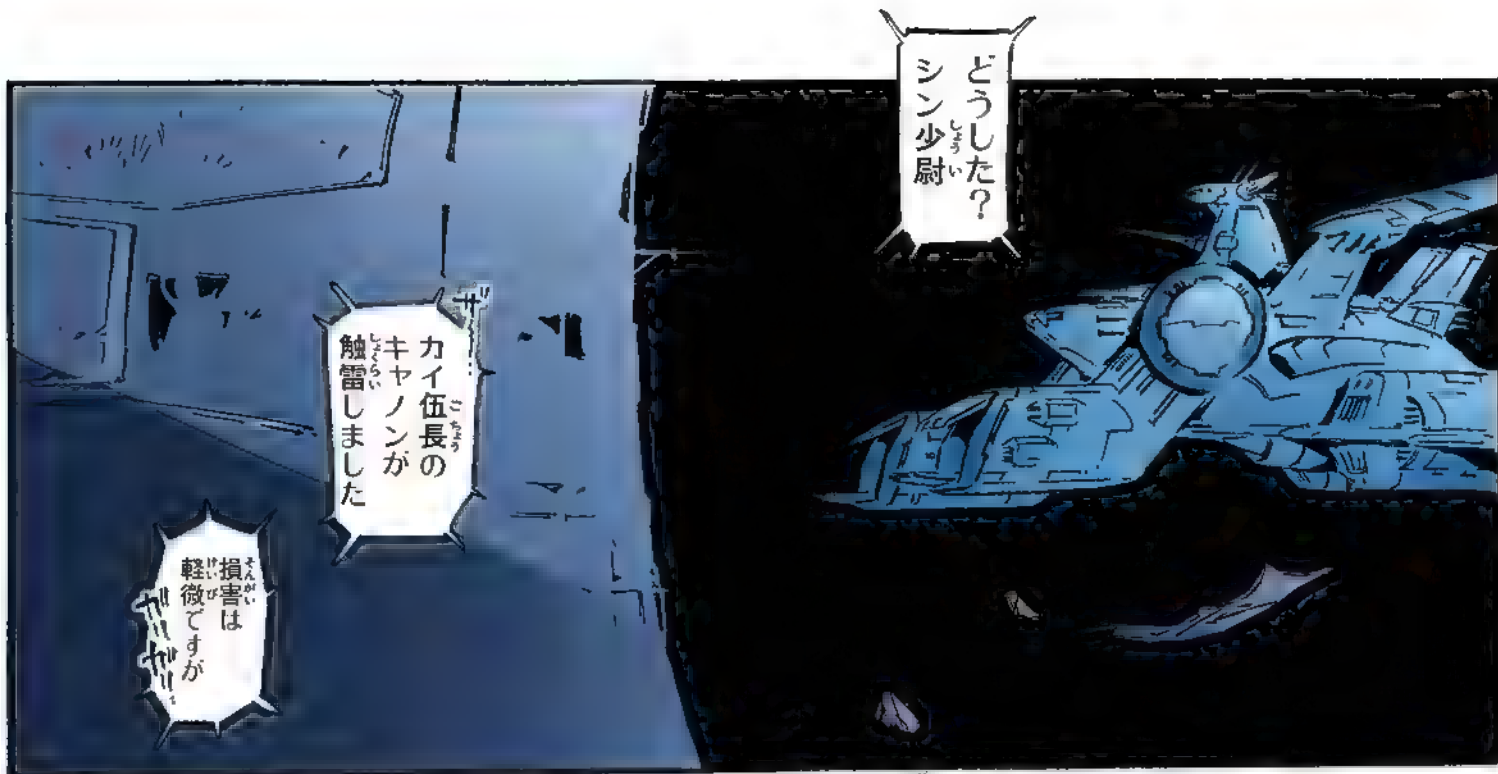








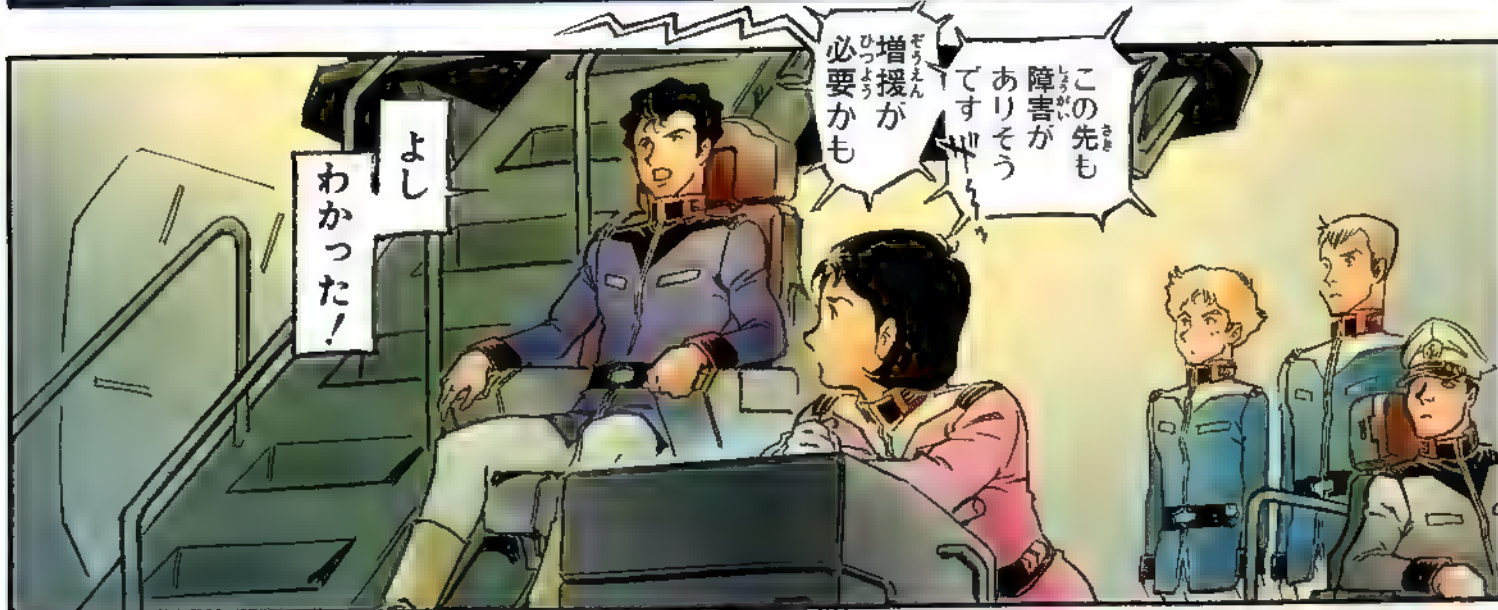




どうした？  
シン少尉

カイ伍長の  
キヤノンが  
触雷しました

損害は  
軽微ですが  
ヤヤヤ



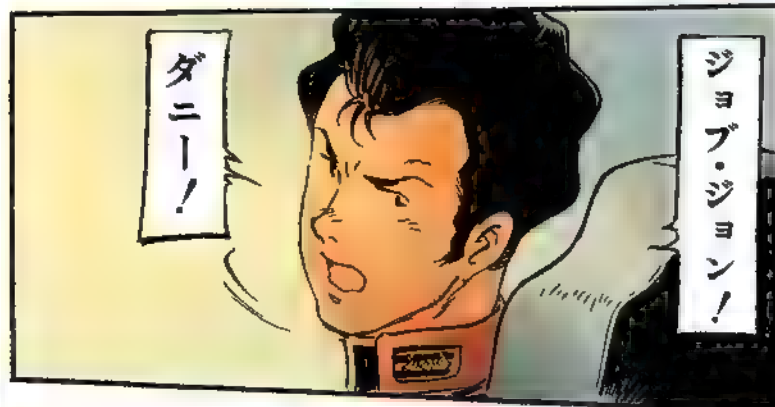
この先も  
障害が  
ありそう  
です  
増援が  
必要かも

よし  
わかった！



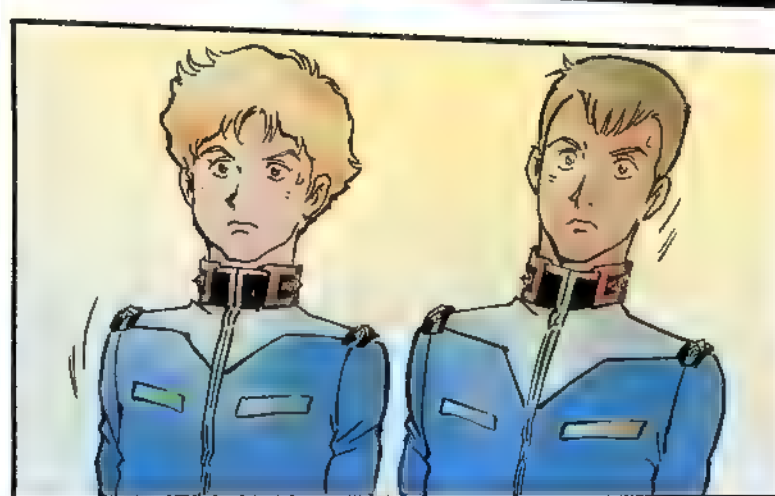
総力を挙げて  
このコロニーを  
制圧する！

ただちに  
発進して  
シン小隊に  
合流しろ！

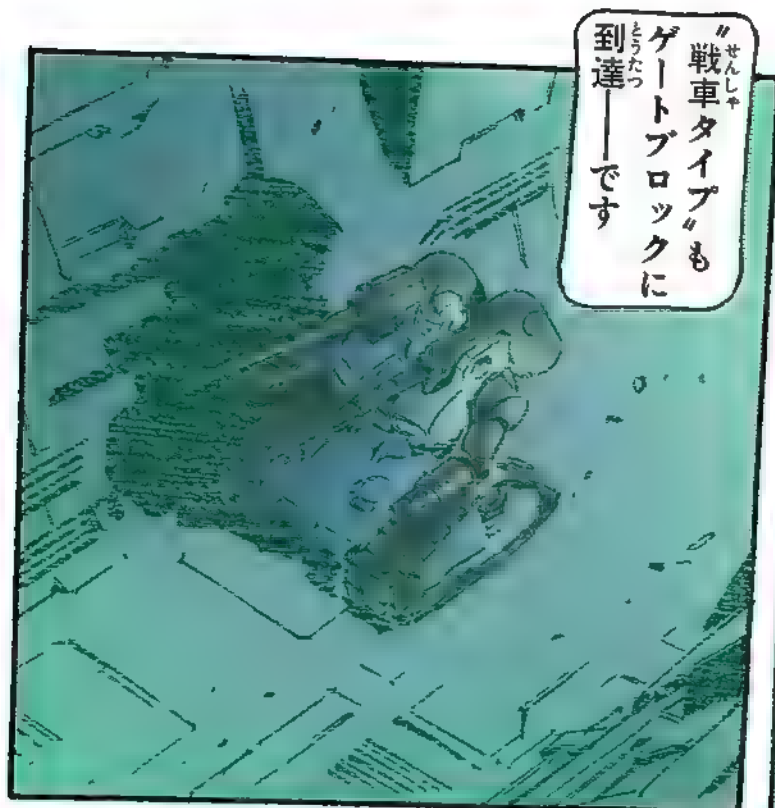


ジョブ・ジョン！

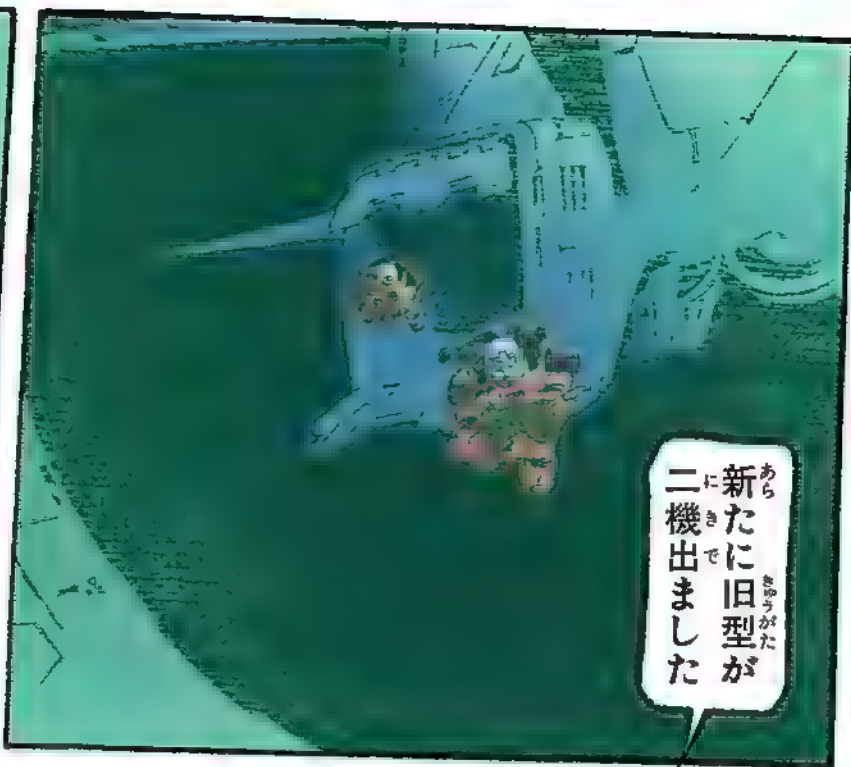
ダニー！







戦車タイプも  
ゲートブロックに  
到達——です

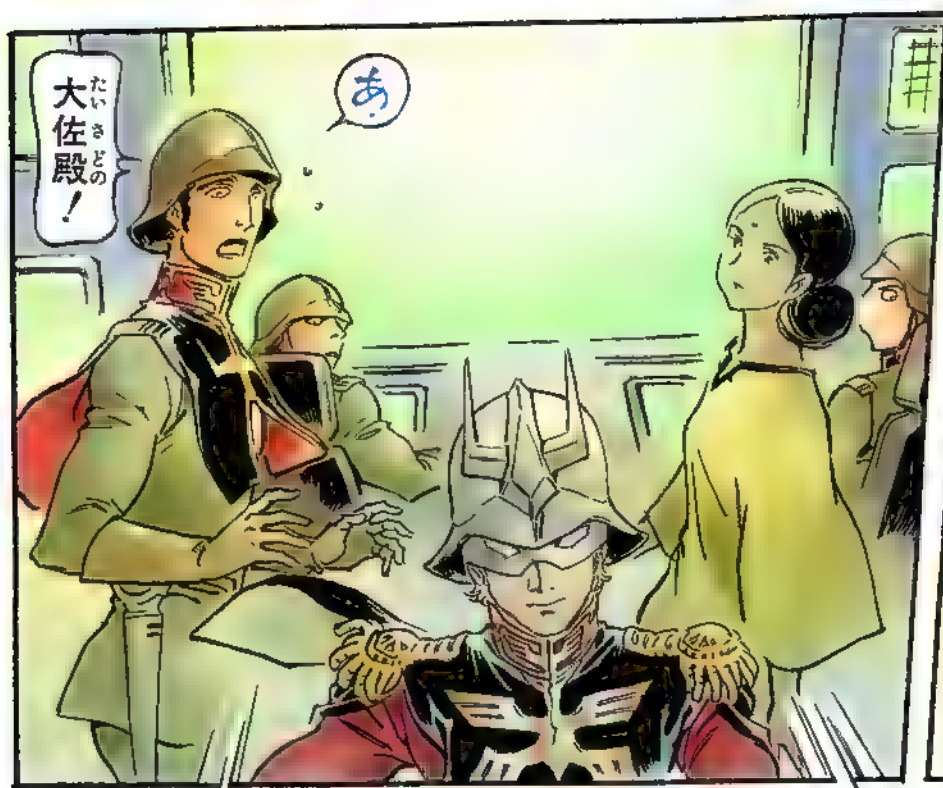


あら  
新たに旧型が  
二機出ました



木馬は持っている  
戦力のほとんど全てを  
投入してきたようです

ふううん……



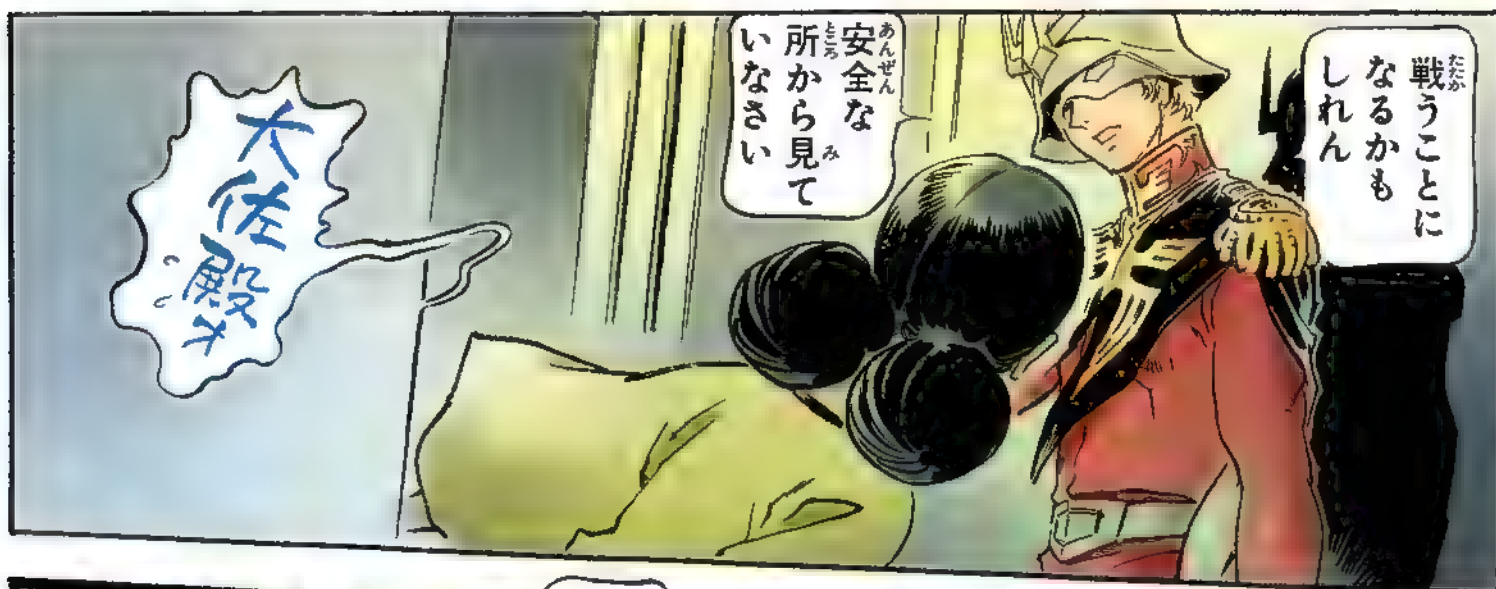
たいさどの  
大佐殿！

あ

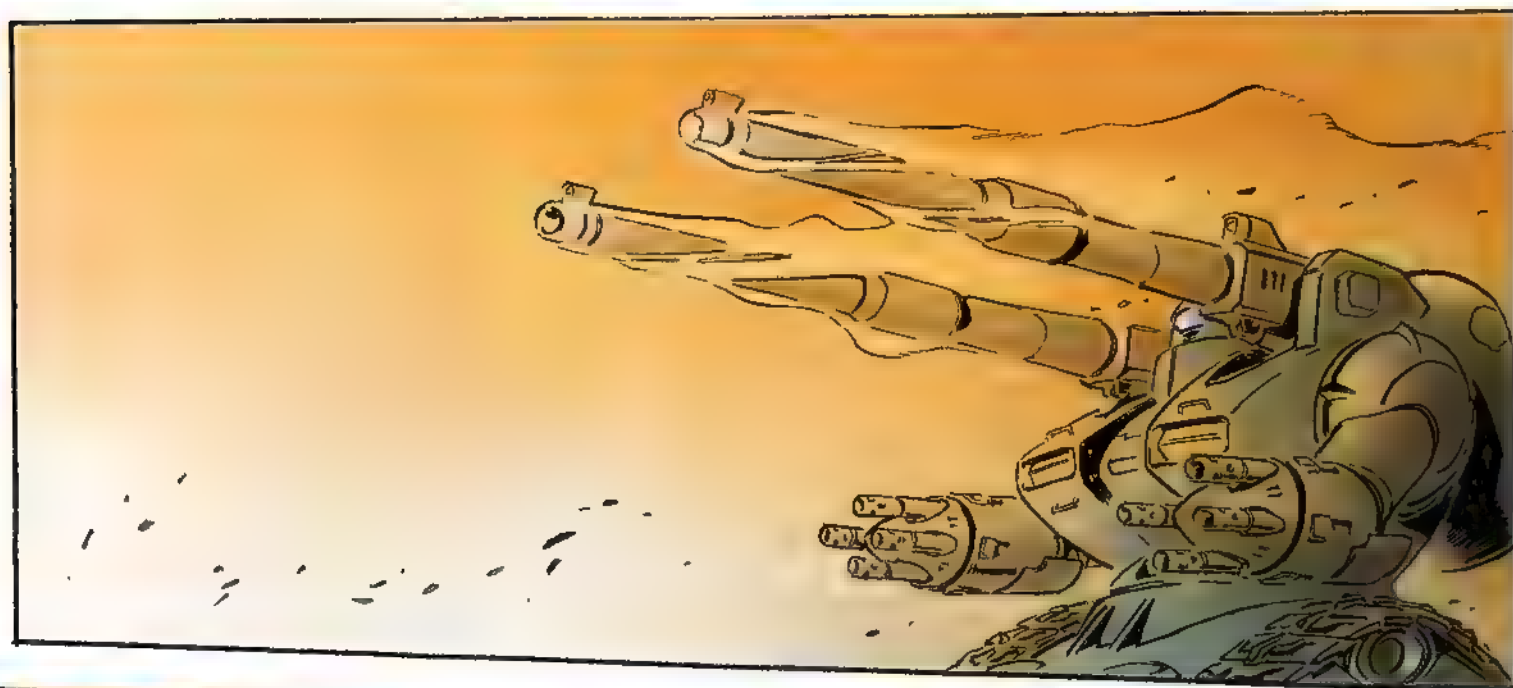
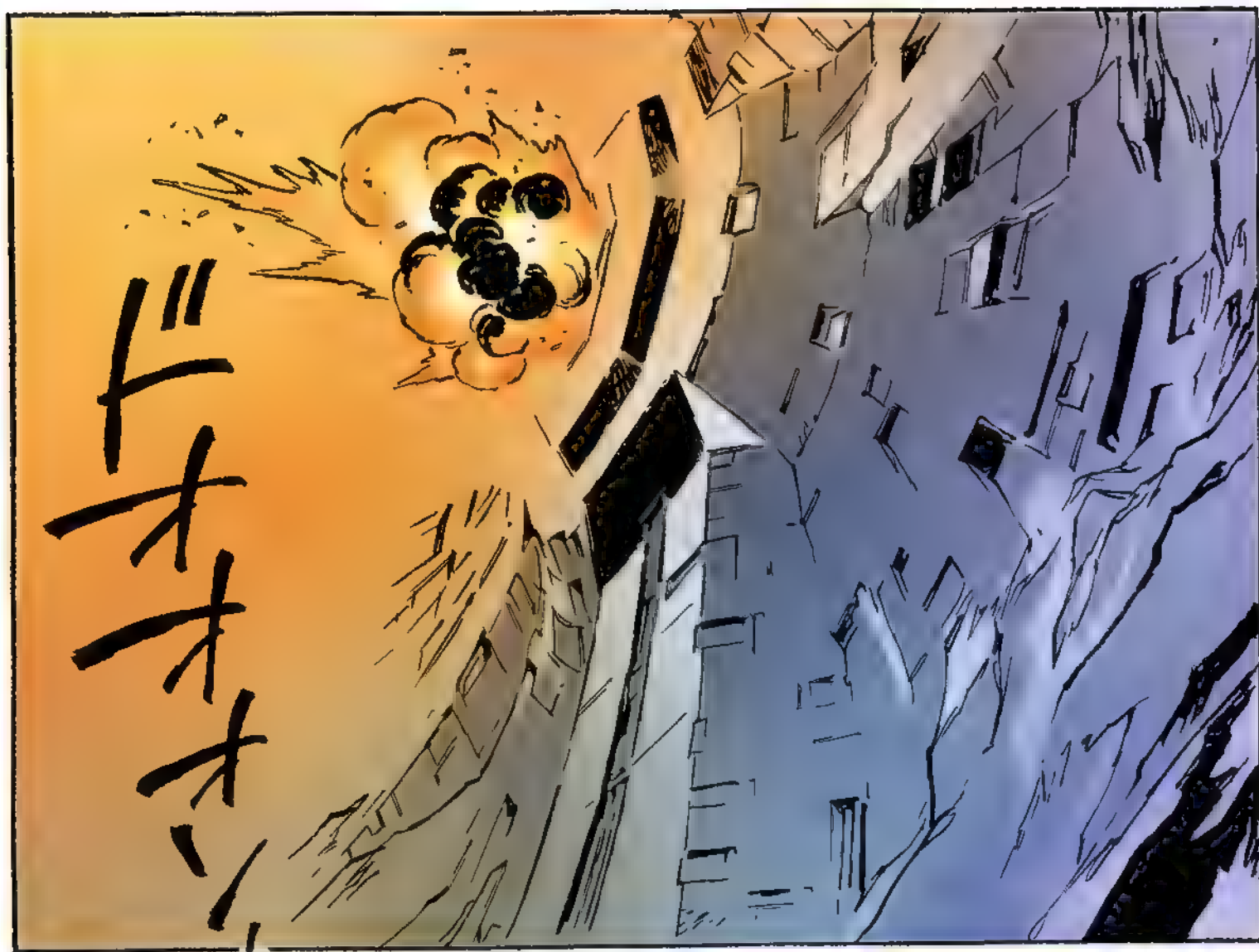


白いヤツガンダムが  
いる分大尉の手に  
余るかもしれんな

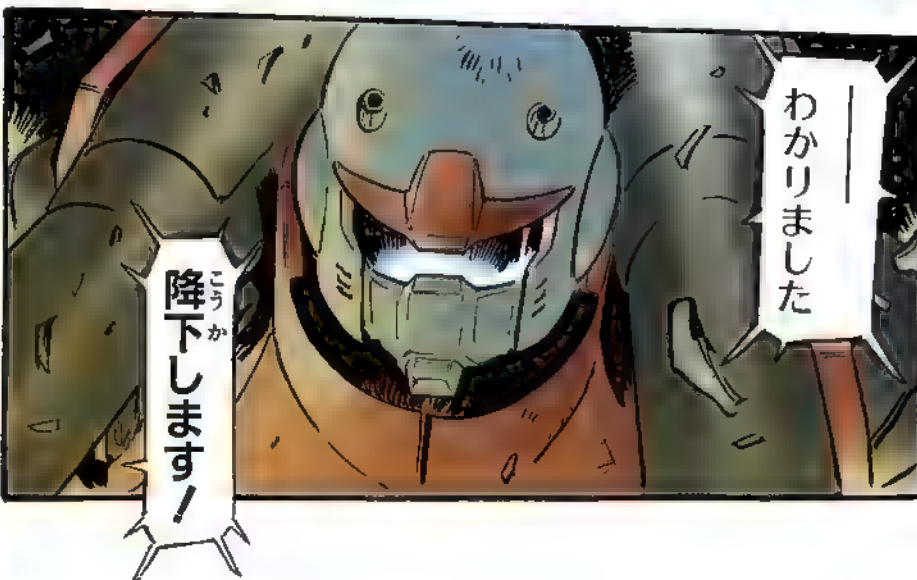
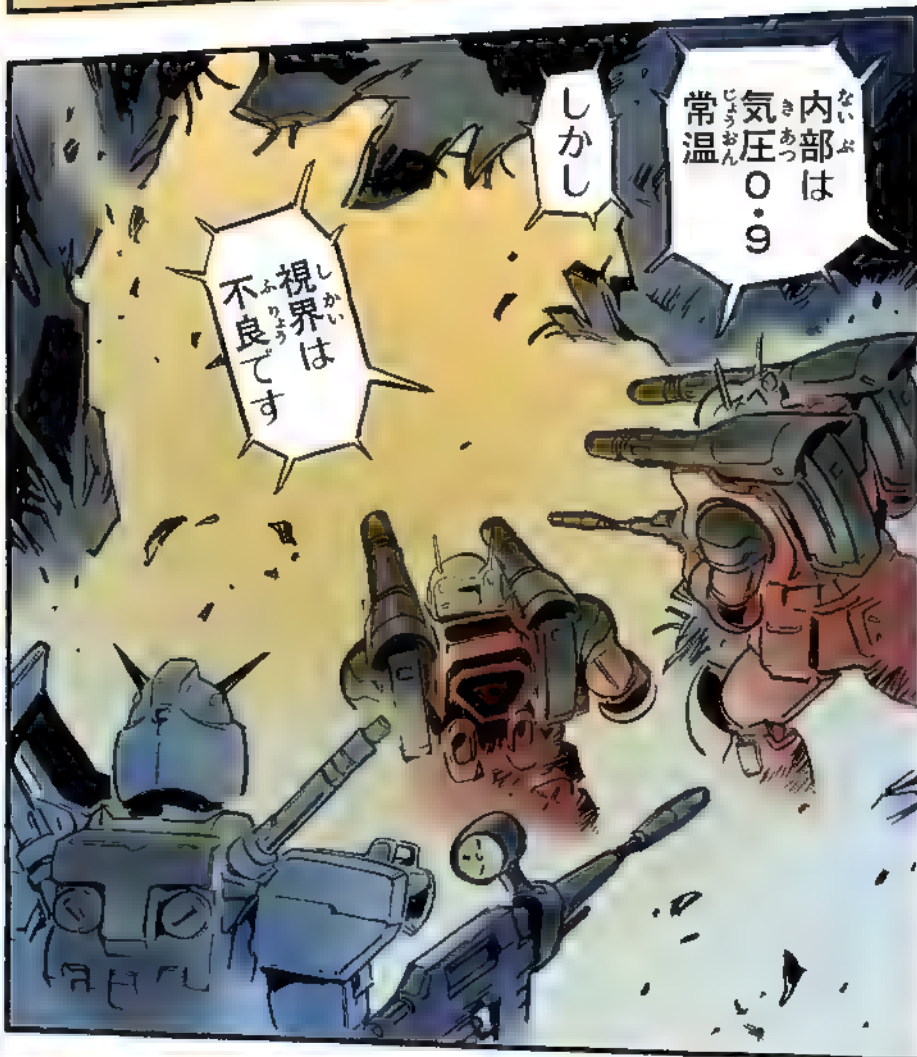
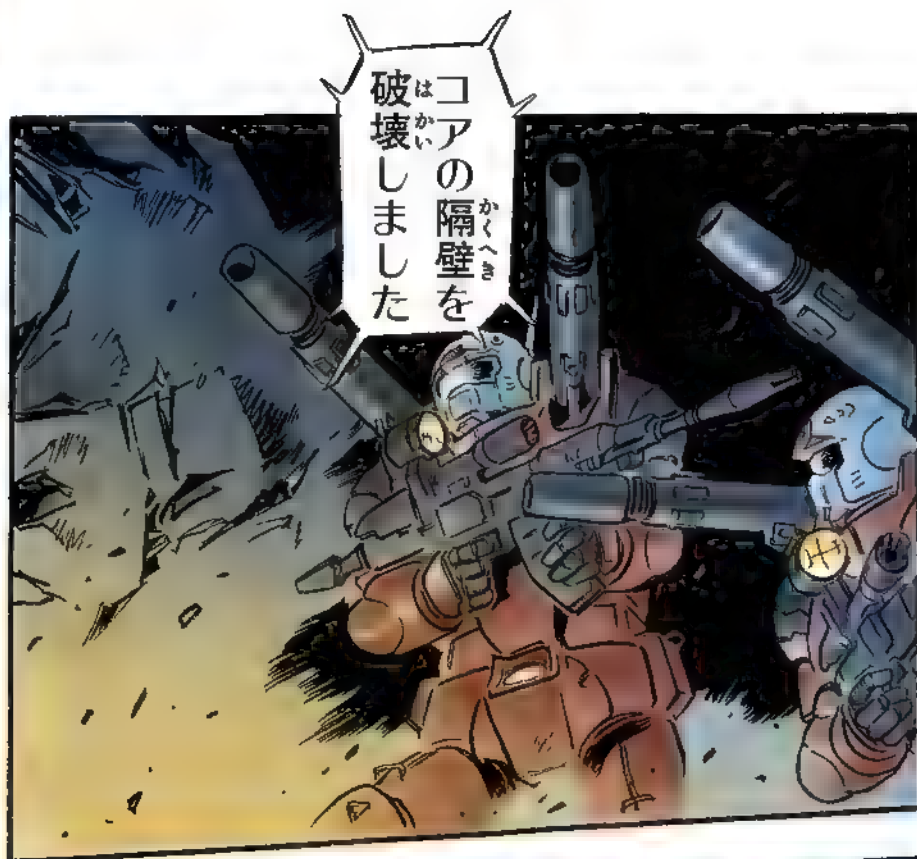




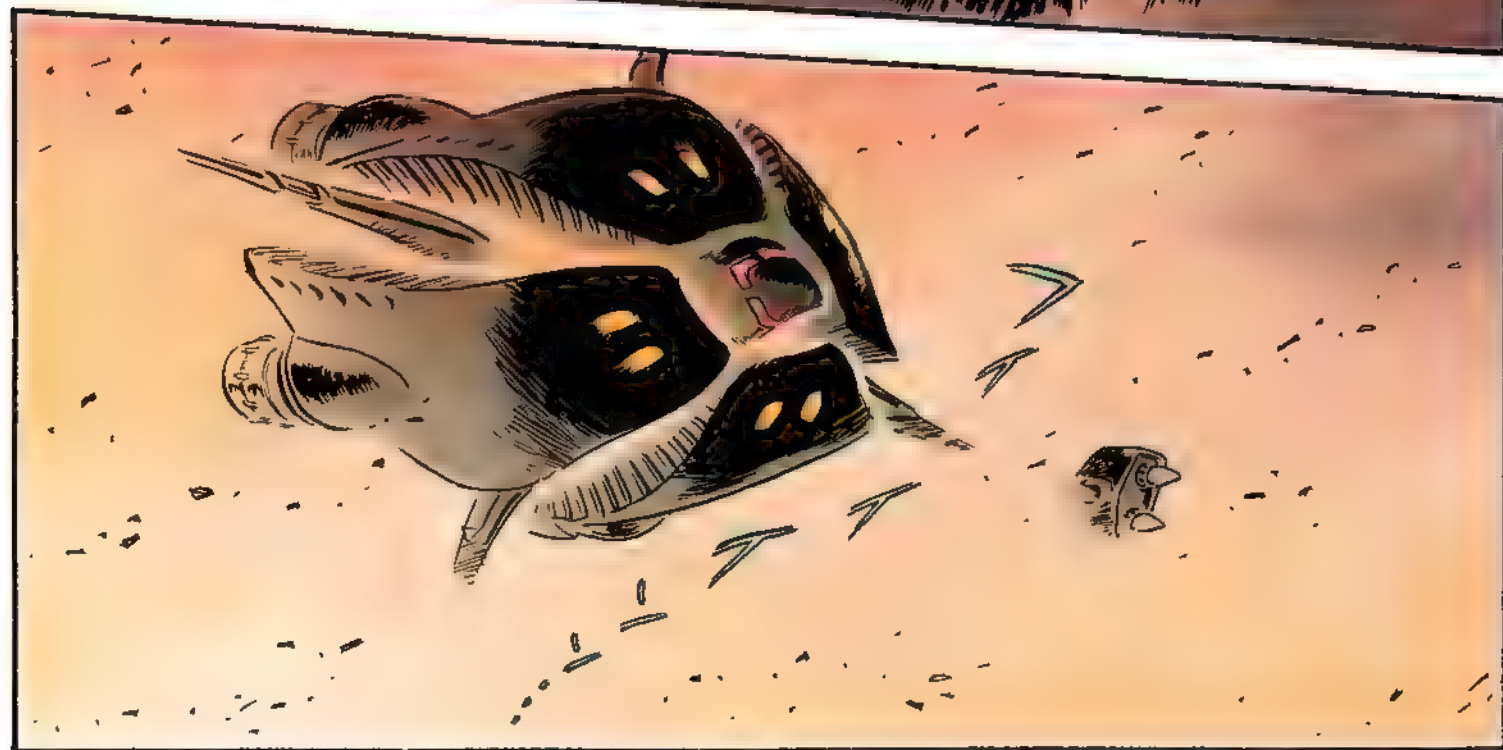
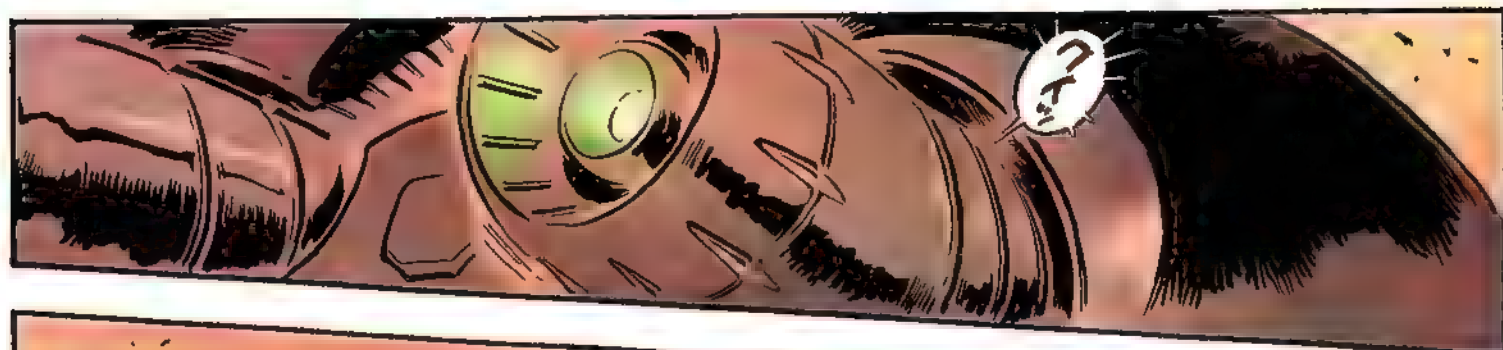
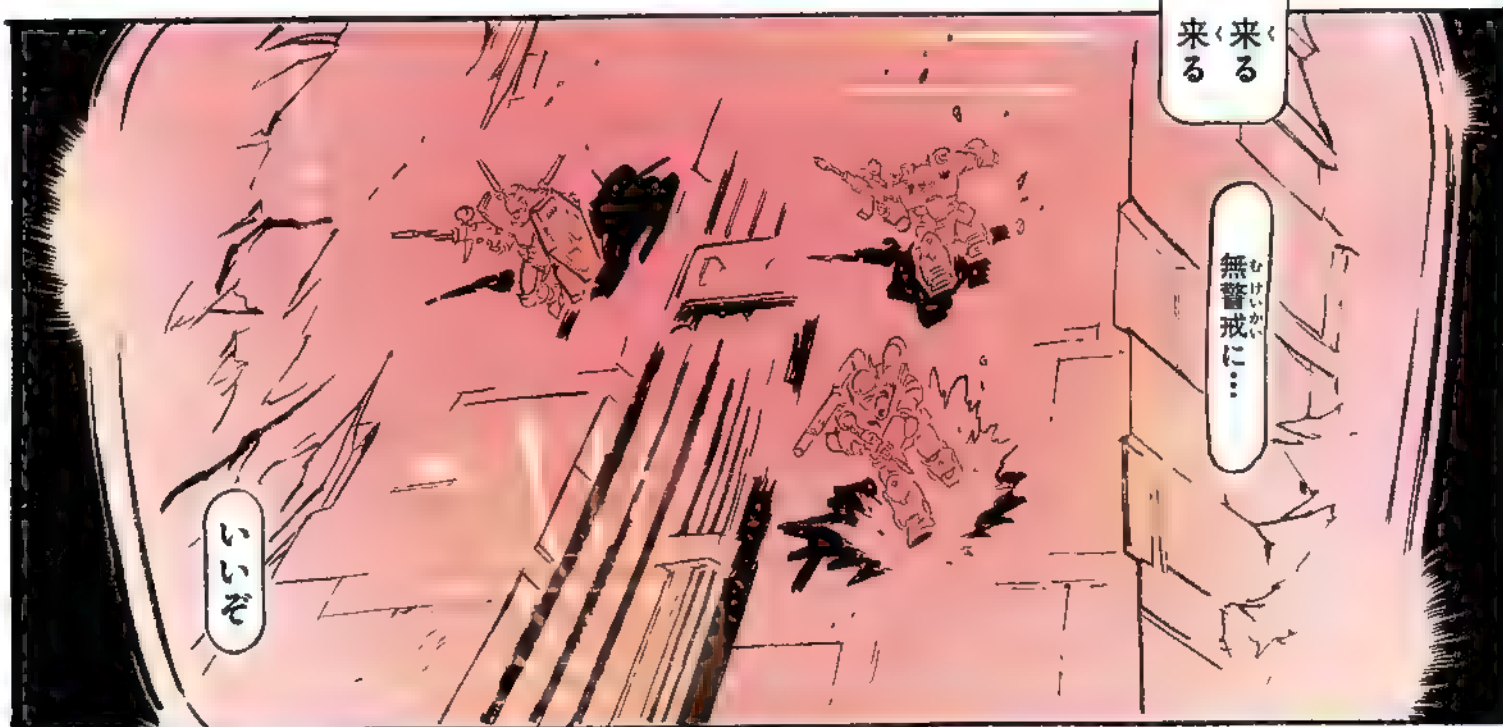
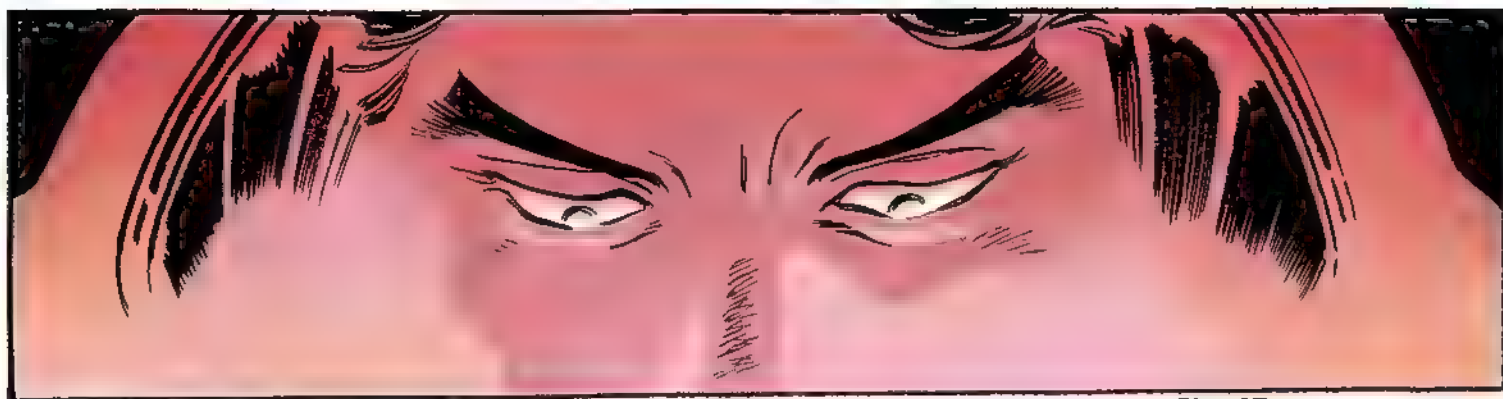




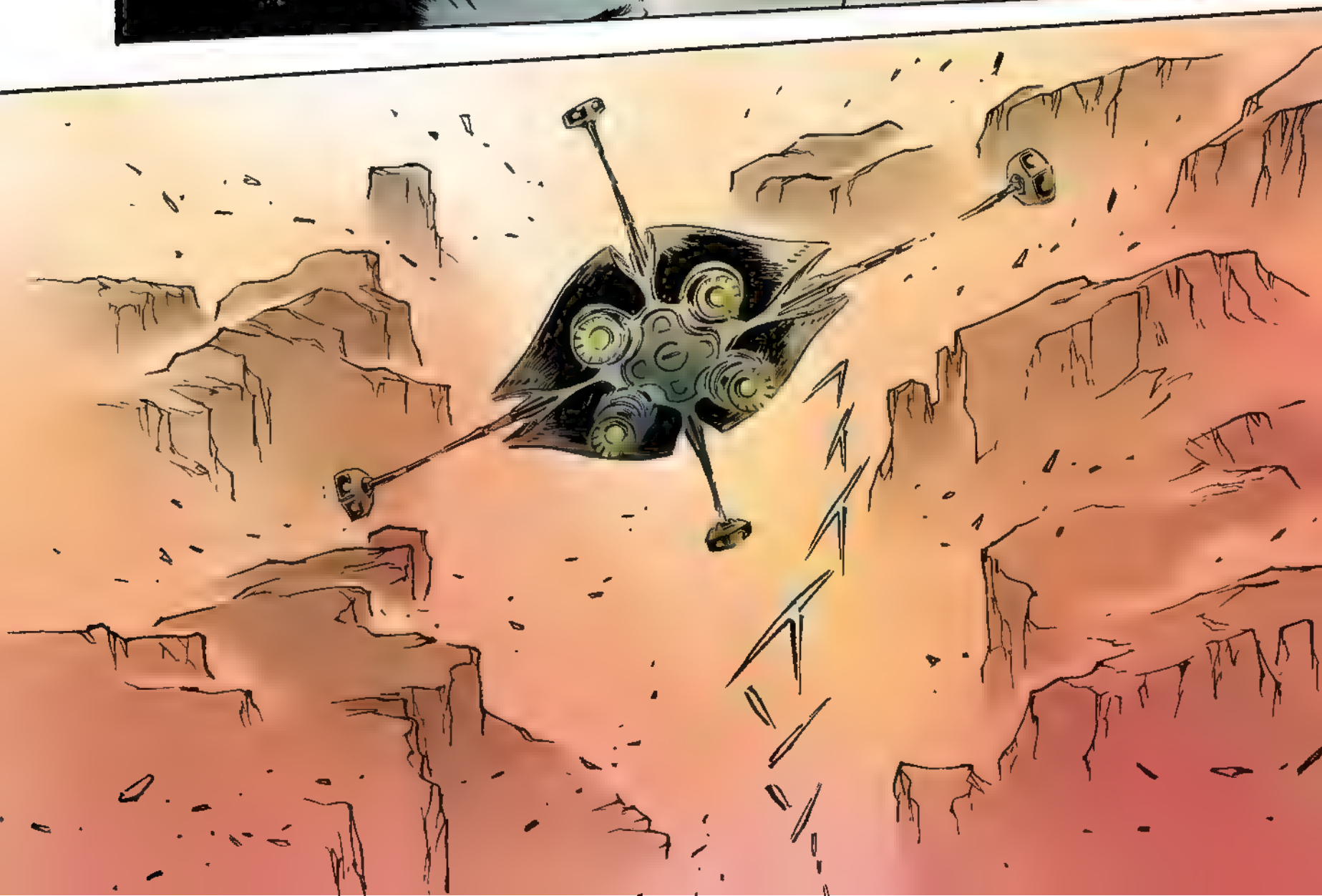
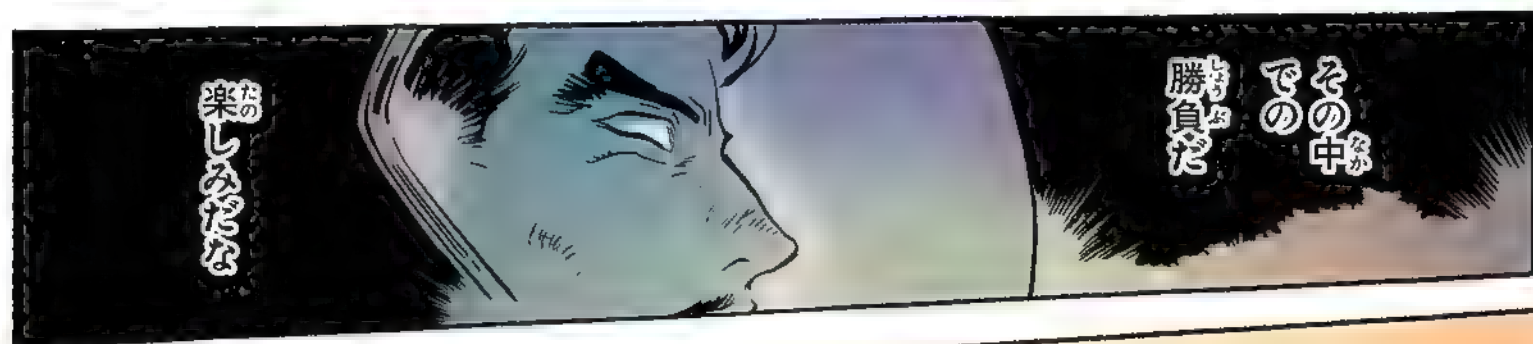
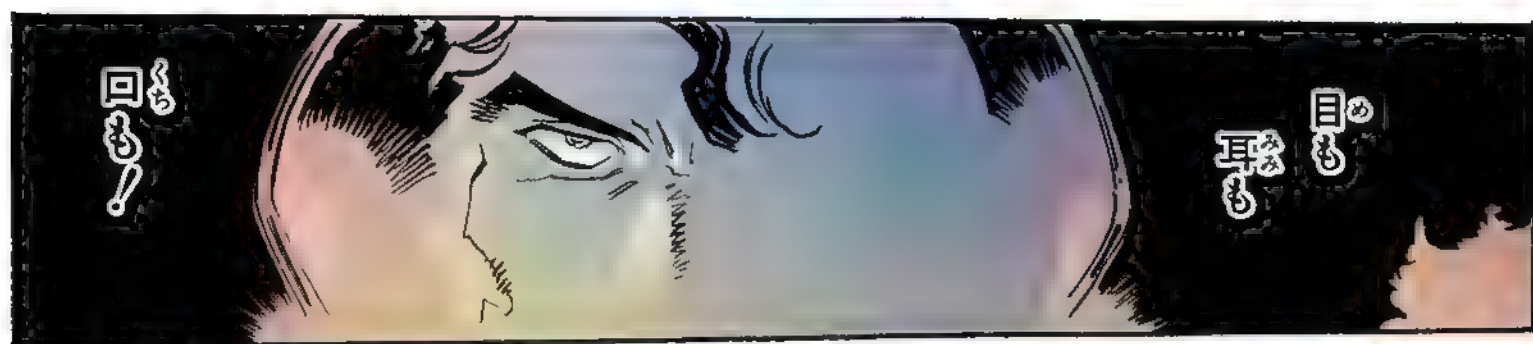
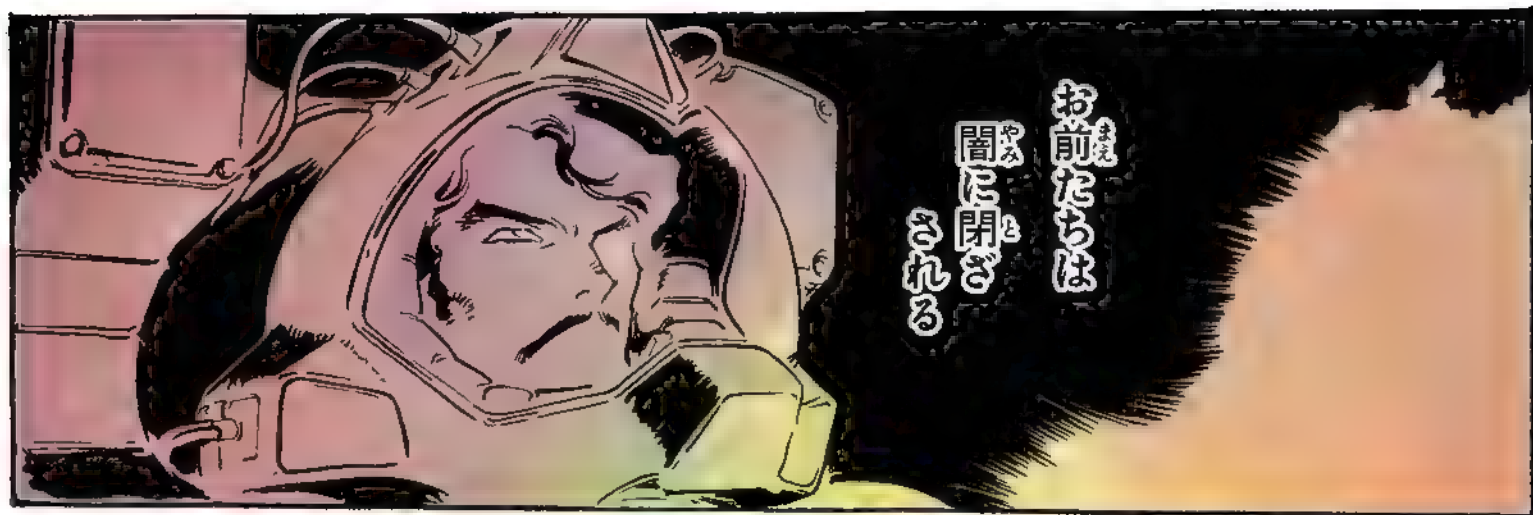




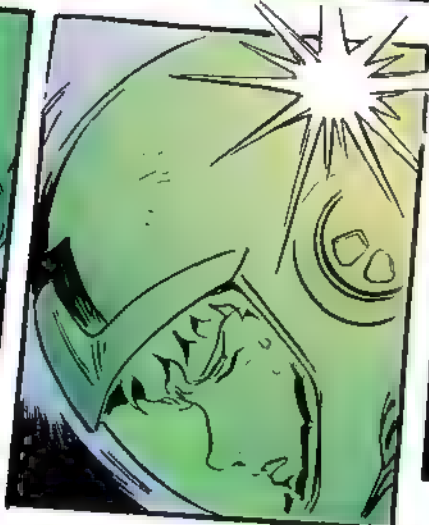
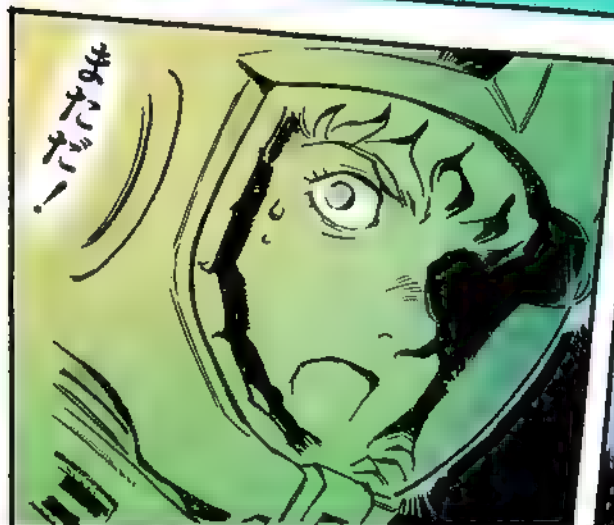
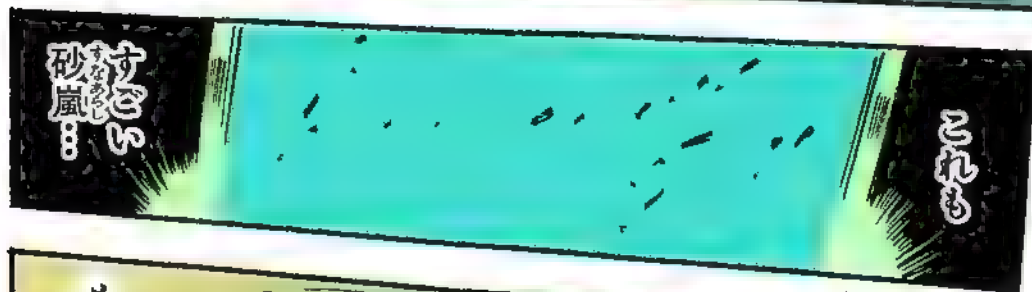
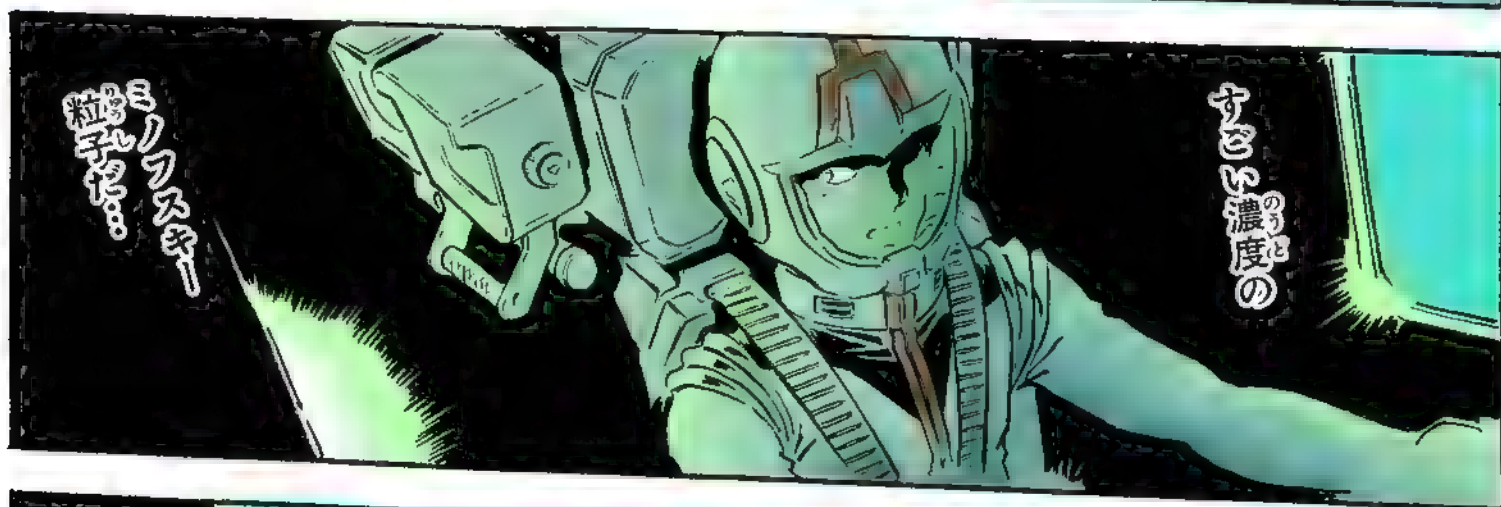
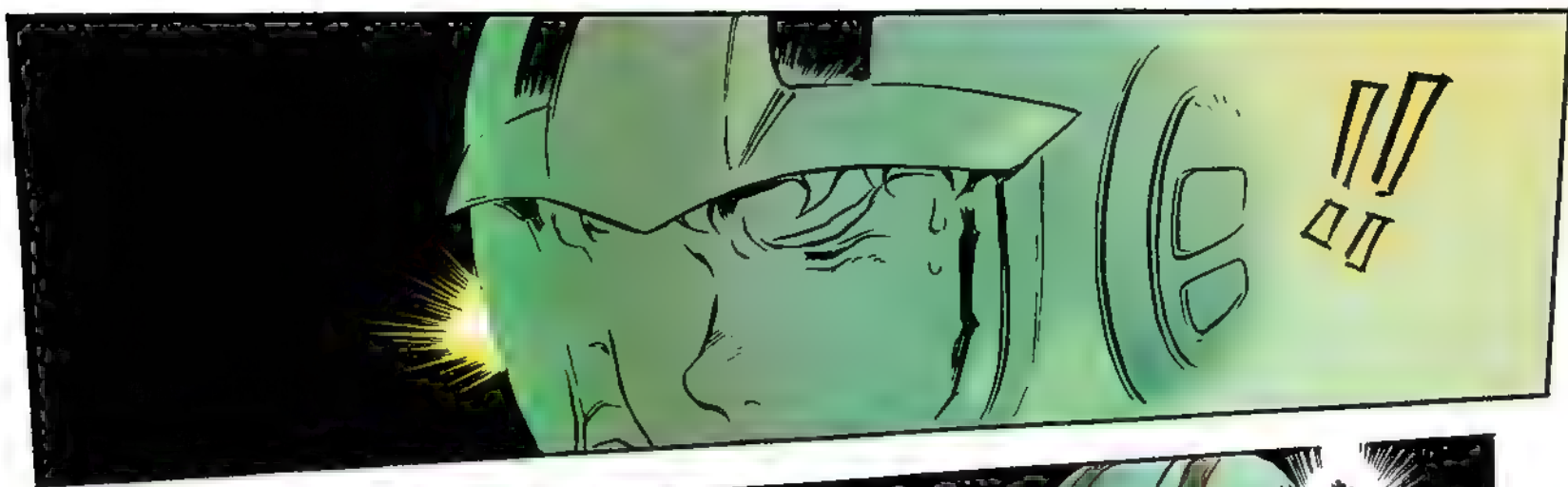




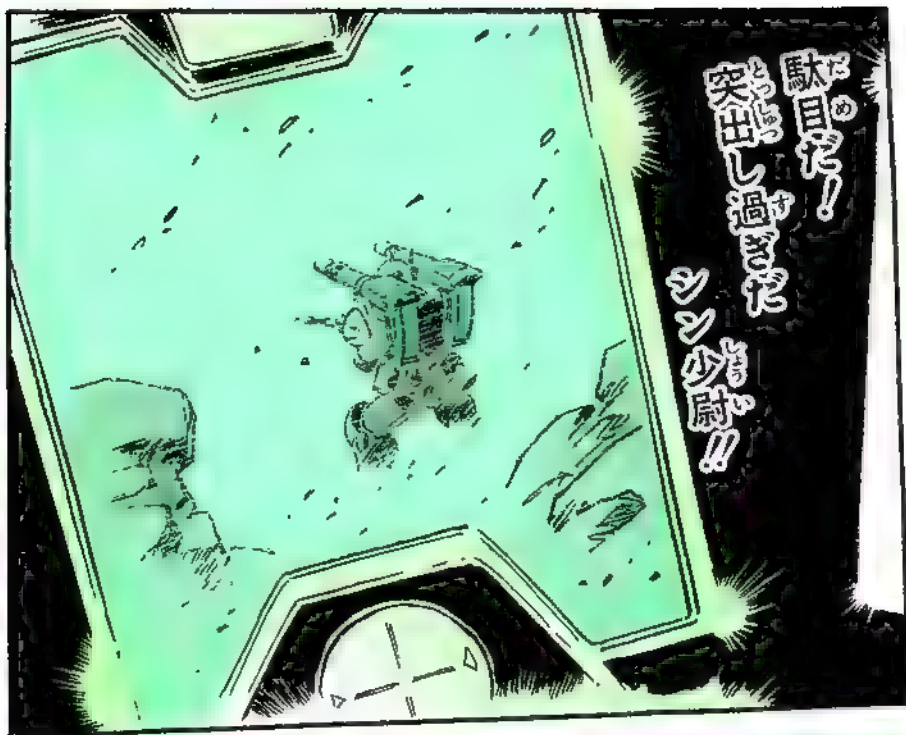








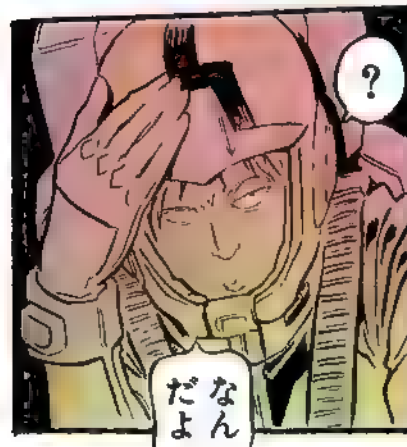
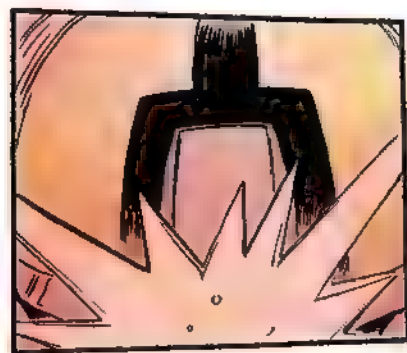
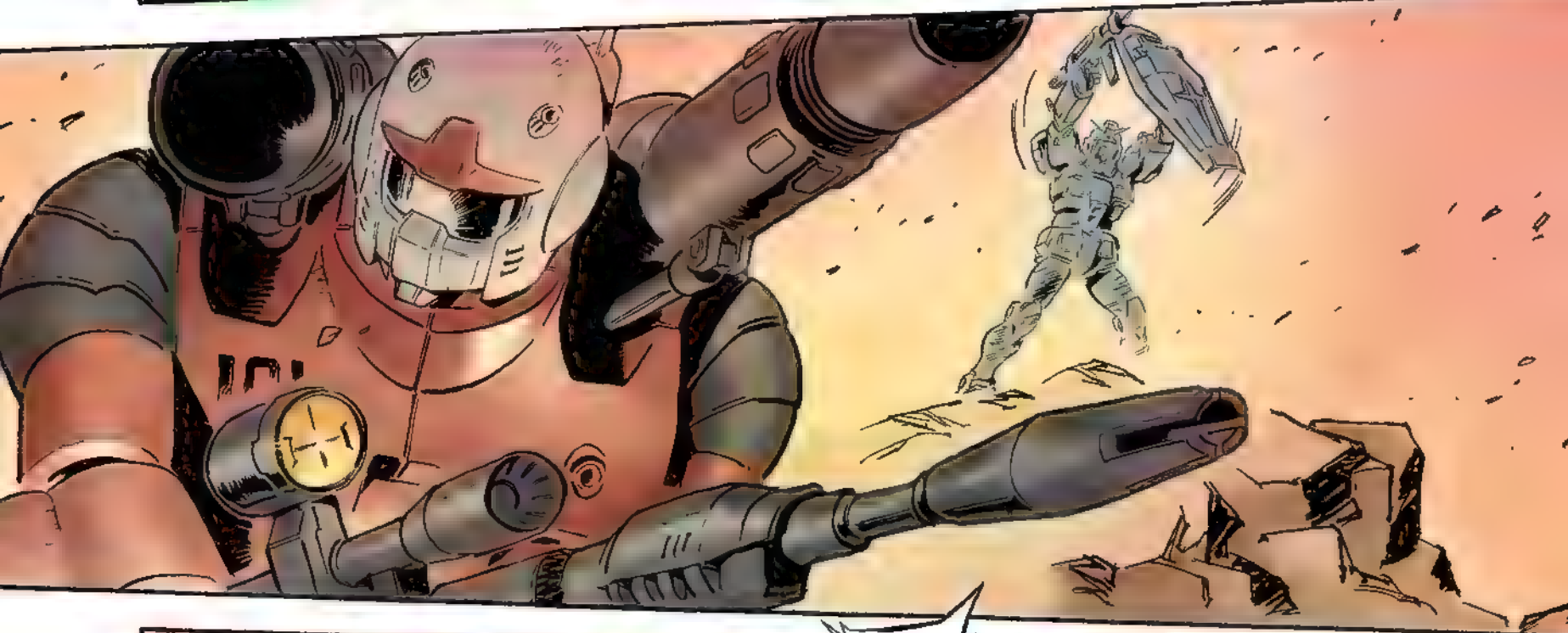




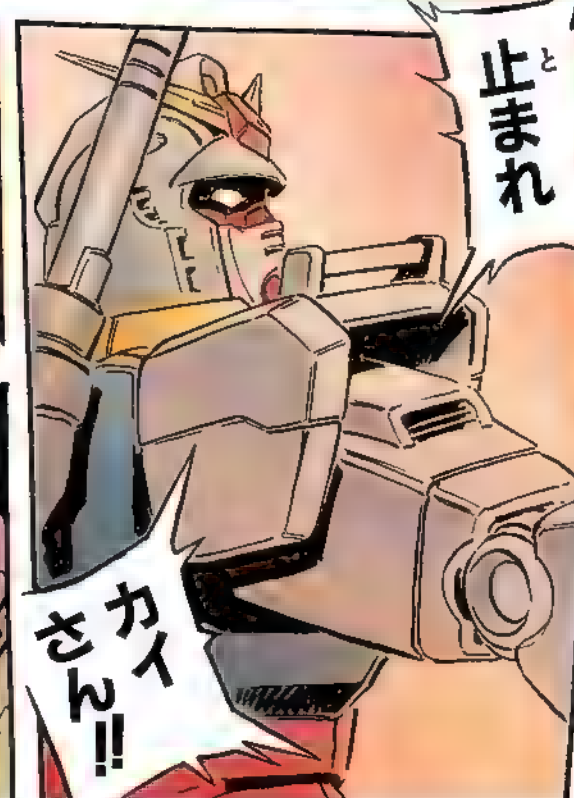
駄目だ!  
突出し過ぎだ  
シン少尉!!



誰か  
いる?!!

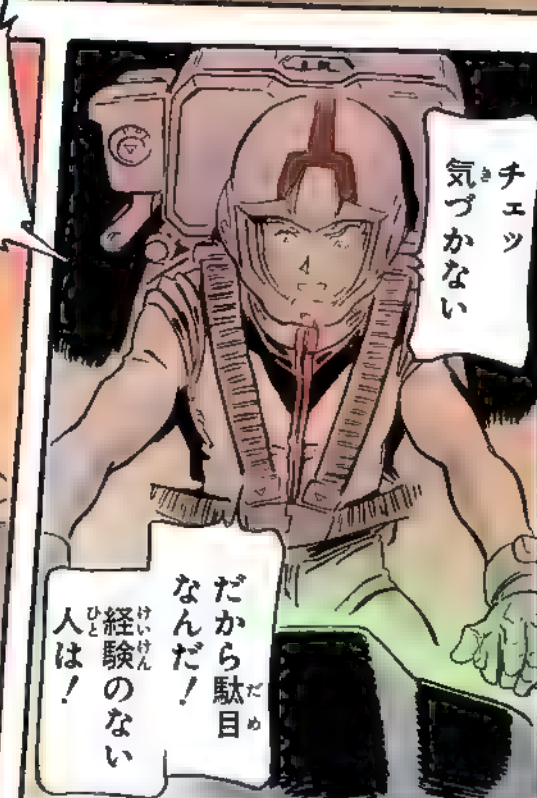


なん  
だよ



止まれ

カイ  
さん!!



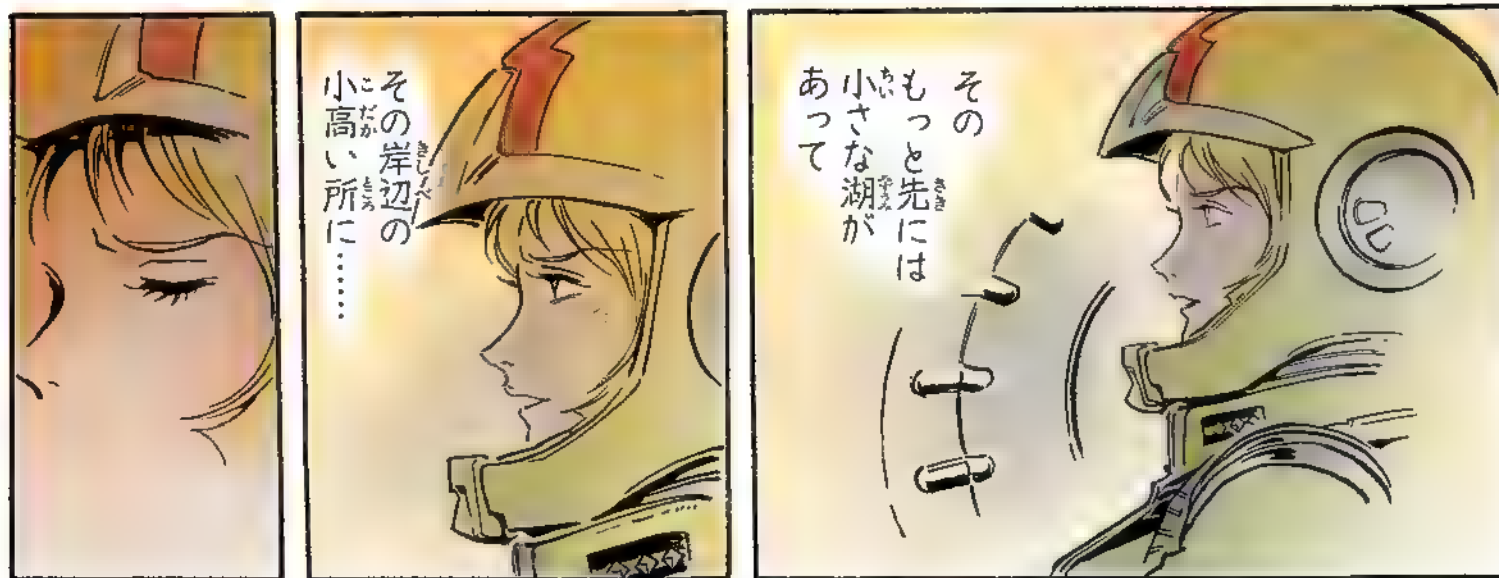
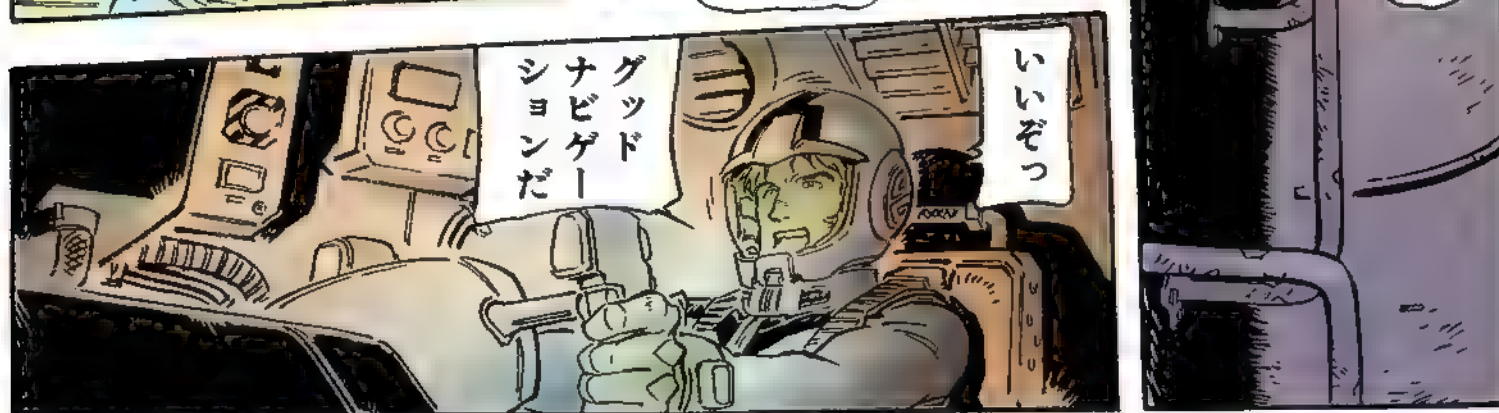
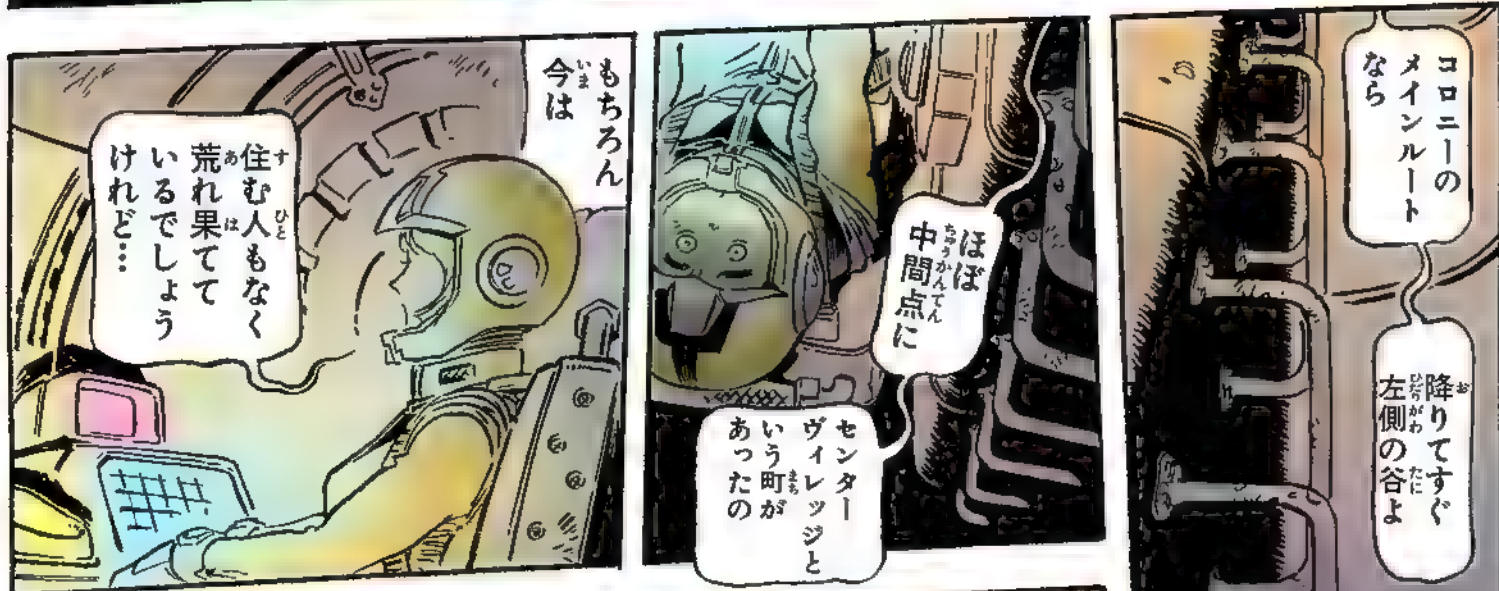
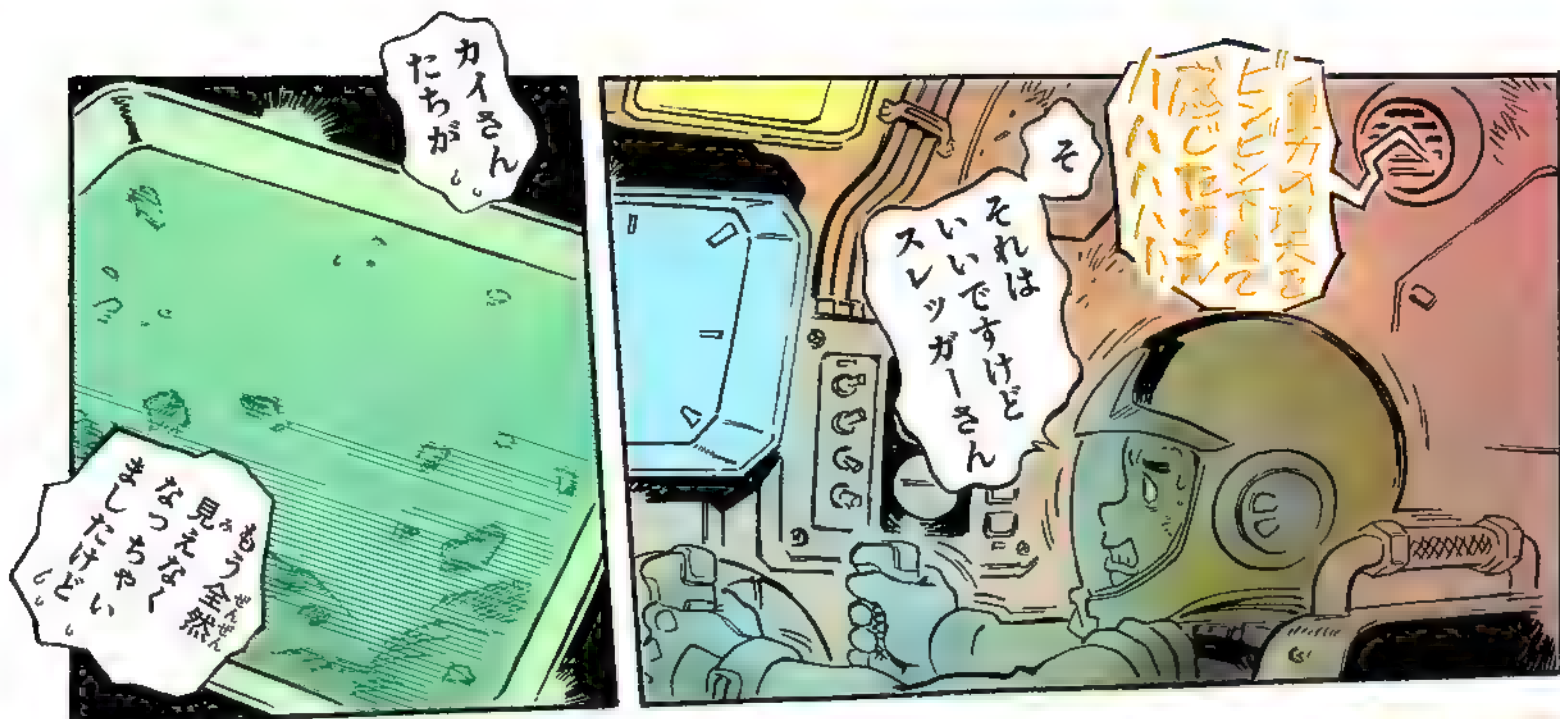
チエツ  
気づかない

だから駄目  
なんだ!  
経験のない  
人は!









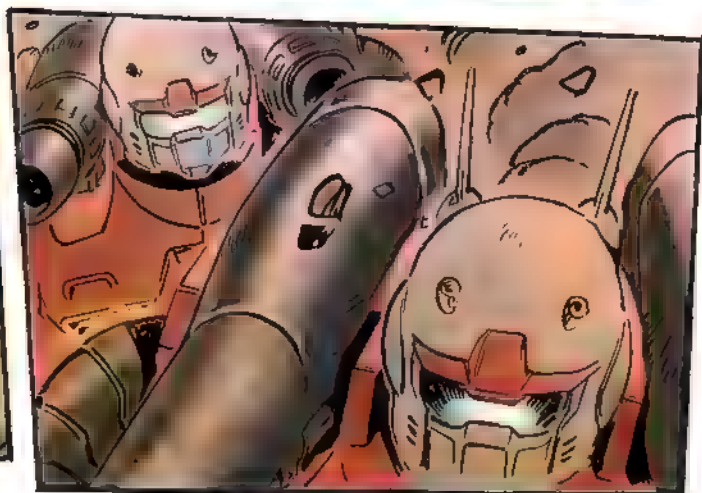
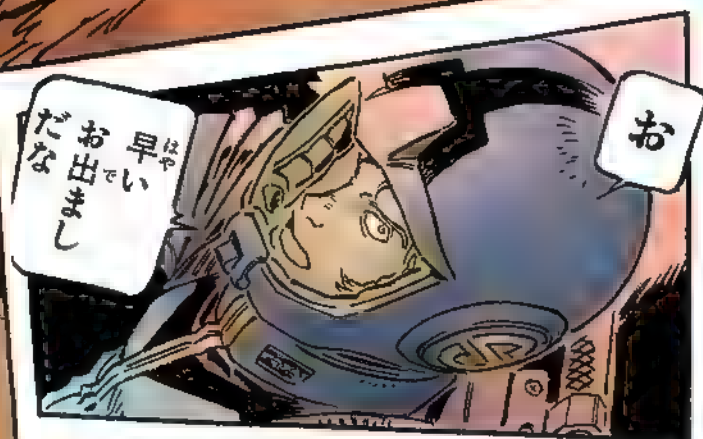
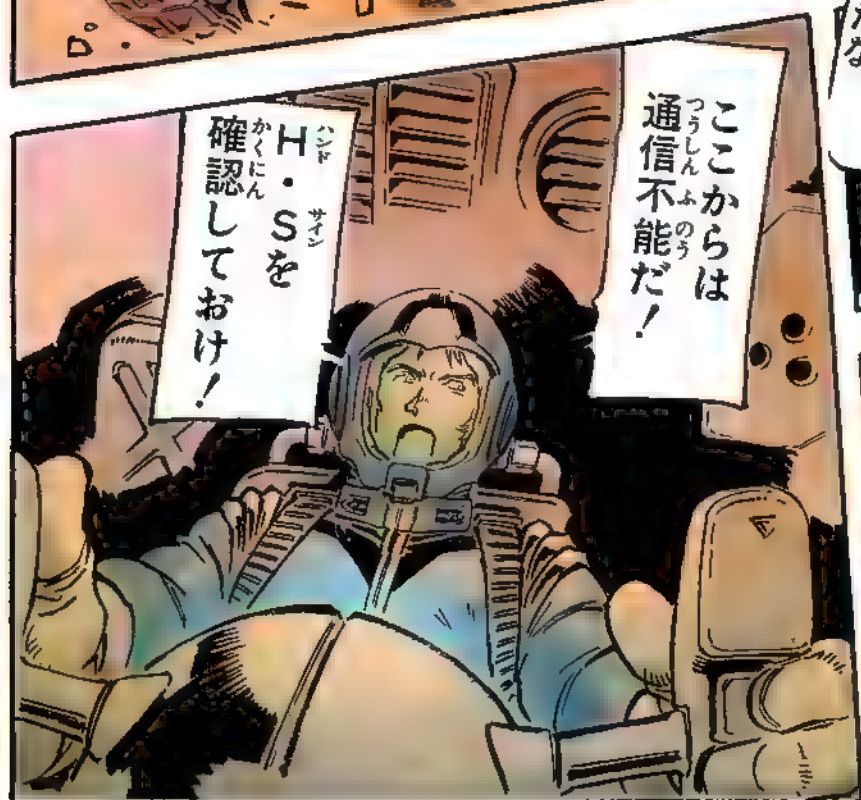
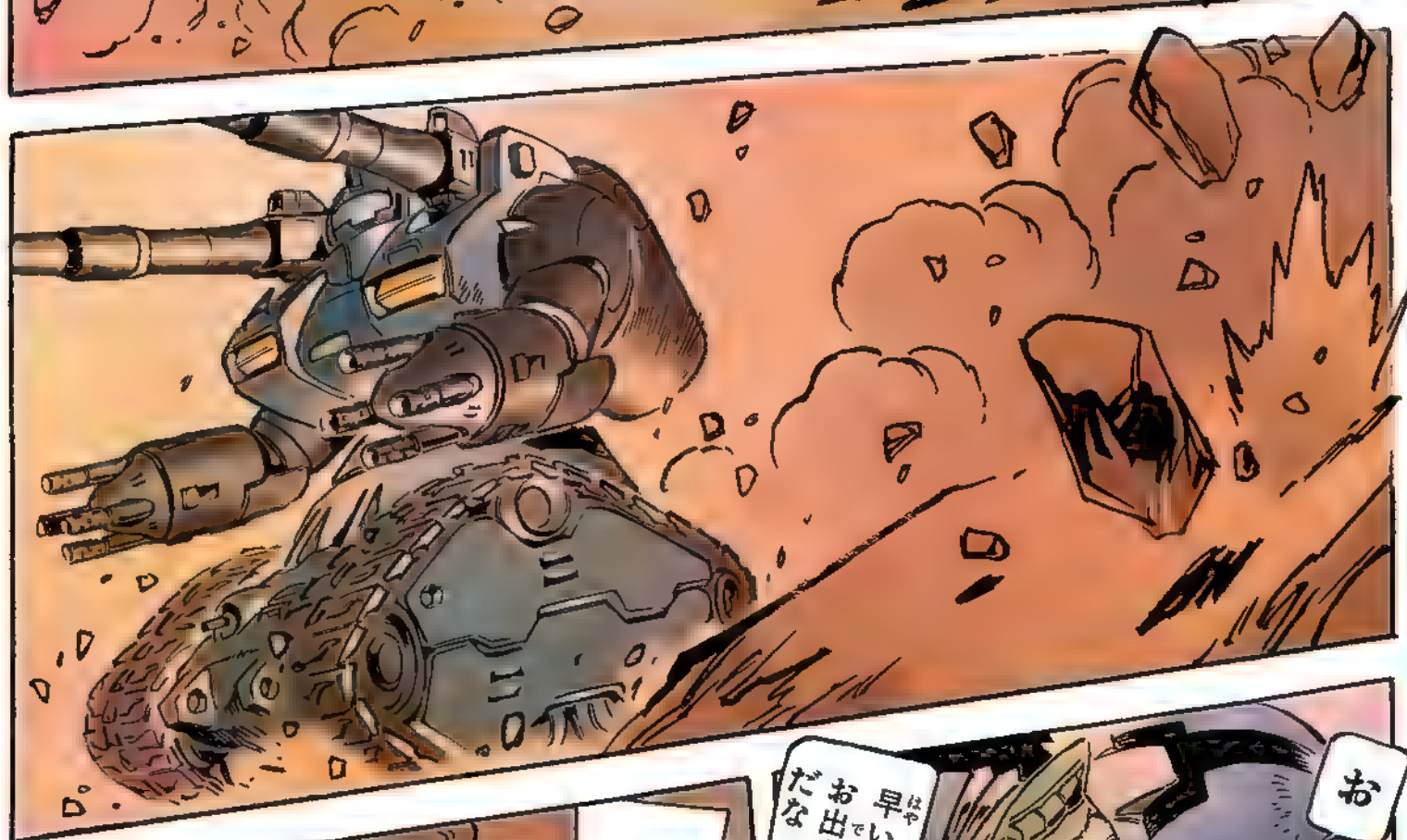
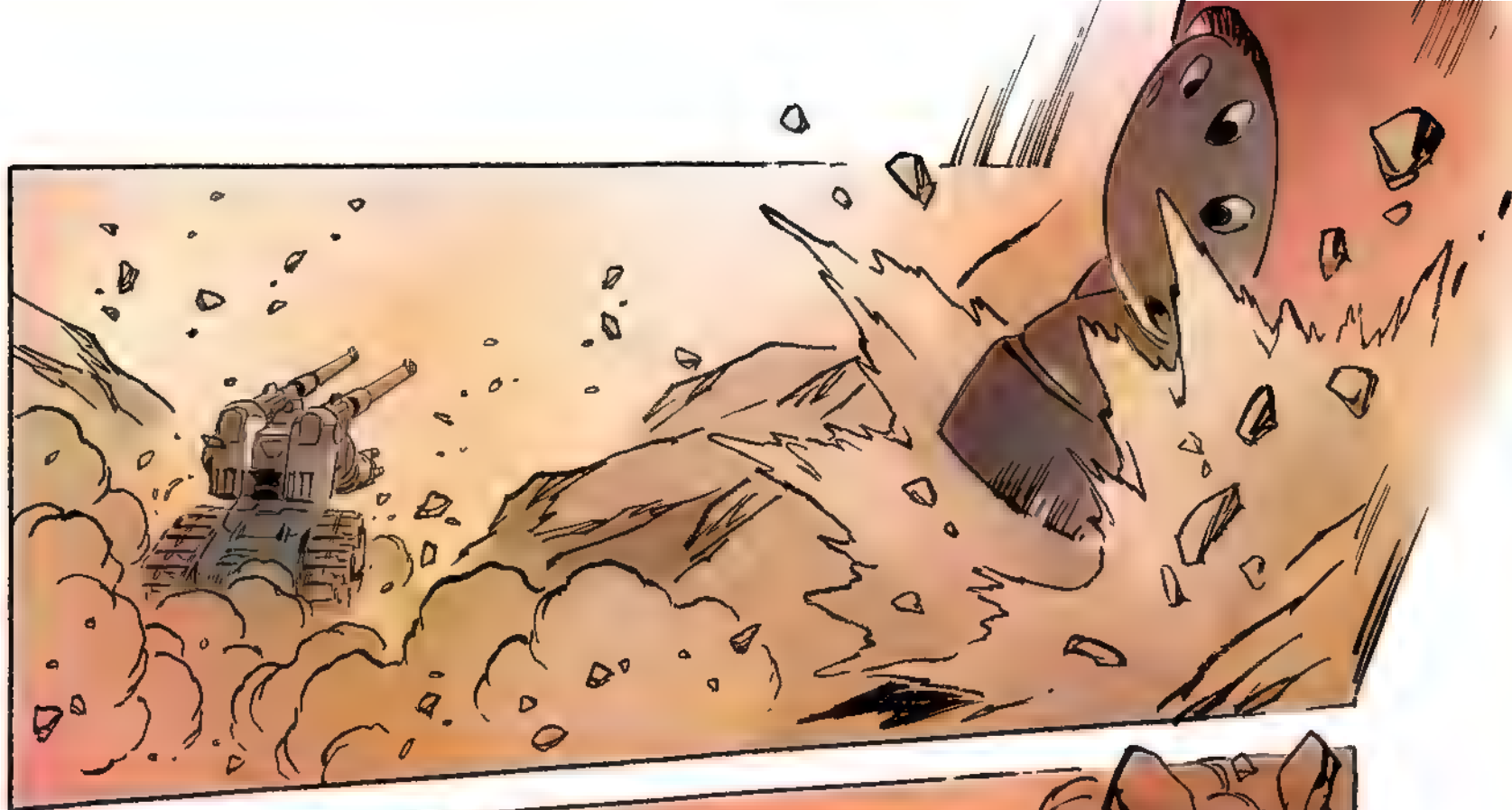




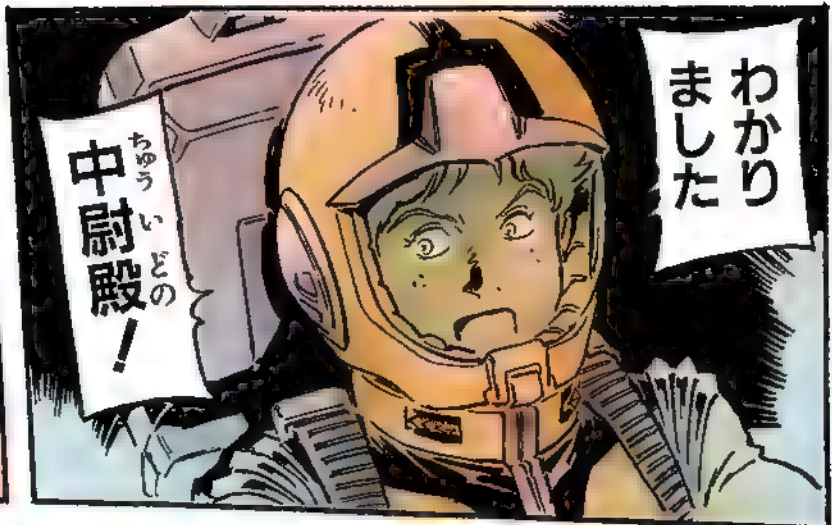
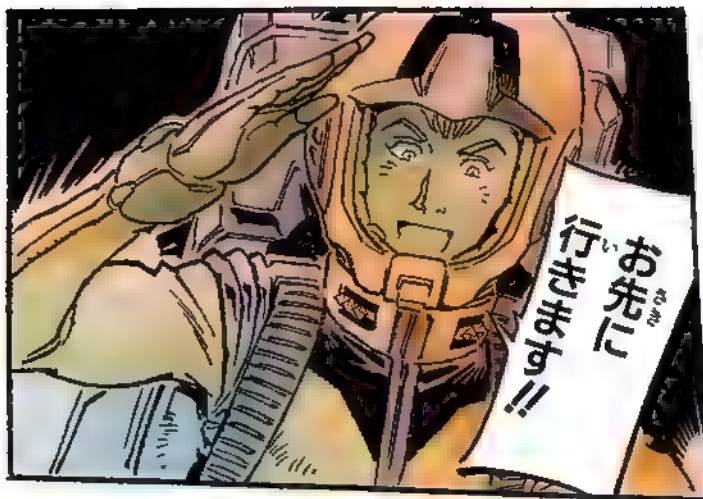
À une mère  
aimante  
Edouard  
et Seila

Lucifer

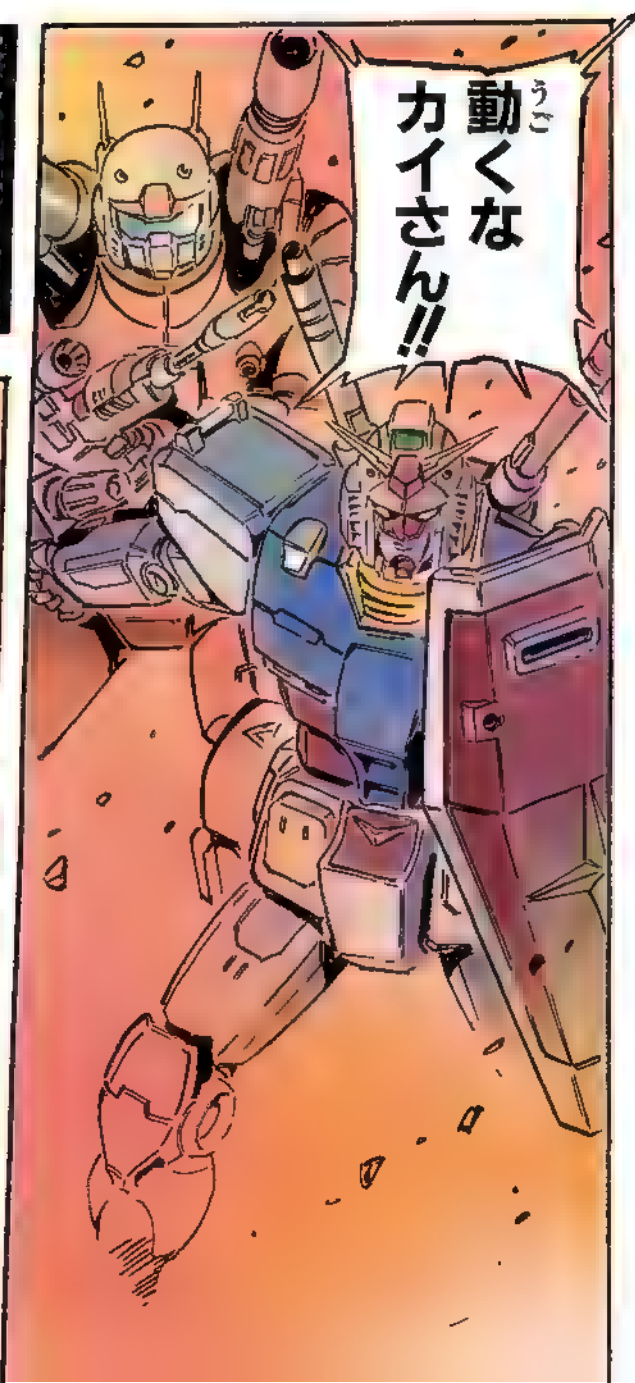
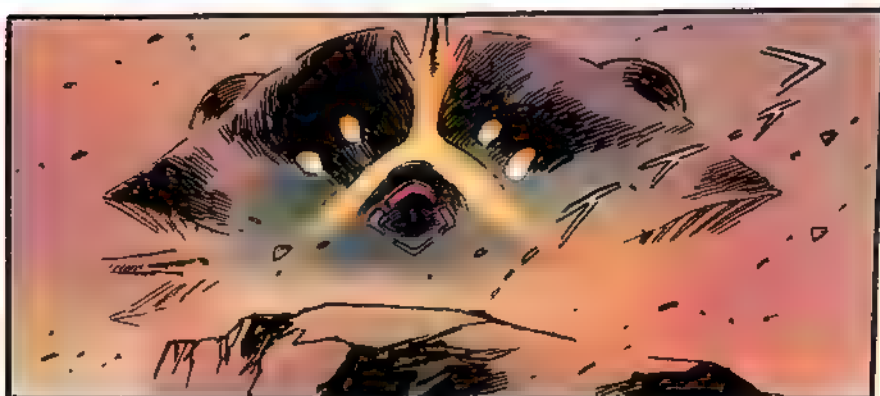
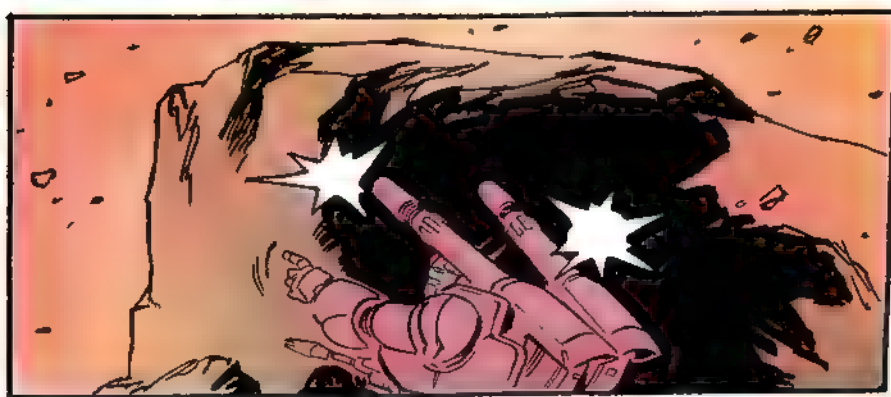
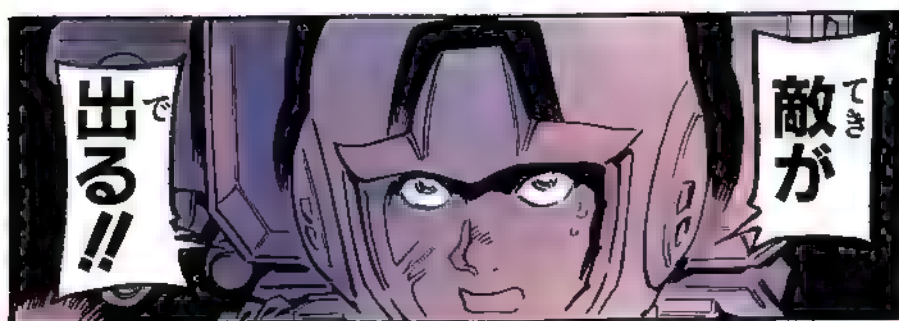
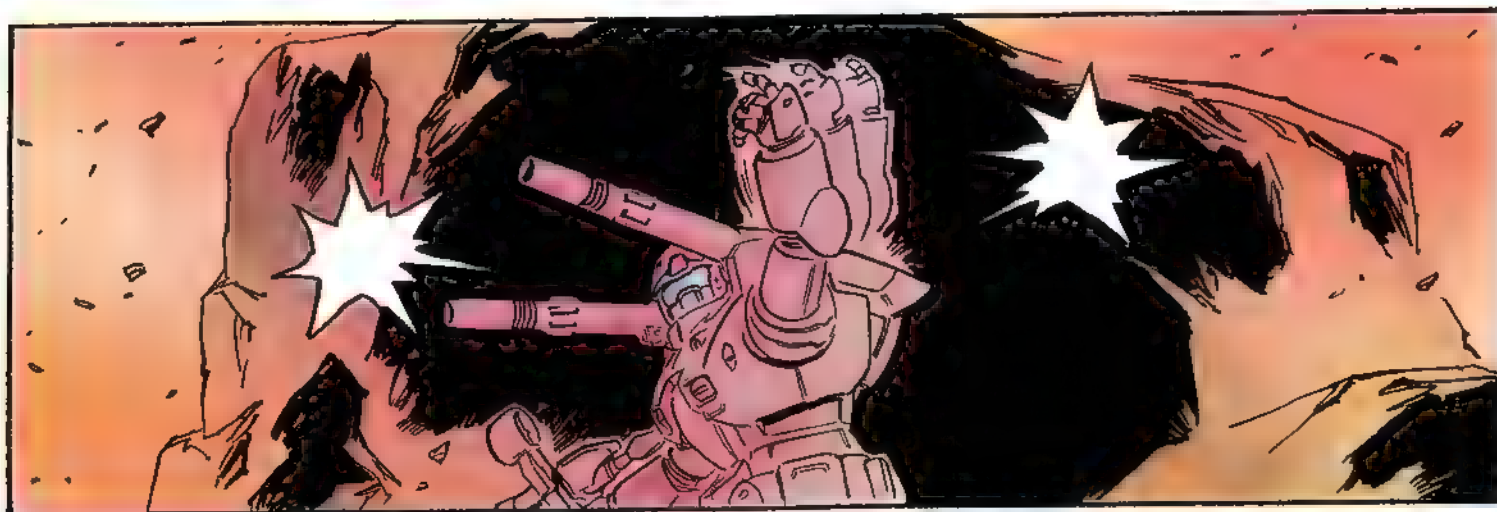
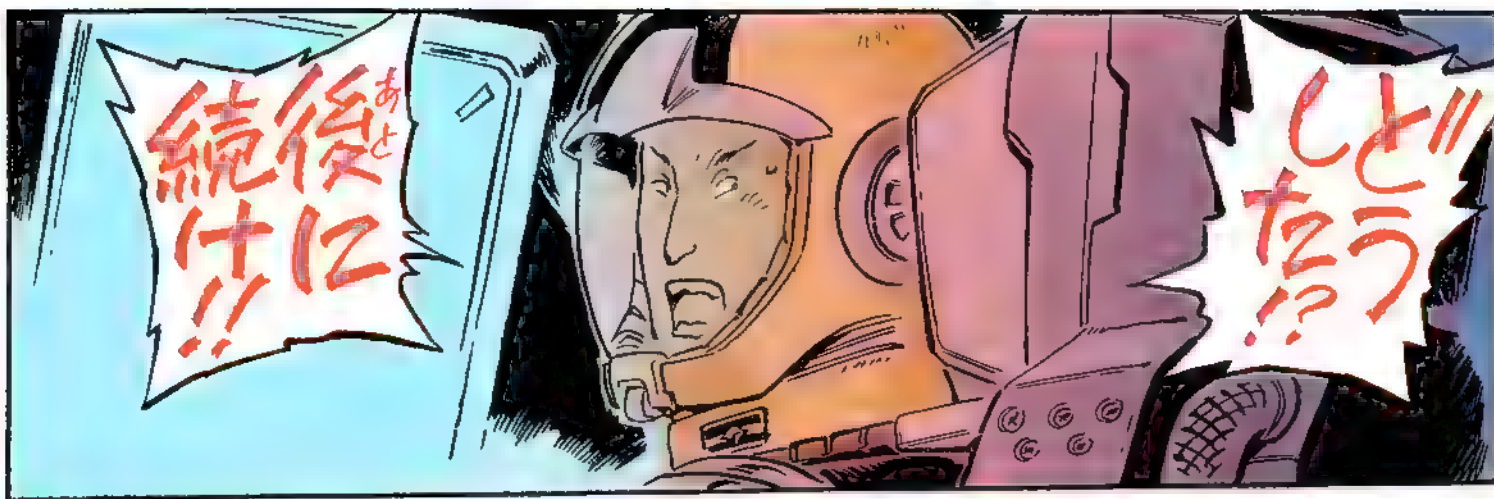








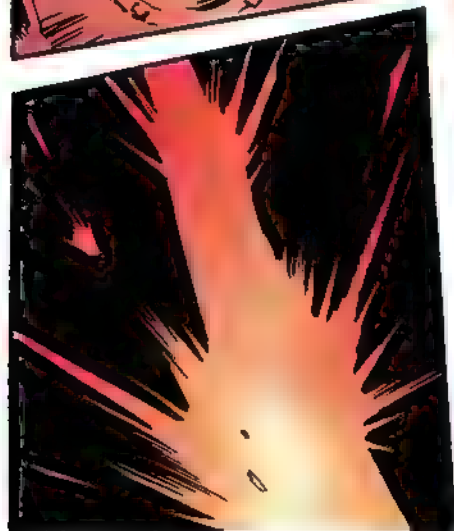
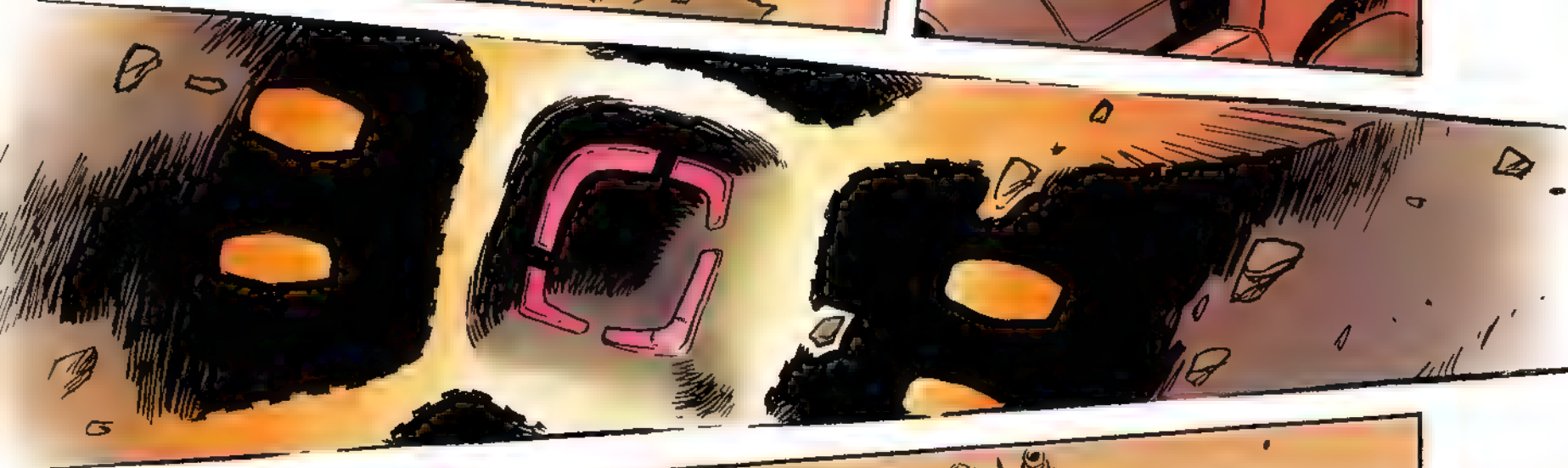
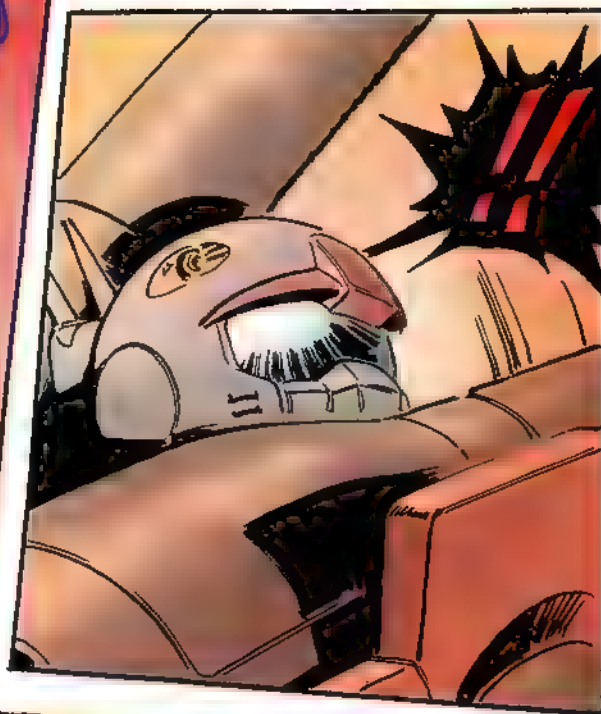
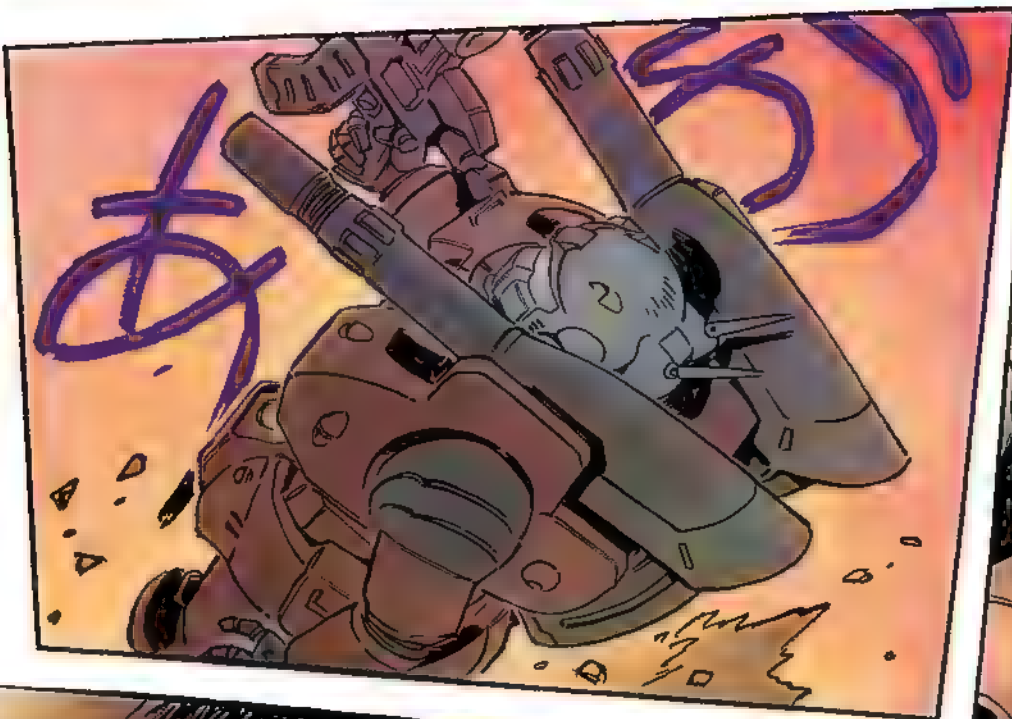




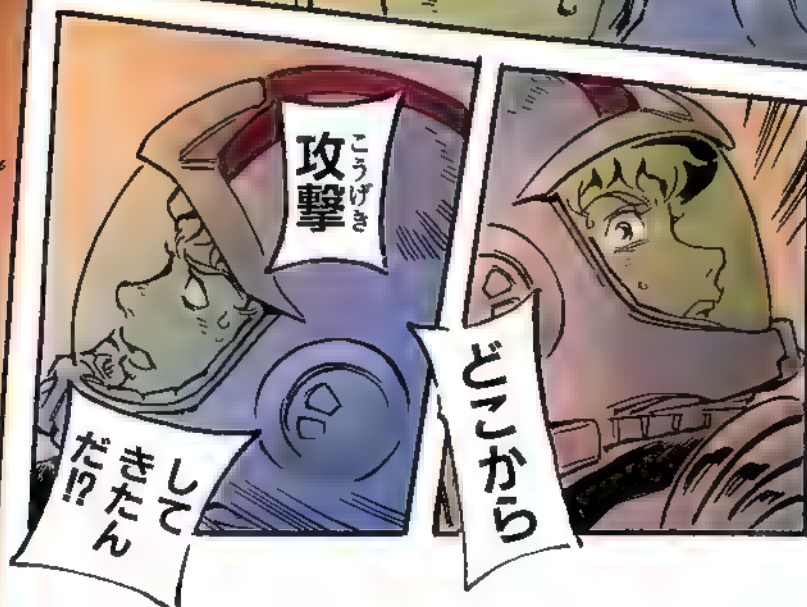
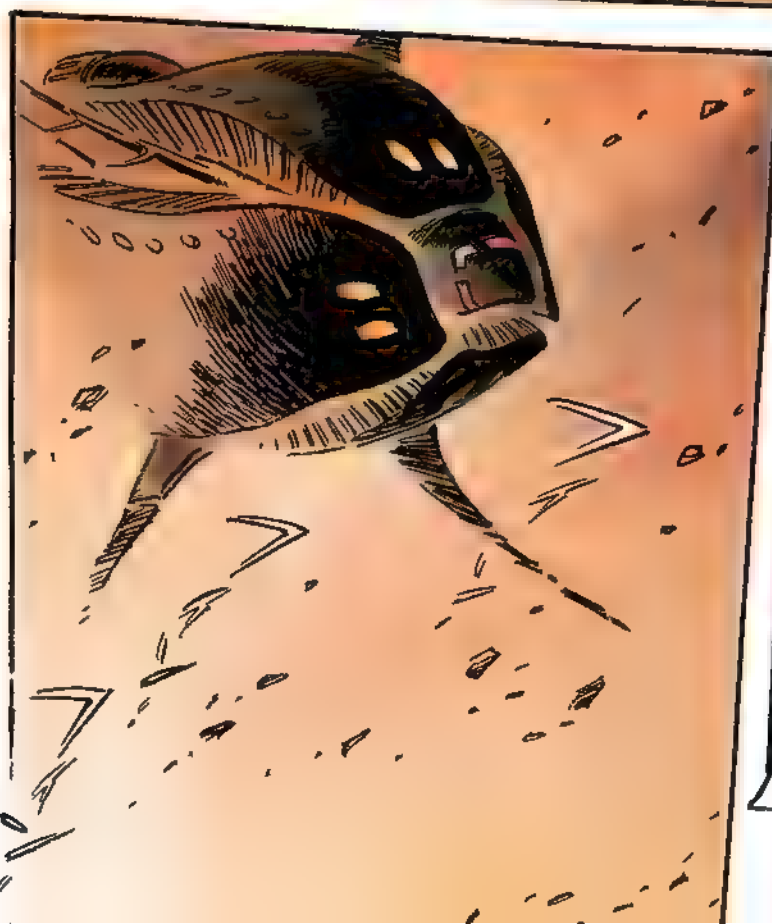
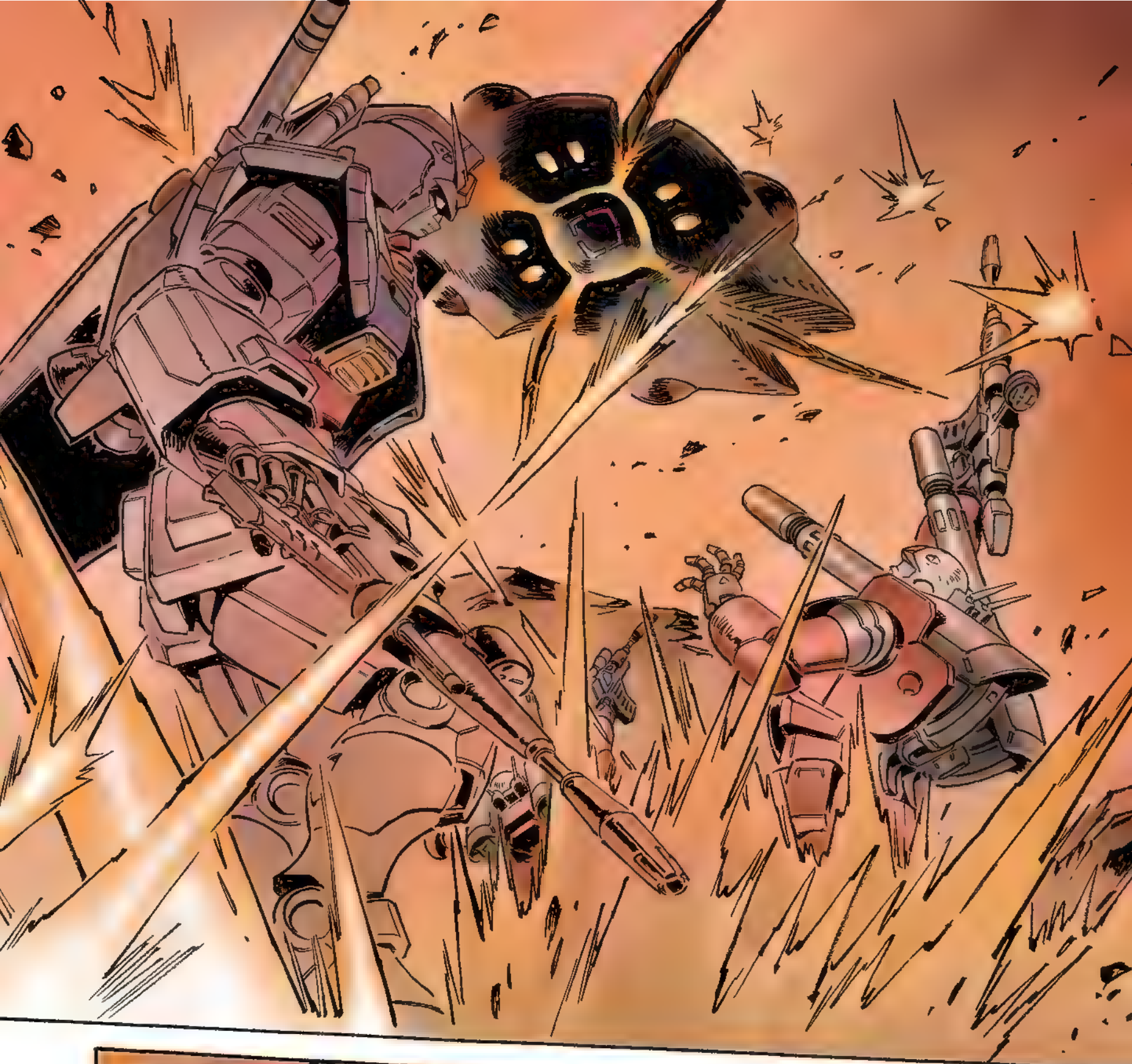




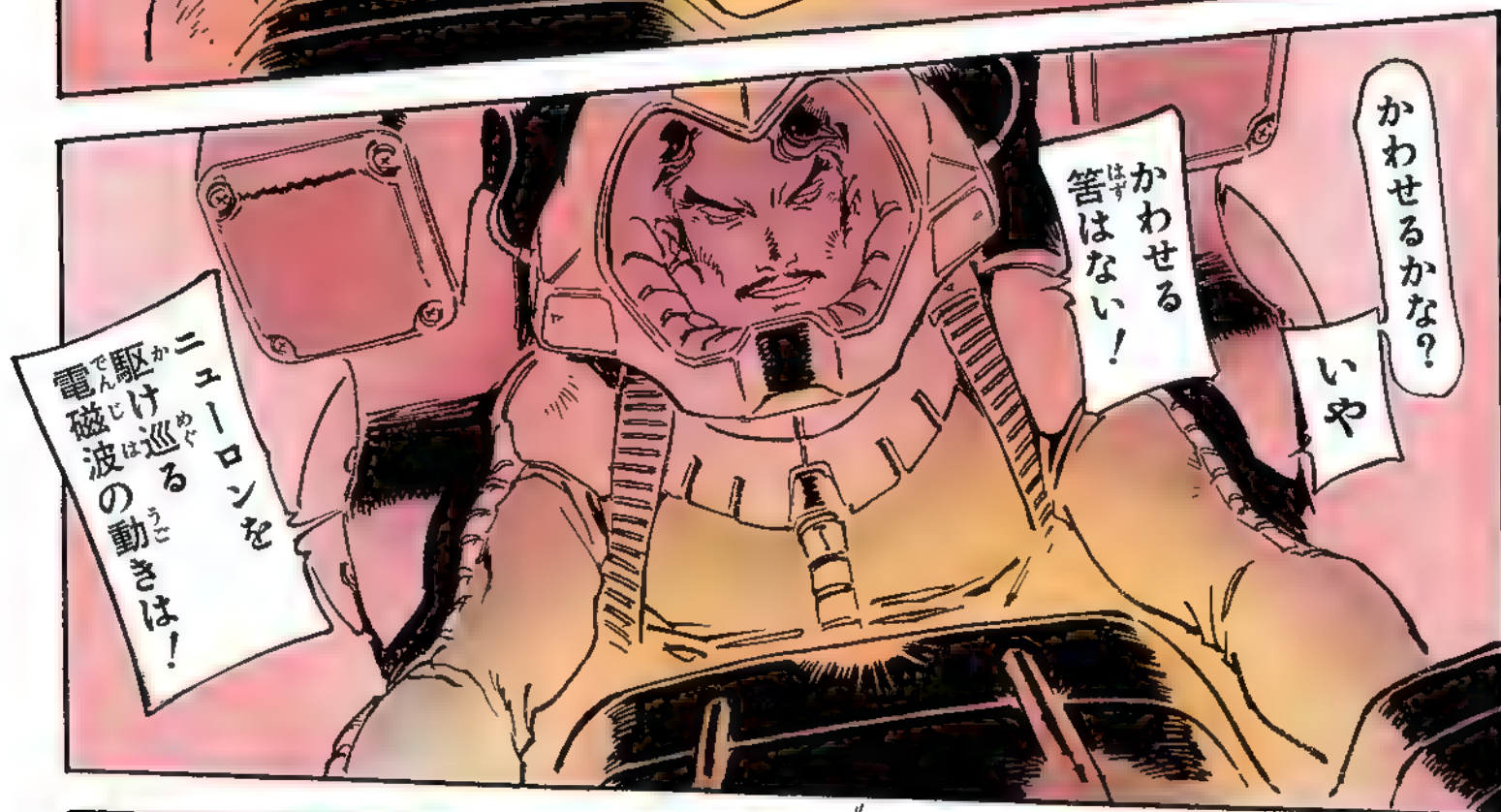
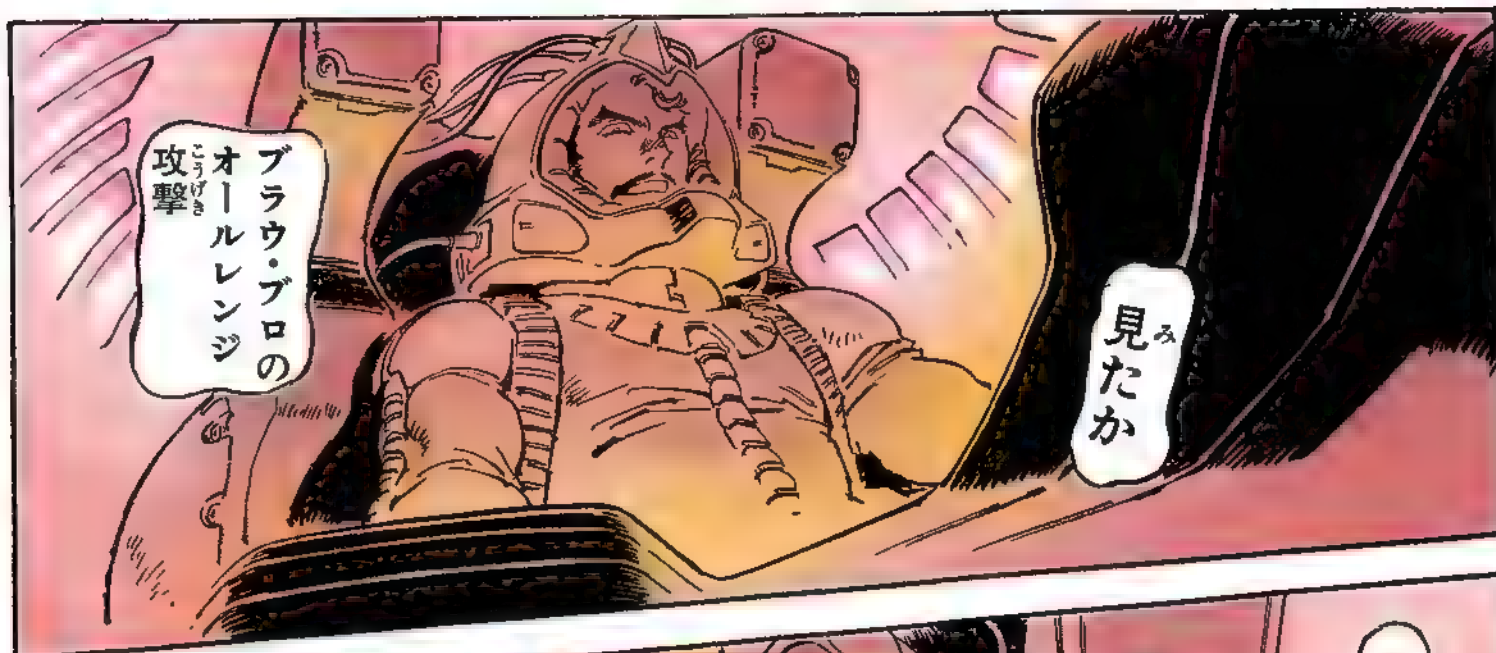




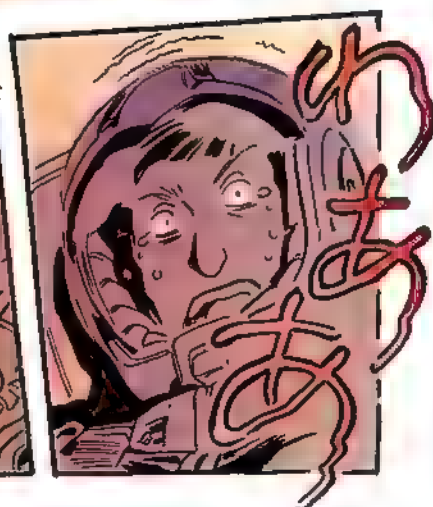
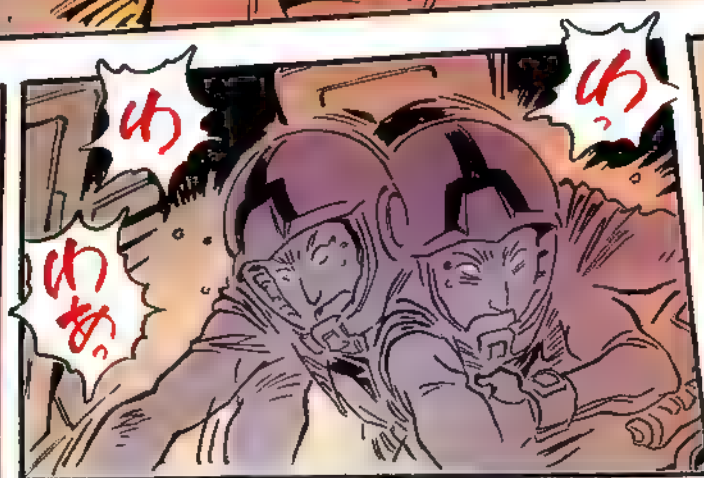
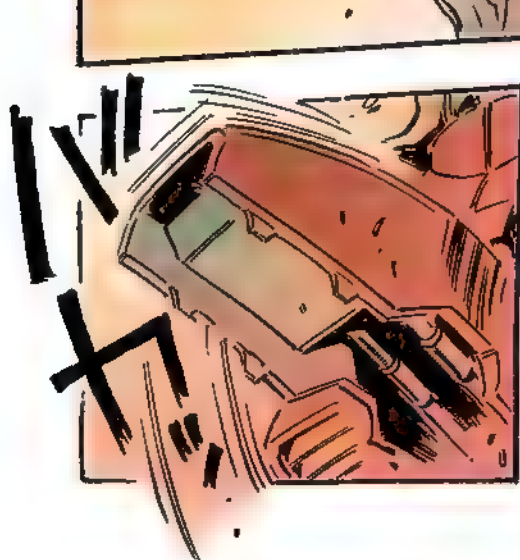
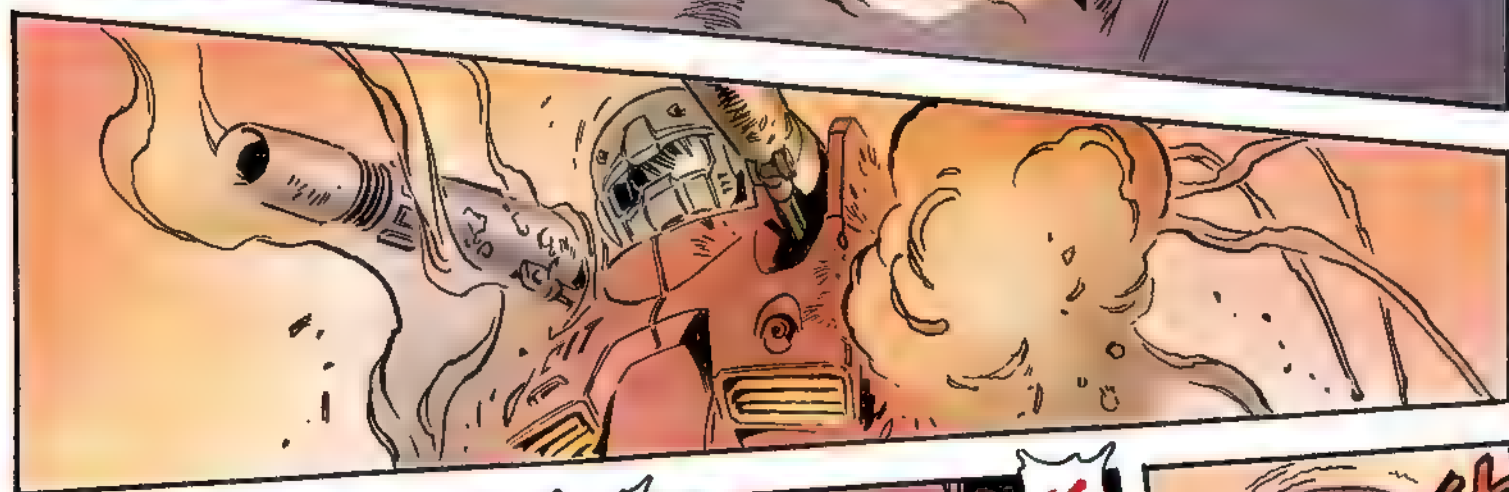
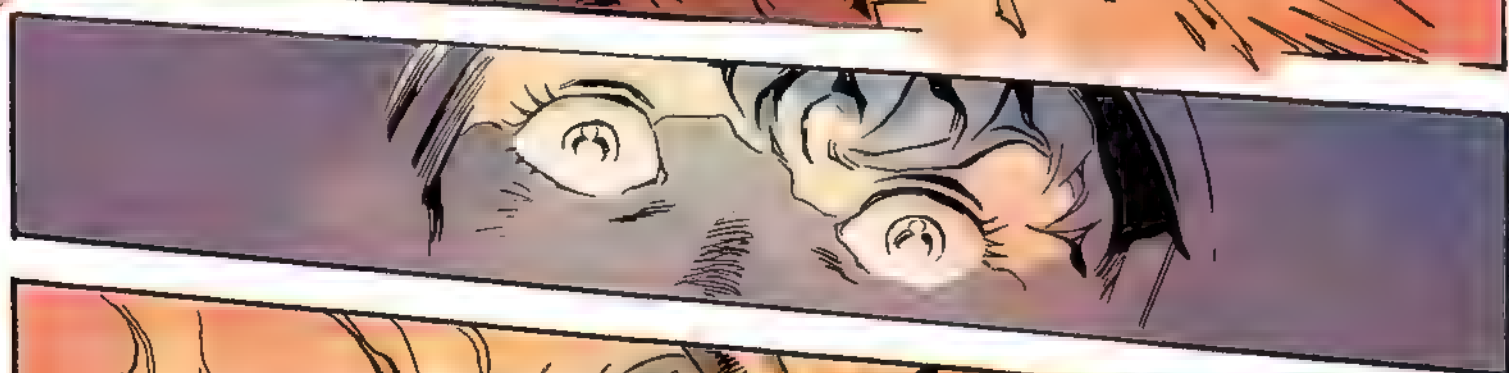
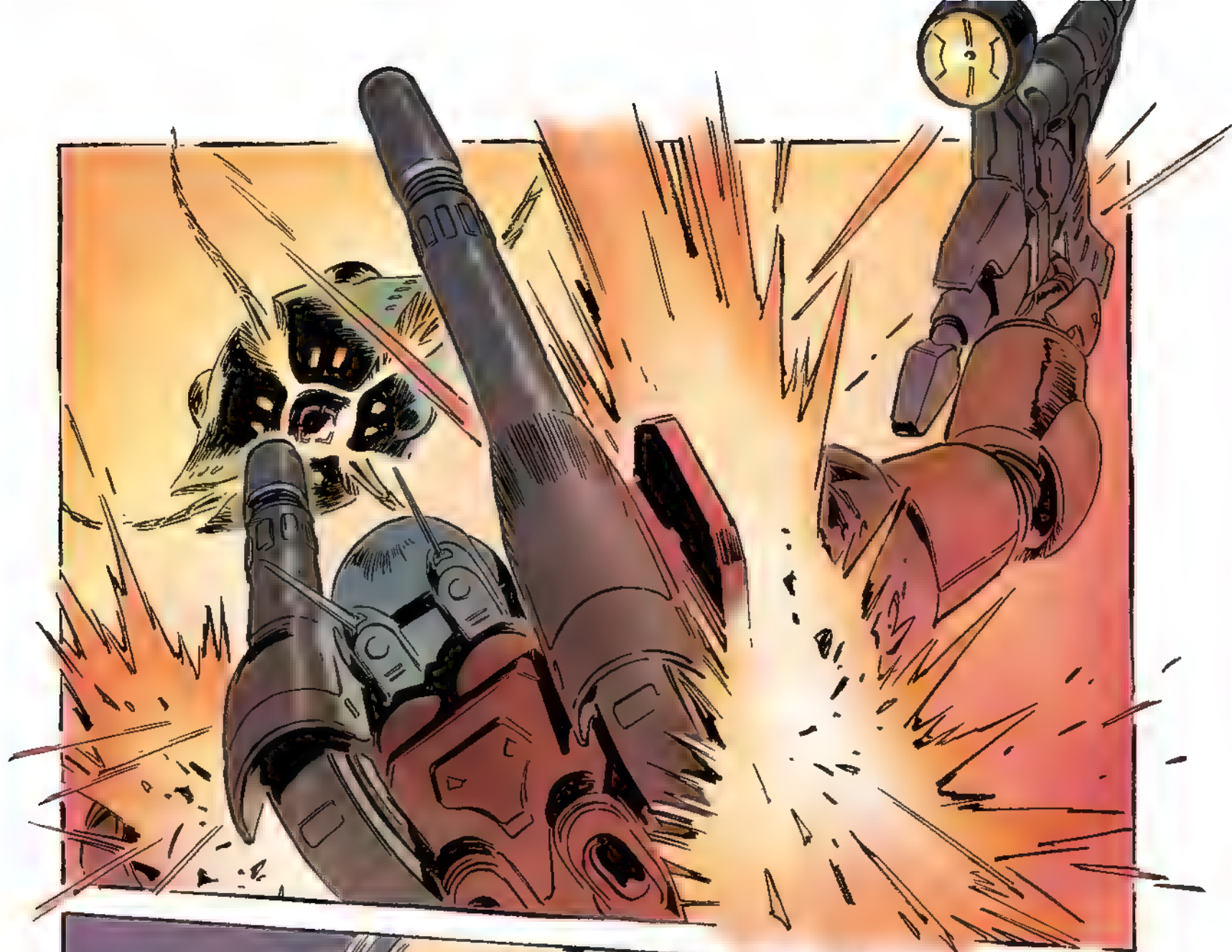




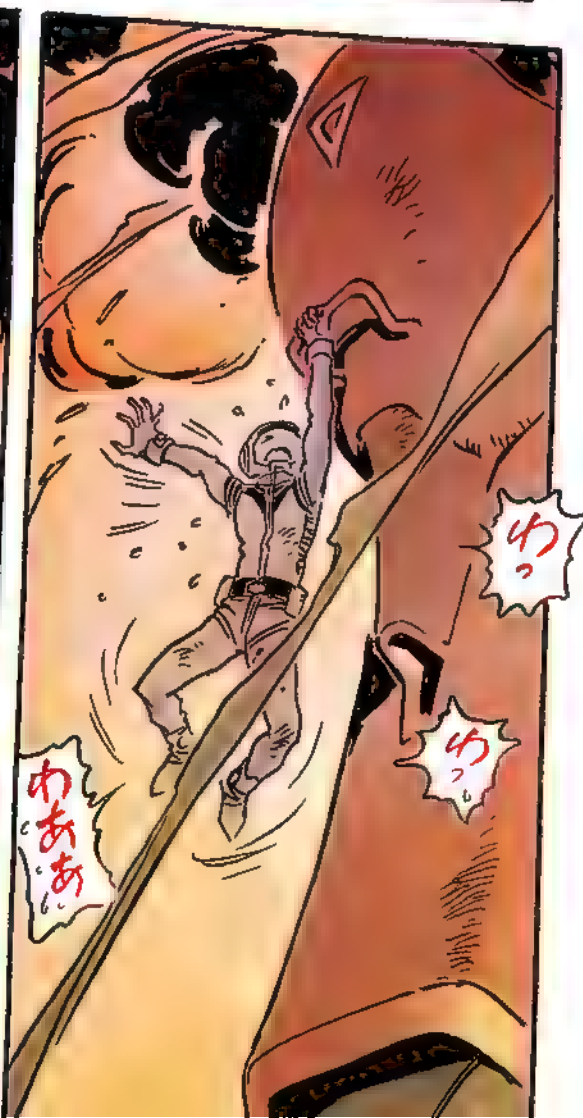
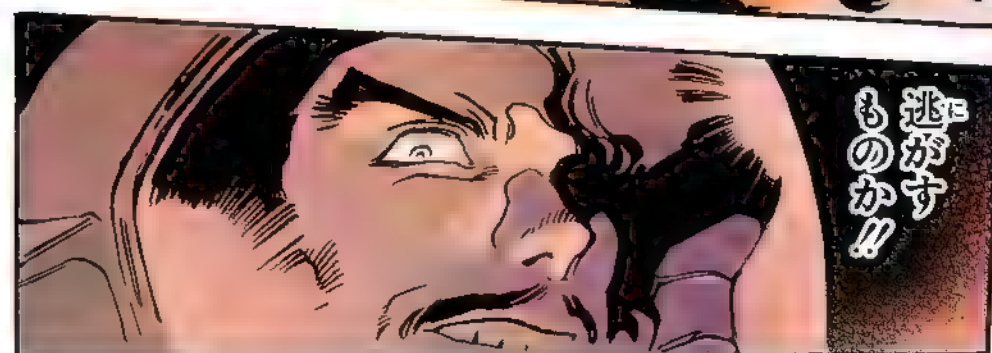
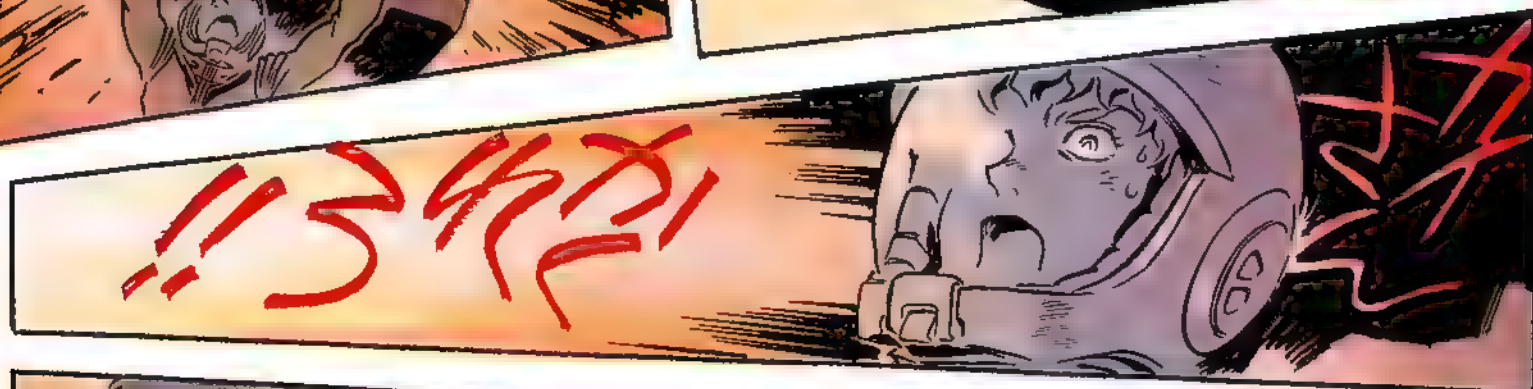
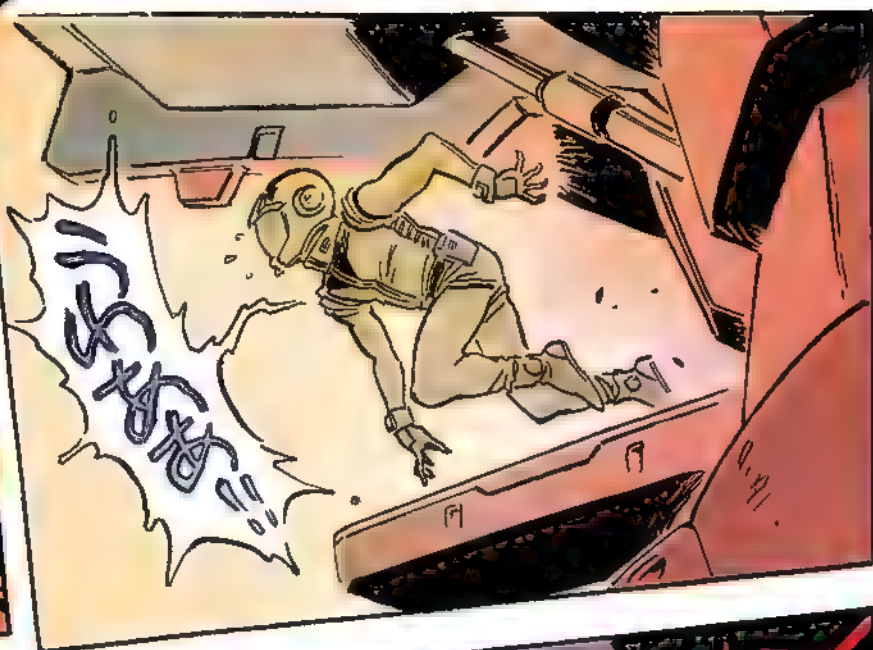
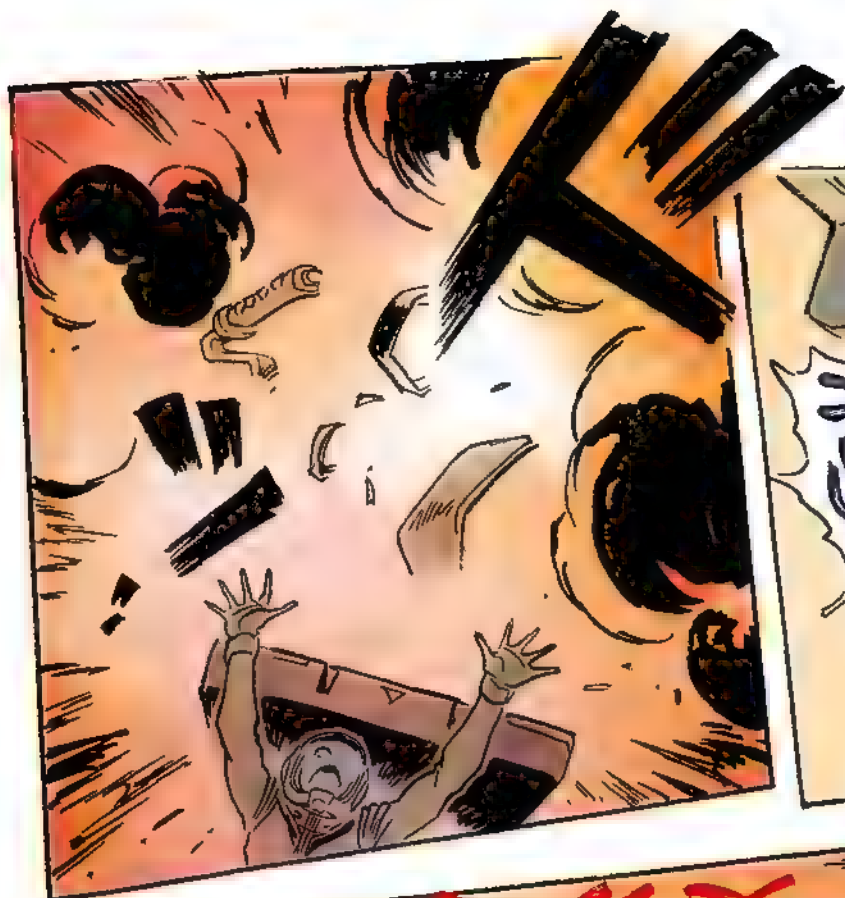




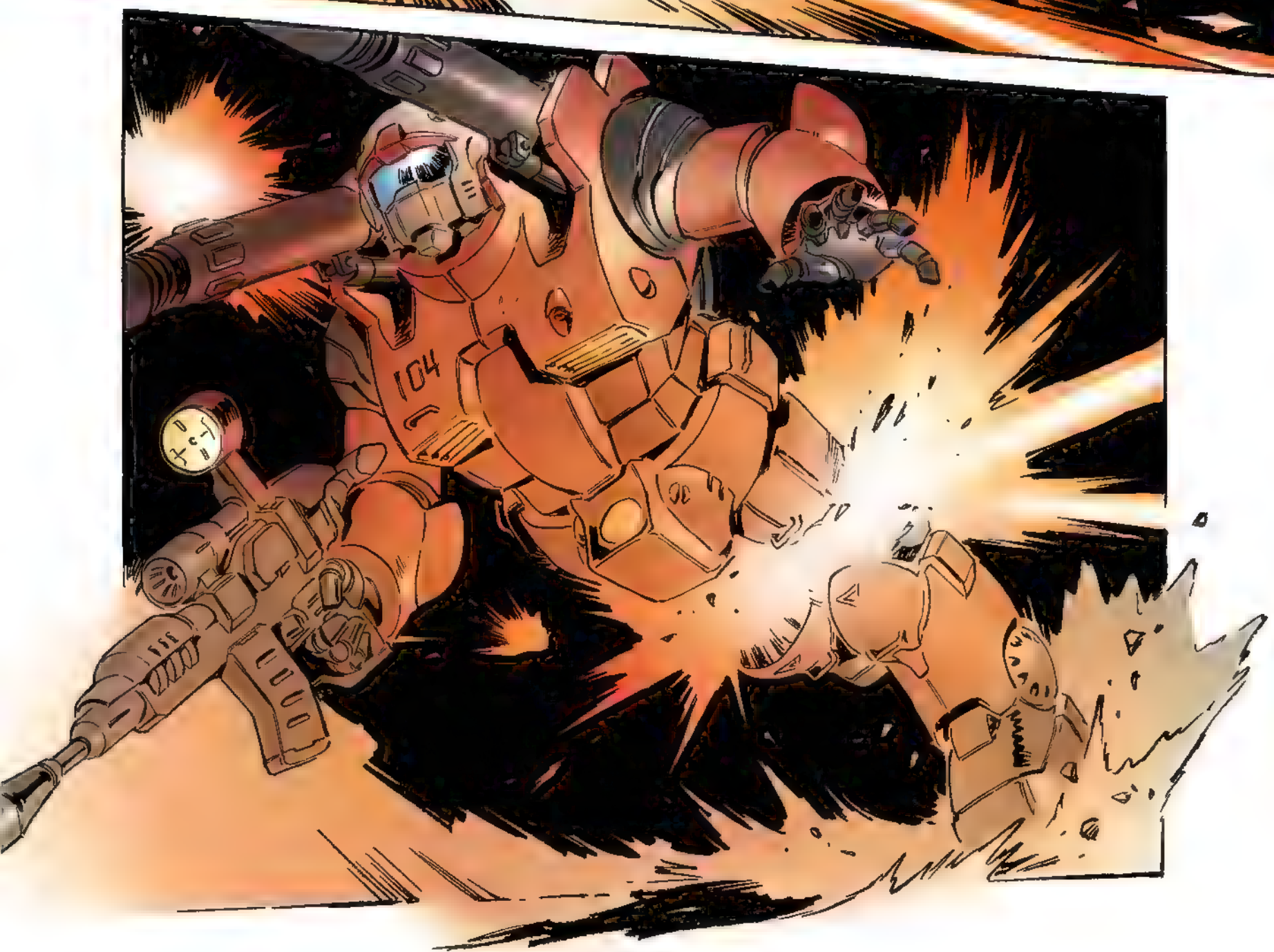
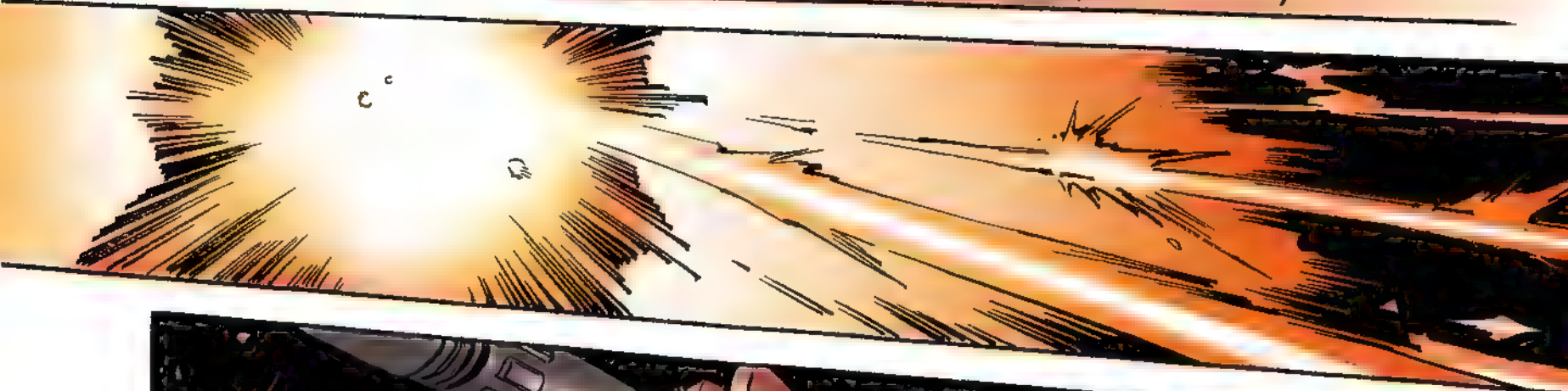
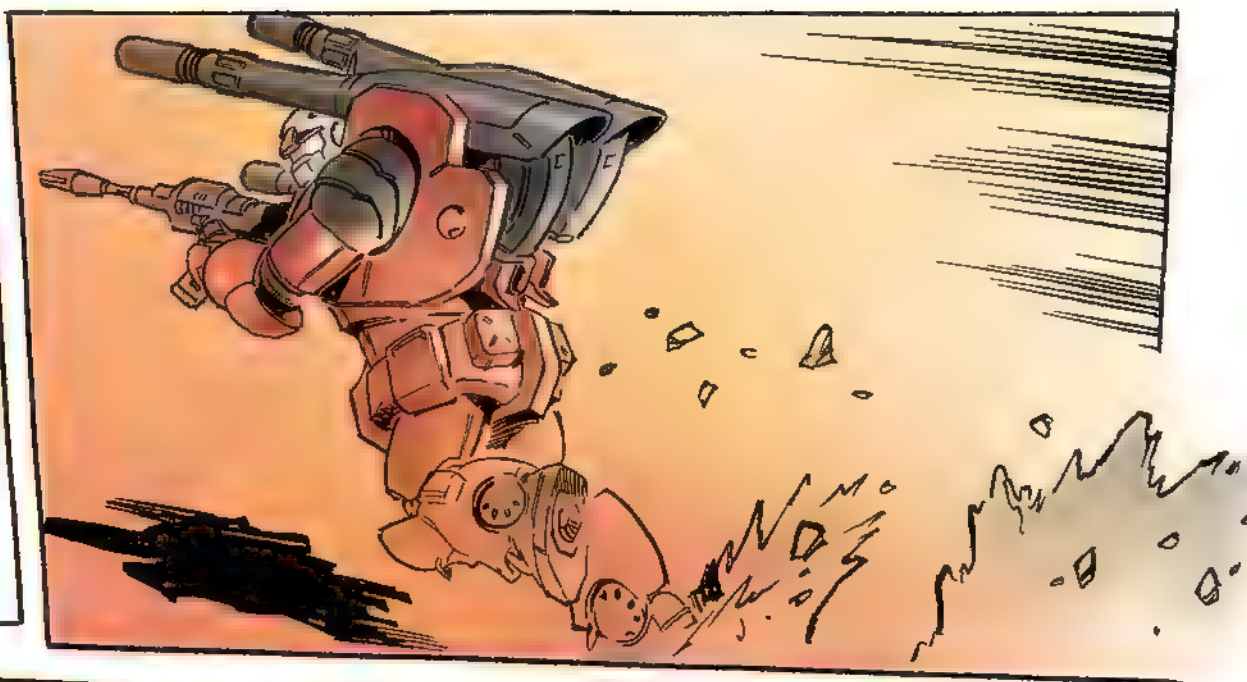
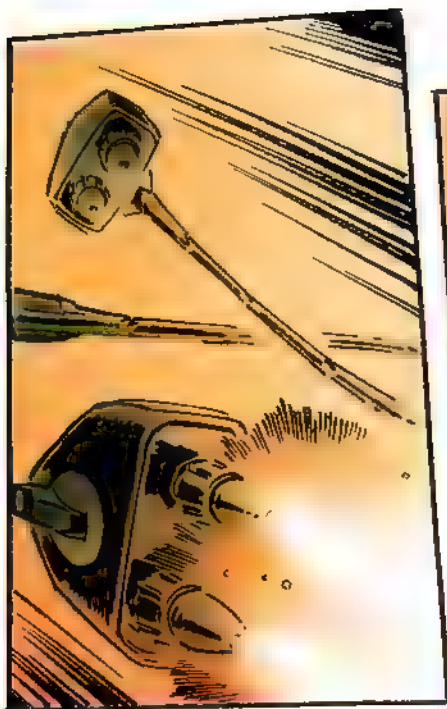




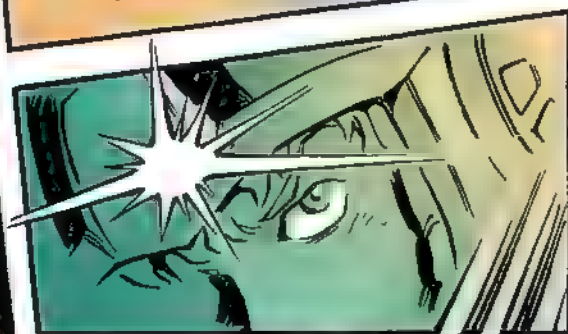
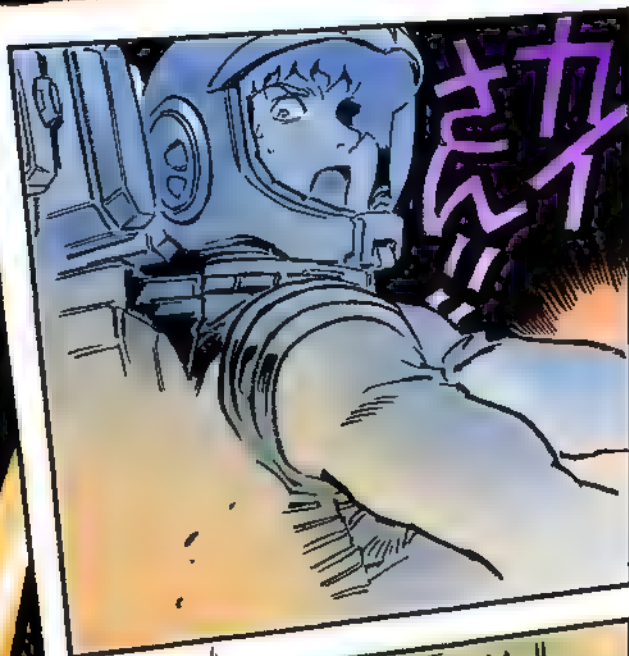
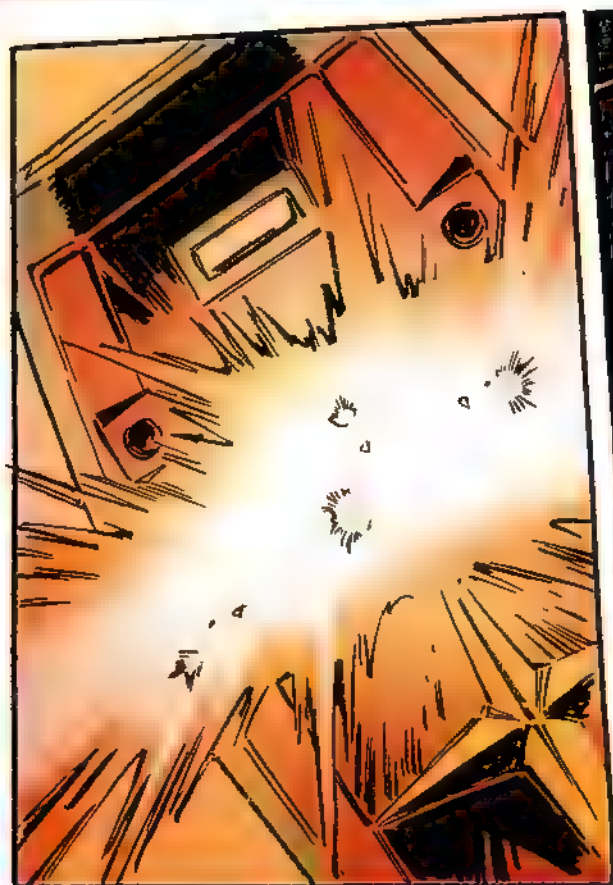
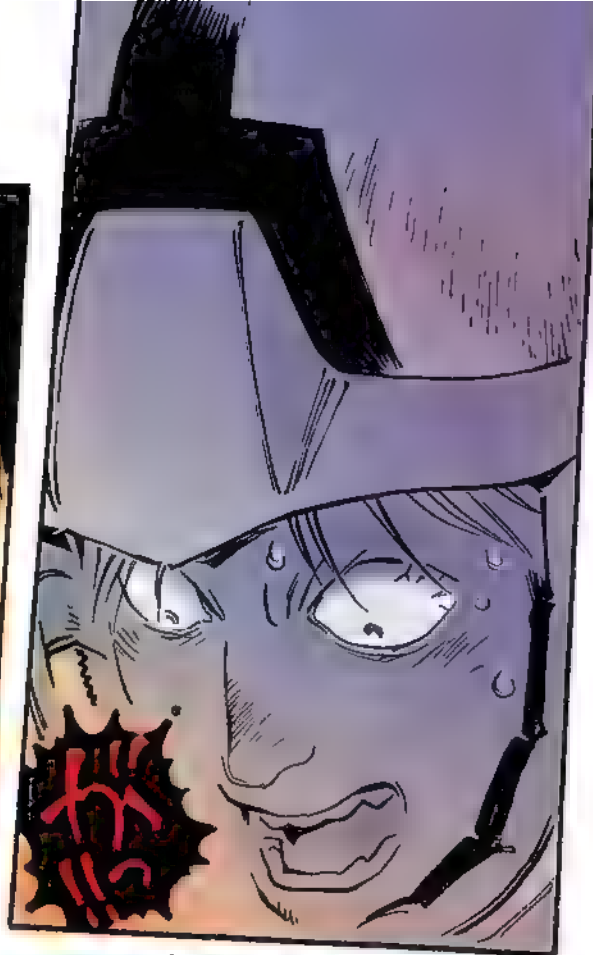
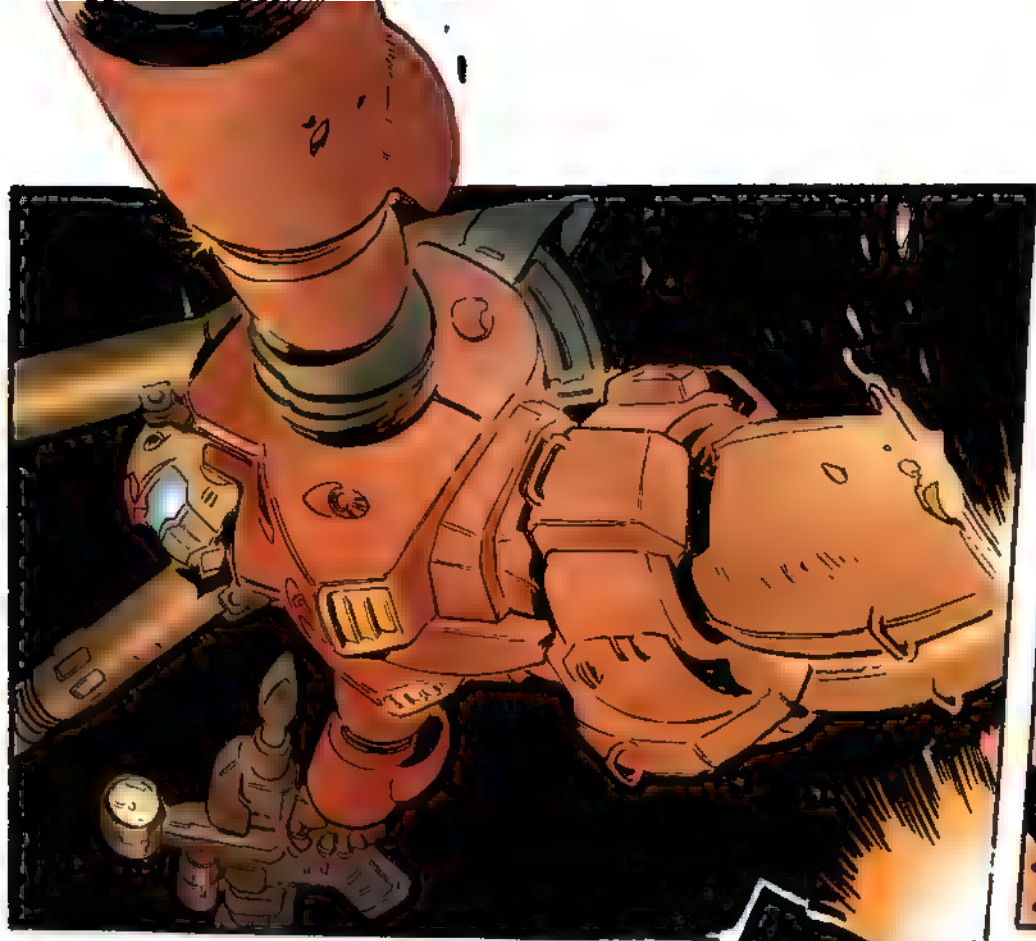




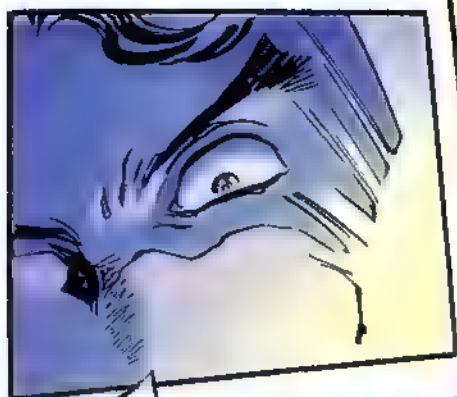






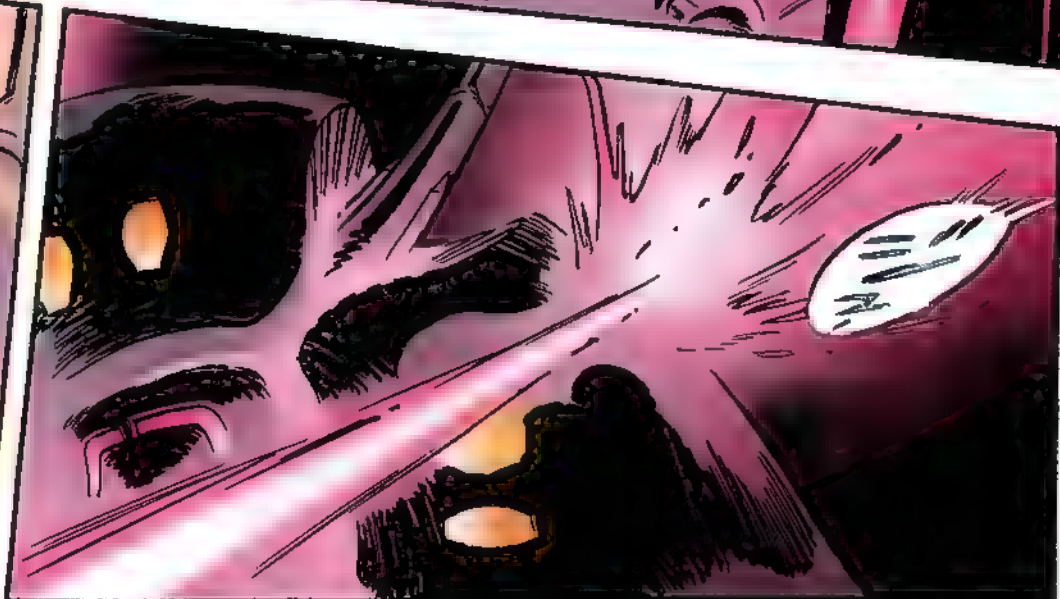
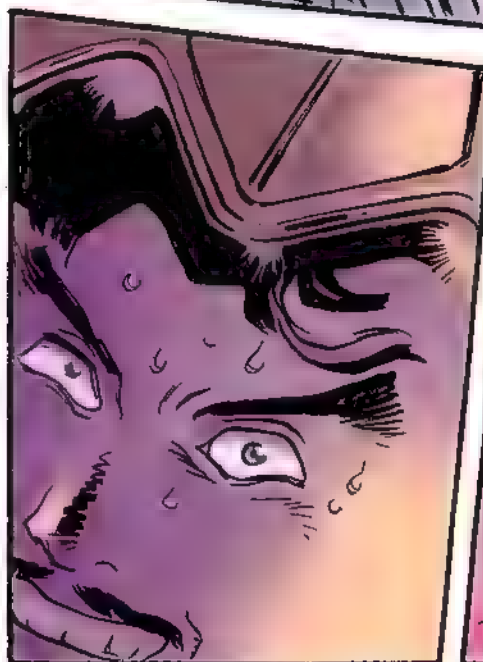
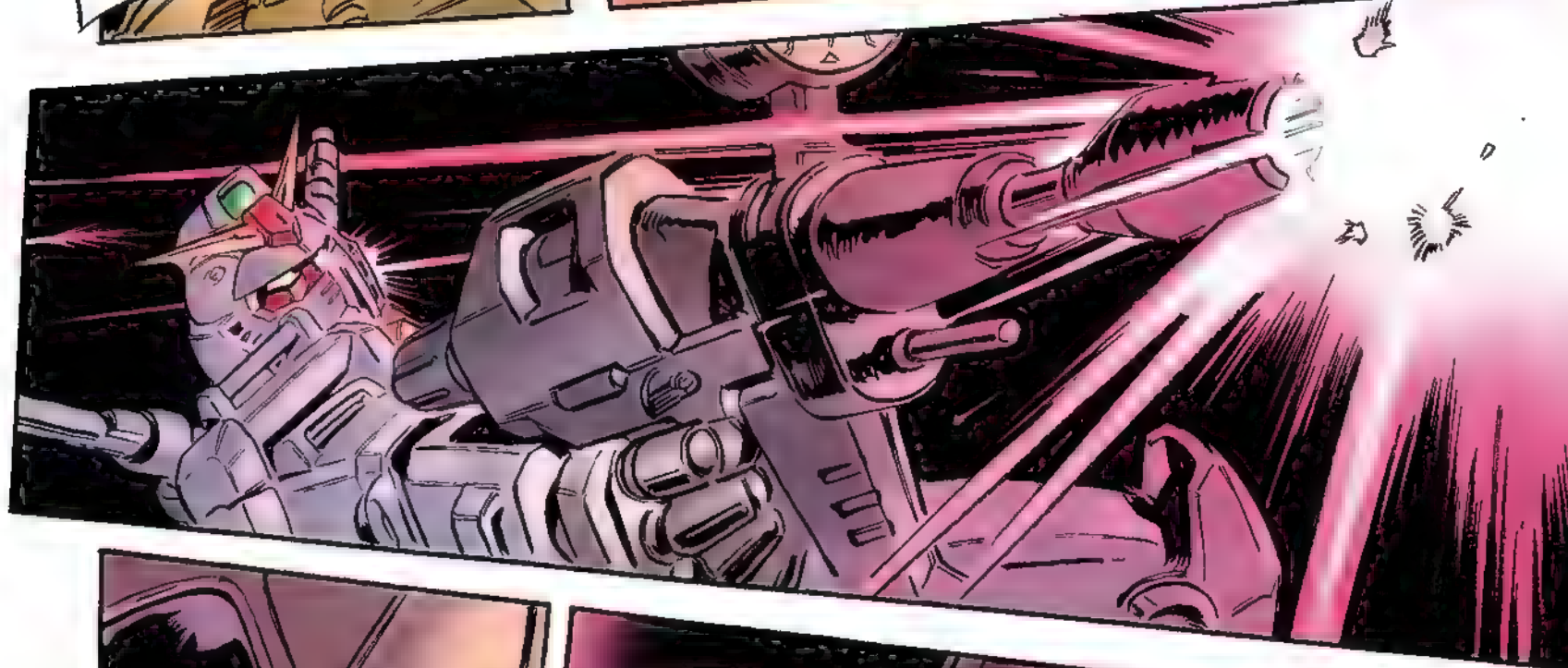
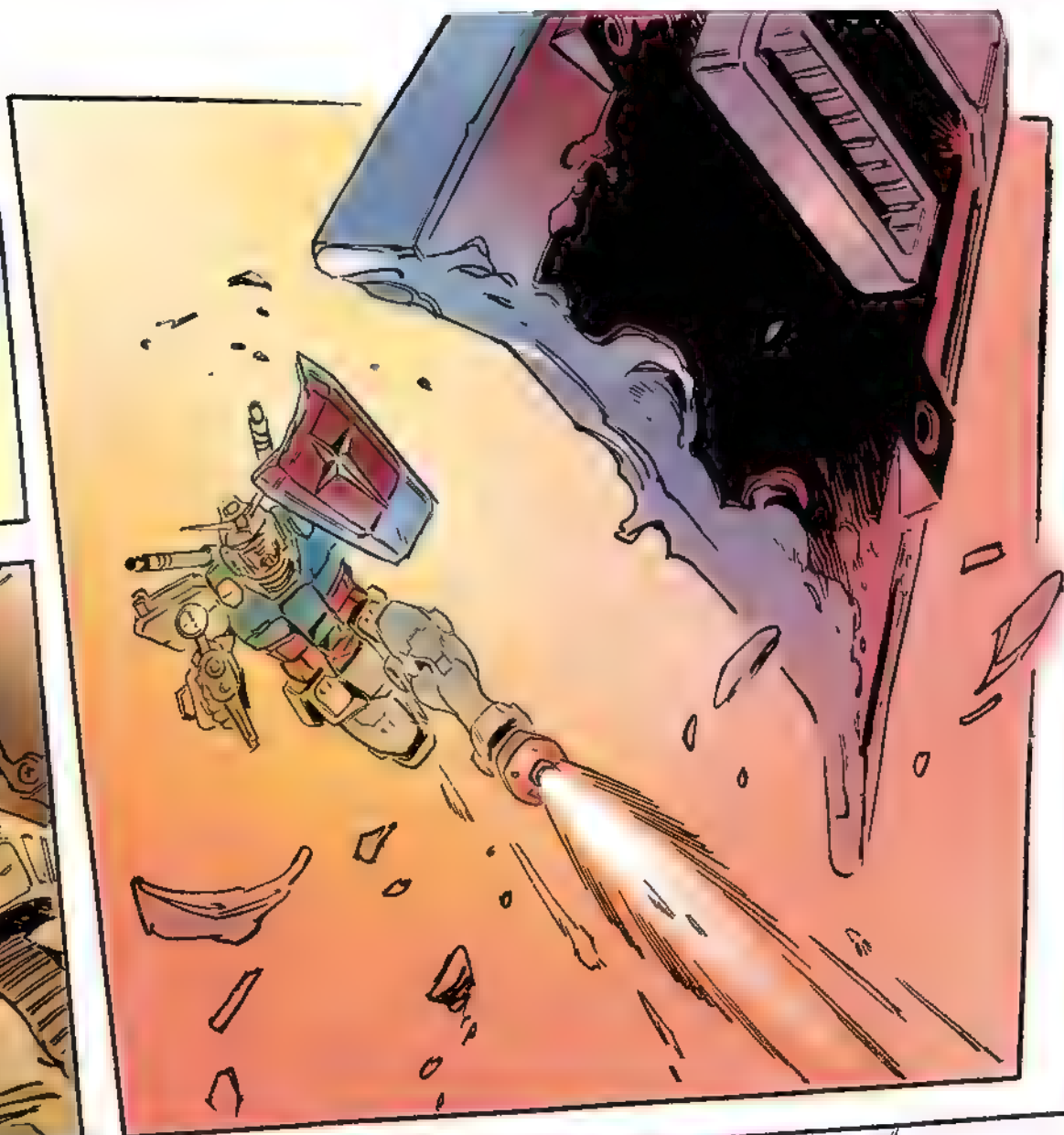
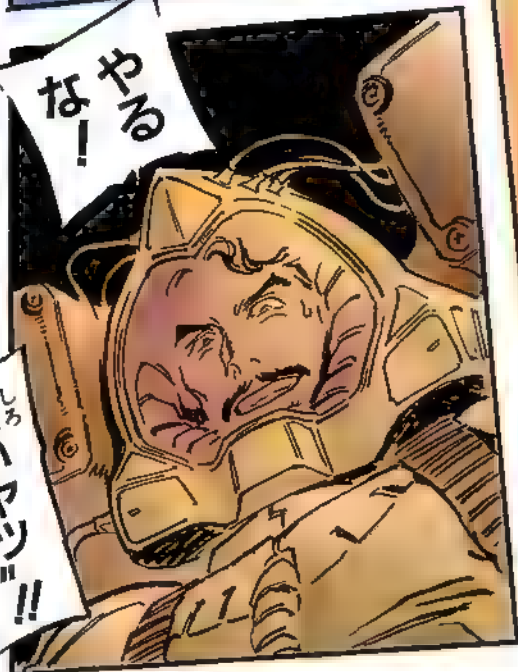




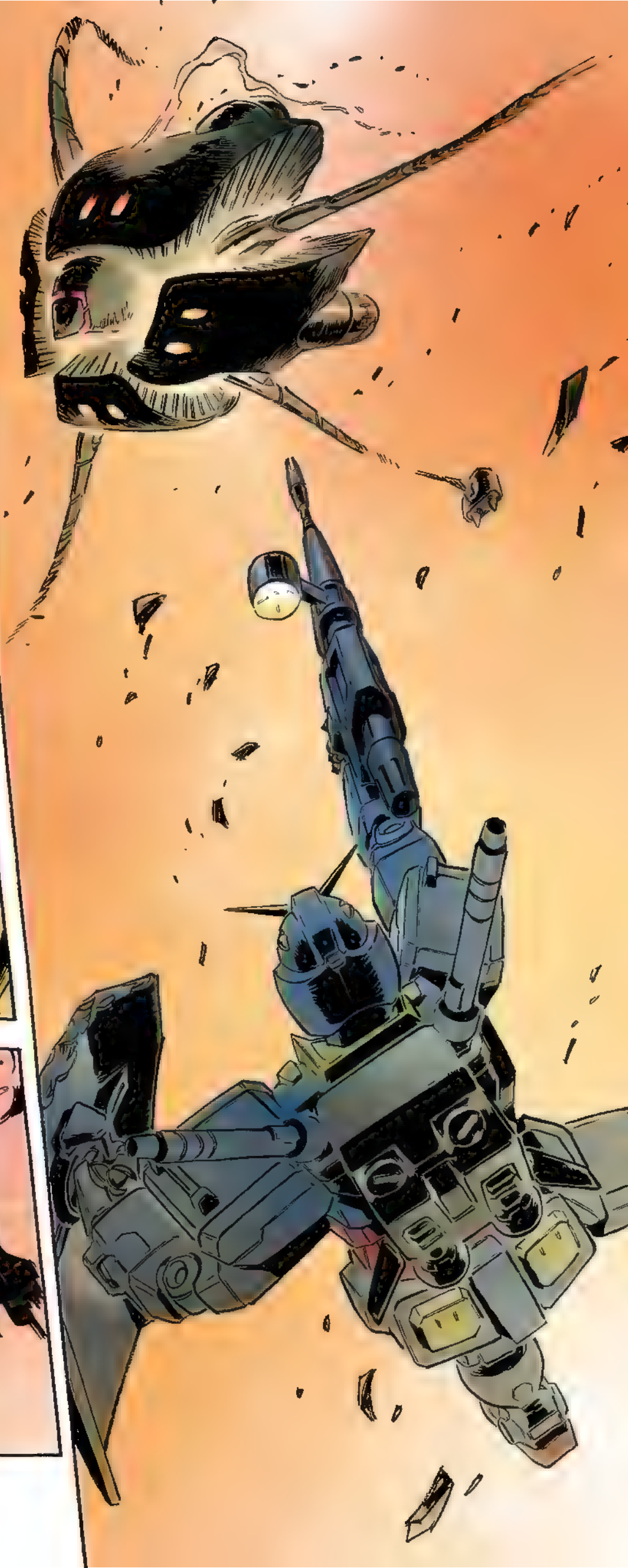
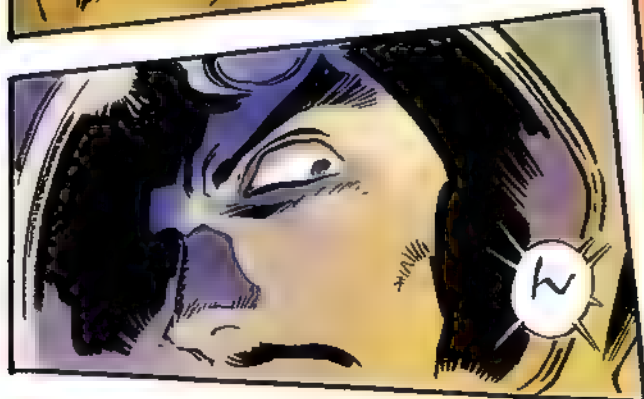


やるな!

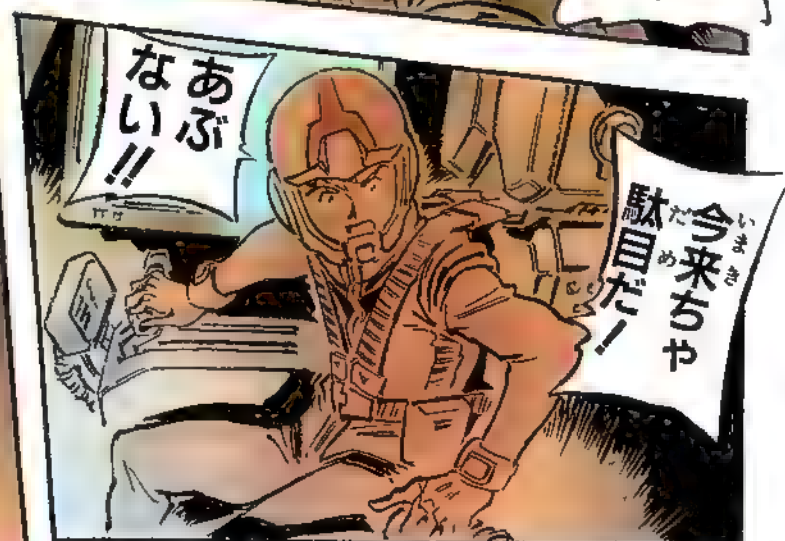
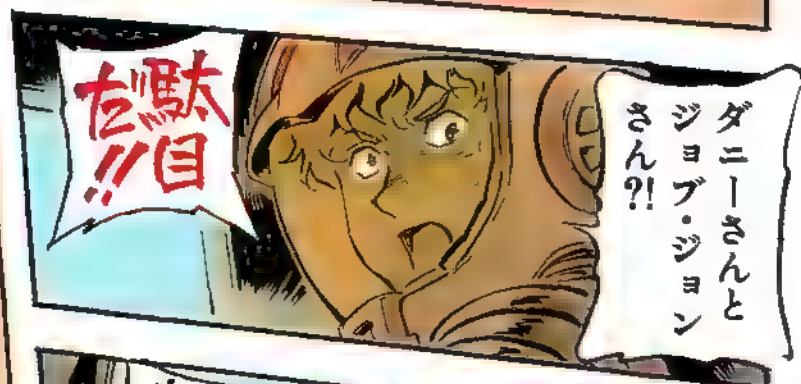
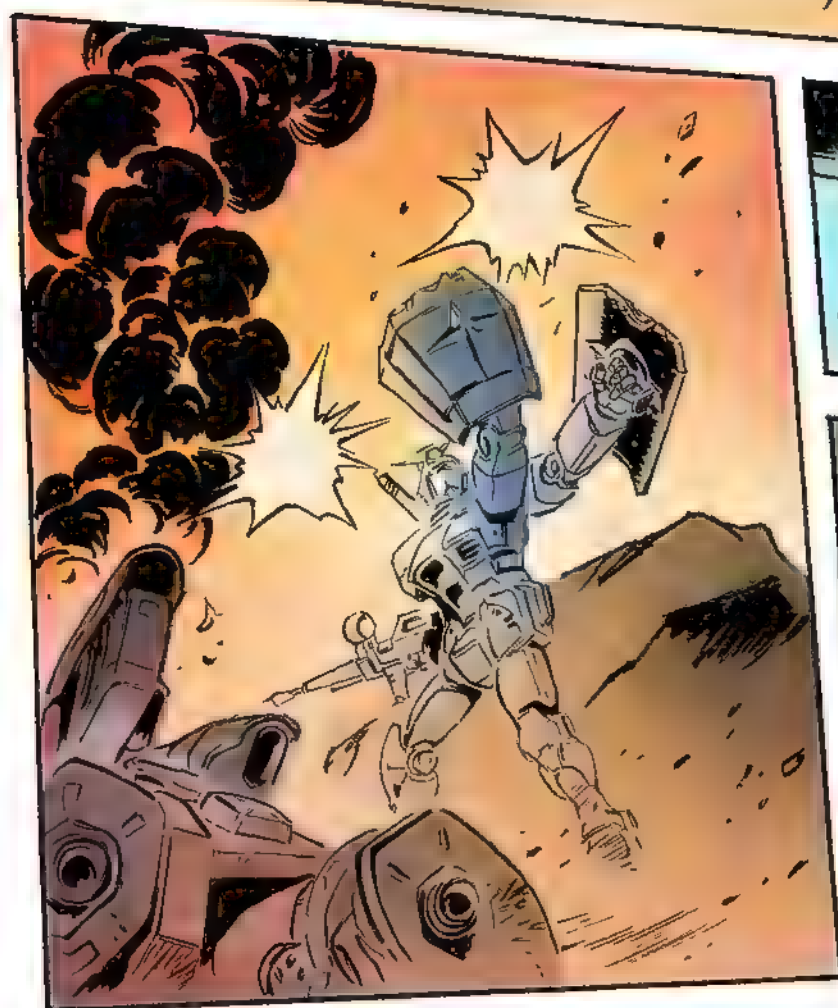
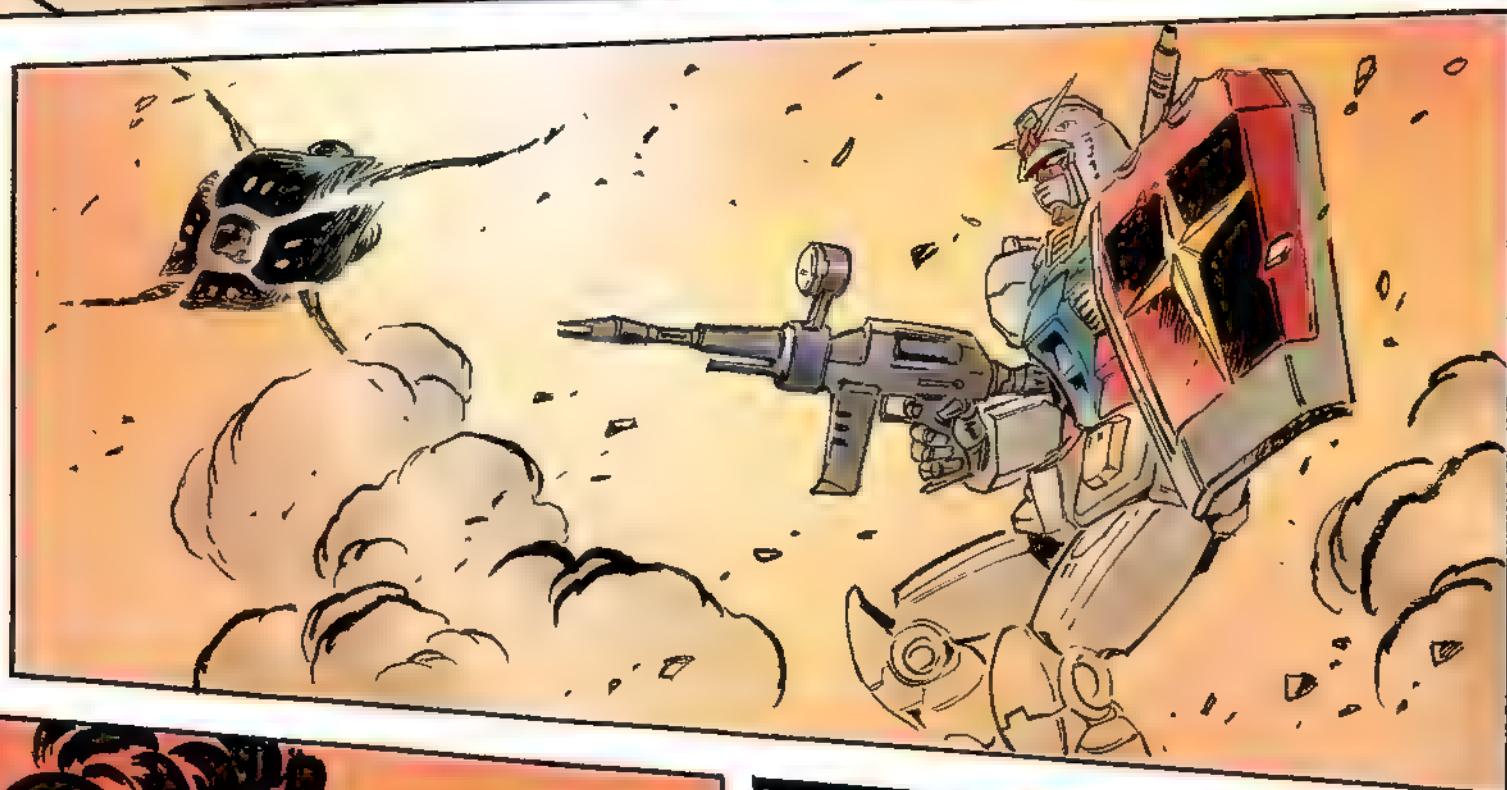
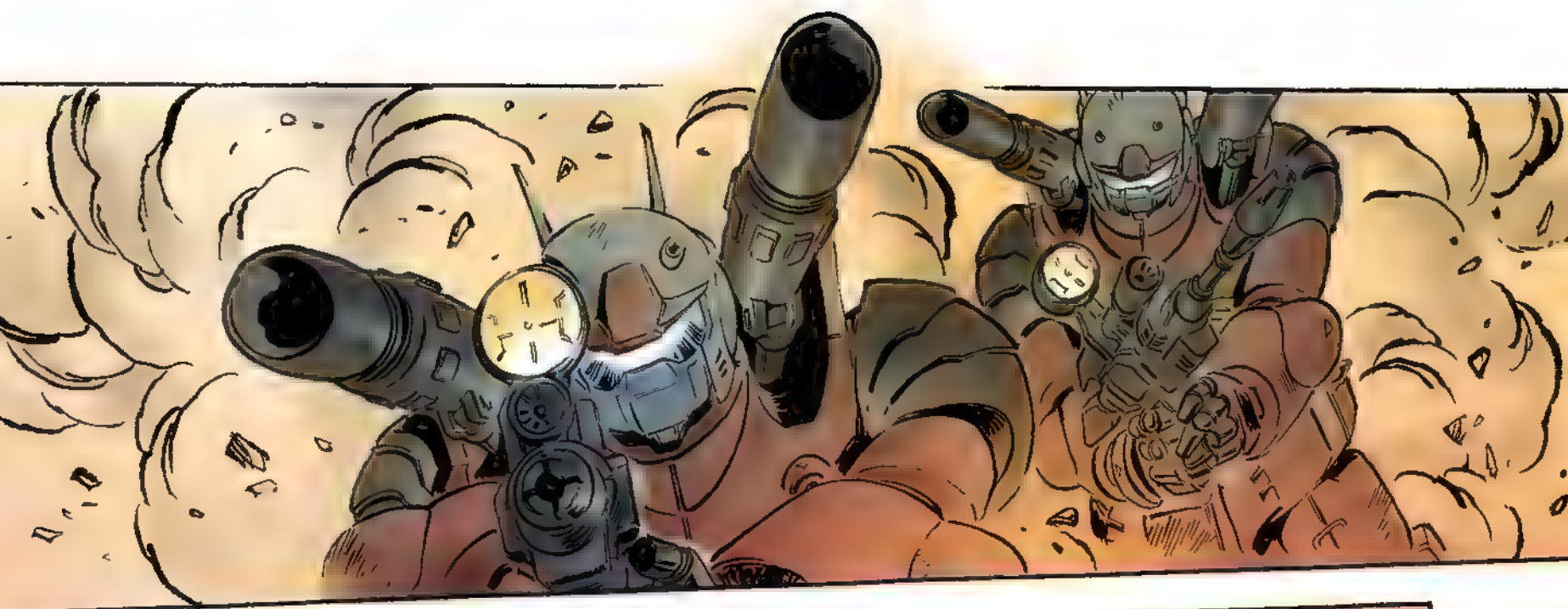
「ロウヤン」!!



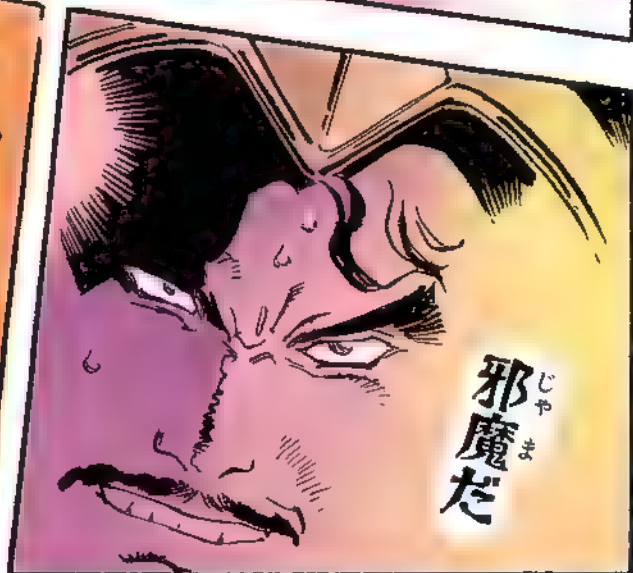
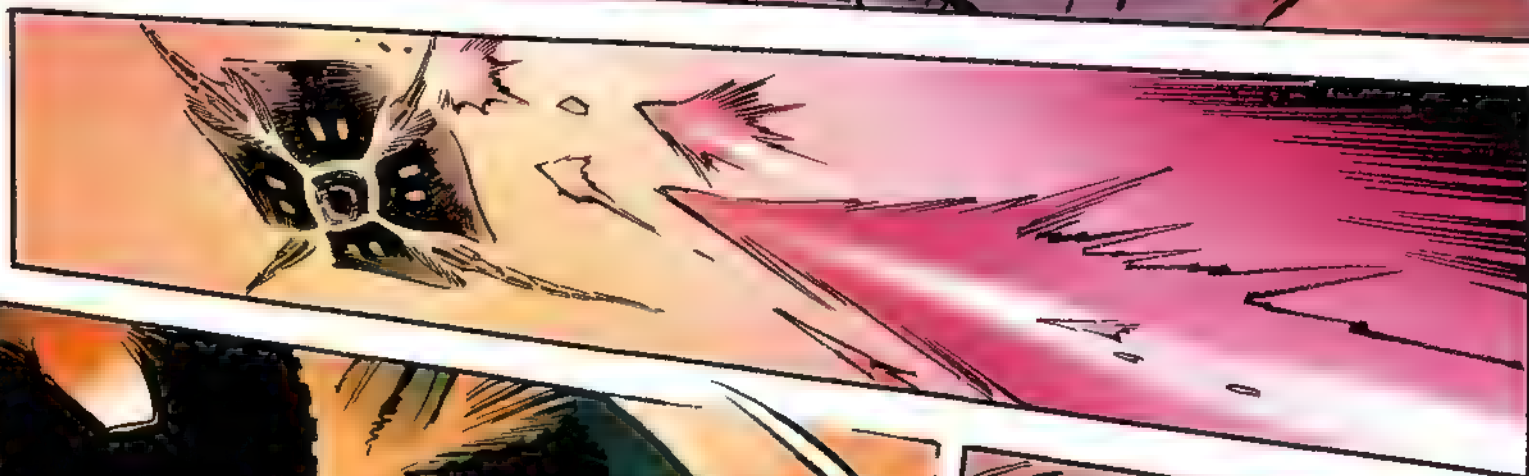
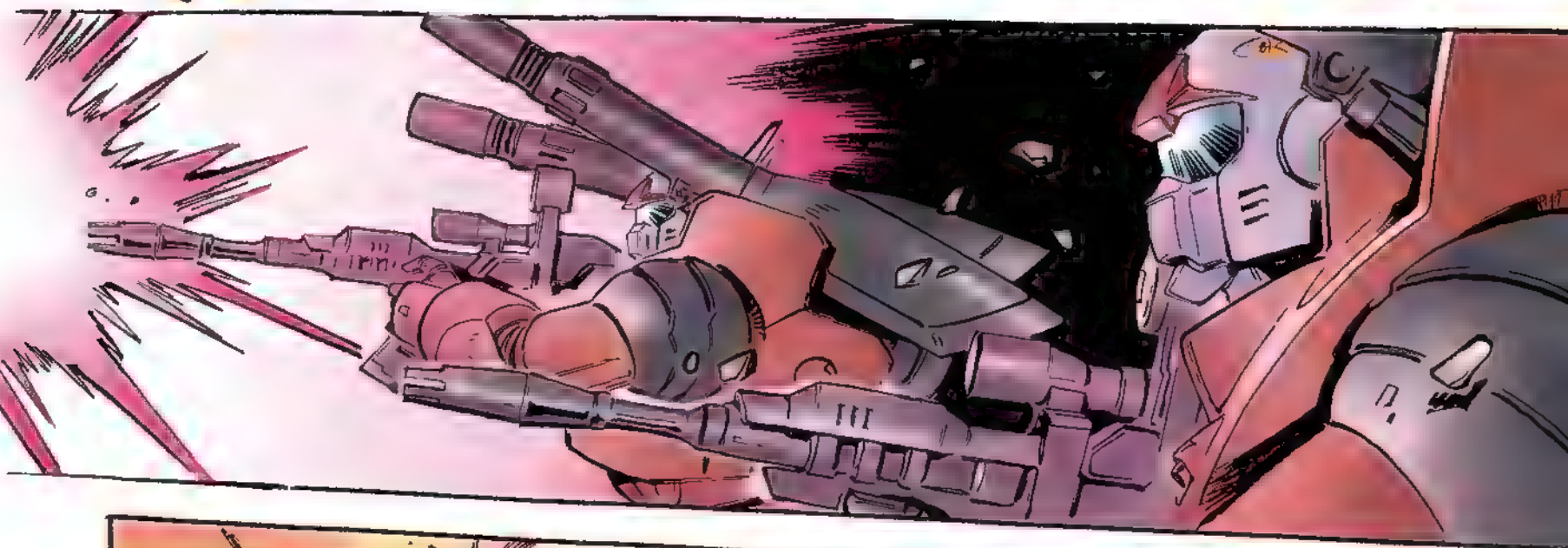
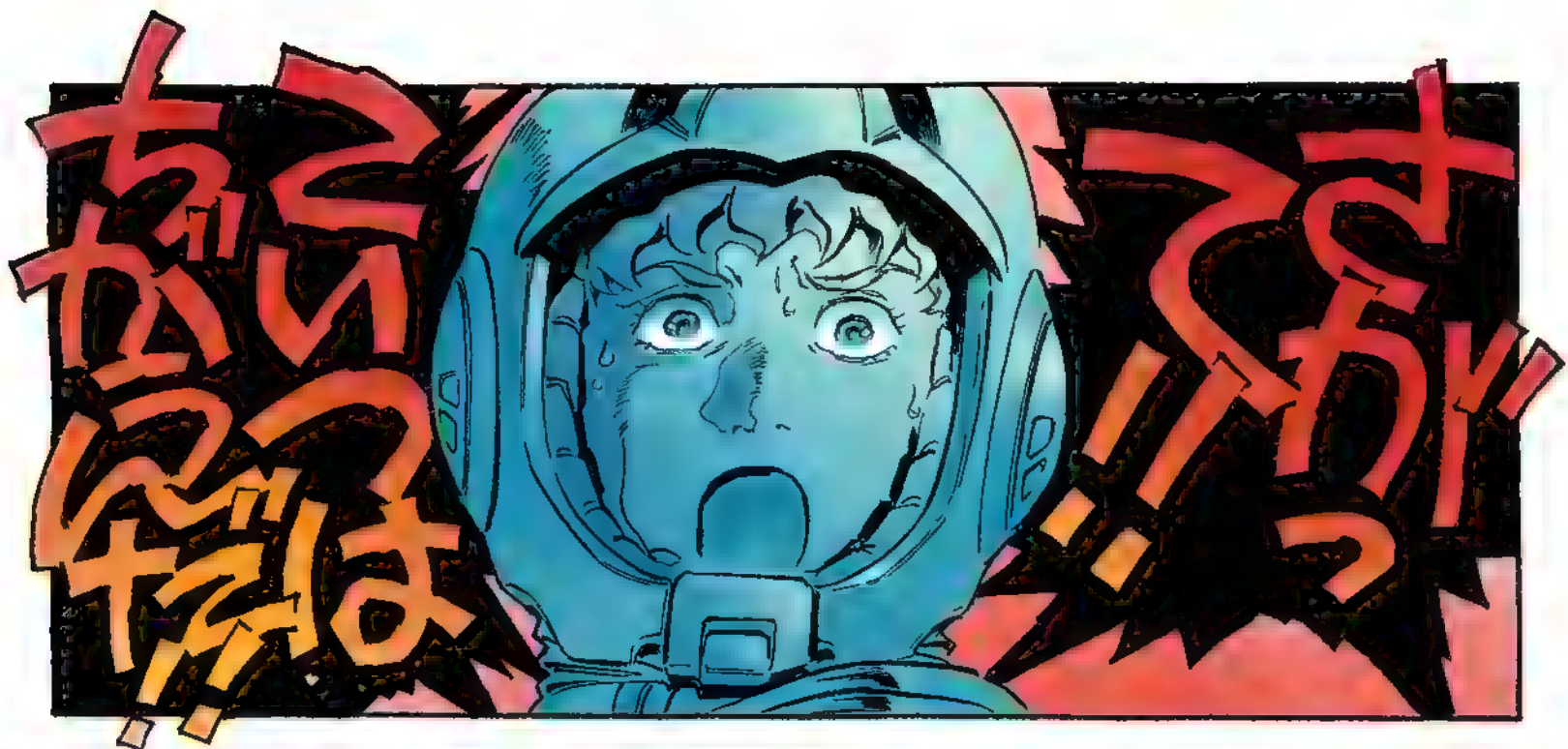




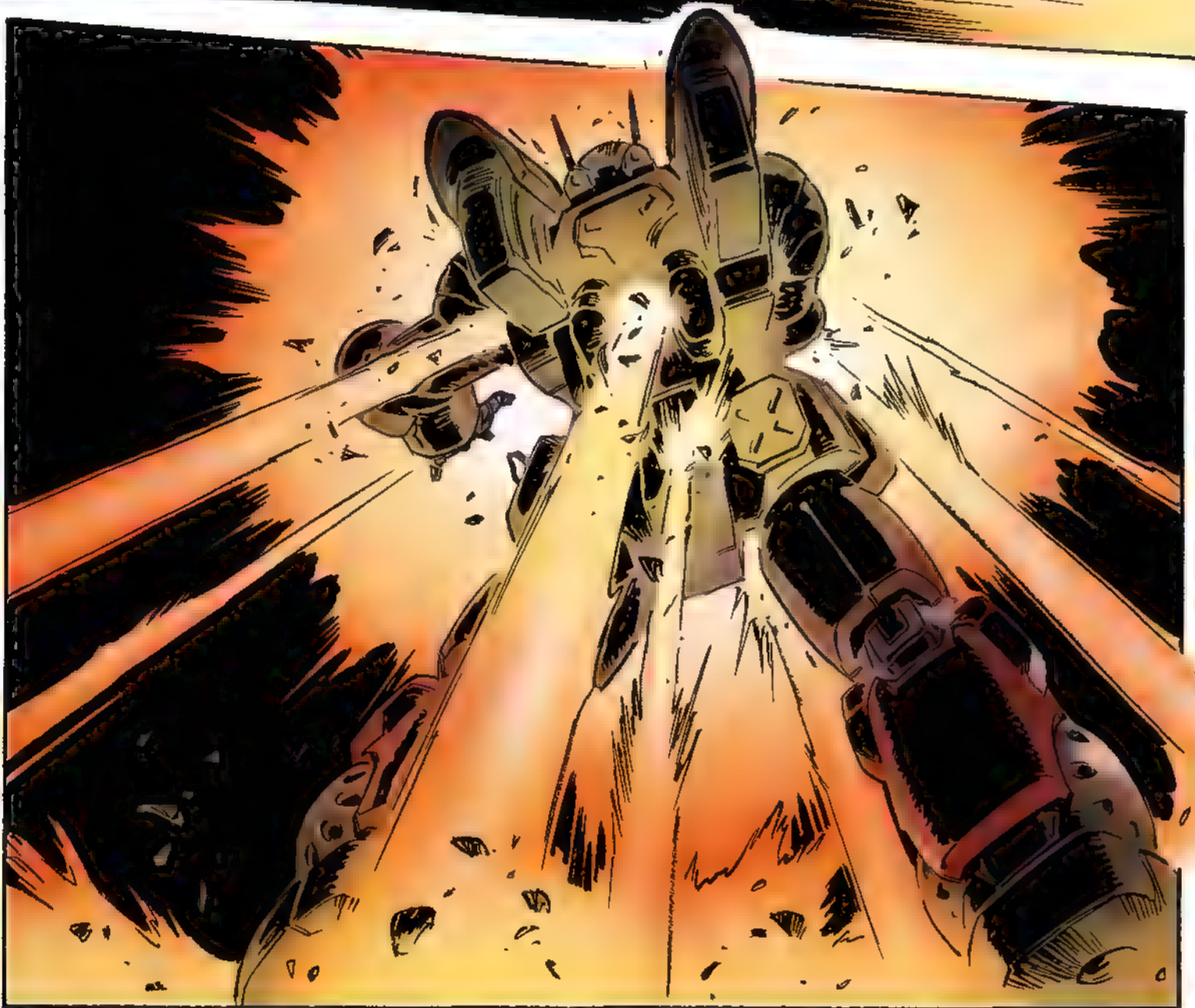
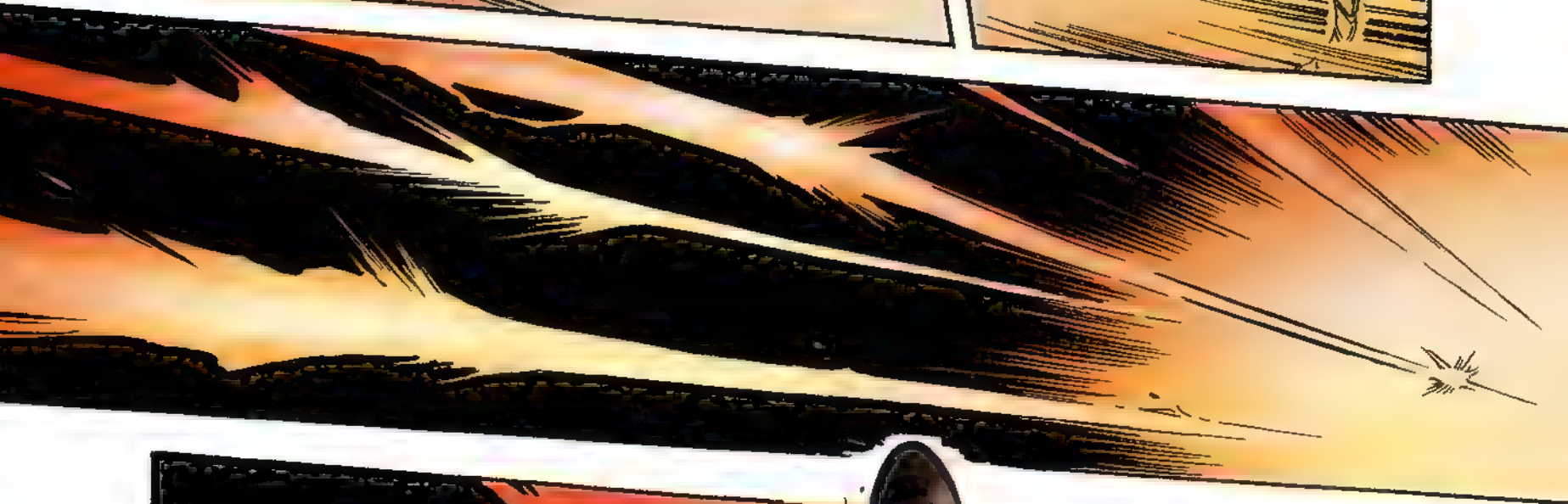
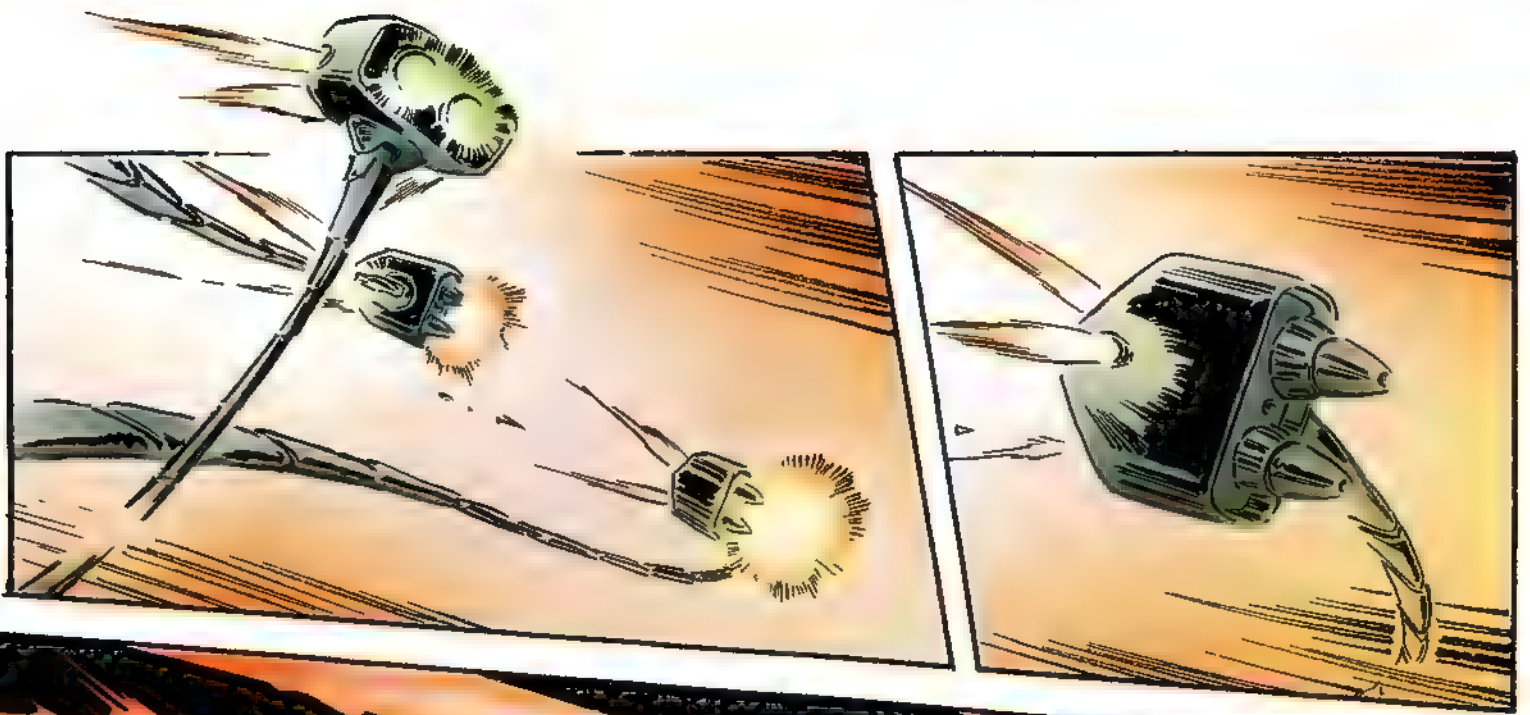




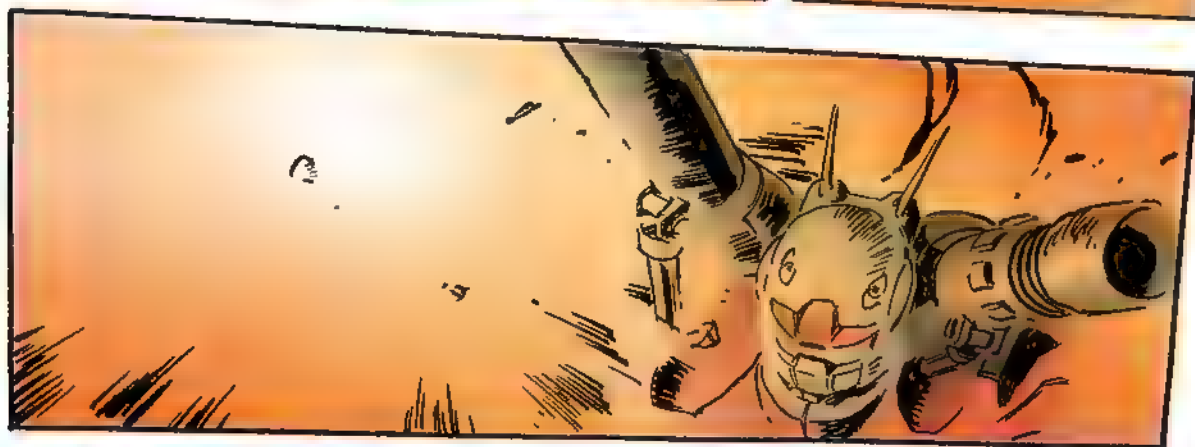
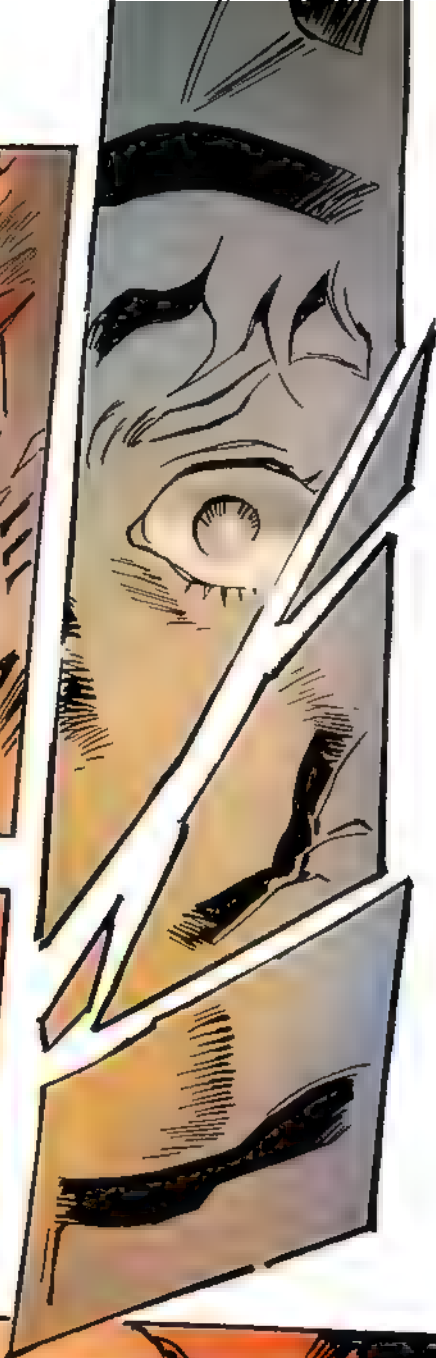
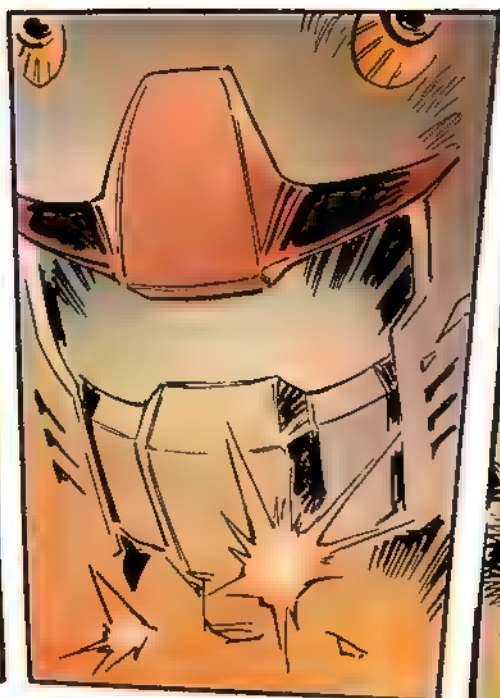
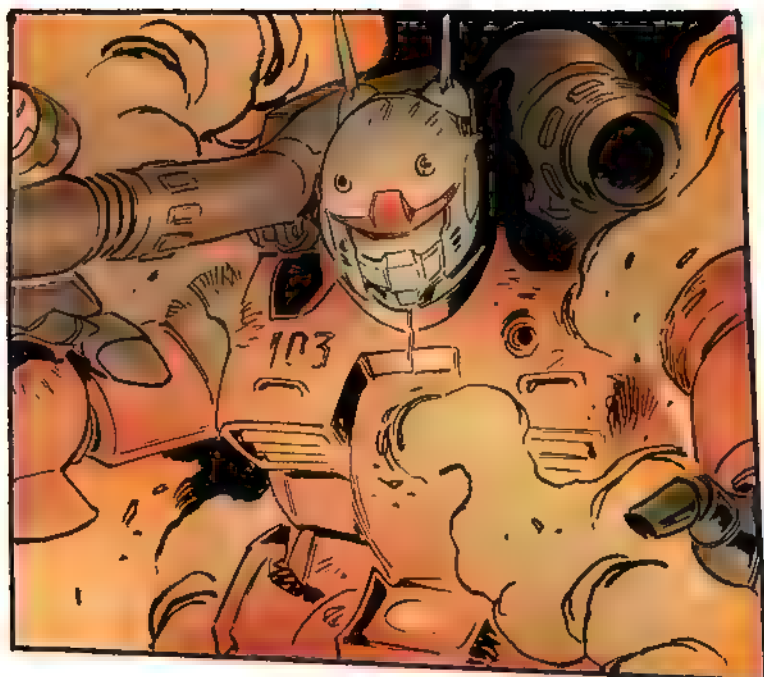










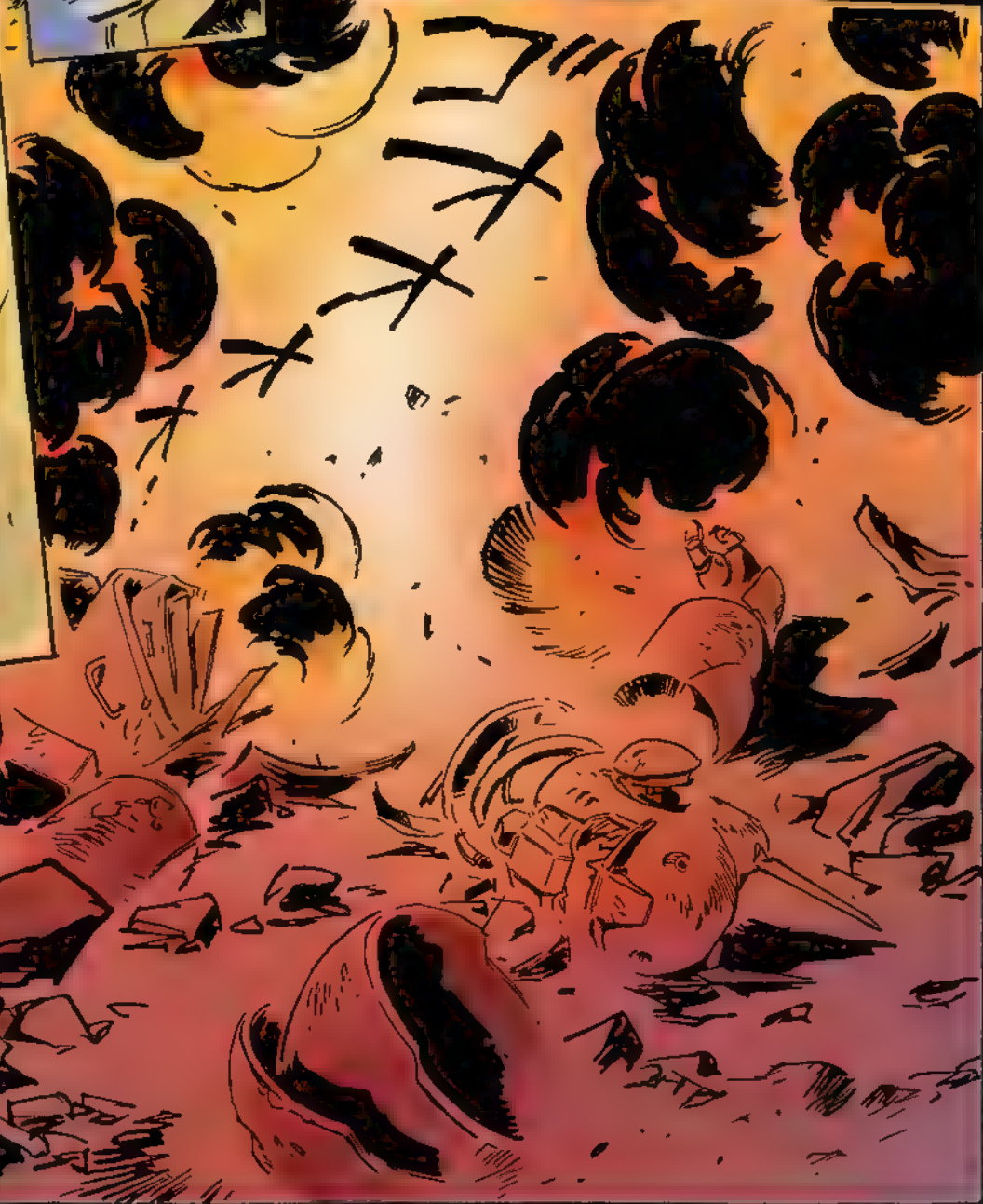




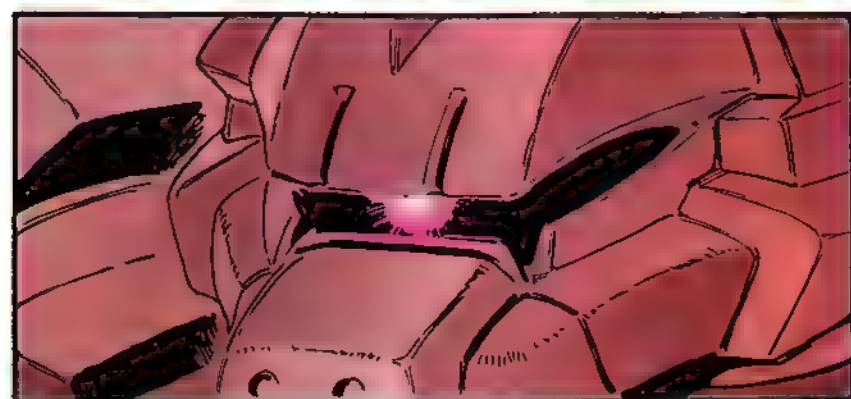
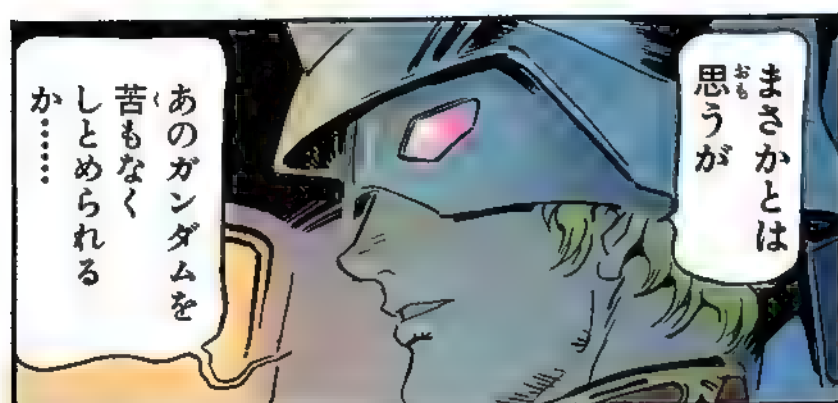
誰が  
やられた  
?!

ダニー  
さん?!

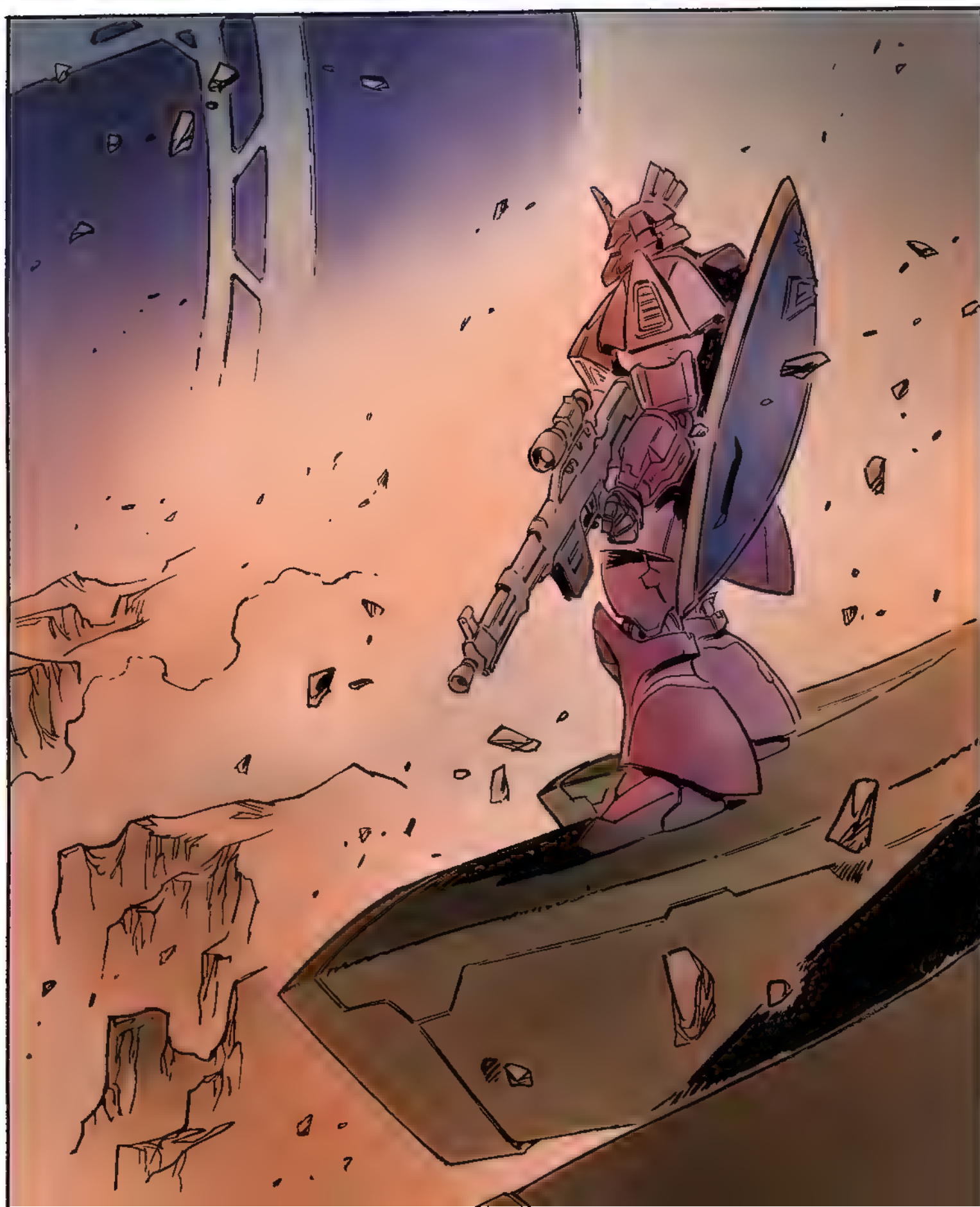
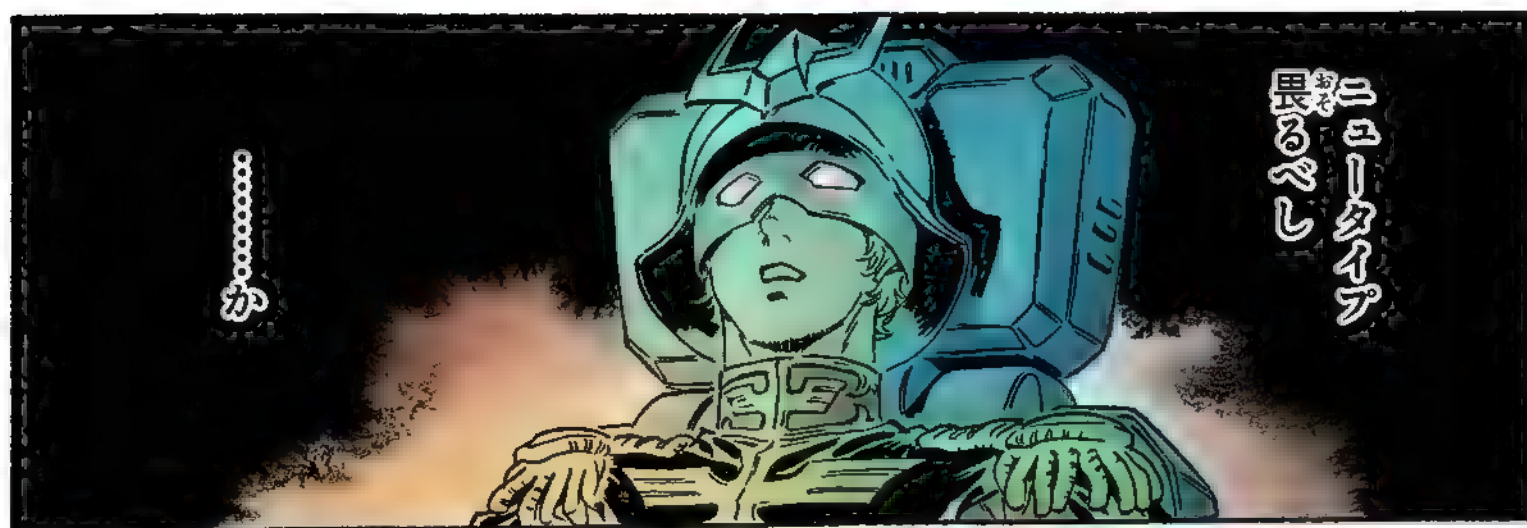
ジョブ・ジモン  
さん?!!













—ララァ編・後—

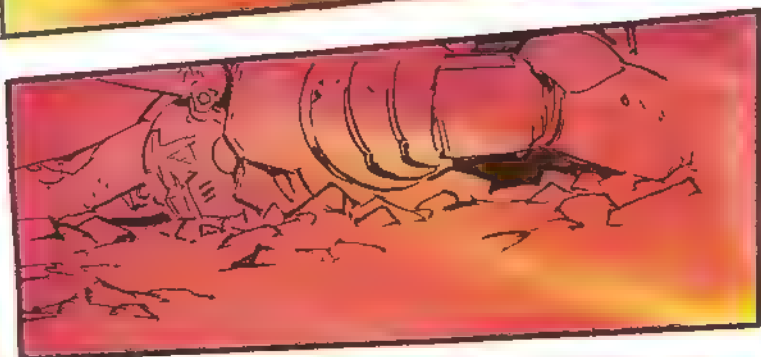
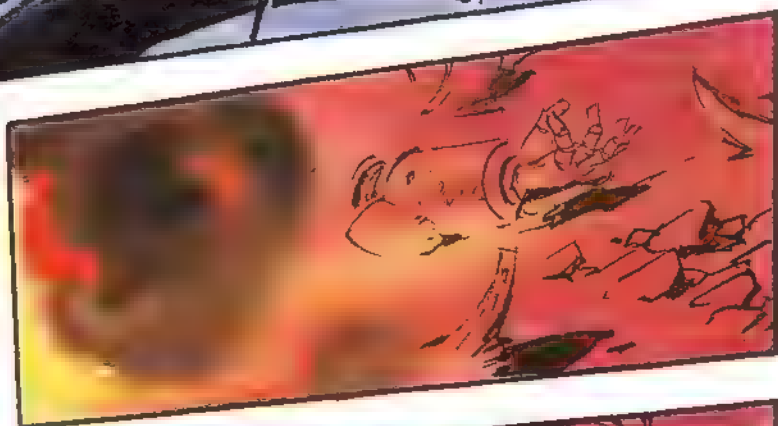
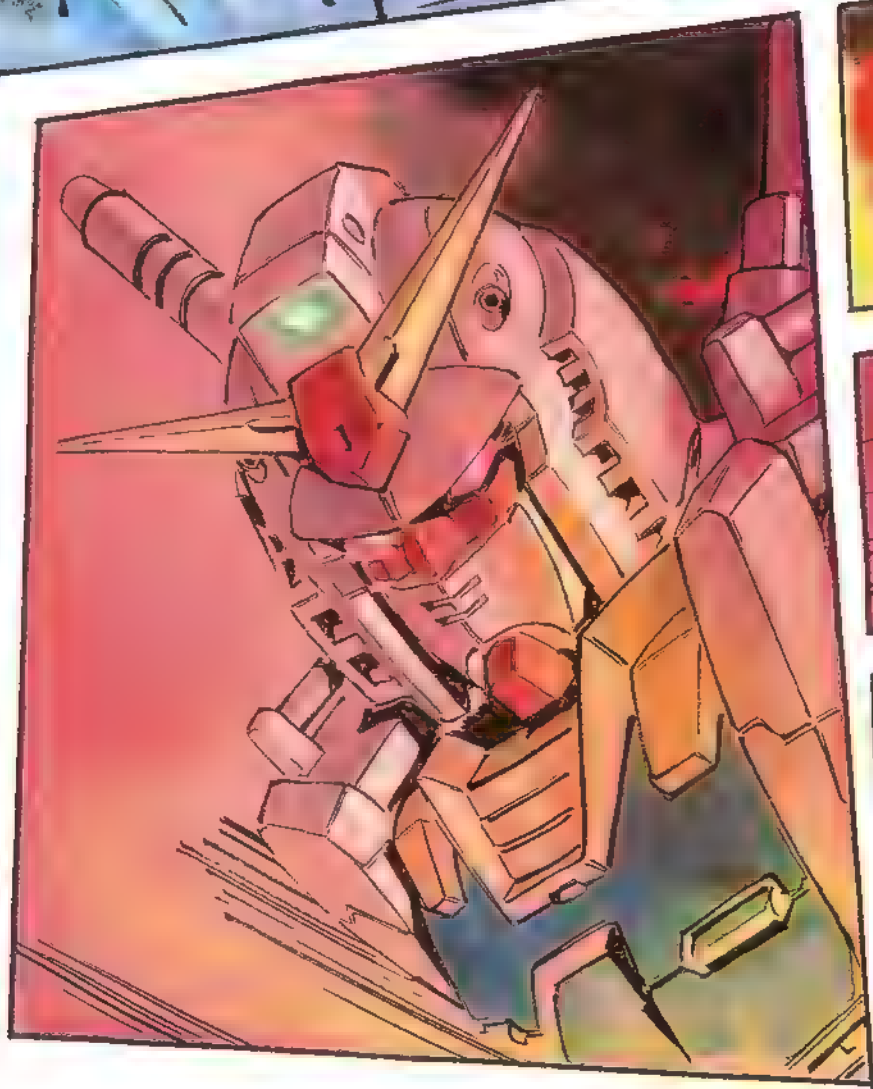
SECTION  
VIII



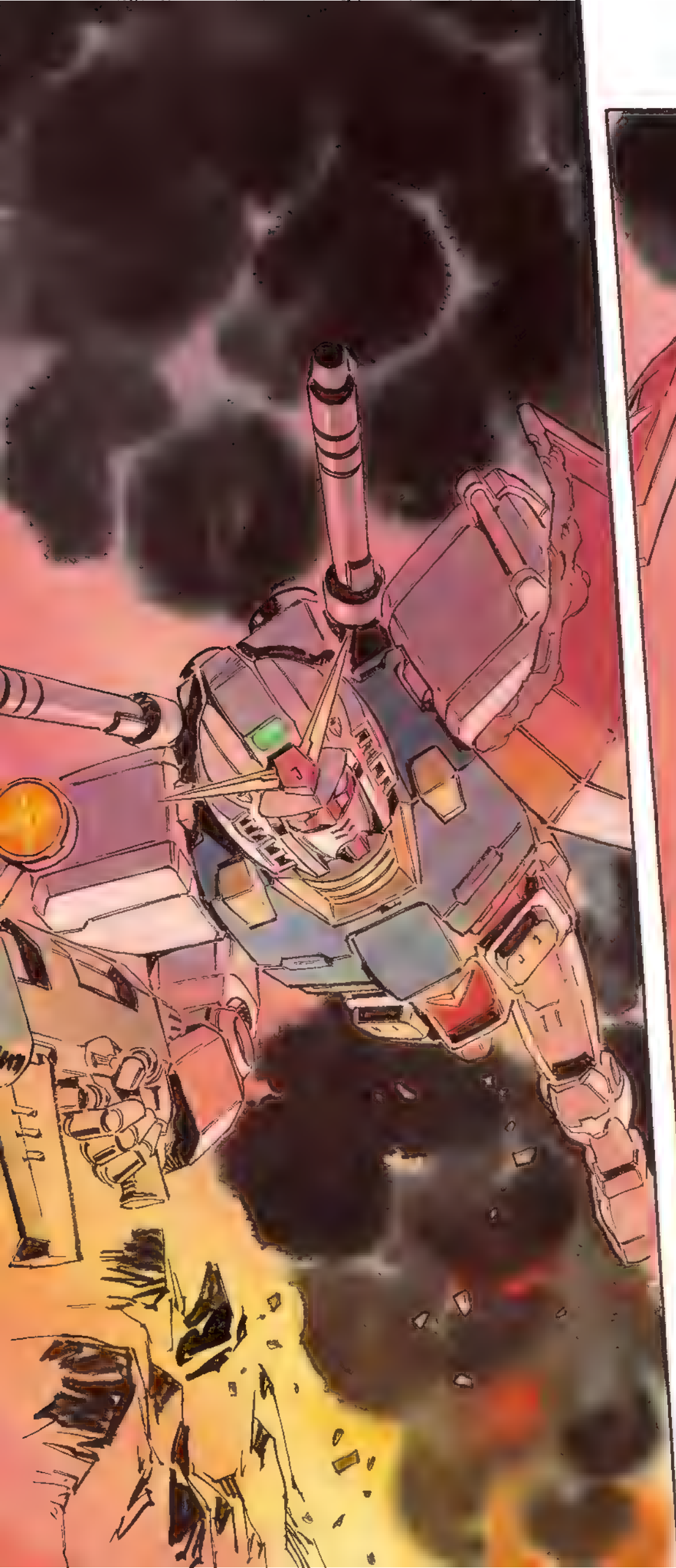


どっちが?!!

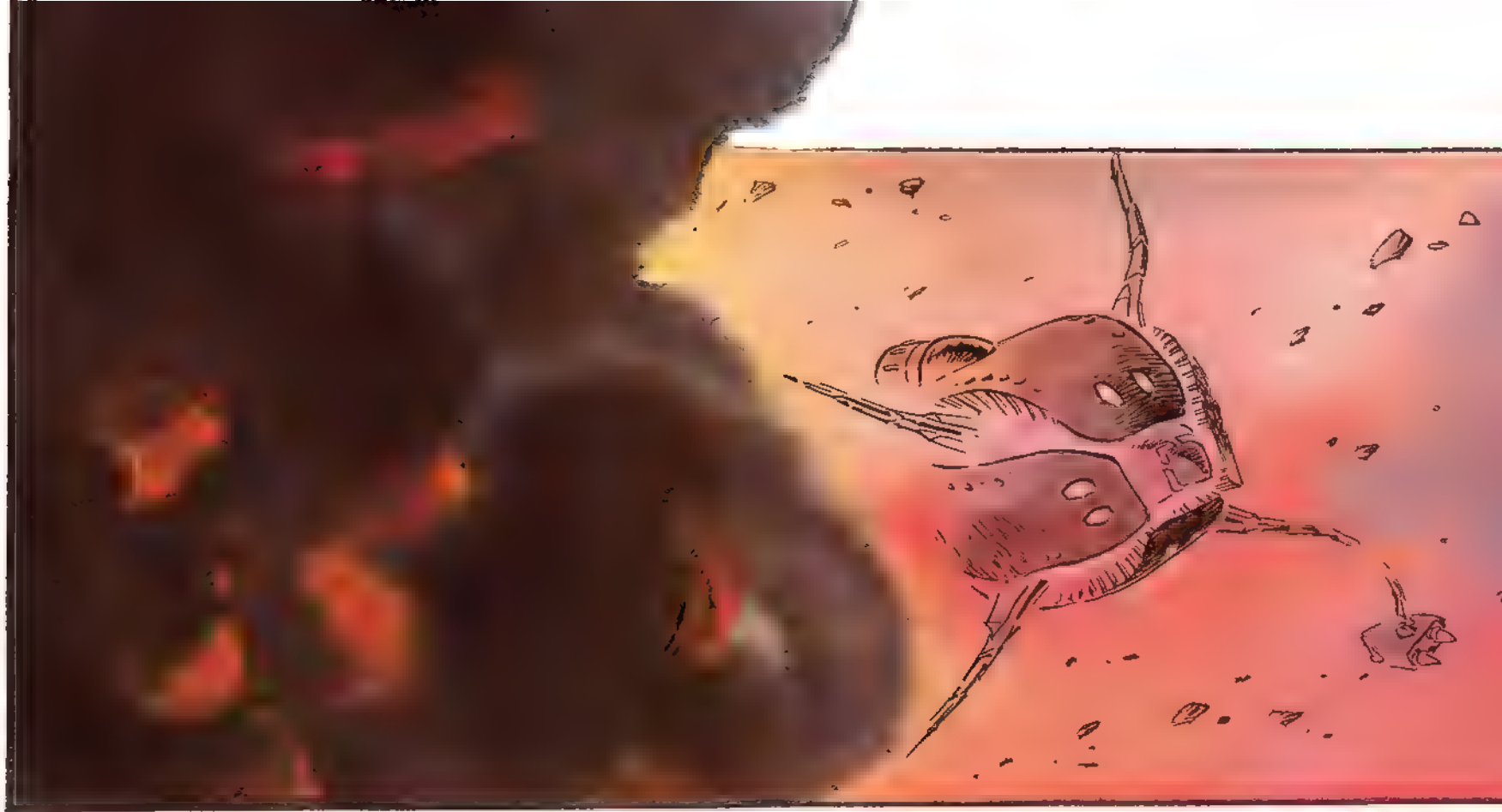
ジョー・ジョン  
ダーシーさん?  
さん?!



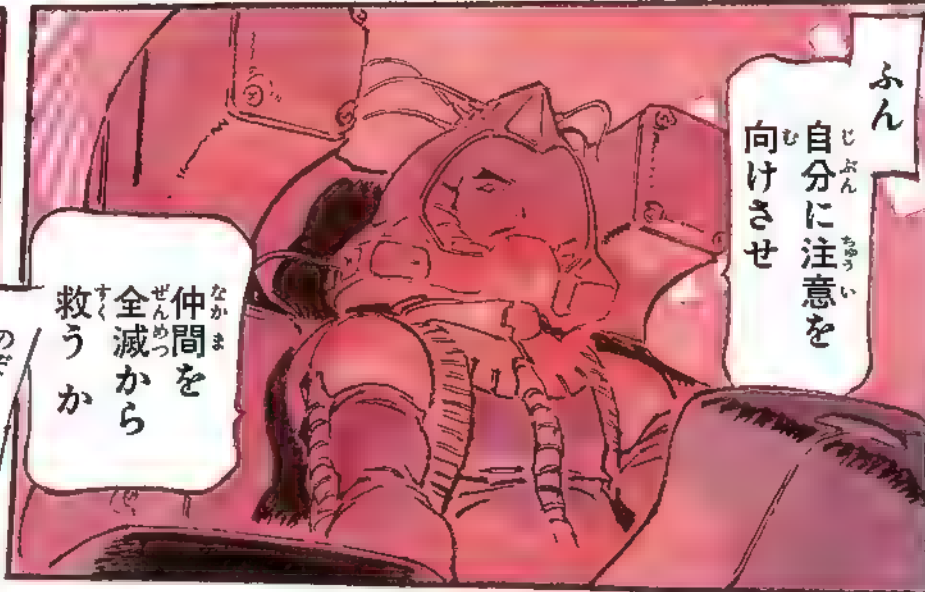






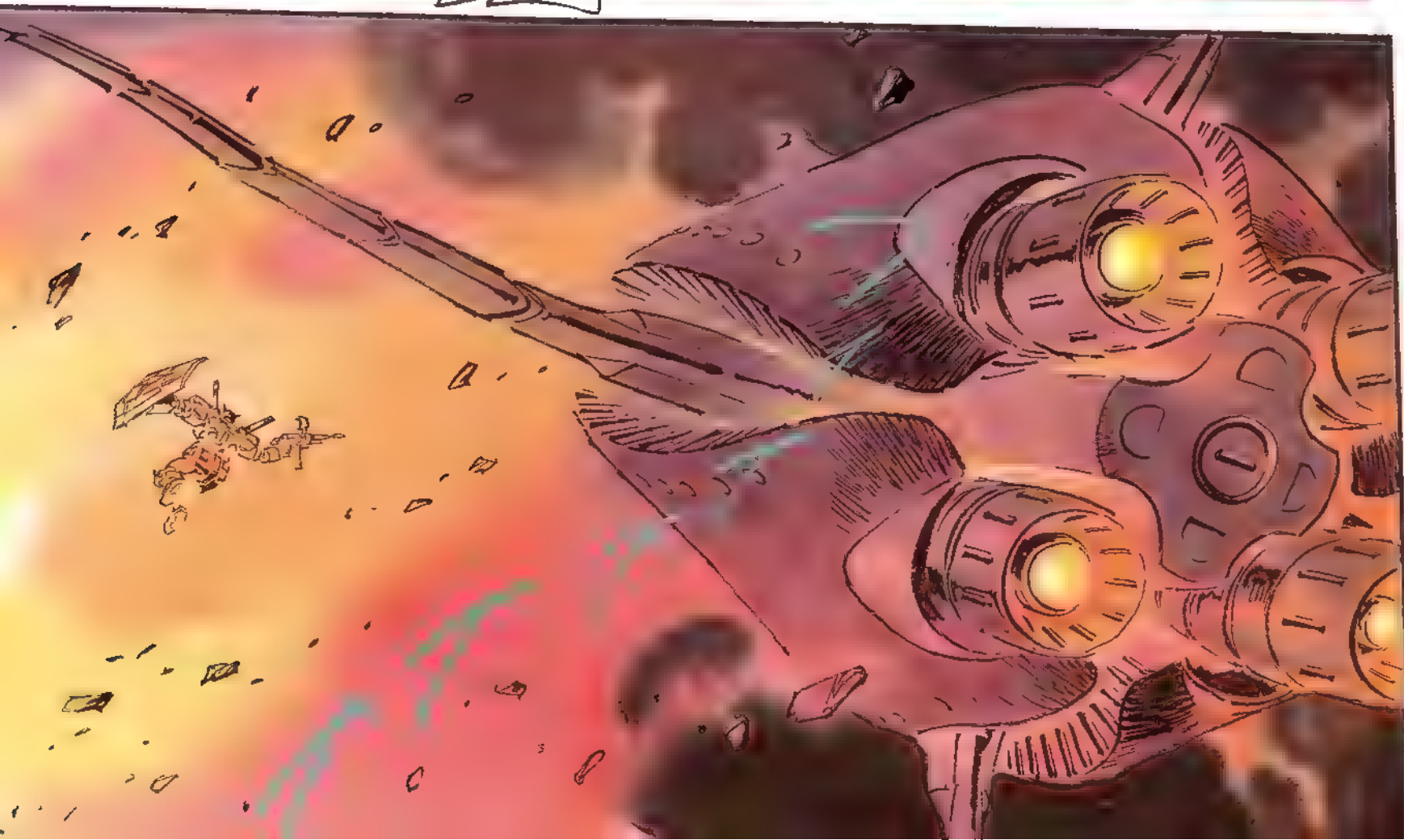


望むところ  
だああっ！

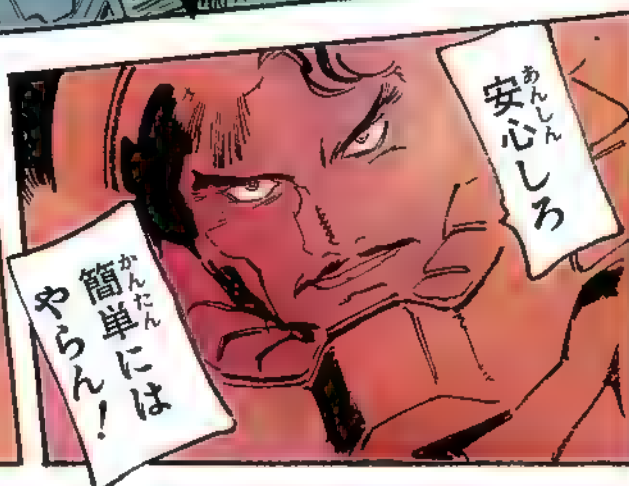
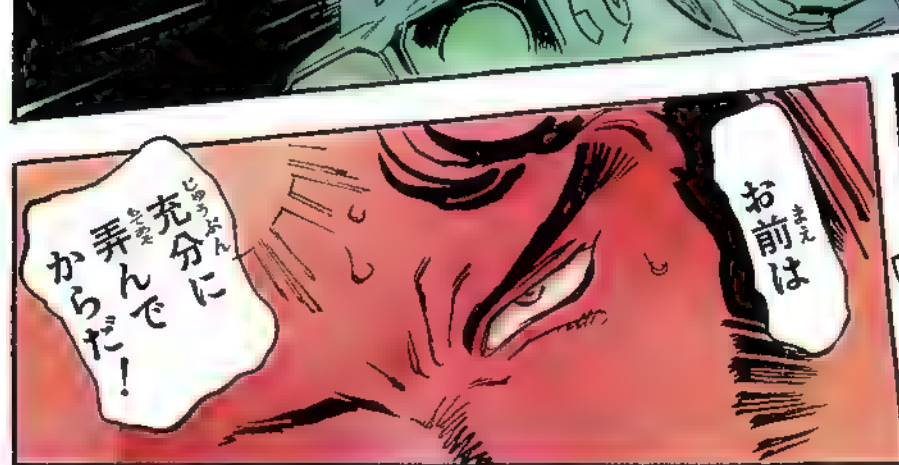
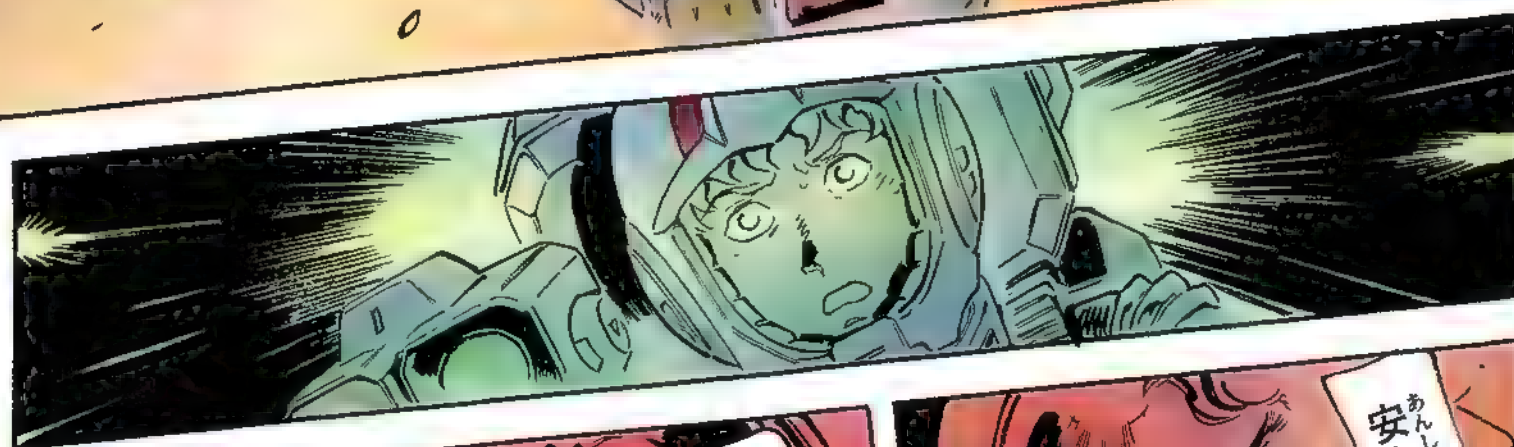
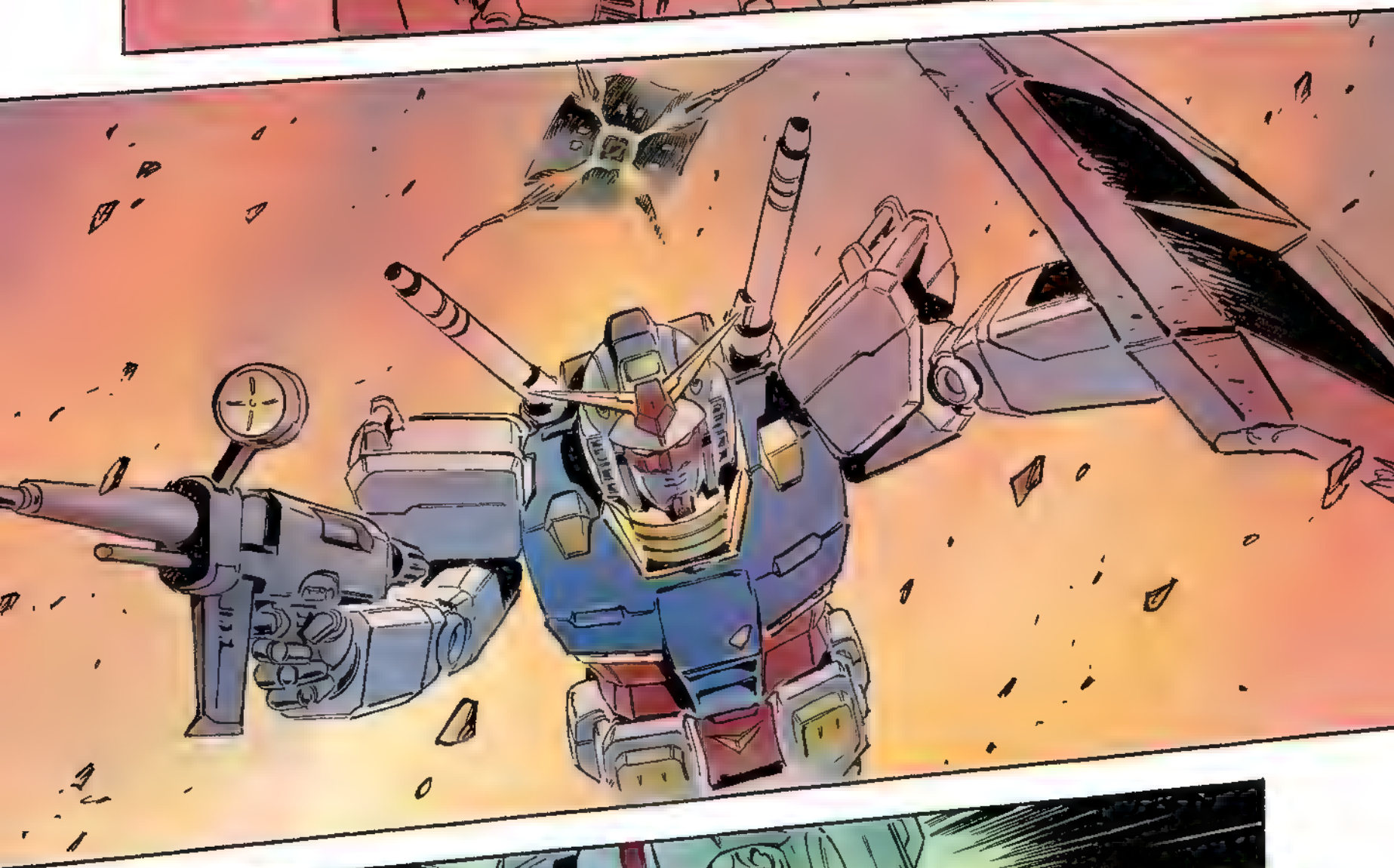
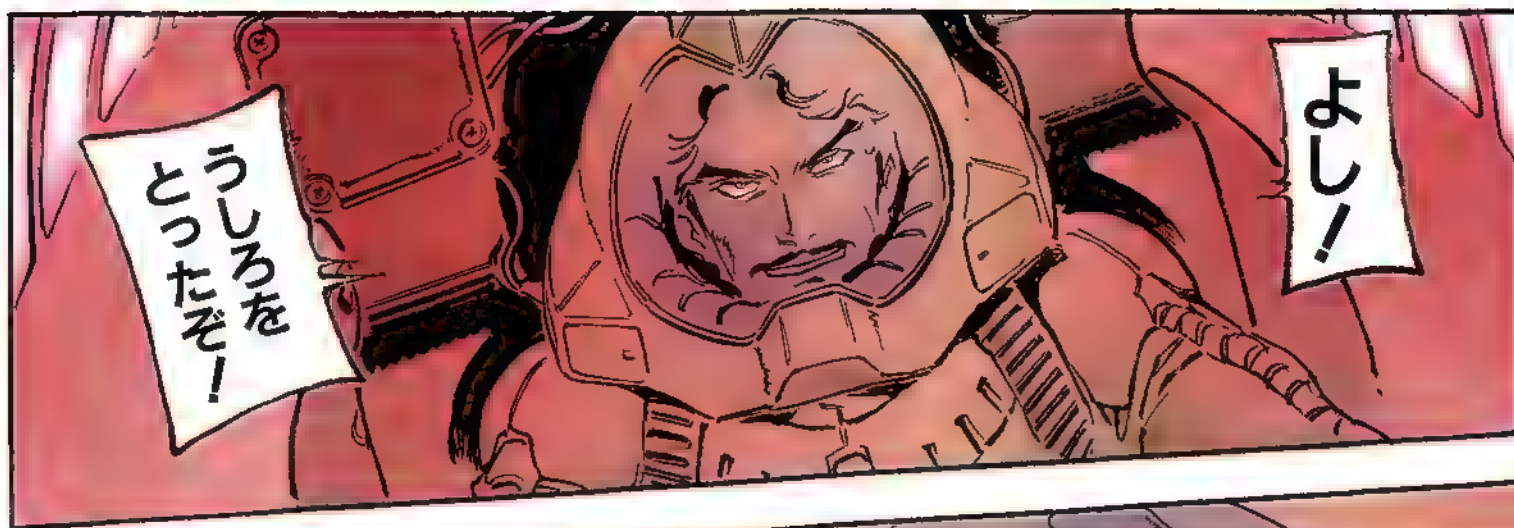


ふん  
自分に注意を  
向けさせ

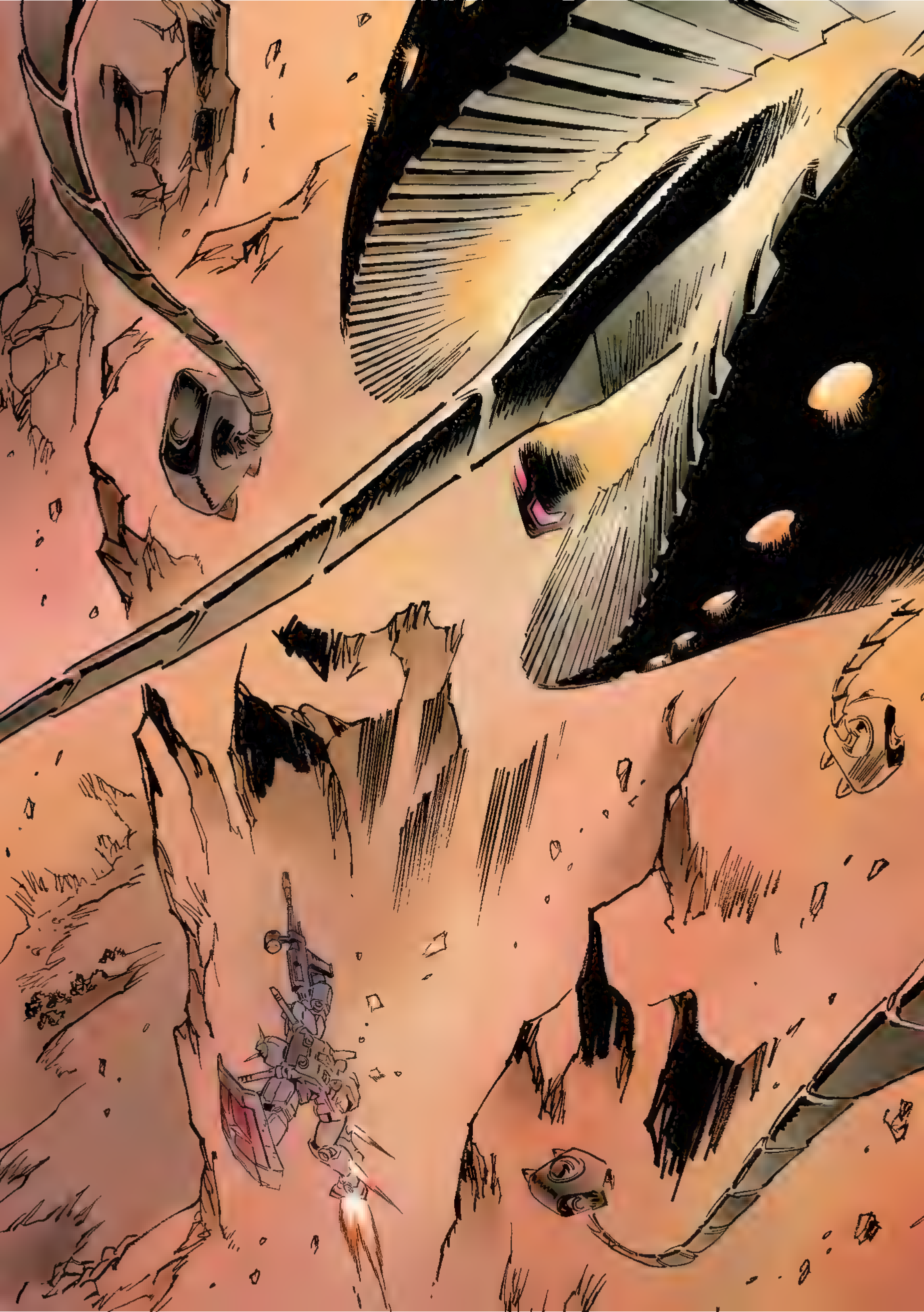
仲間を  
全滅から  
救うか



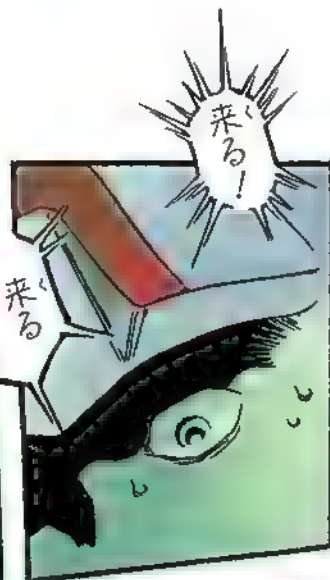




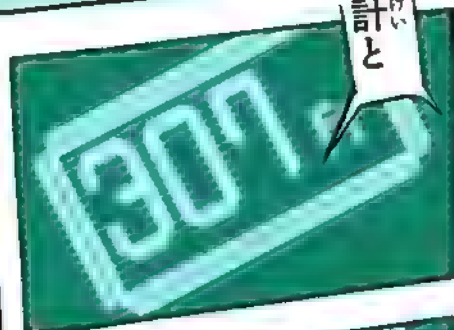




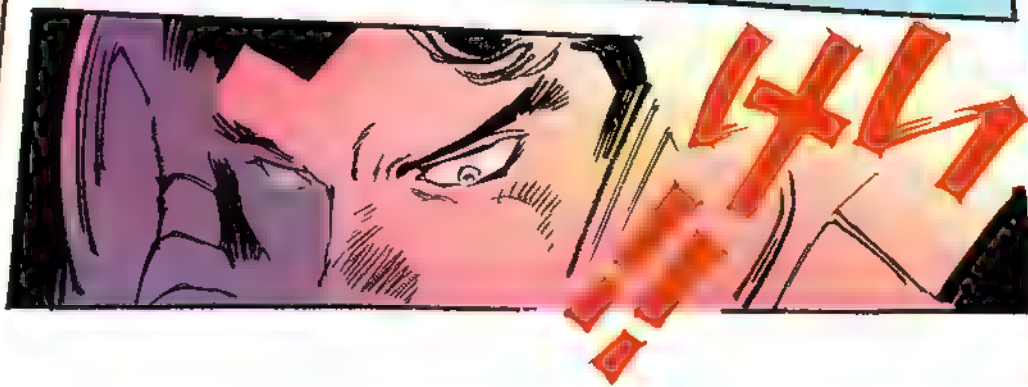




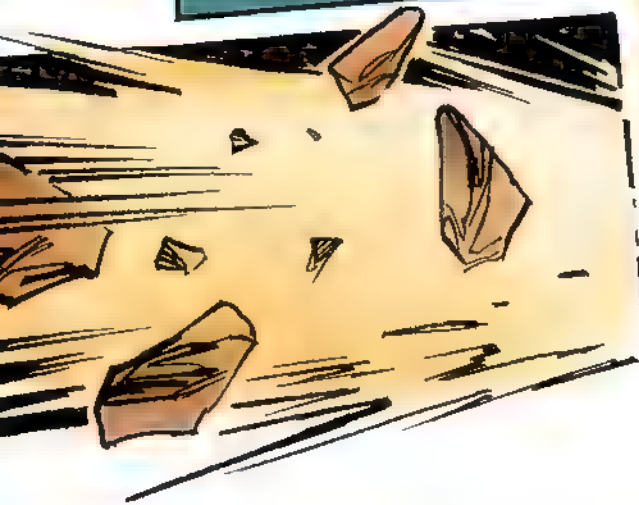
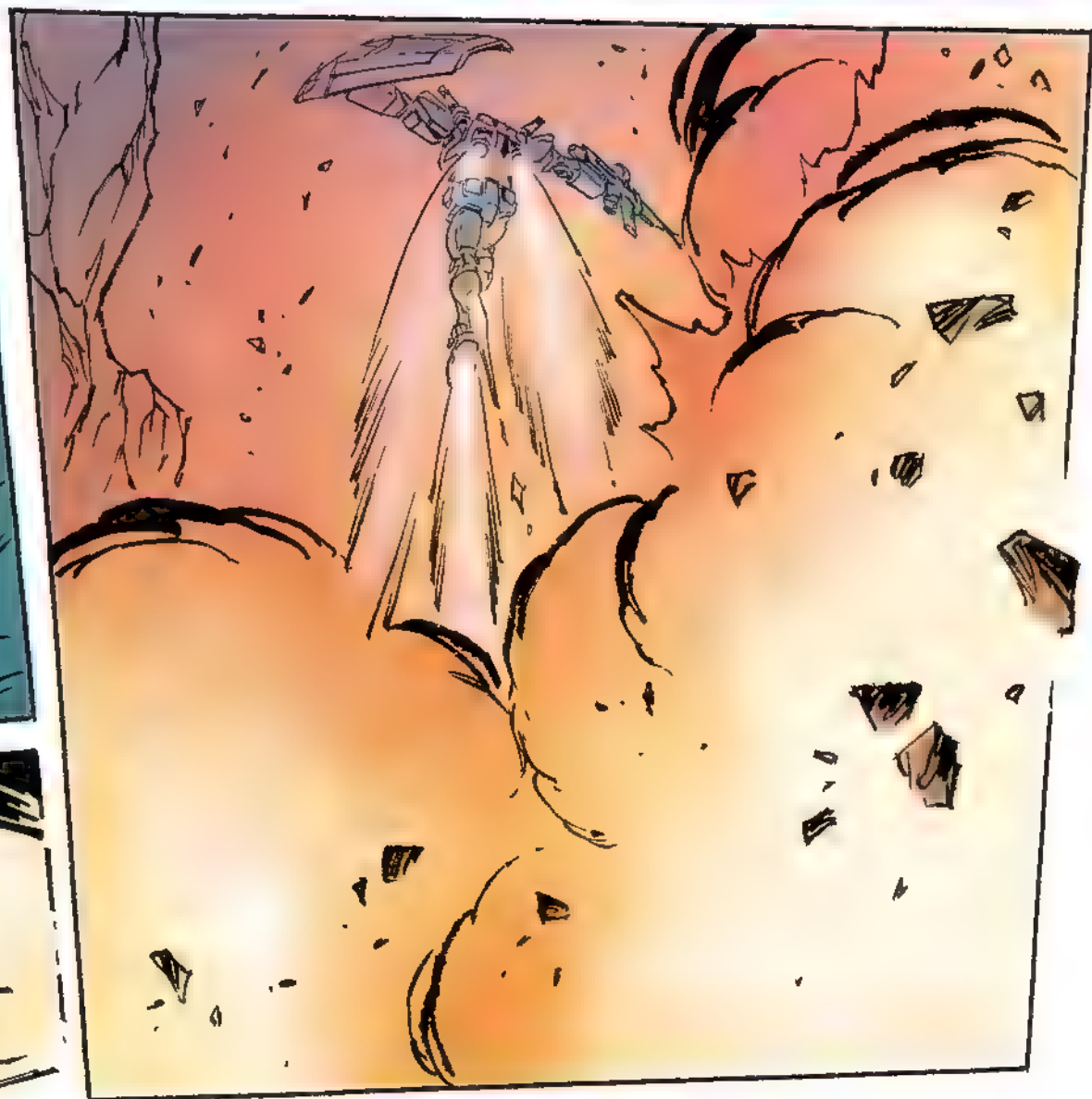
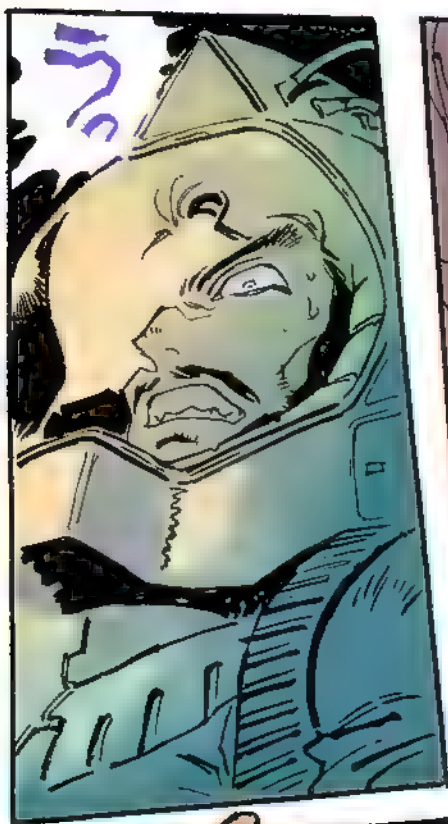
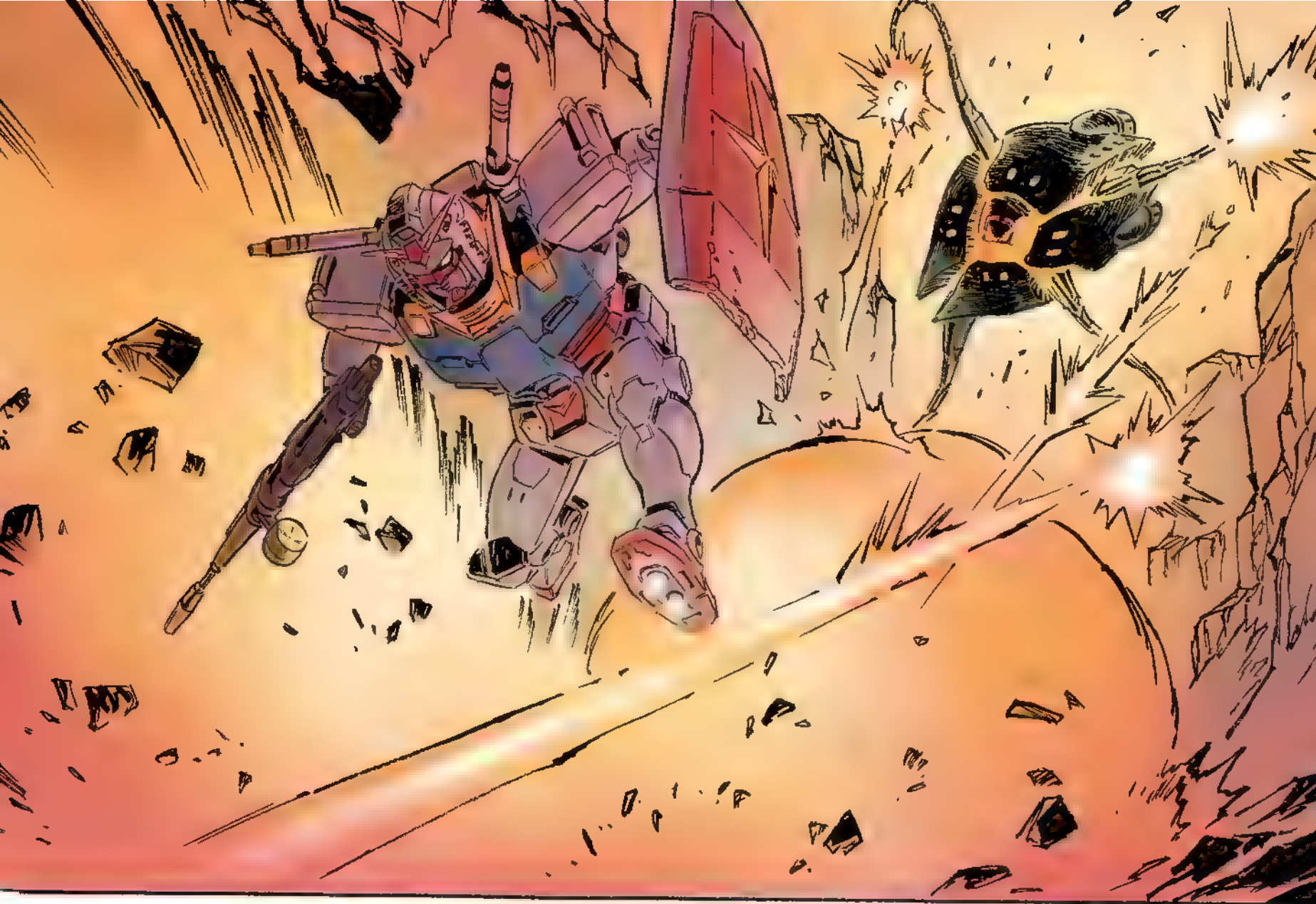
高度計と  
こうどけい



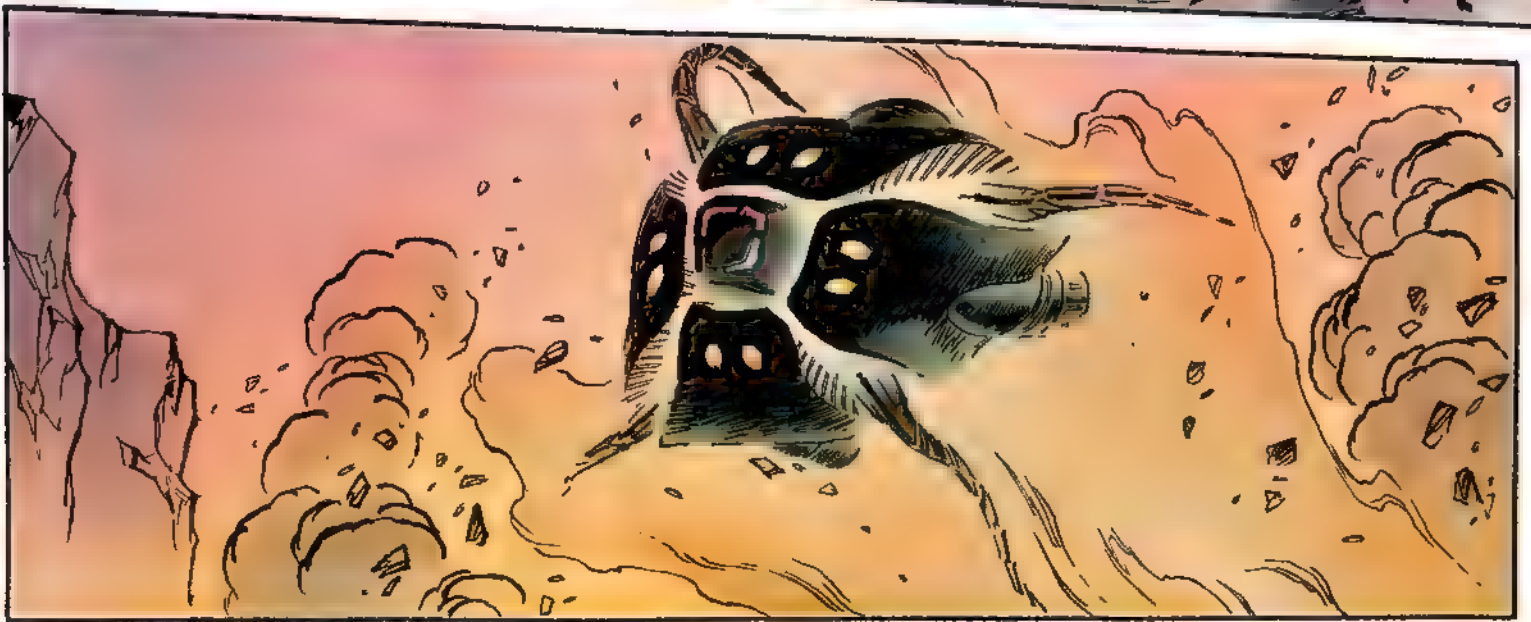
対地ソナーは  
たいち  
い  
ソナーは  
生きてる!



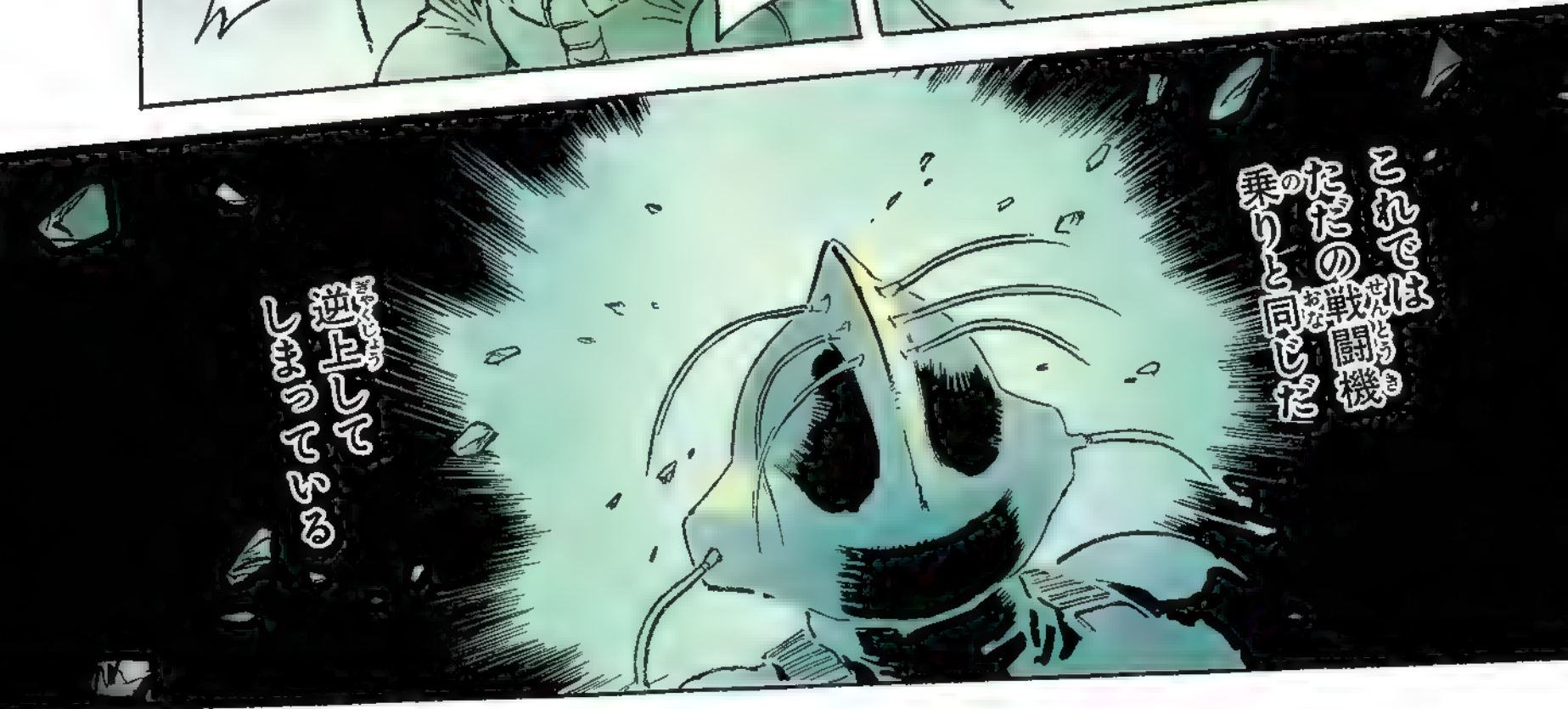
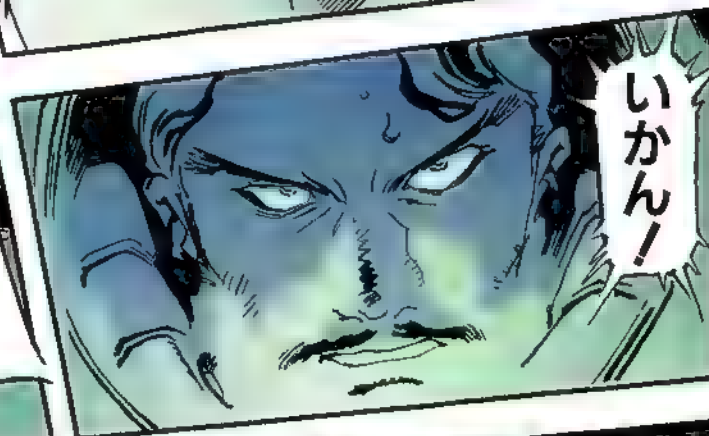
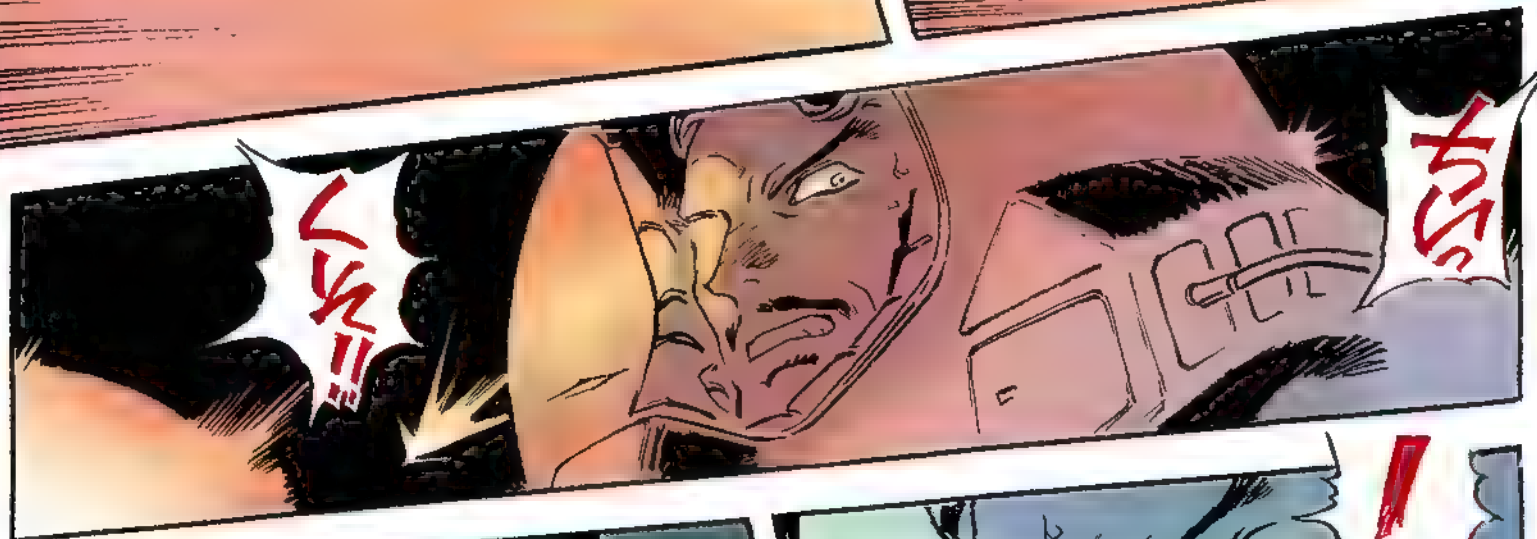
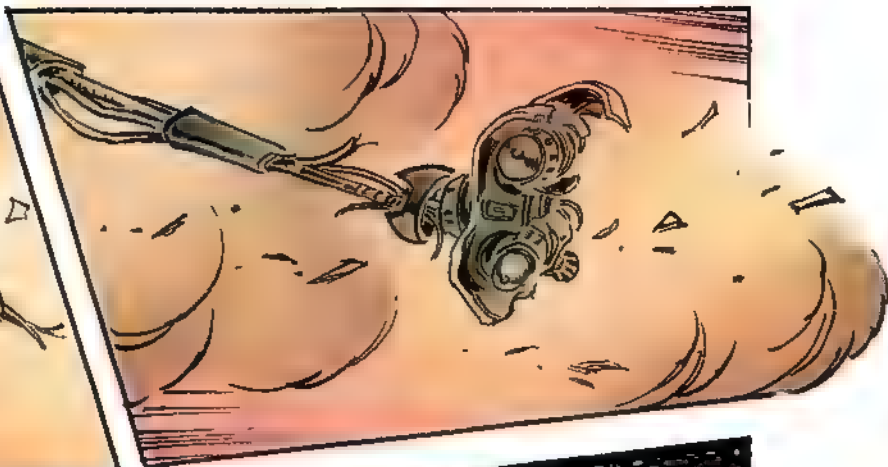
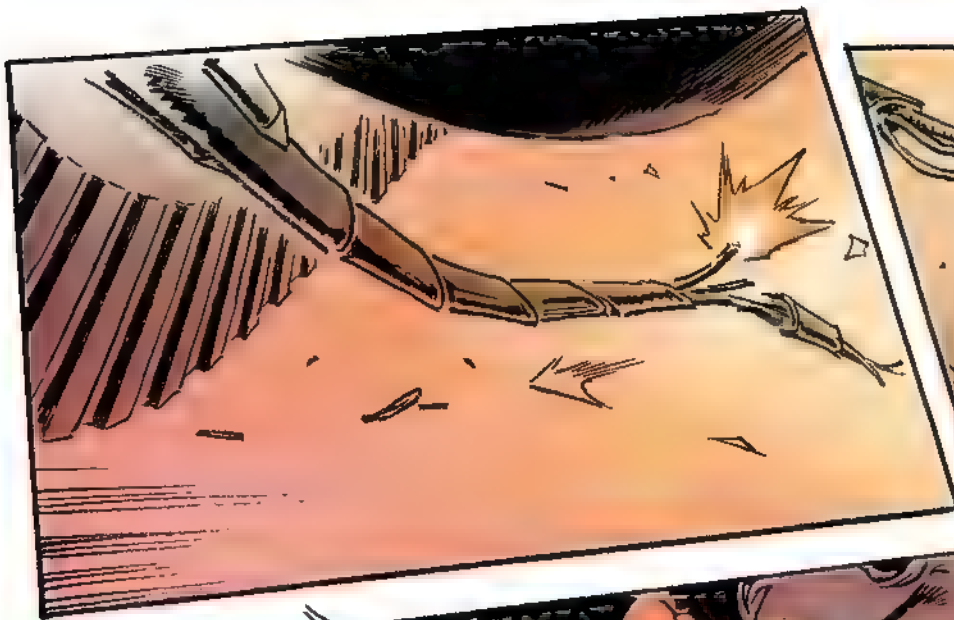












これでは  
ただの戦闘機  
乗りと同じだ

逆上して  
しまっている



落ちつけ……

透視しろ

そうしたら  
見える

この暗黒の  
磁気嵐の  
なかでも

敵が

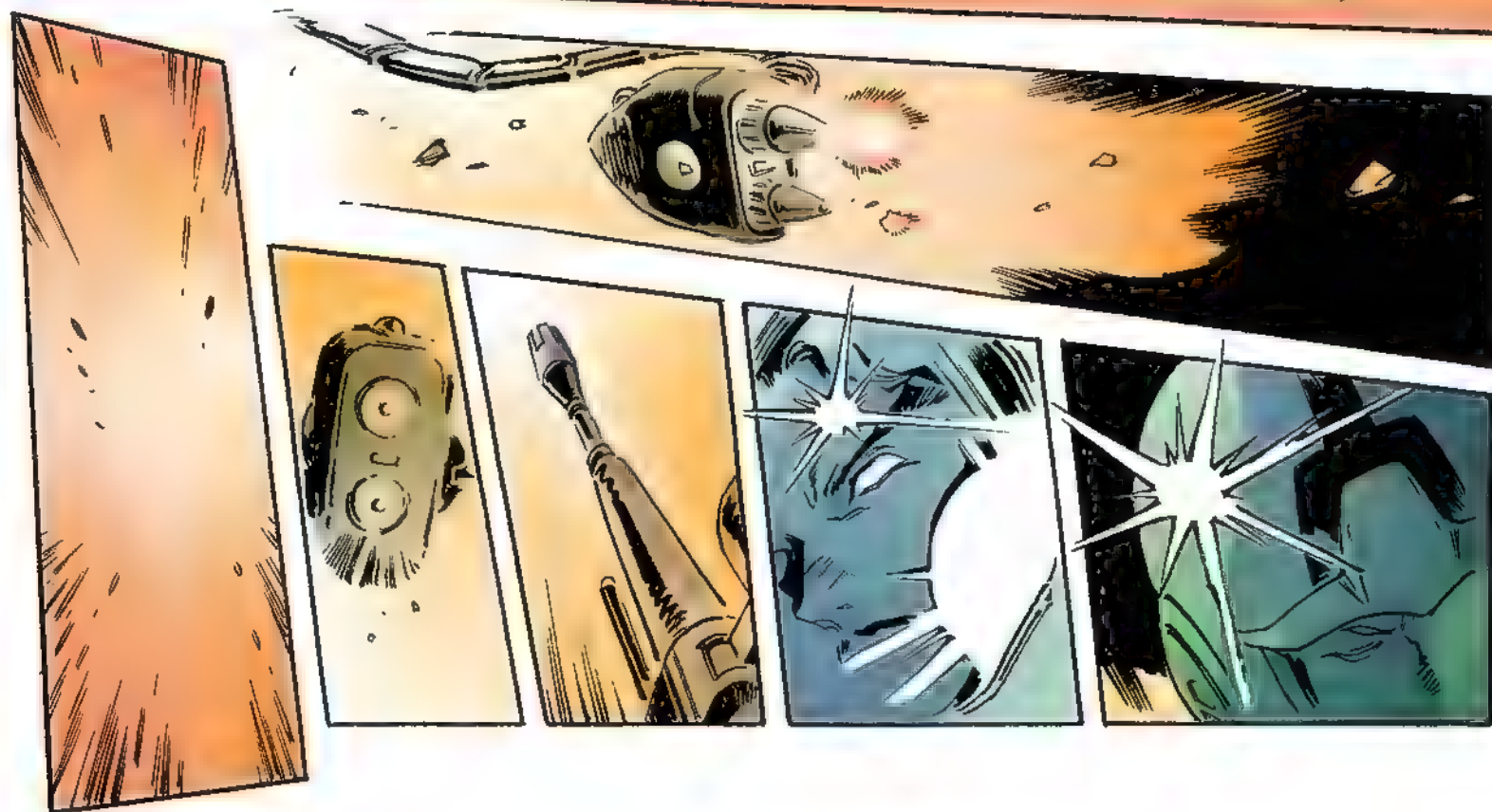
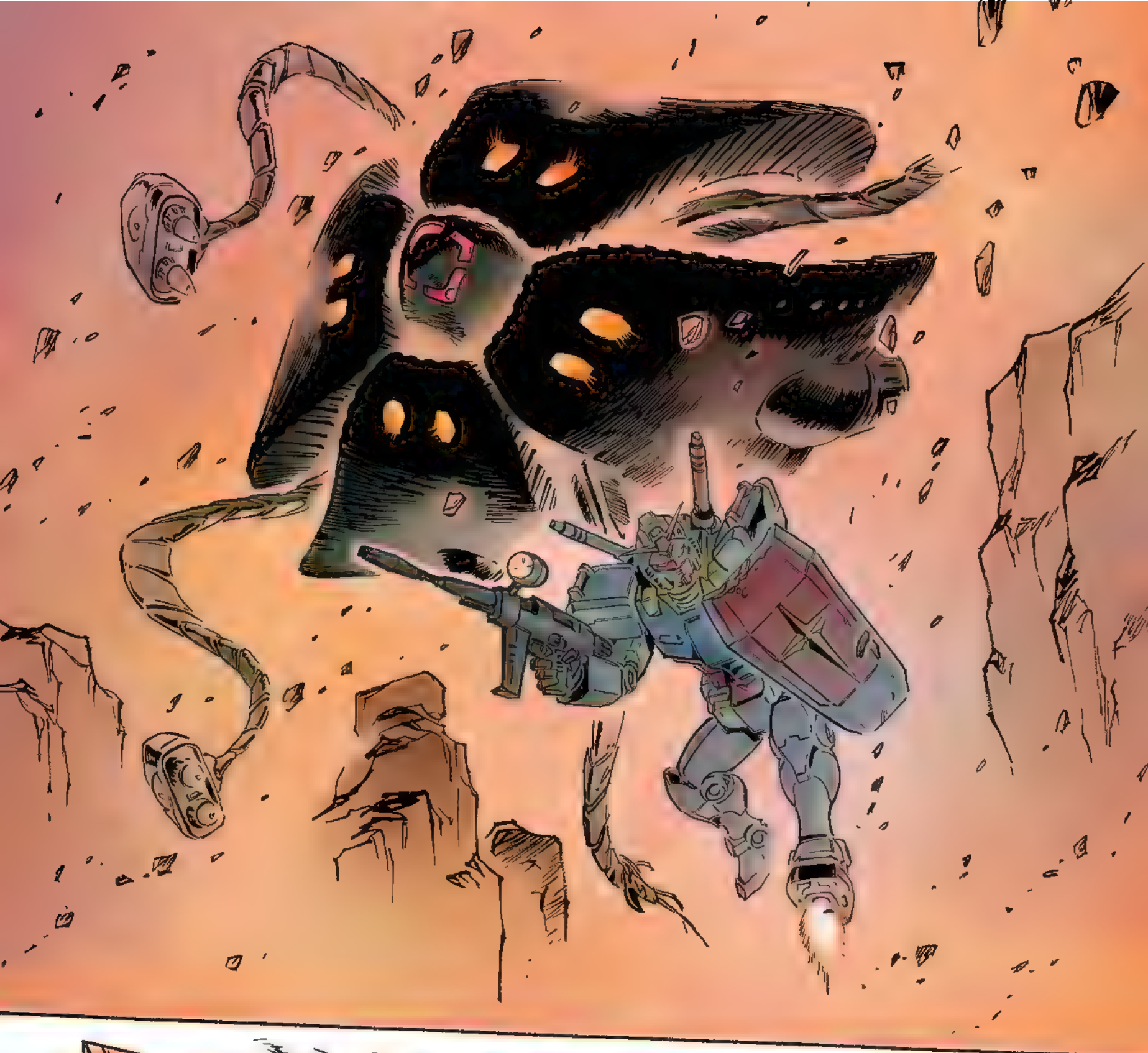
いた!!

白じゃっ!

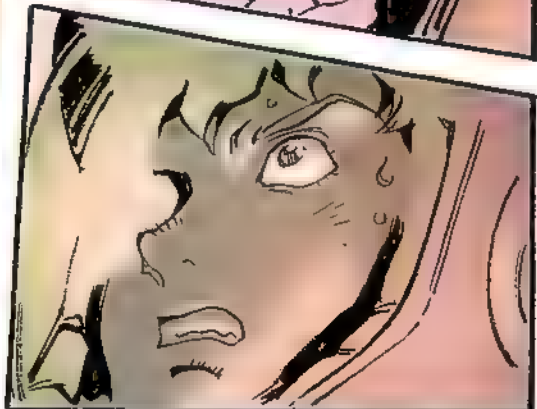
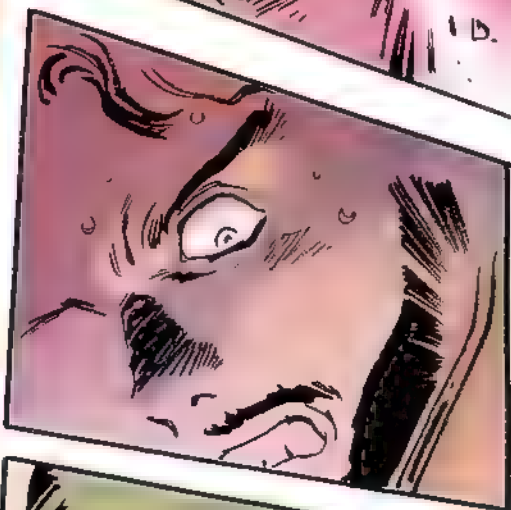
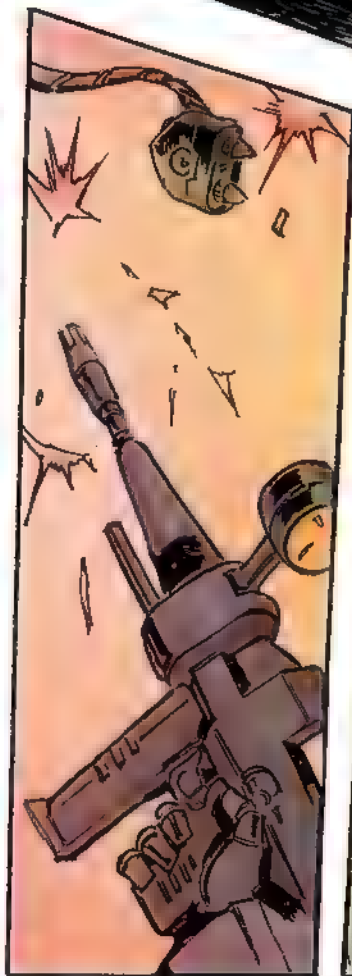
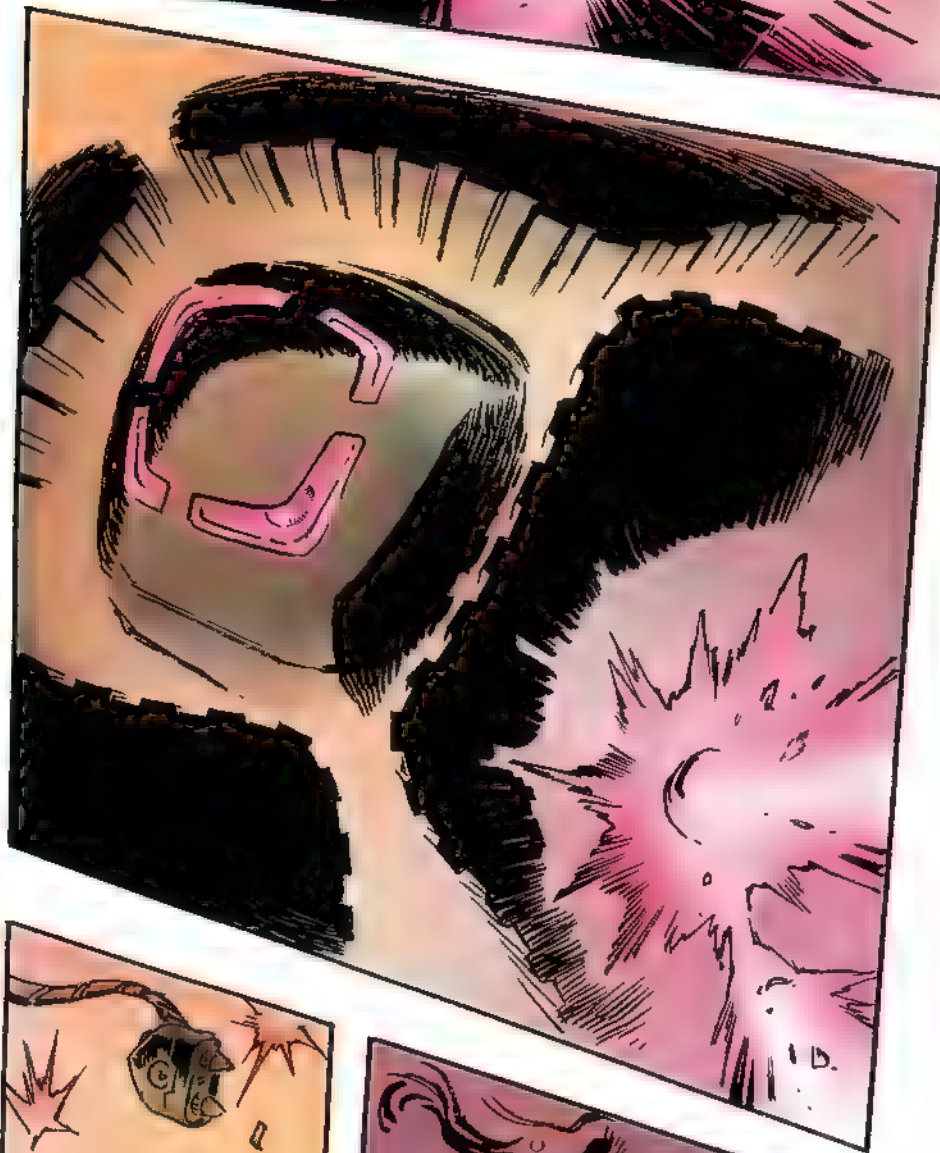
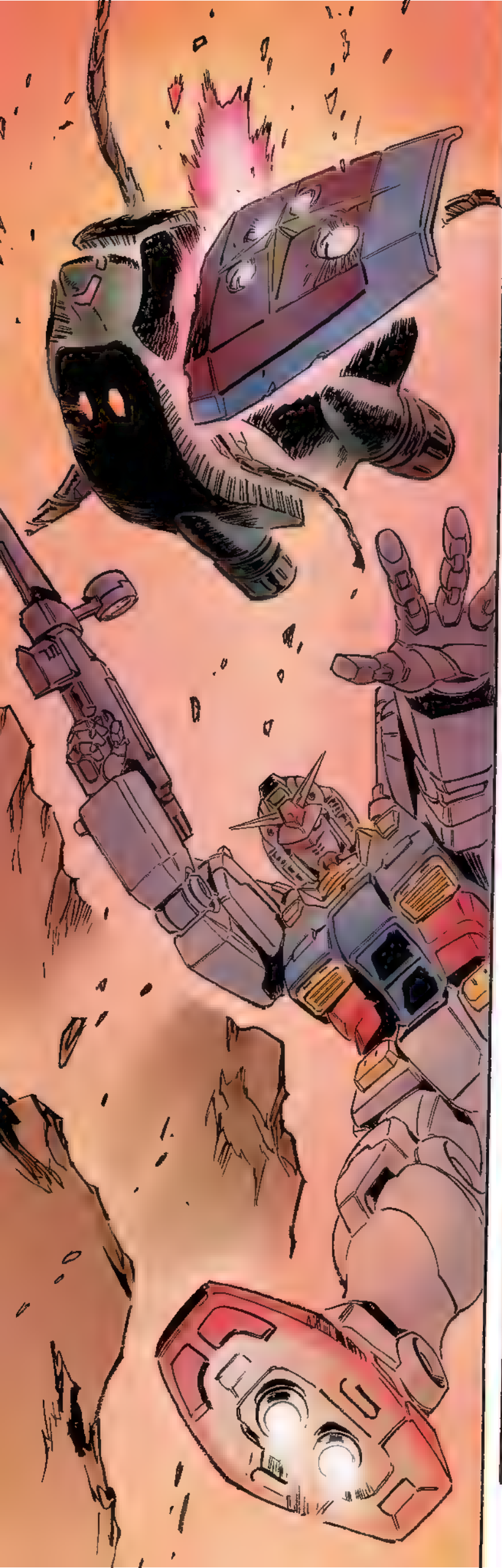
ガンダム!

私の倒すべき  
相手!!

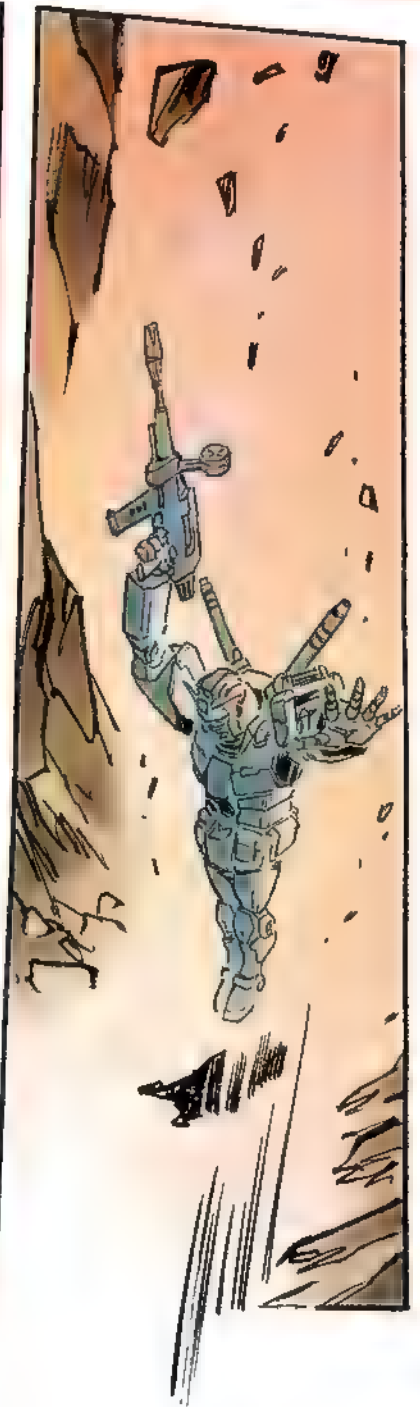
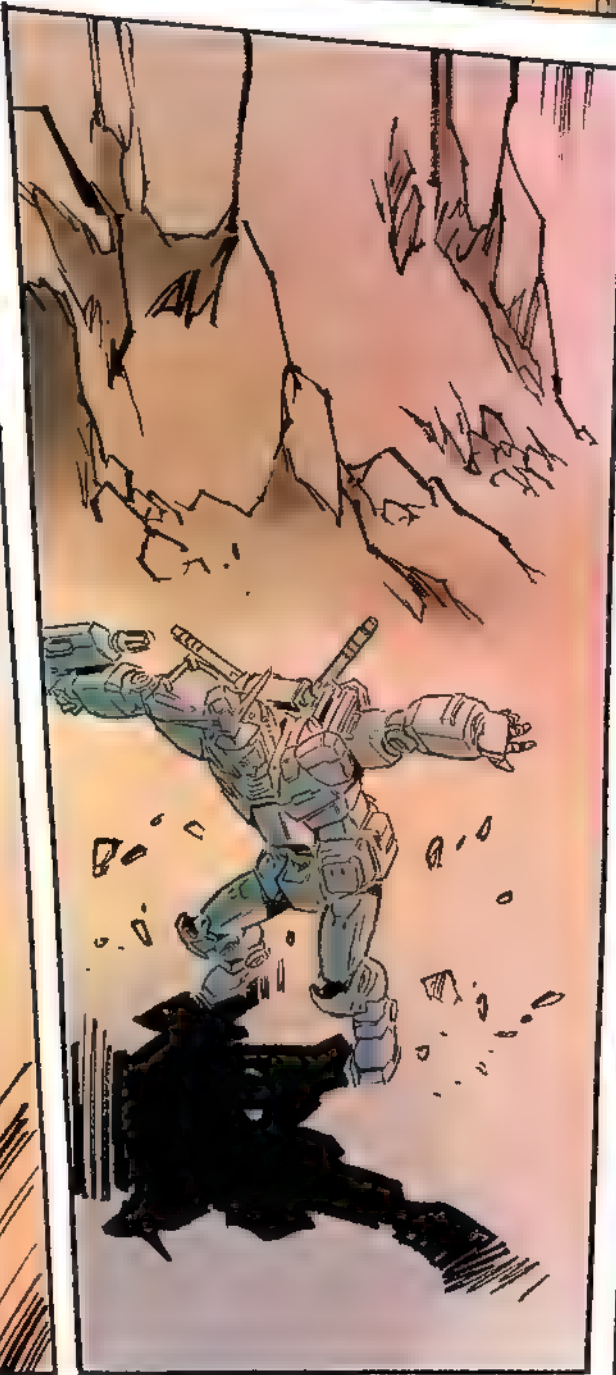
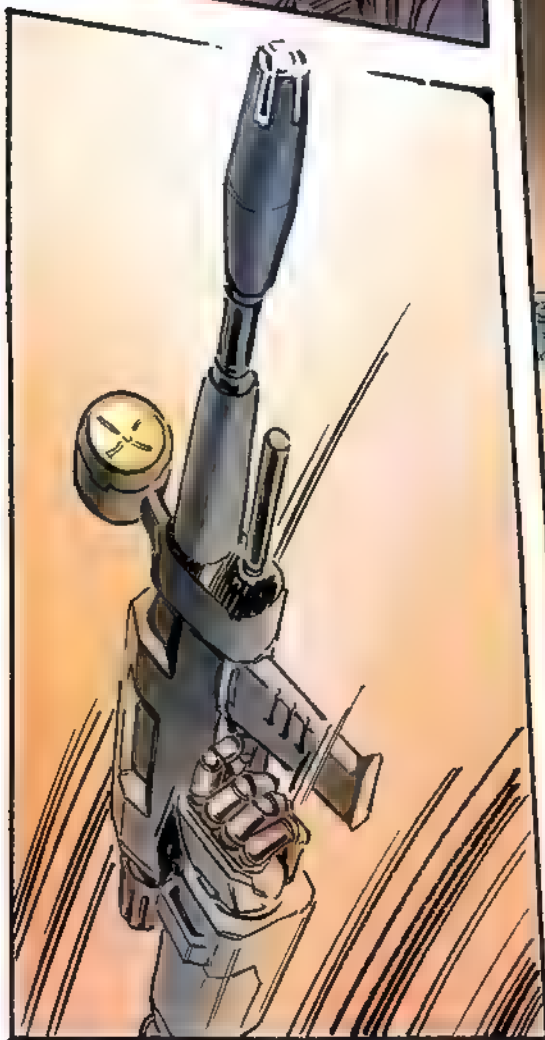
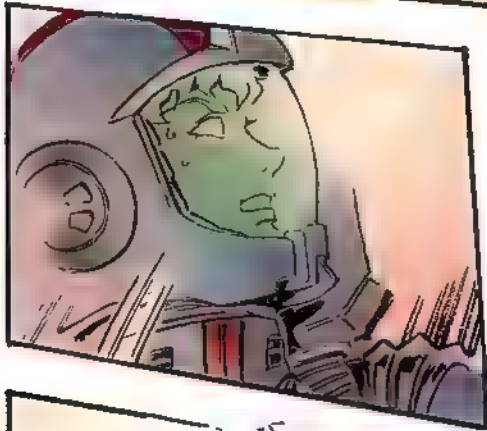
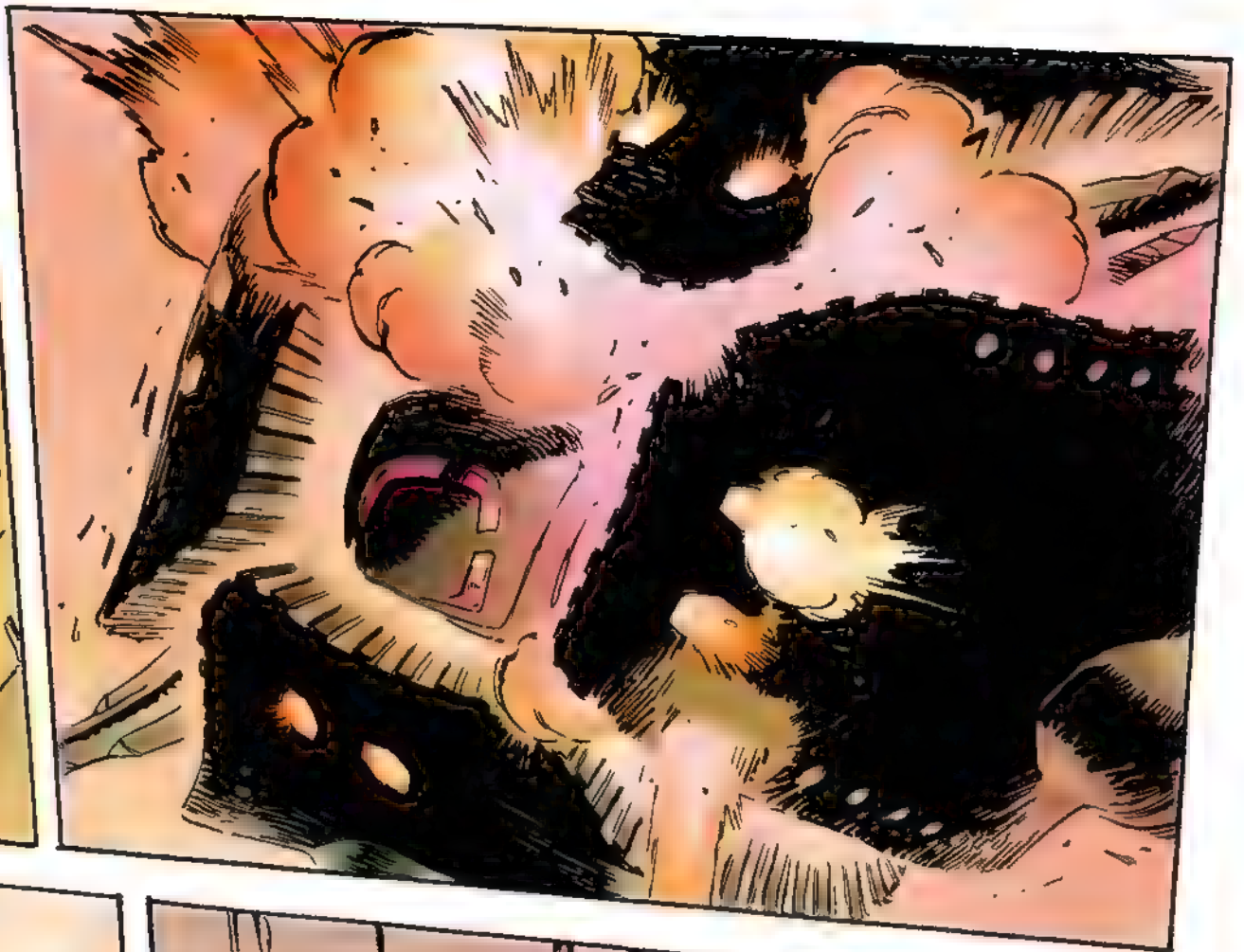
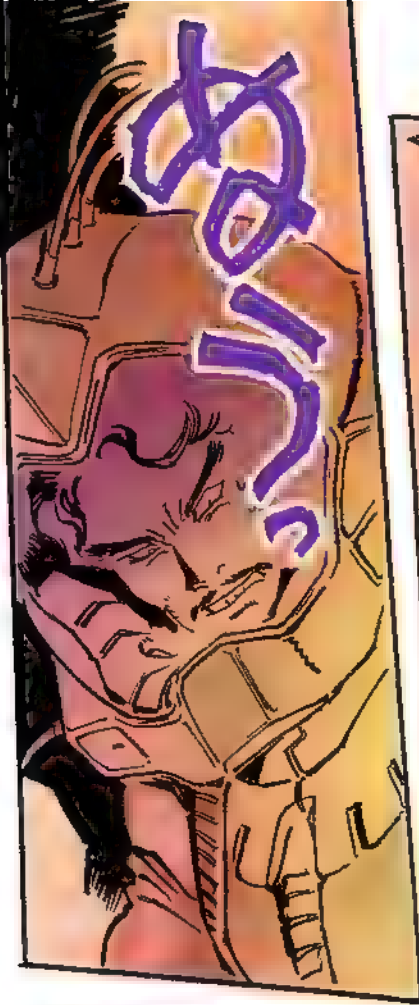




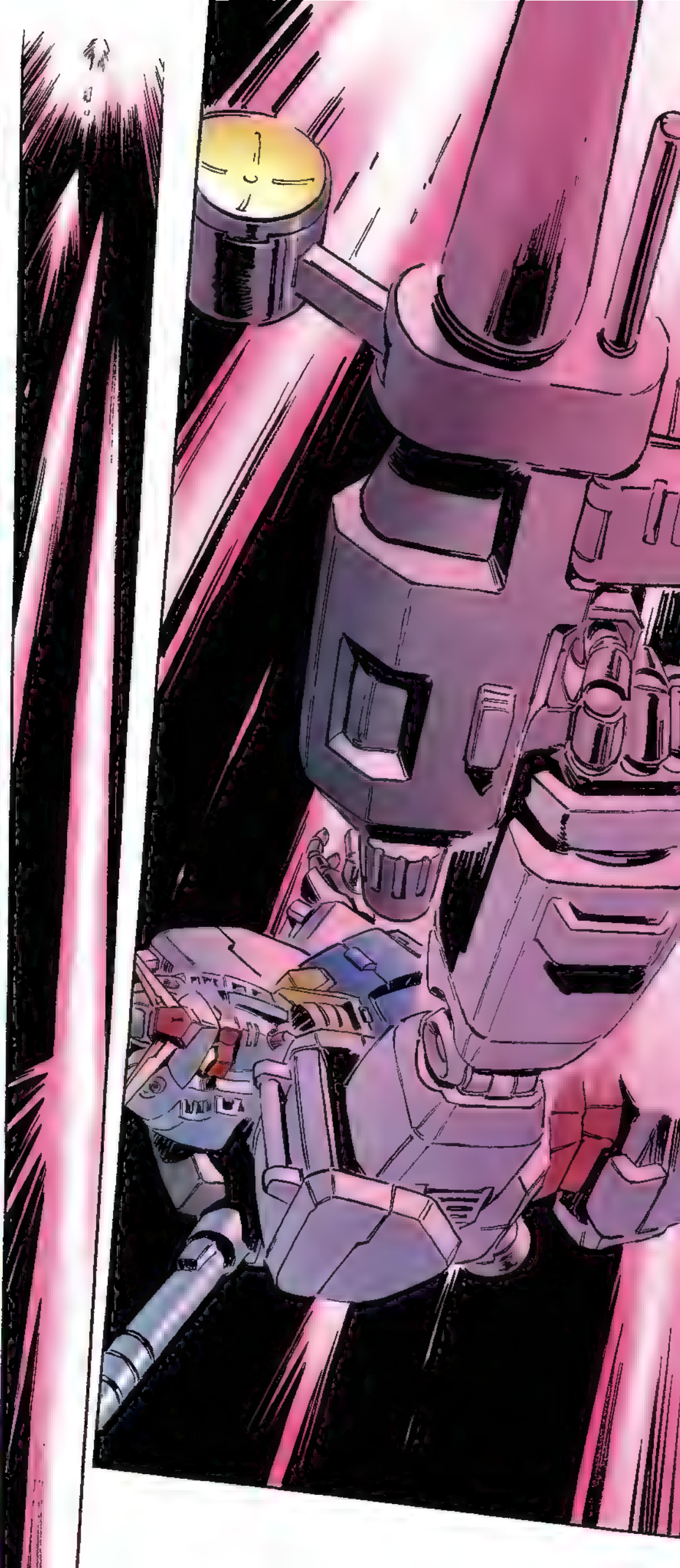




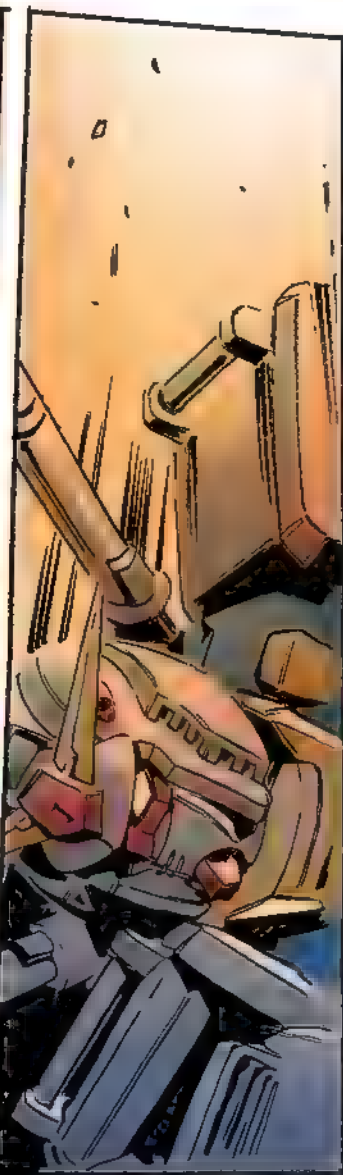
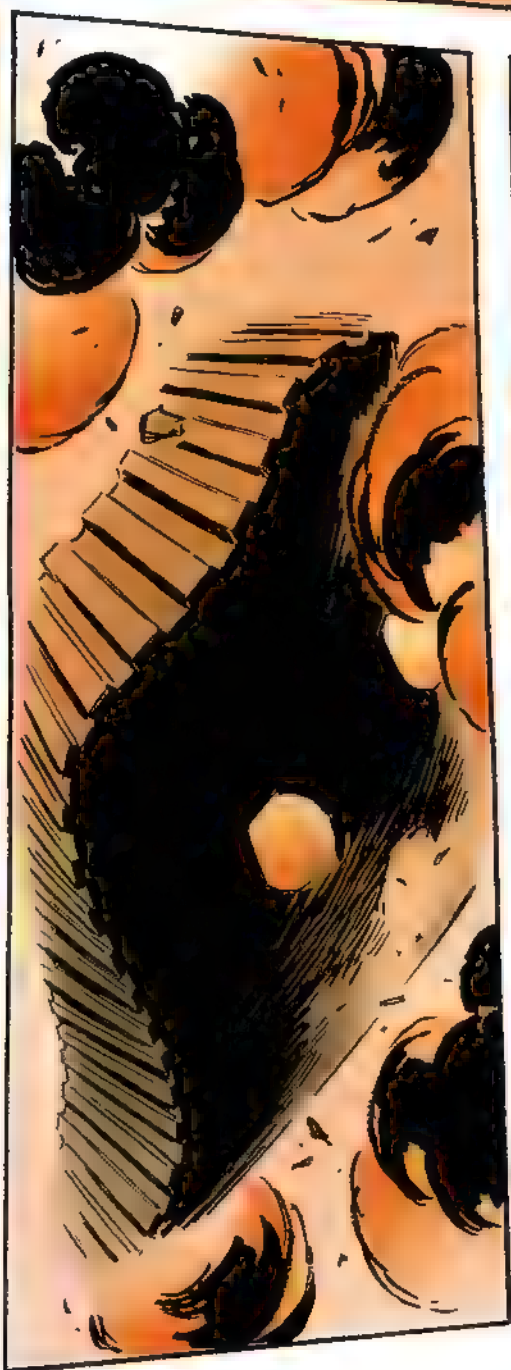
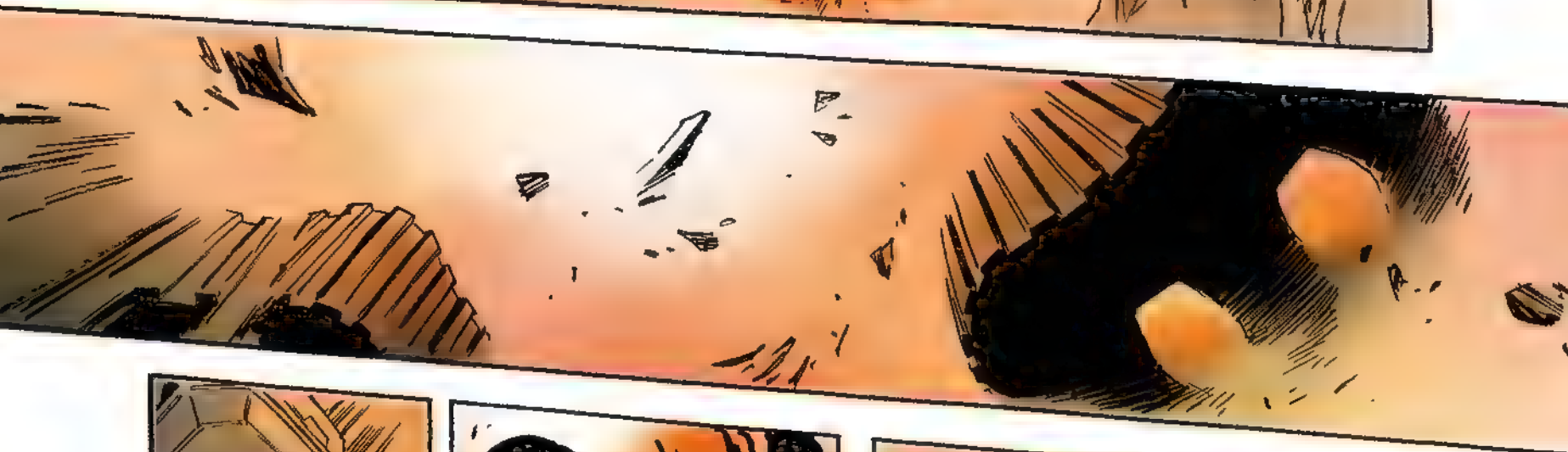
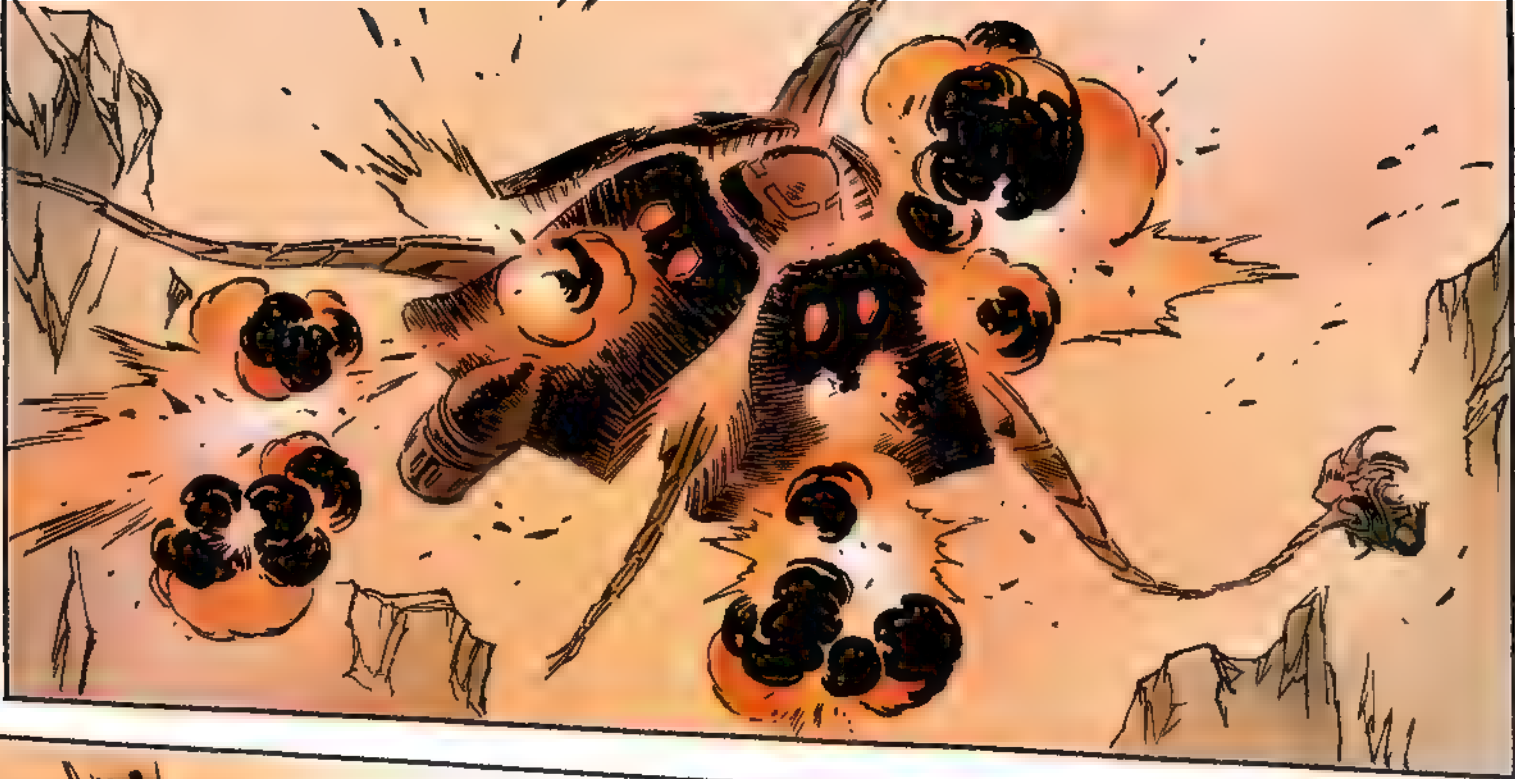








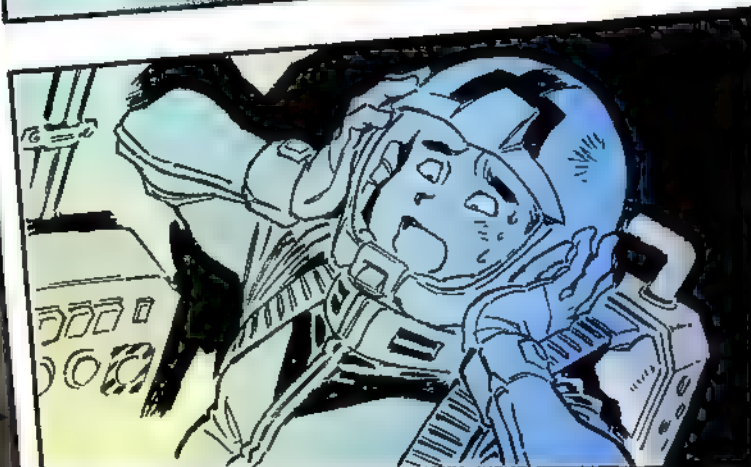
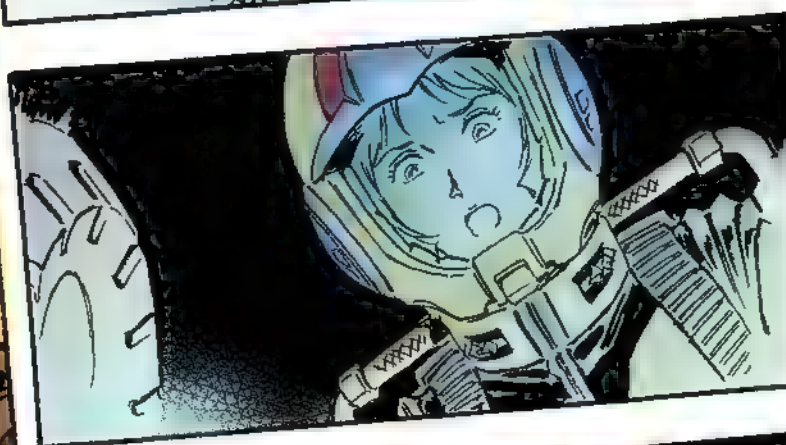
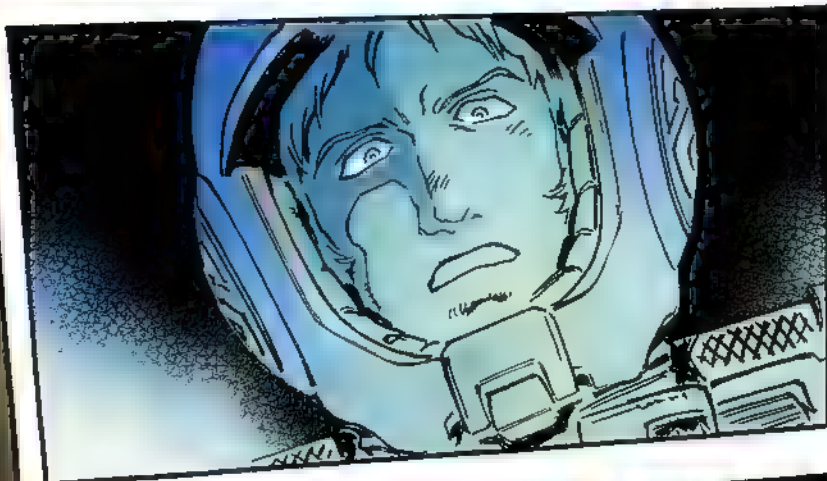
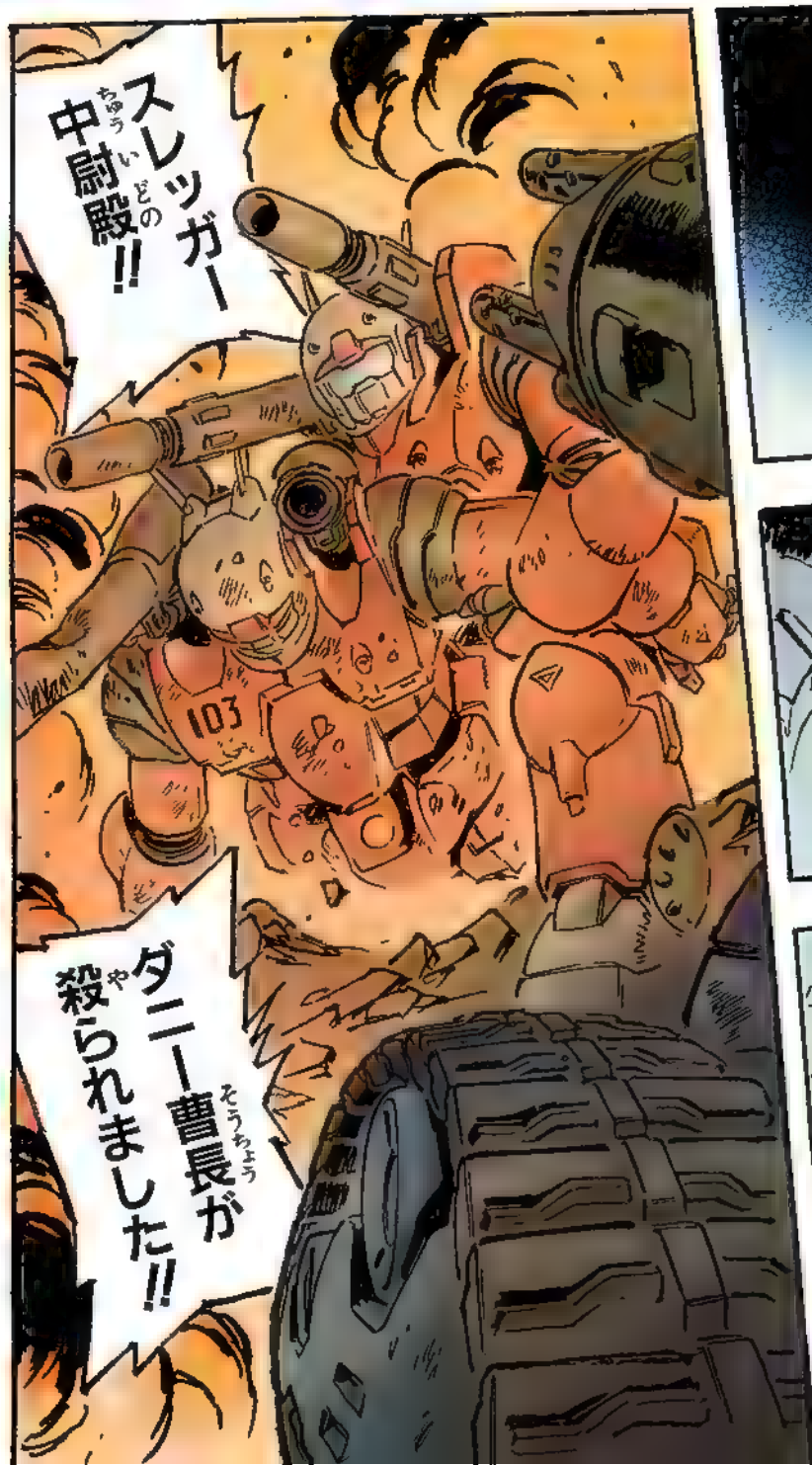
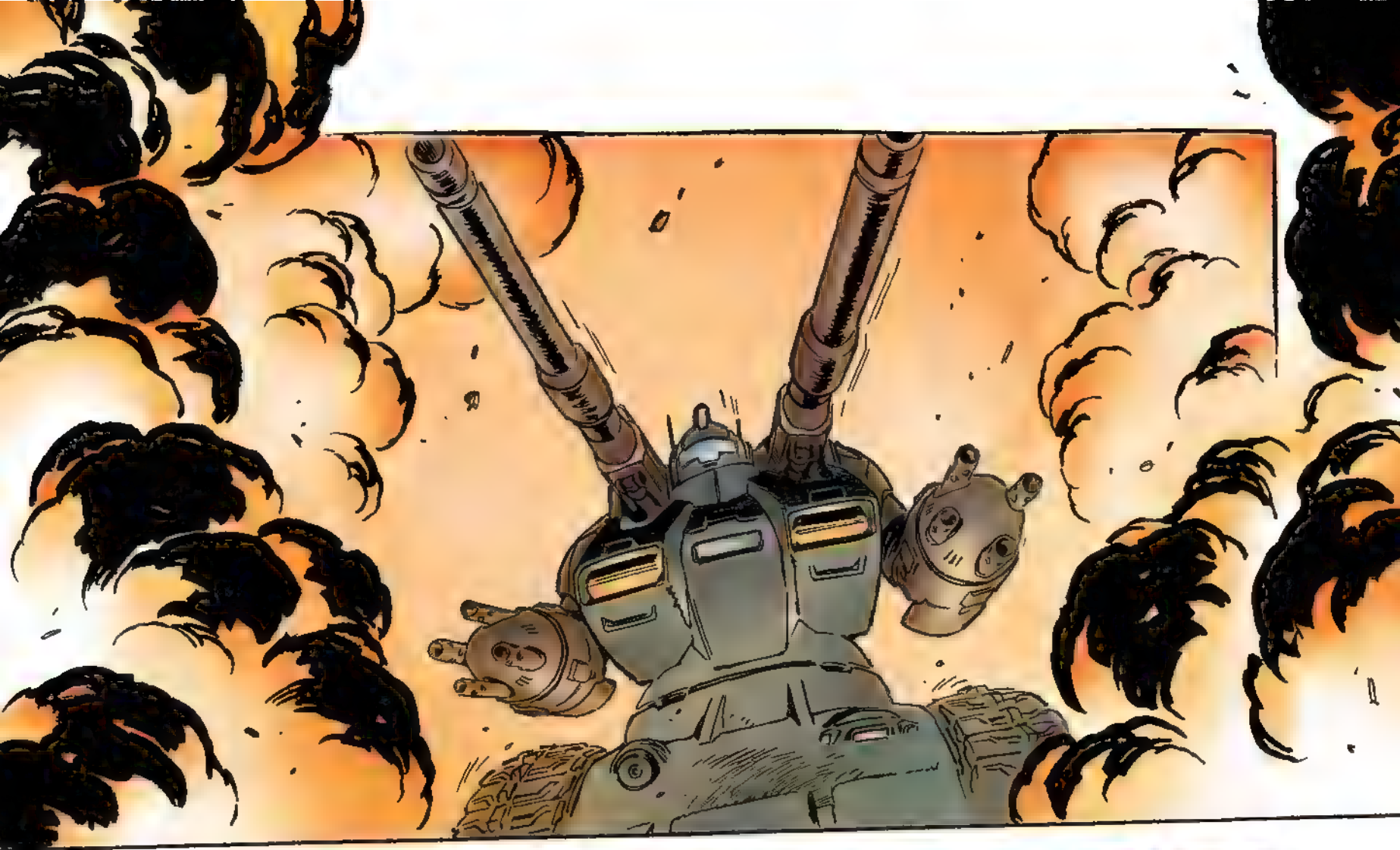




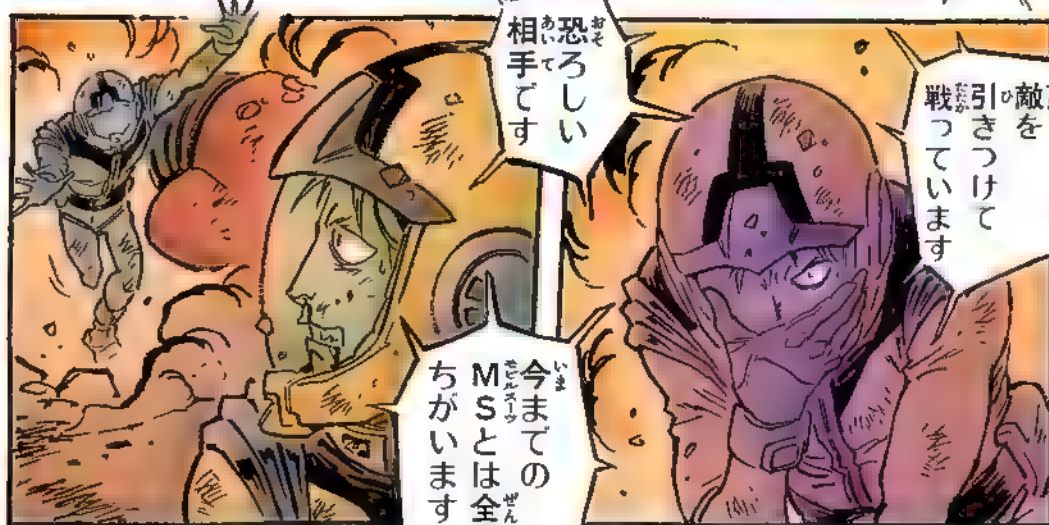
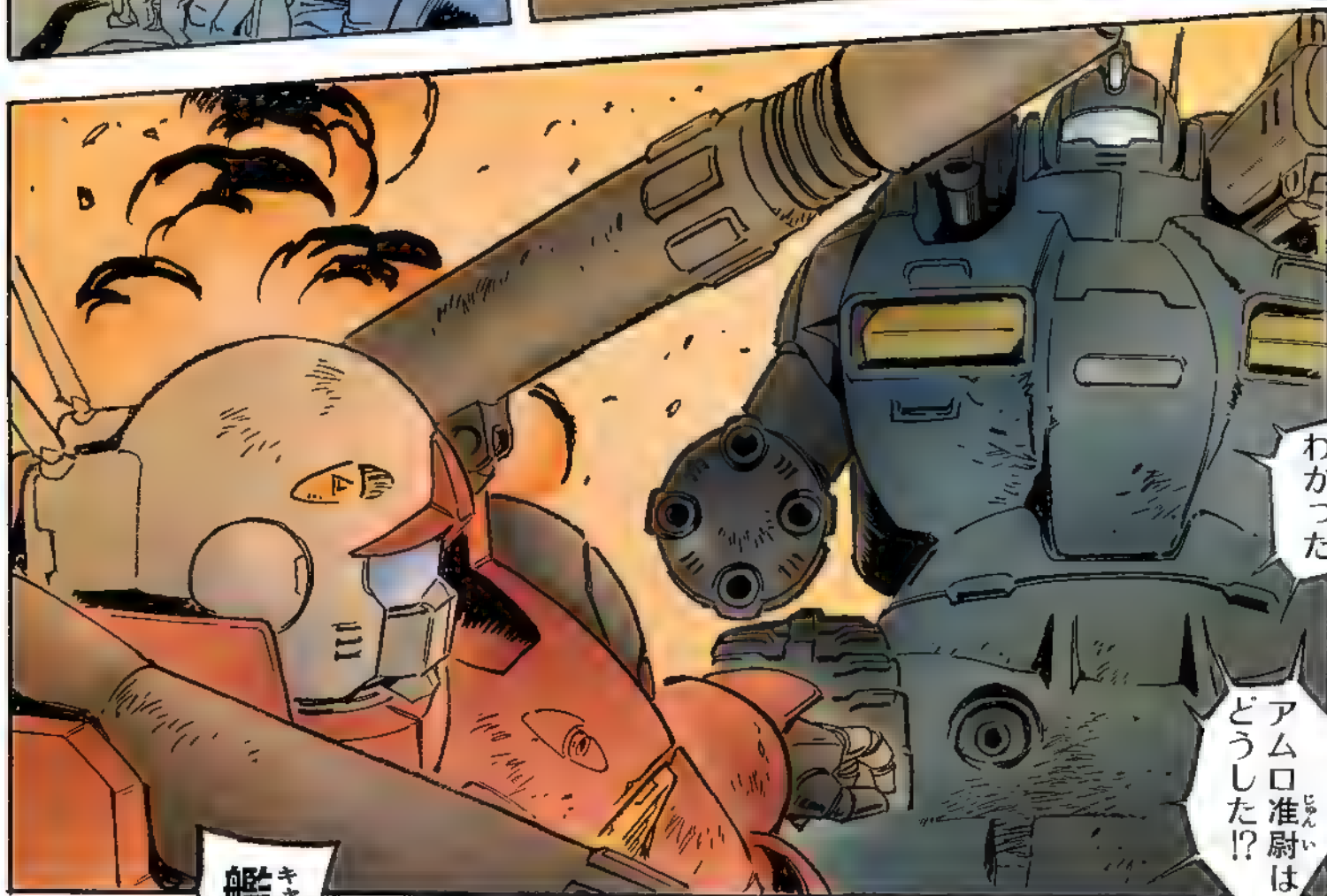




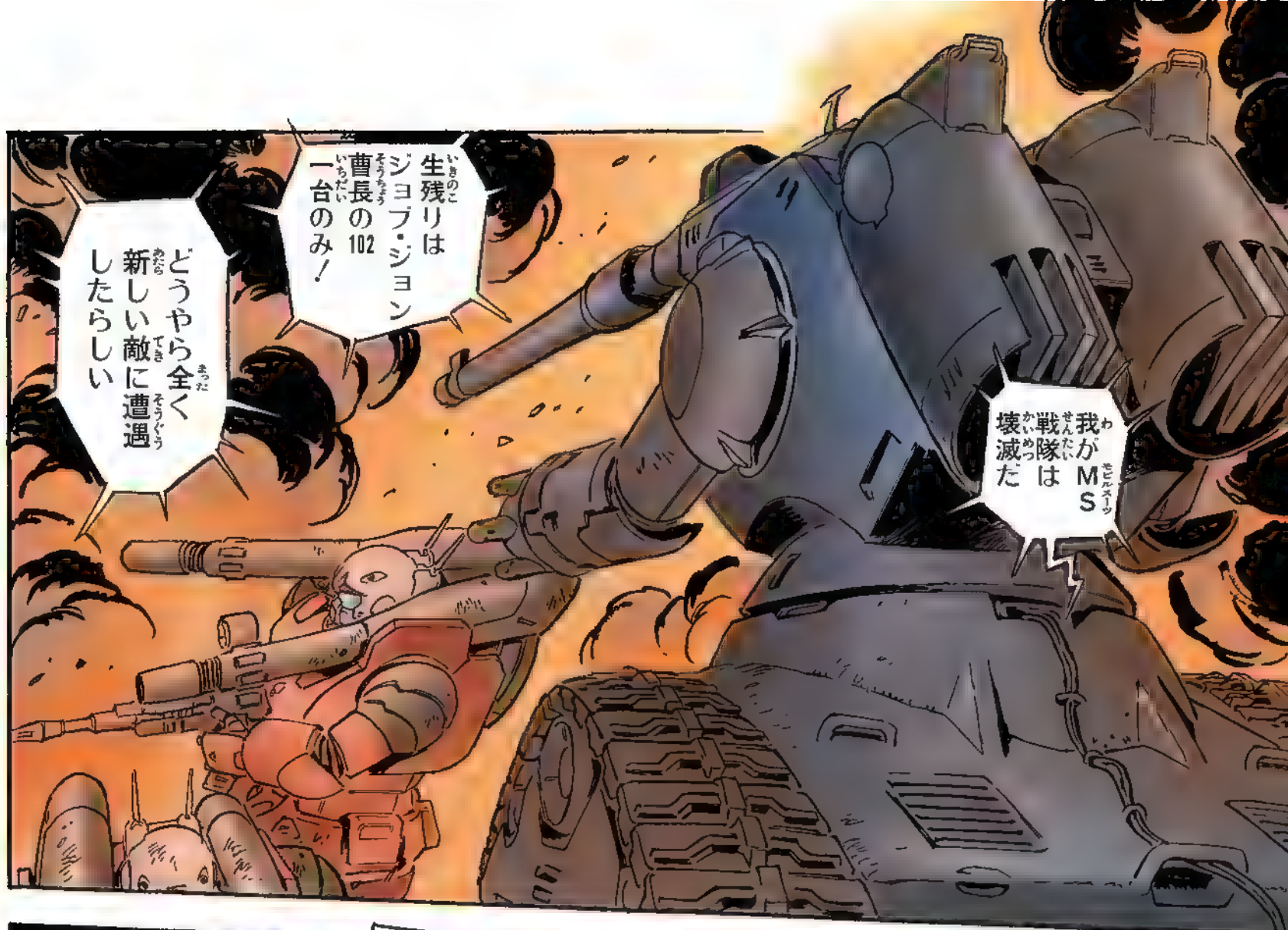








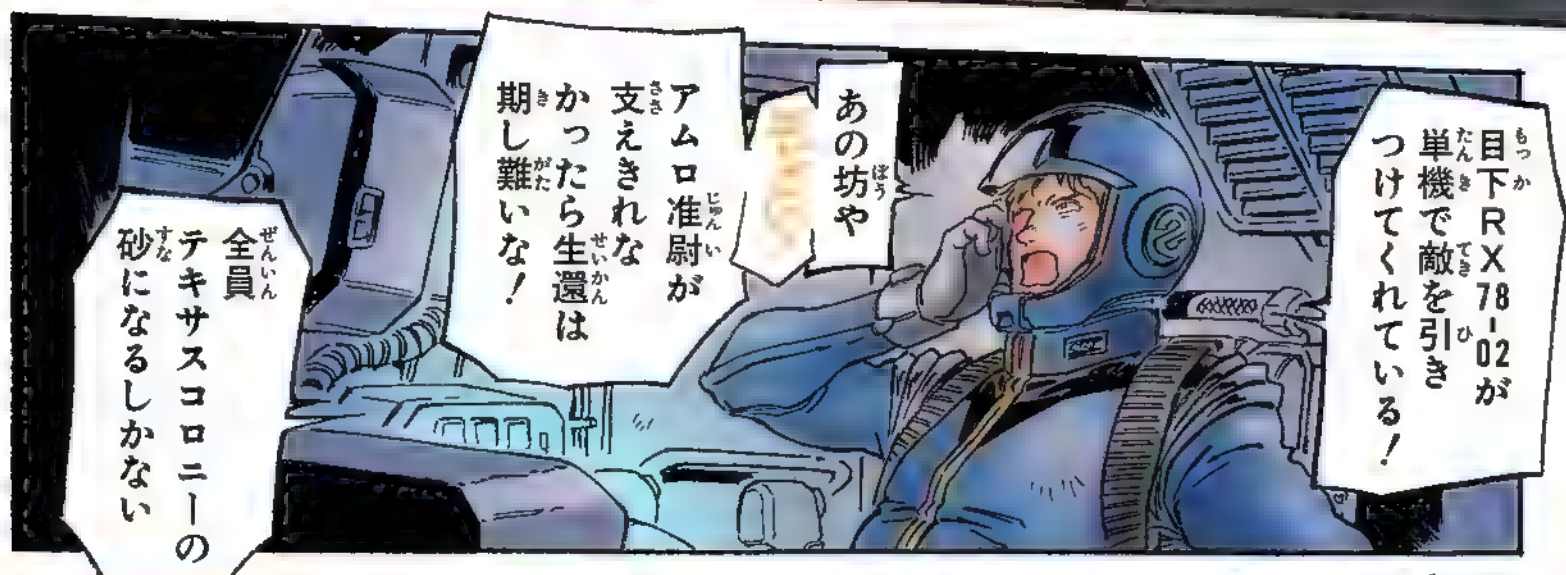




我が戦隊は  
MS  
壊滅した

生き残りは  
ジョブ・ジョン  
曹長の102  
一台のみ！

どうやら全く  
新しい敵に遭遇  
したらしい

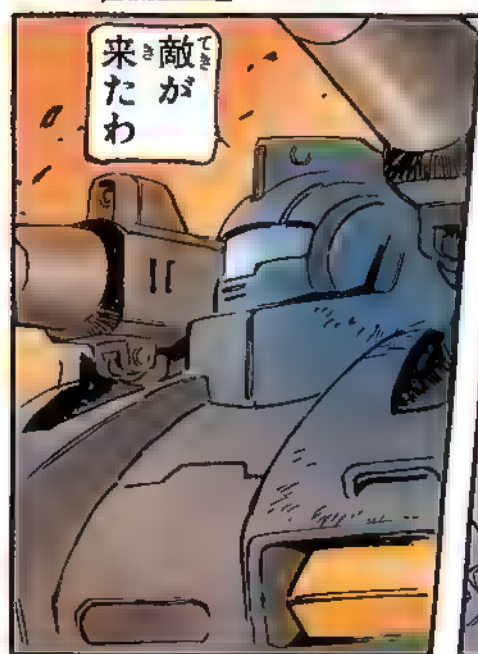


目下RX78-02が  
単機で敵を引き  
つけてくれている！

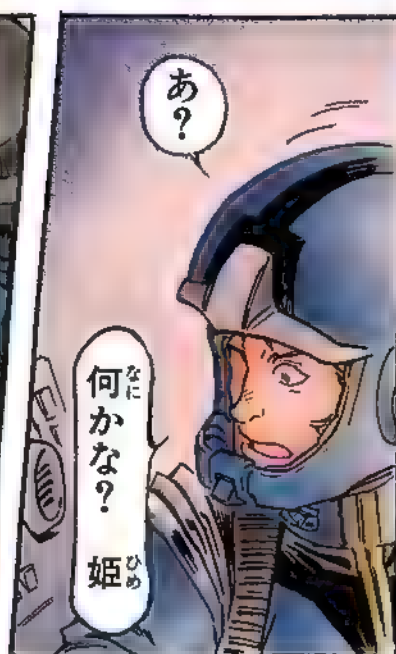
あの坊や

アムロ准尉が  
支えきれな  
かったら生還は  
期し難いな！

全員  
テキサスコロニーの  
砂になるしかない



敵が  
来たわ



あ？

何かな？  
姫

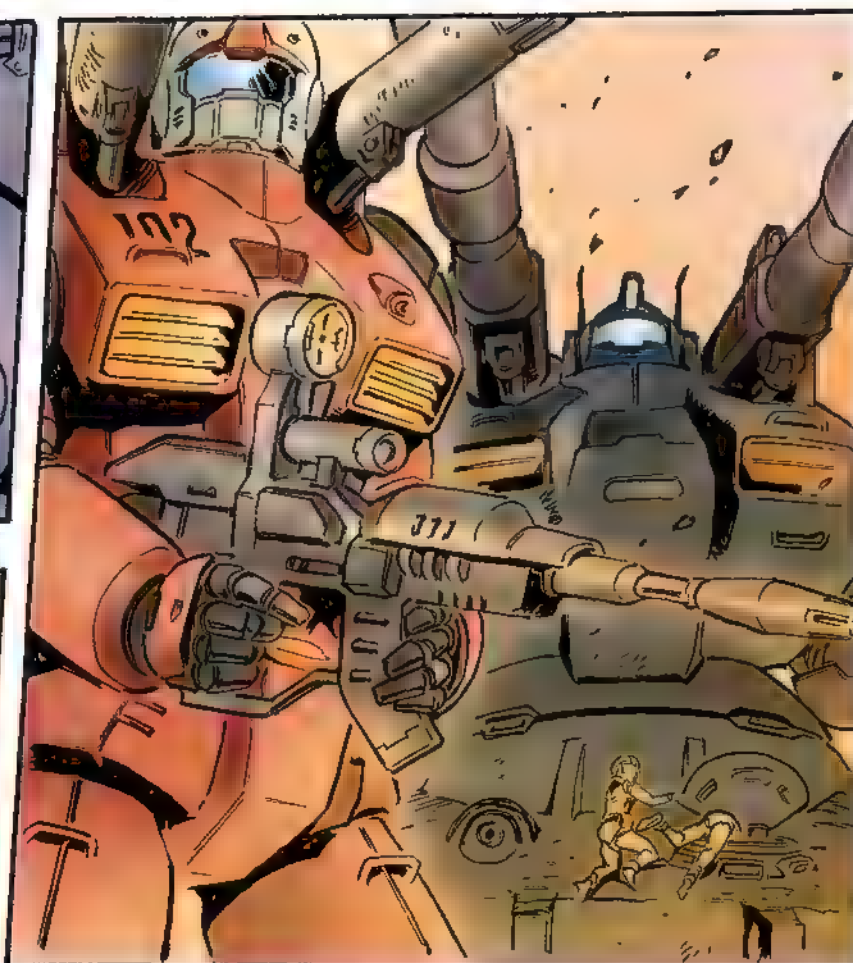
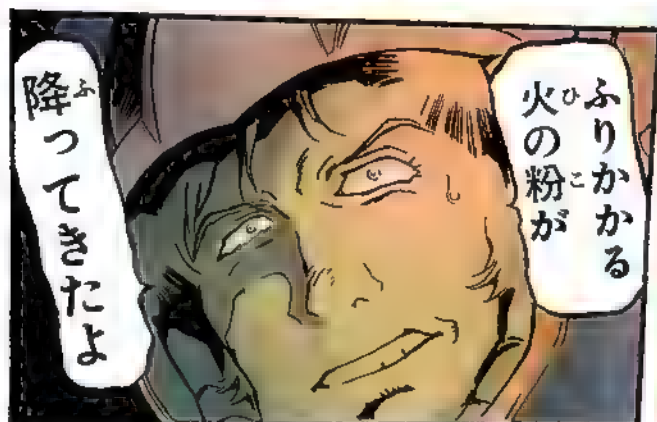
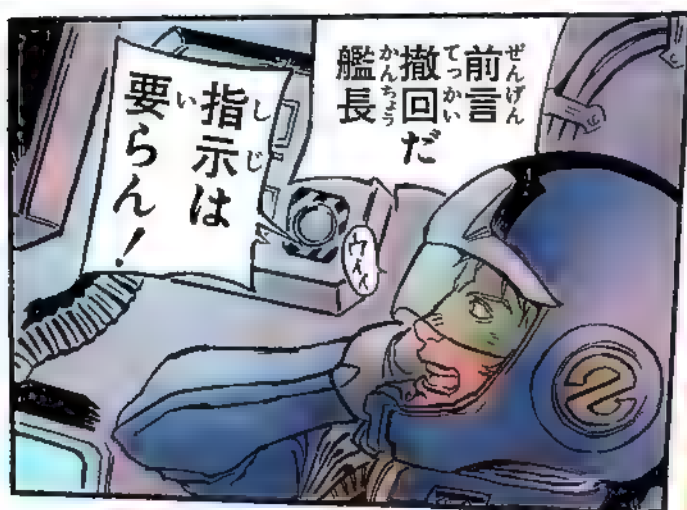
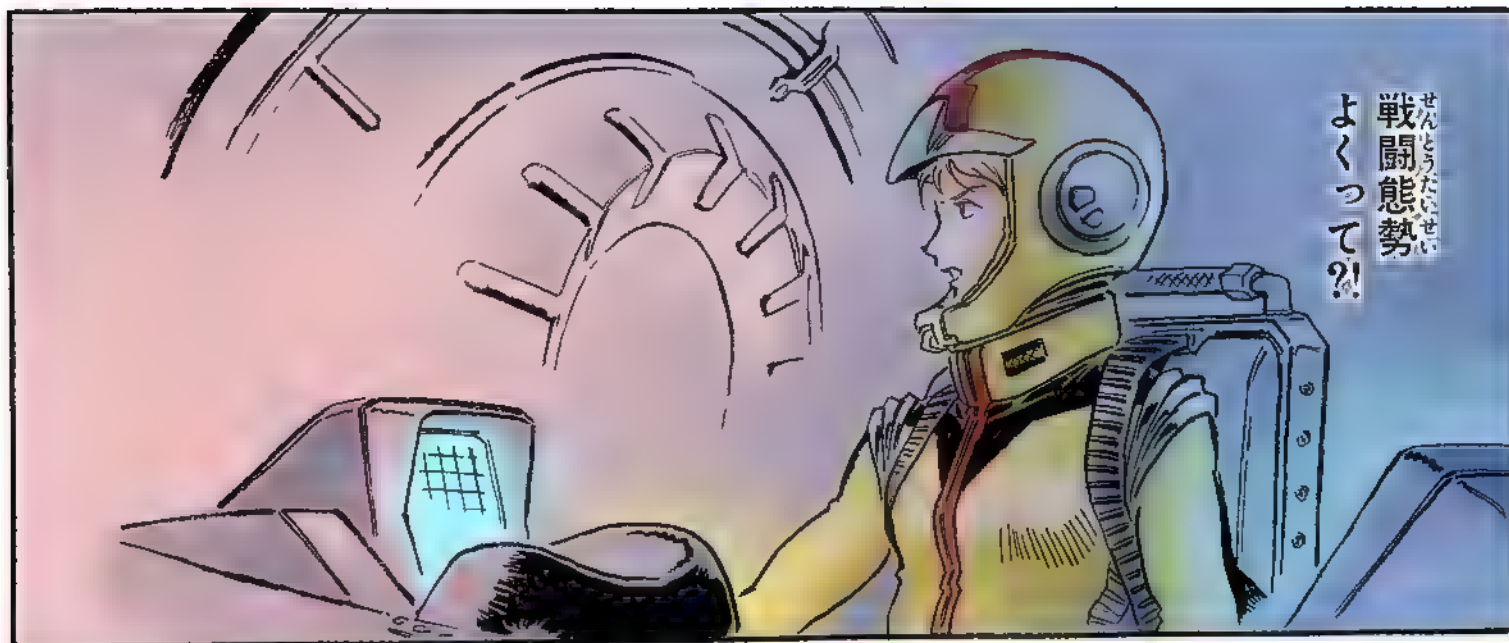


指示をくれ！！

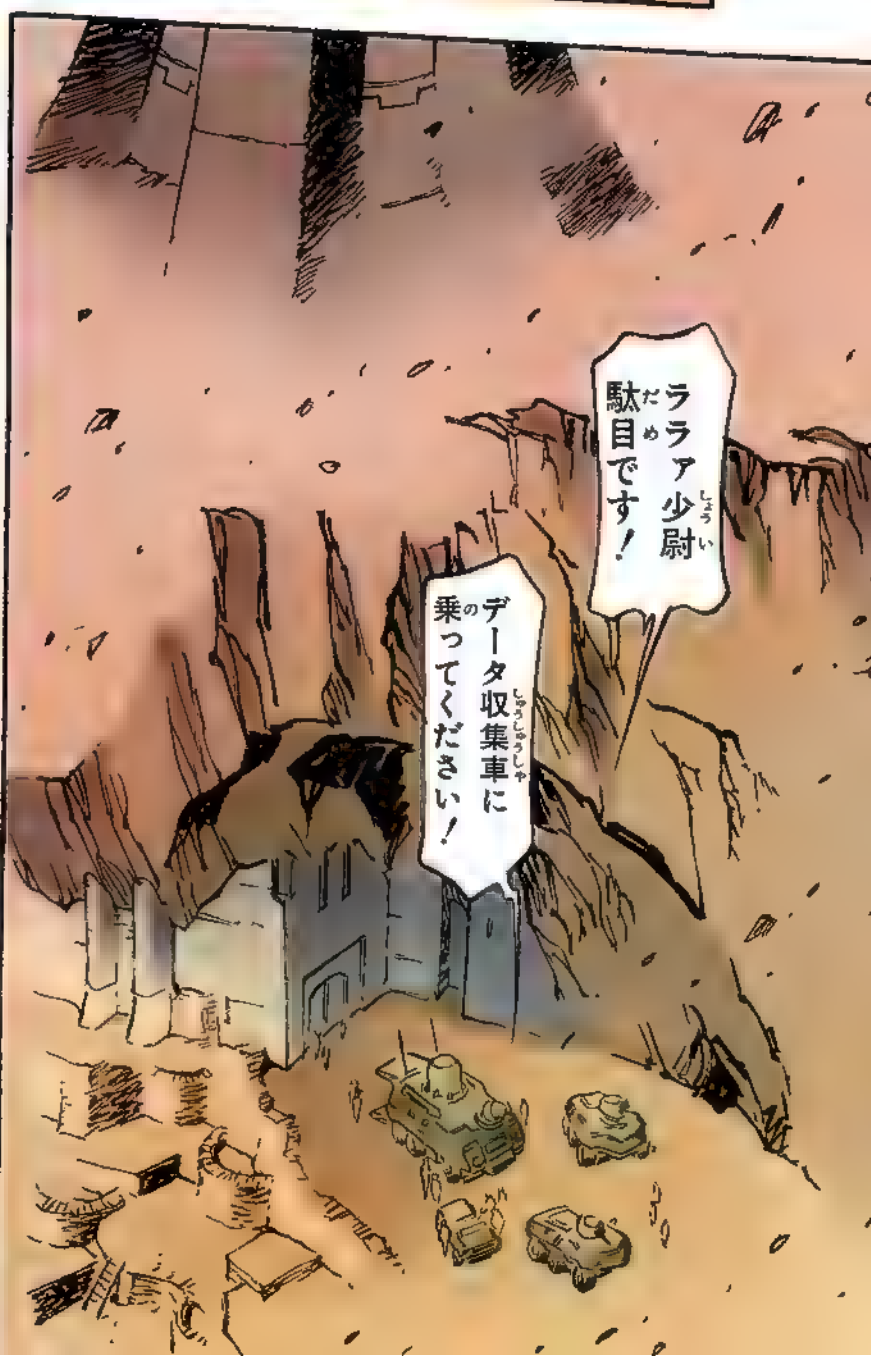
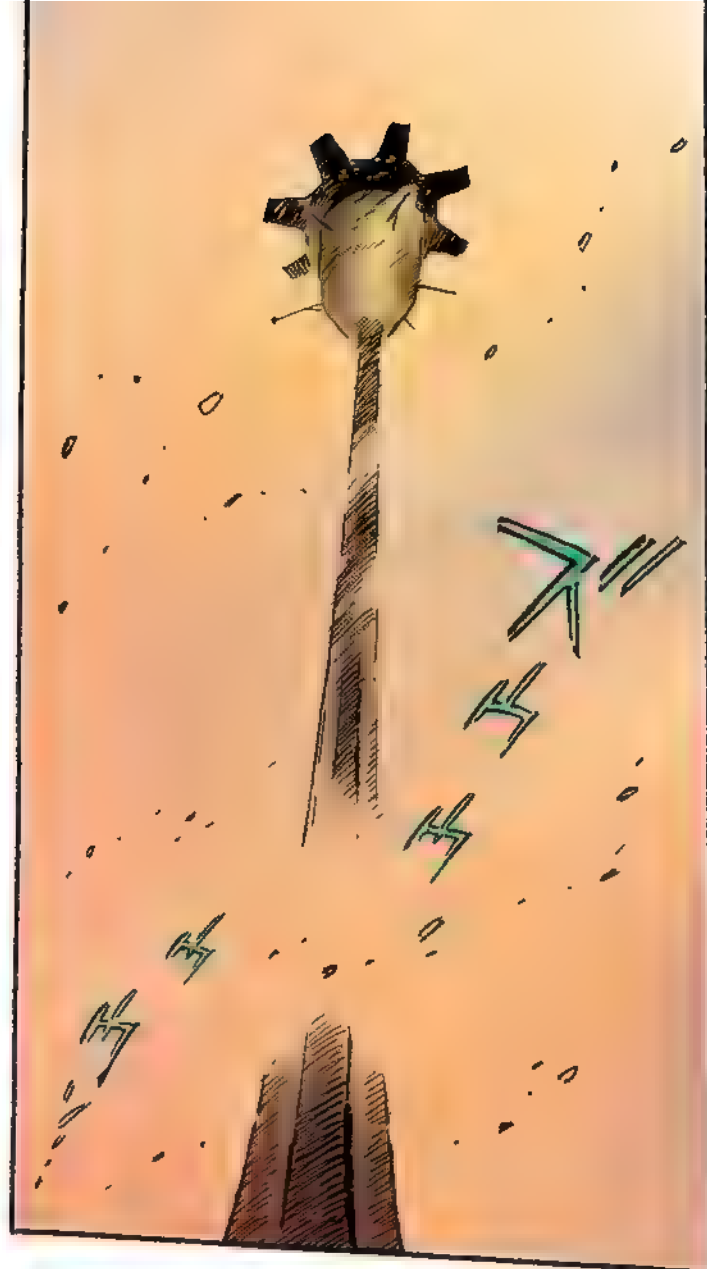
出来れば  
すみやかに！！

スレッガー  
さん

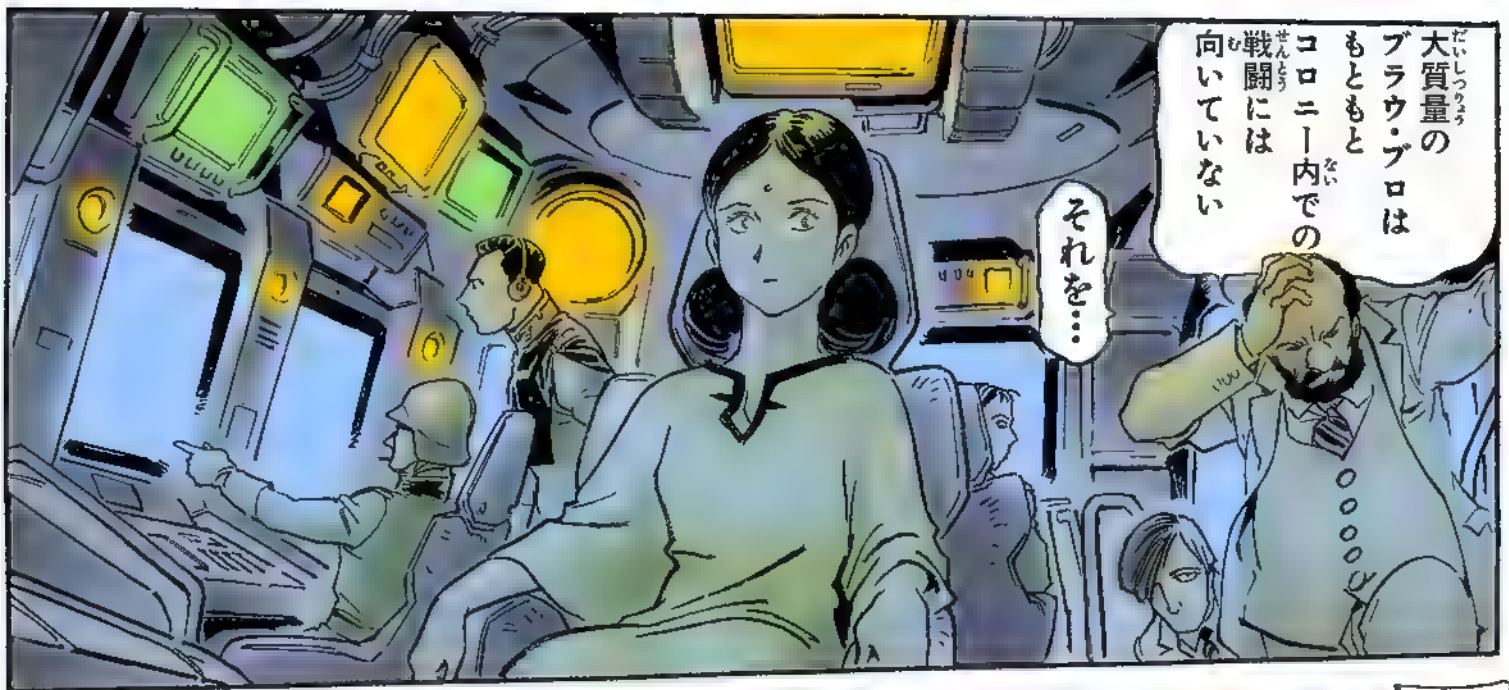
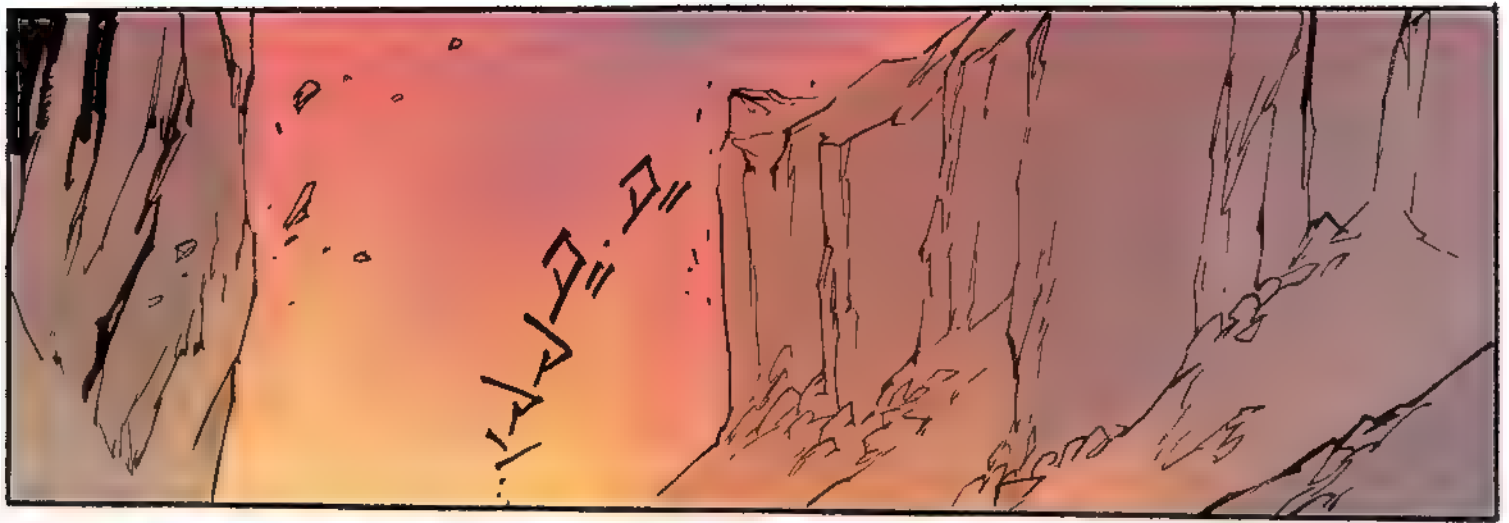












大質量の  
ブラウ・プロは  
もともと  
コロニー内での  
戦闘には  
向いていない

それを...



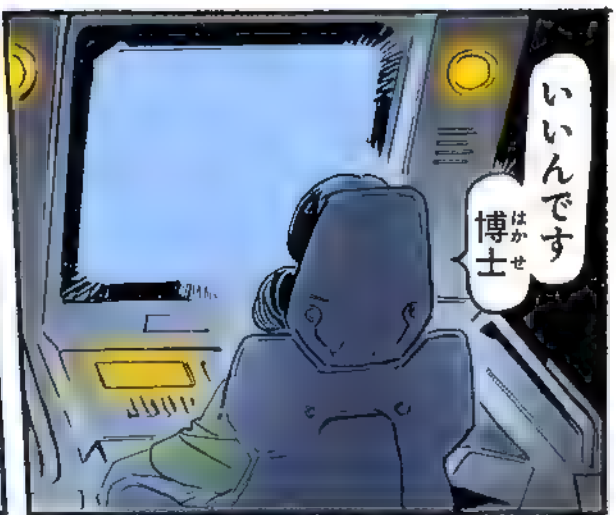
私は  
あの人の  
ではなく

シャア大佐が  
戦うところを  
見たいの  
ですから



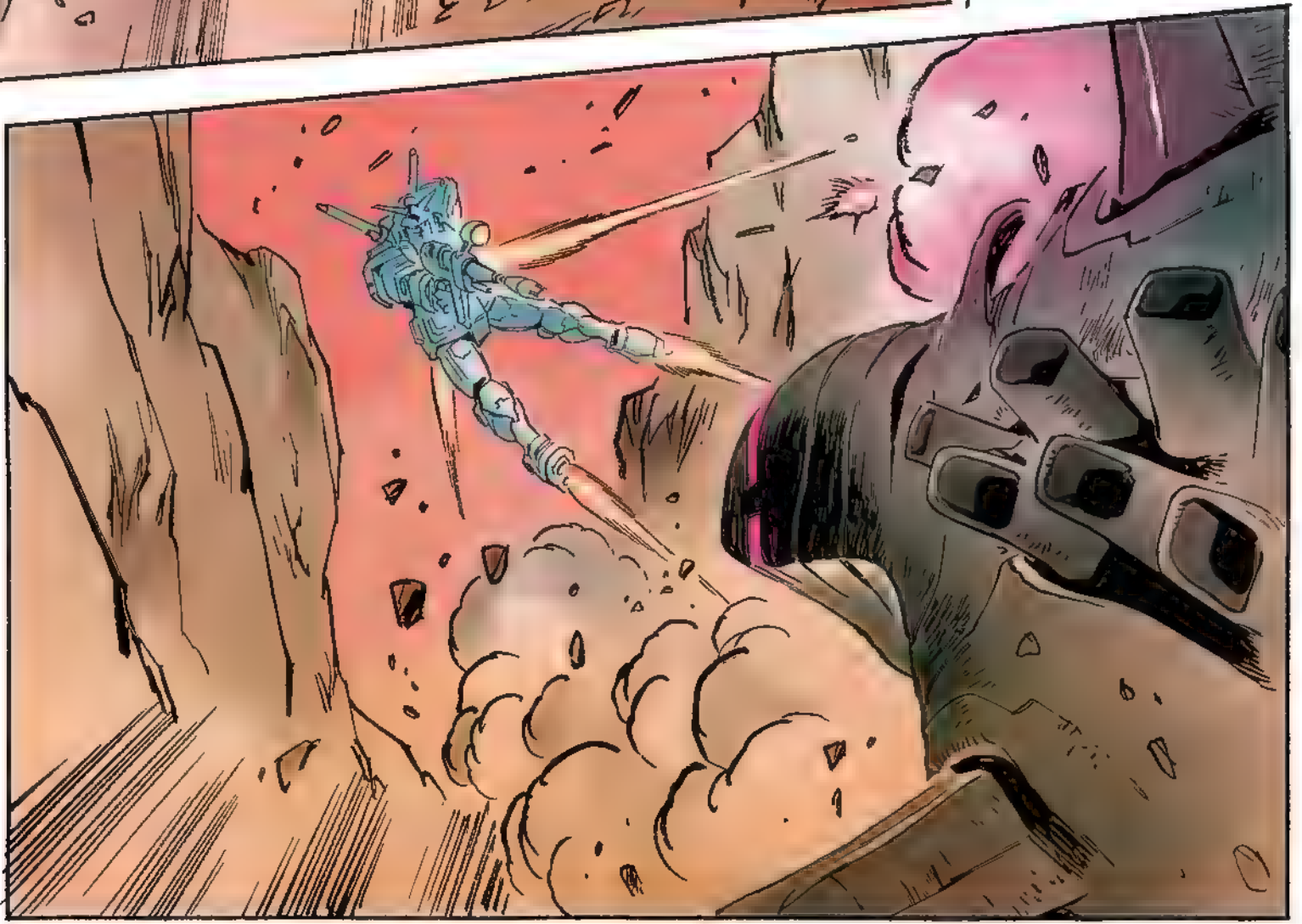
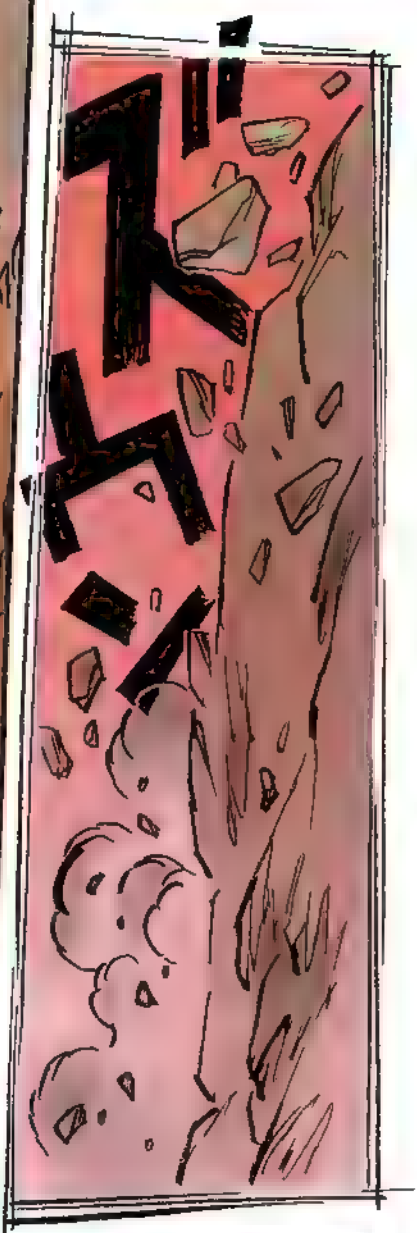
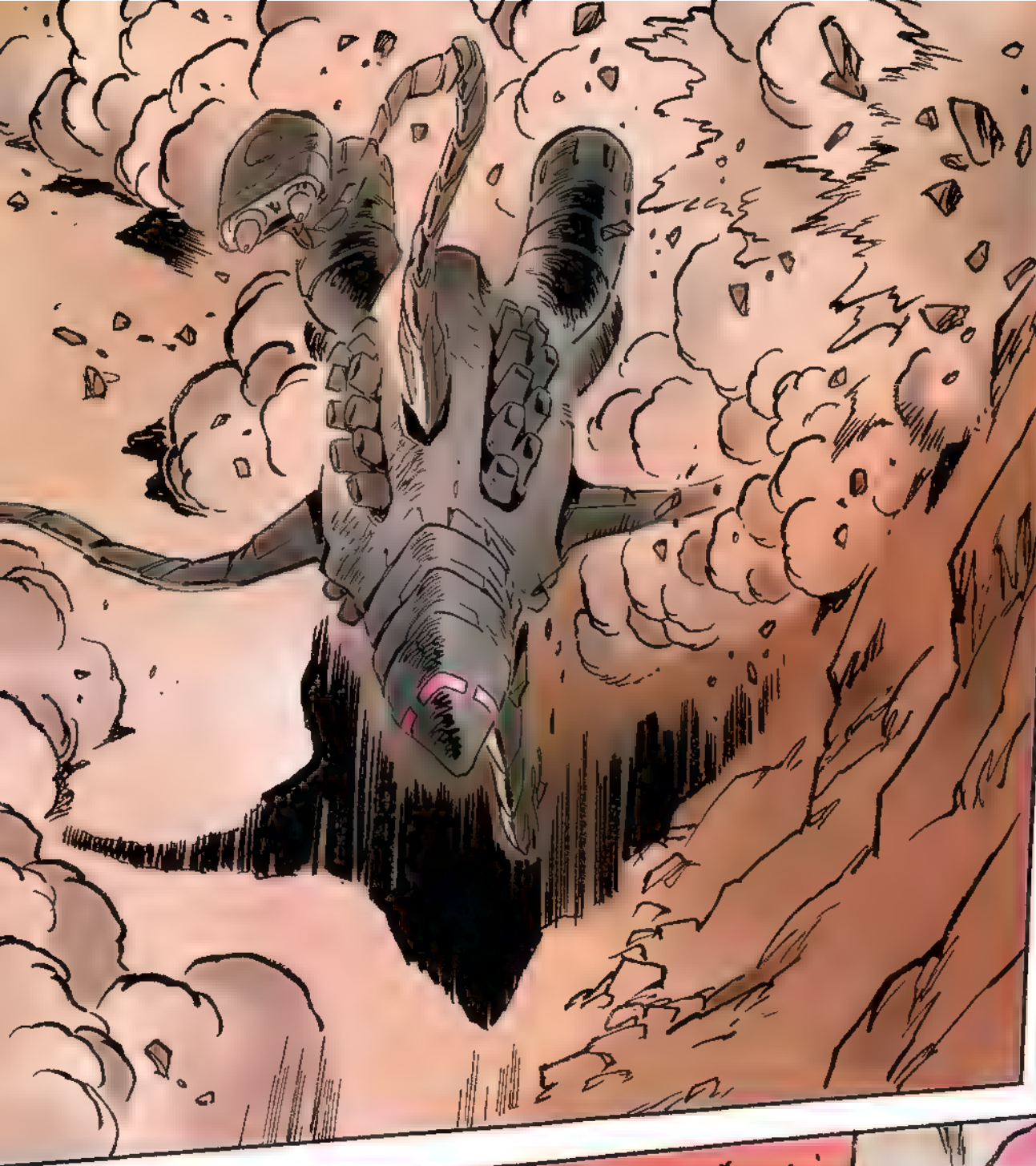
おろ  
もの  
愚か者だ!

挑発に  
乗りおって!!

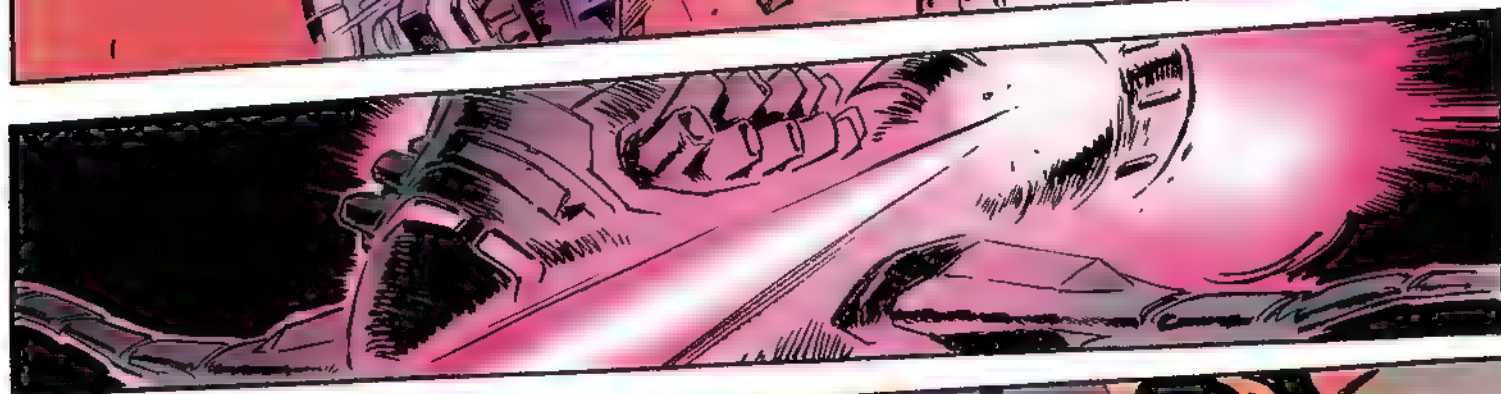
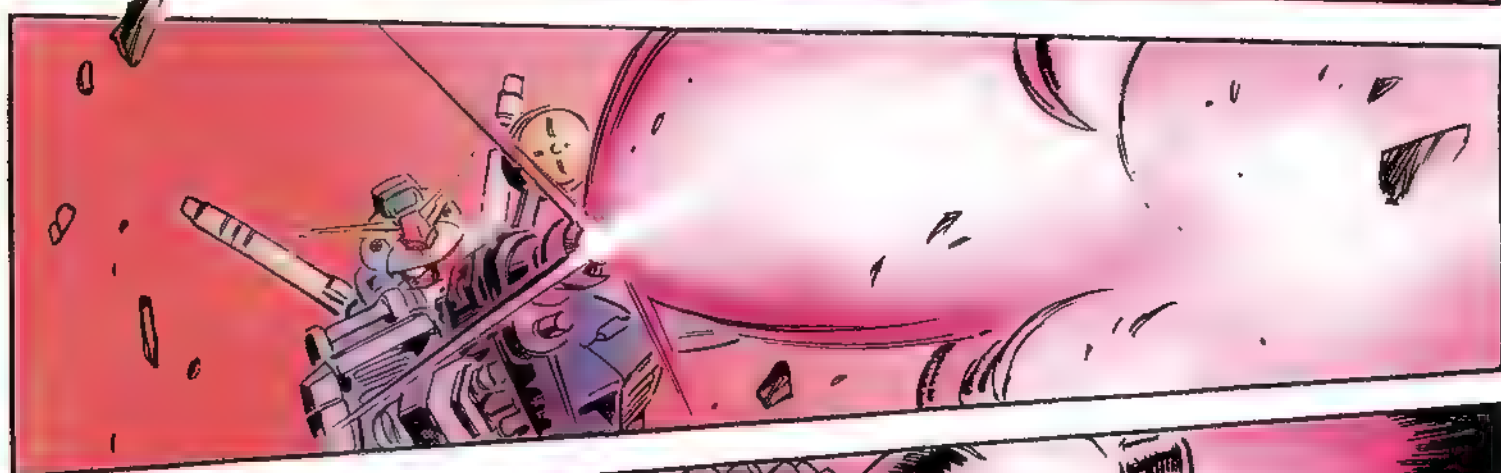
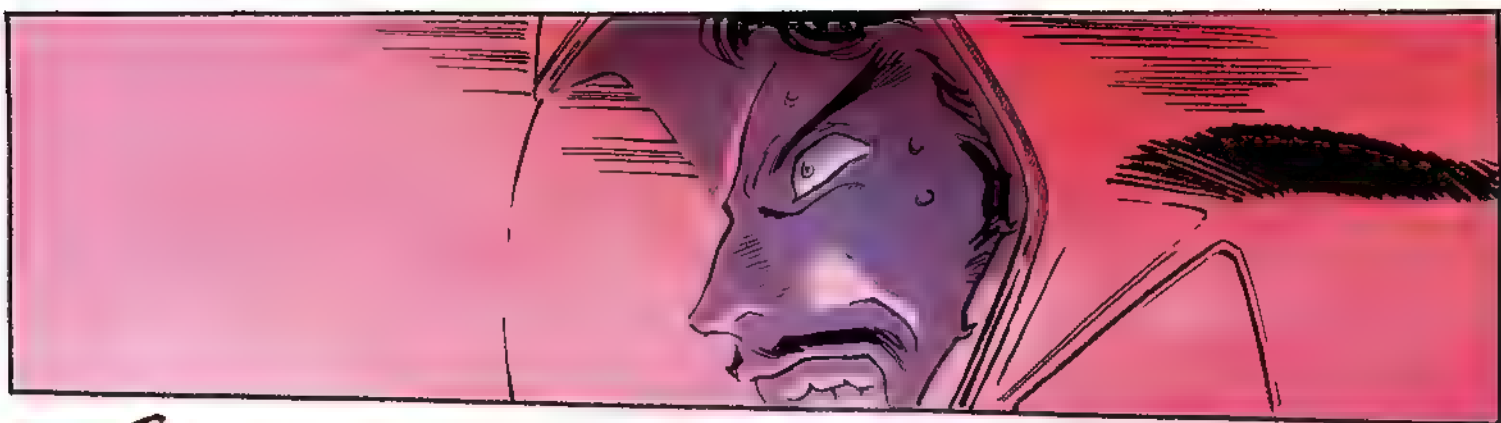


いいんです  
博士

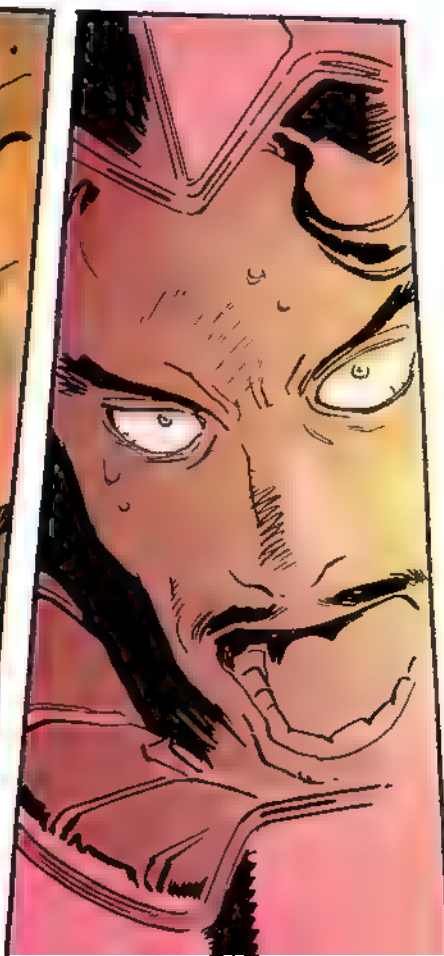
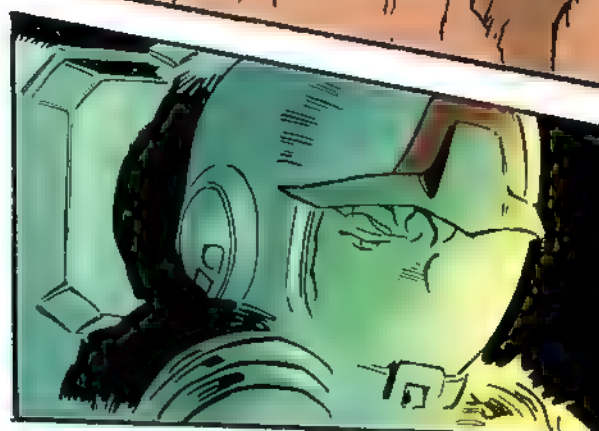














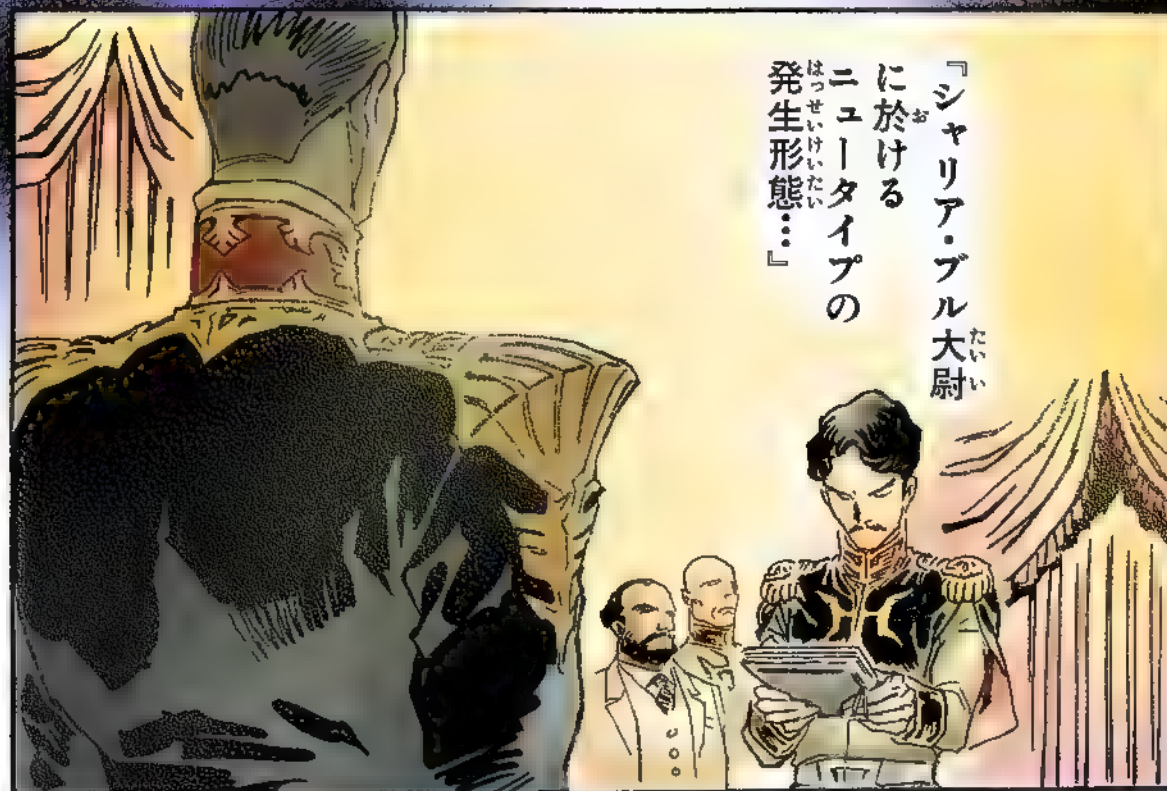


これだ



木星のエネルギー船団を率いた  
君の才能のデータは  
そろっている

フラナガン機関に  
研究させた



「シャリア・ブル大尉  
に於ける  
ニュータイプの  
発生形態…」

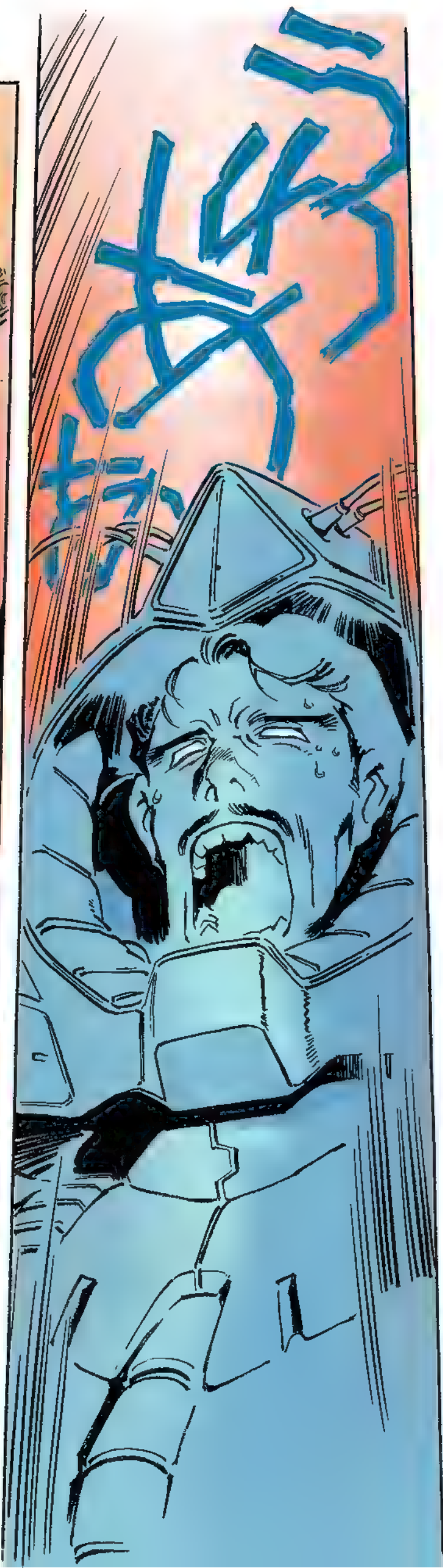
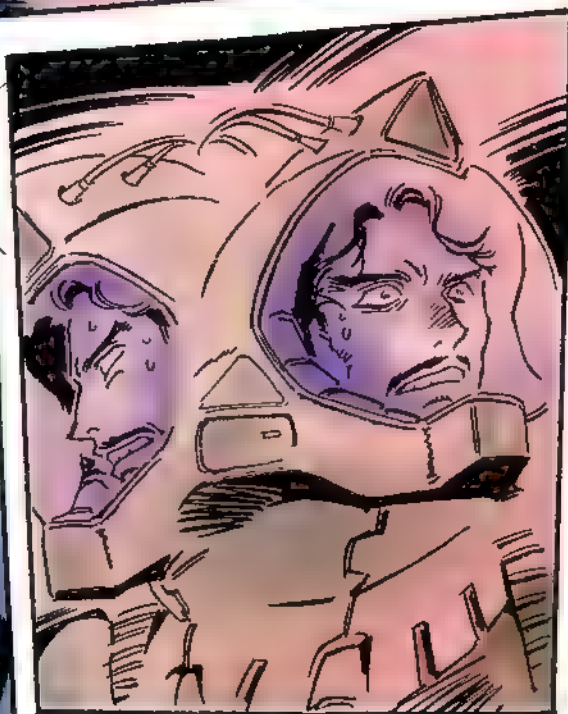
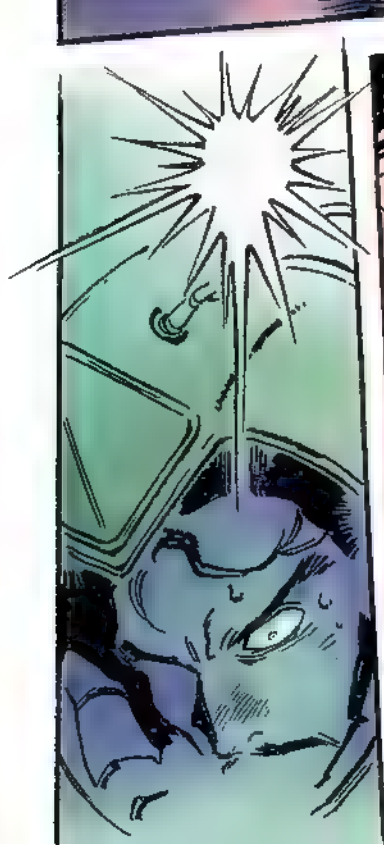


私に

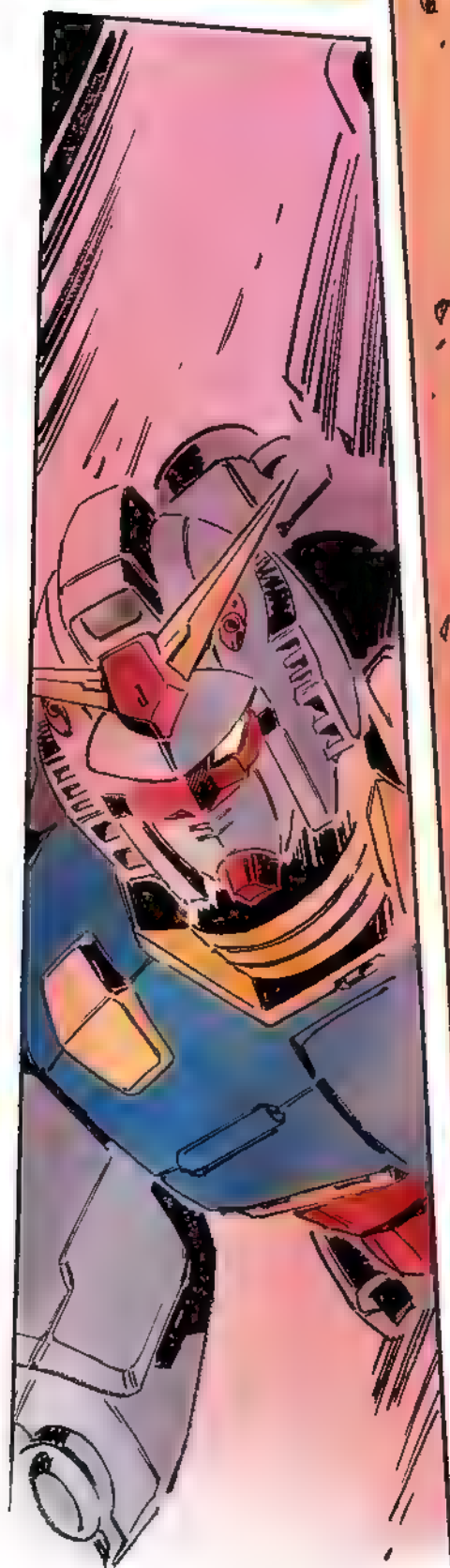
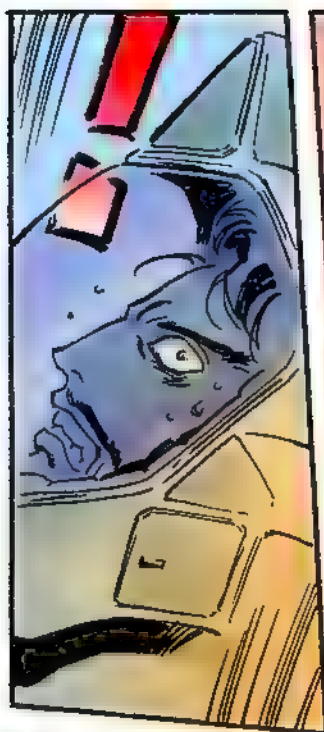
その才能が  
あると?!

私は  
勘が  
いい  
という  
程度で…

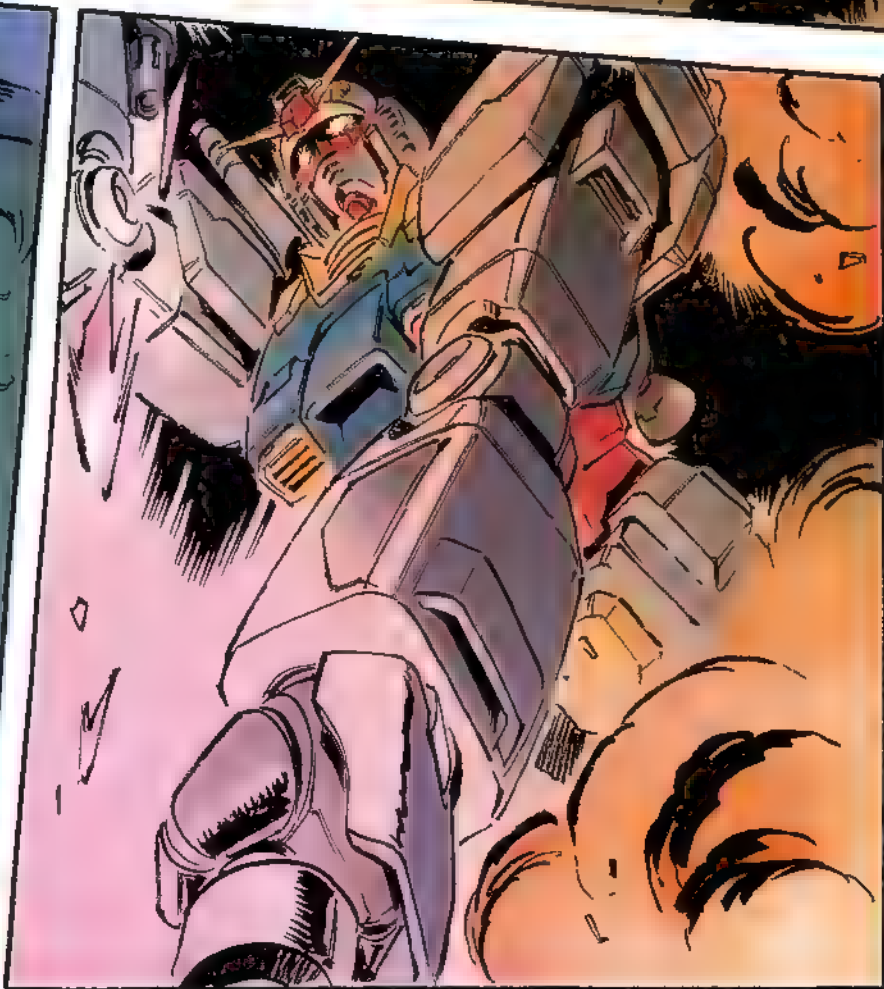
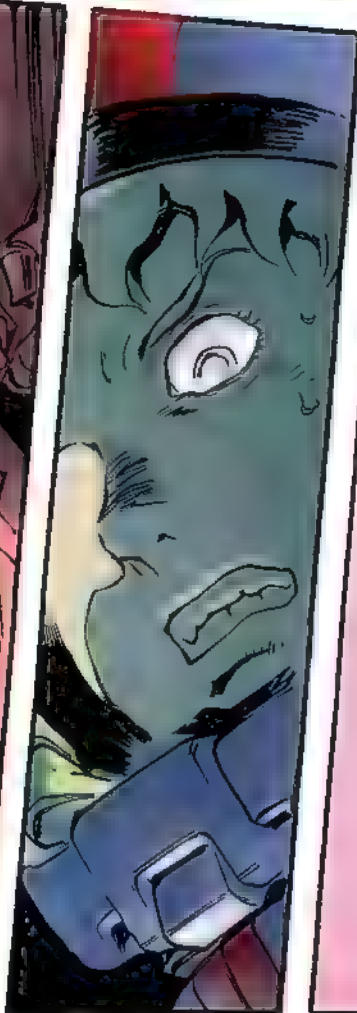
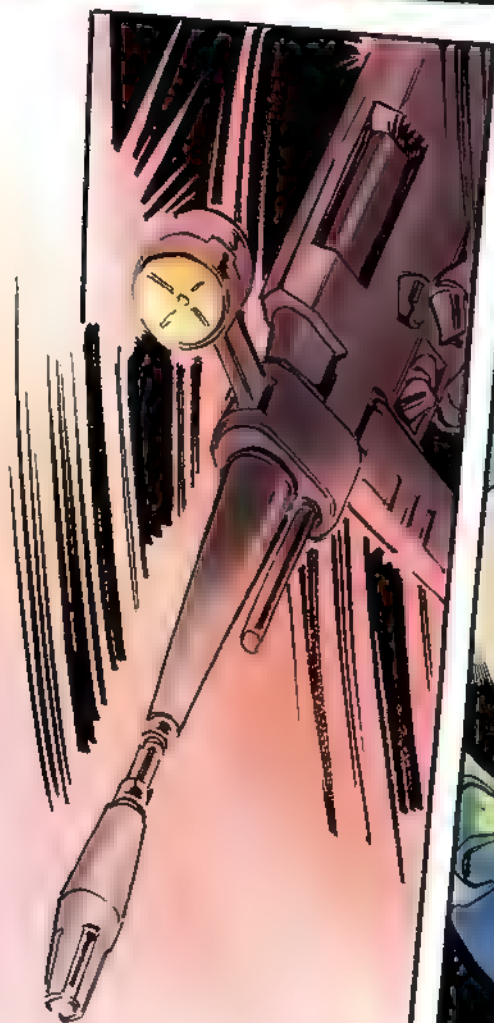
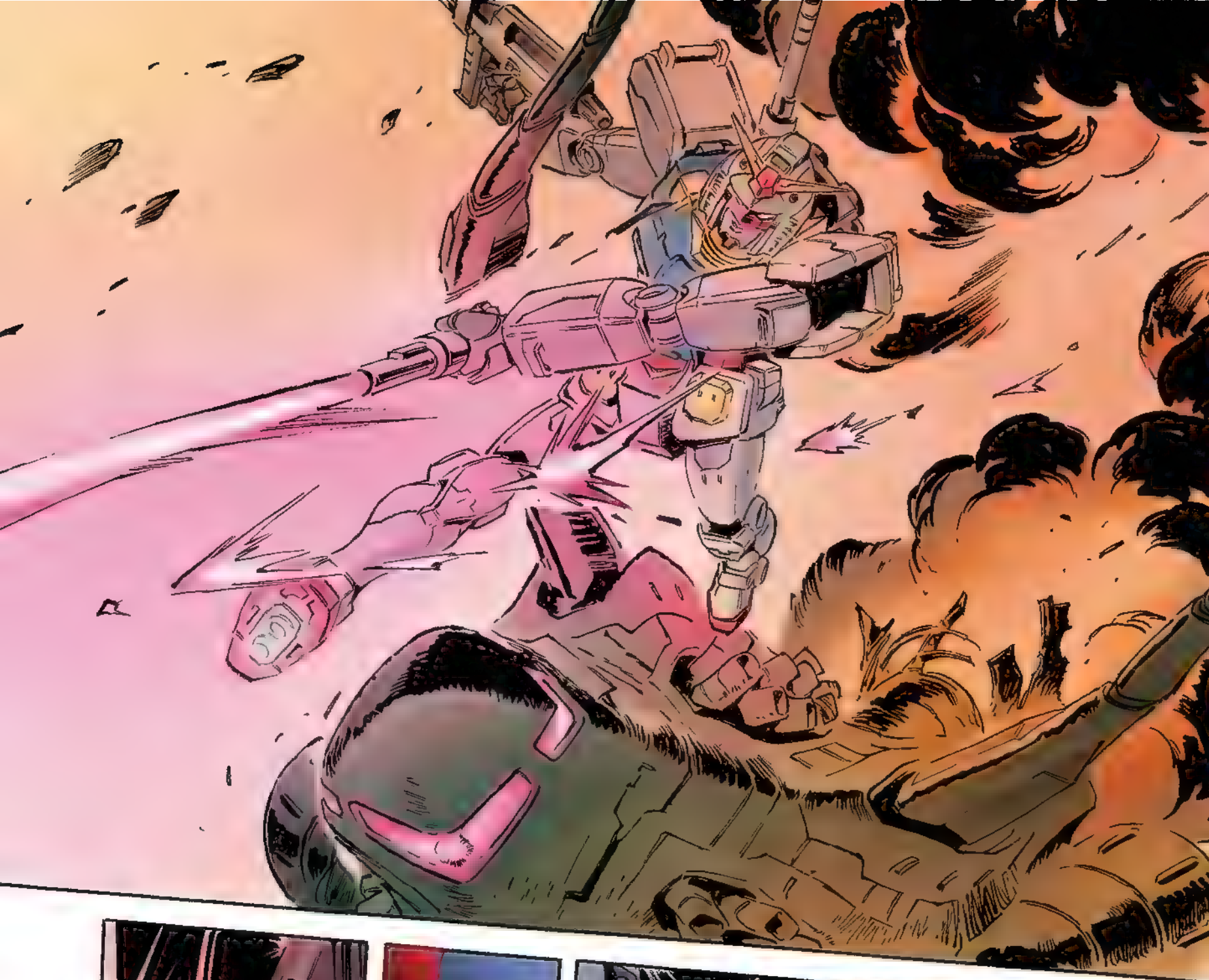




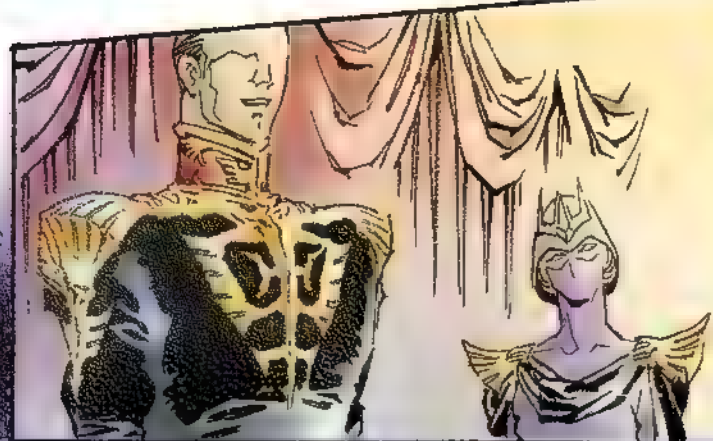












君は  
自分でも  
気づかぬ  
才能を持っている



そうだ



それを  
公国のために  
役立てて  
ほしい

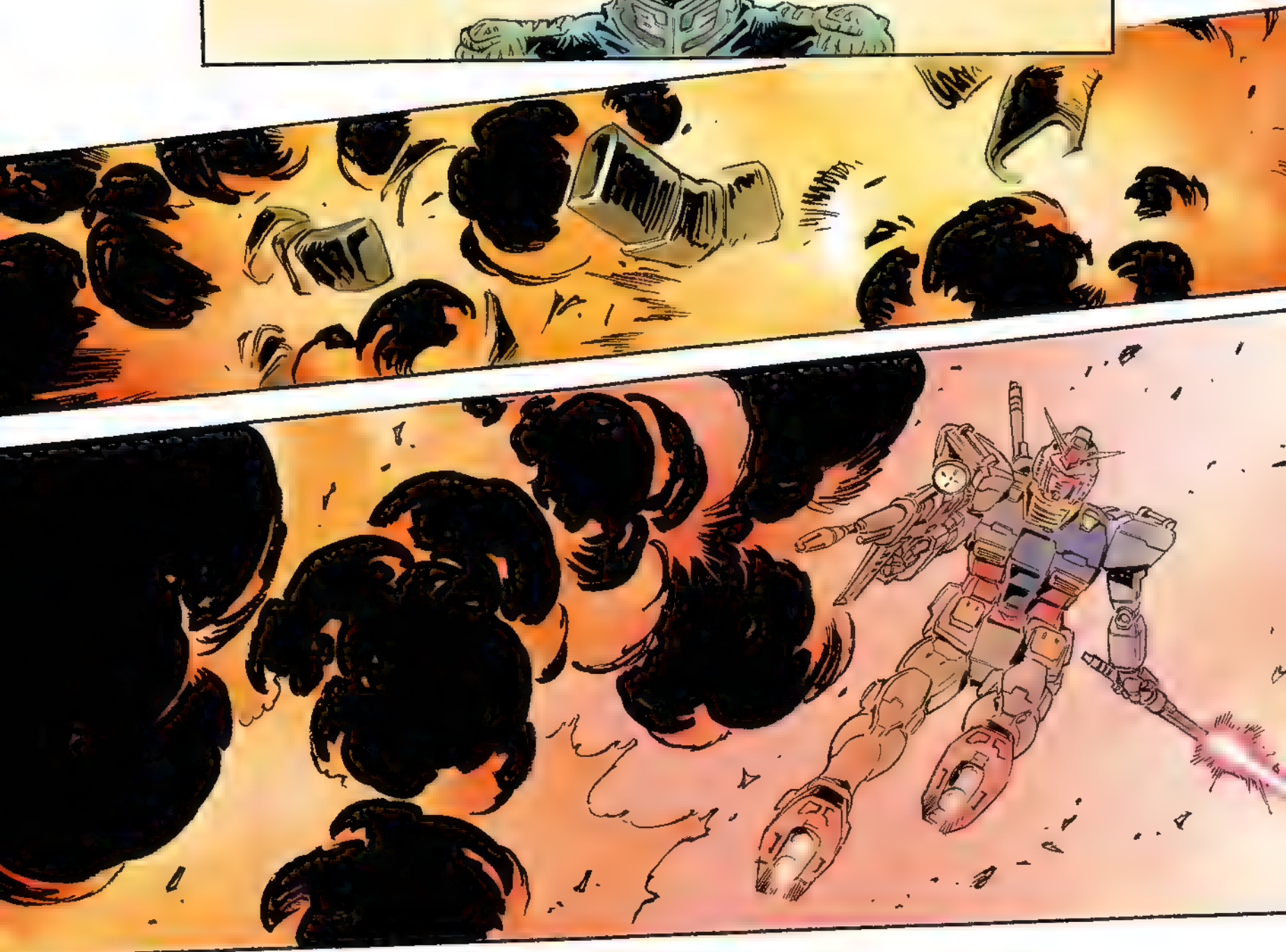
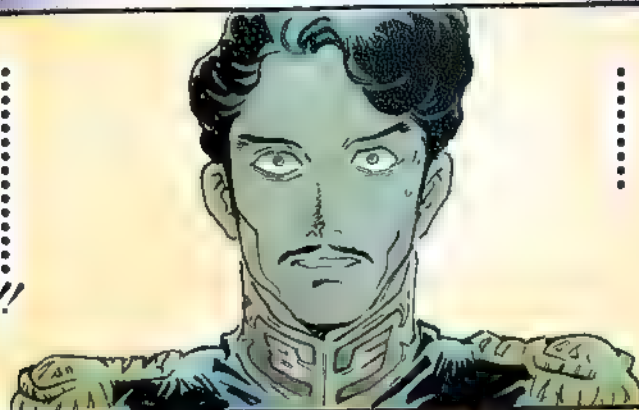
尤も

ニュータイプの  
ことは  
まだ知られていぬ  
ことが多いとは  
聞いているがな

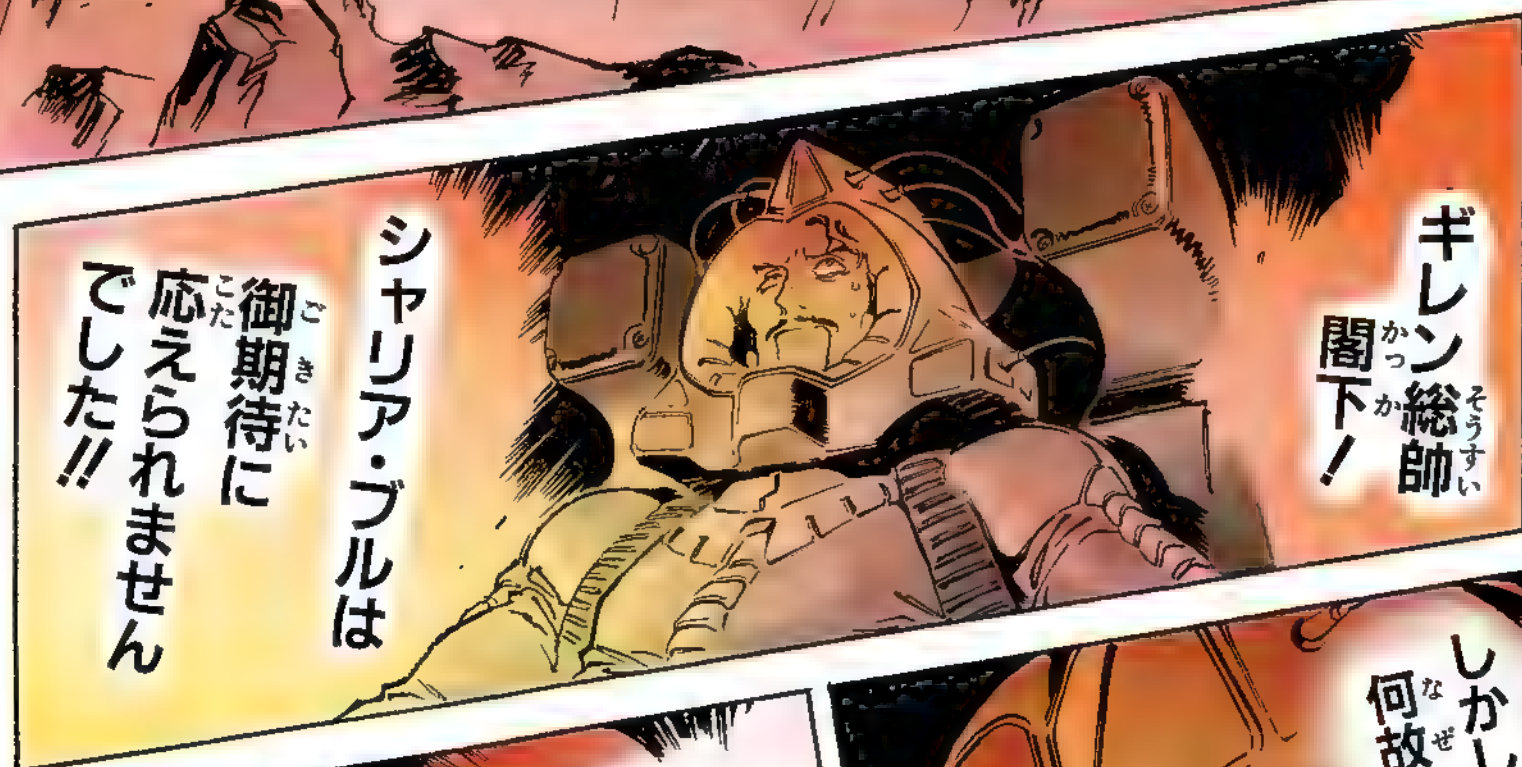
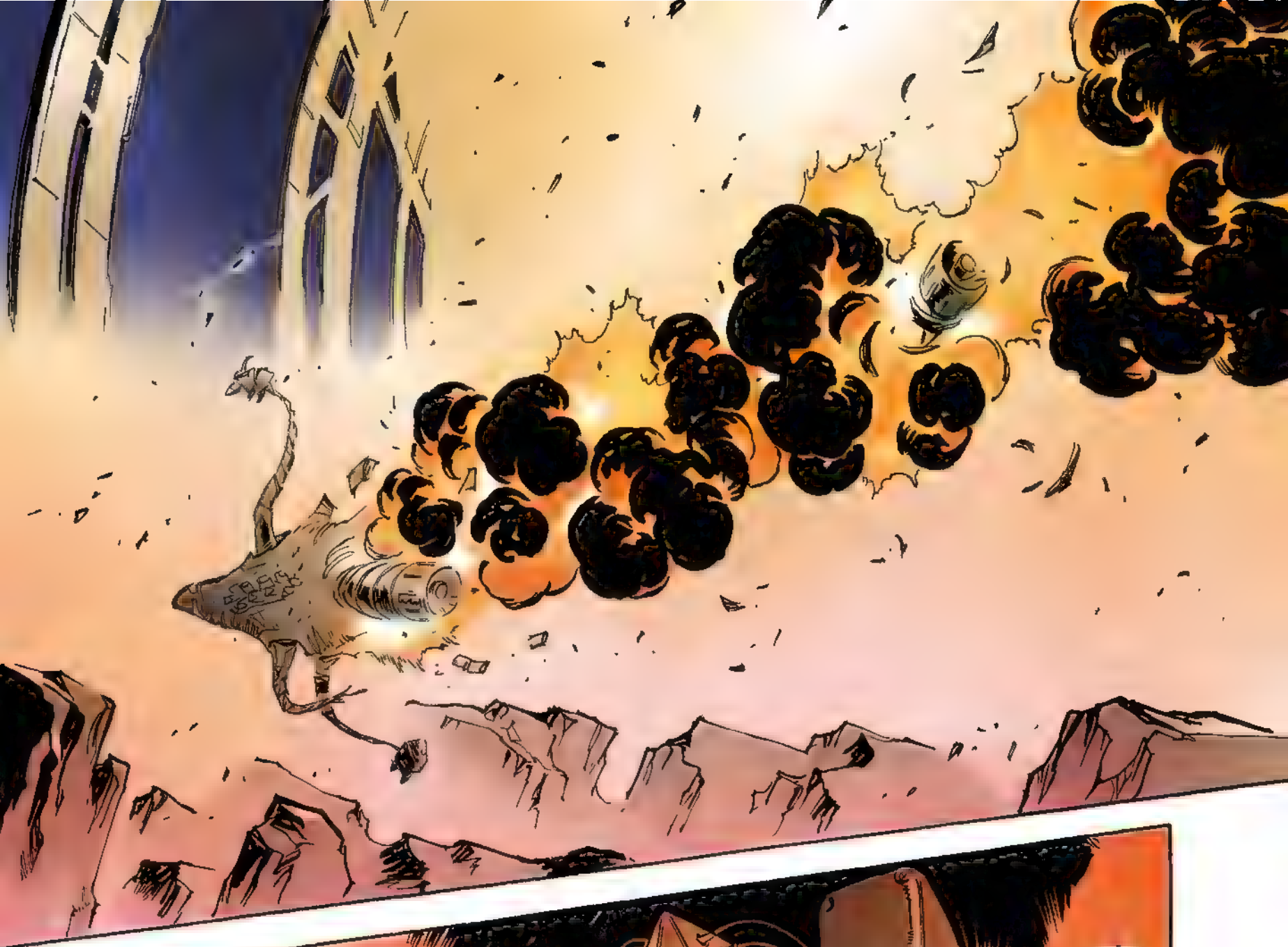


.....  
!!

.....

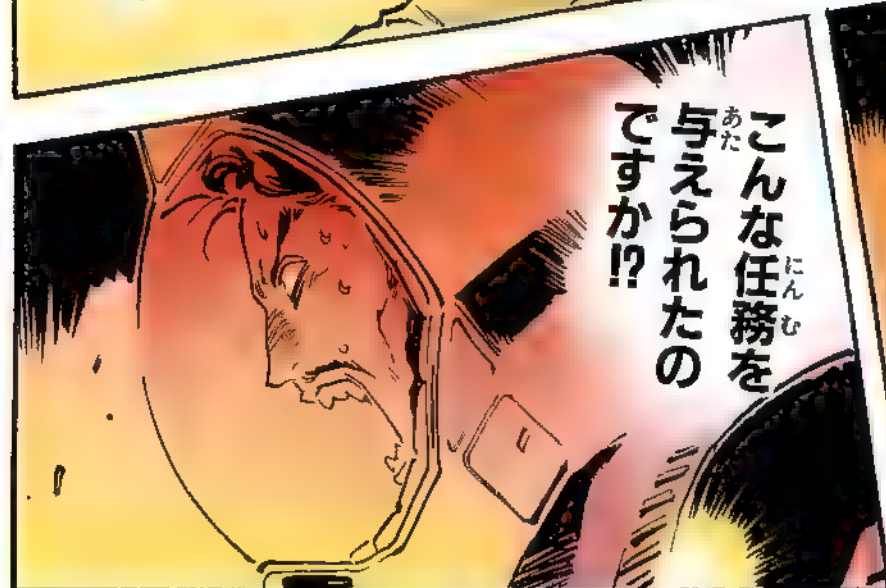




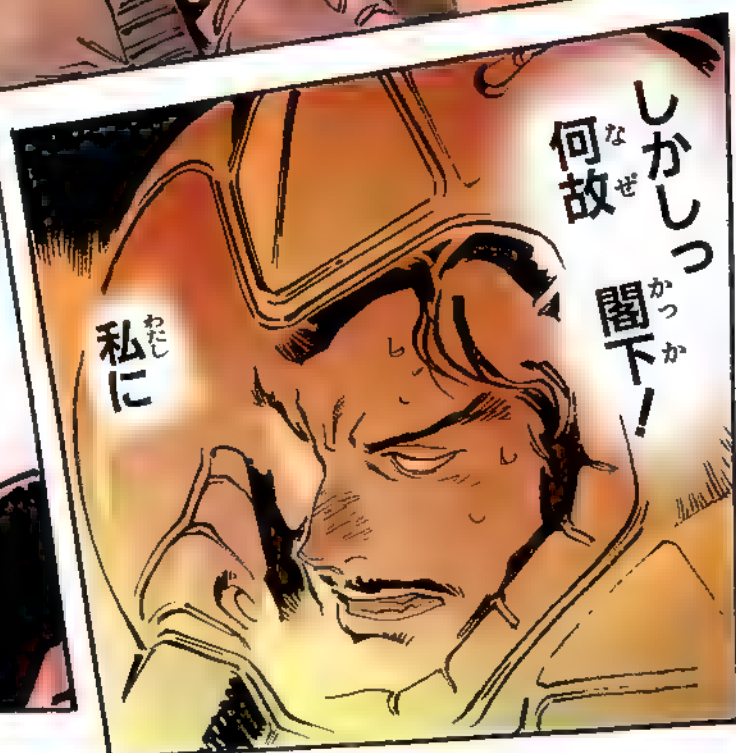


ギレン総帥  
閣下！

シャリア・アブルは  
ごきたい  
御期待に  
こた  
応えられませ  
ん  
でした！！



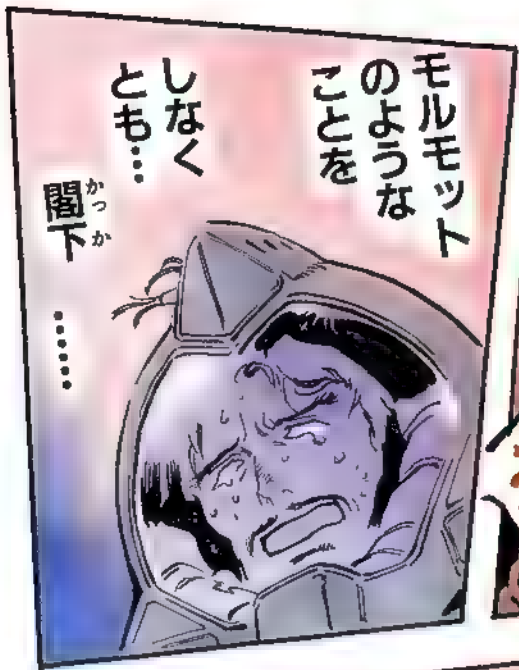
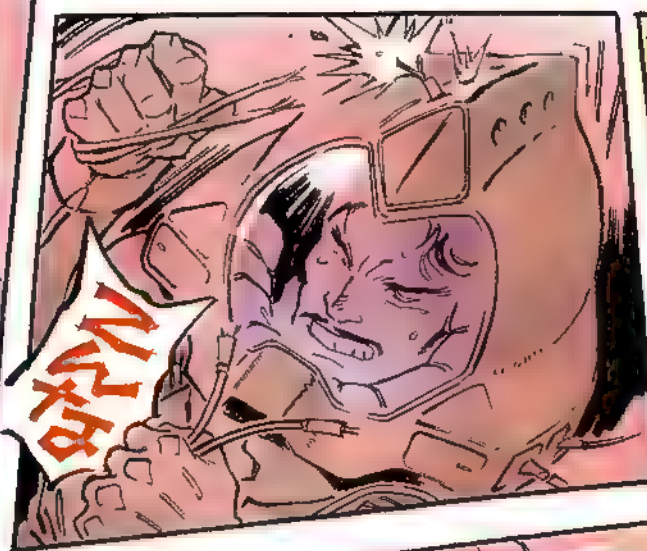
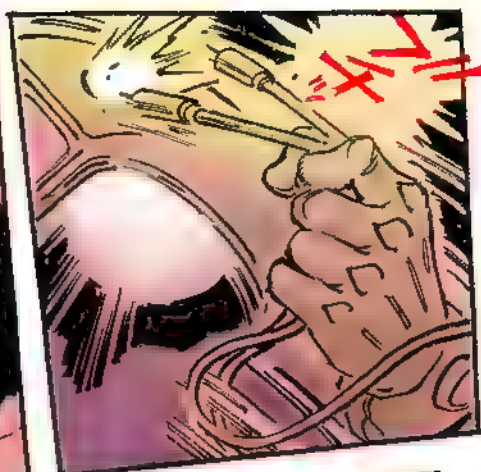
こんな任務を  
あた  
与えられたの  
ですか！？



しかしっ  
なぜ  
何故  
閣下！

私に





モルモットの  
のような  
ことを

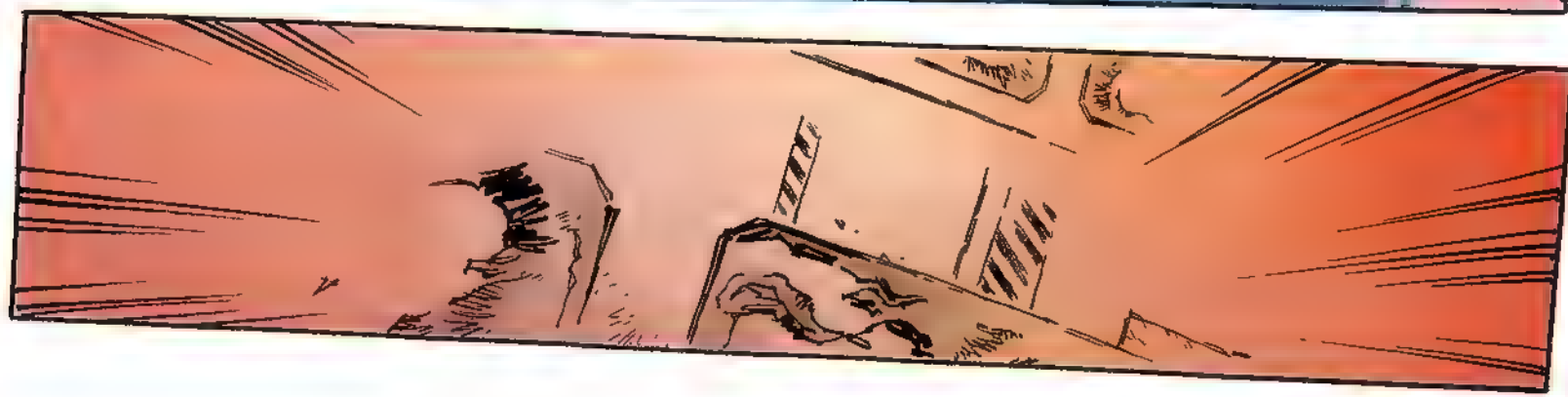
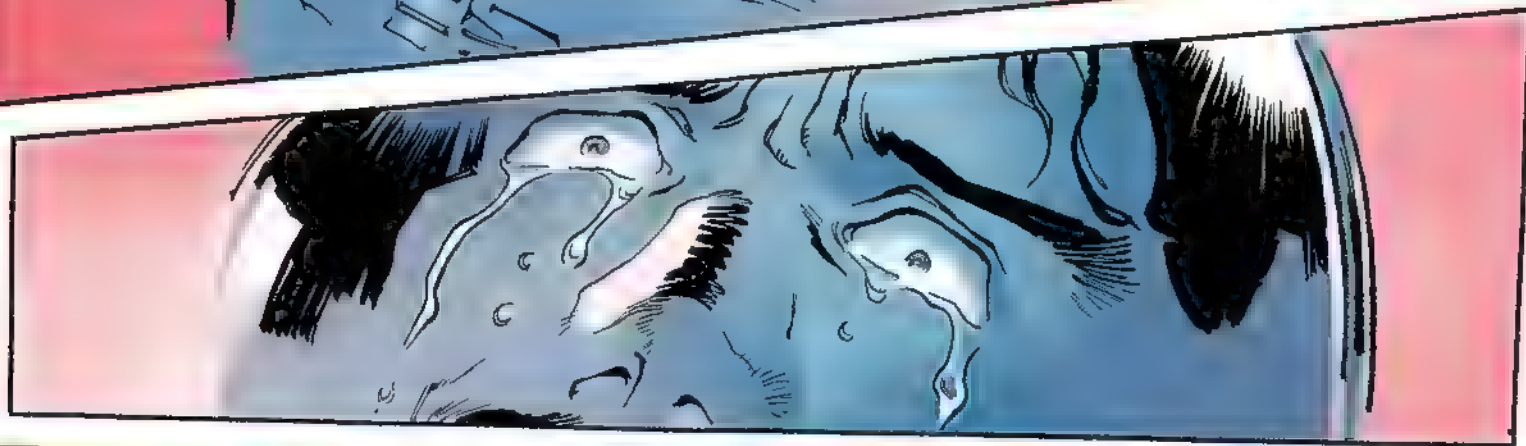
しなく  
とも...

閣下

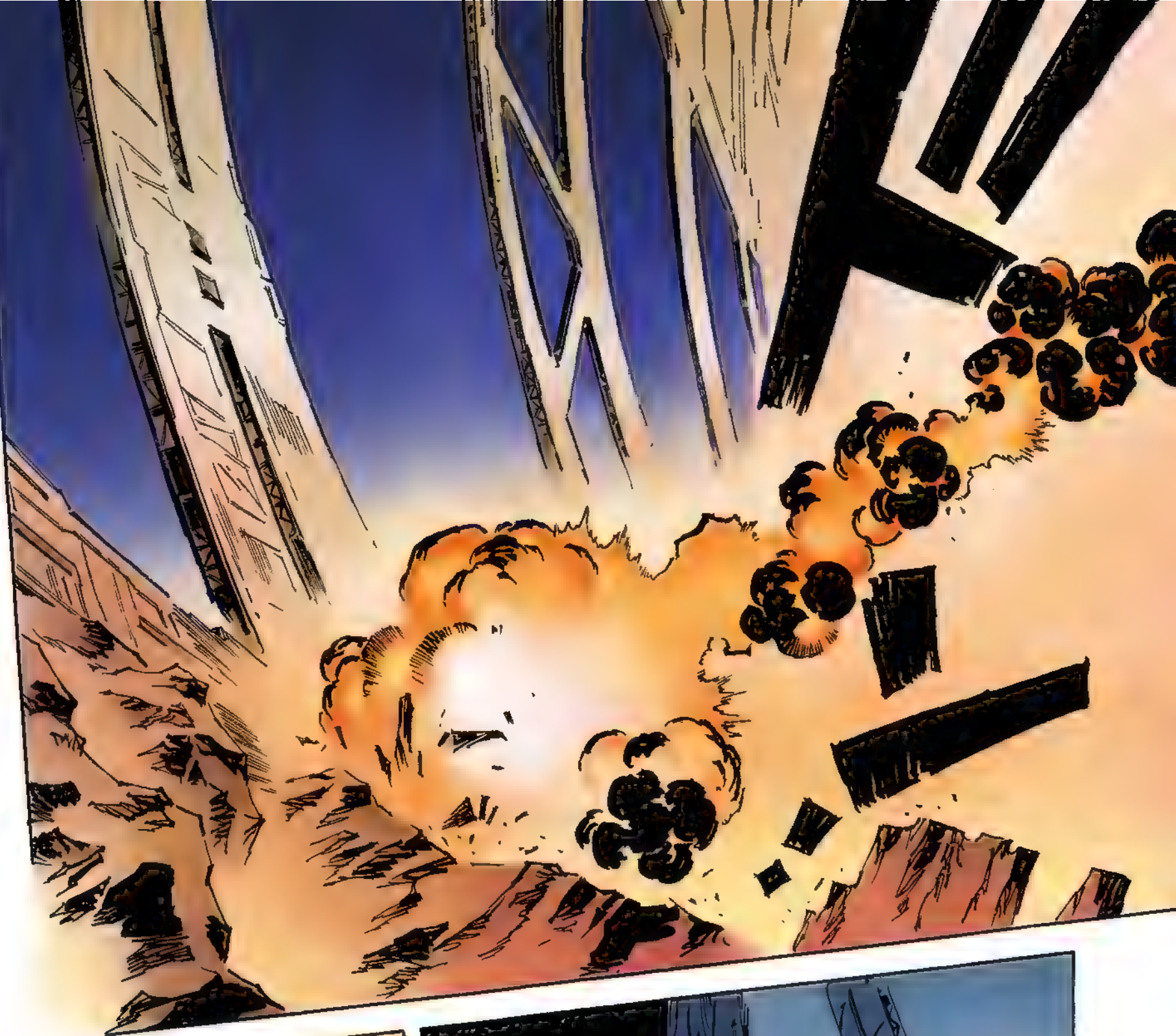
.....

私<sup>わたし</sup> シャリア・ブルは  
充分<sup>じゅうぶん</sup> 公国<sup>こうこく</sup>の  
お役に<sup>やく</sup>

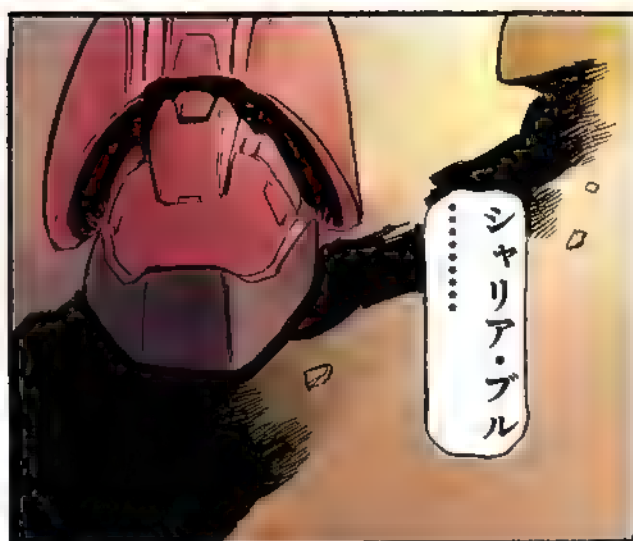
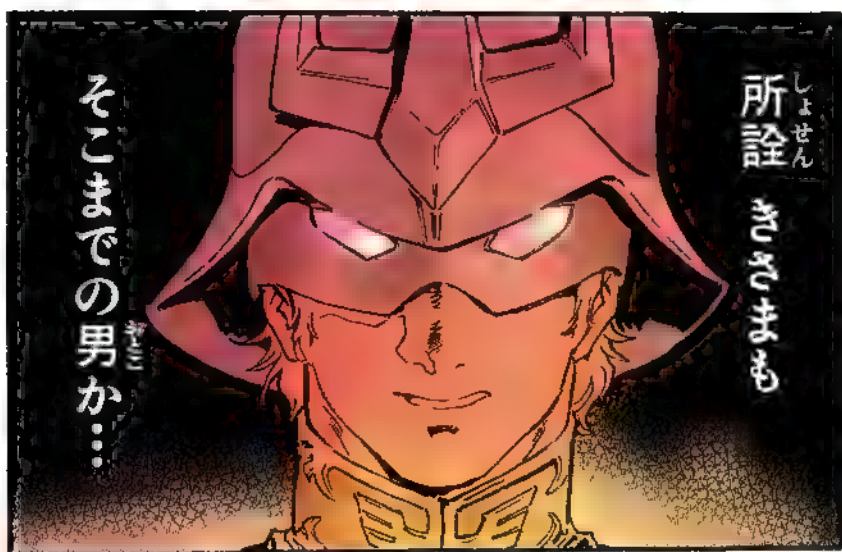
立て<sup>た</sup>ました  
ものを!!!











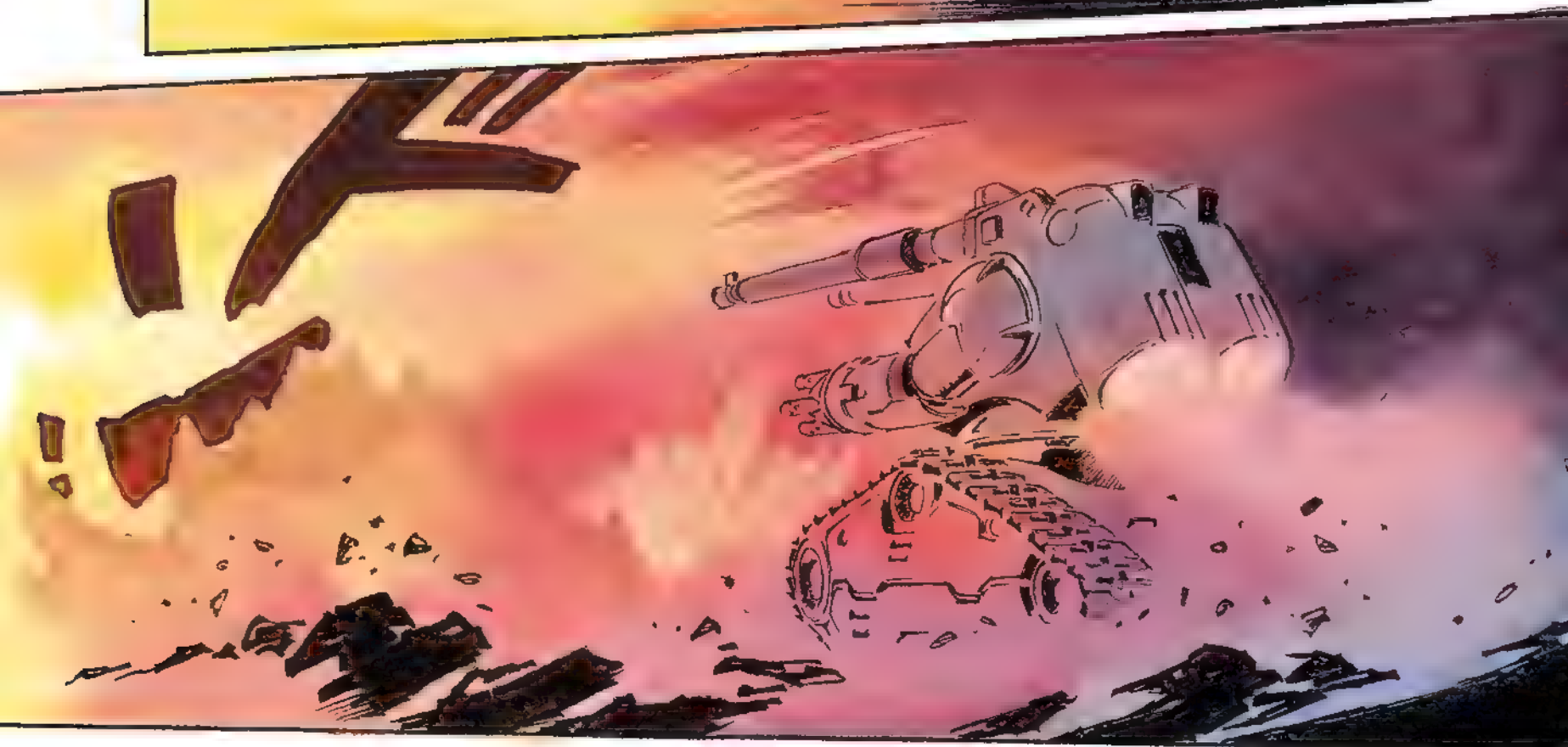
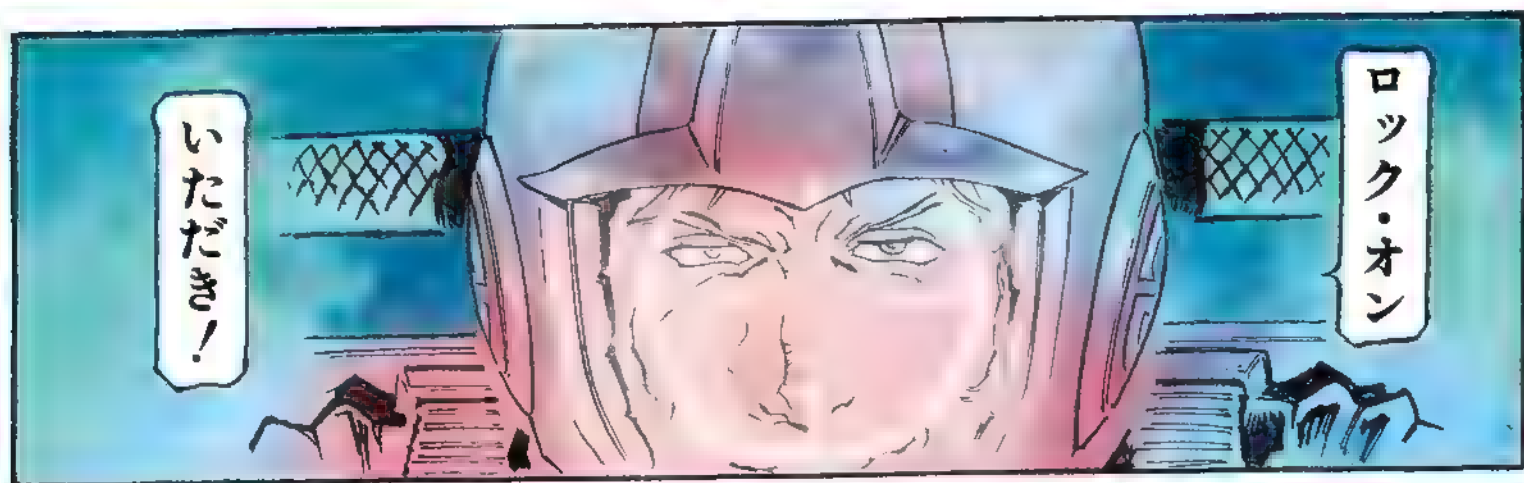
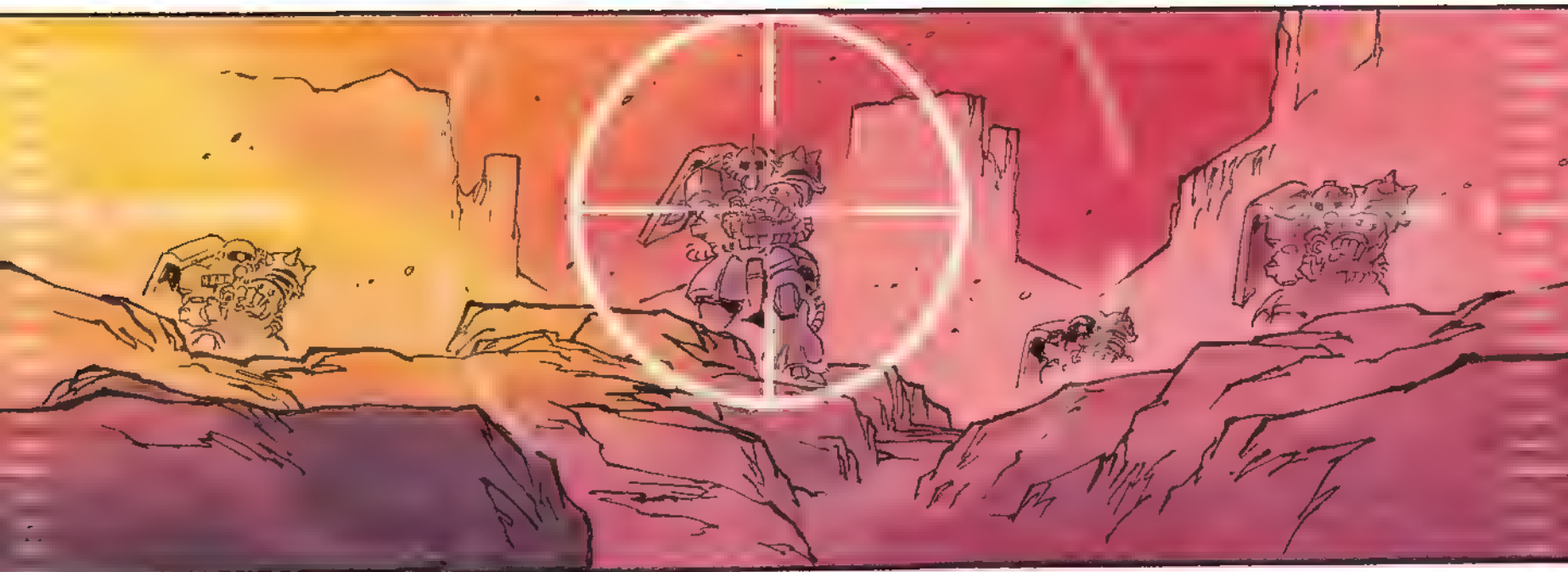


—ラファ編・後

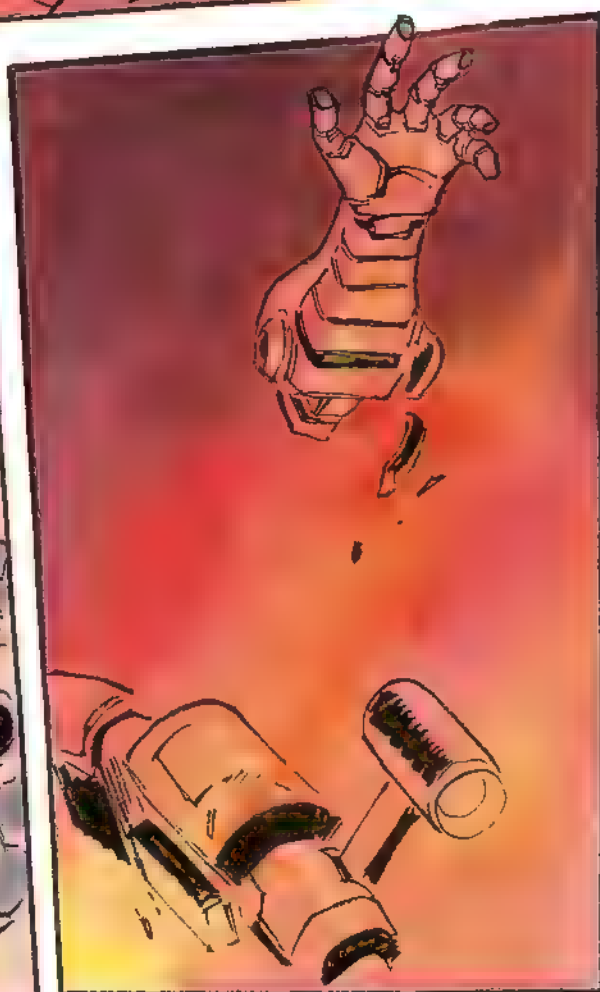
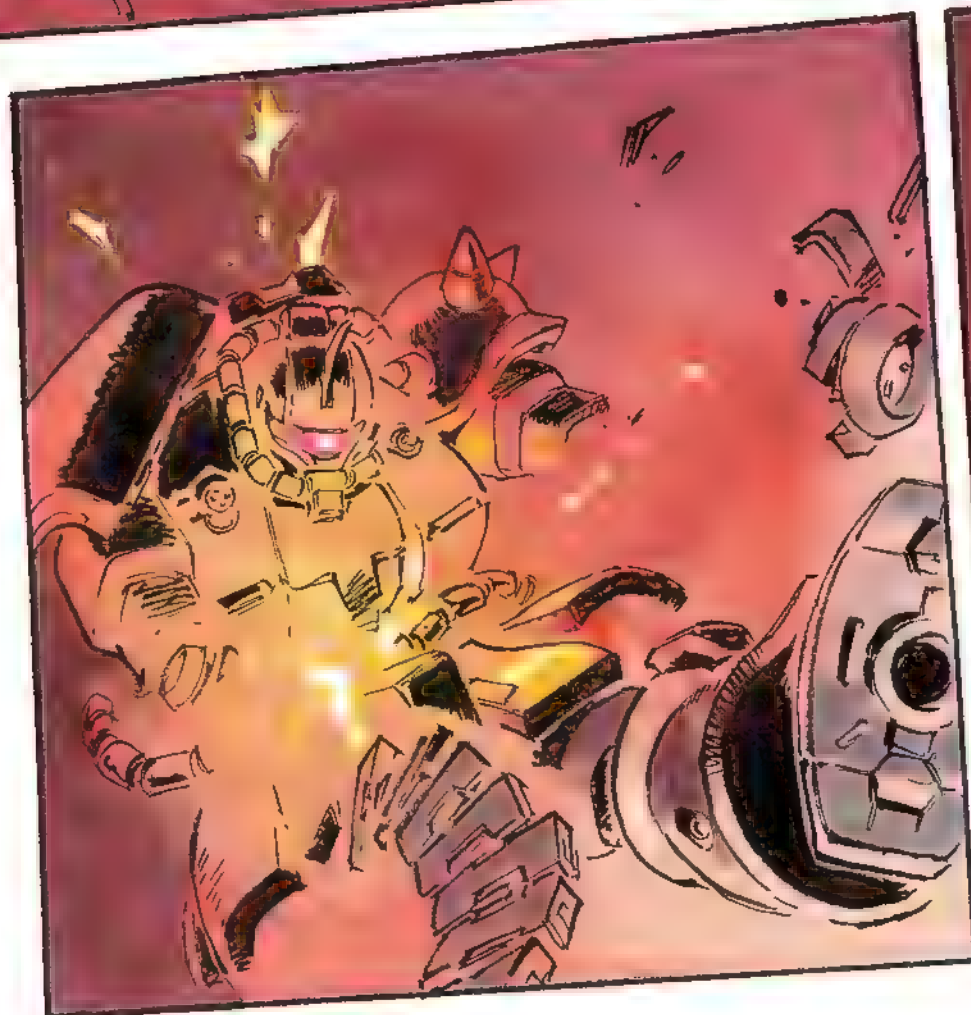
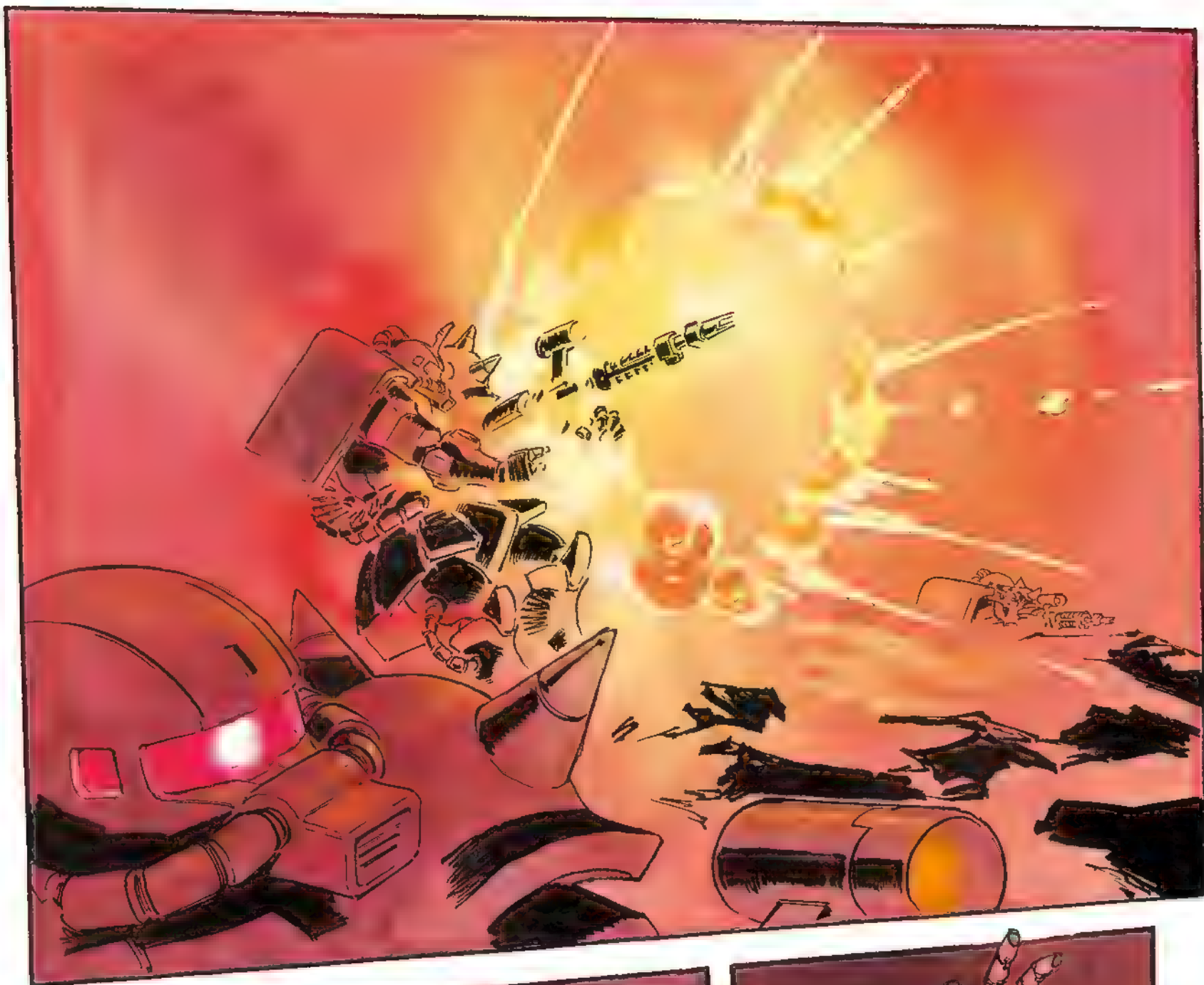
SECTION  
IX



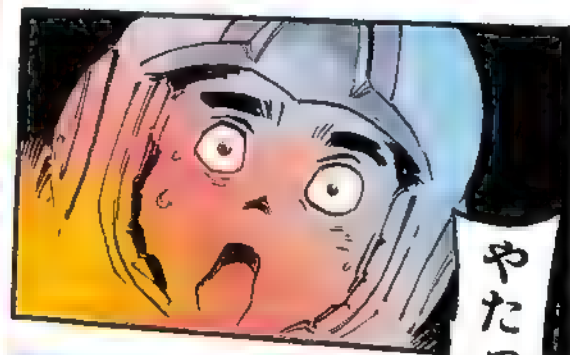
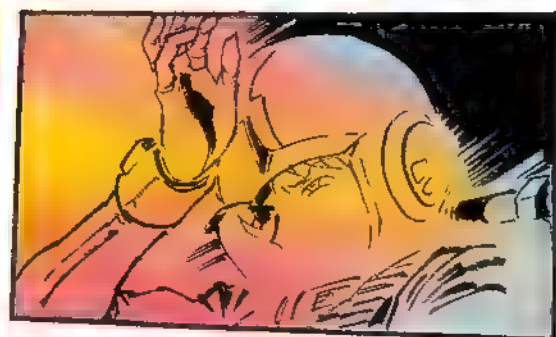
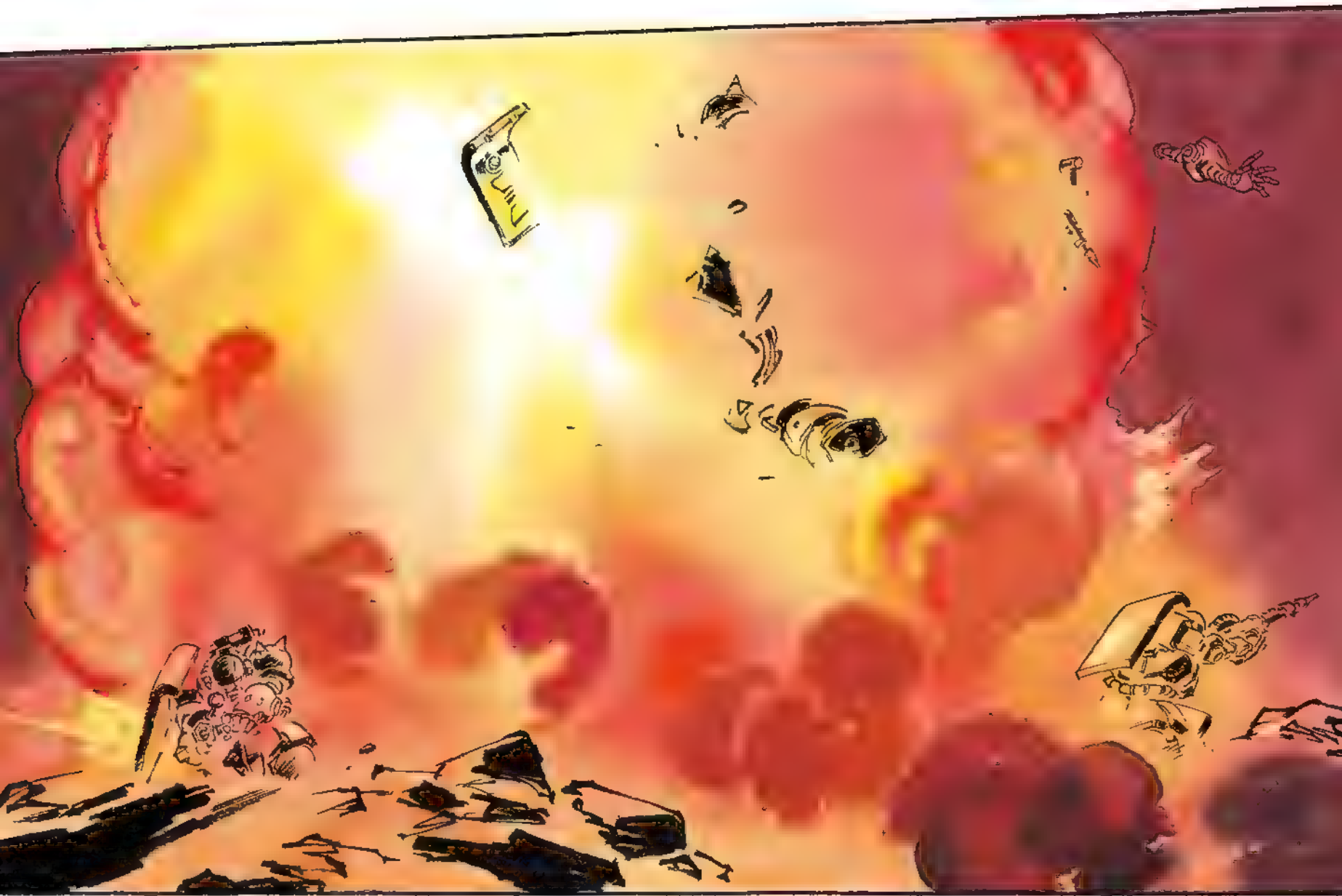




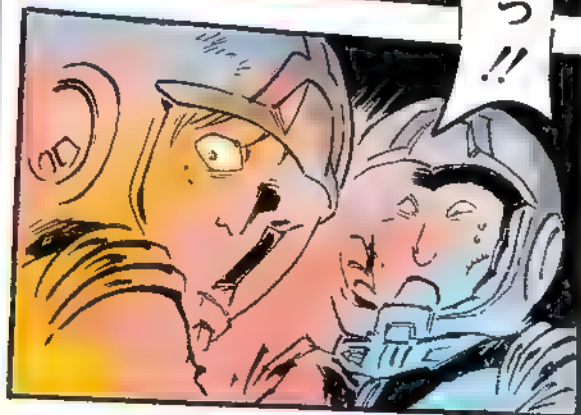




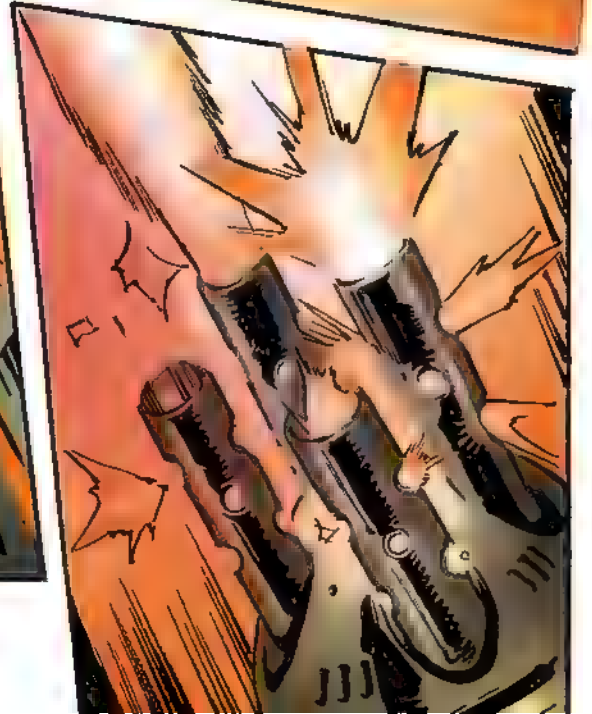
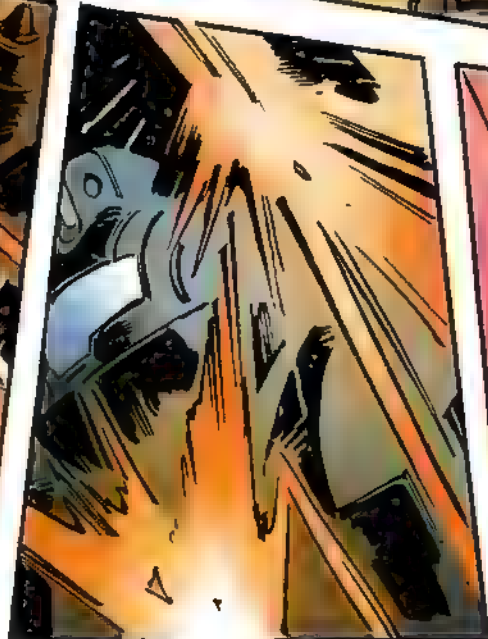
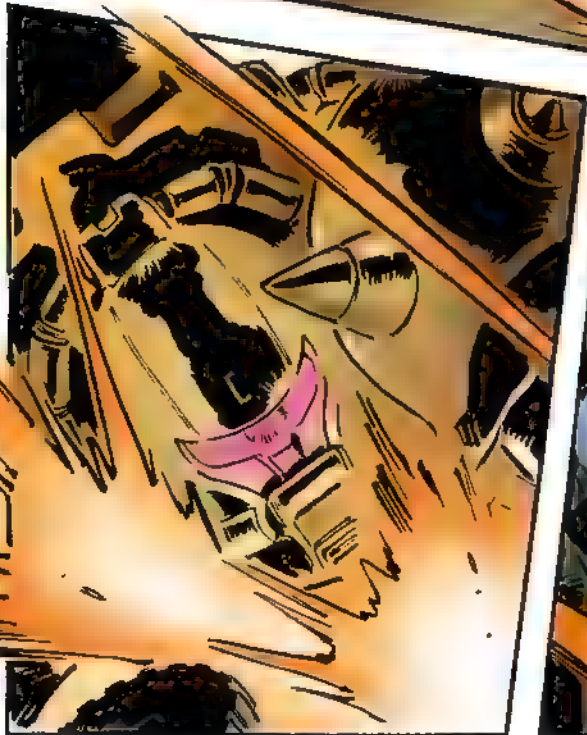
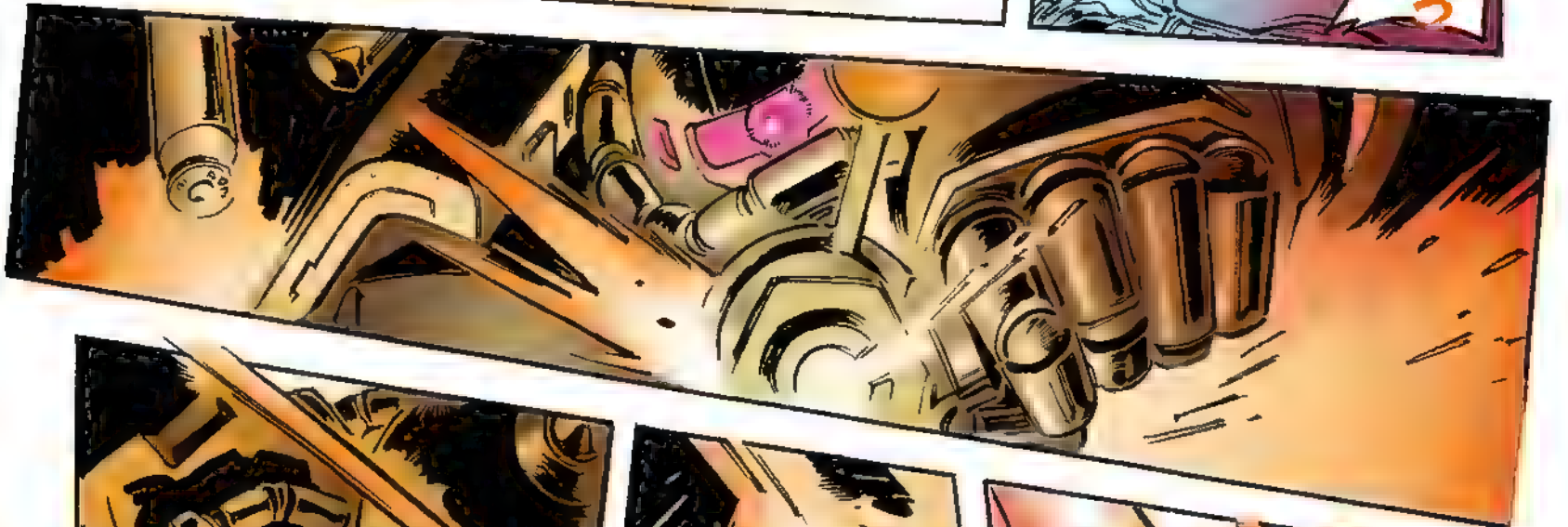
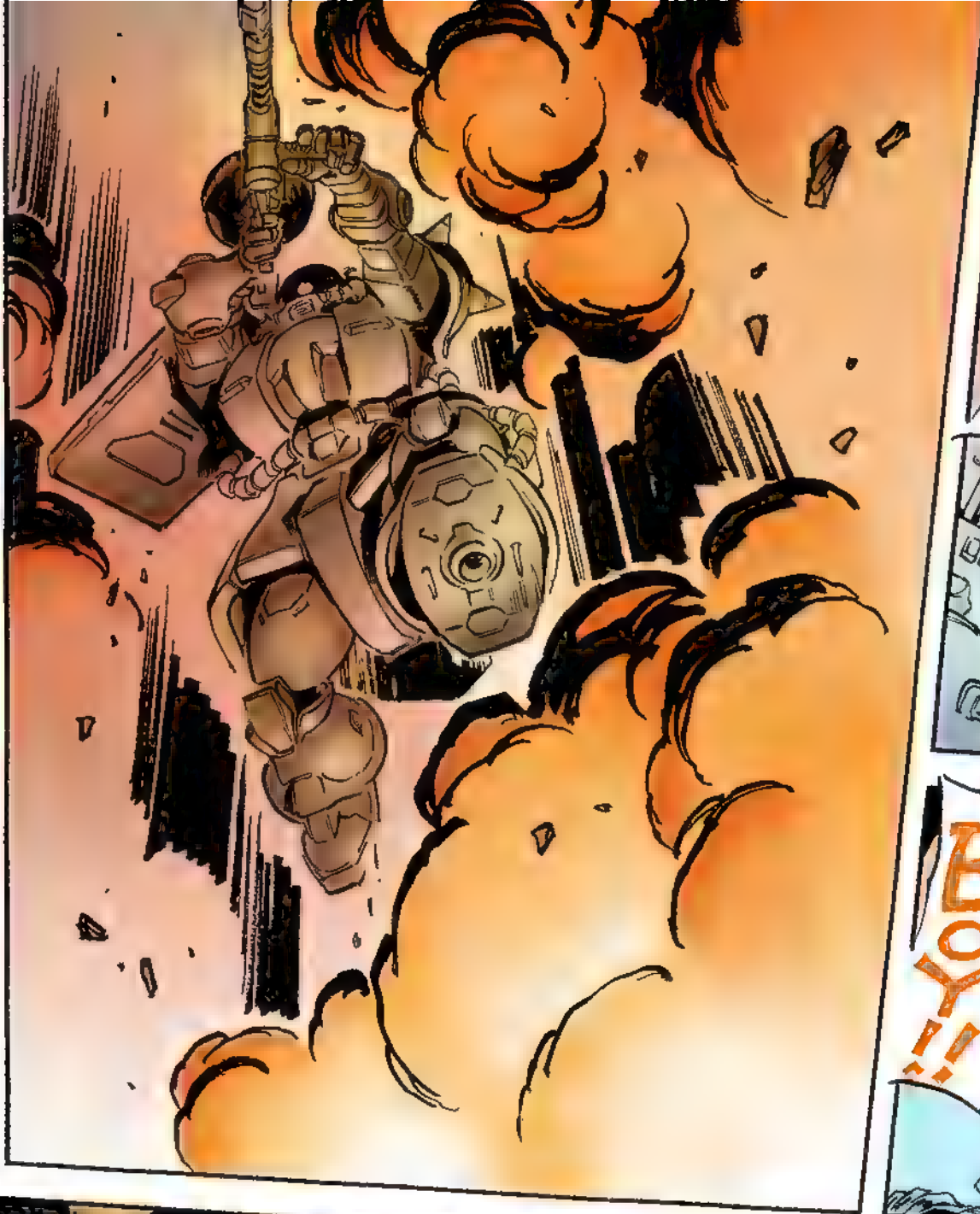




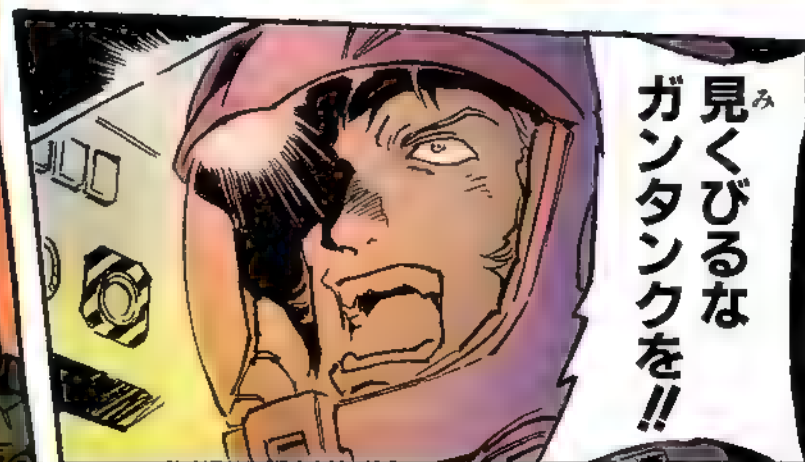
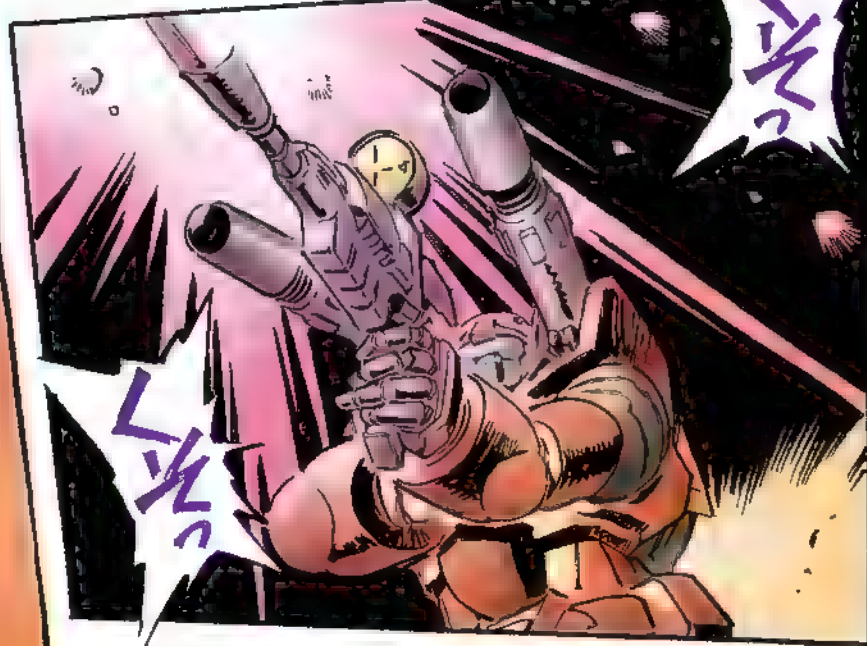
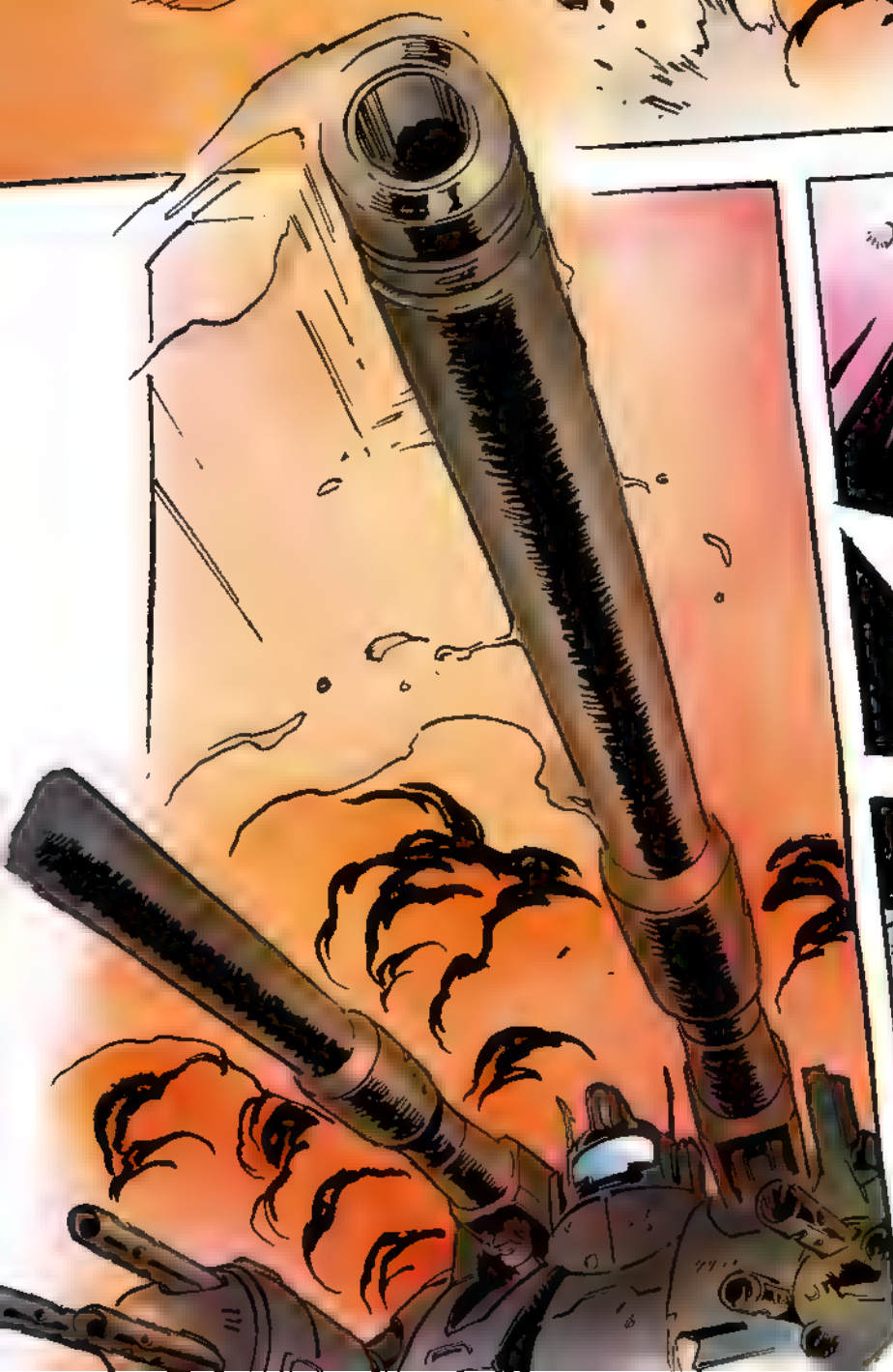
やたっ!!





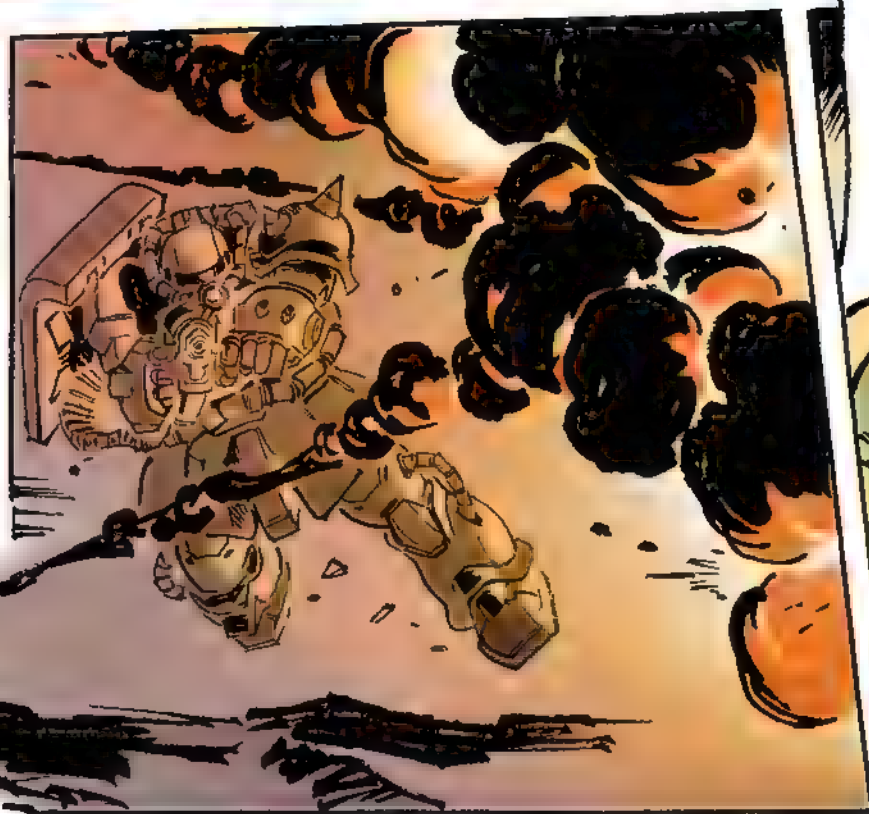
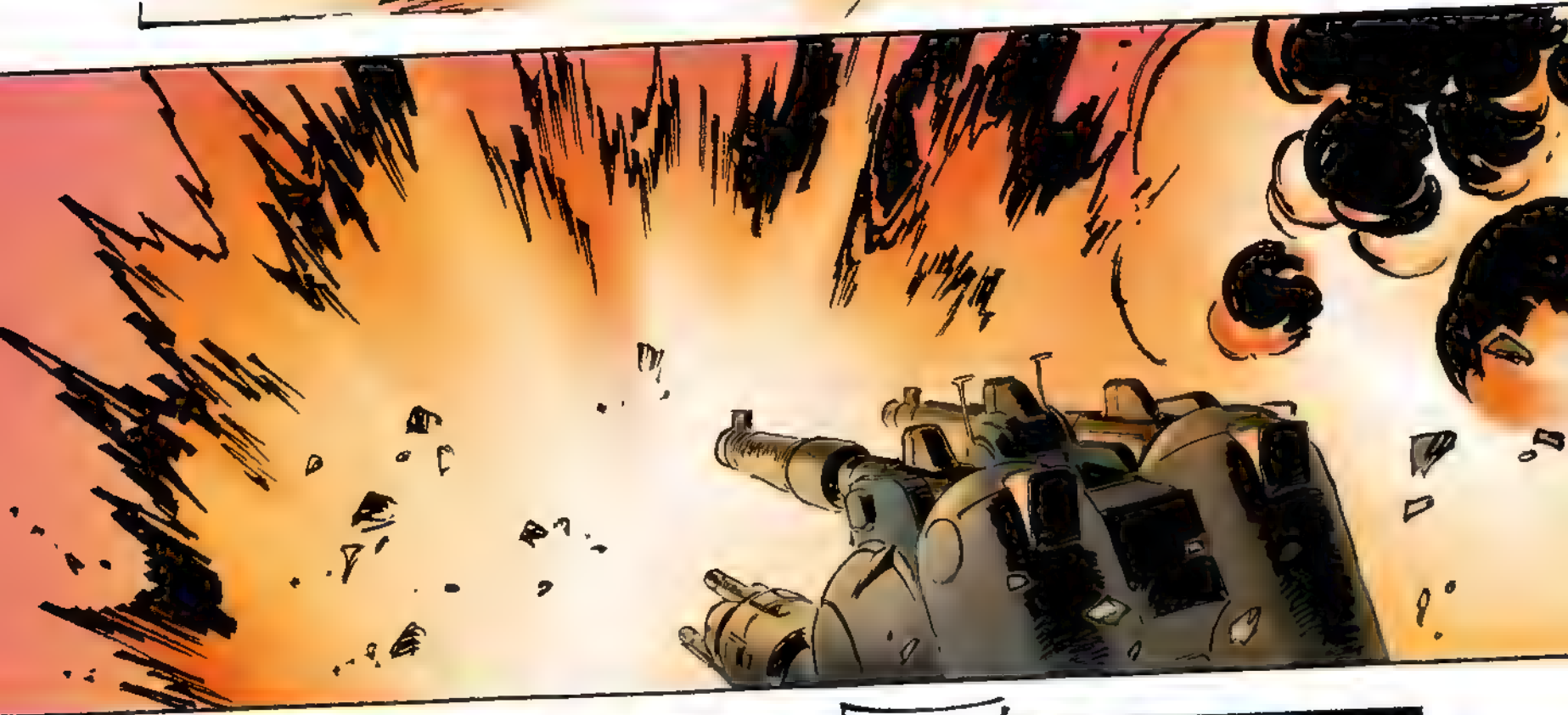
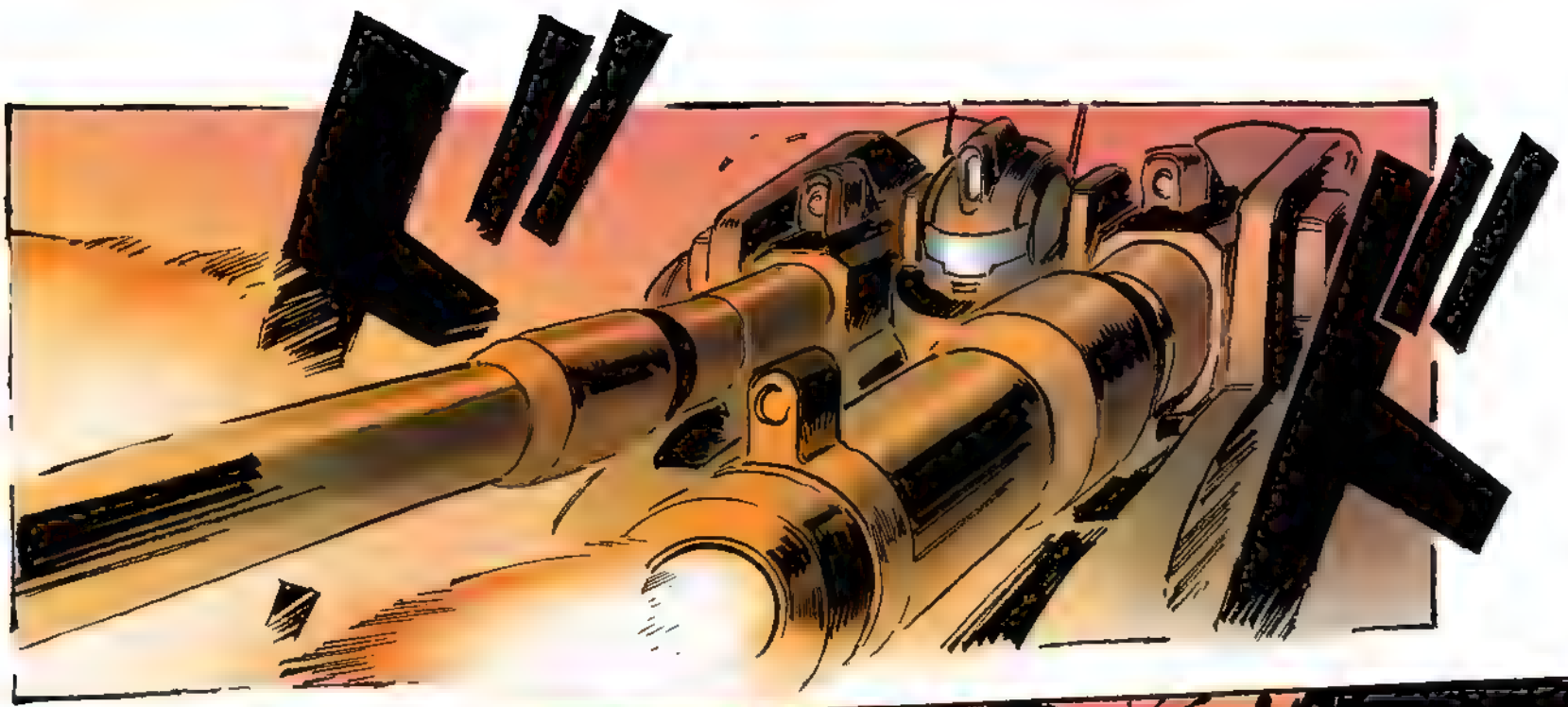






み  
見くびるな  
ガンタンクを!!





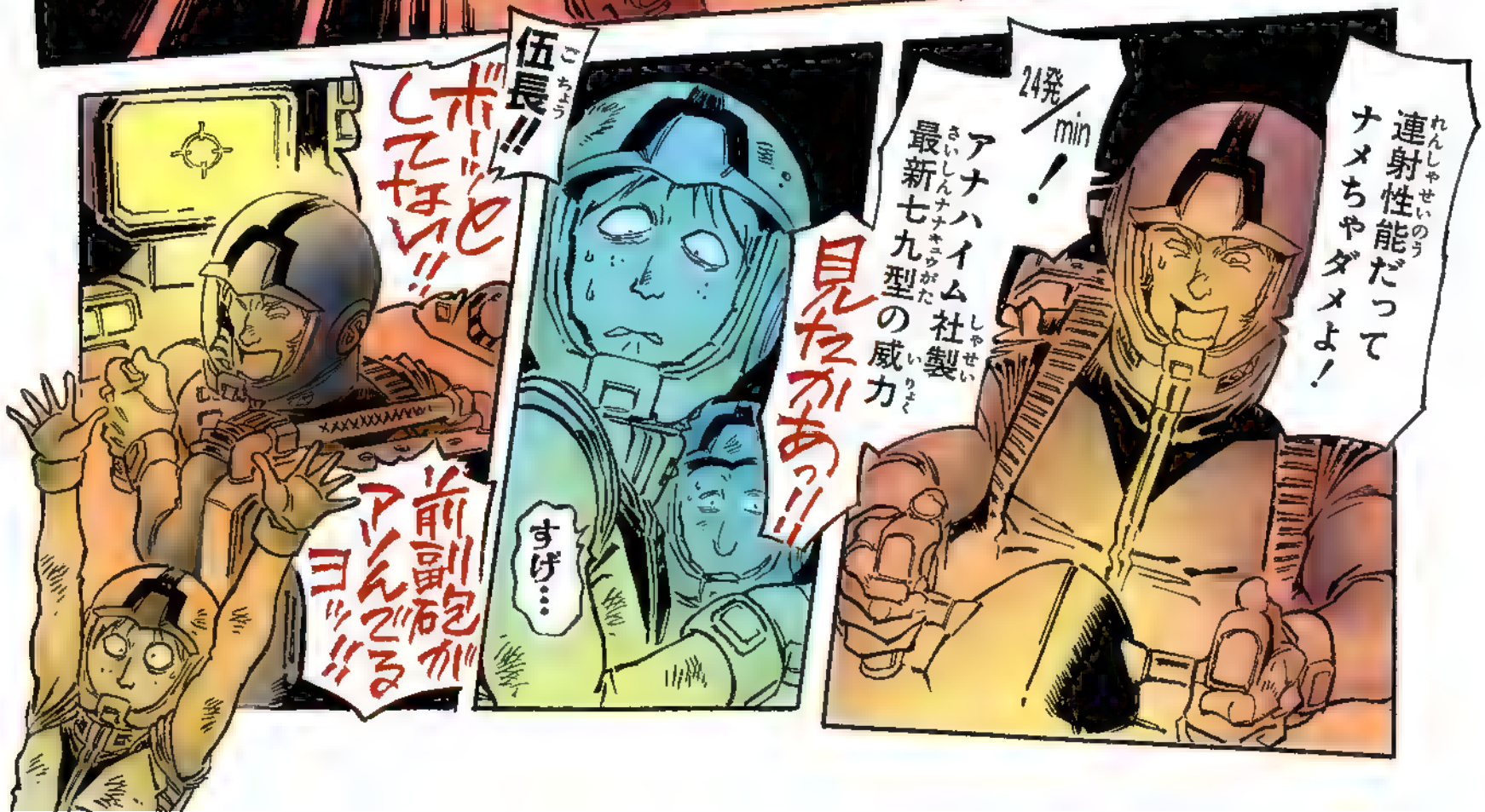
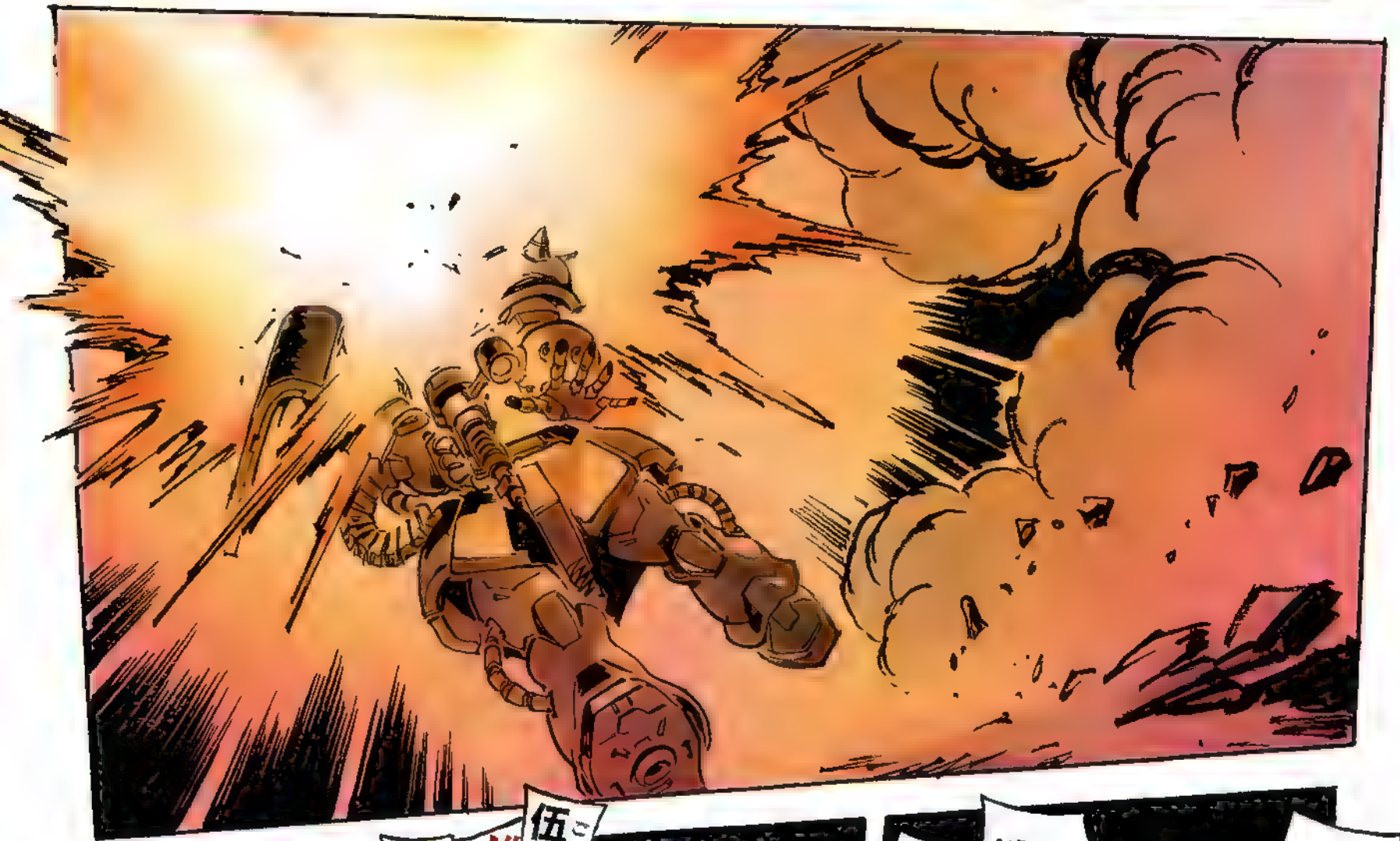
艦砲でだって  
抜けないのサ

こいつの前面  
装甲はね

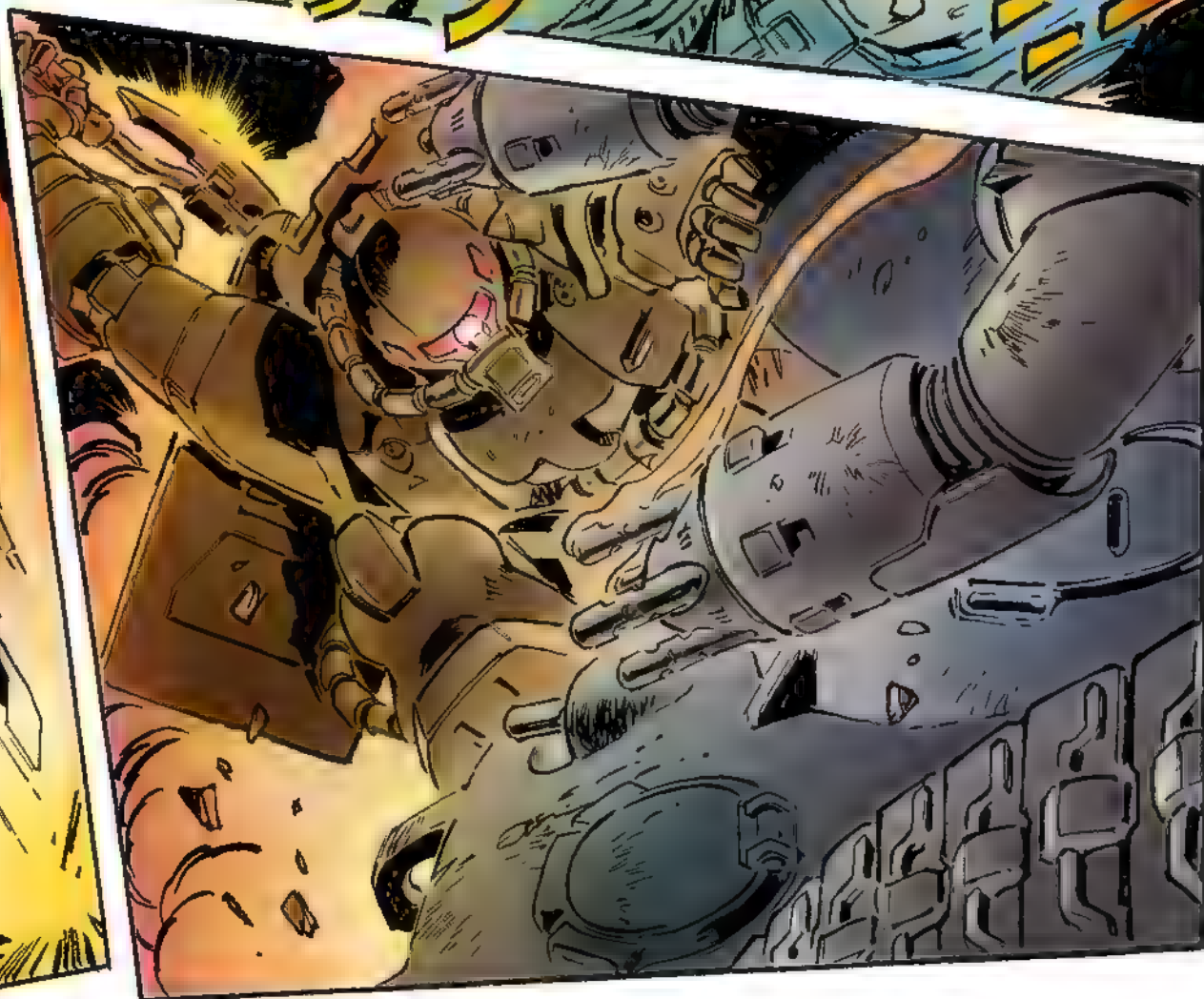
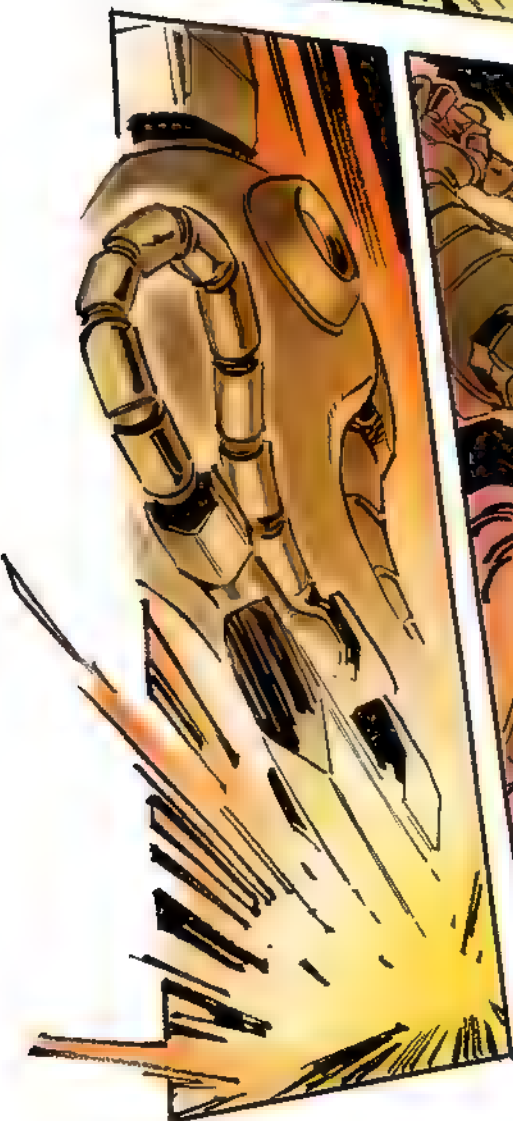
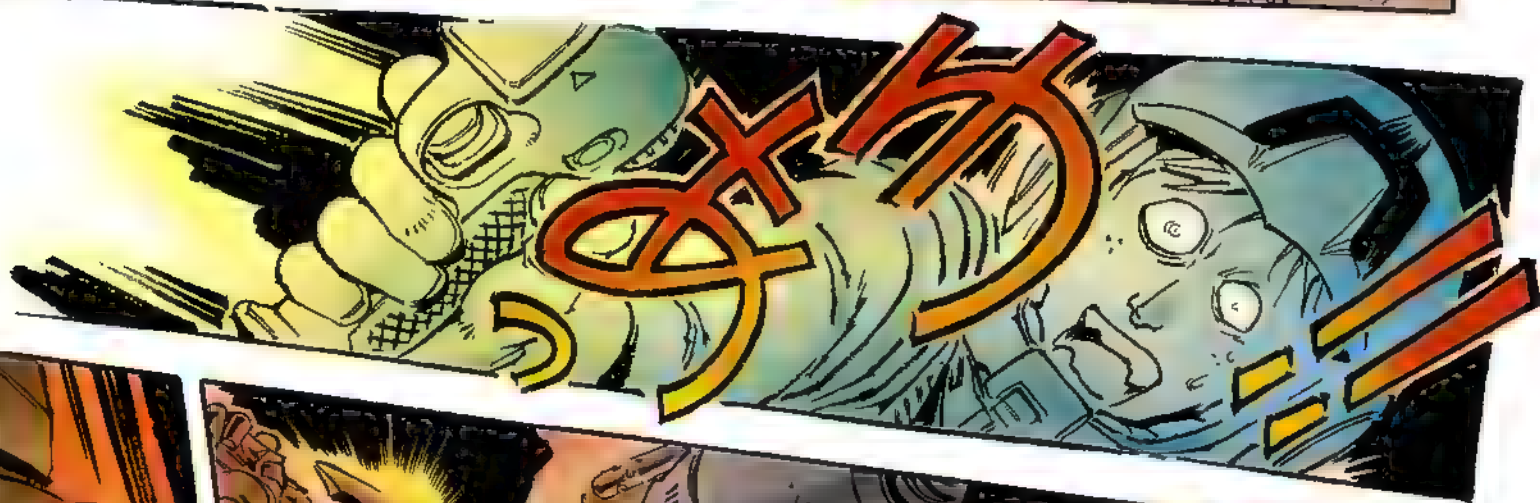
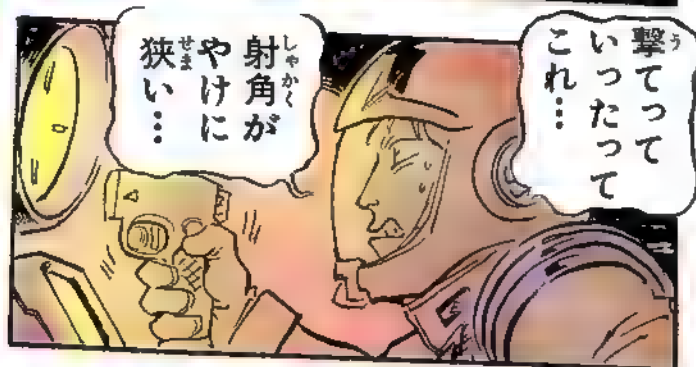
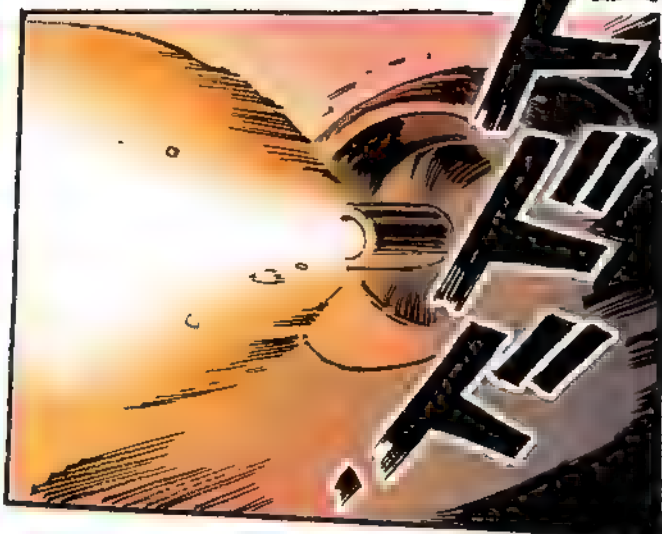


バカ  
?!!  
さ

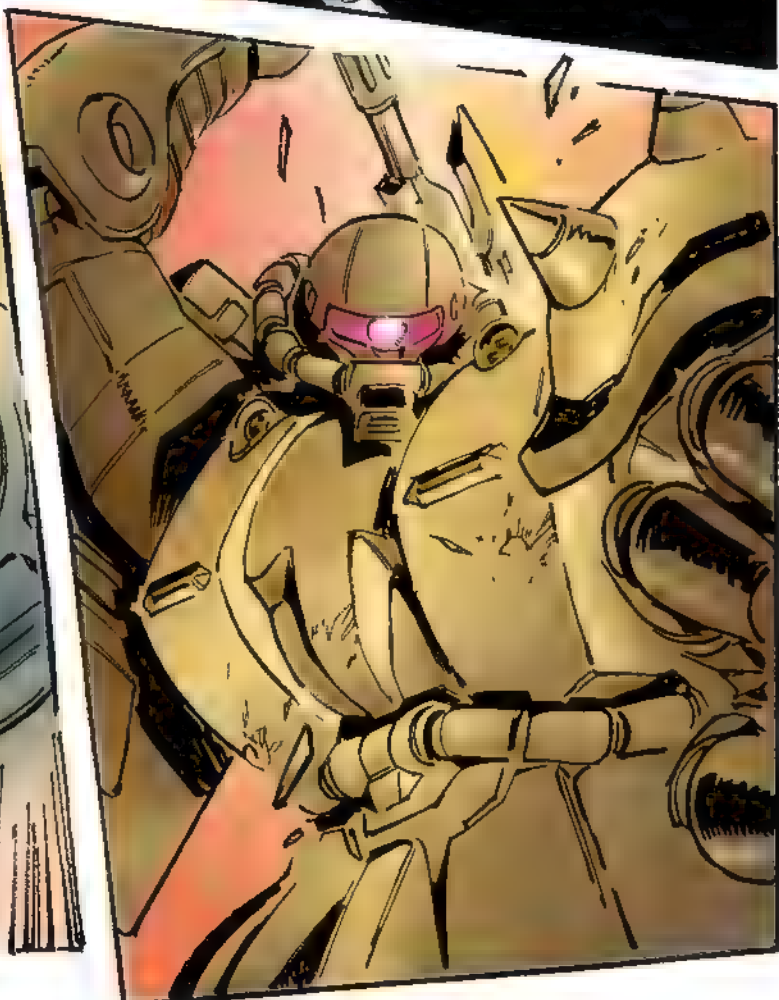
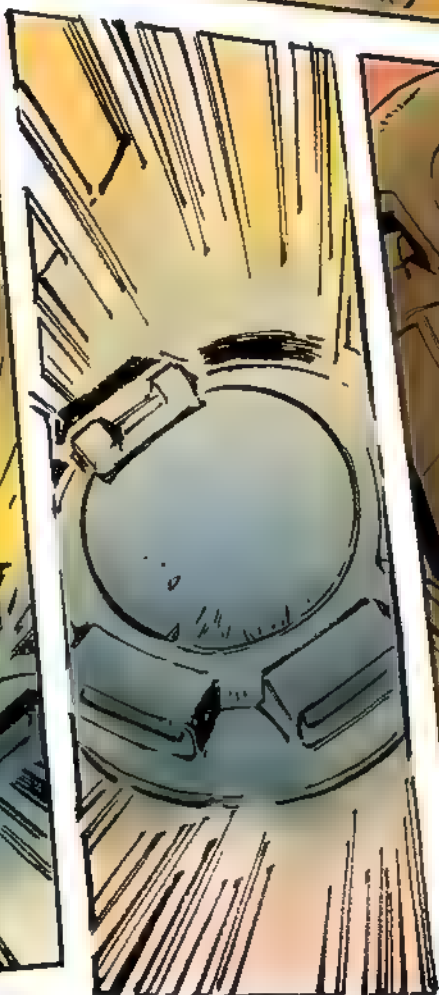
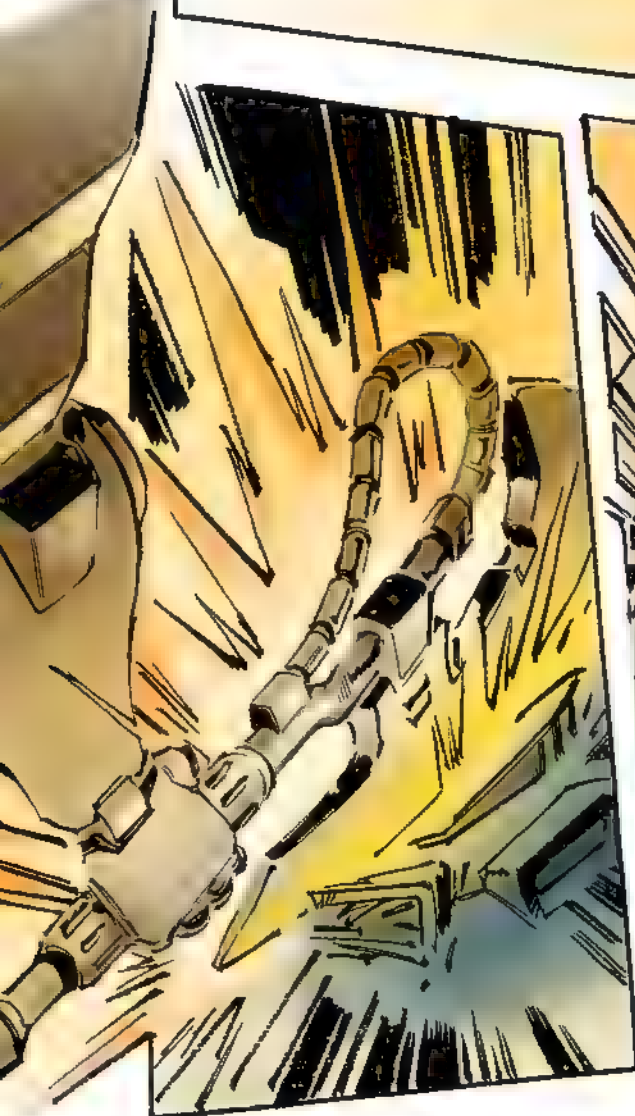
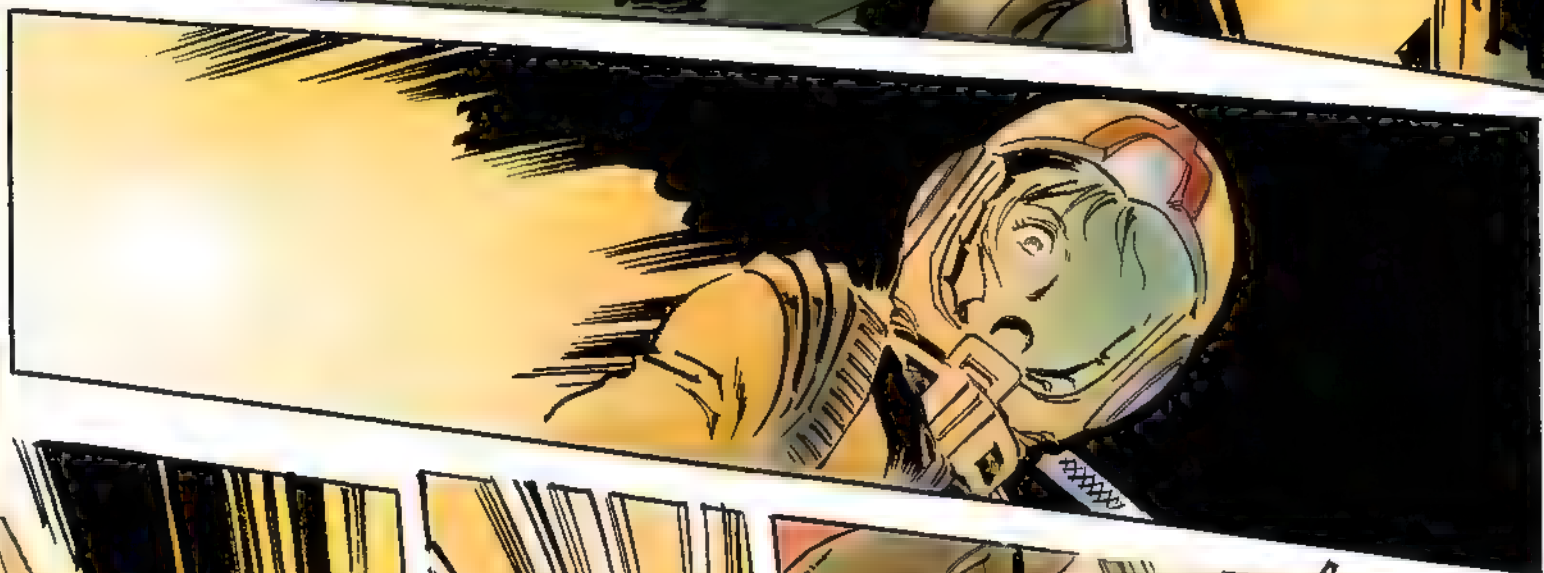
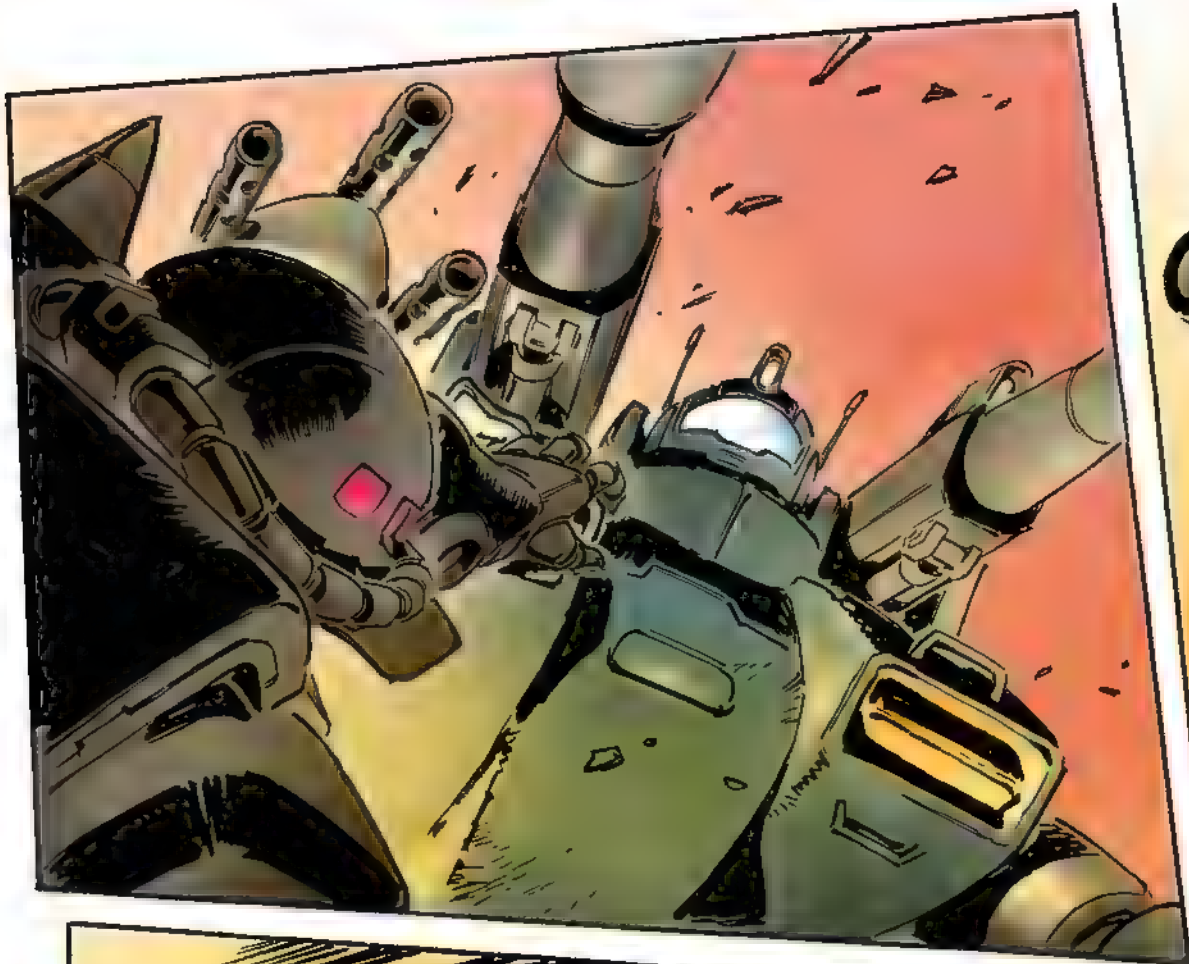




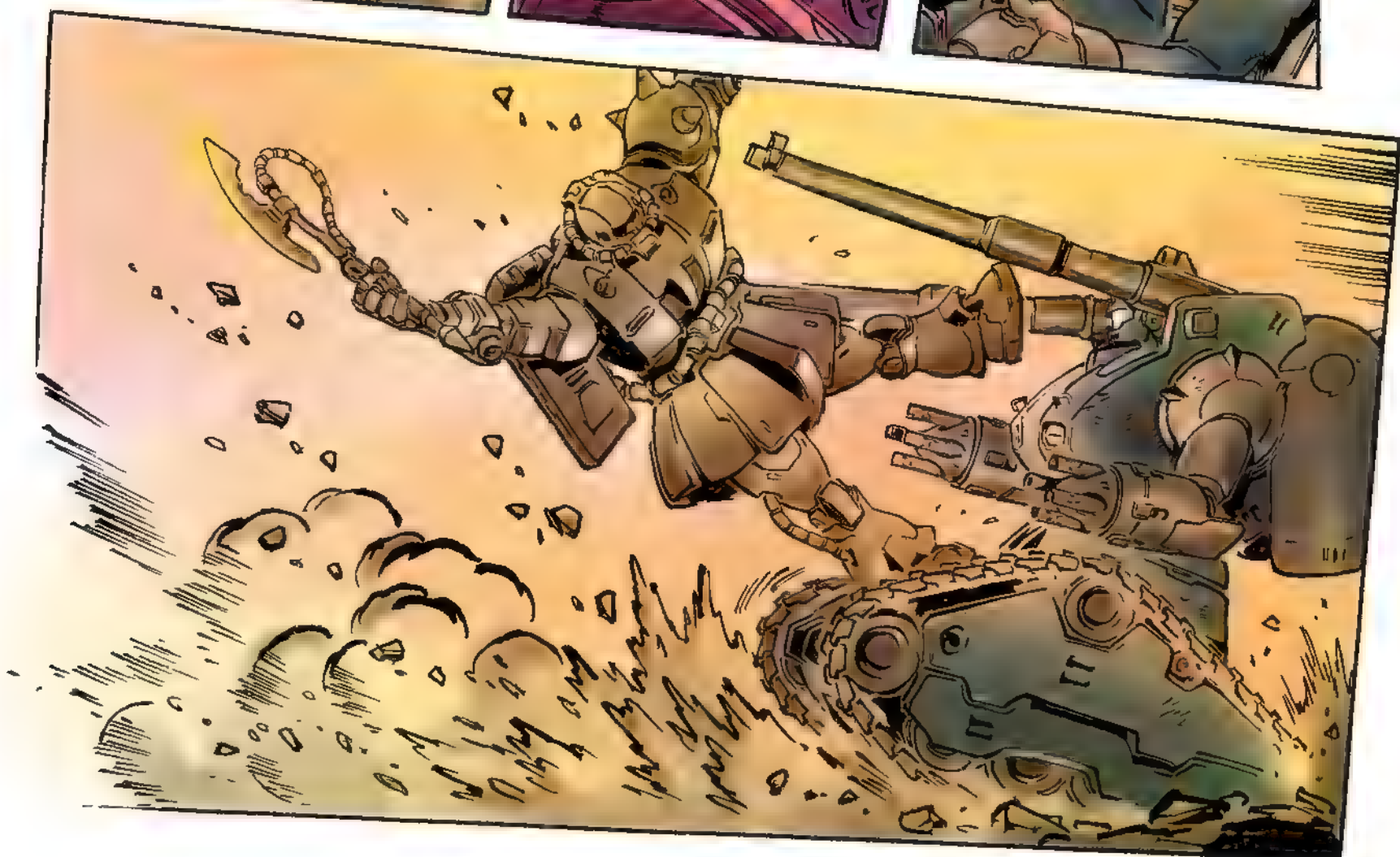
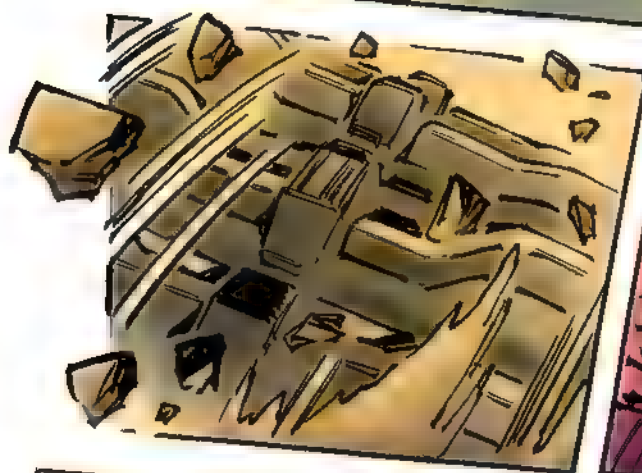
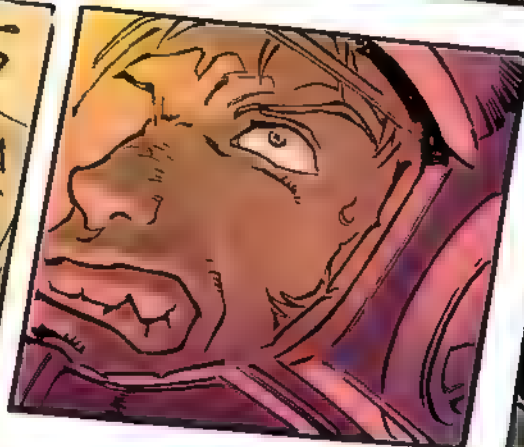
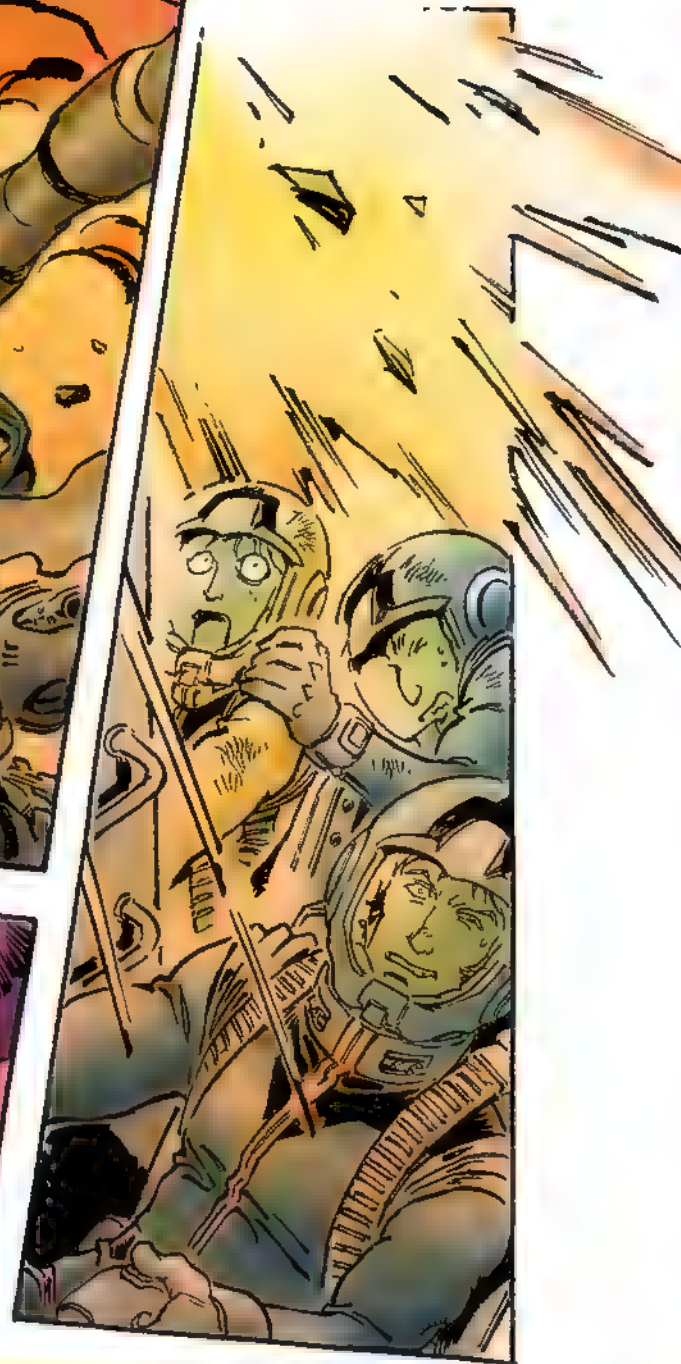
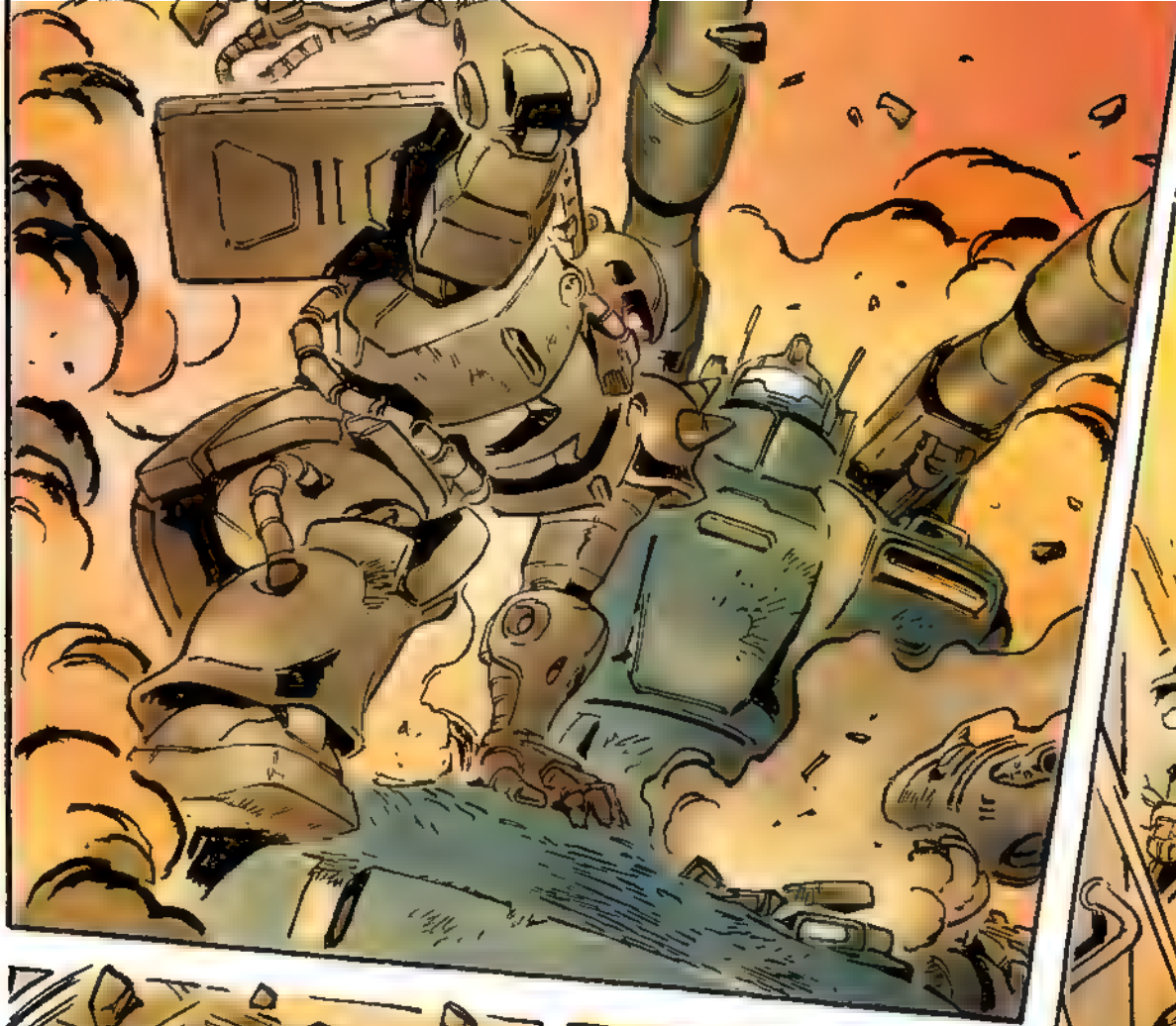




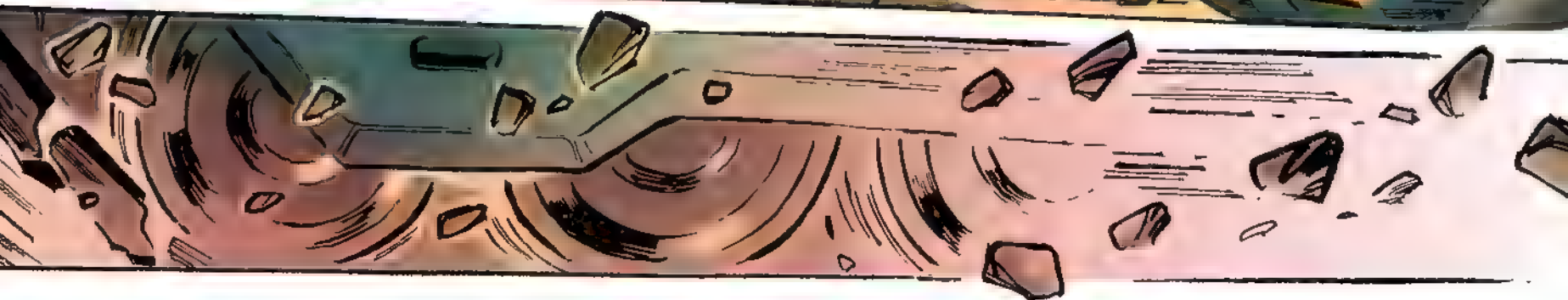
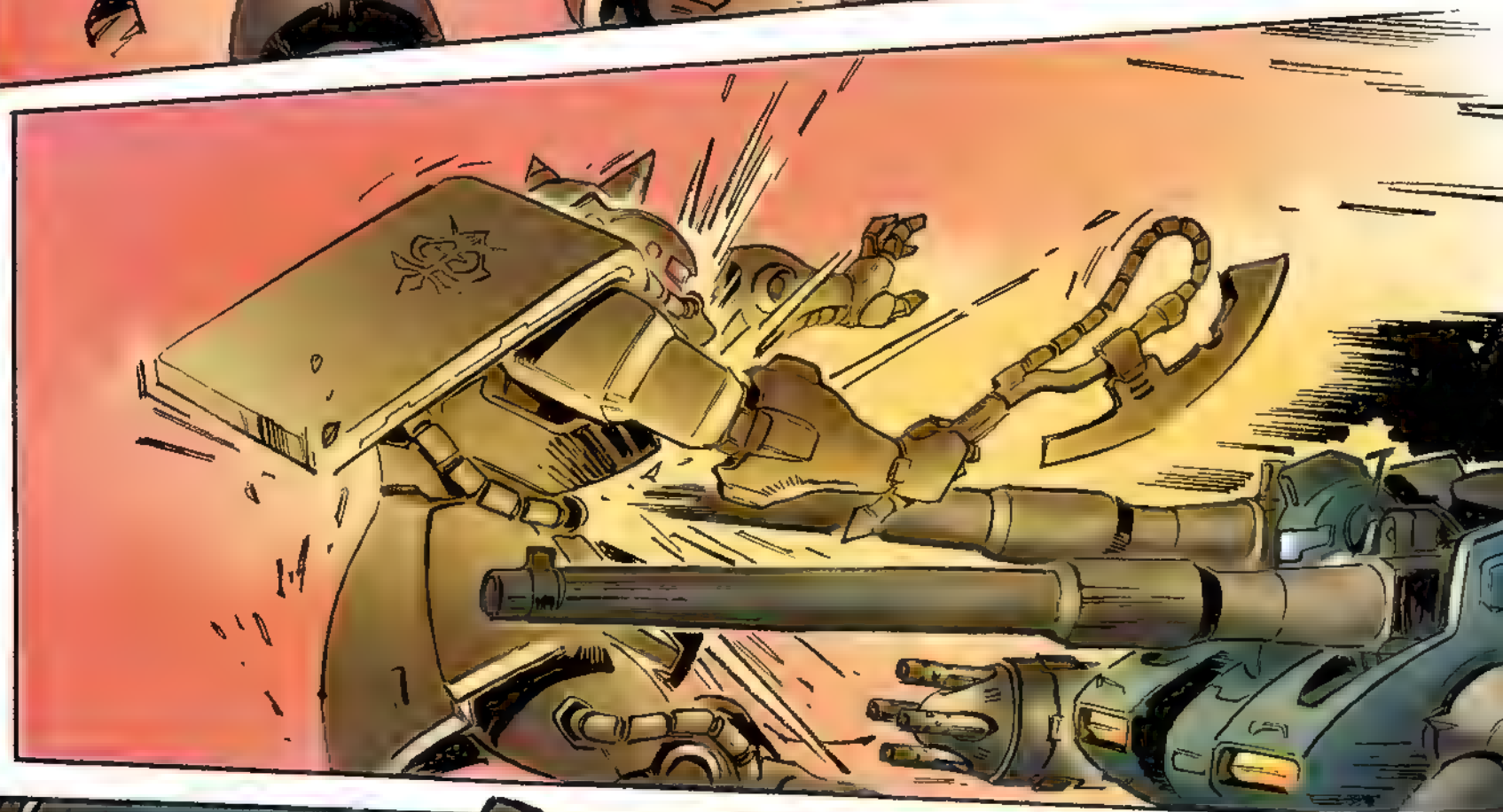
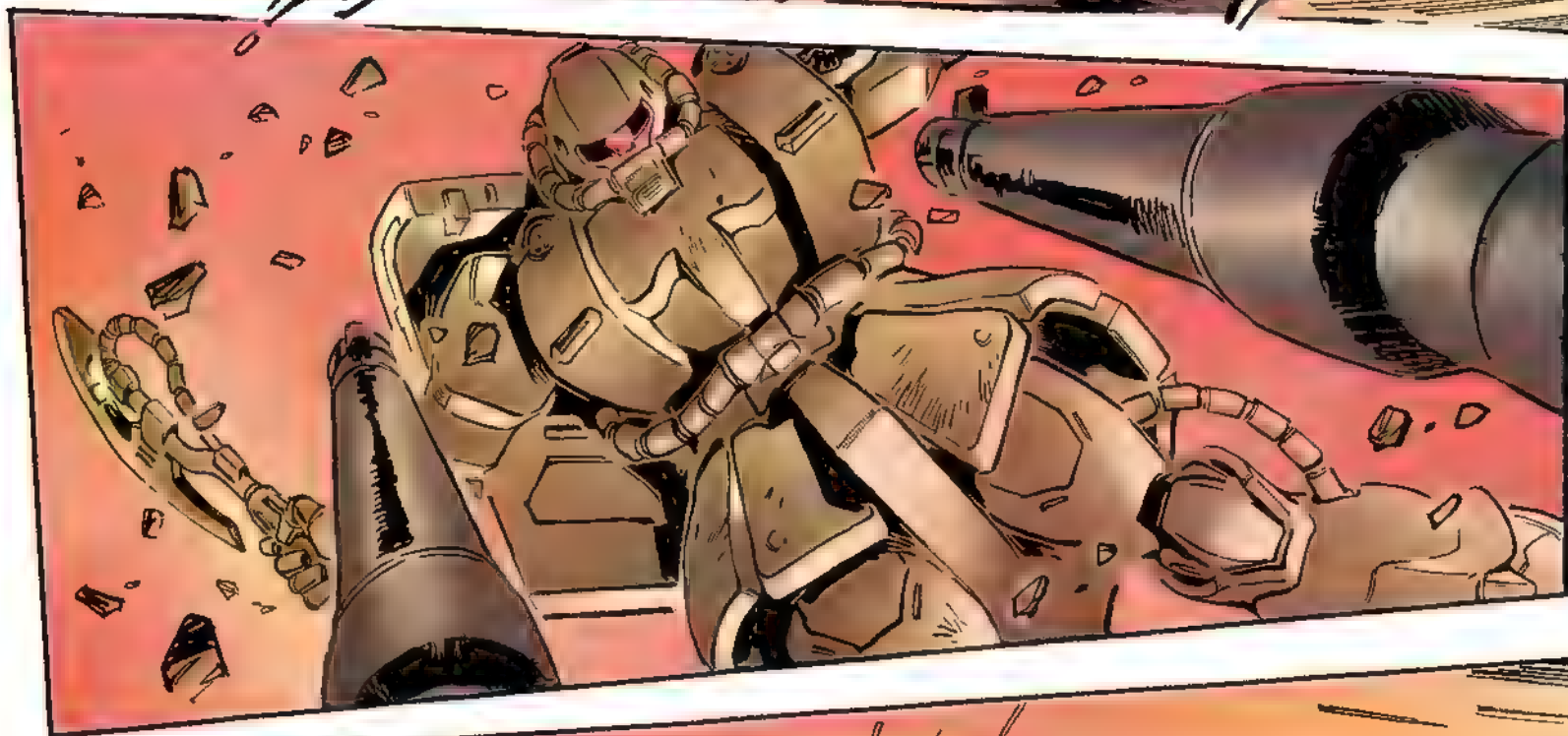
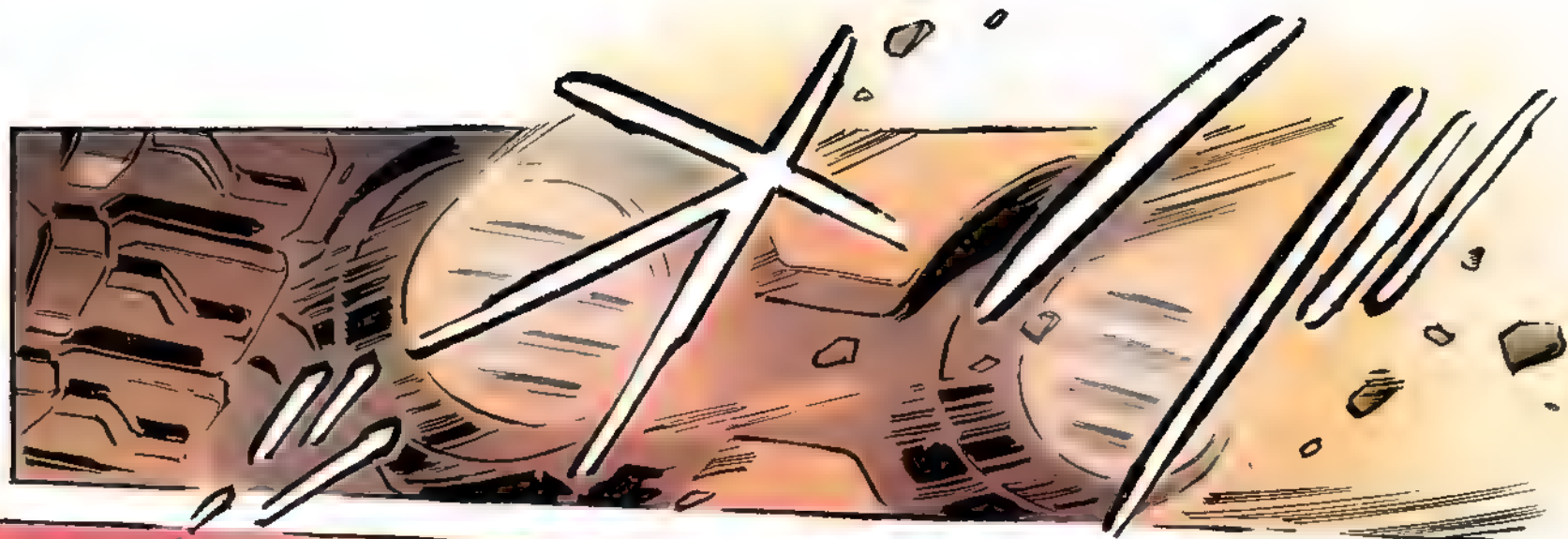




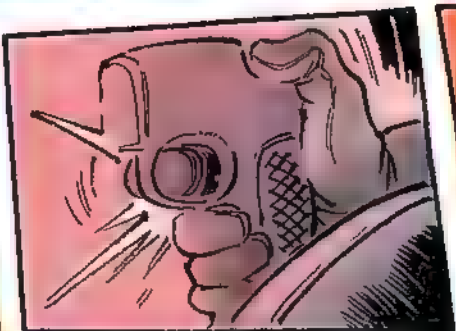
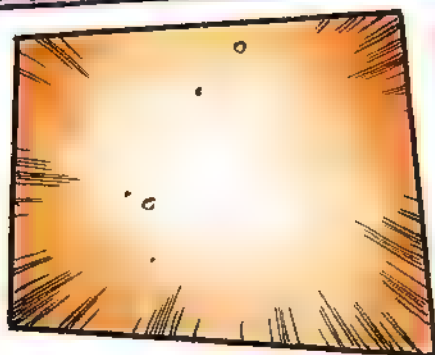
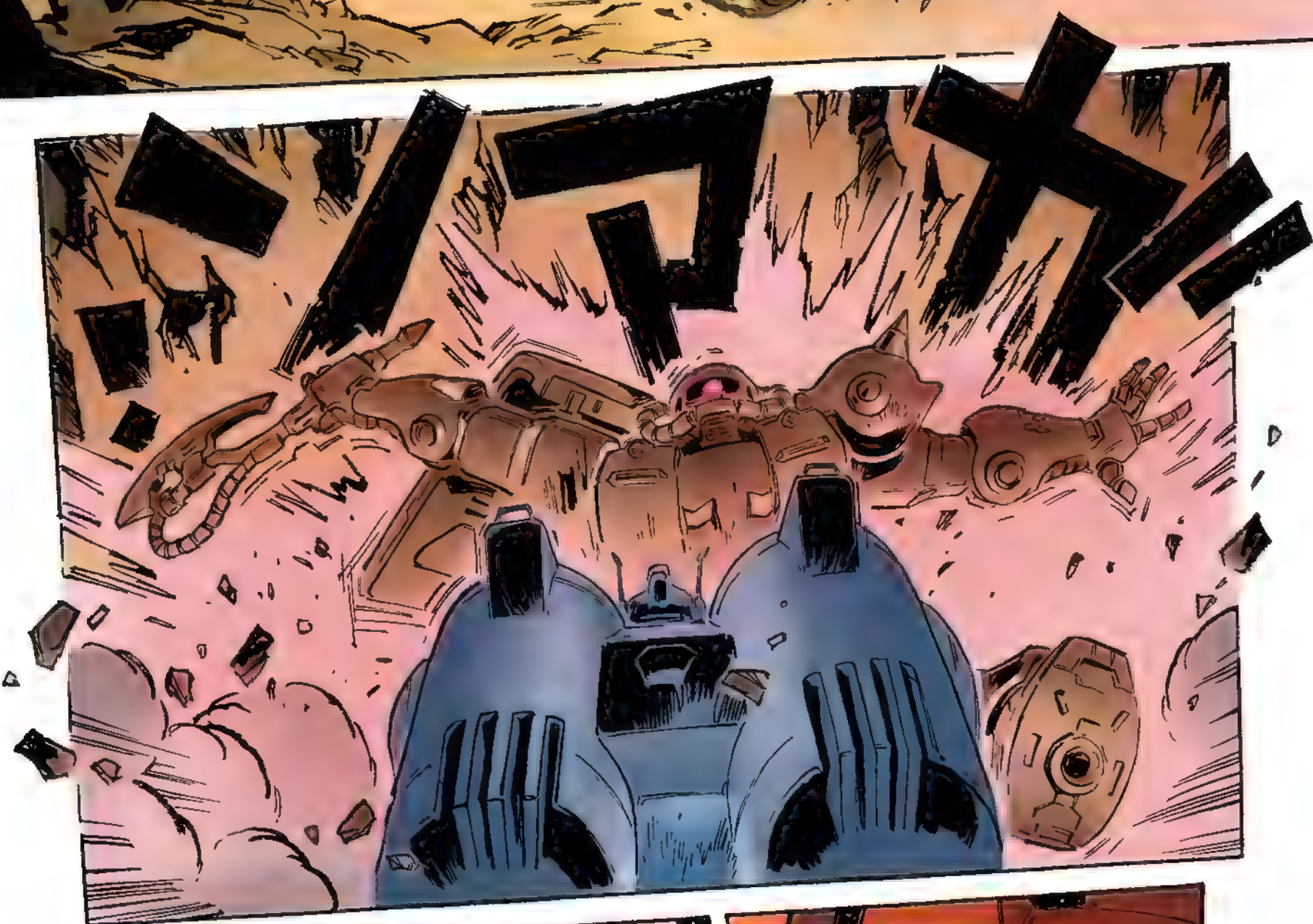
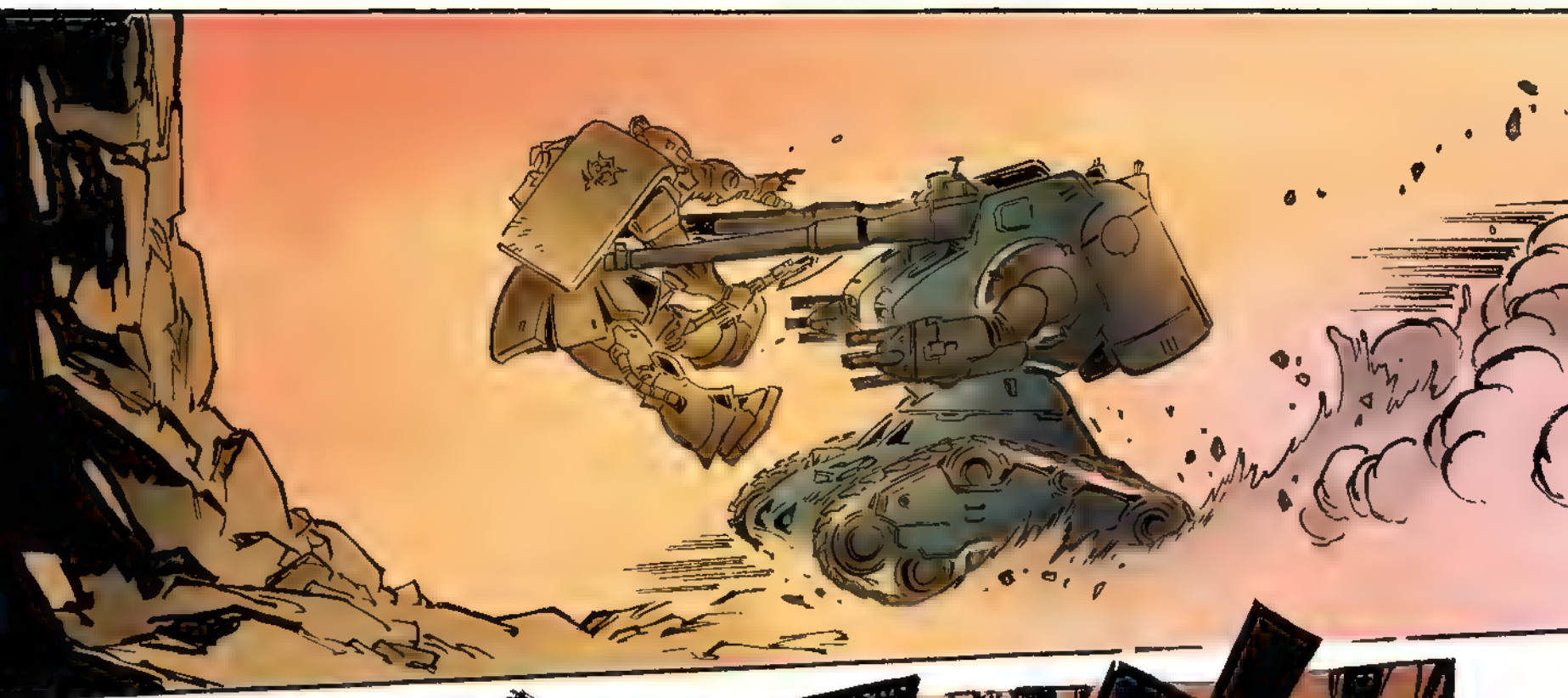




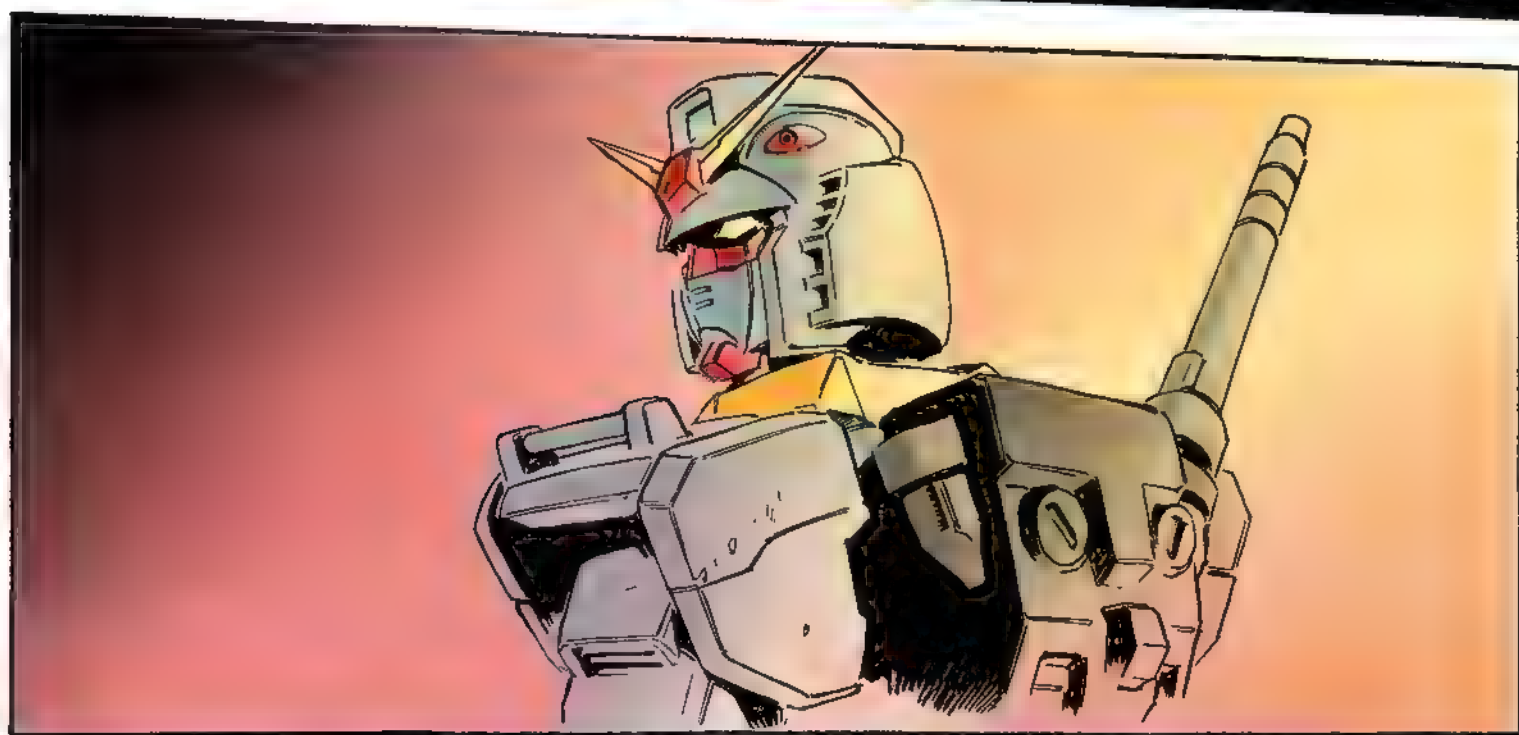




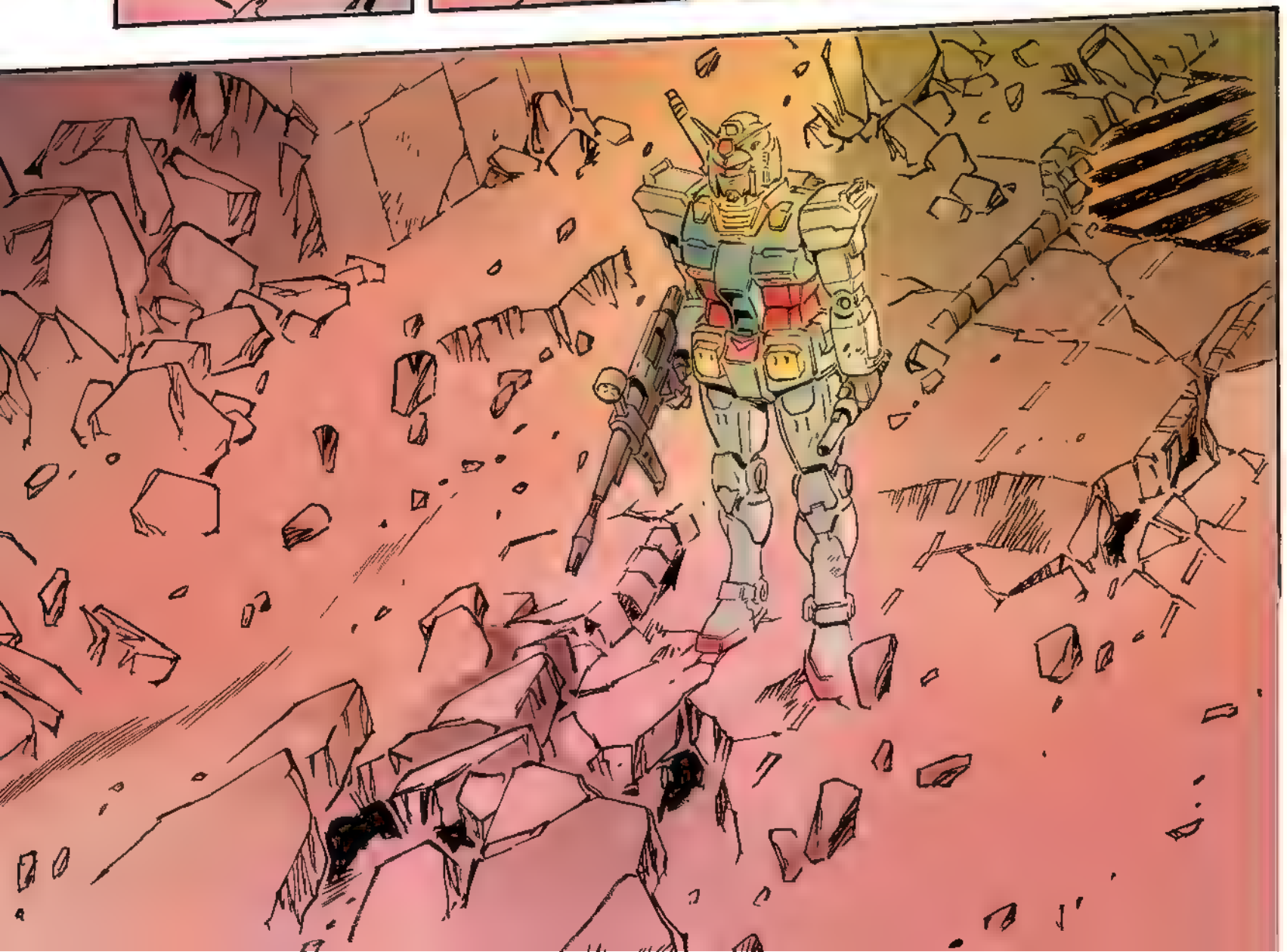
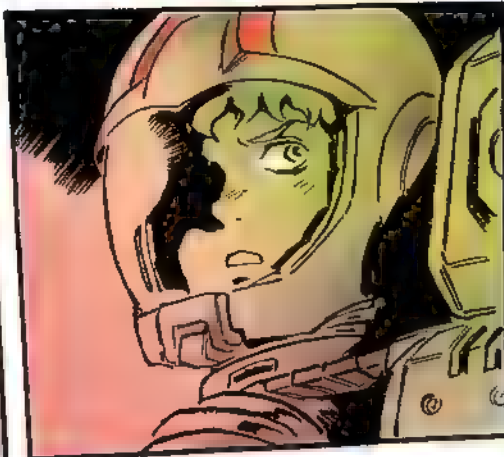
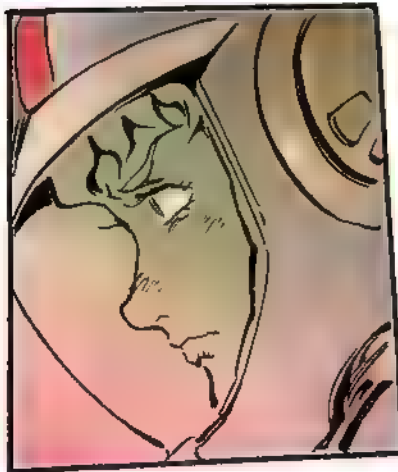
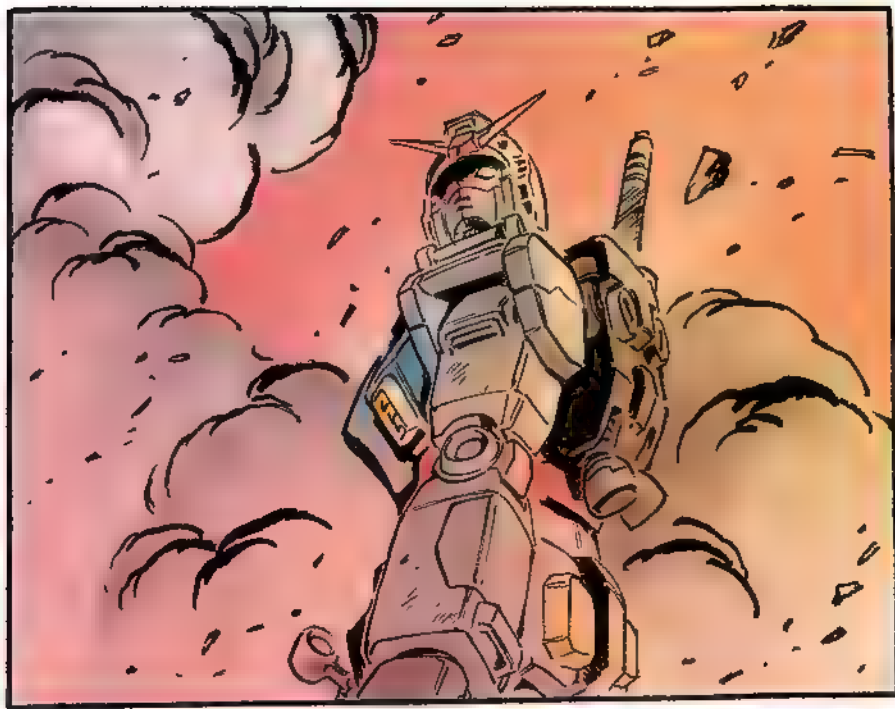








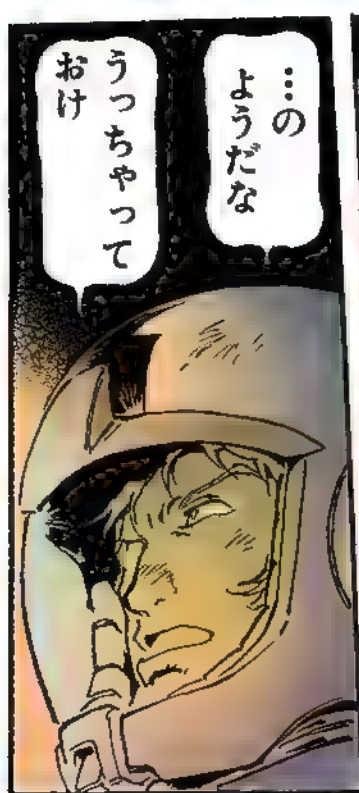
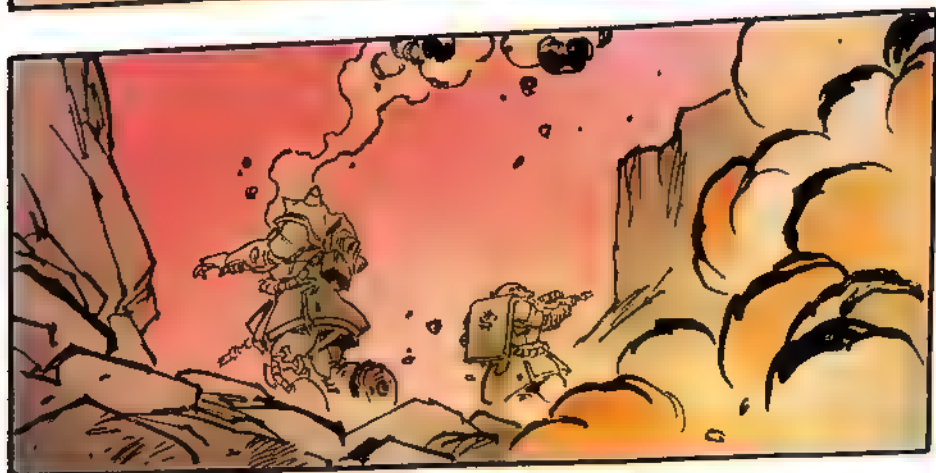
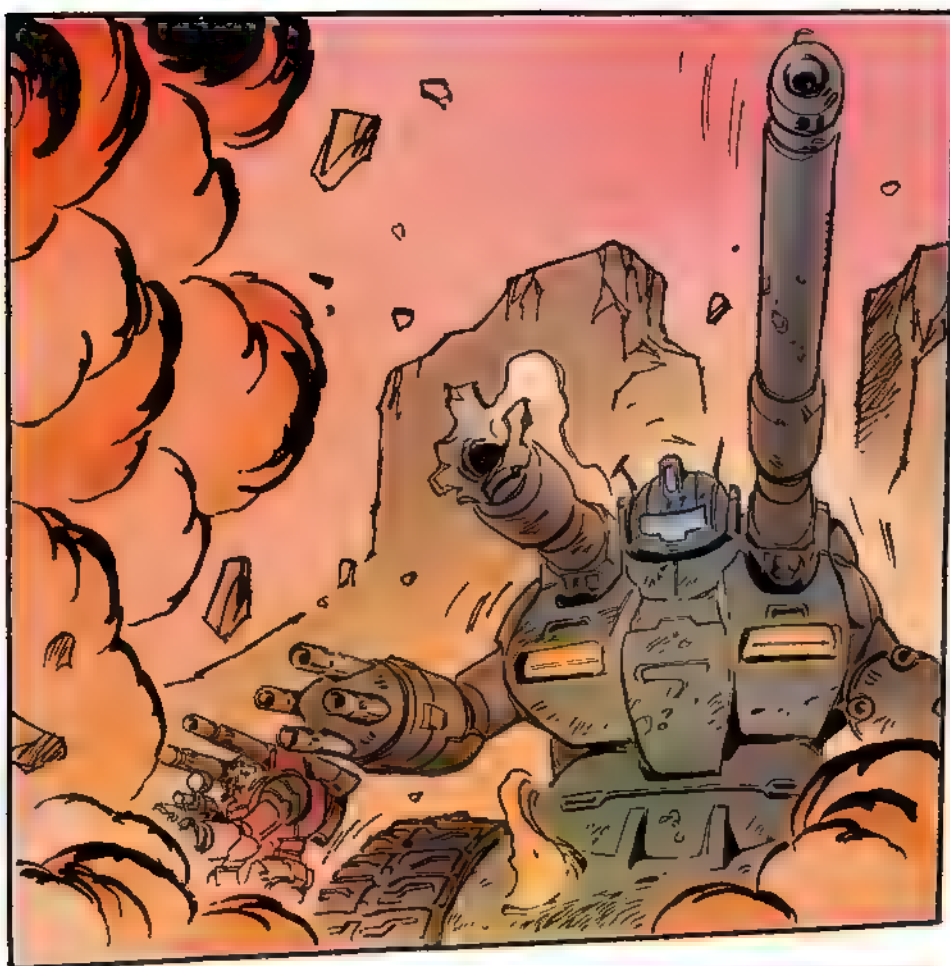




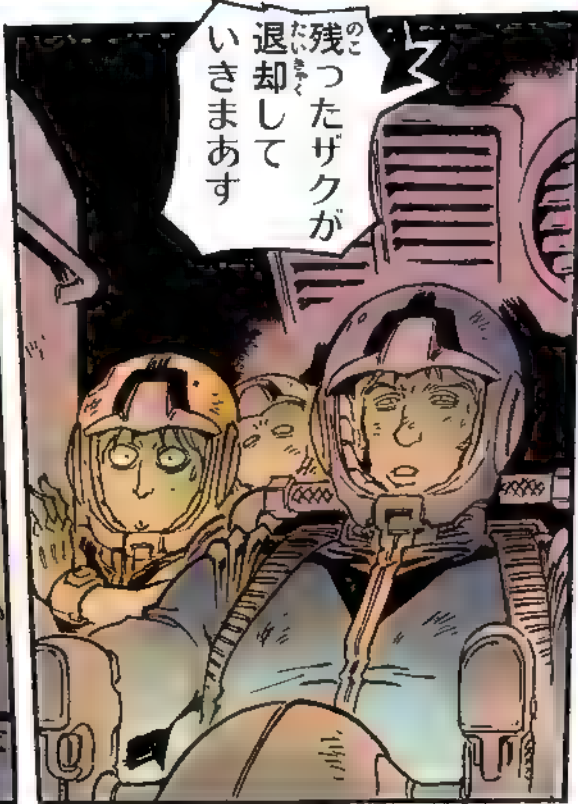




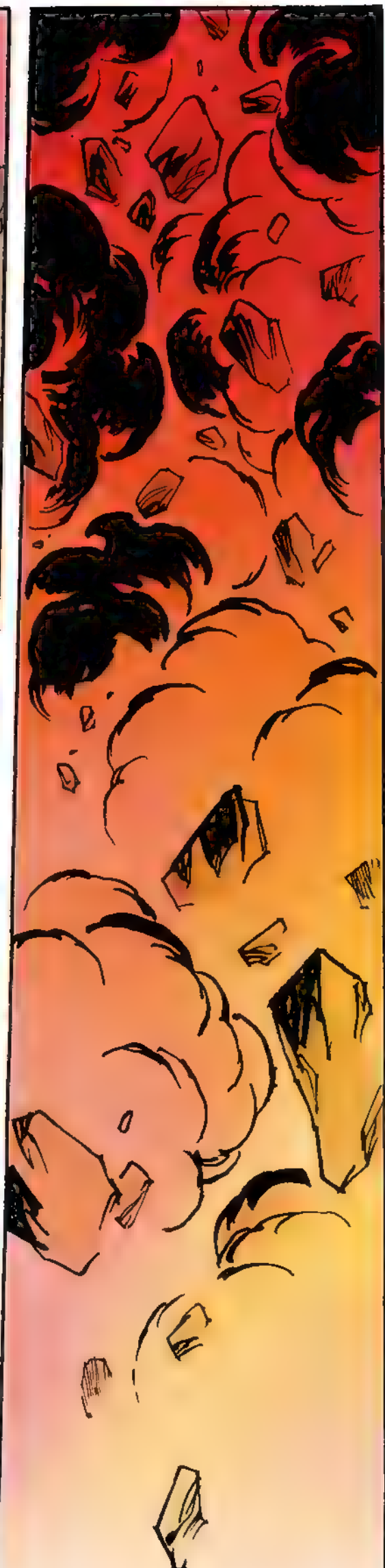




…の  
ようだな  
うっちゃって  
おけ



残ったザクが  
退却して  
いきまあす





こんな  
コロニーじゃ  
どうせ

反撃して  
来るほどの  
戦力はない  
だろう

深追いするより  
本来の任務を

?

なんだった  
かな?

本来の  
任務…

そうそう

「秘密プロジェクトを  
叩き潰す」

姫!

姫!!

聞こえる  
か!?

御無事な  
ようなら  
ナビを

再開して  
ほしいん  
だが…

ではまっすぐ  
進んでくださる?

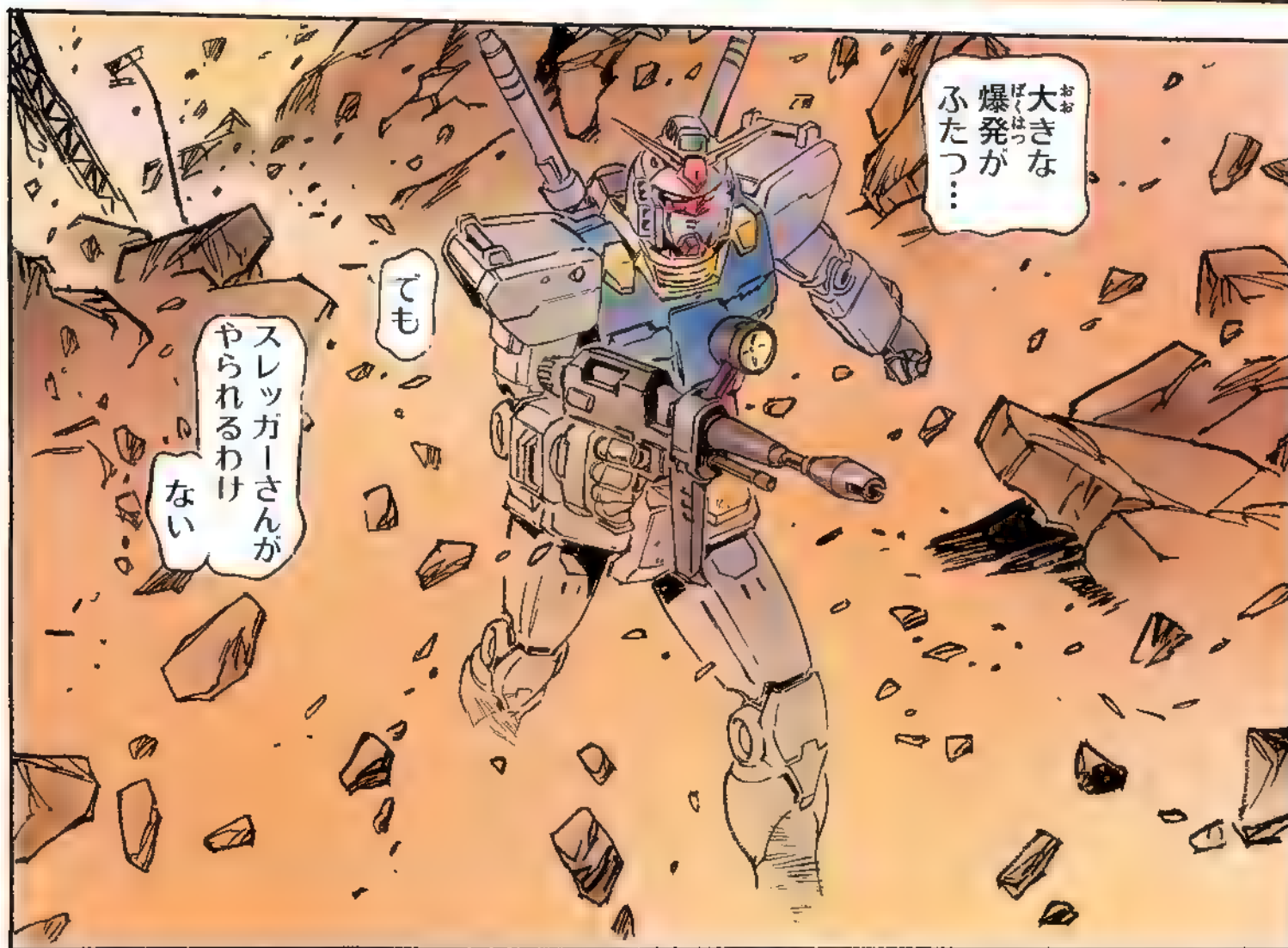
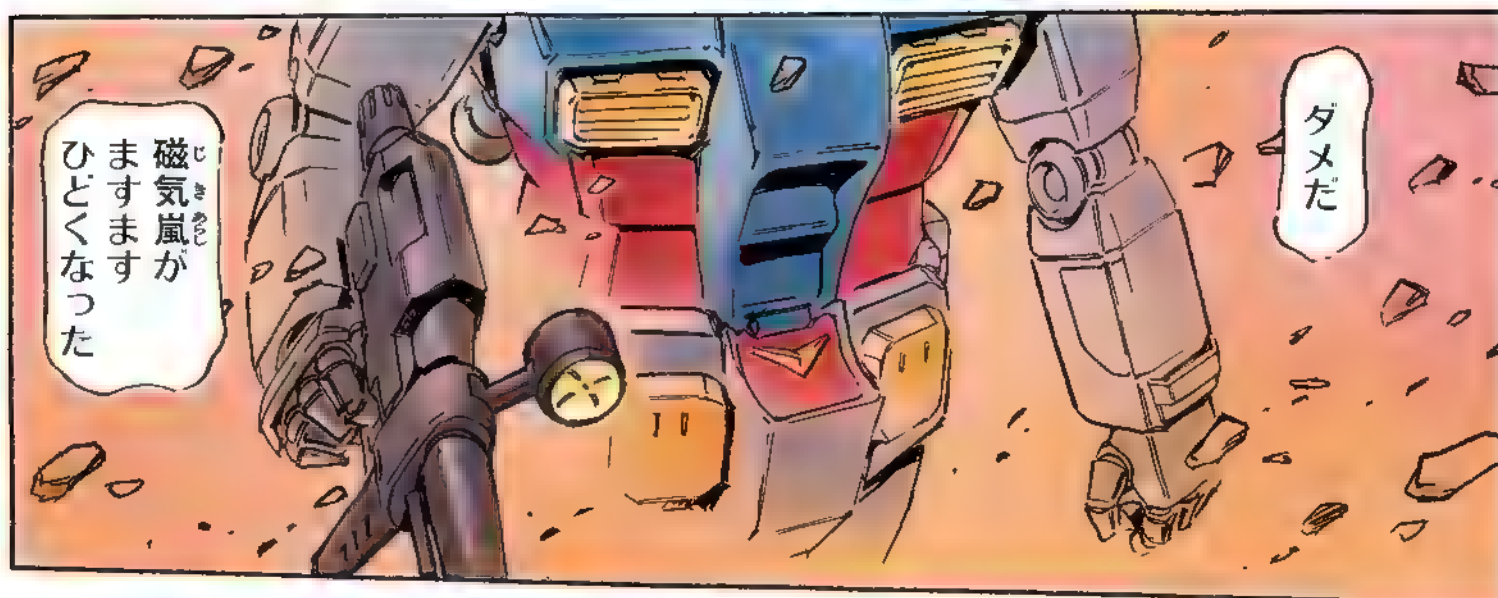
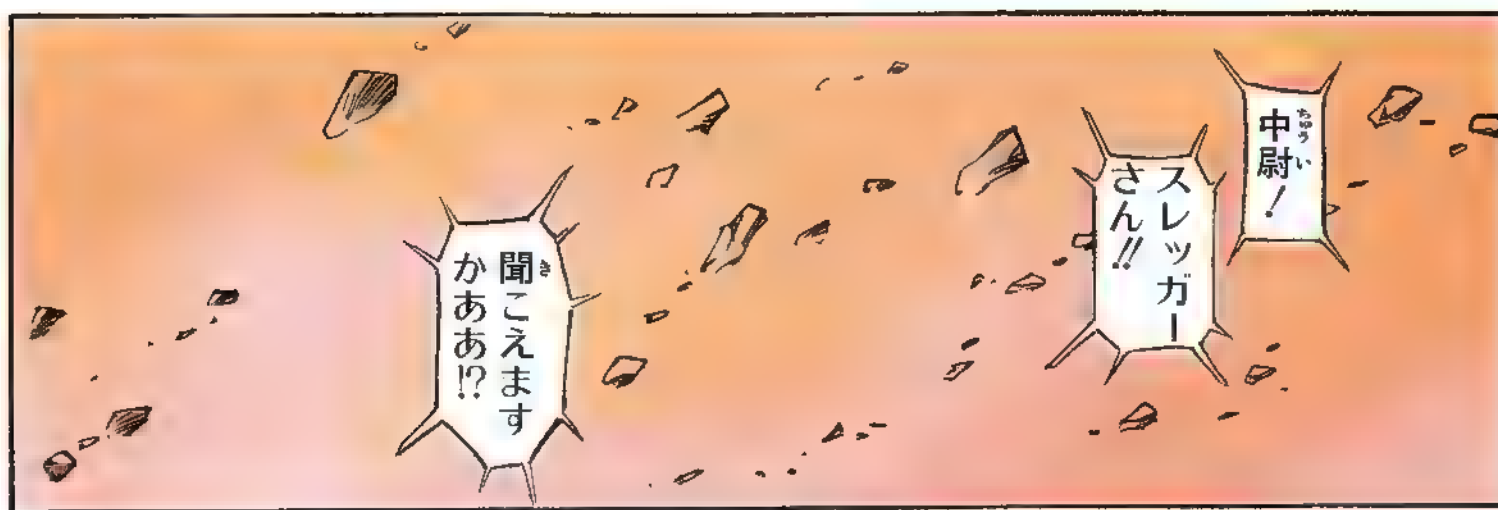
基幹  
ルートを

元のセンター  
ビレッジに  
向かって!

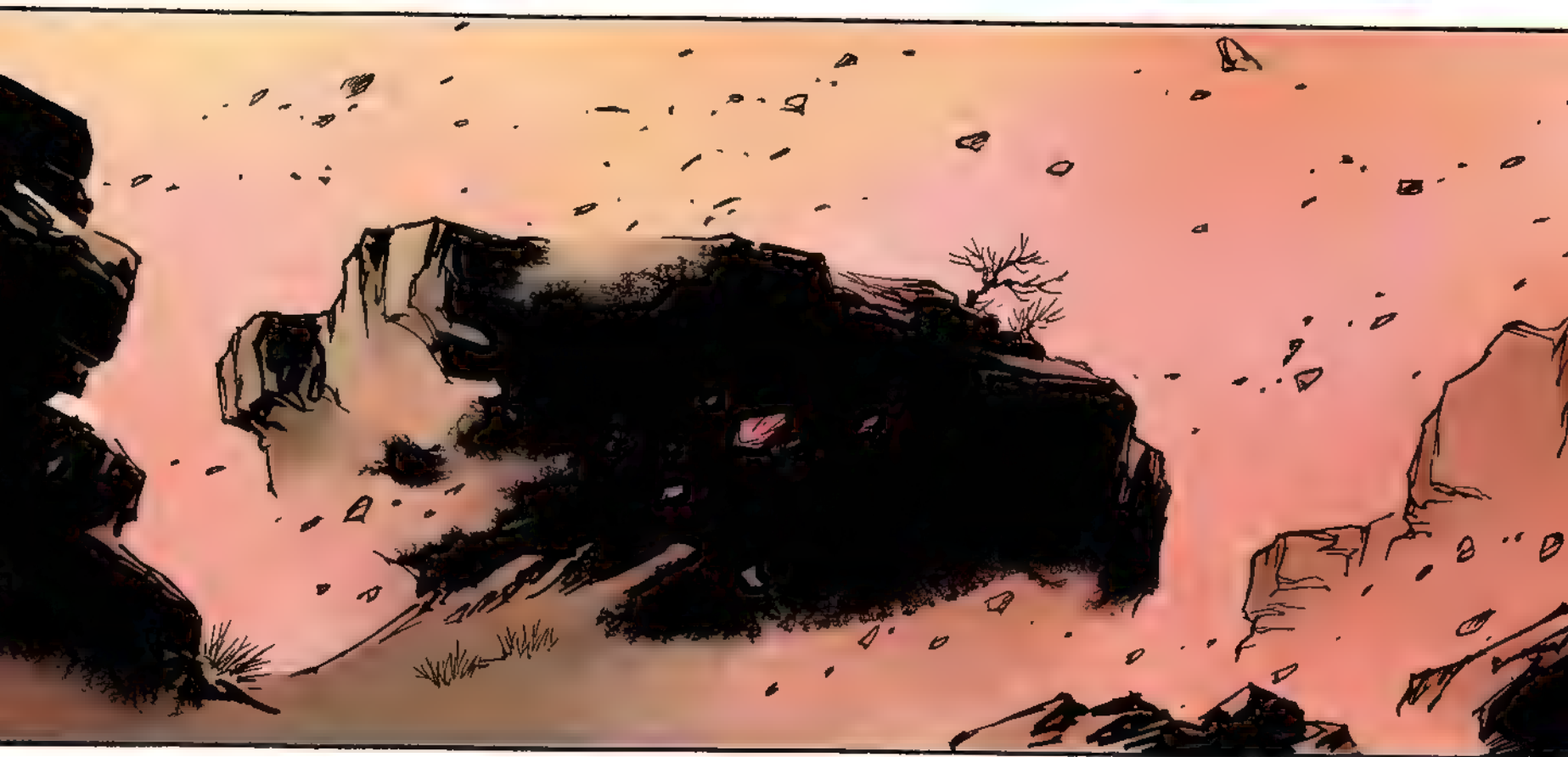
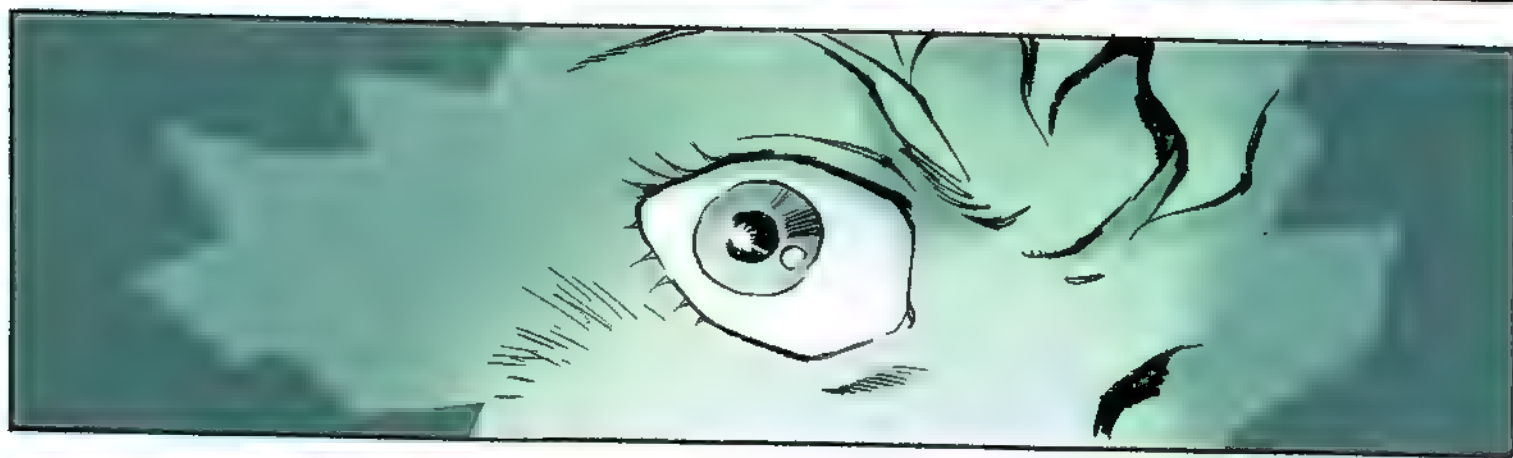
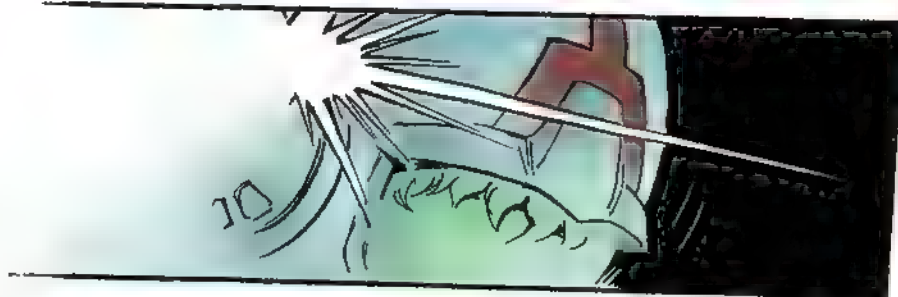
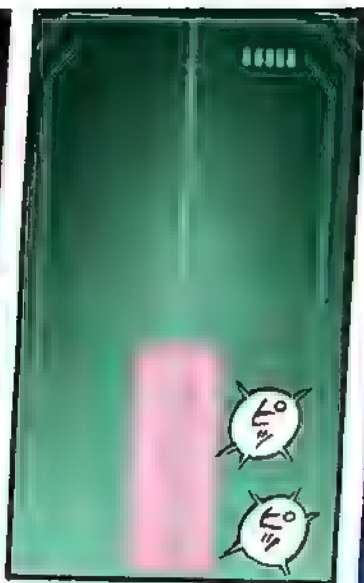
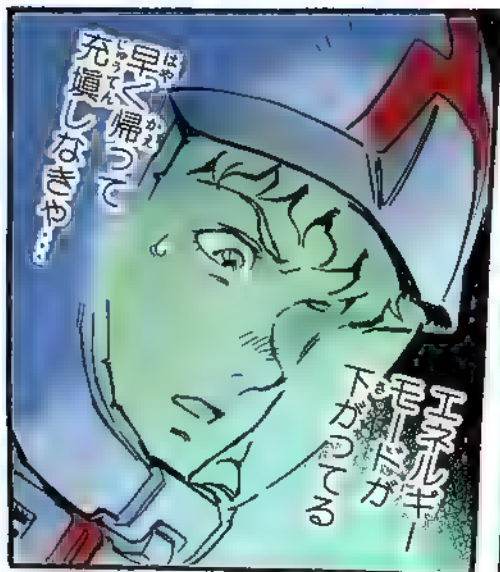
無事よ  
おかげさまで

スレッガー  
さん

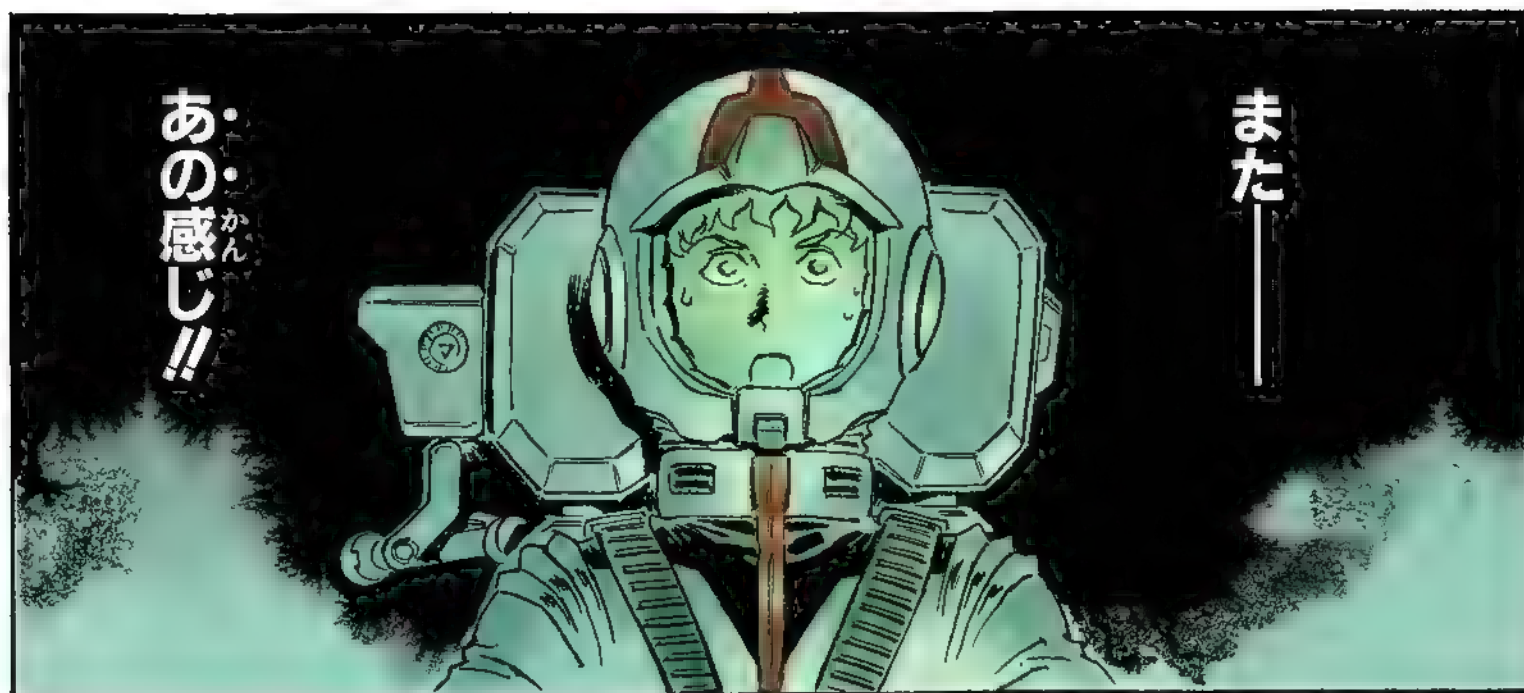






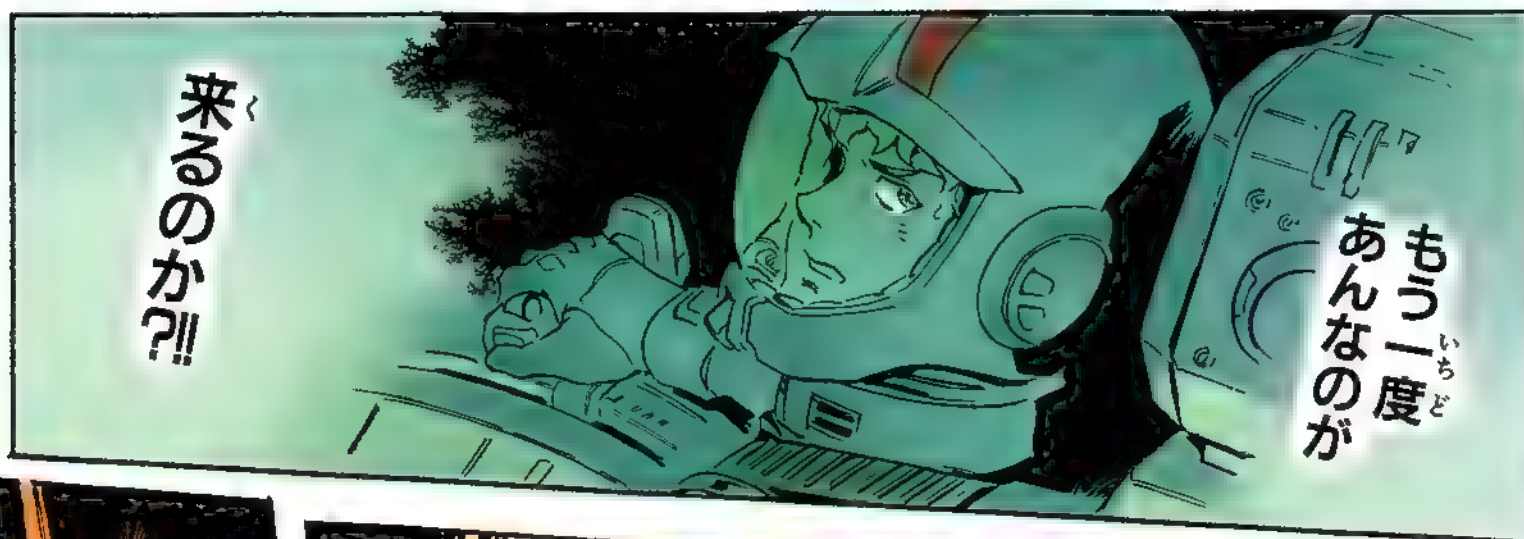






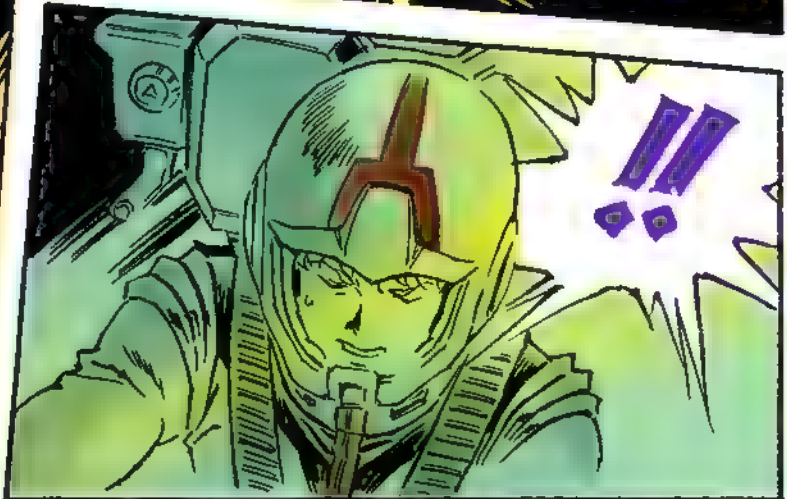
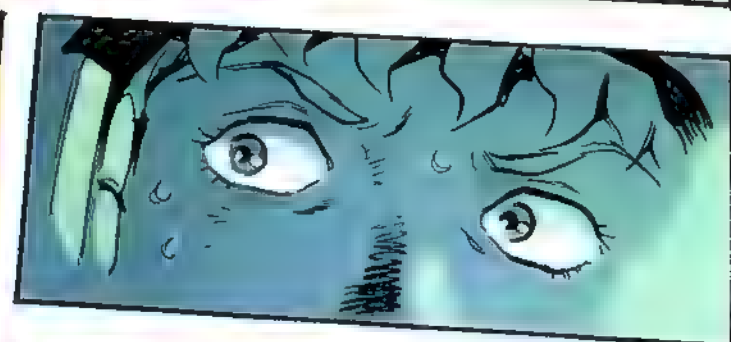
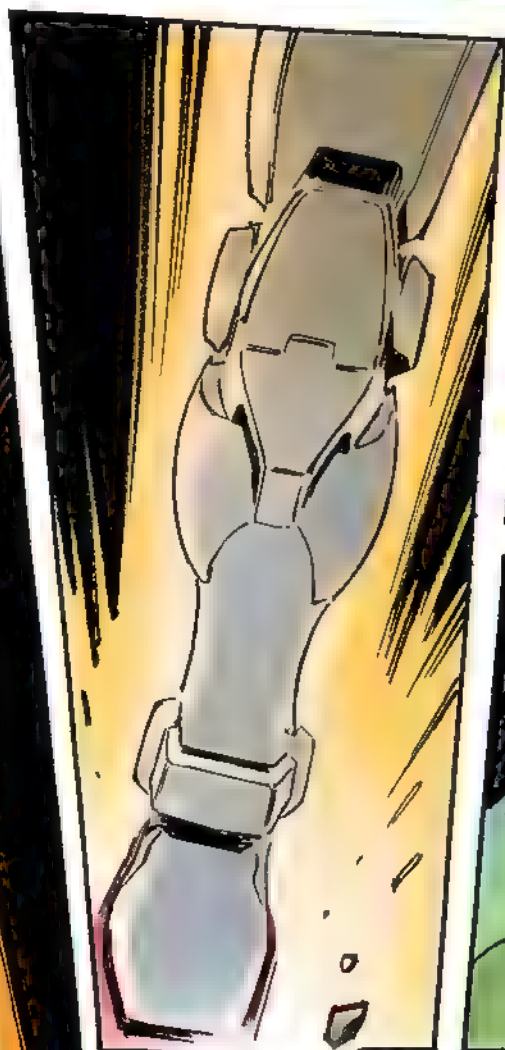
また――

あ・の・かん  
感じ!!



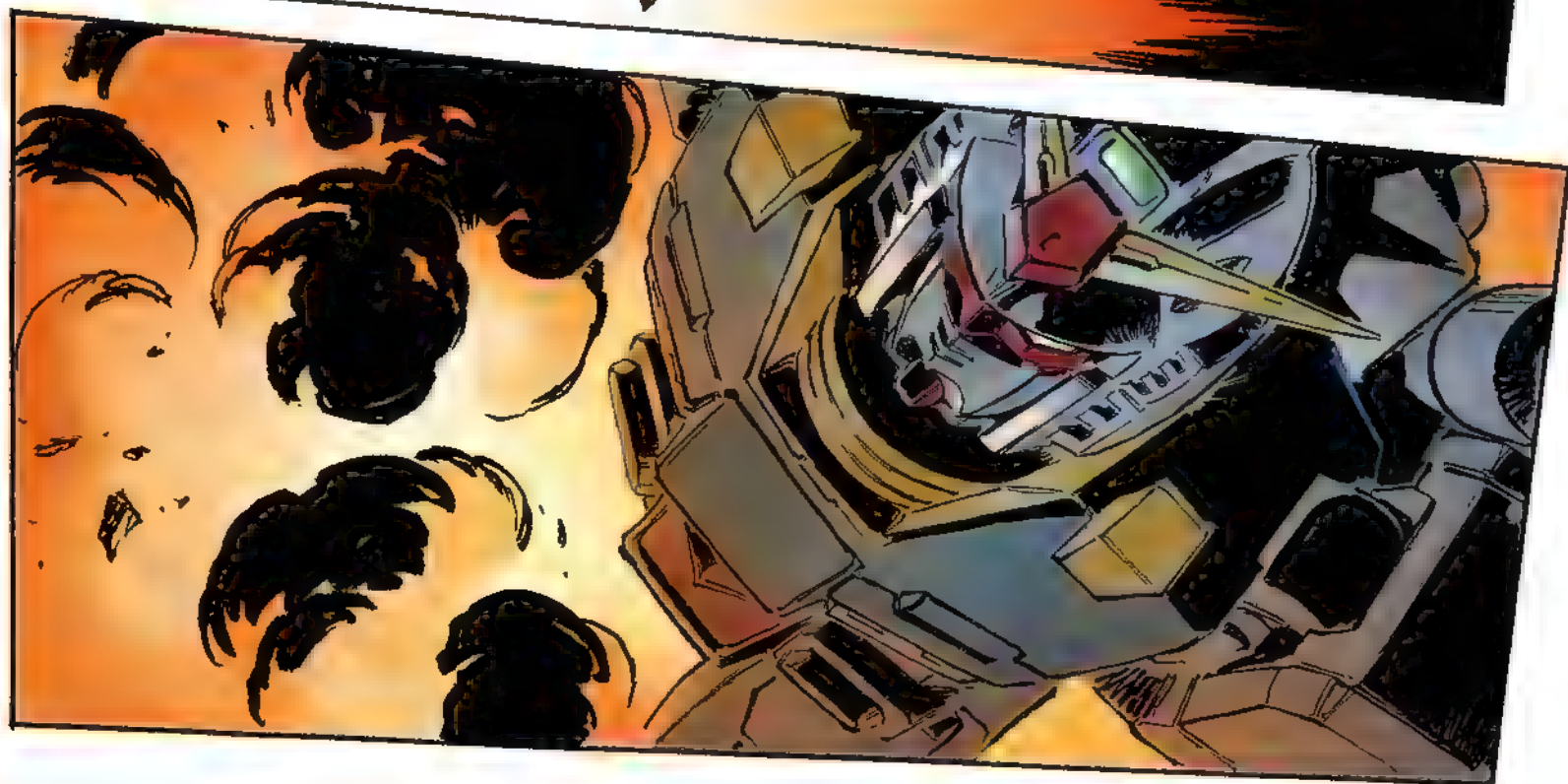
もう一度  
あんなのが

来るのか?!!

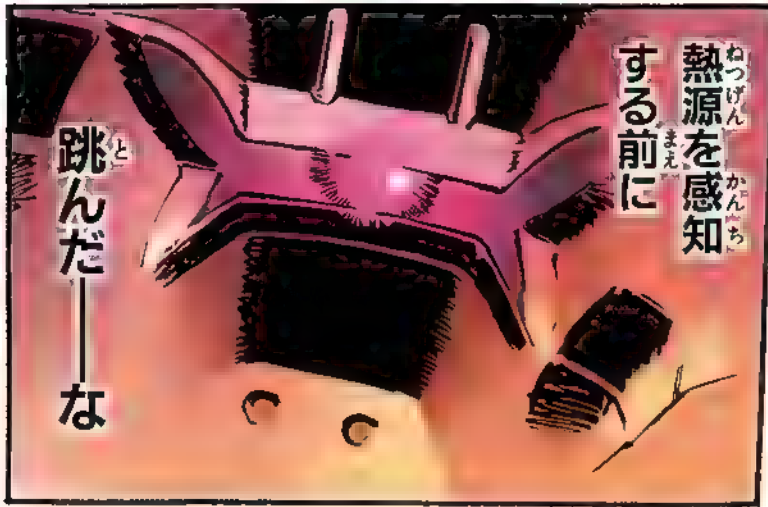


!!









ねっげんかんち  
熱源を感じ  
する前に

とんだ  
跳んだ  
な



やはり  
な

まえ  
お前は  
そついう奴か



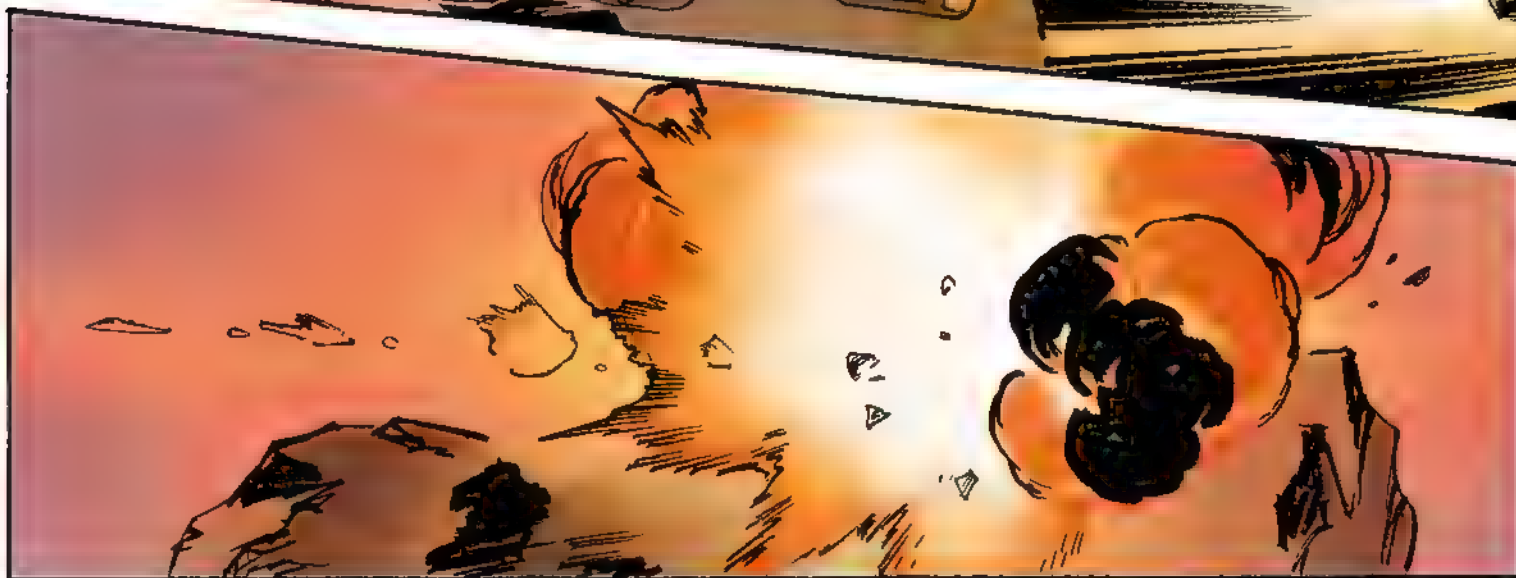
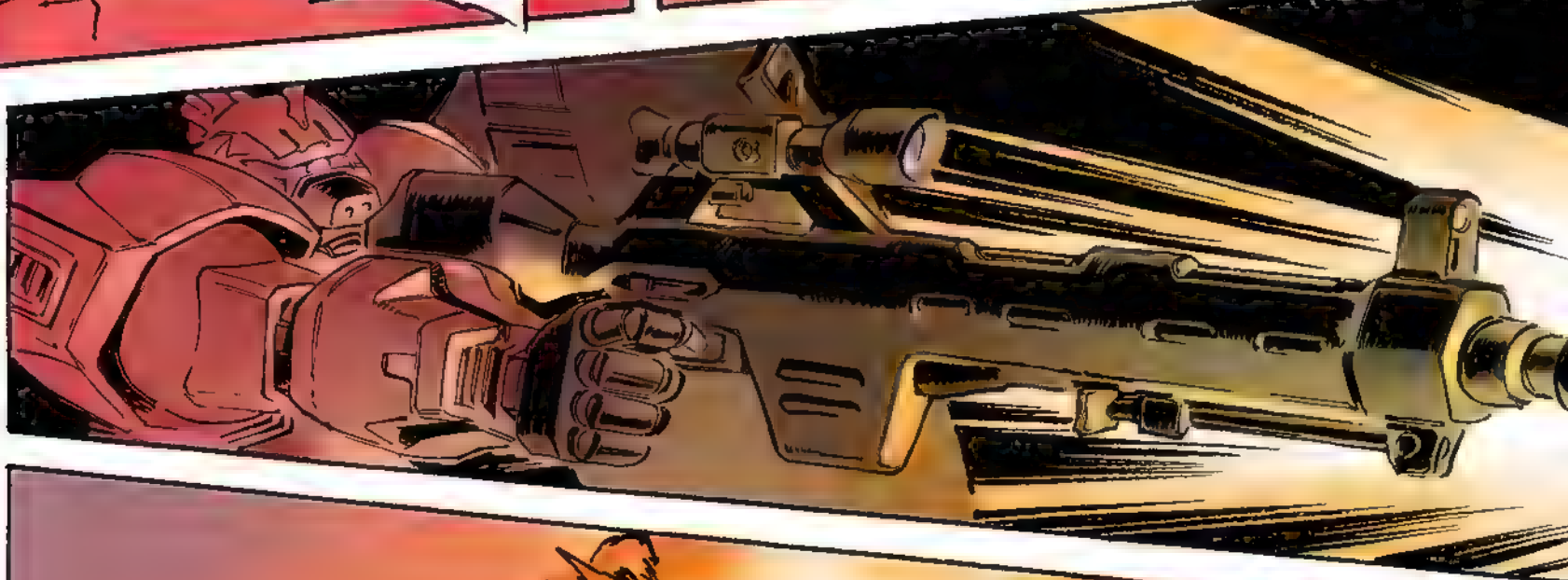
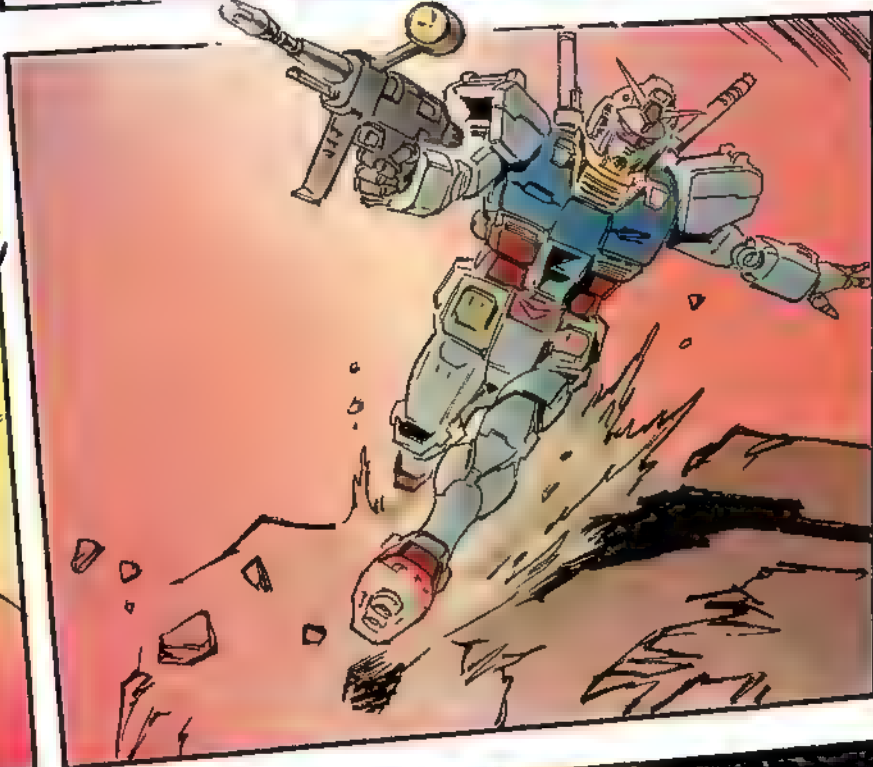
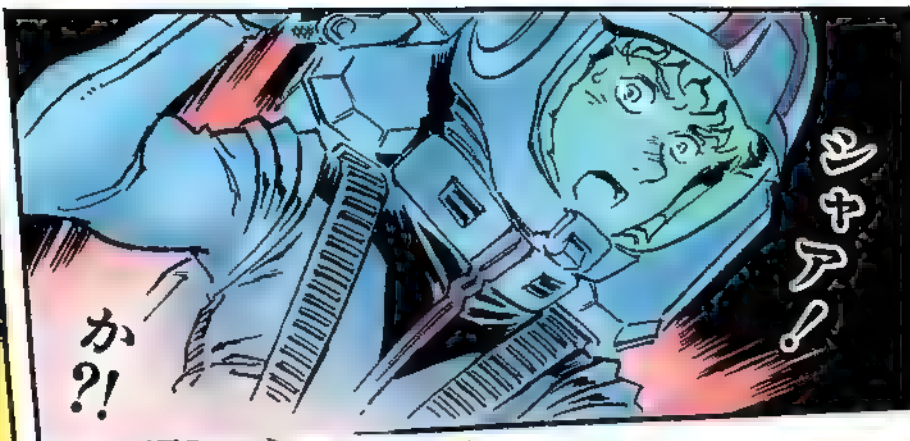
これまで  
仕止められな  
かったのも

どろり  
道理だ



だが  
私は  
倒す!!

おまへを!



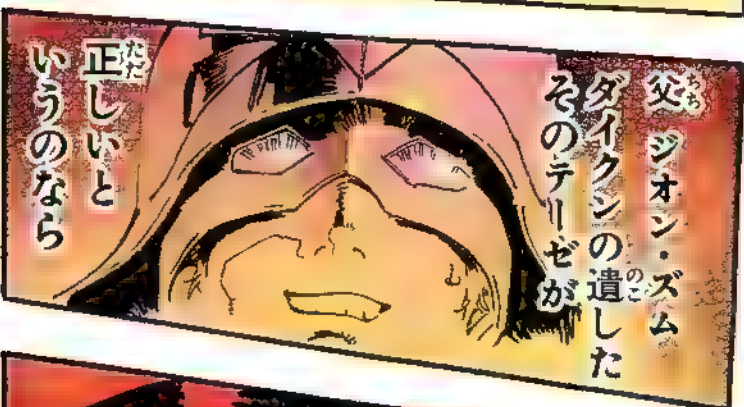




ニュータイプが  
『人の革新』の  
証なら！

スペースノイドの  
選ばれた者が  
アースノイドを

制するといふのなら！



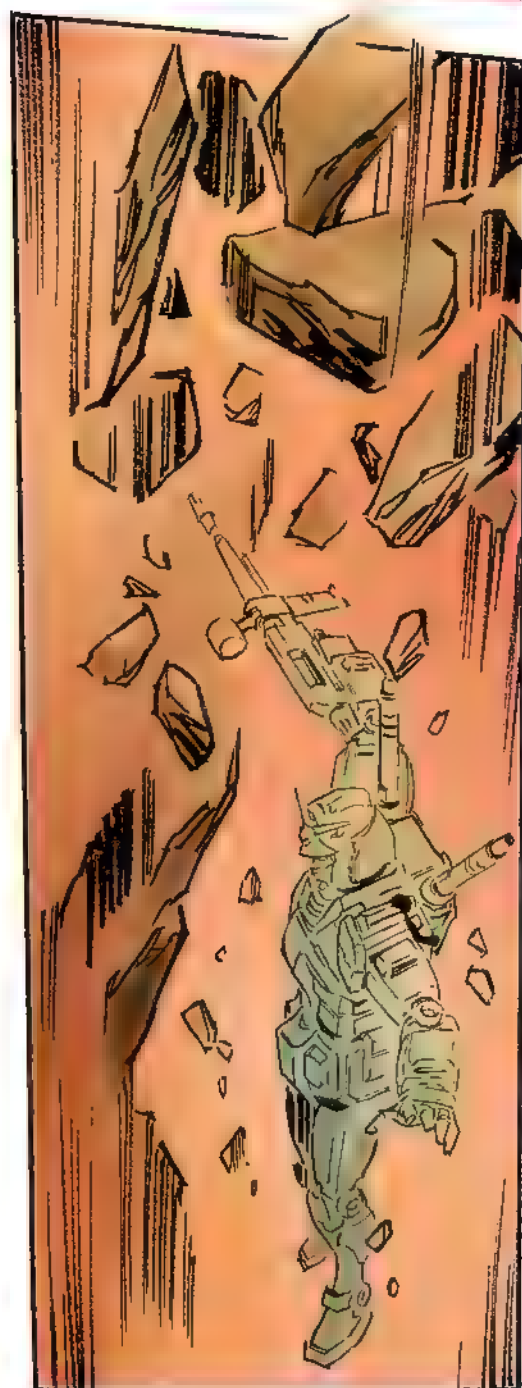
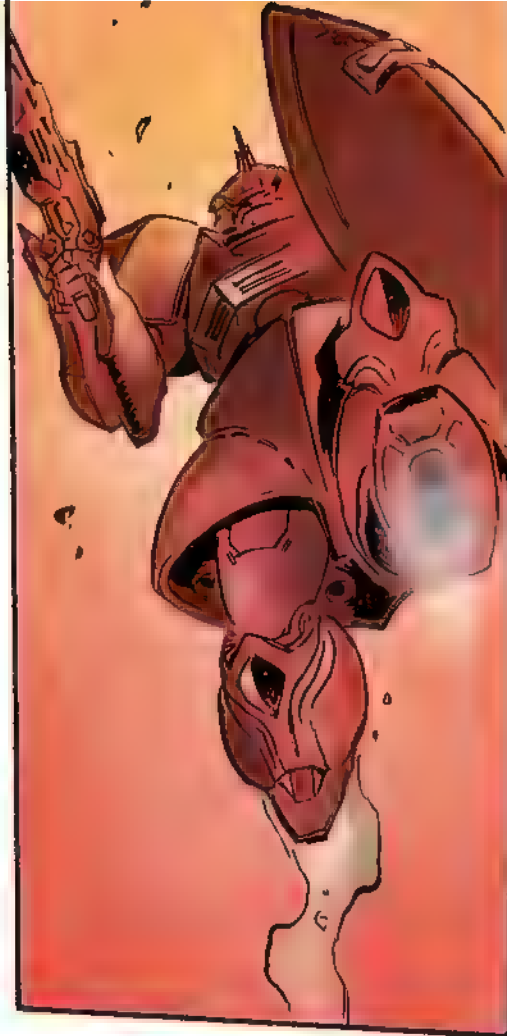
父、ジオン・ズム  
ダイクスの遺した  
そのテリゼが

正しいと  
いうのなら

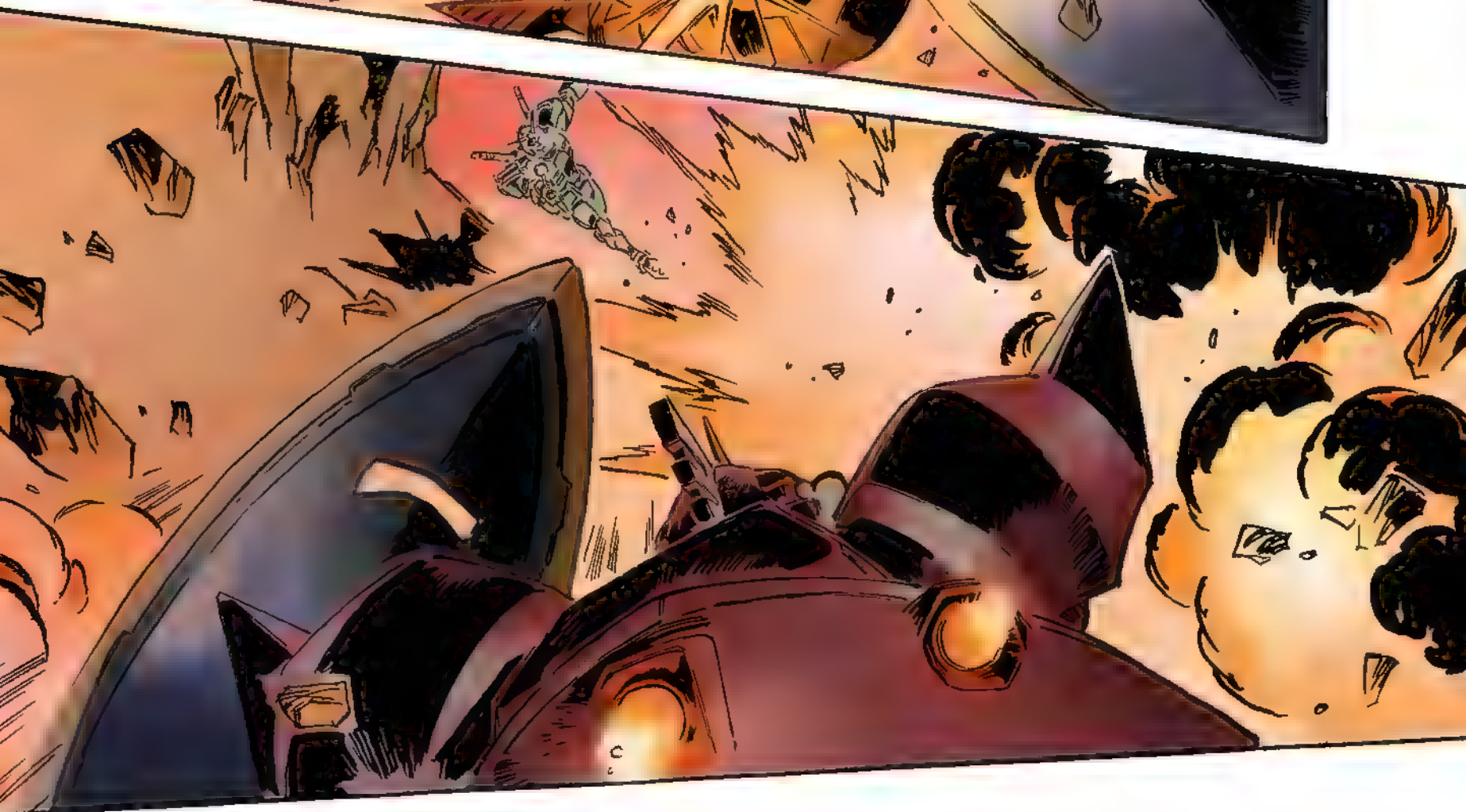
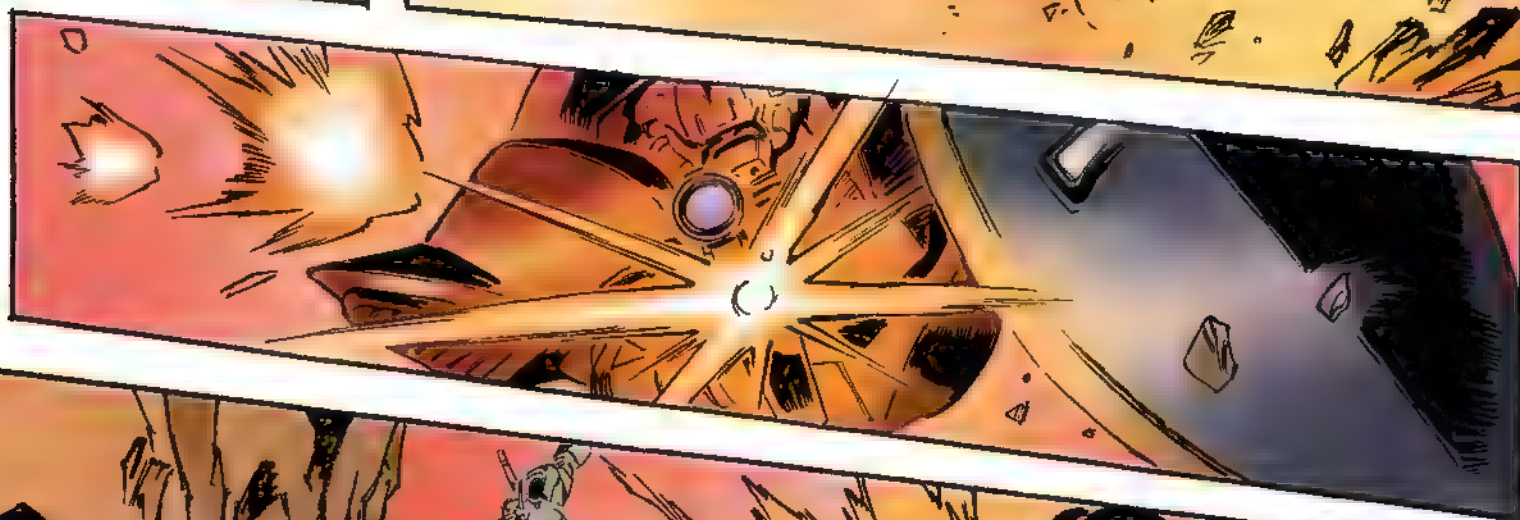
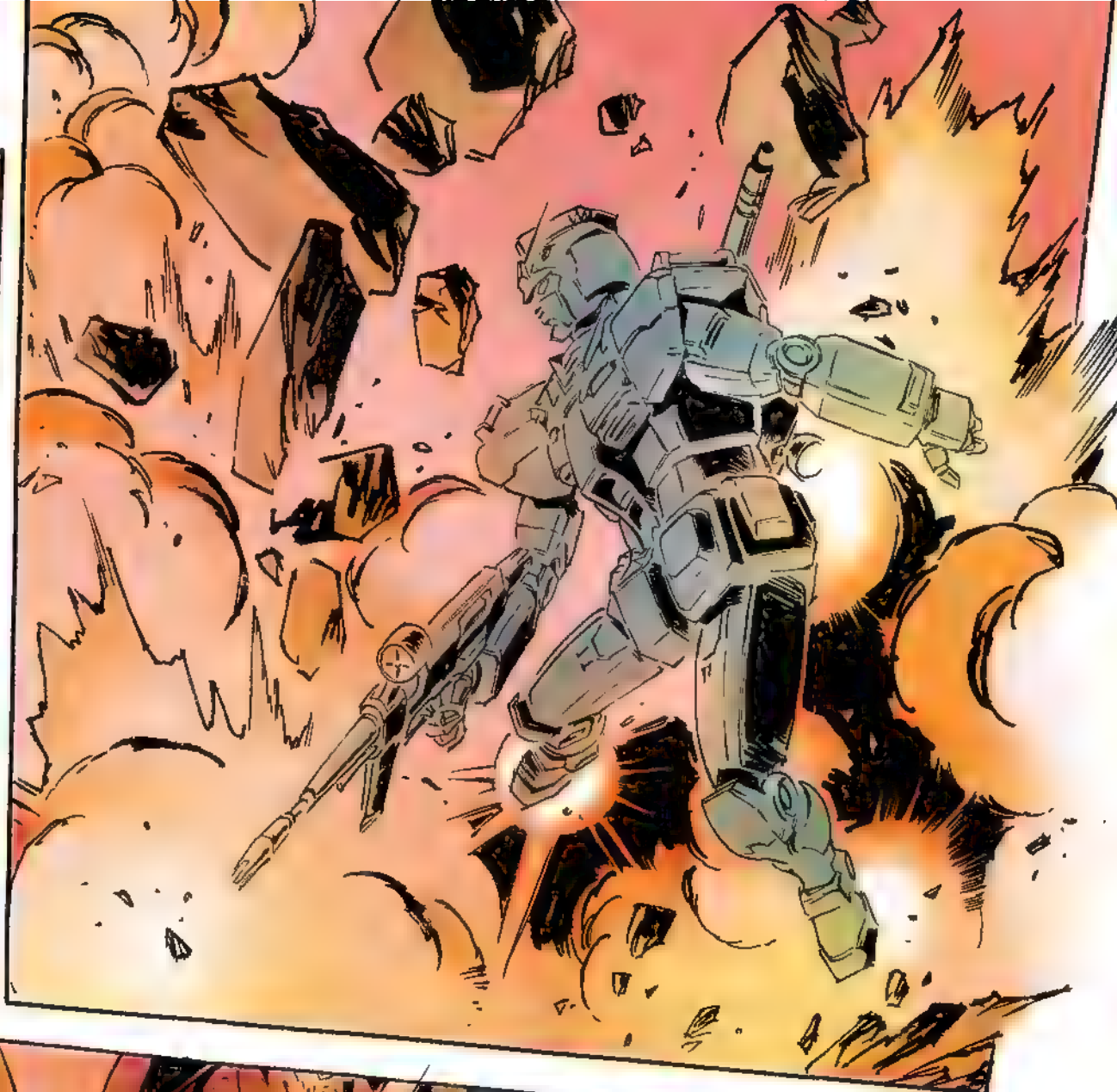
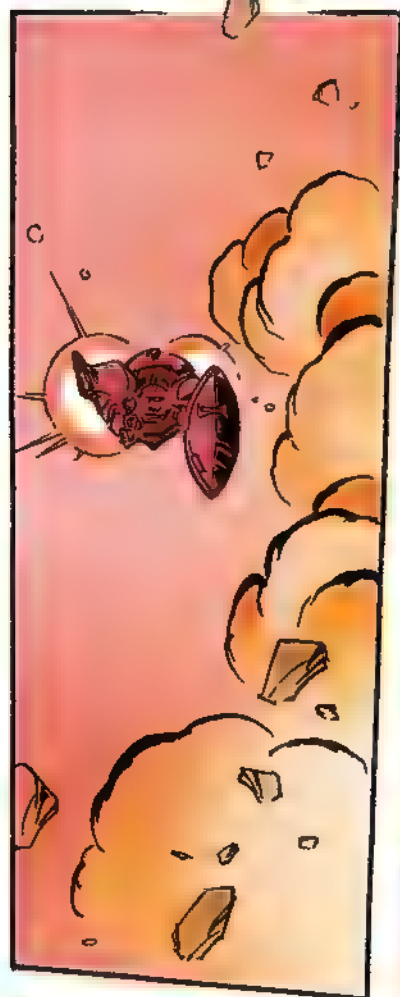


私  
が

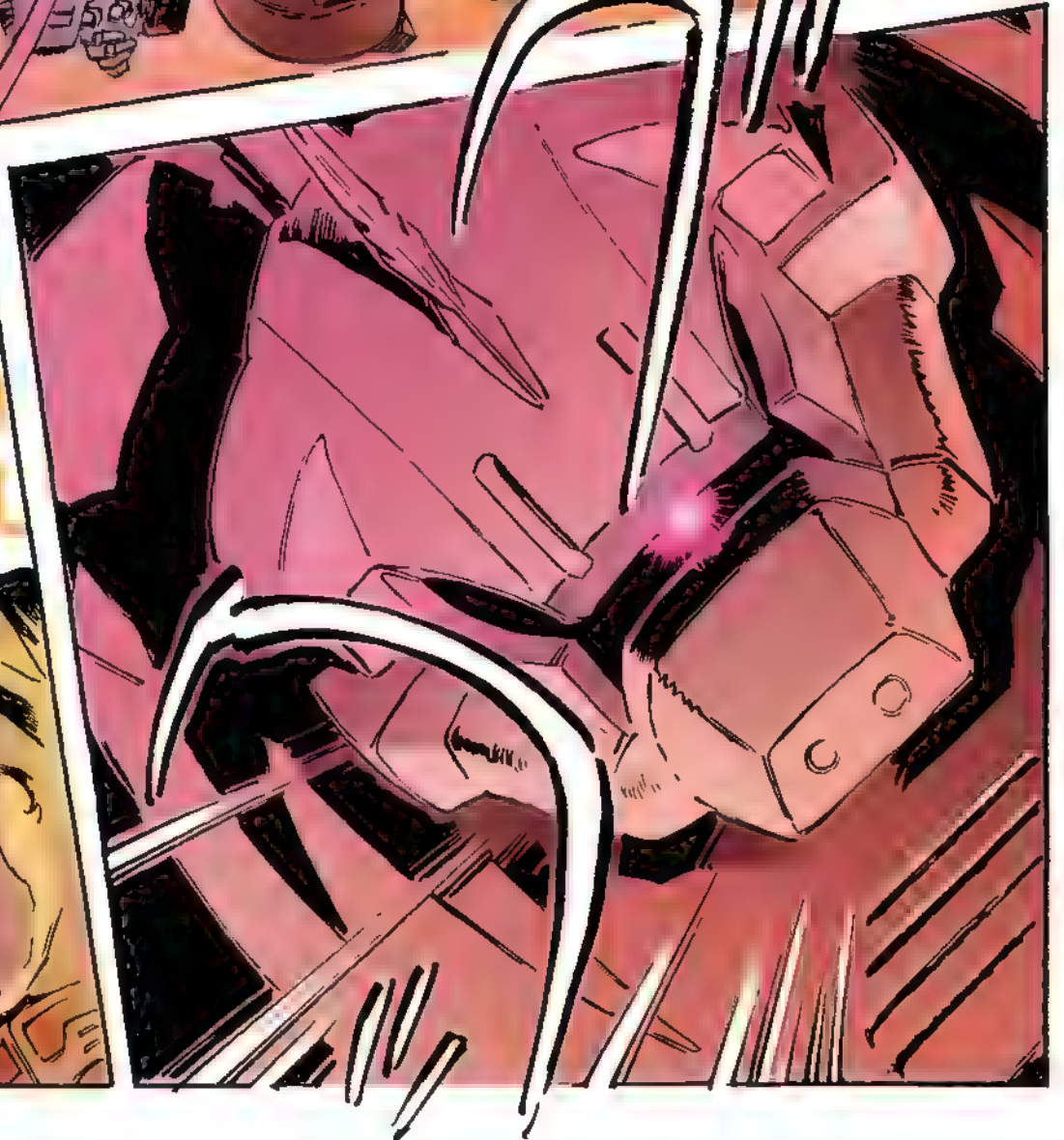
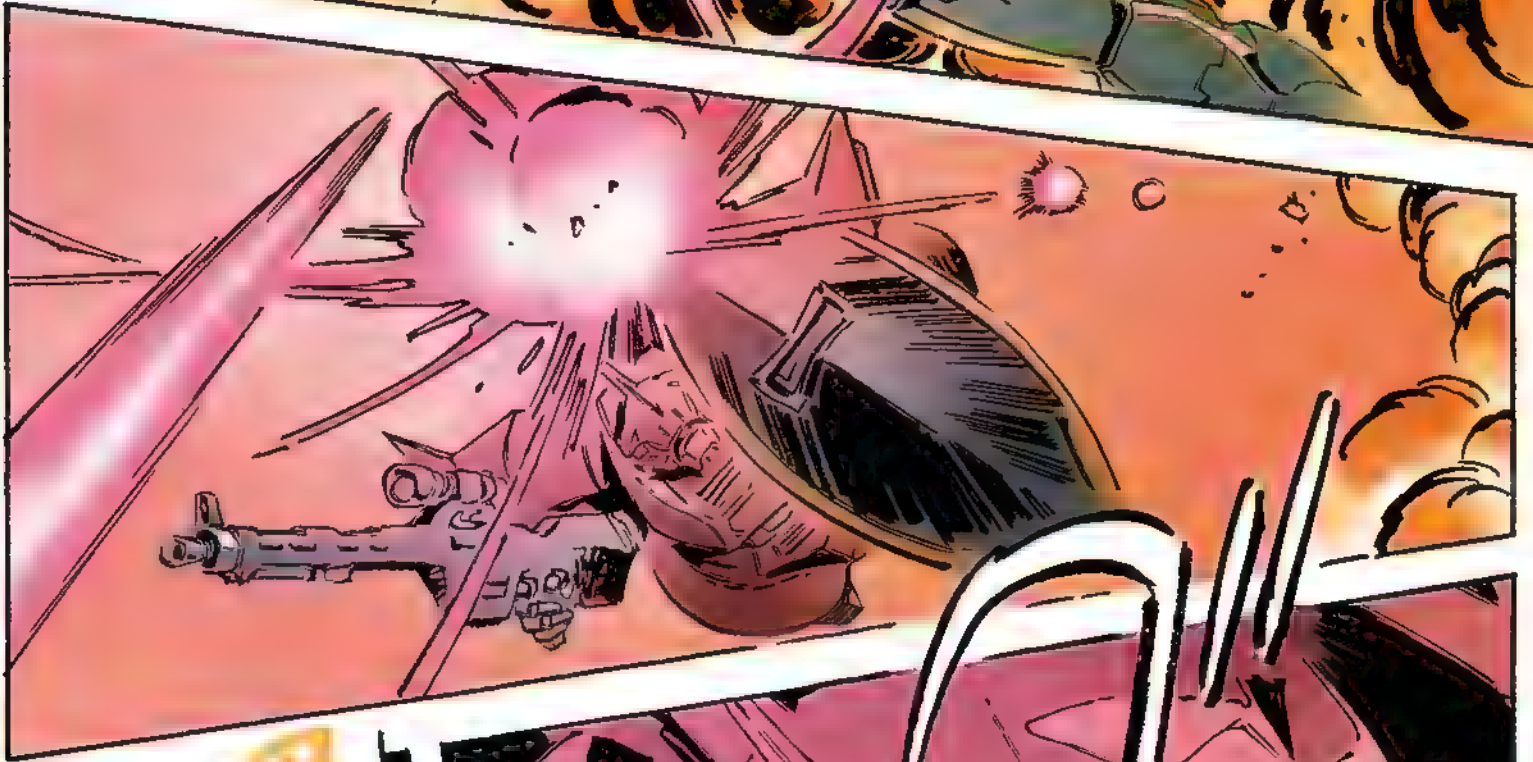
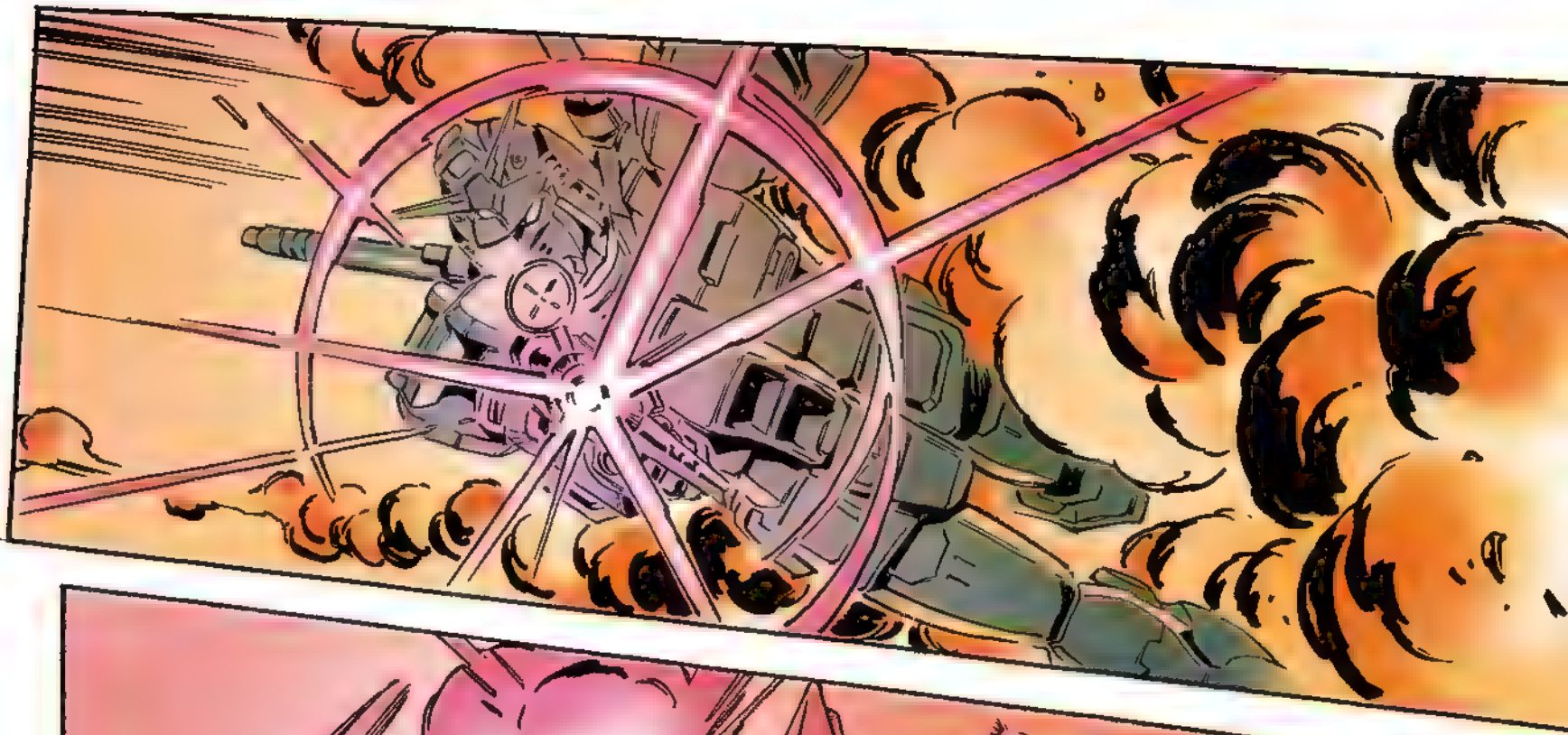














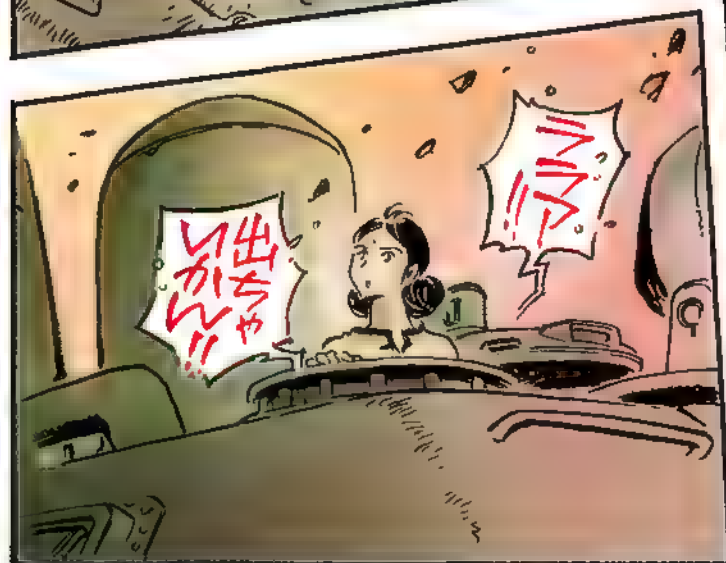
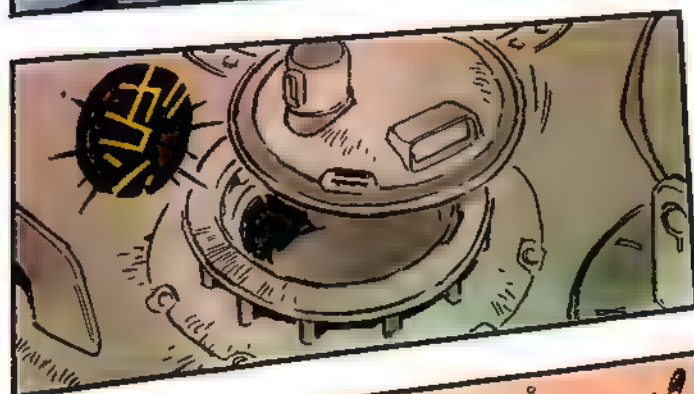
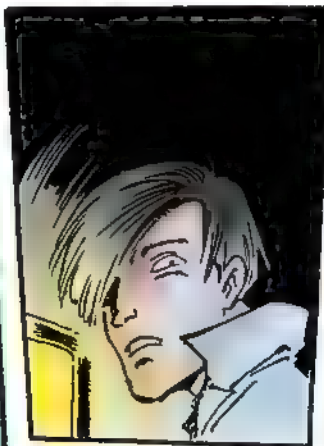
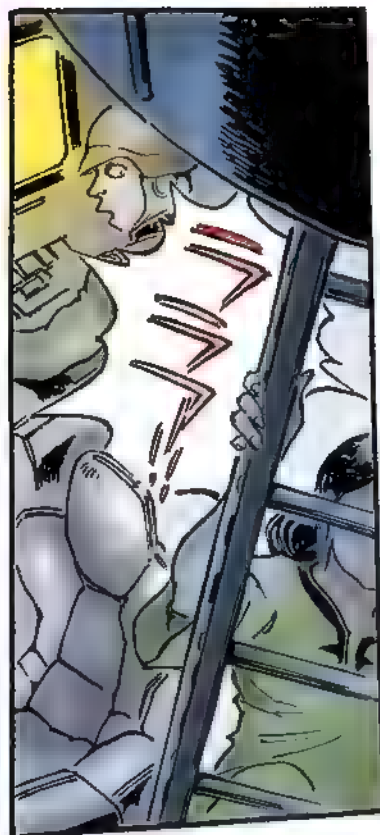
おまえが  
ニュータイプ  
だとしても

勝つのは

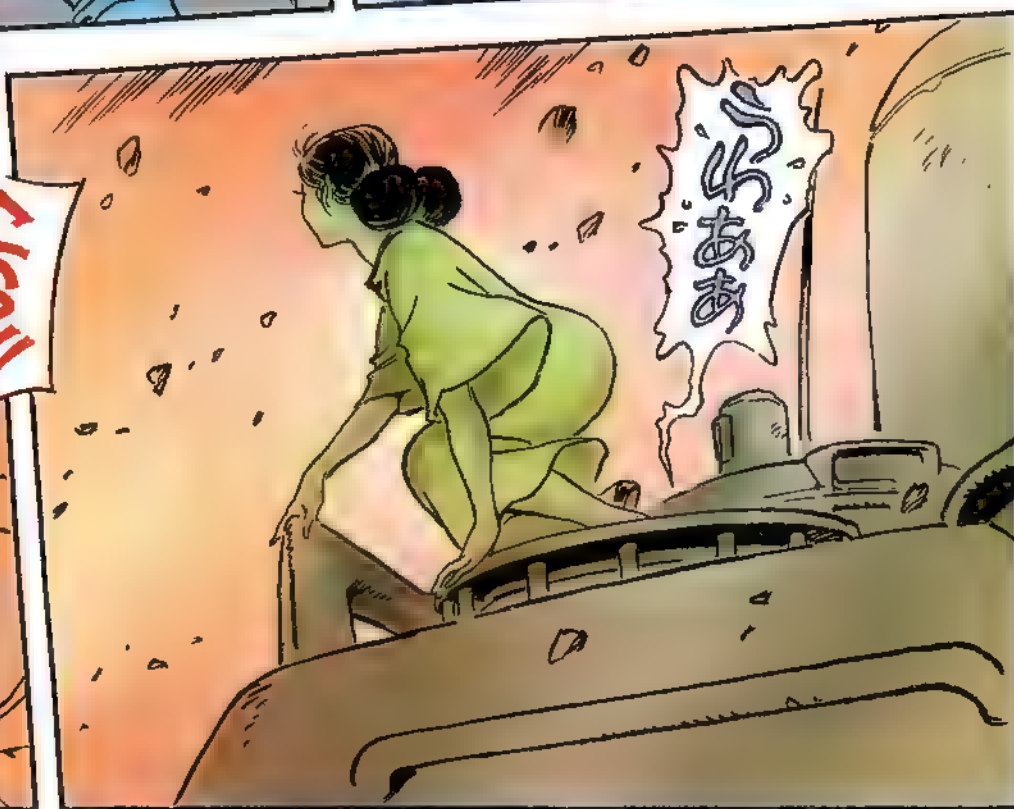
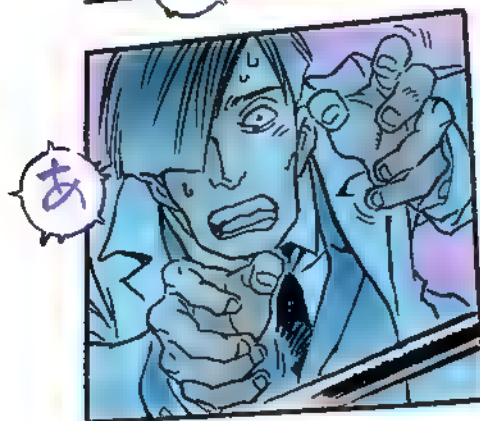
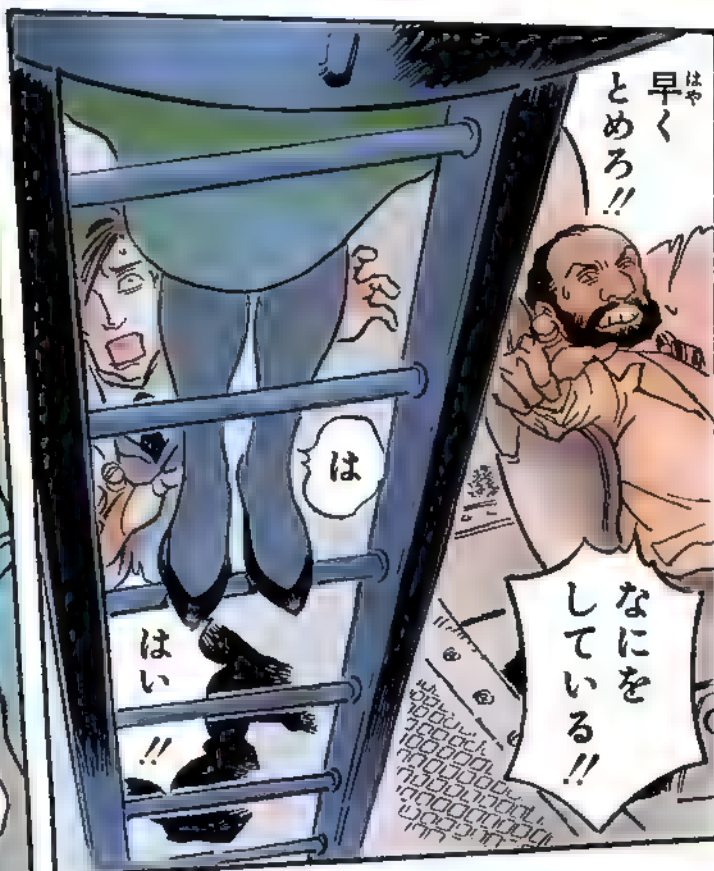
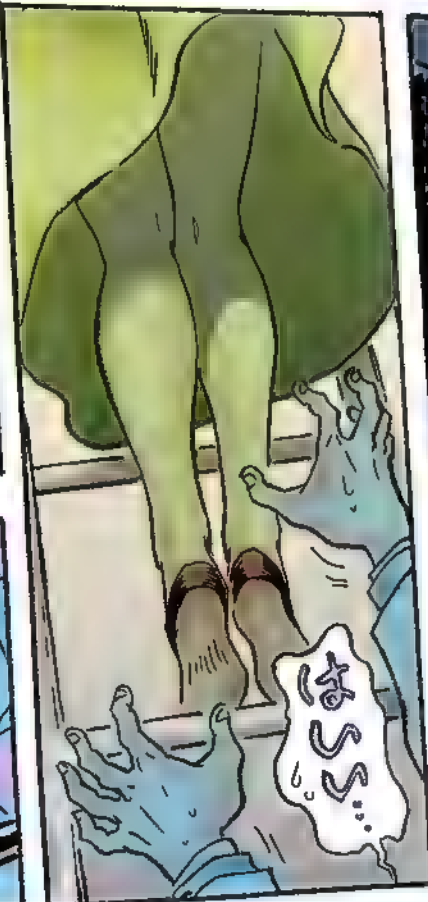
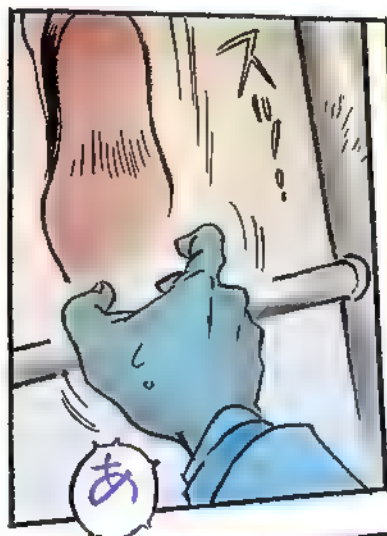
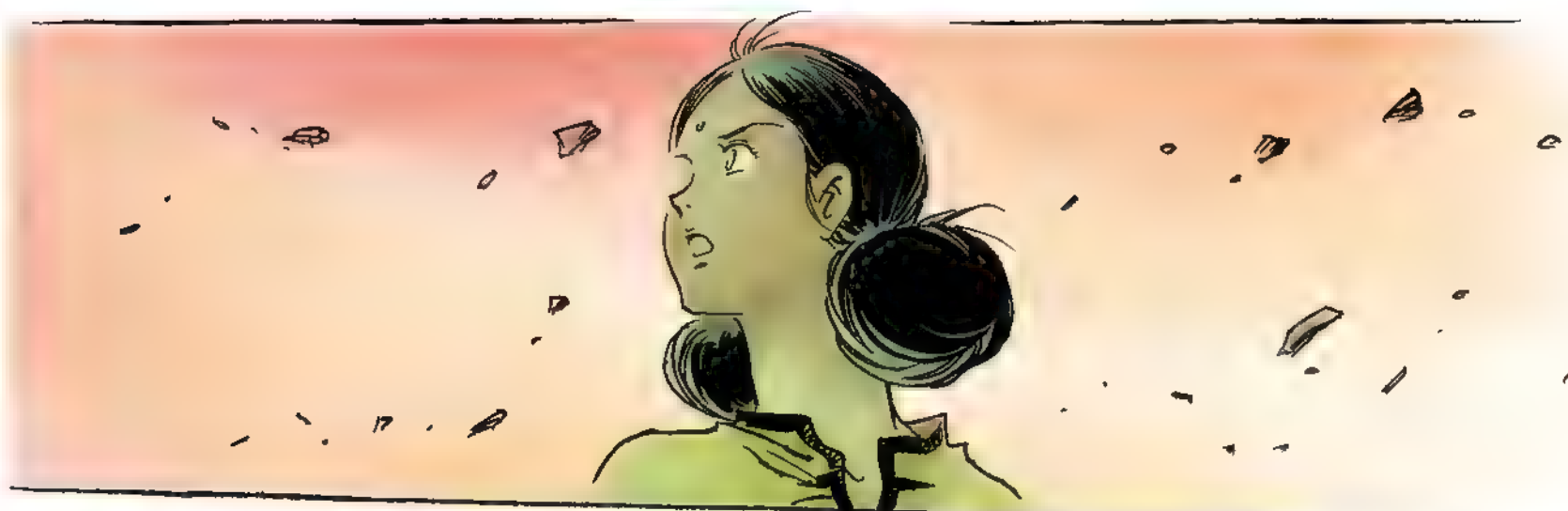
わたし  
私だ!!



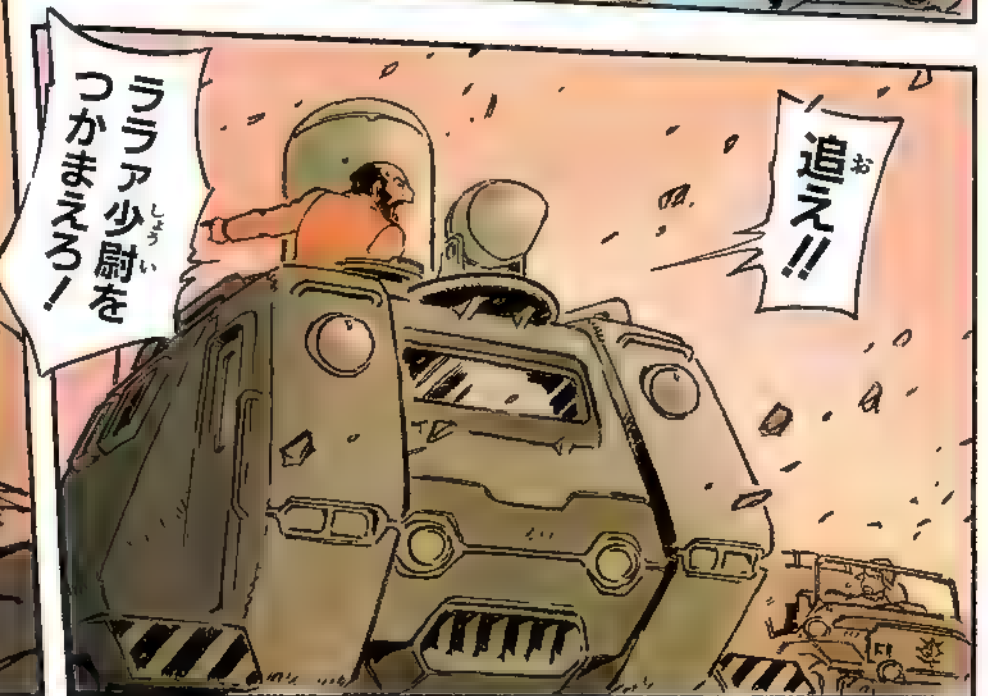
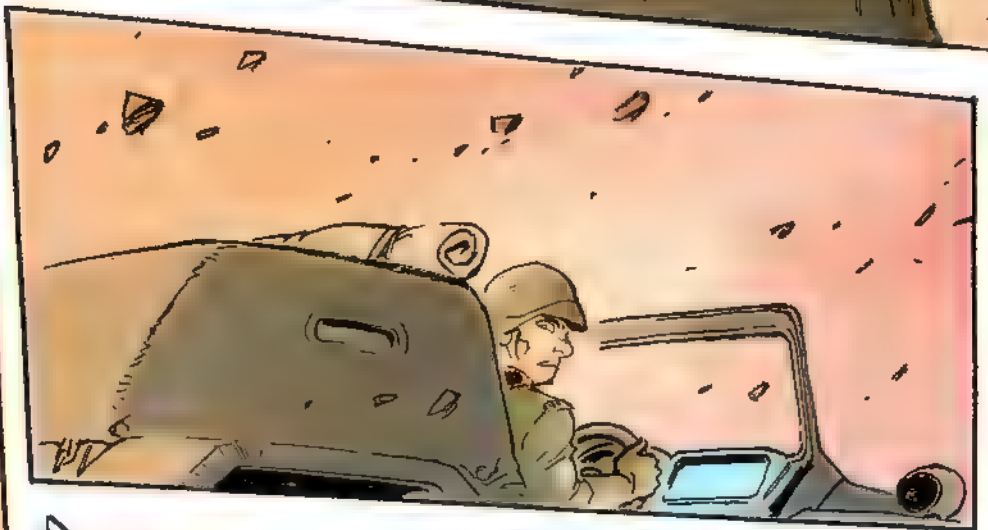
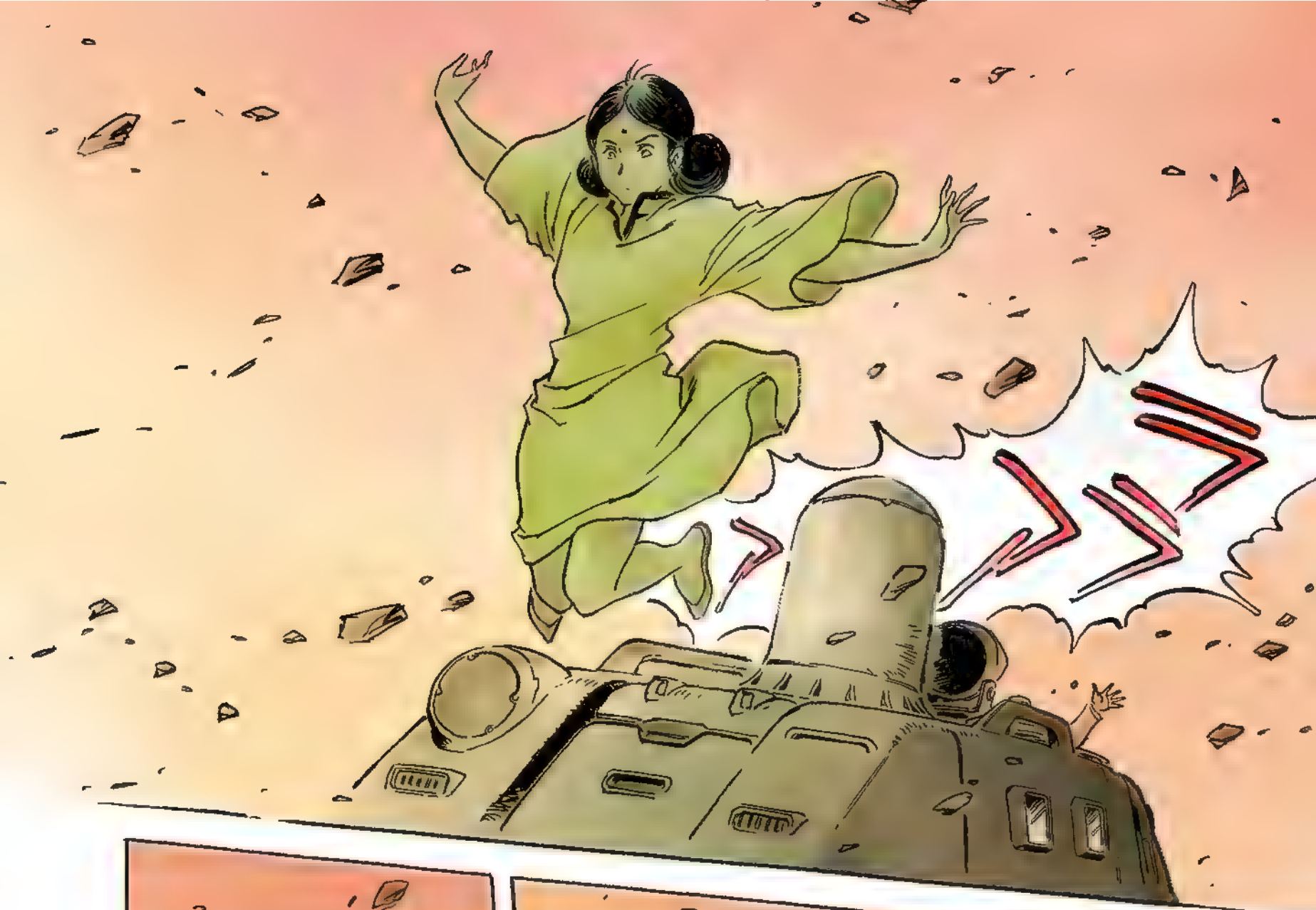




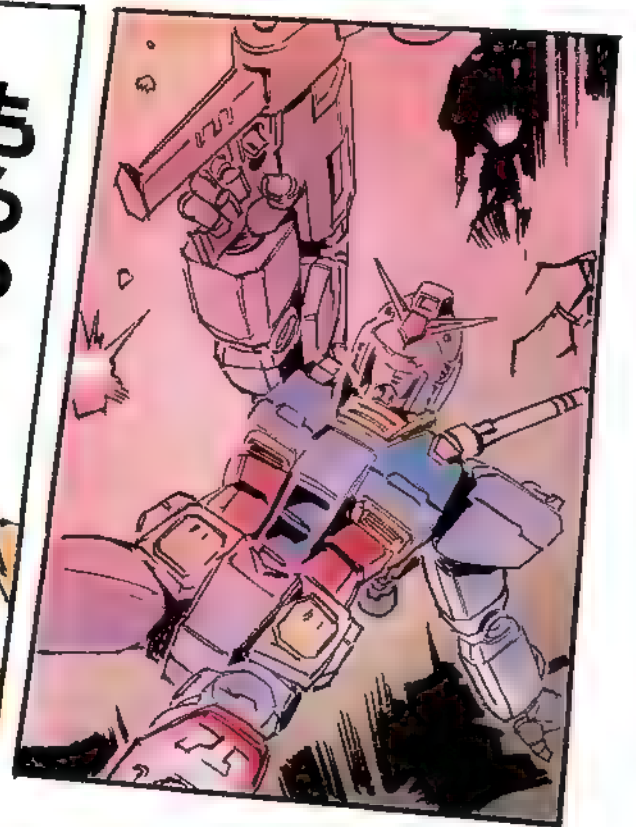
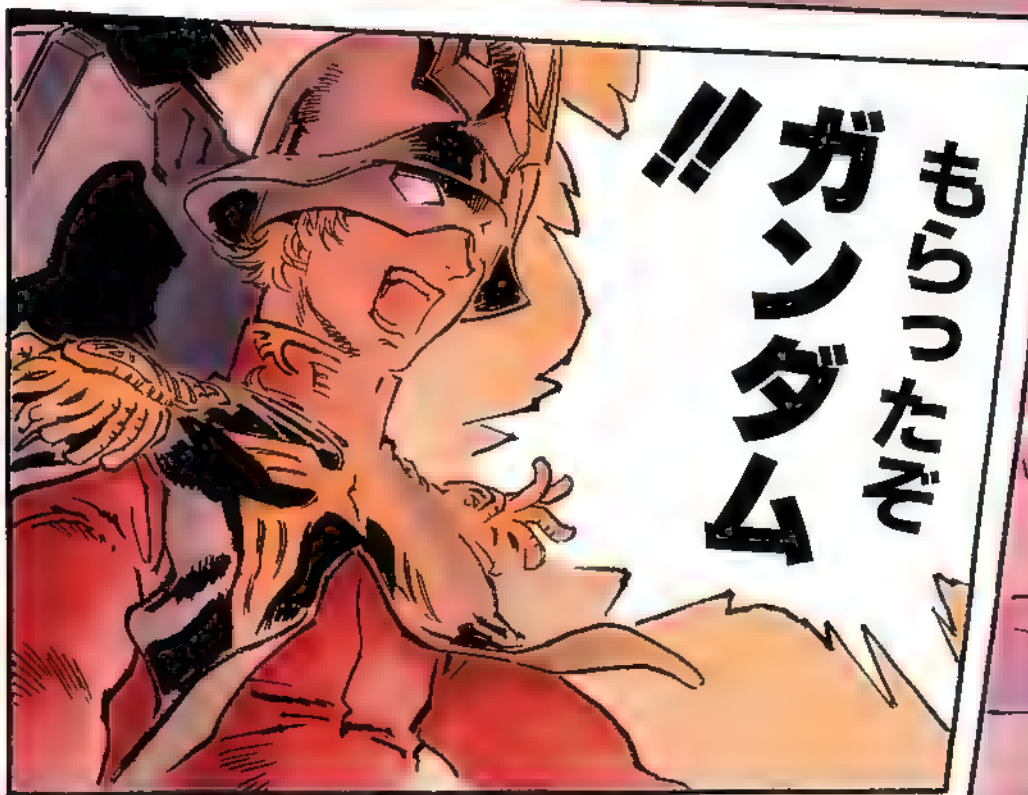
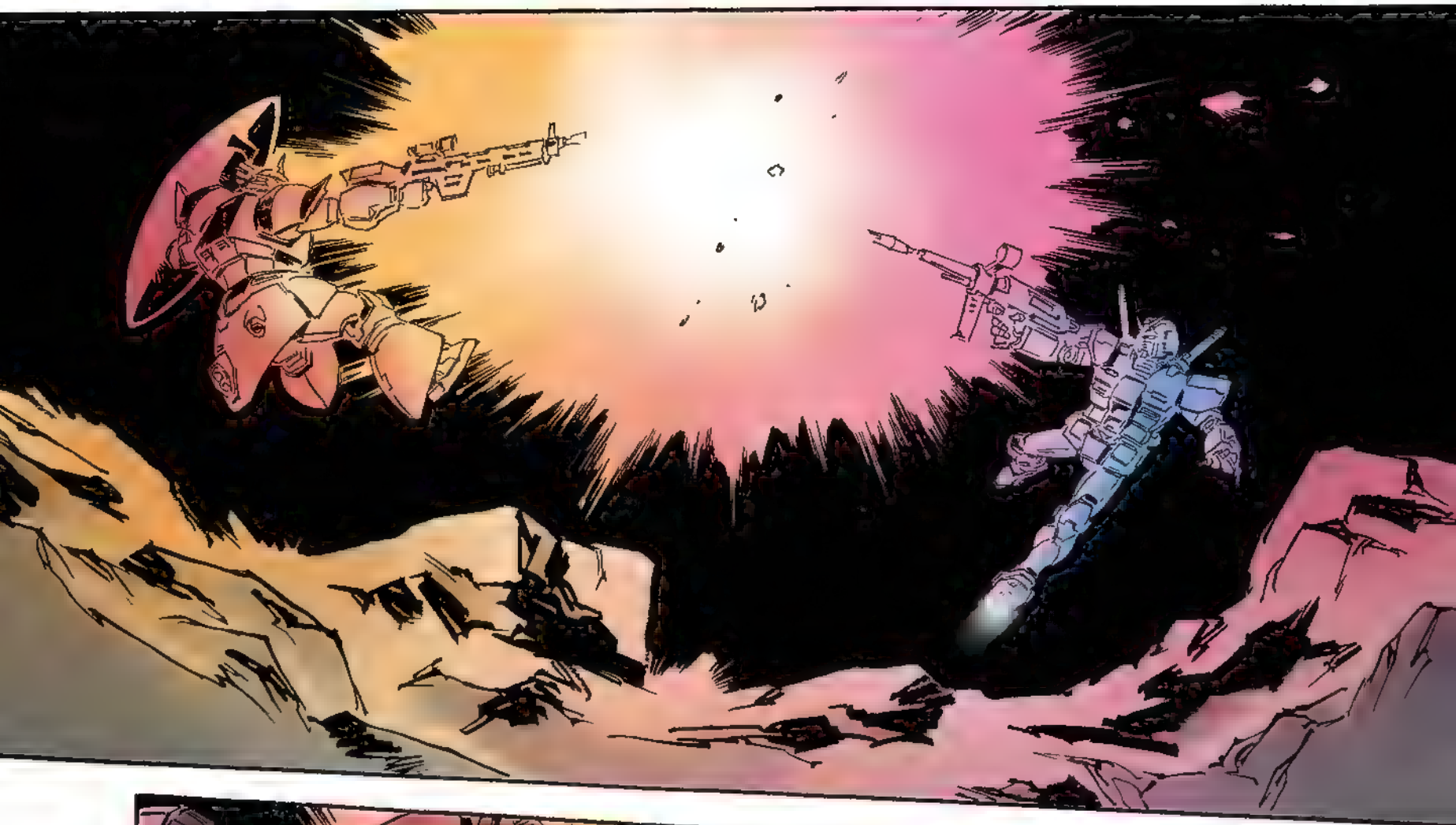




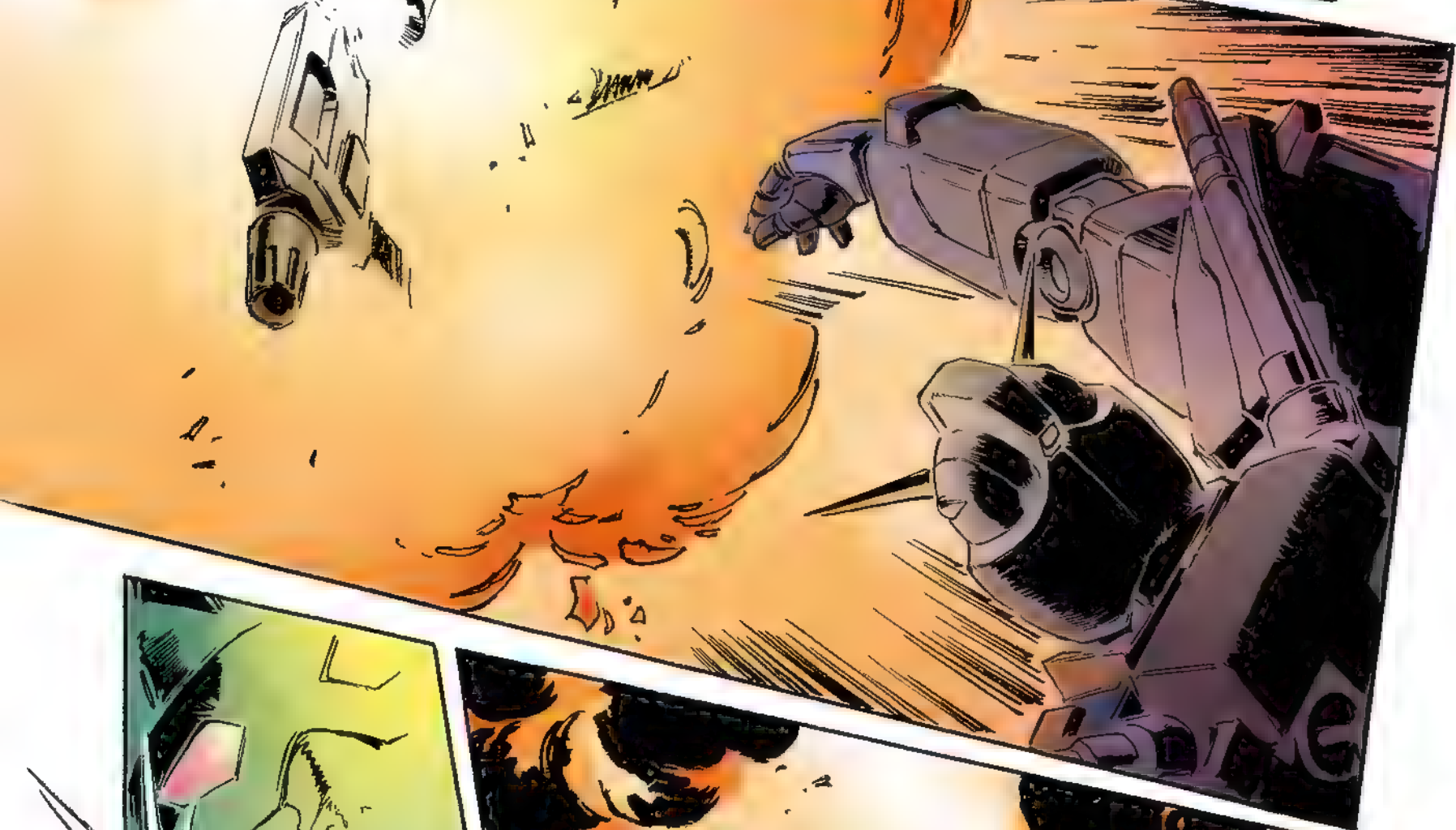
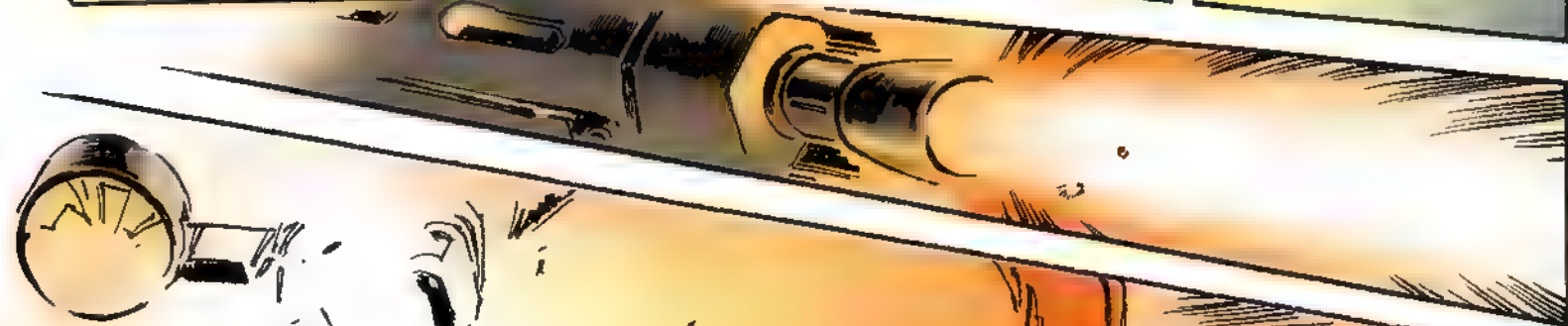
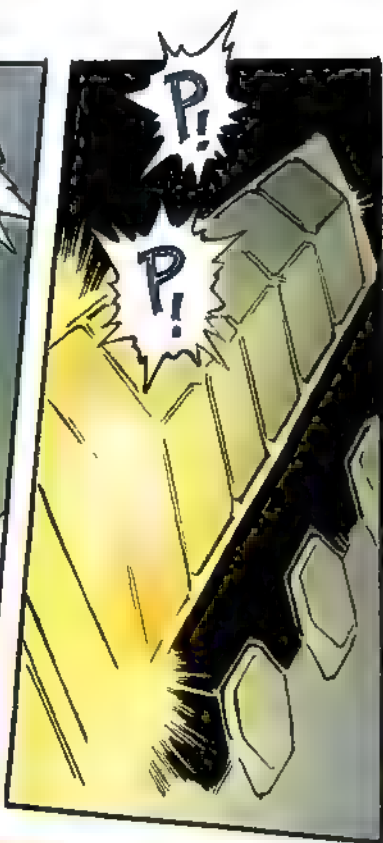
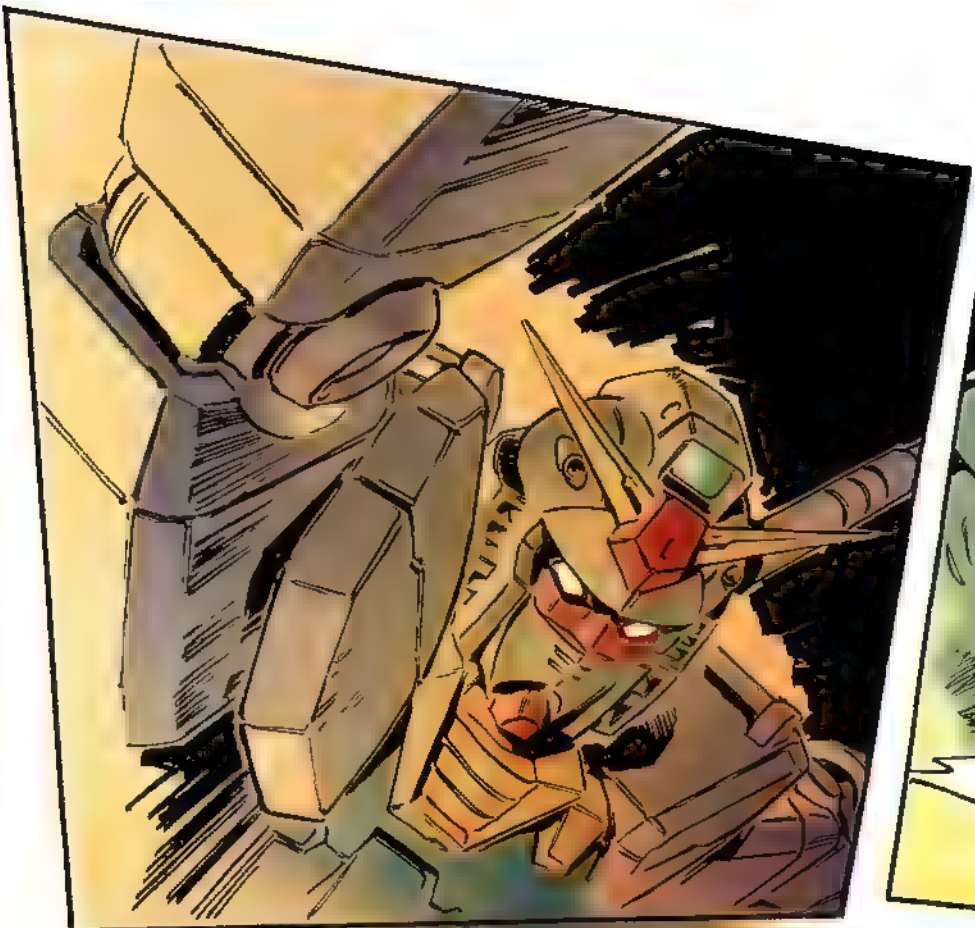




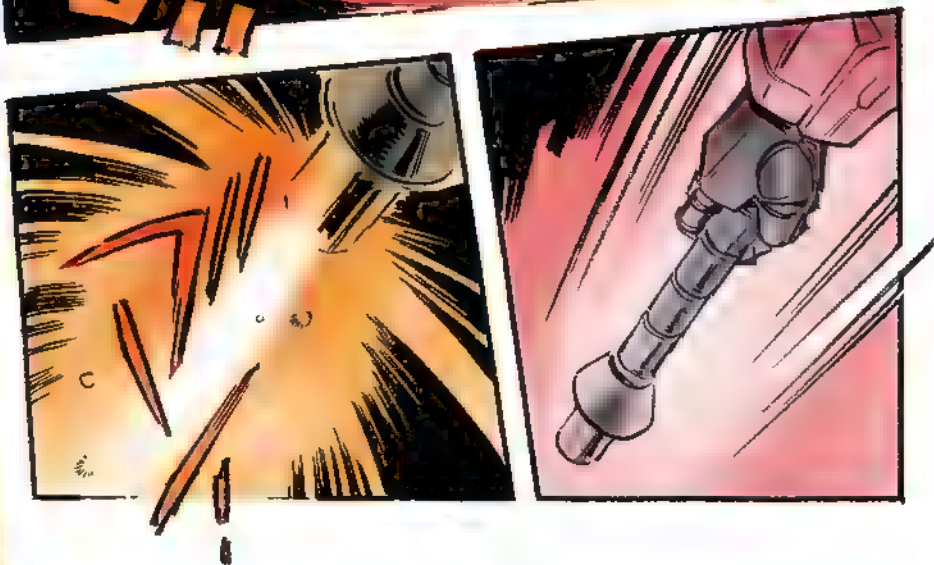
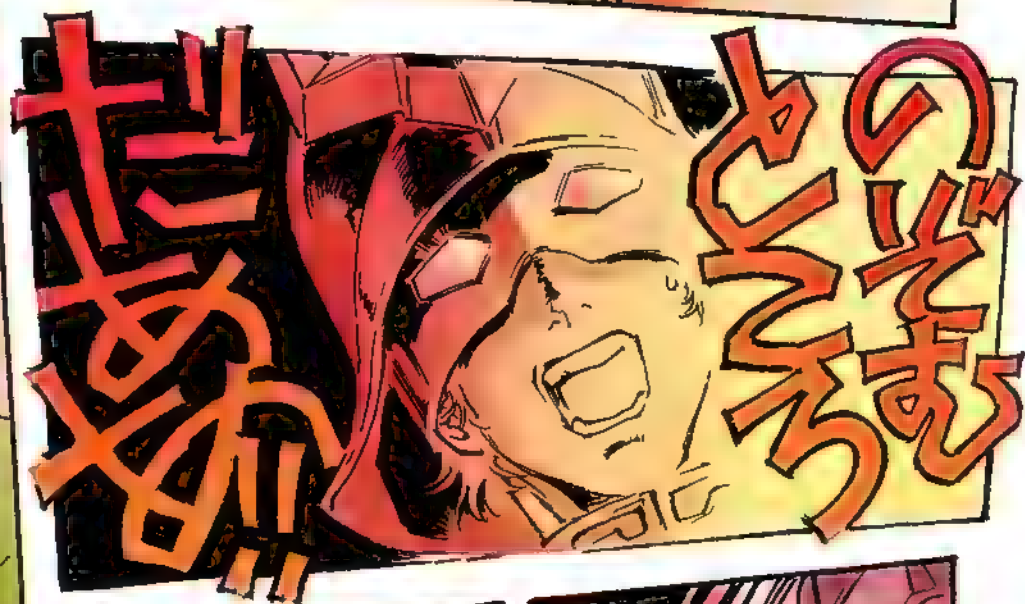
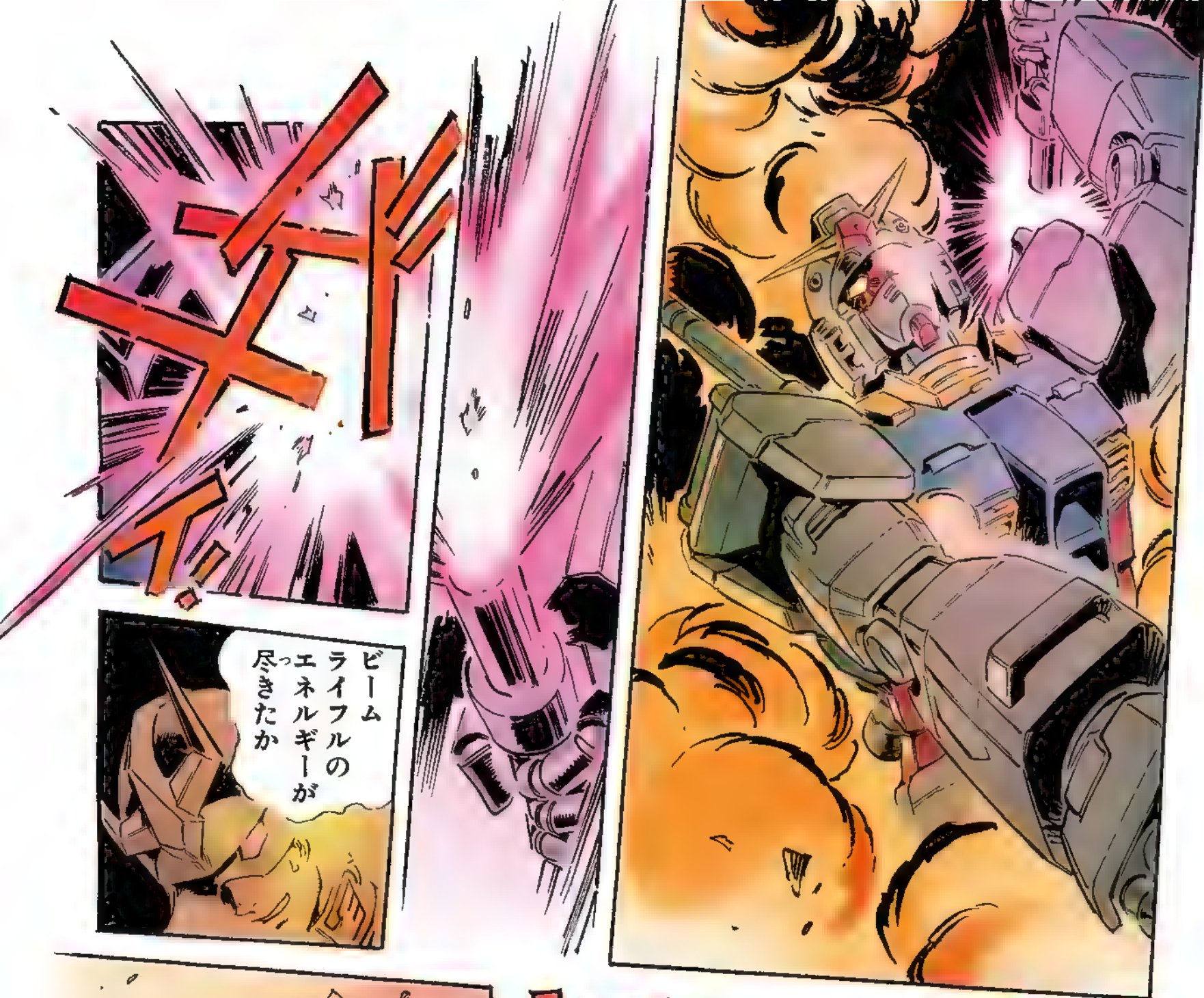




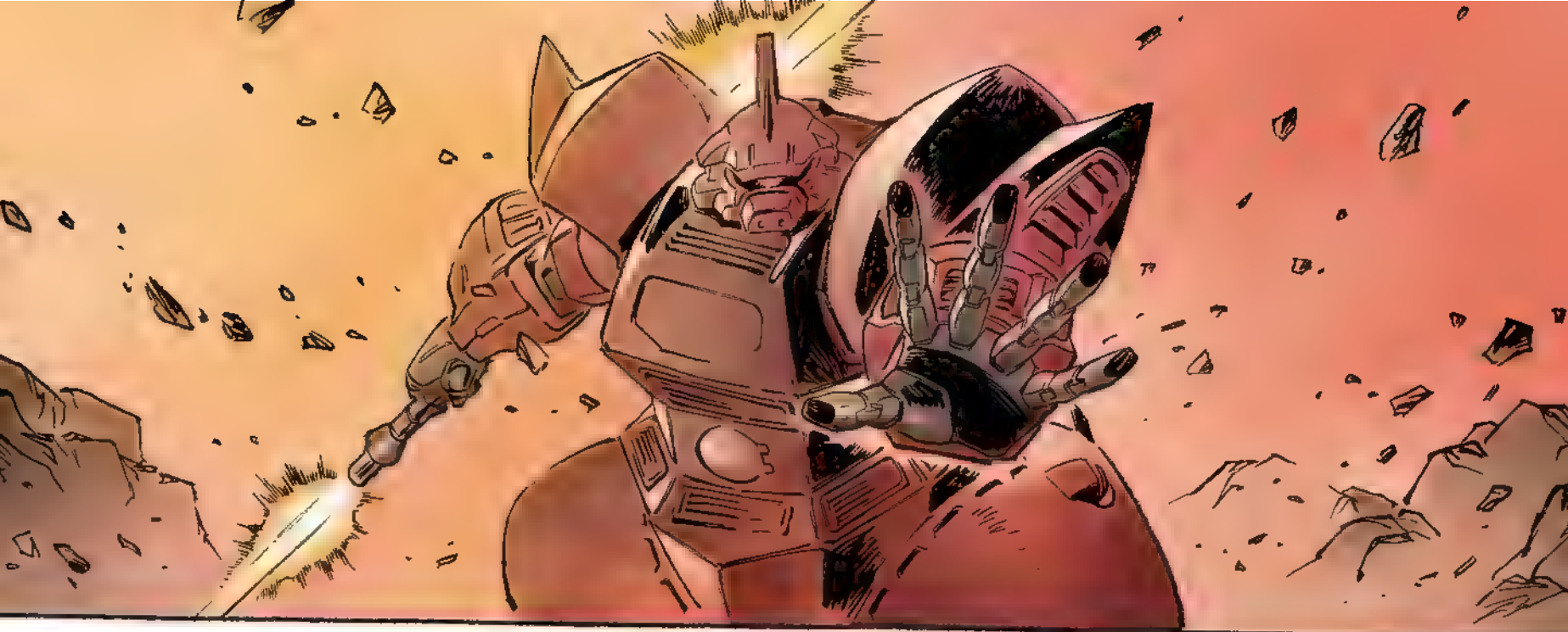










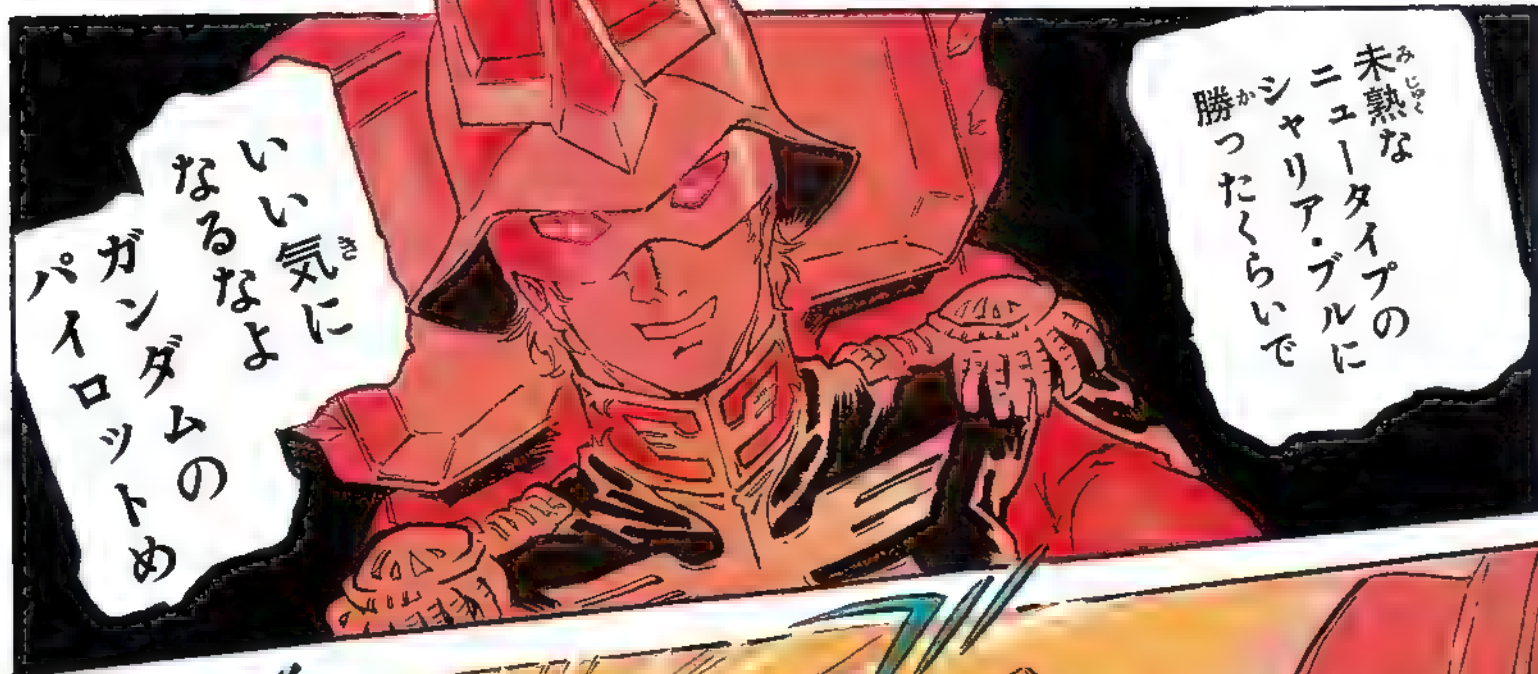




デラ編・後

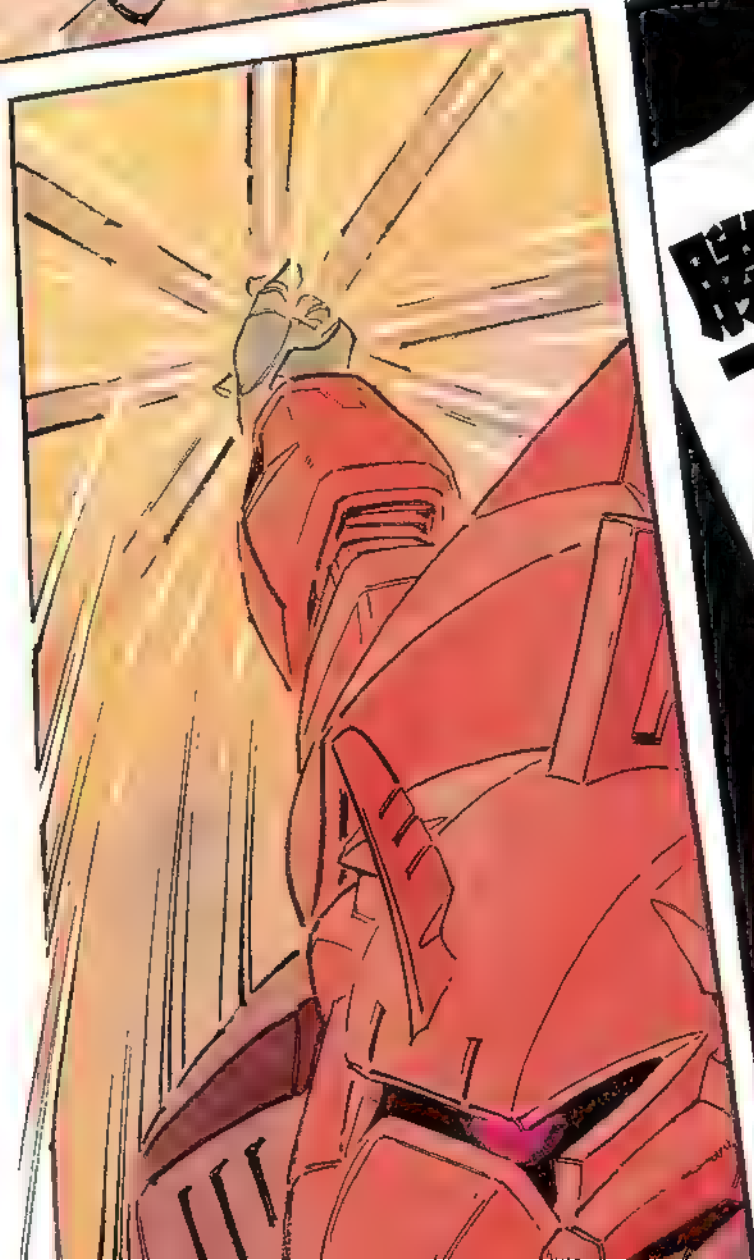
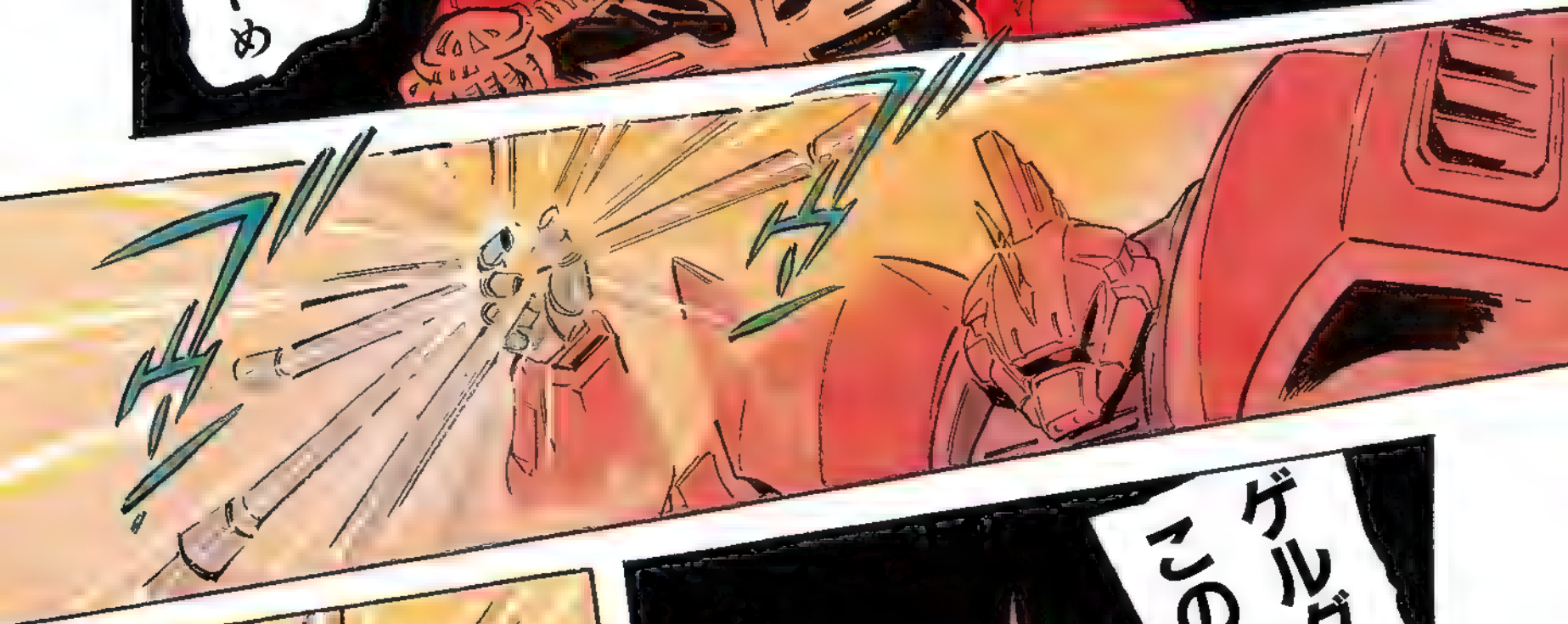






未熟な  
ニュータイプの  
シャリア・ブルに  
勝つくらいで

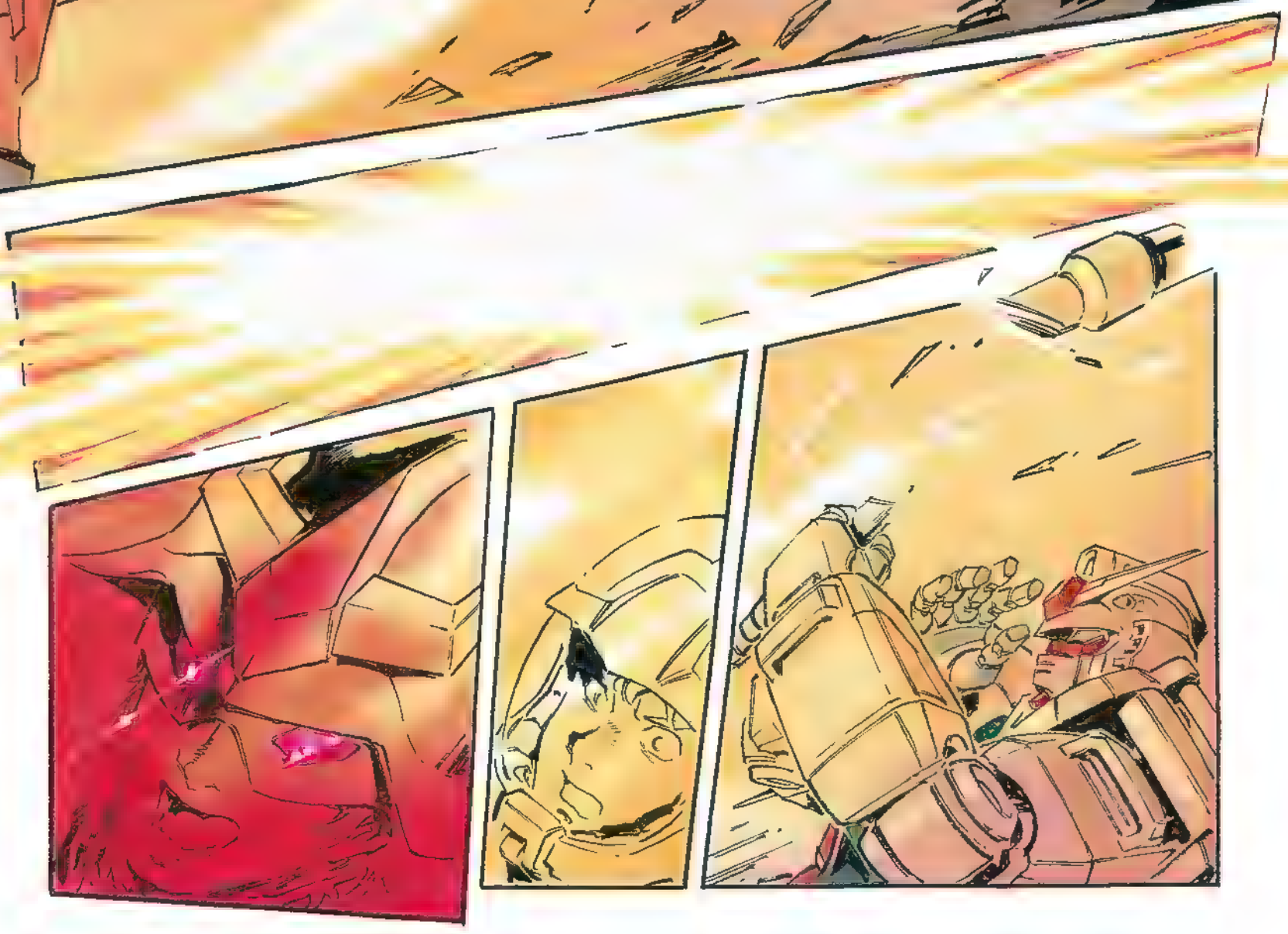
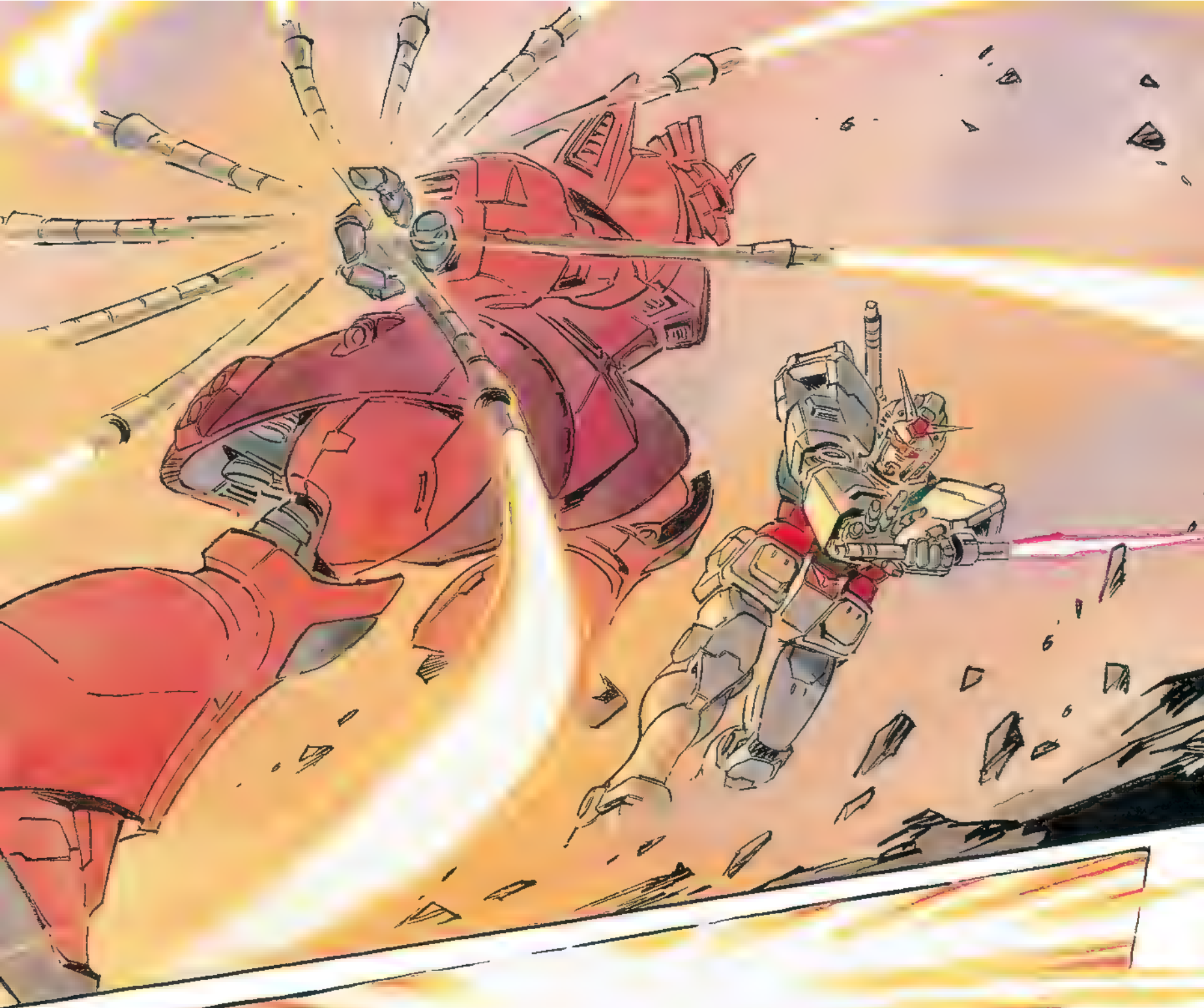
いい氣に  
なるなよ  
ガンダム  
パイロットめ



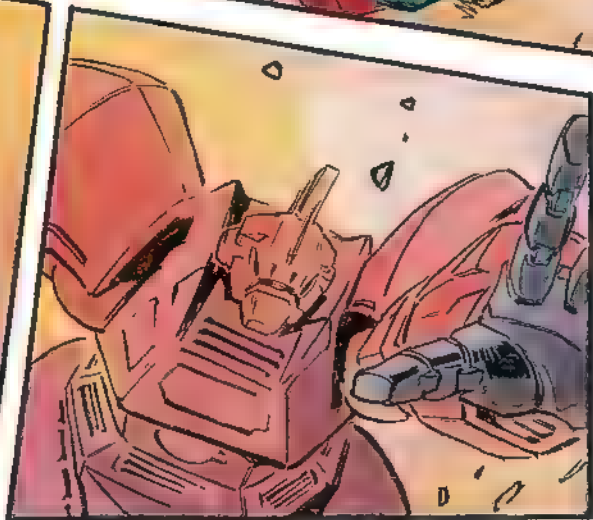
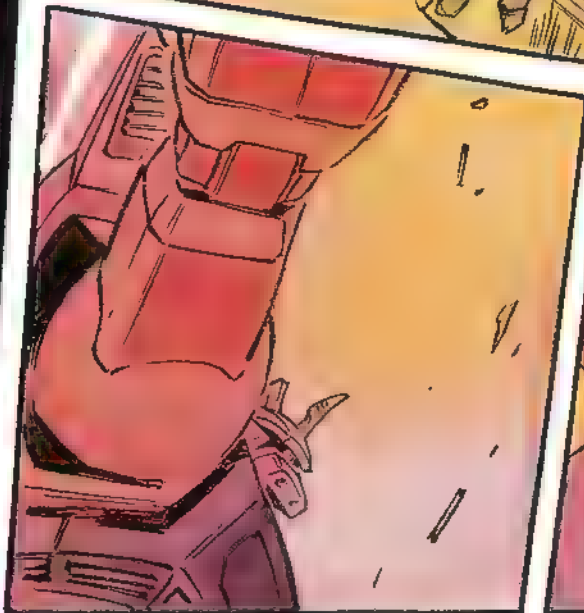
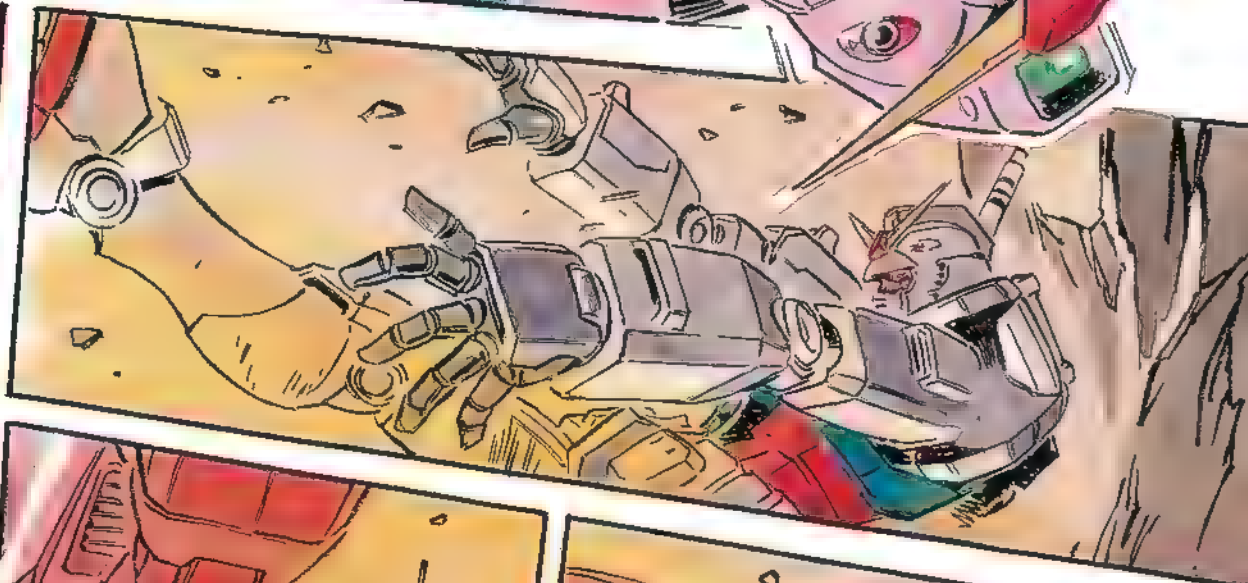
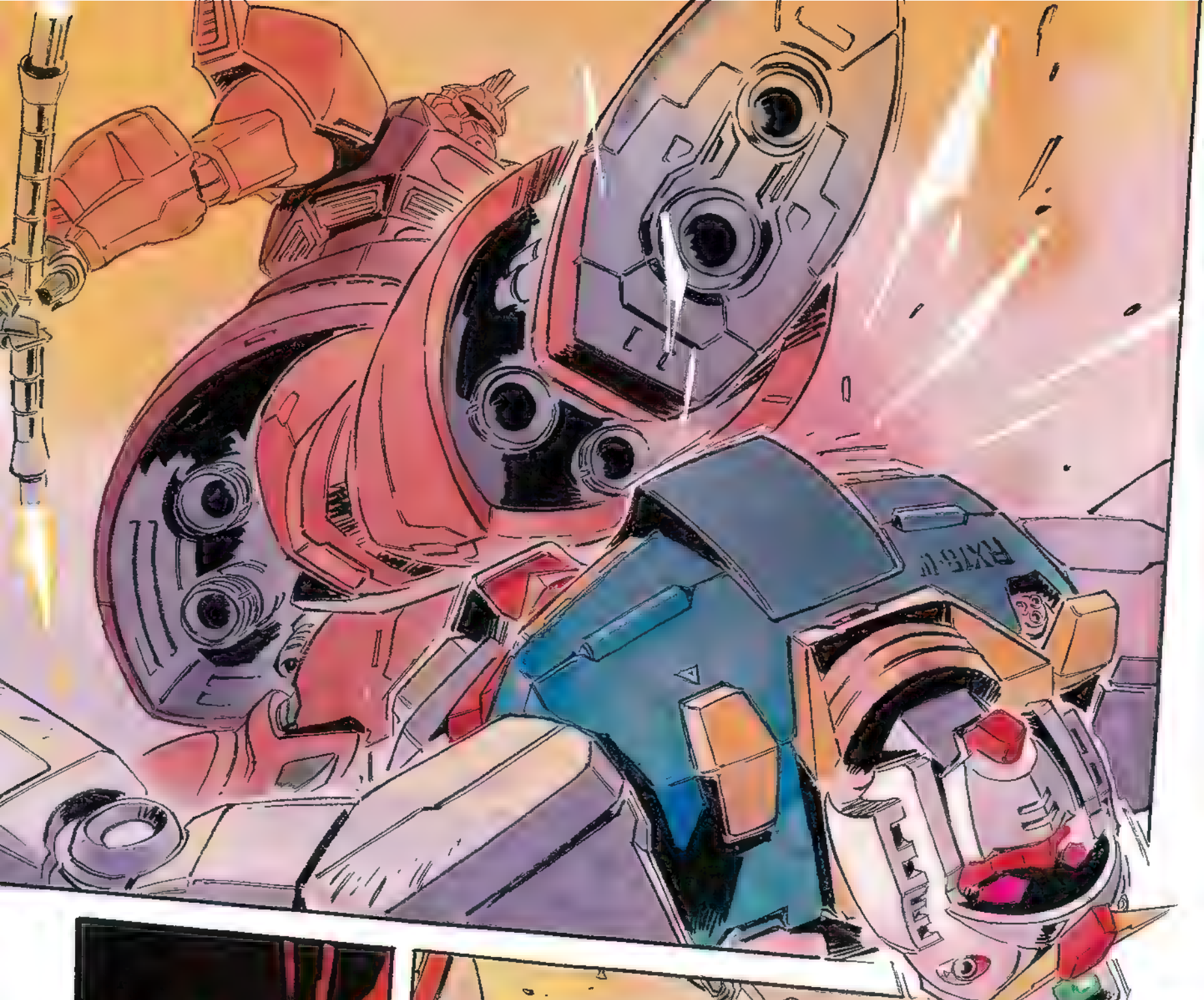
ゲルググの  
この私には

勝つん!!

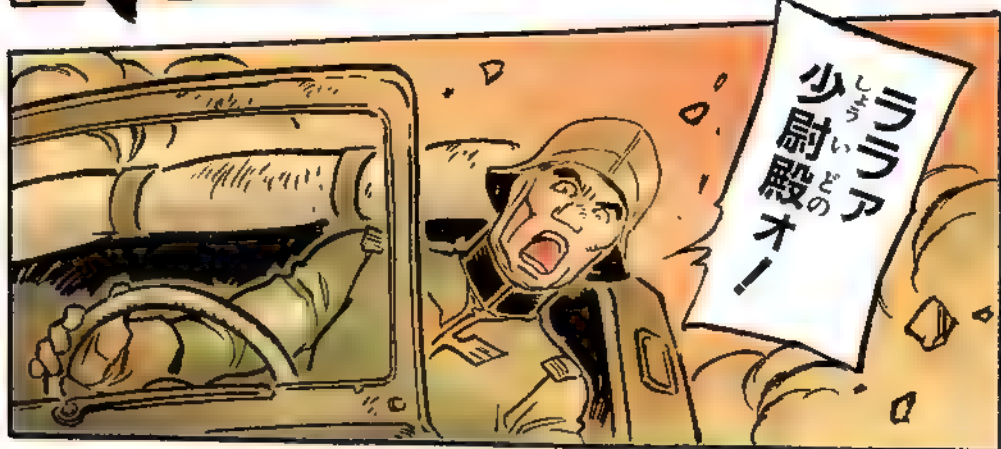








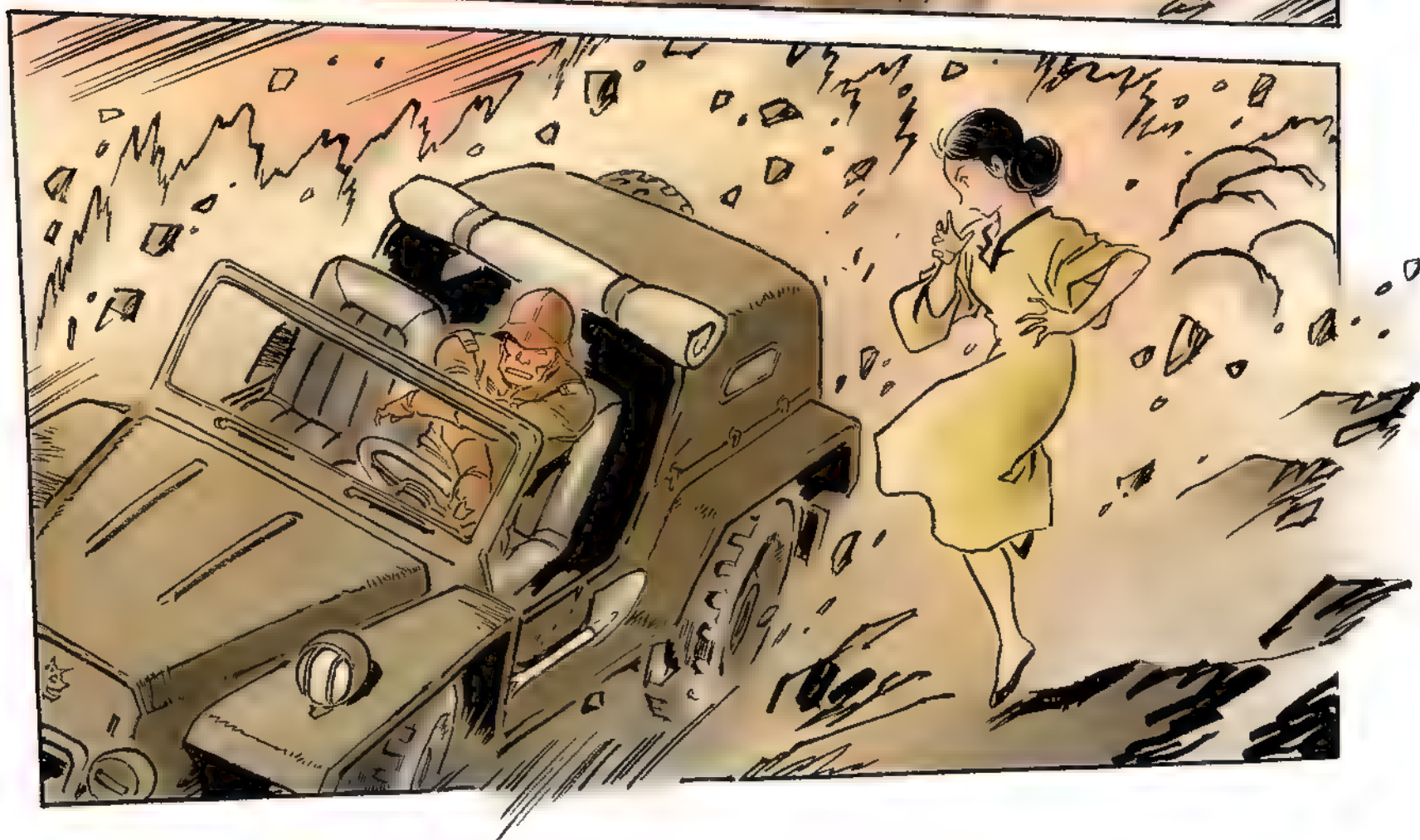
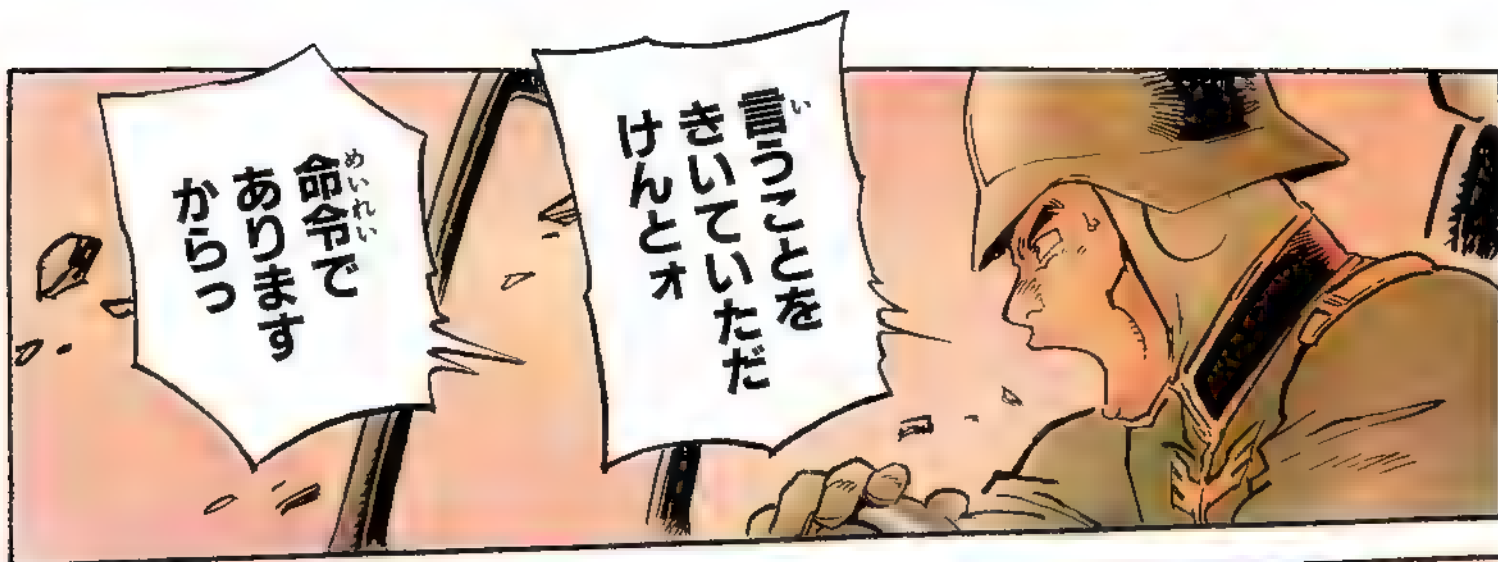




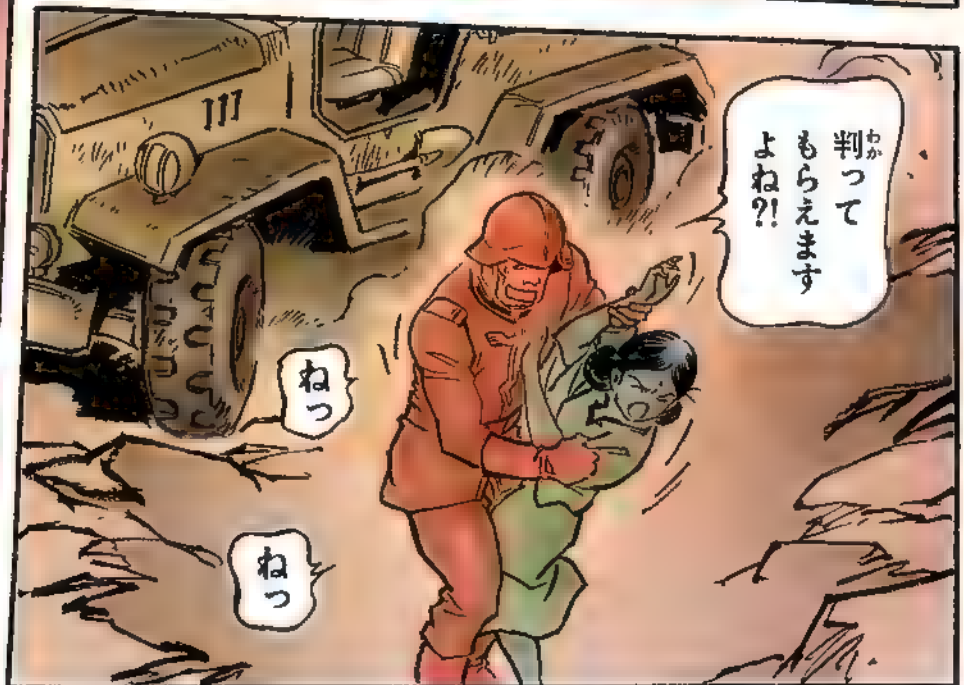
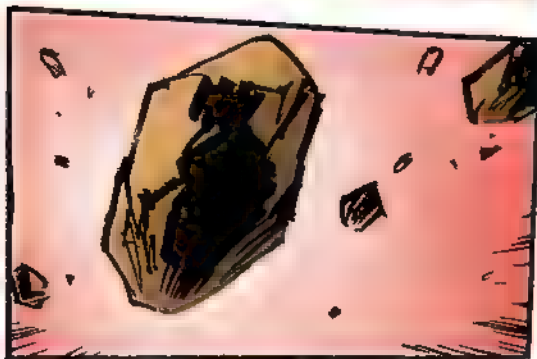
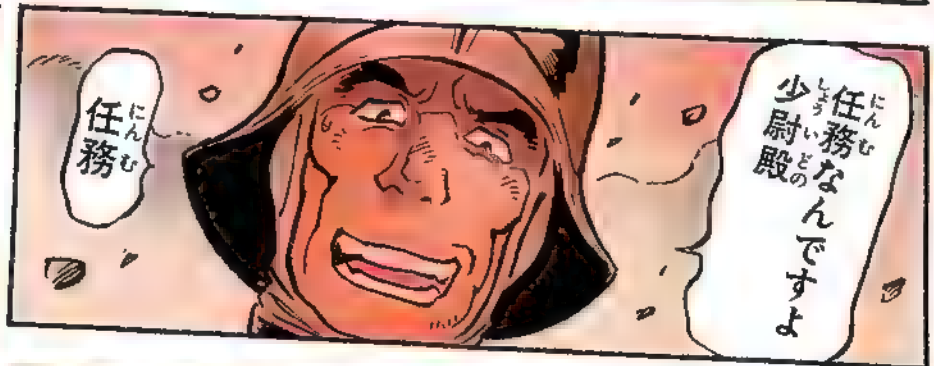
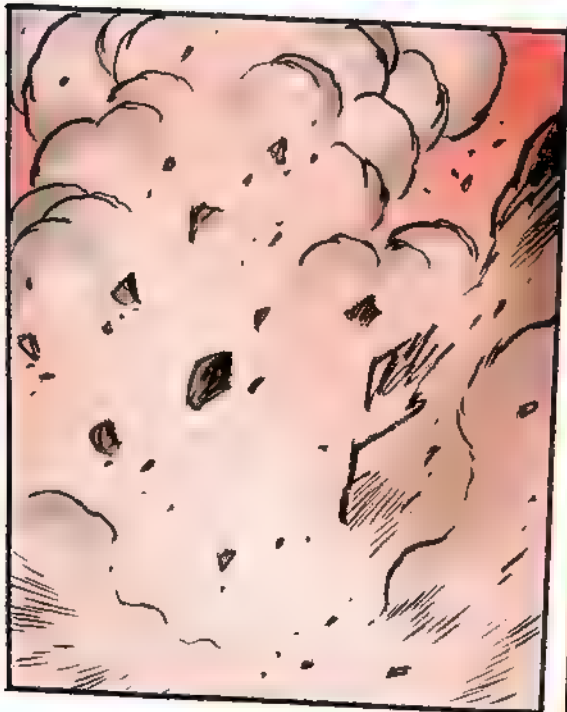




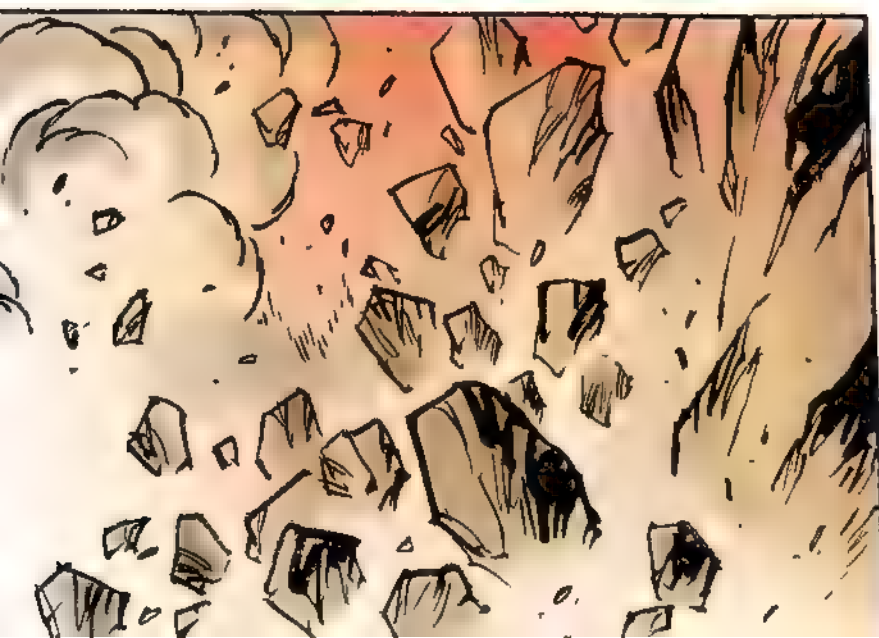
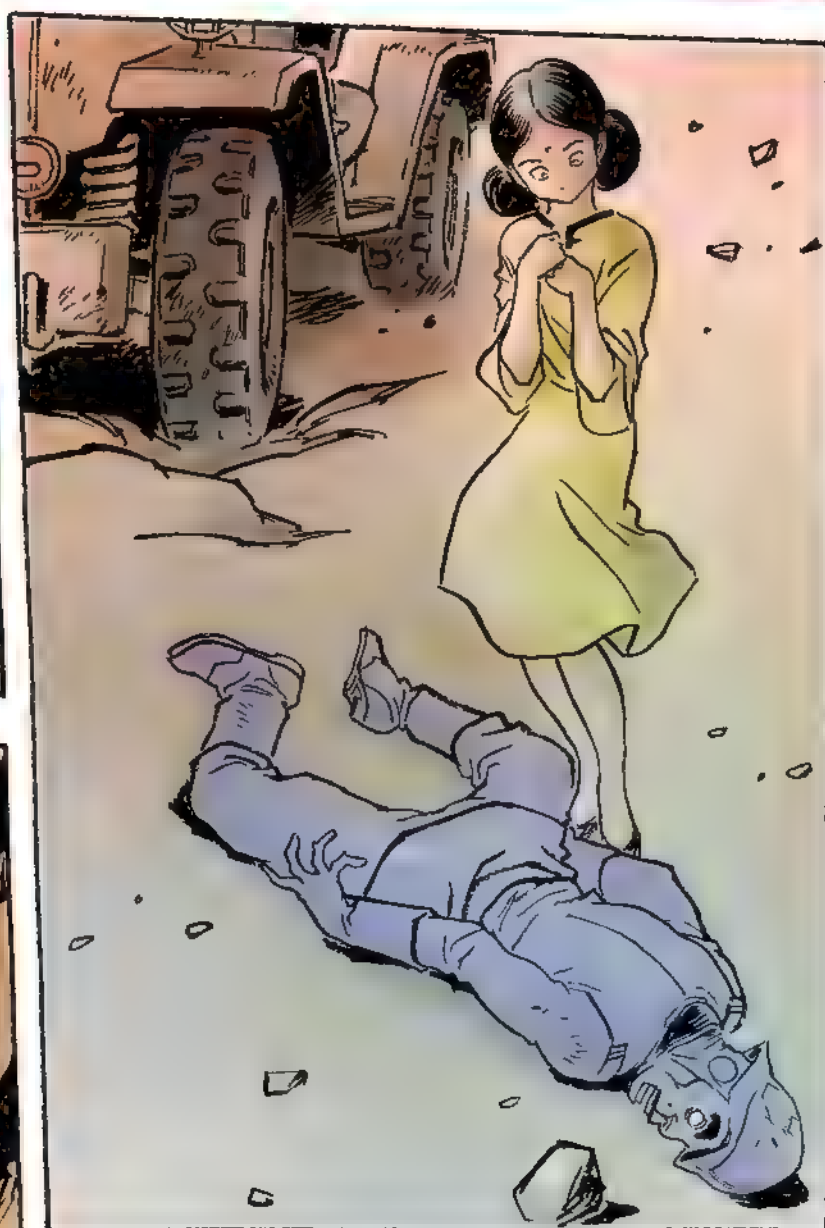
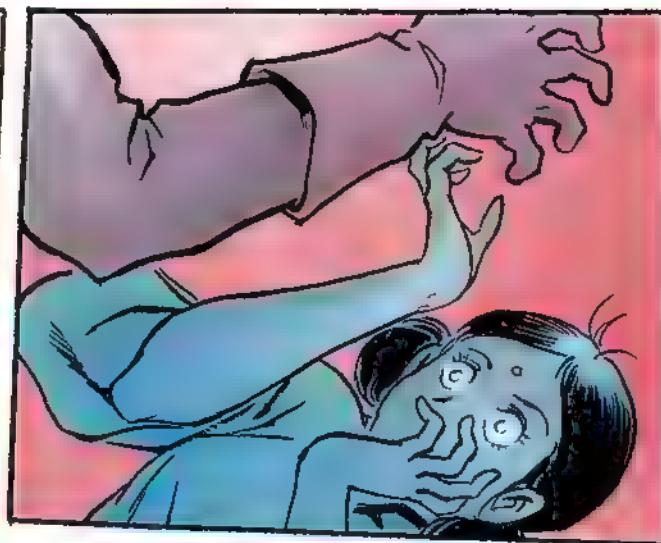
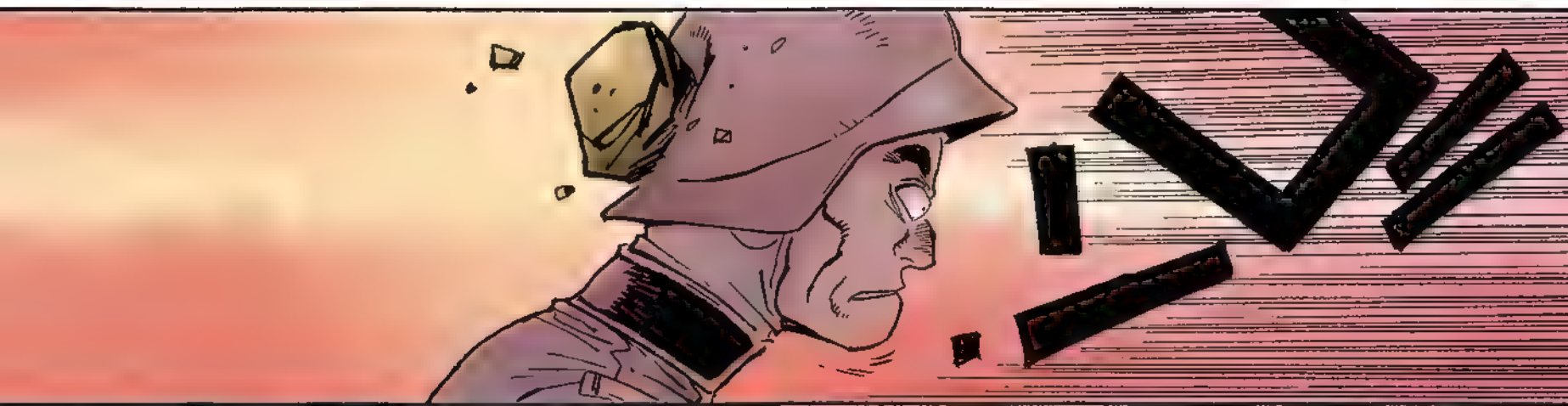




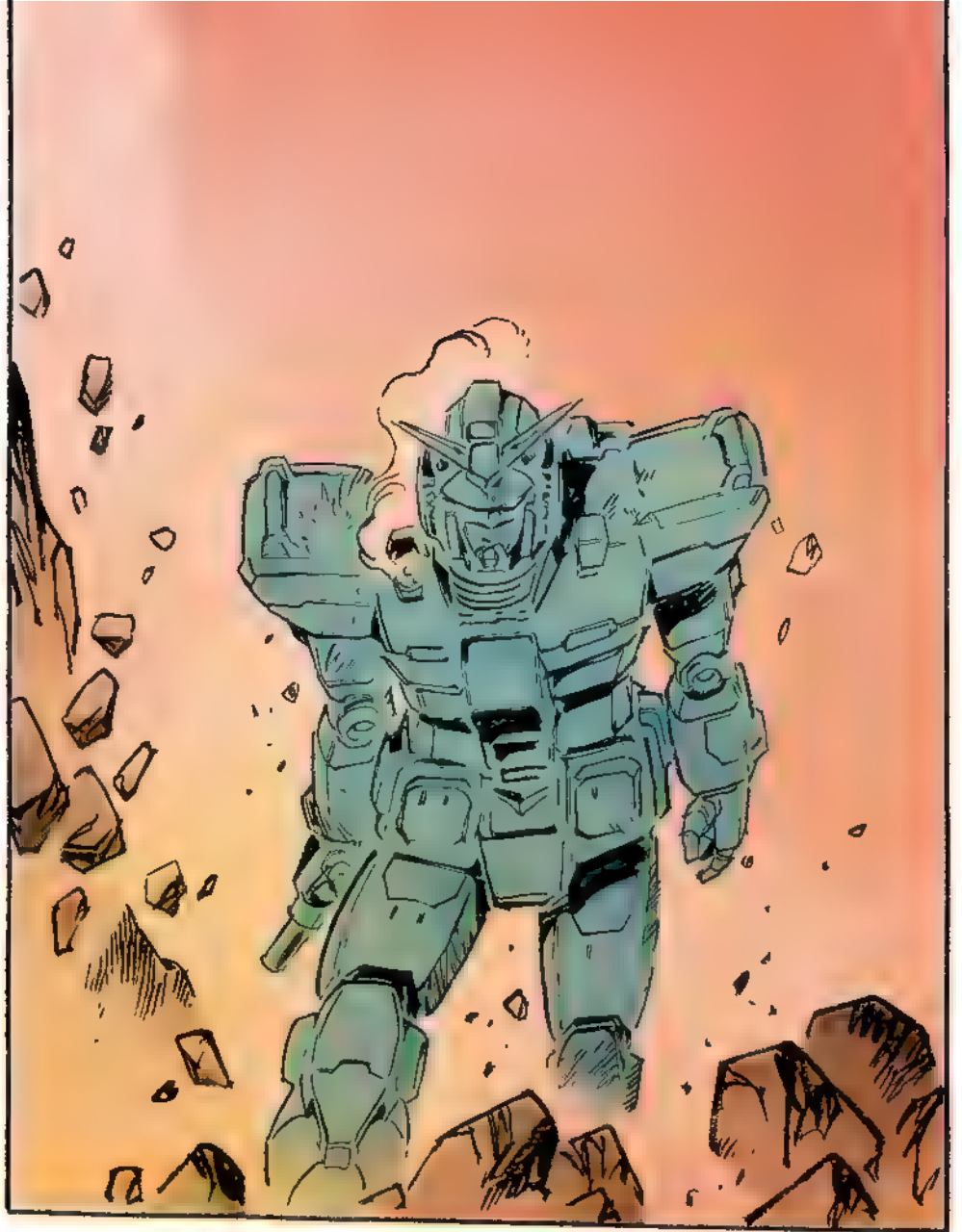
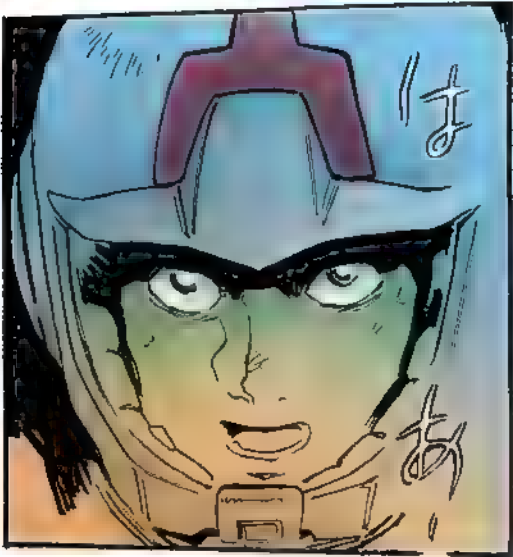
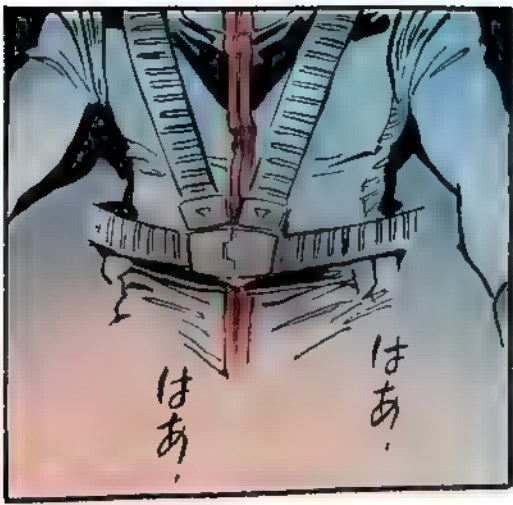




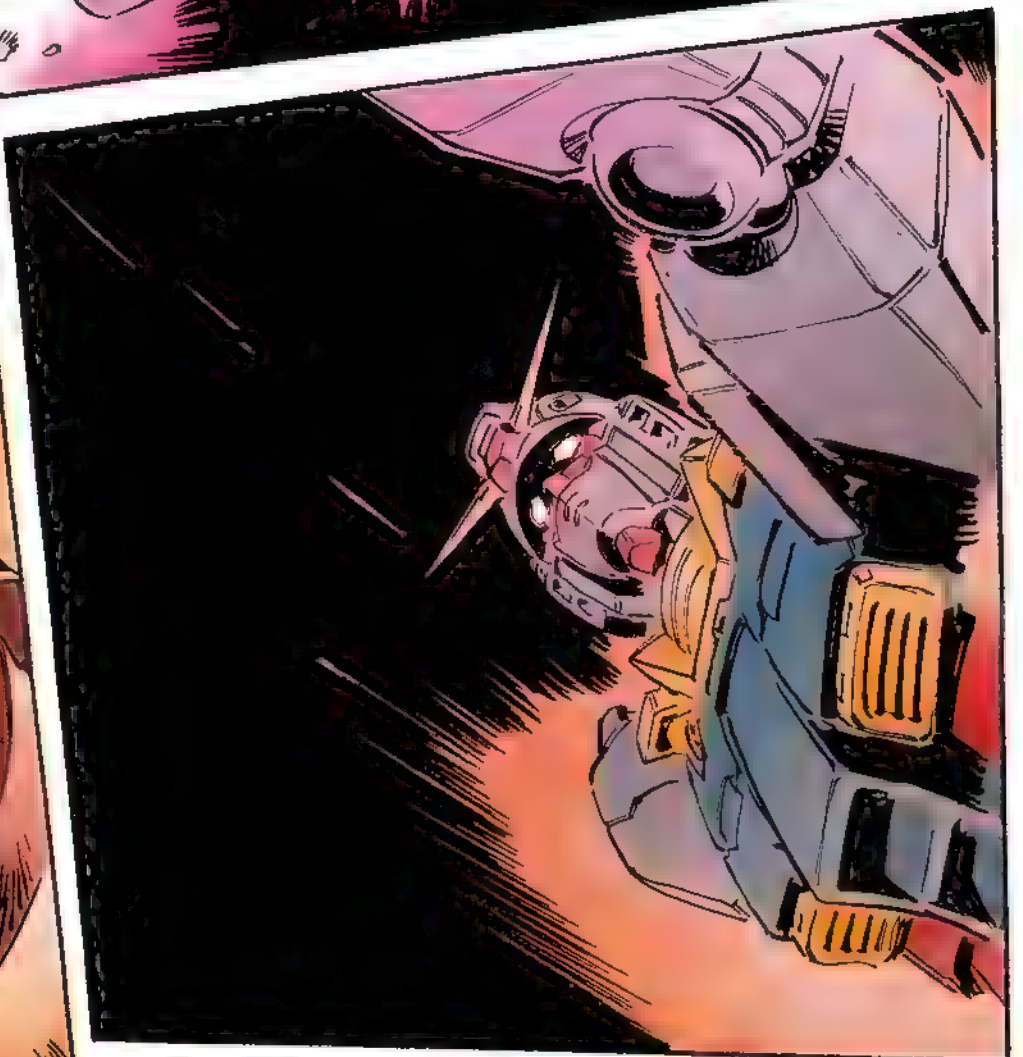
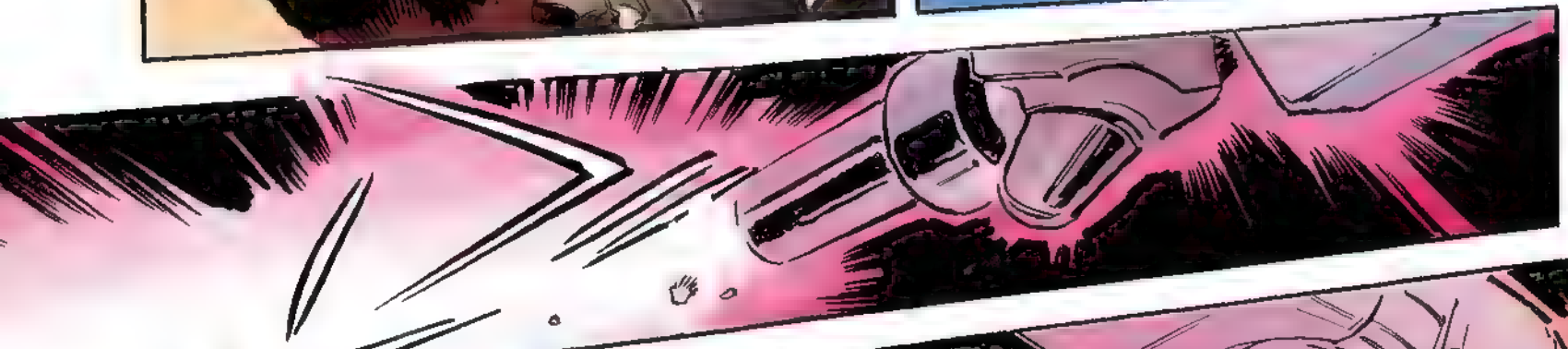
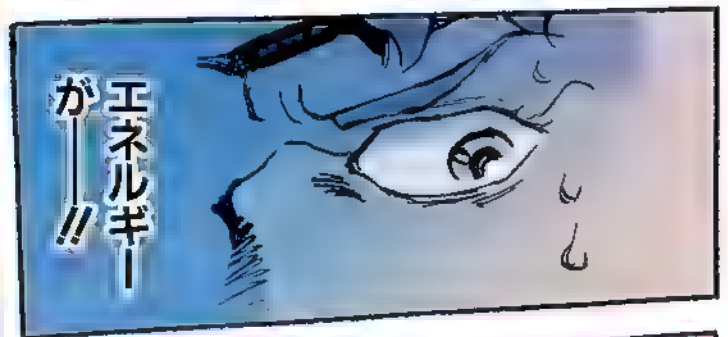
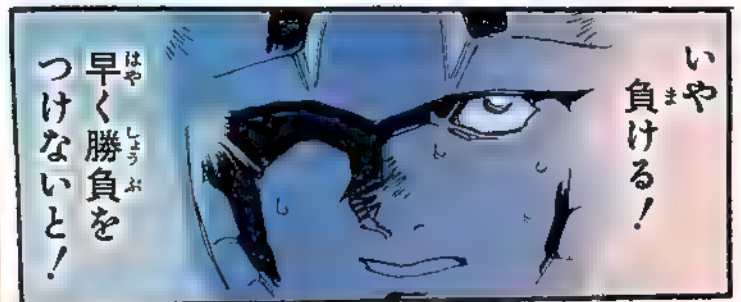
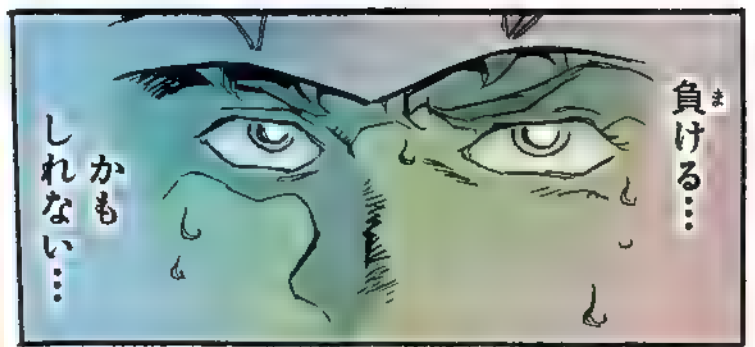
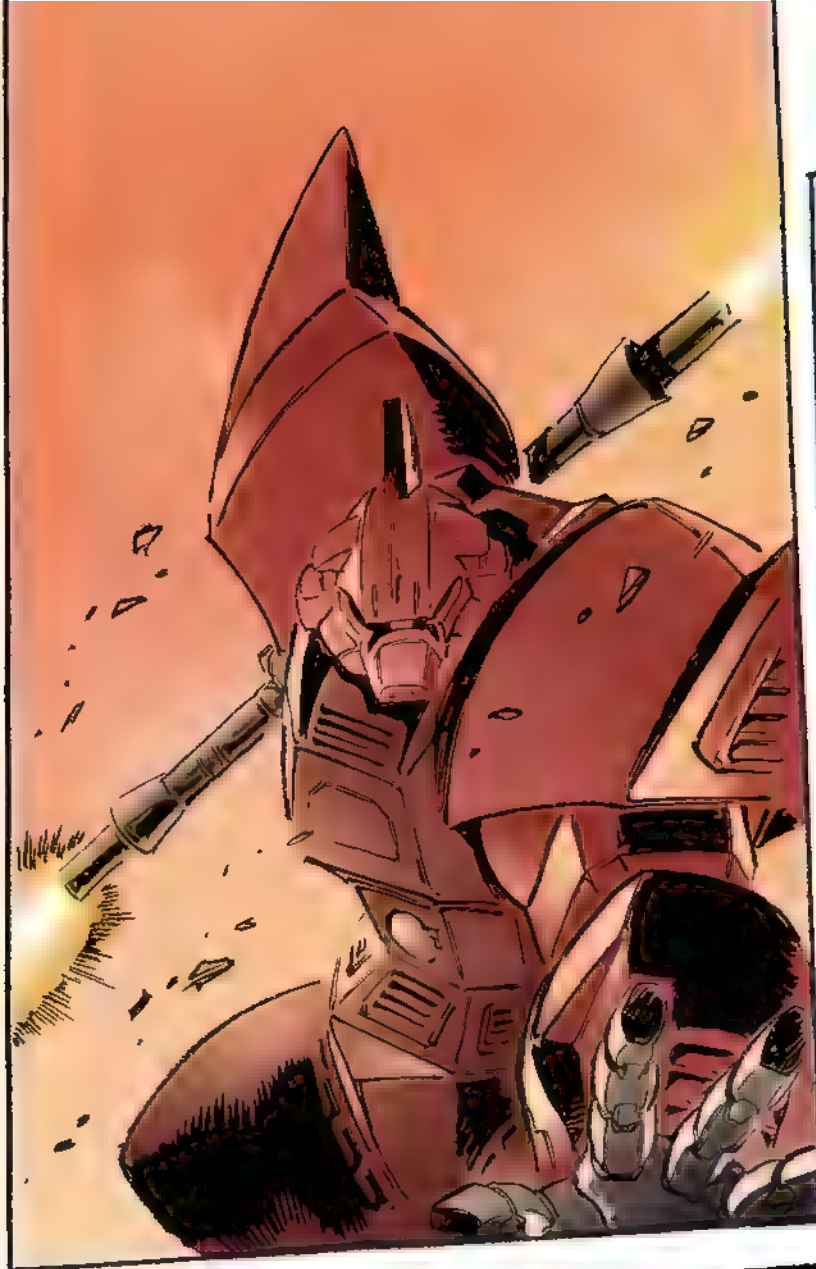




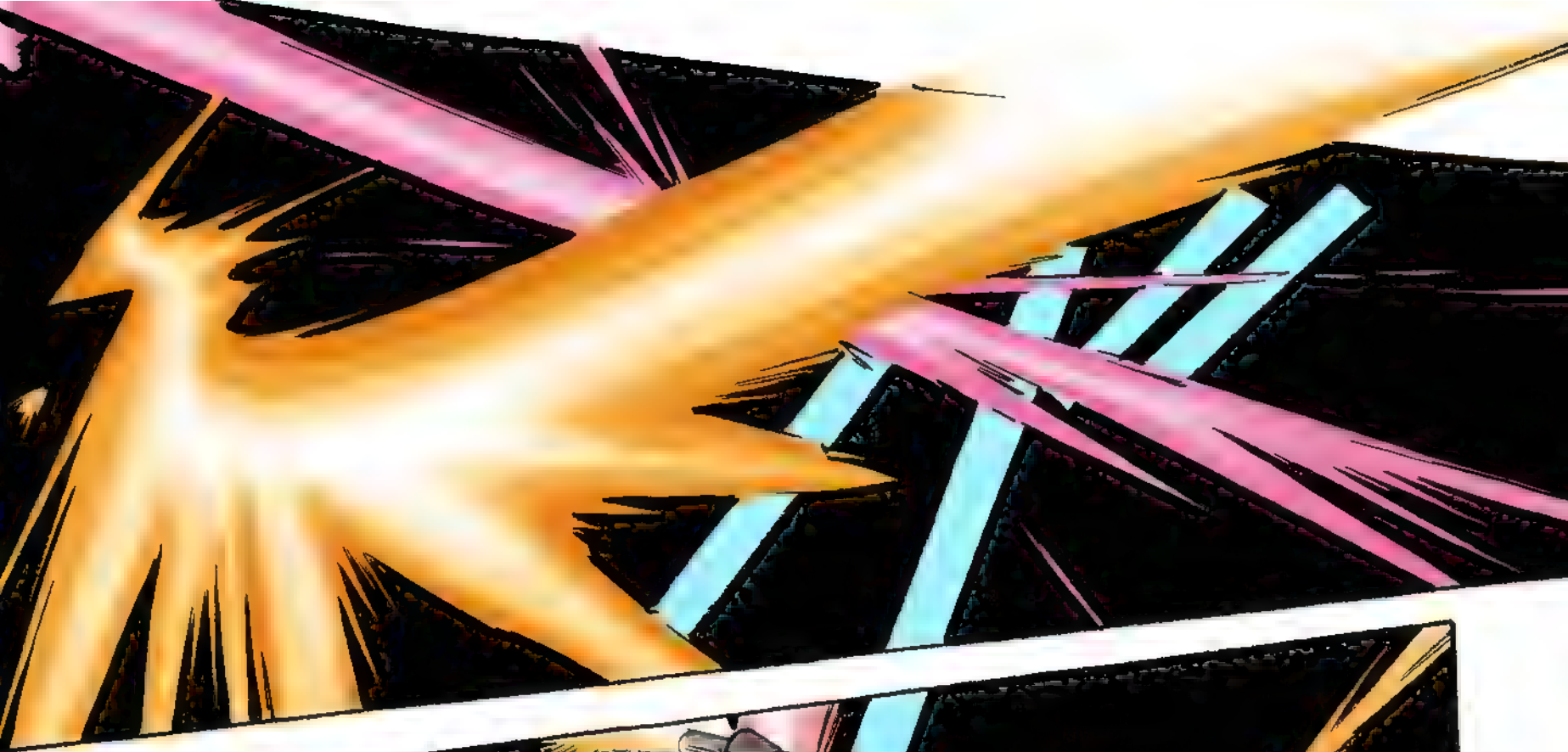




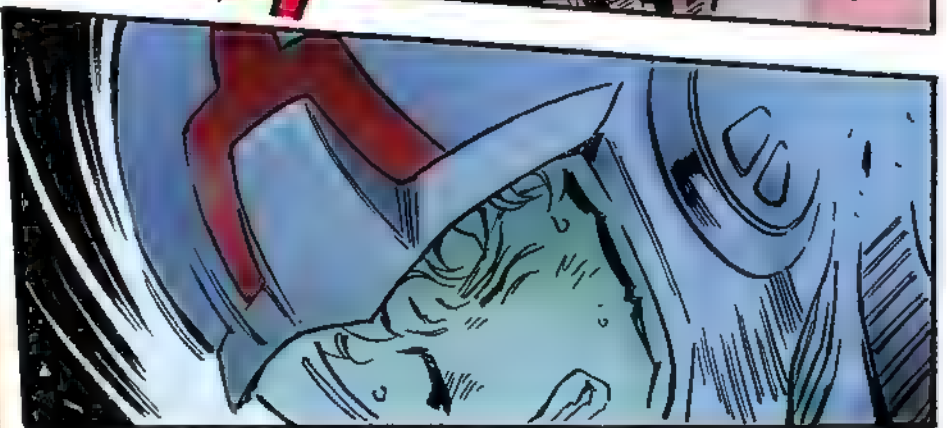
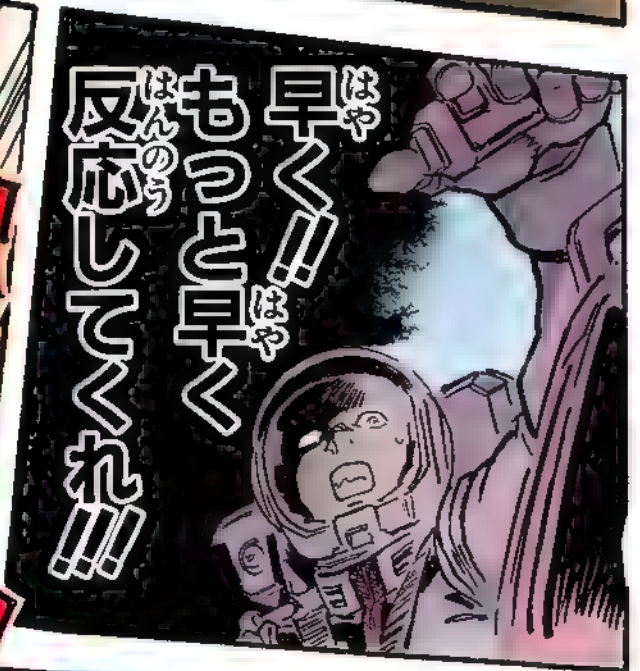
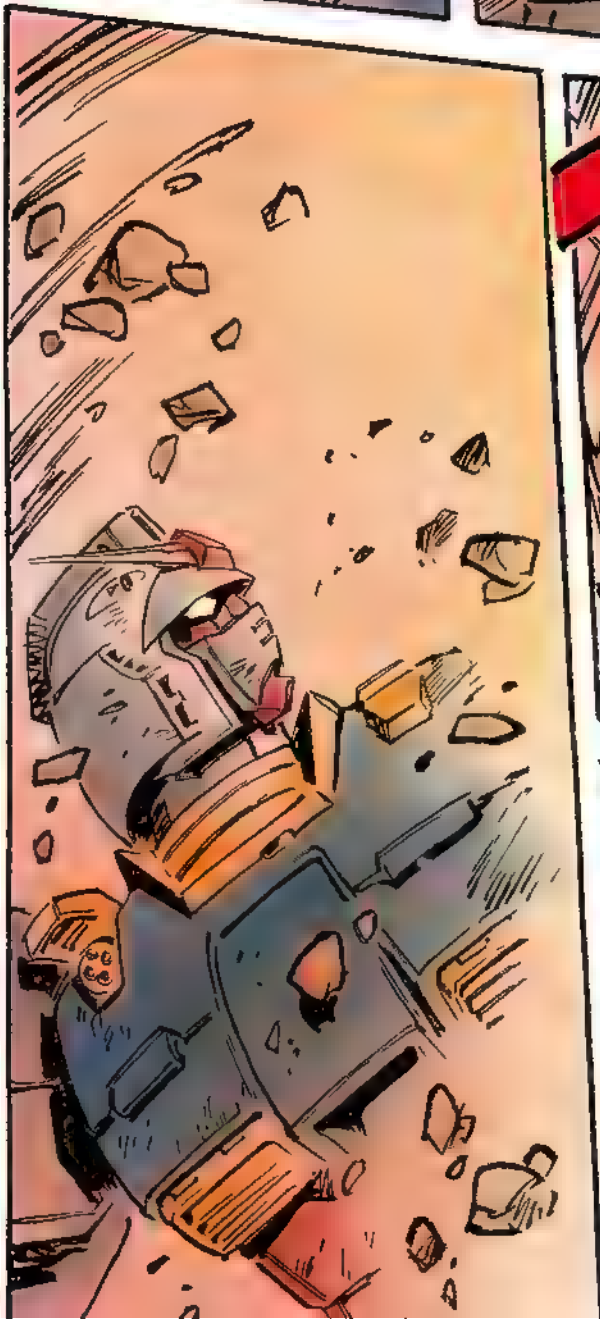
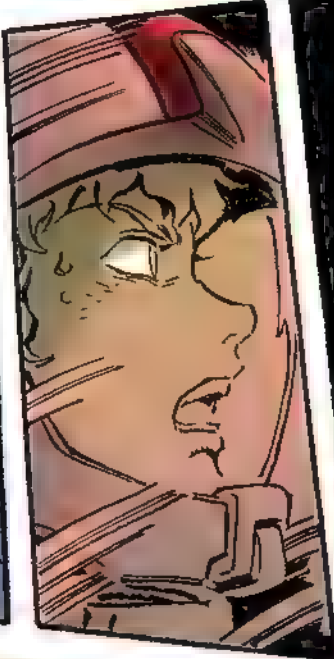
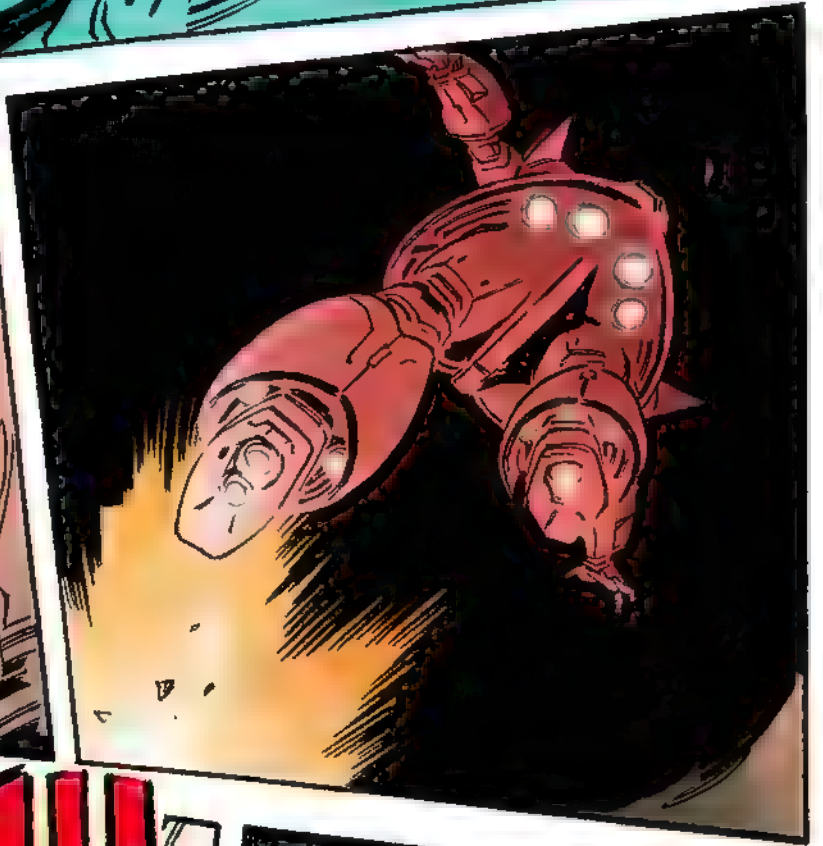
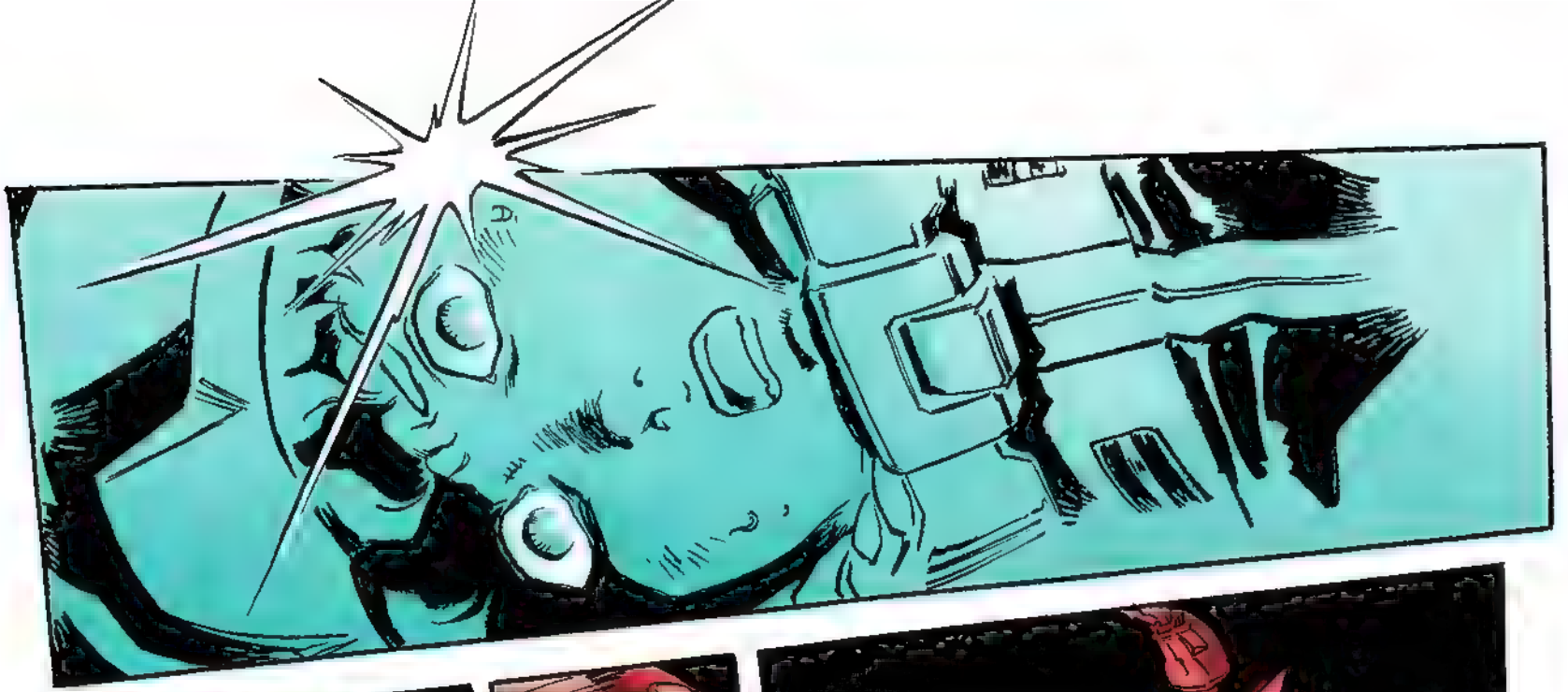




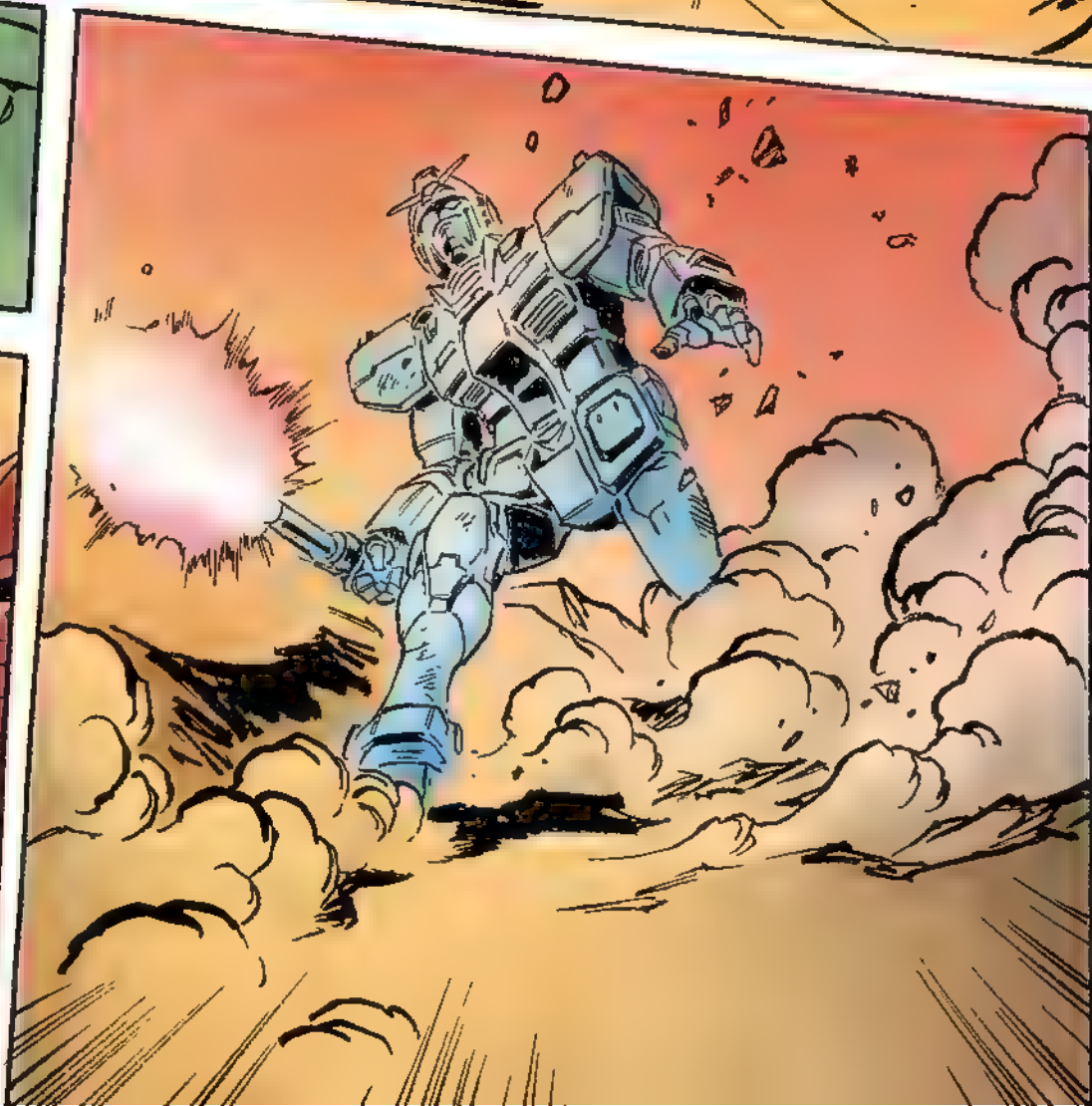
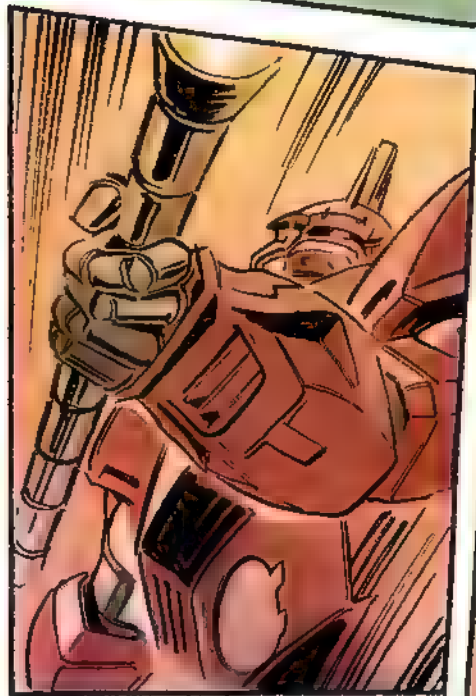
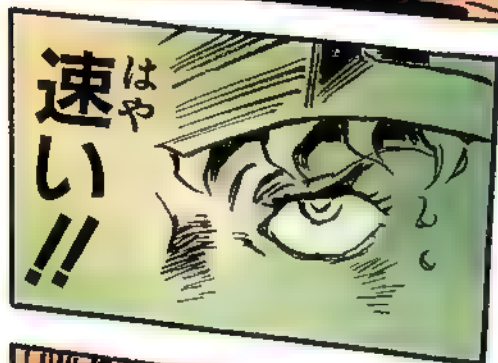
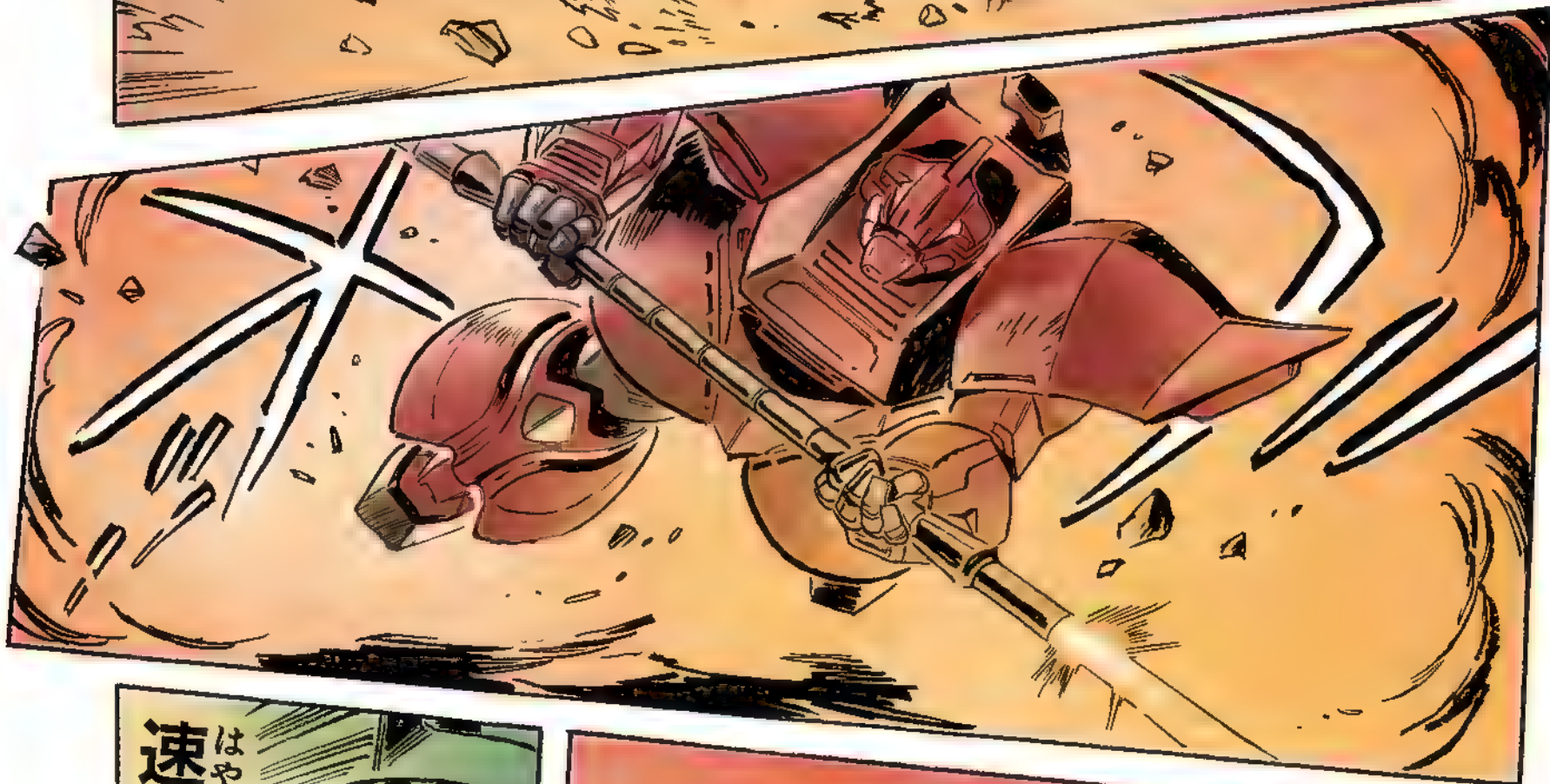
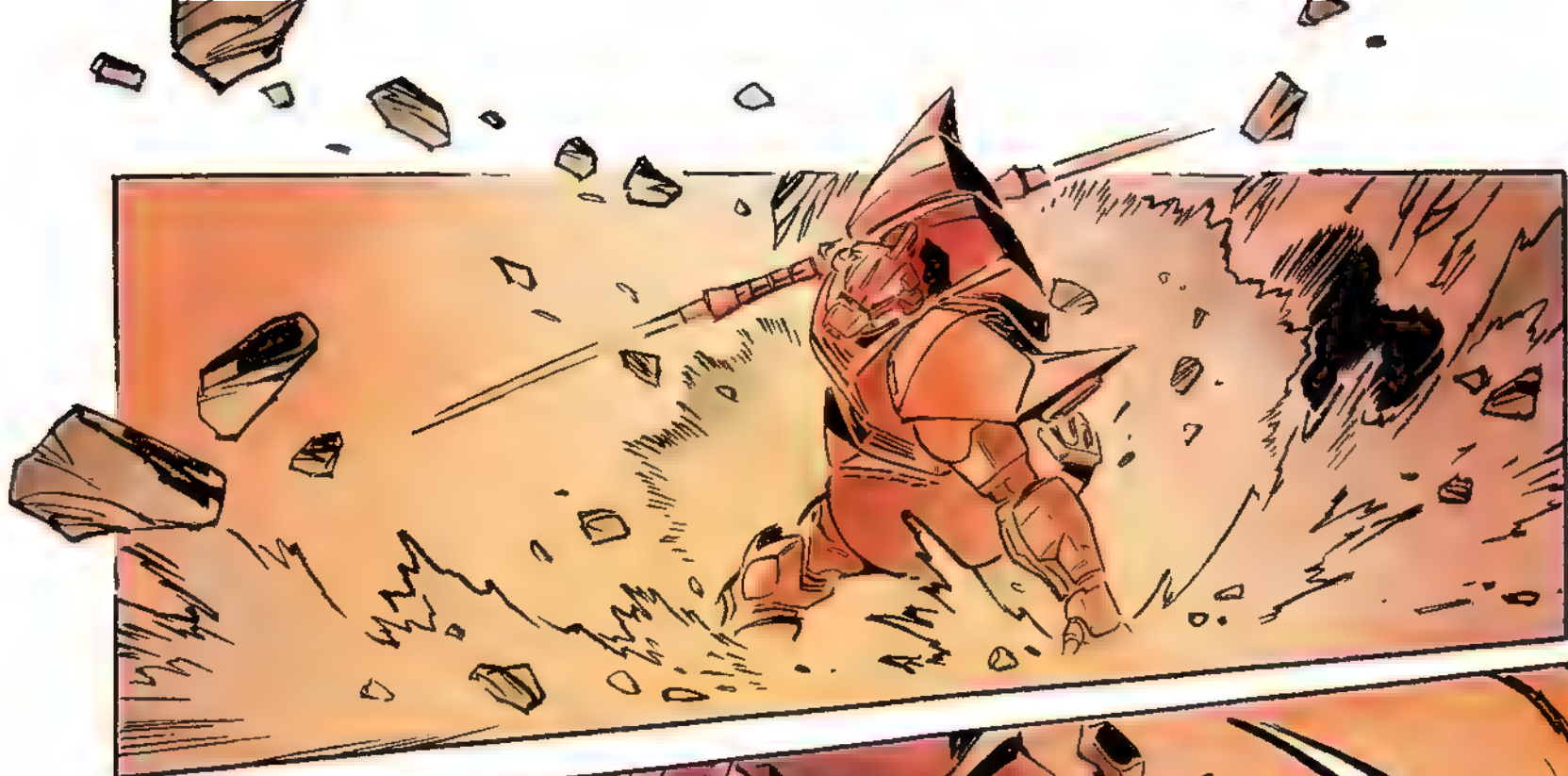




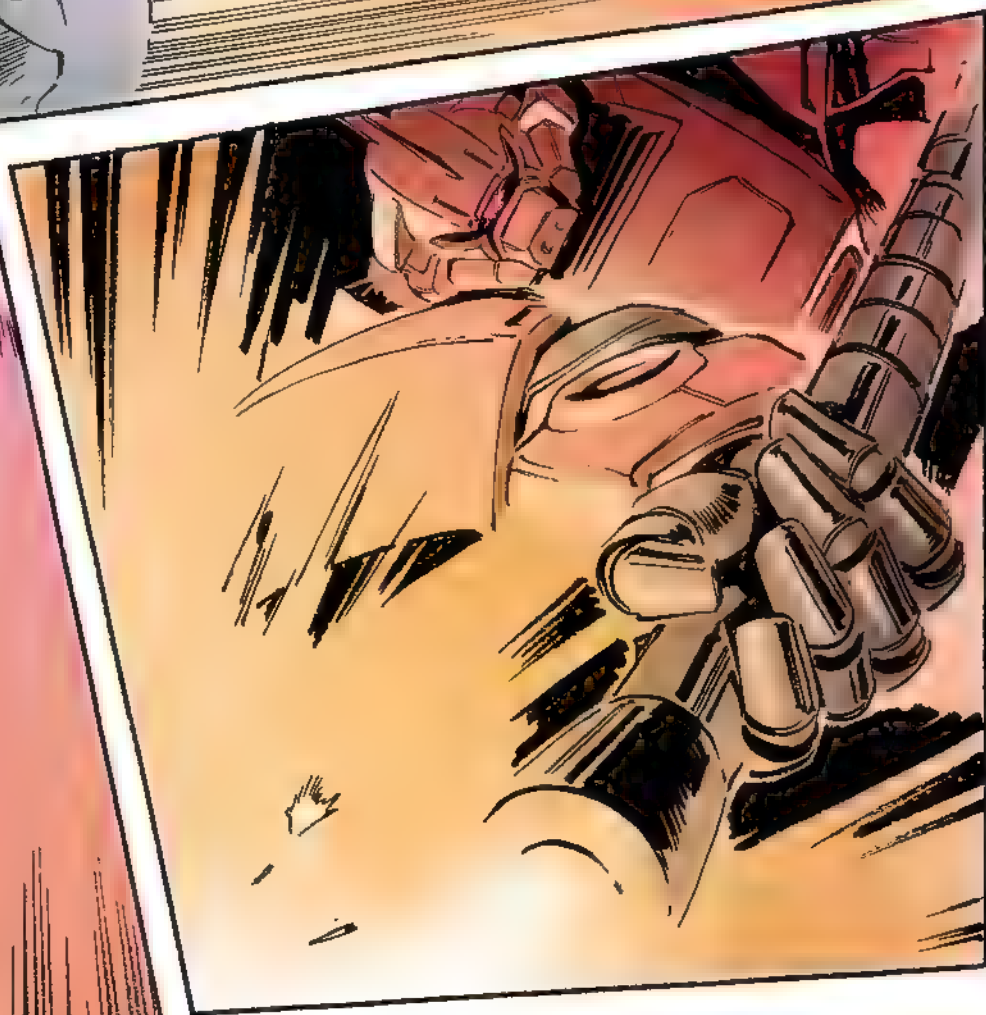
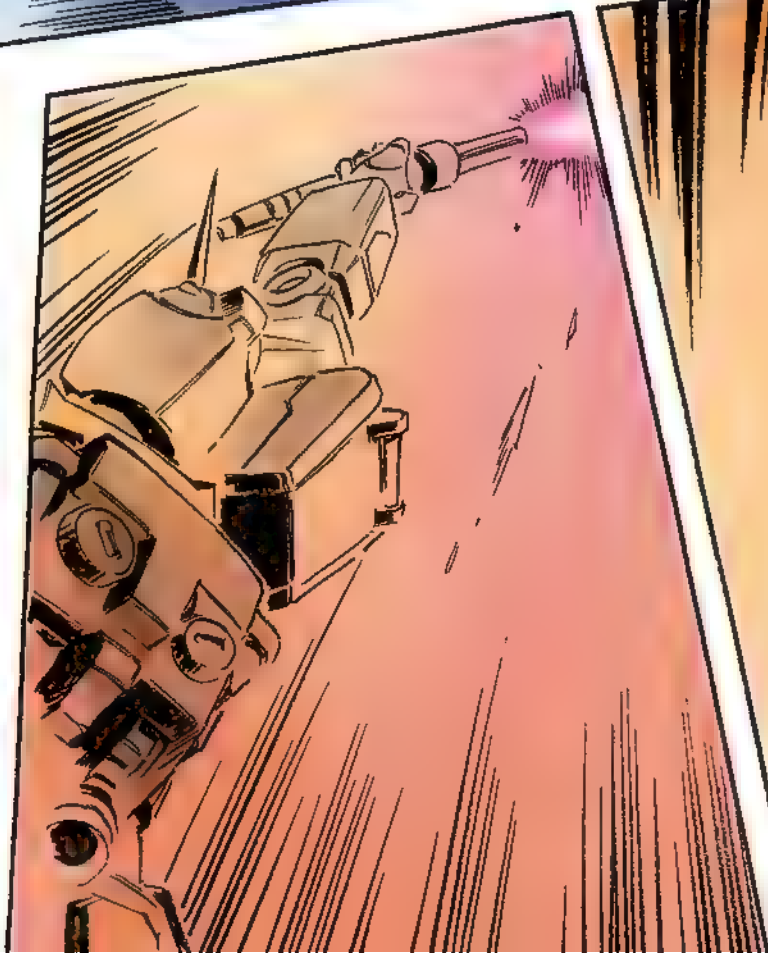
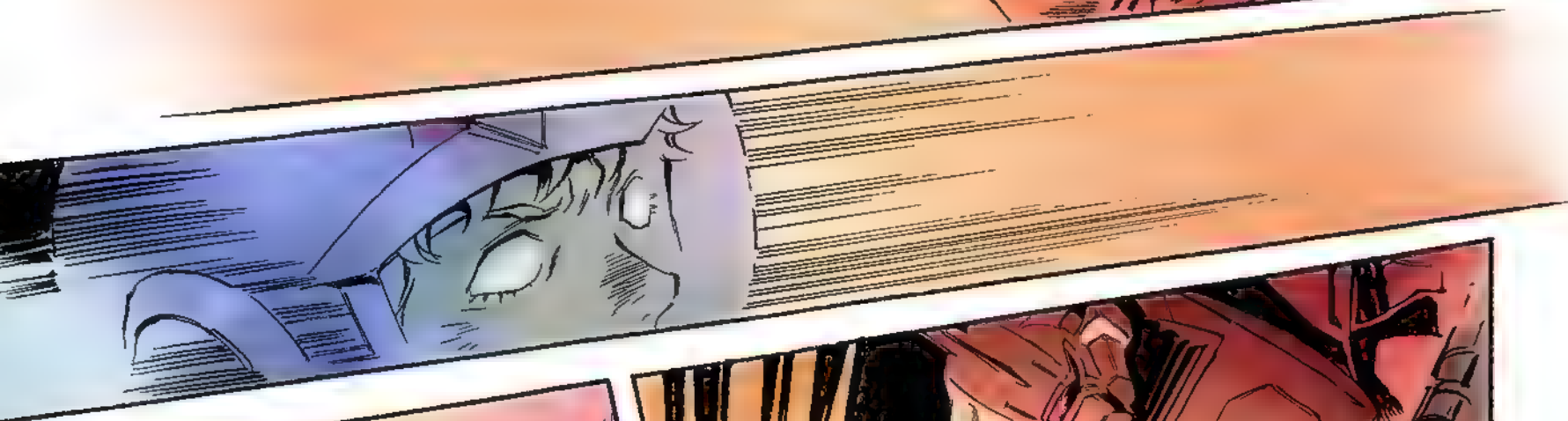
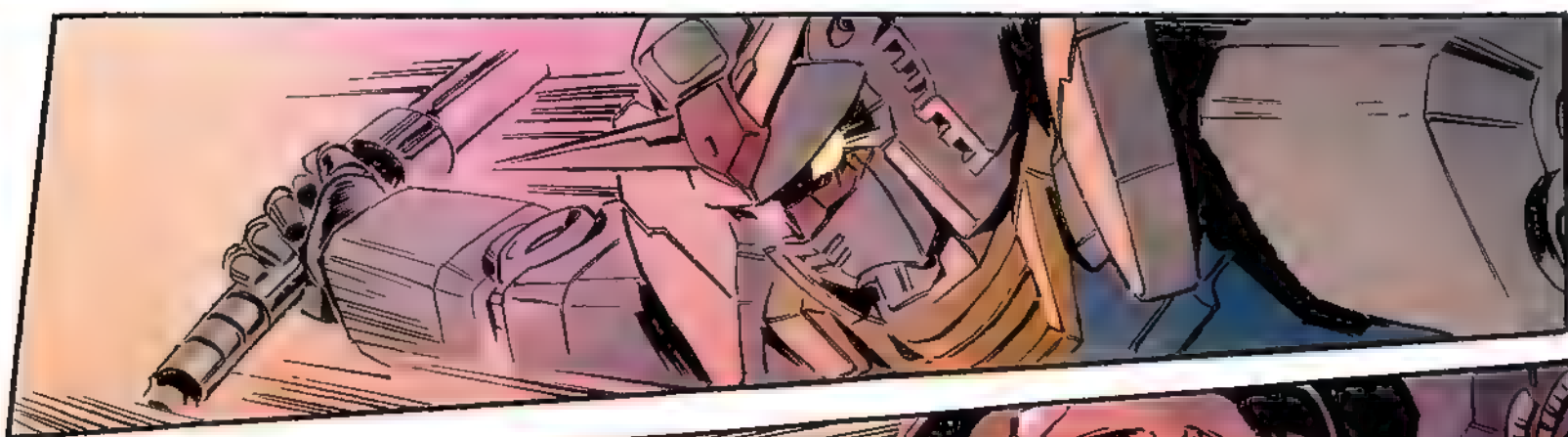
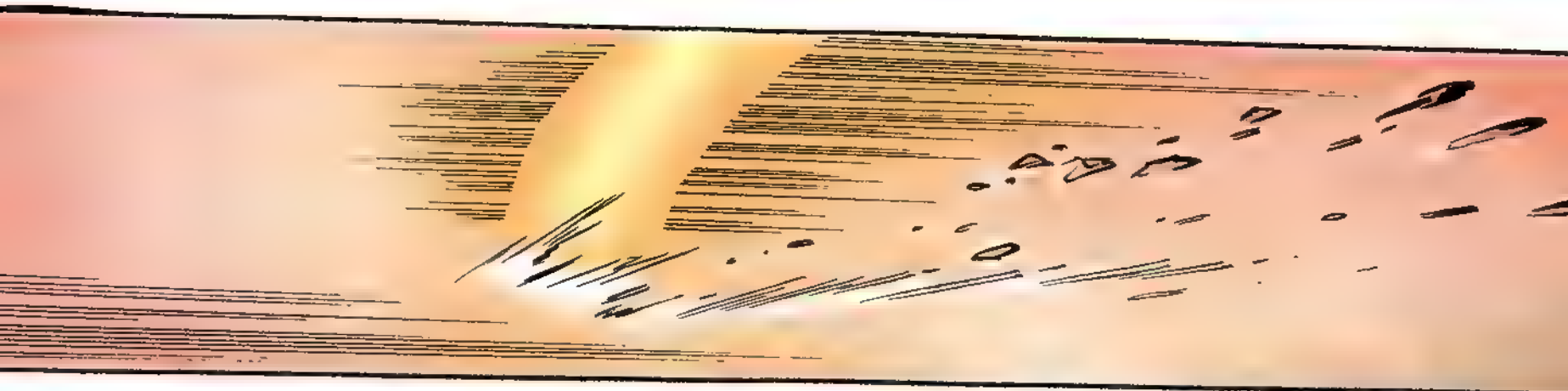




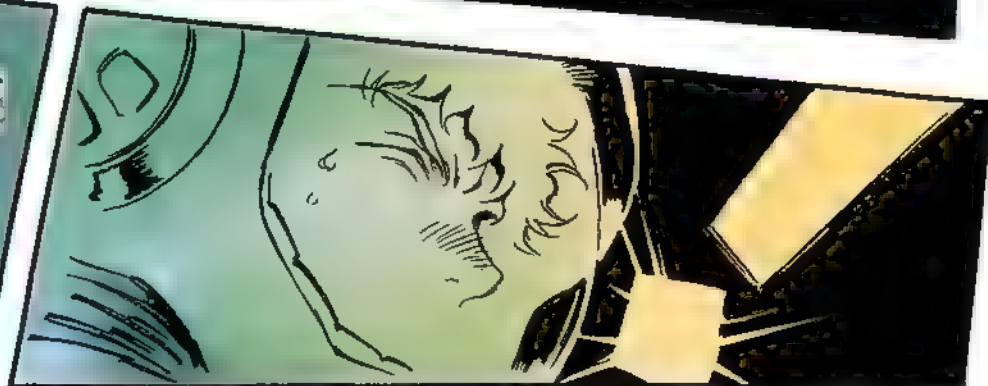
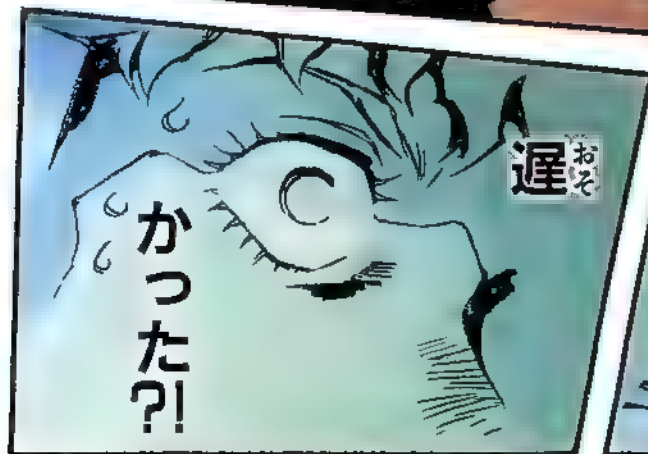




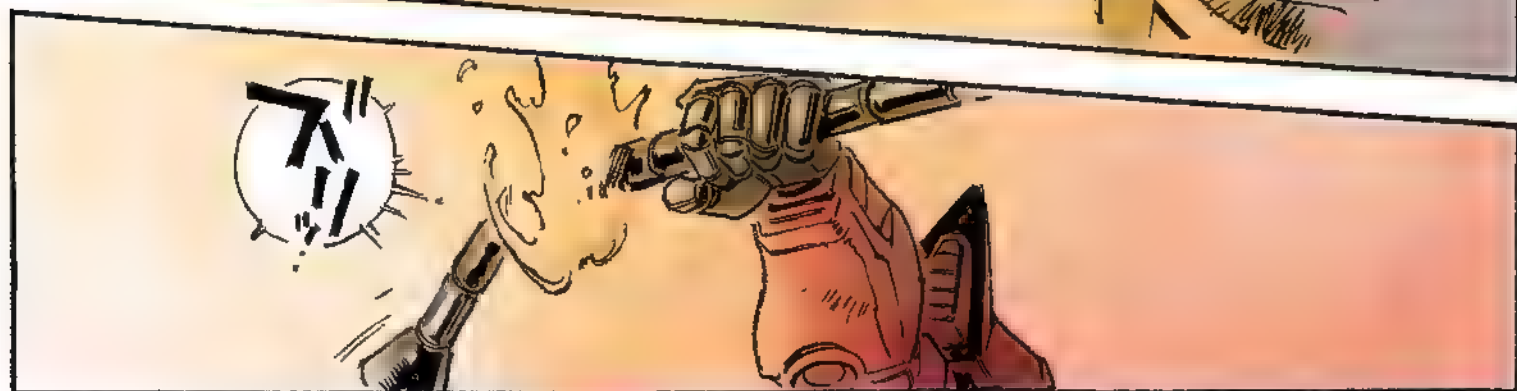
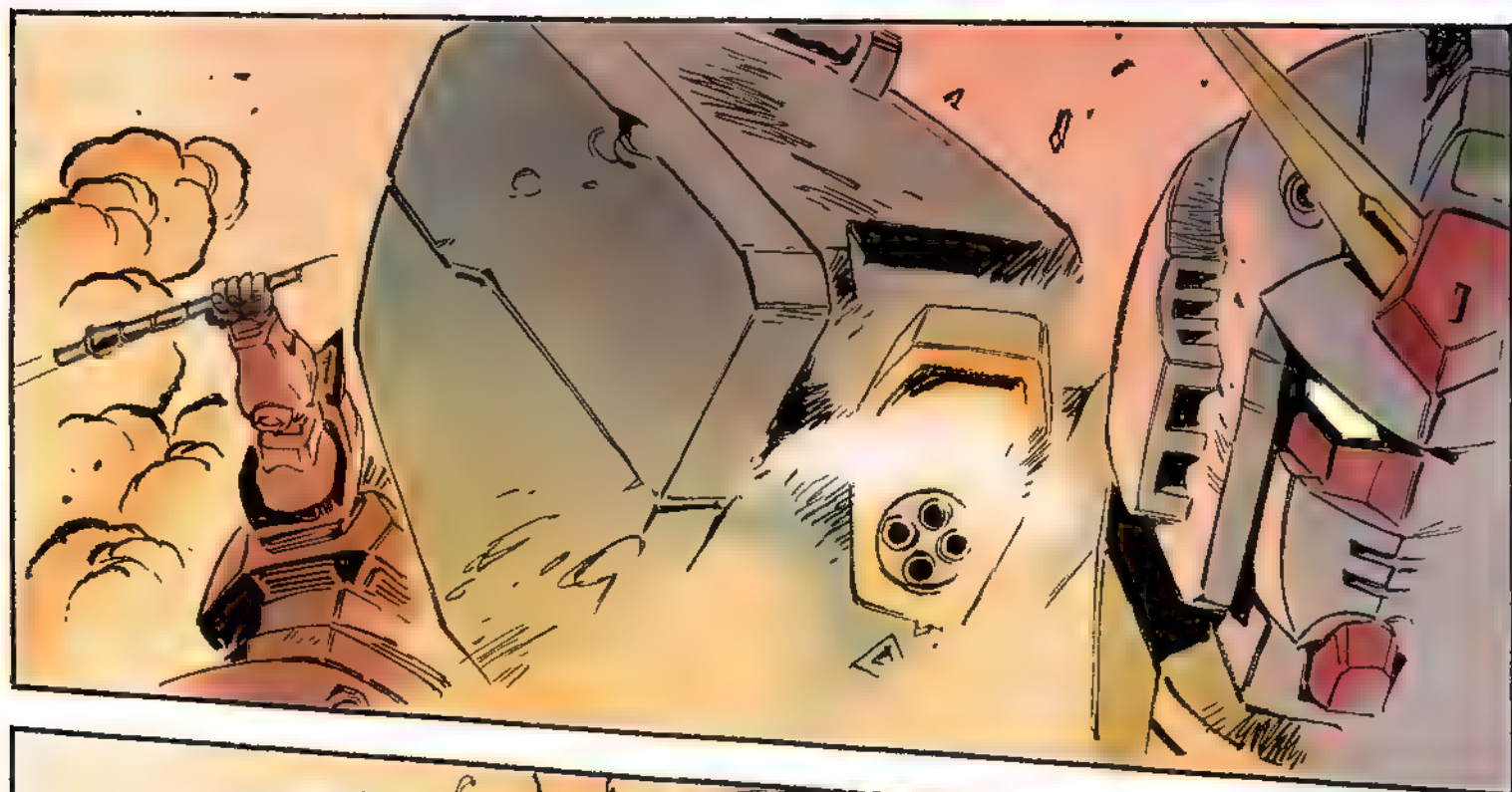
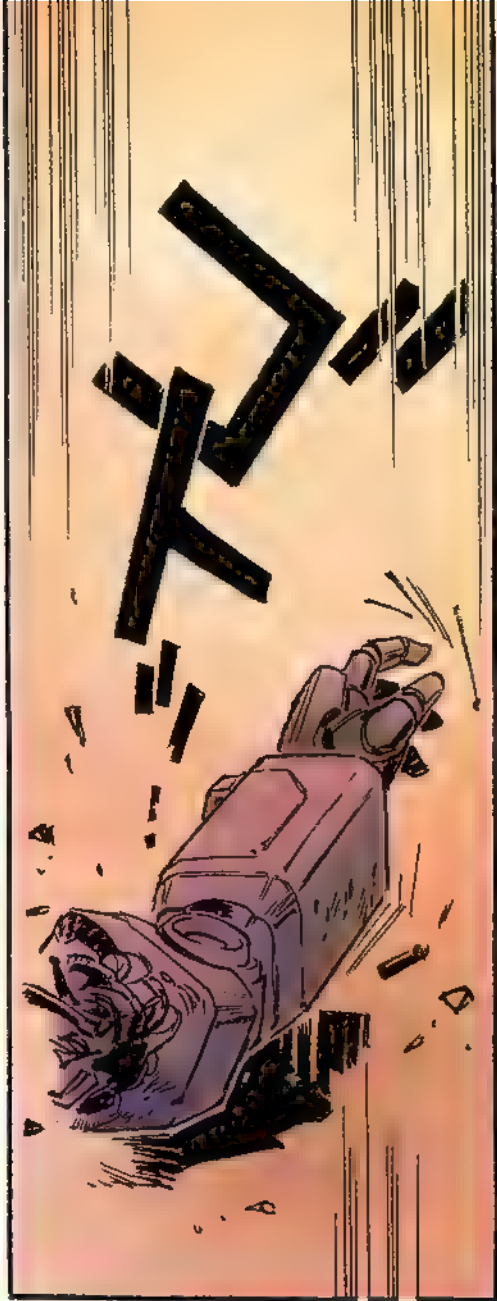




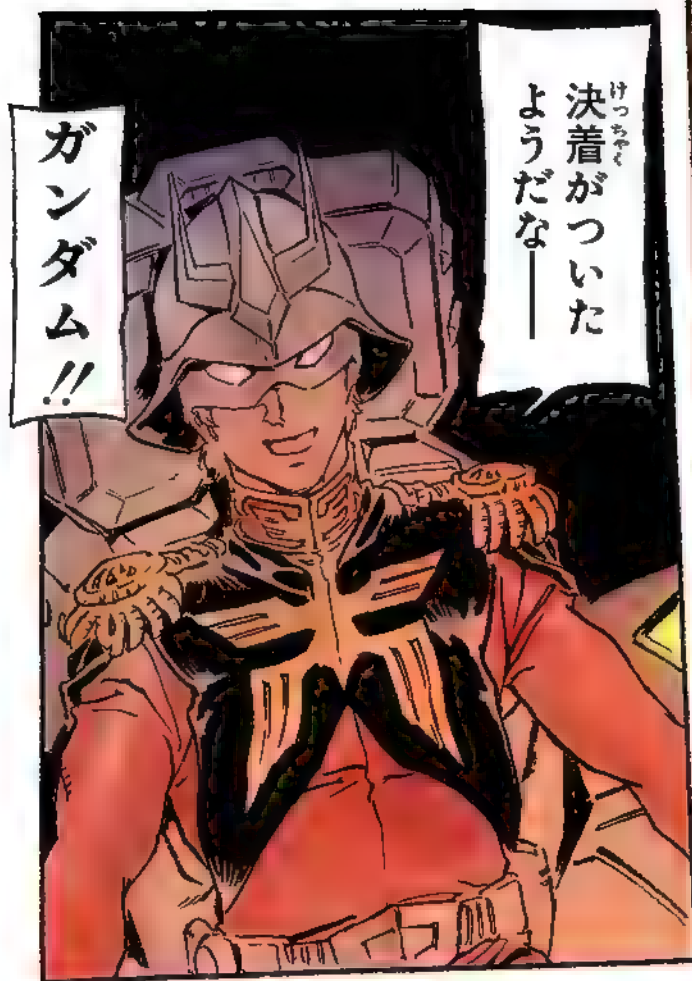
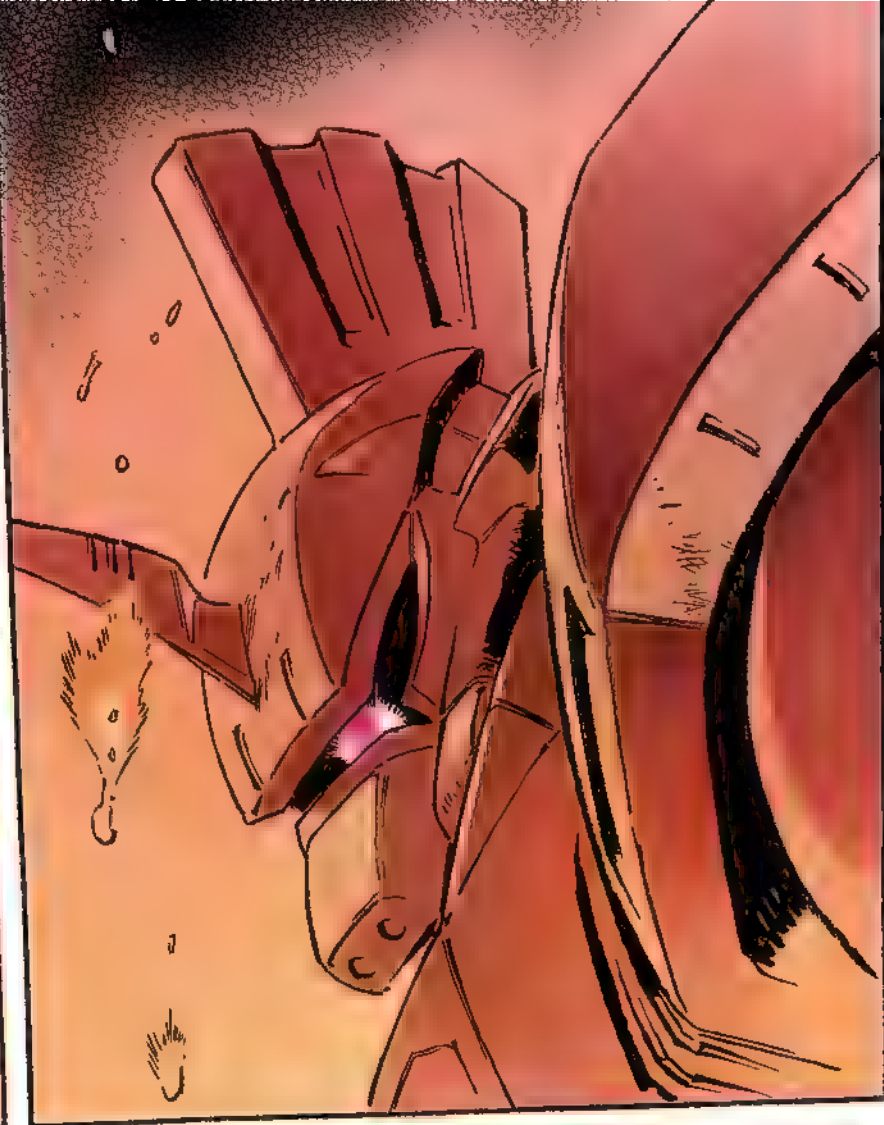






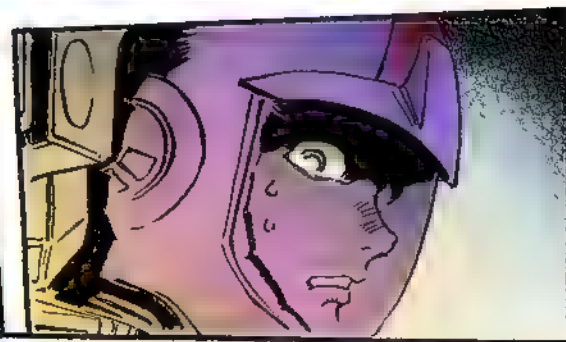






けつちやく  
決着がついた  
ようだな――

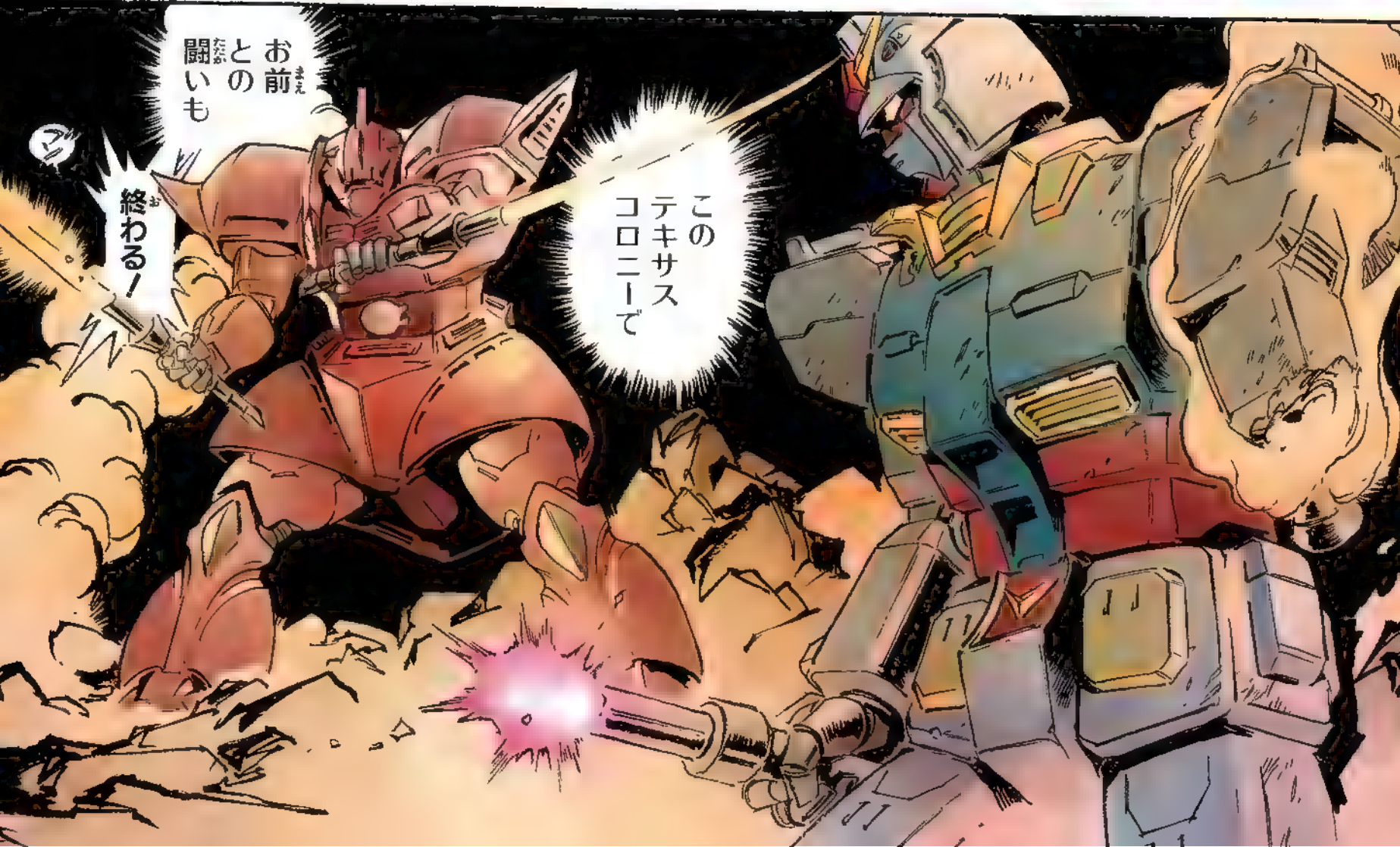
ガンダム!!



ようやく



さいごの  
最期の  
ときだ

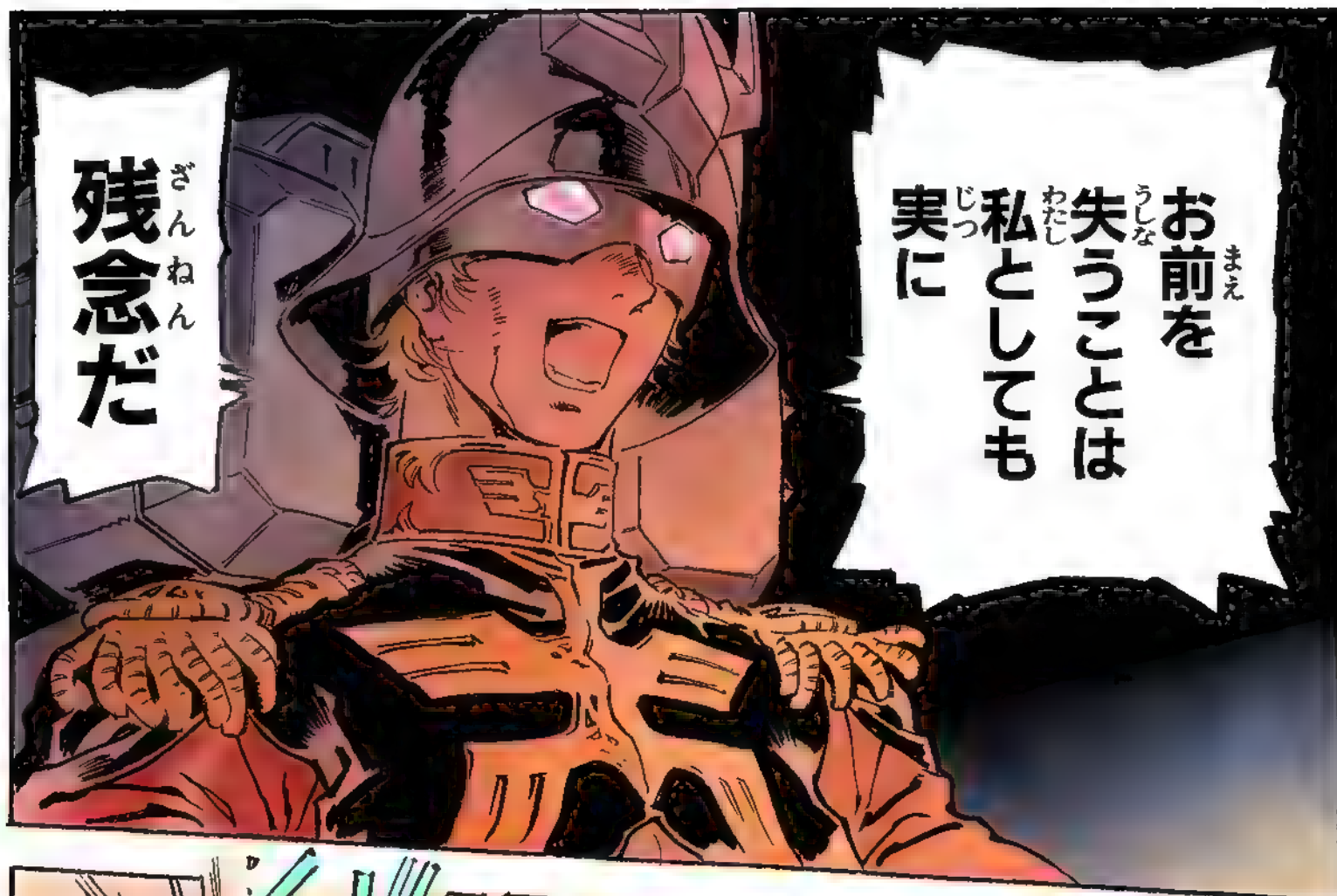


この  
テキサス  
コロニーで

お前の  
との  
闘いも

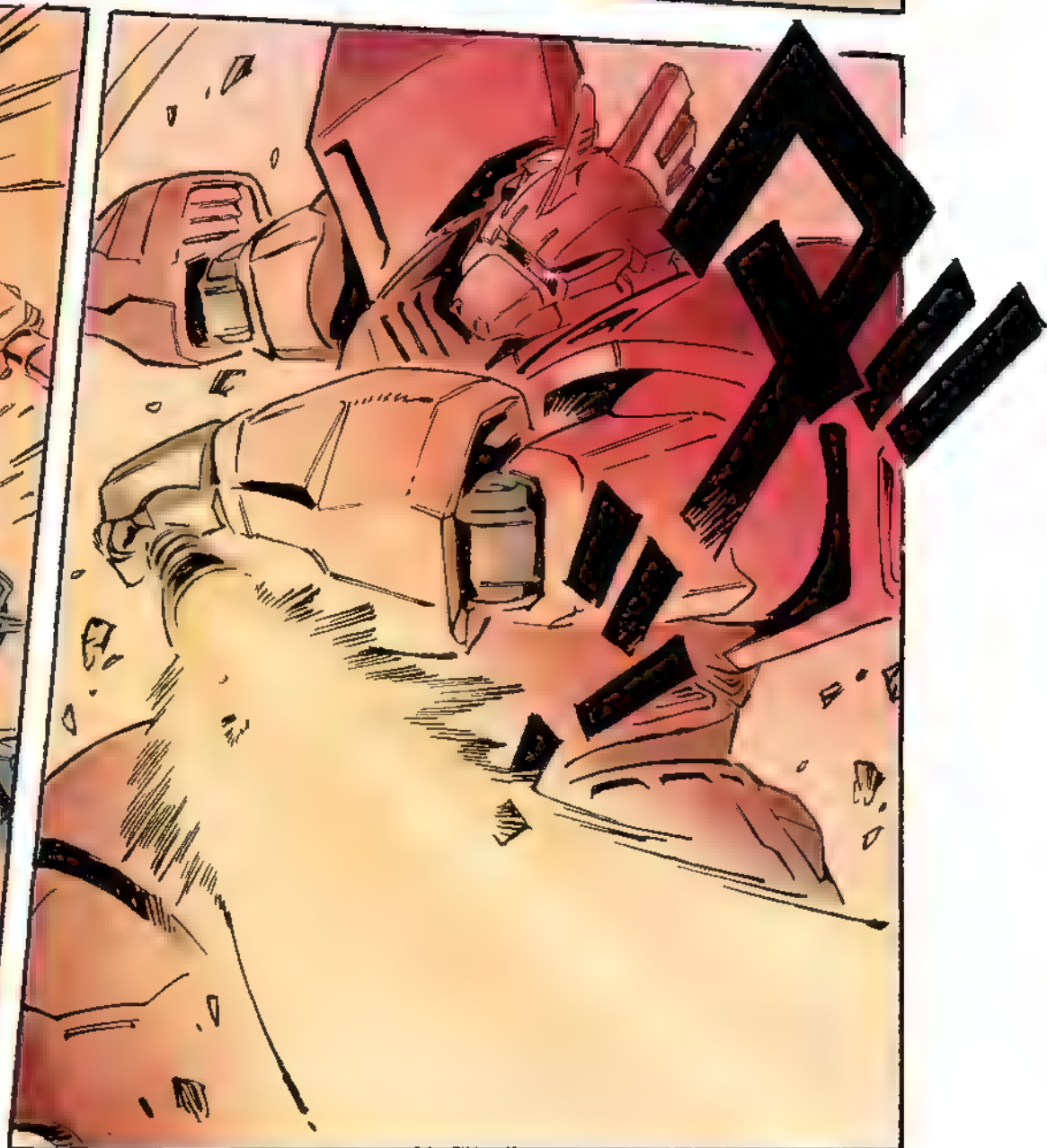
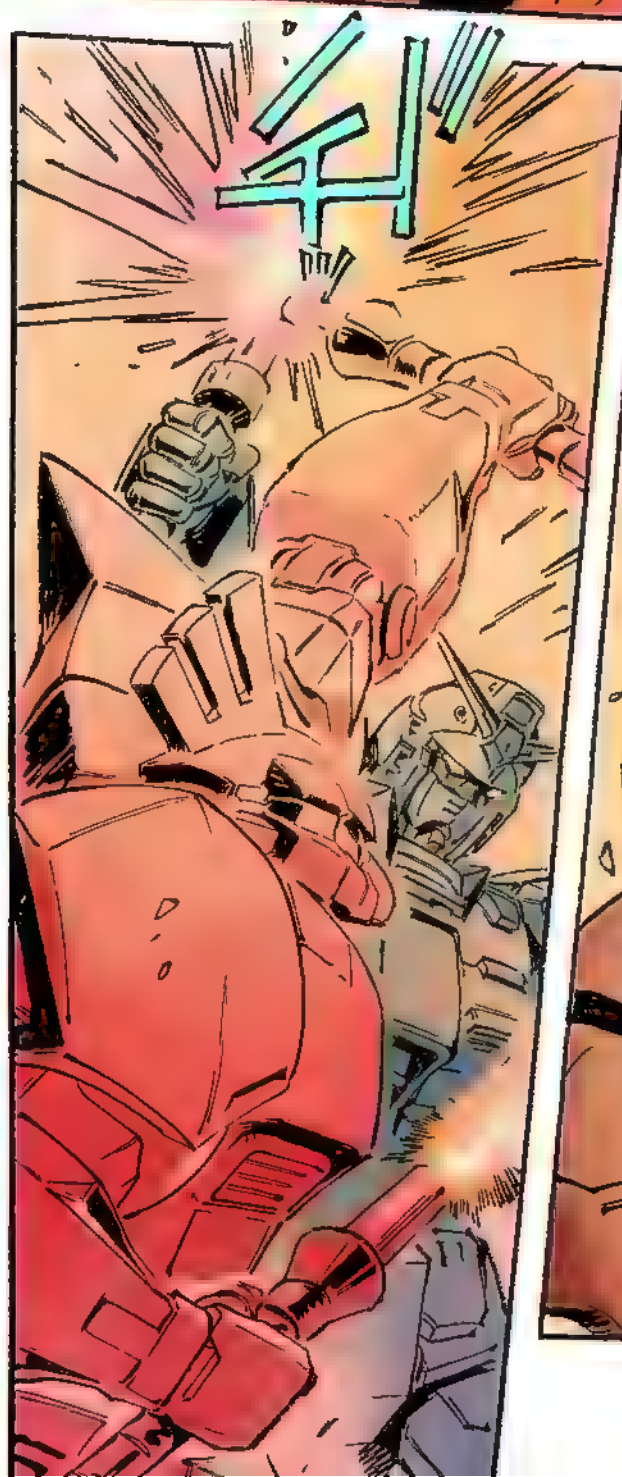
お  
終わる!





お前を  
失うことは  
私としても  
実に

残念だ

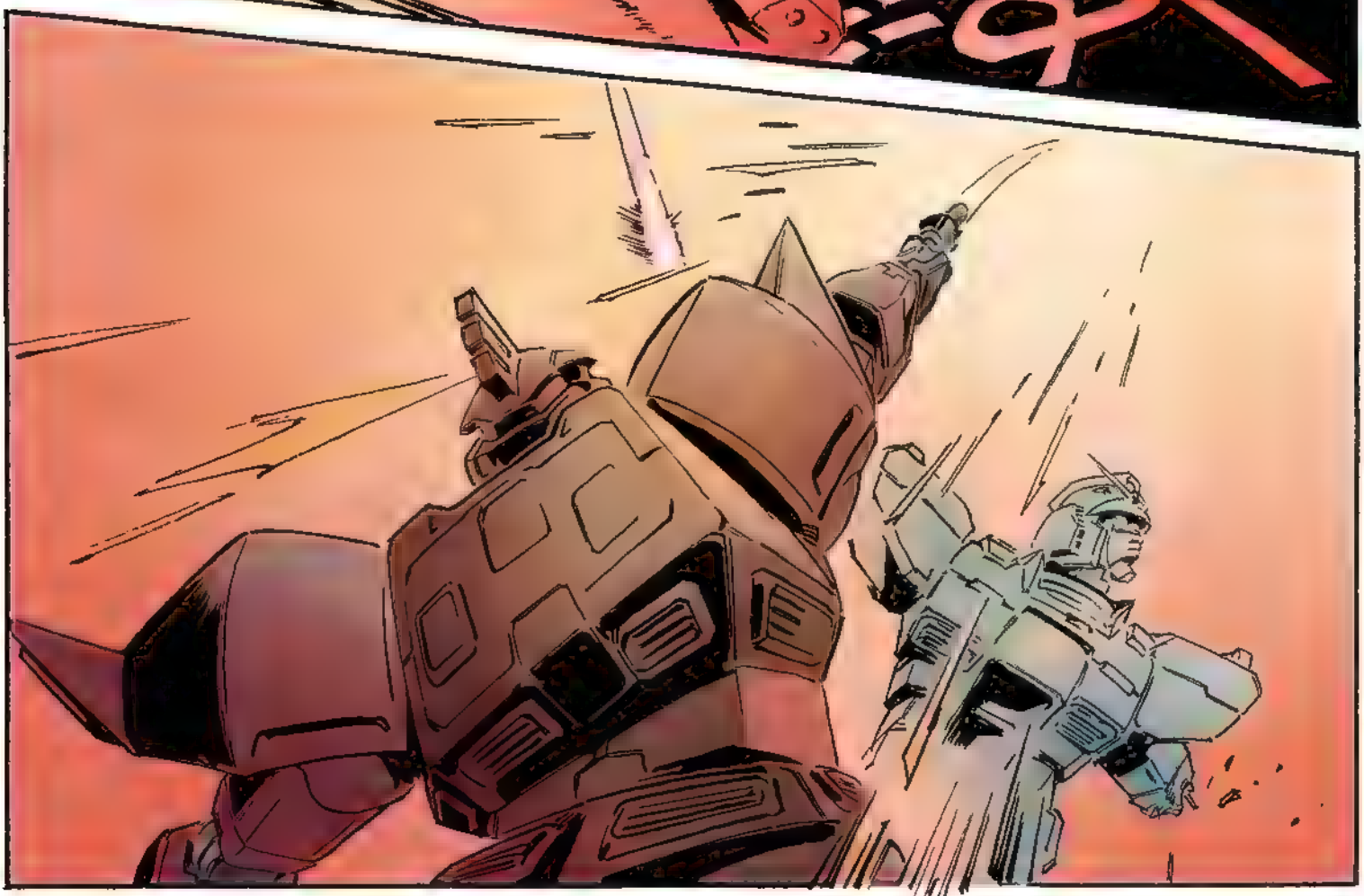
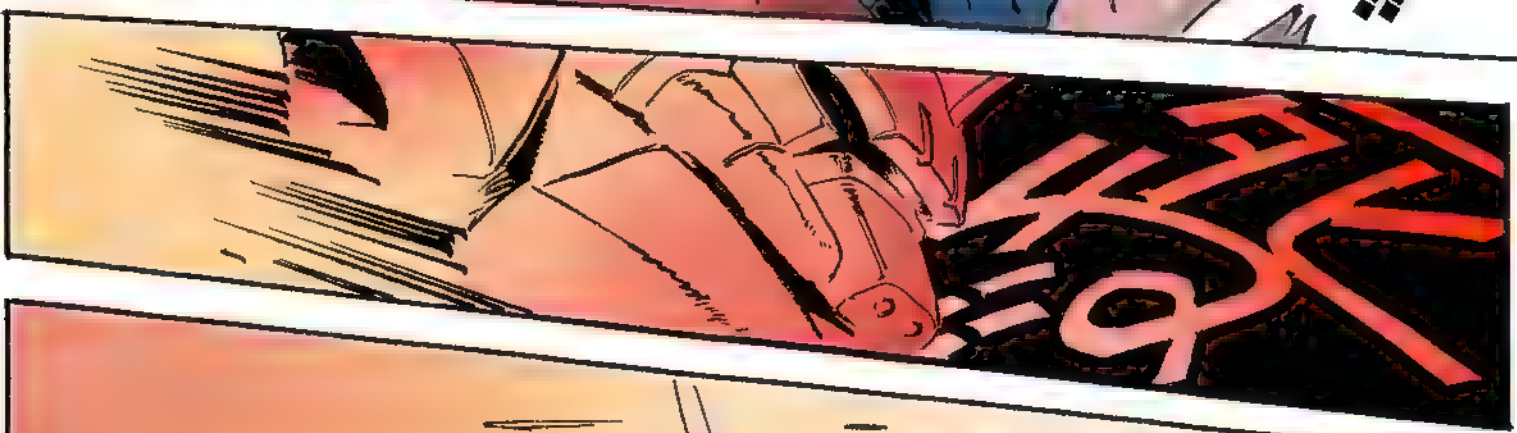




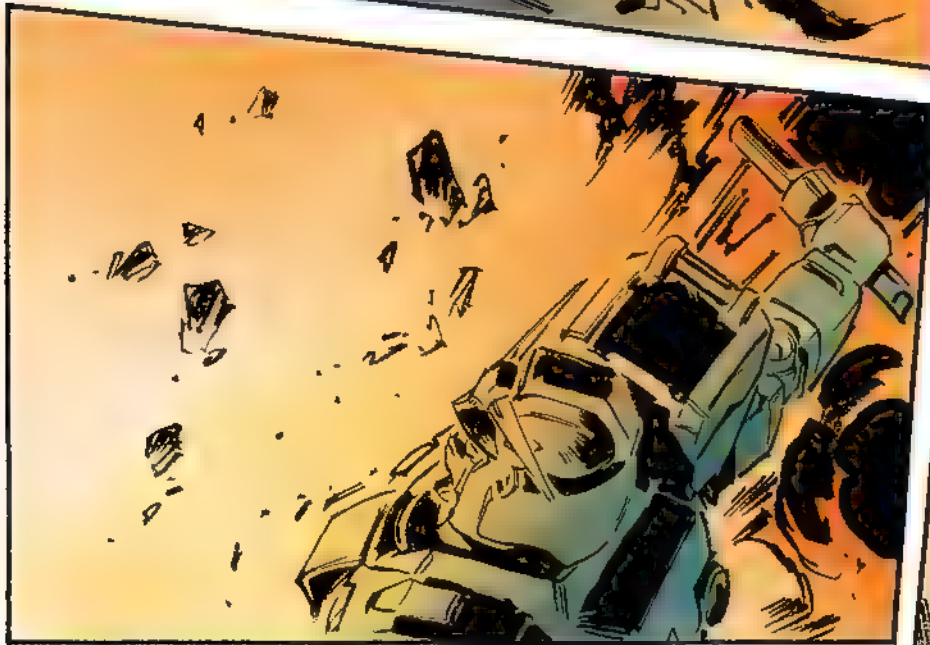
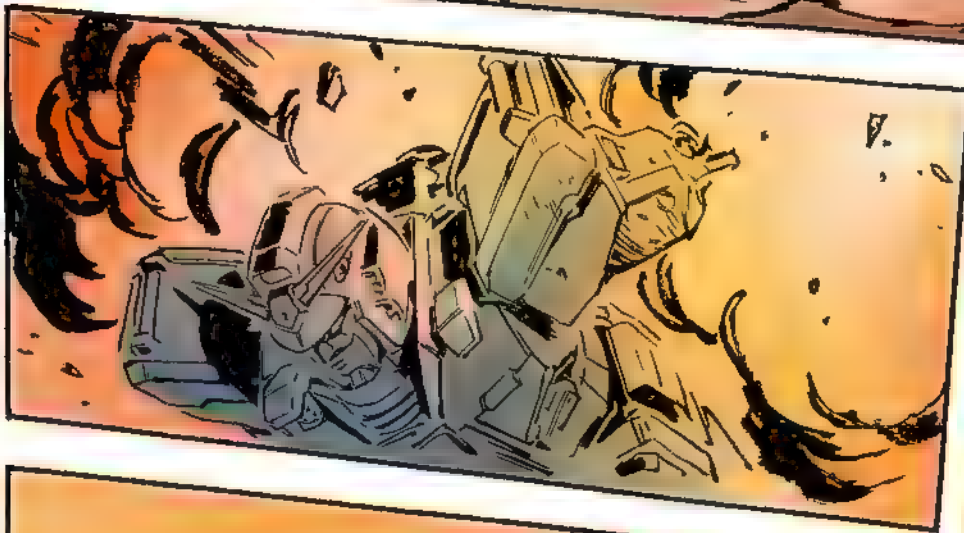
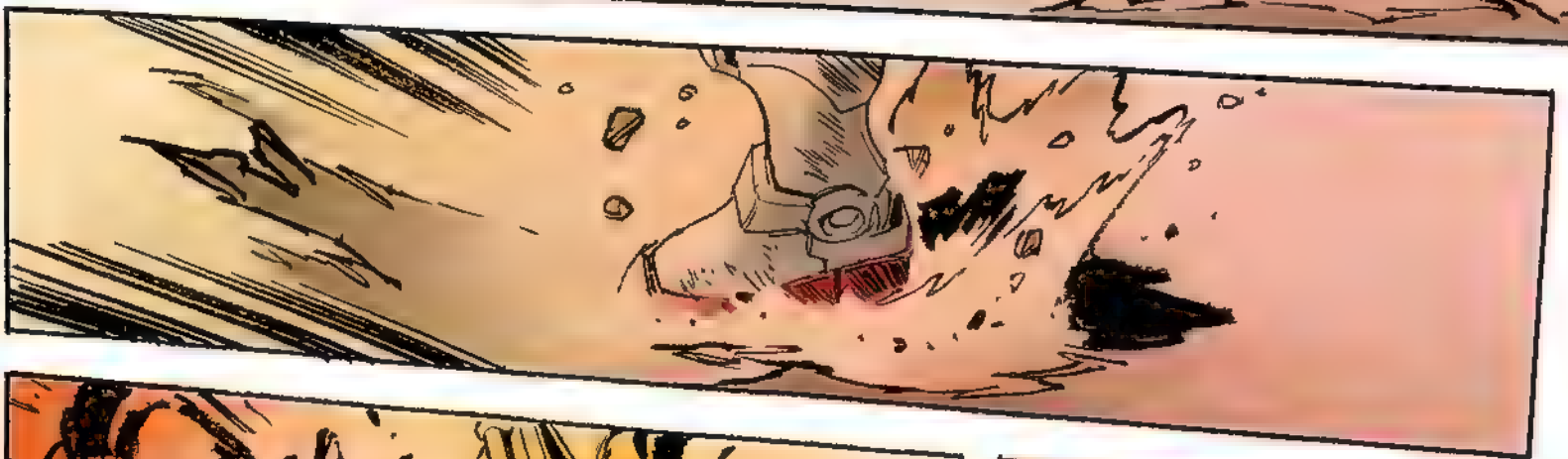
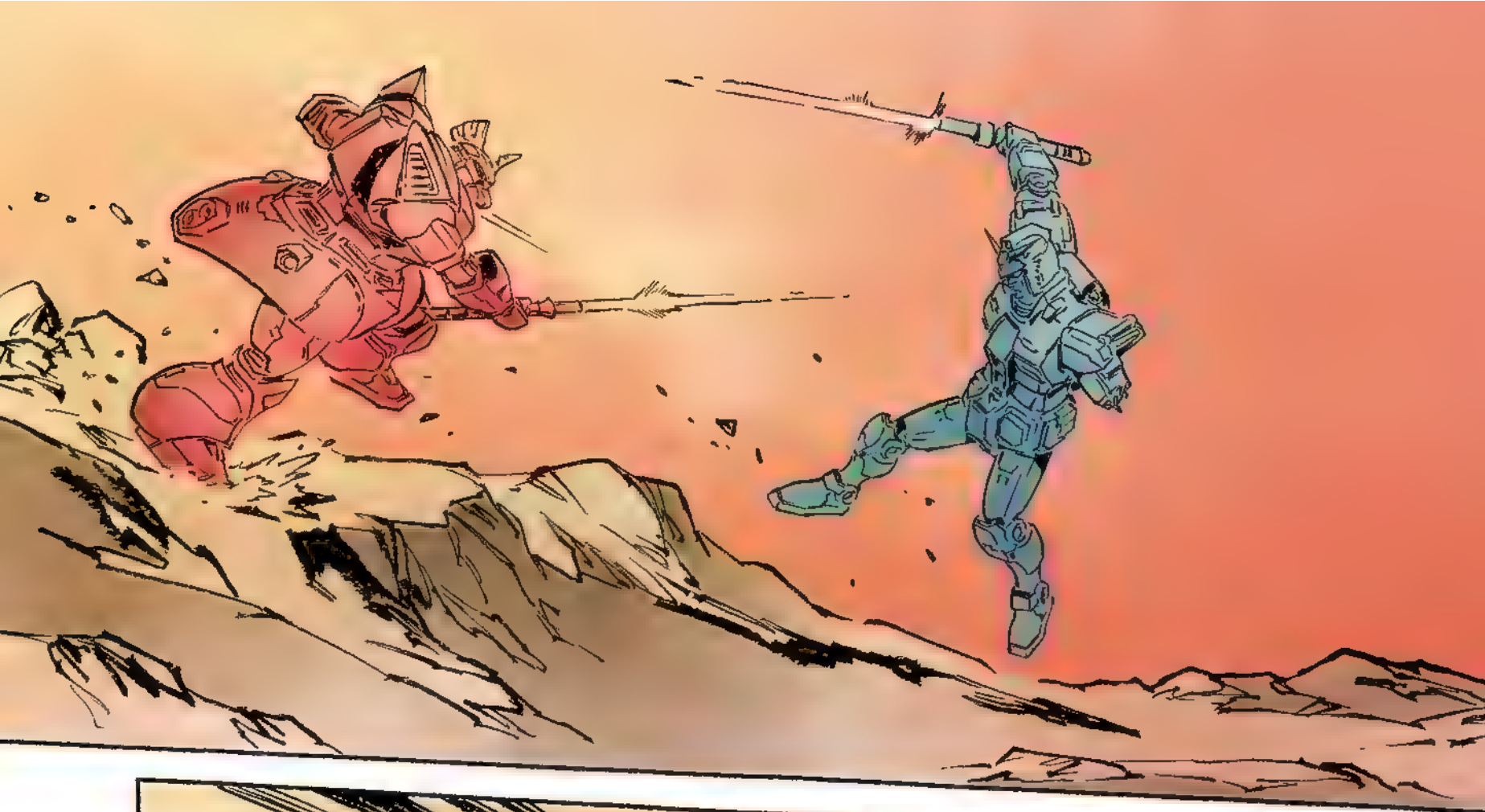
だが情けは  
かけないぞ!!

ニュータイプの  
資質ししつを持ちながら  
連邦れんぽうに与くみして  
きたお前は

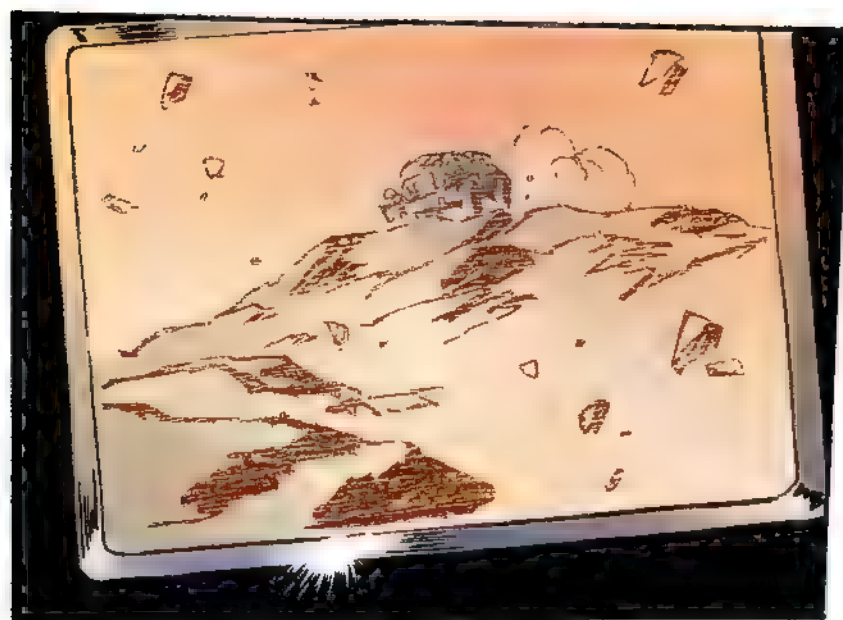
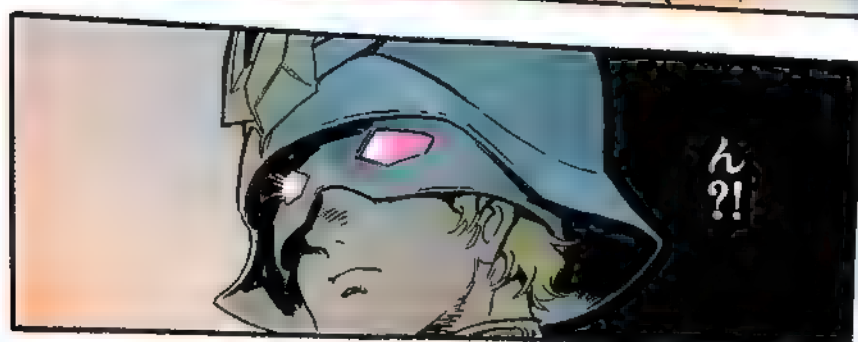
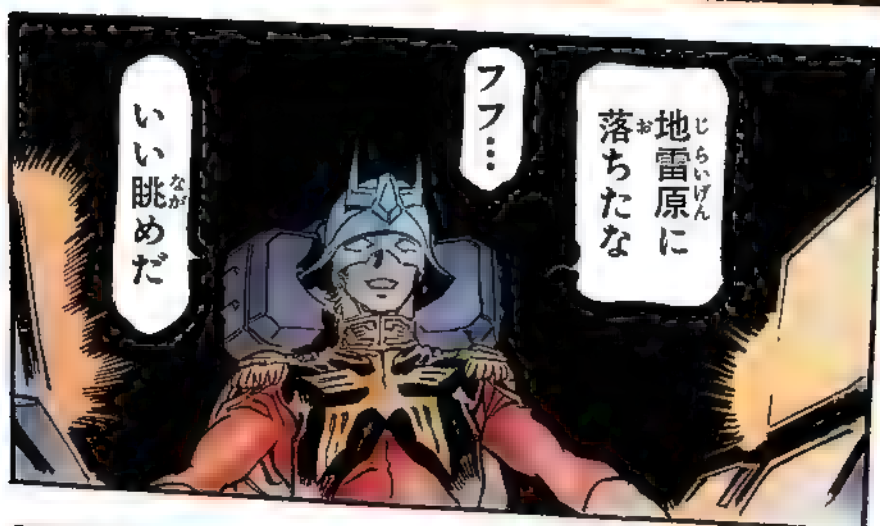
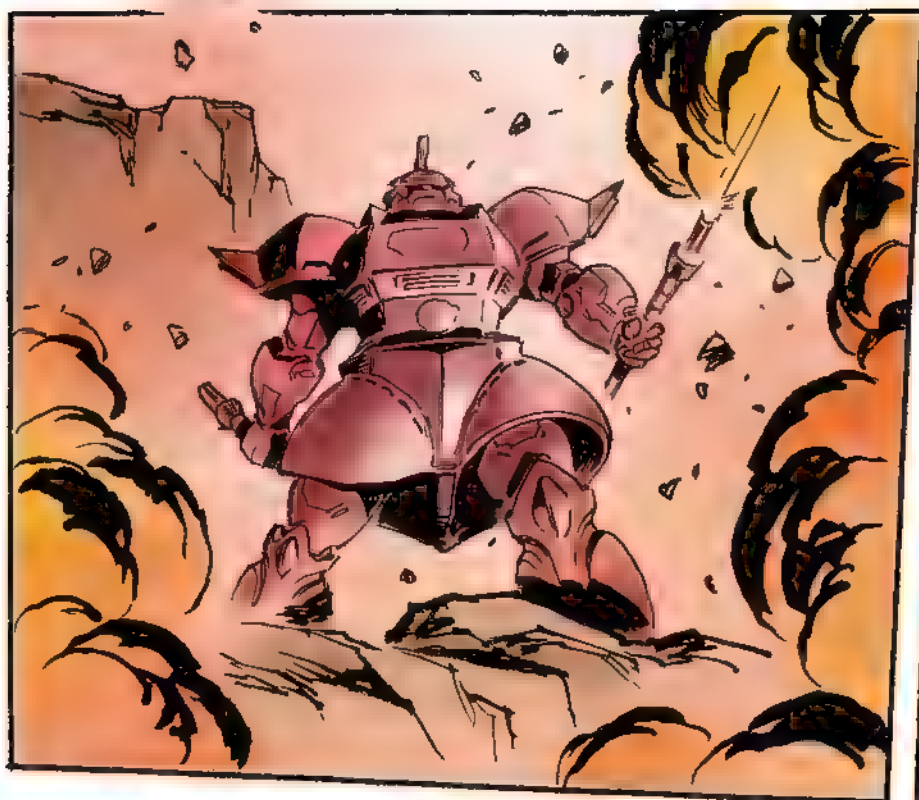
スペースノイドに  
とつては  
反逆者だ!!



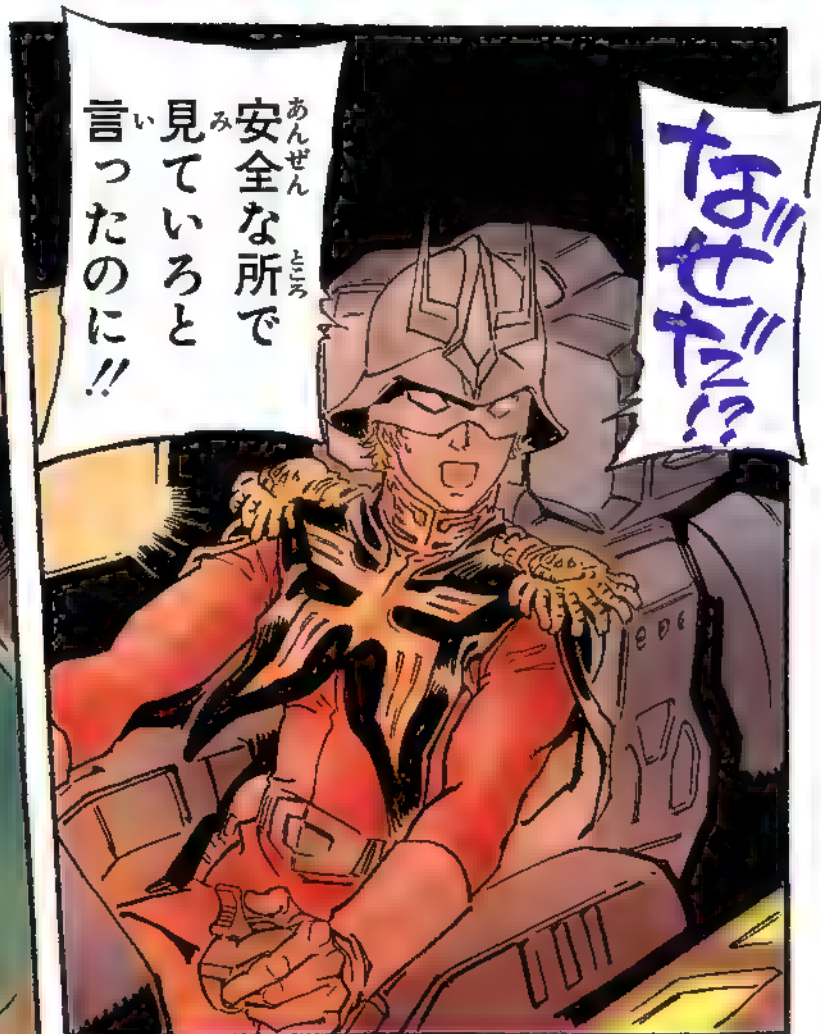
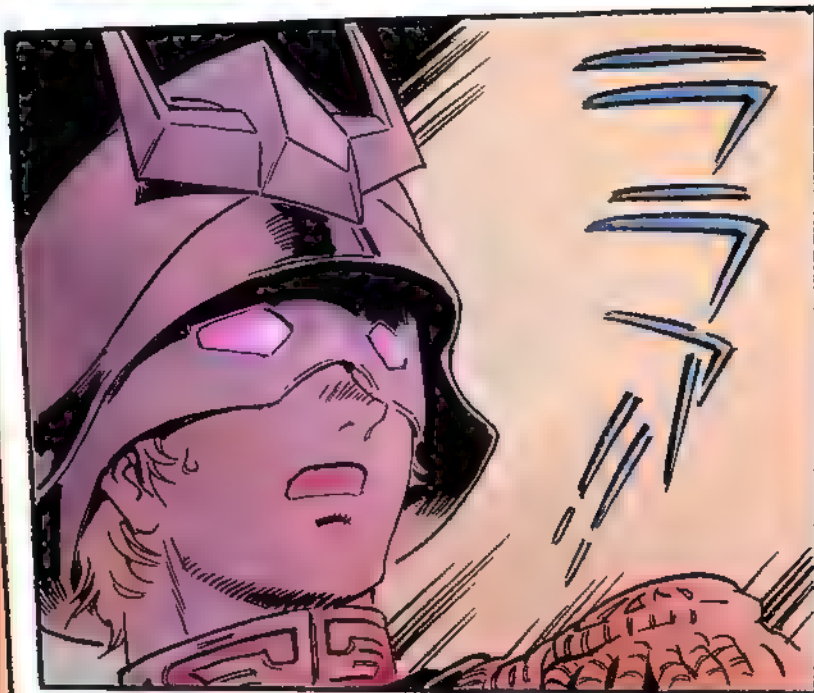
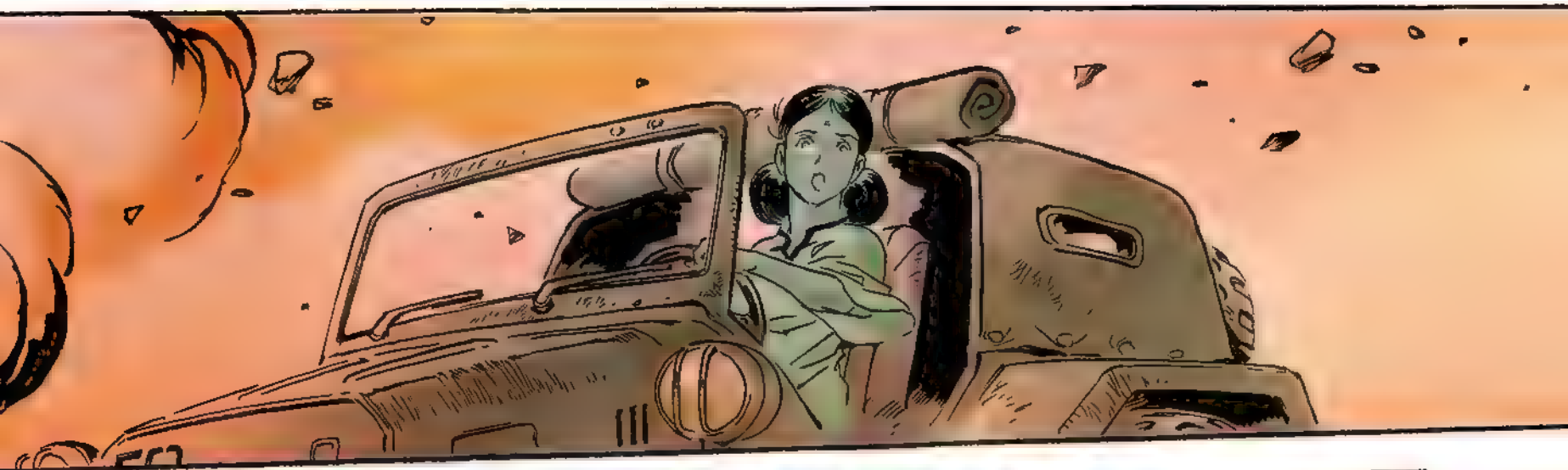




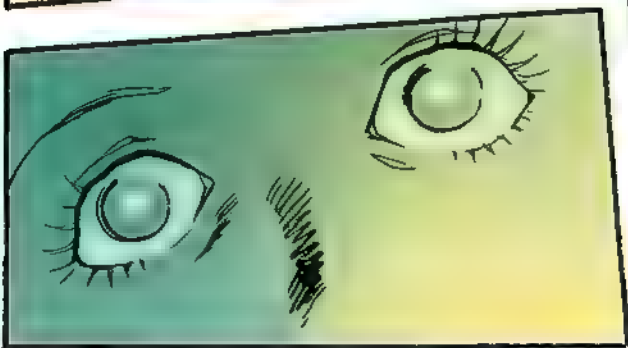
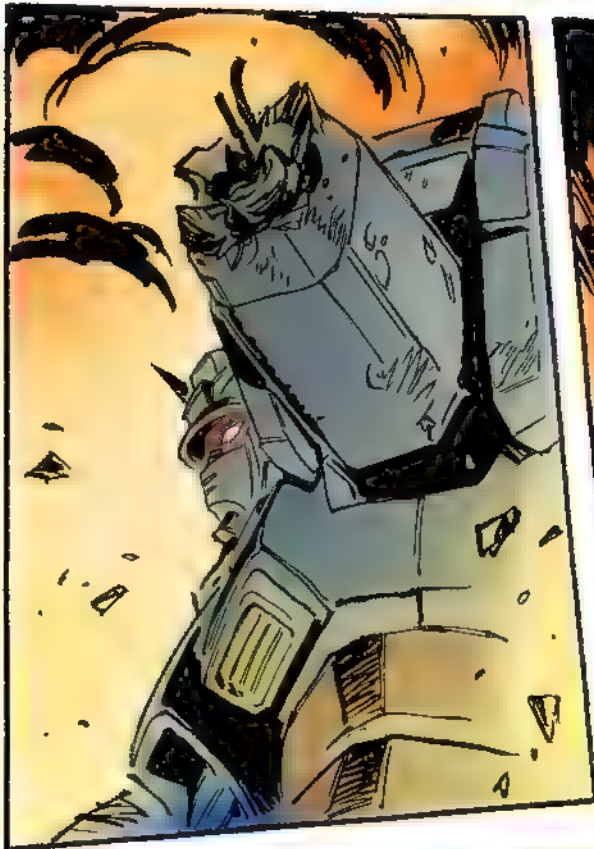




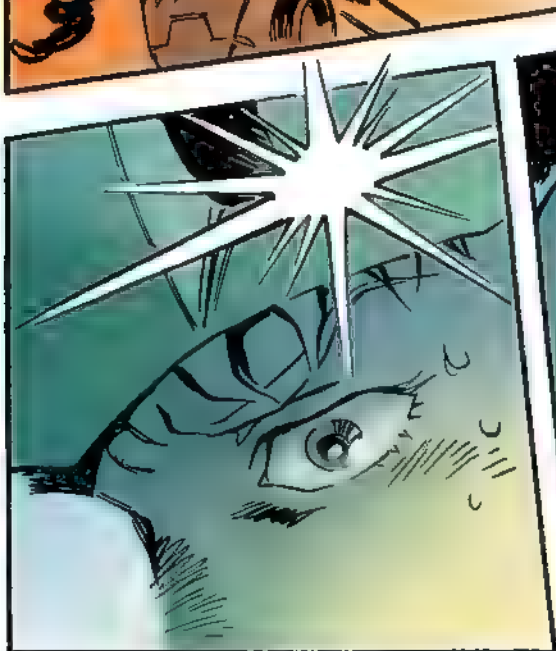
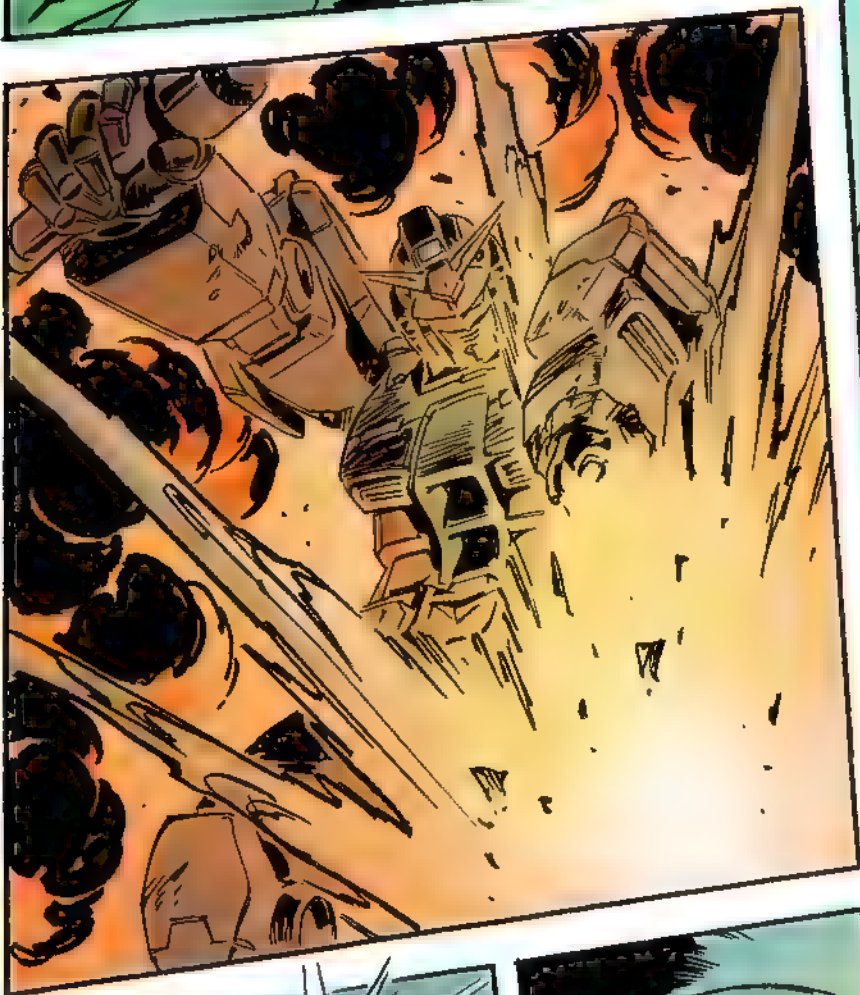




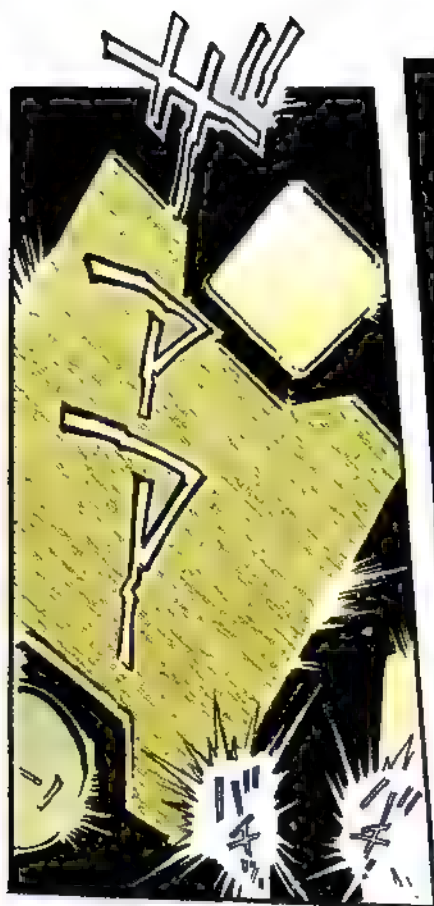




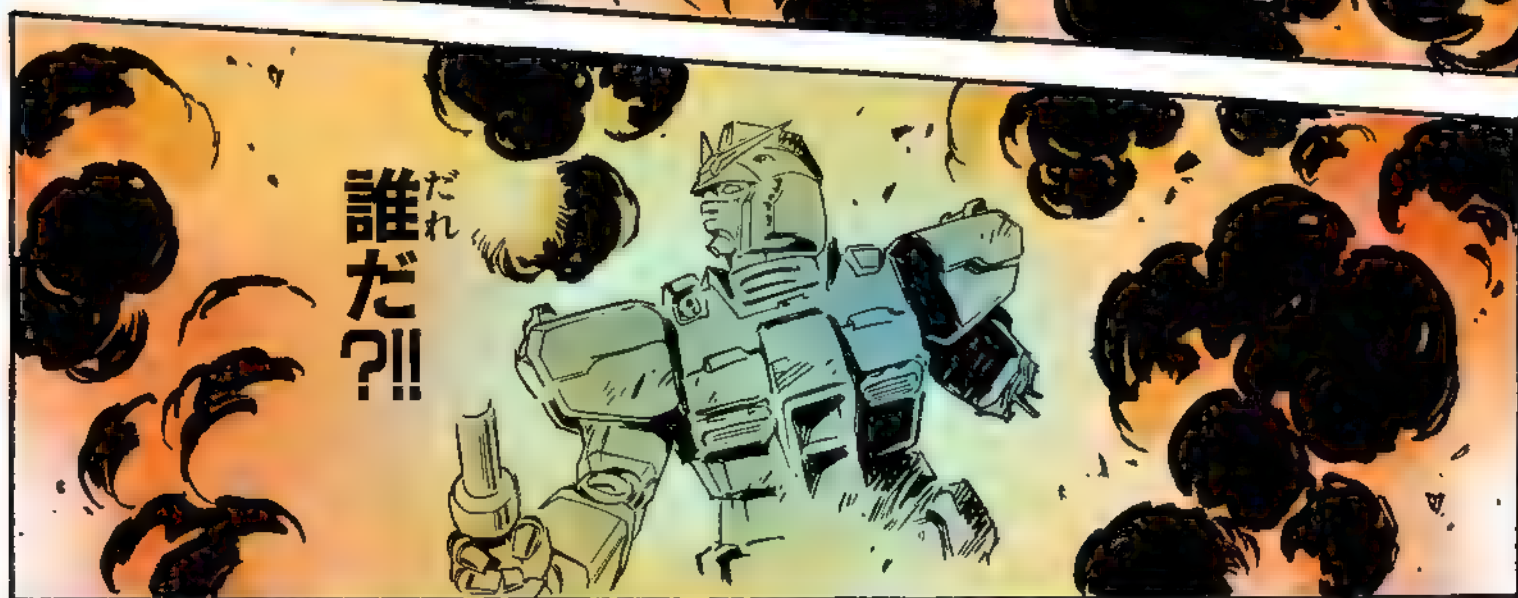






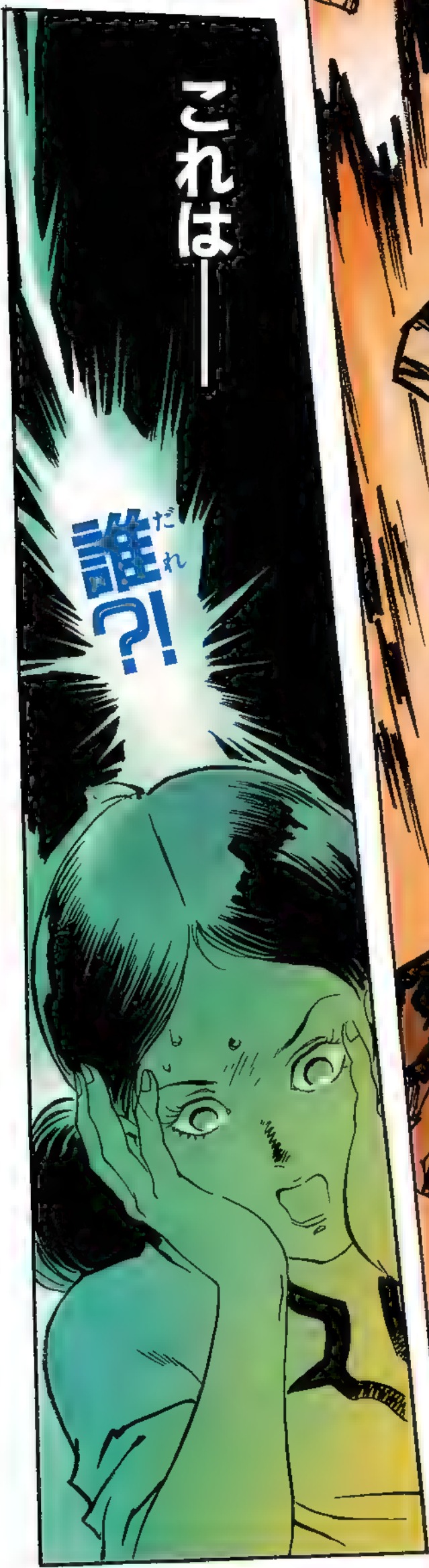
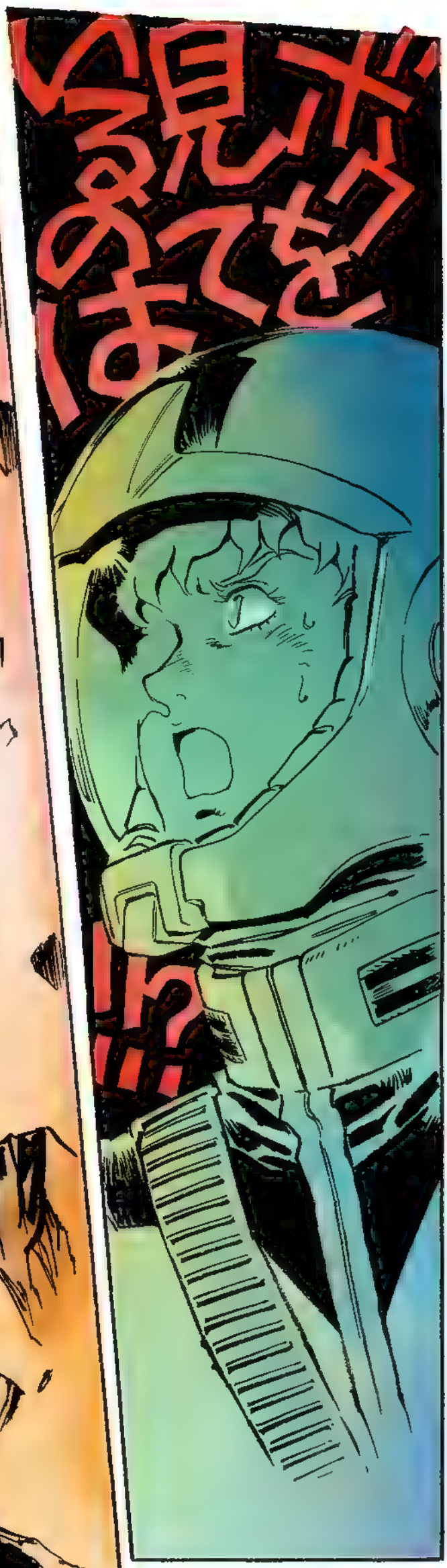


誰だ?!  
誰だ?!

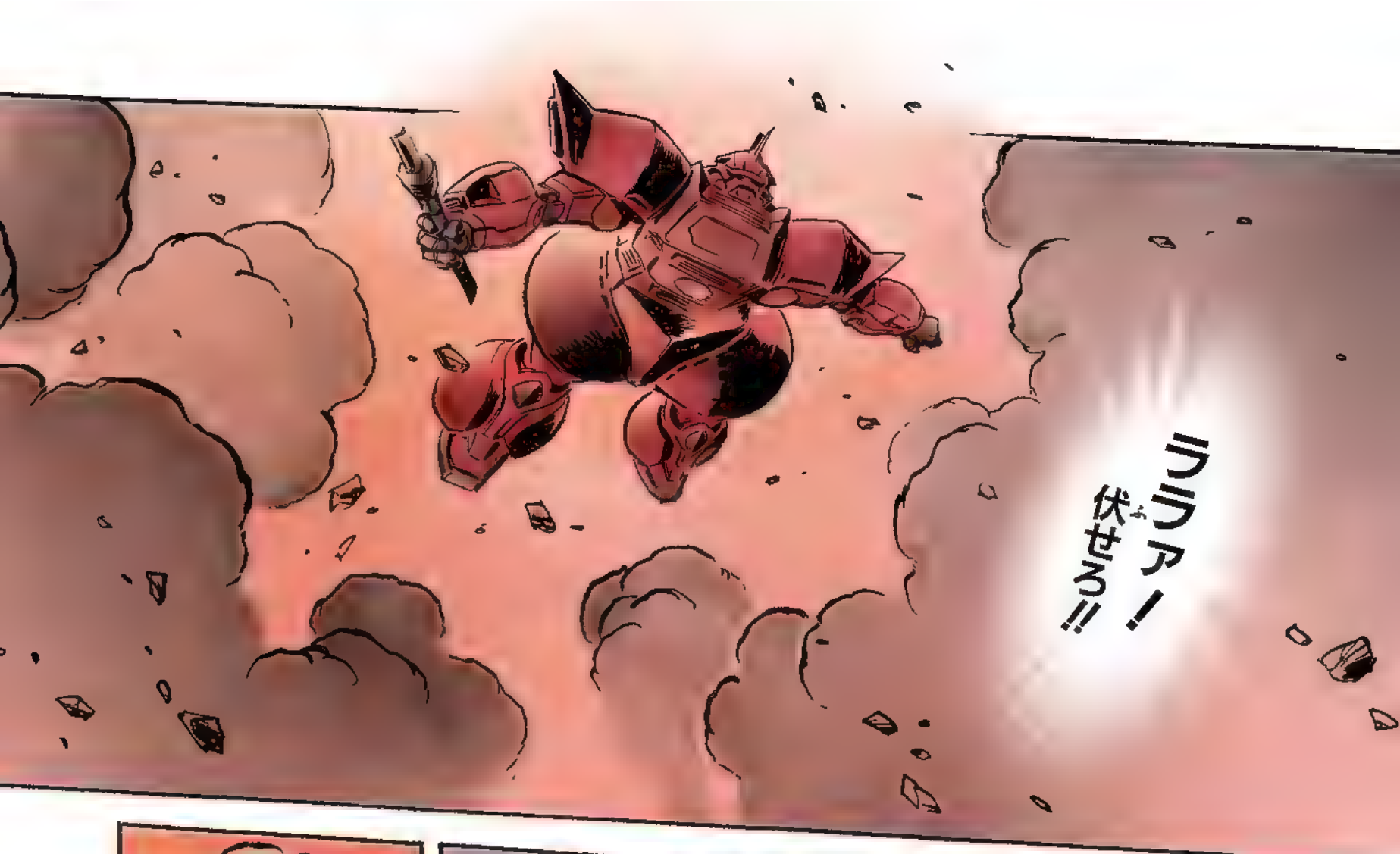


誰だ?!  
誰だ?!









リリア！  
伏せろ！！



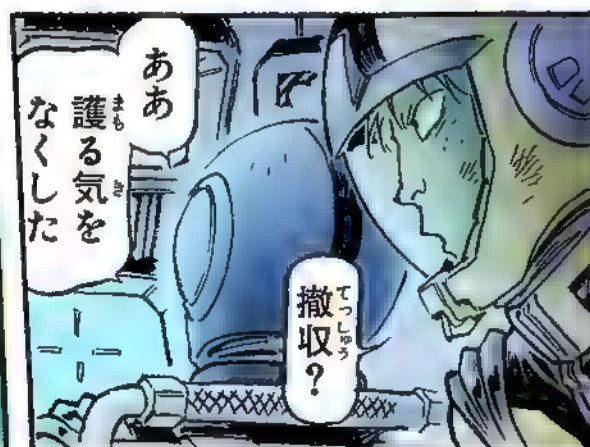
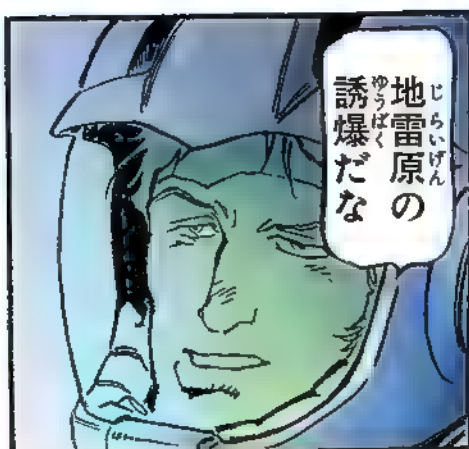
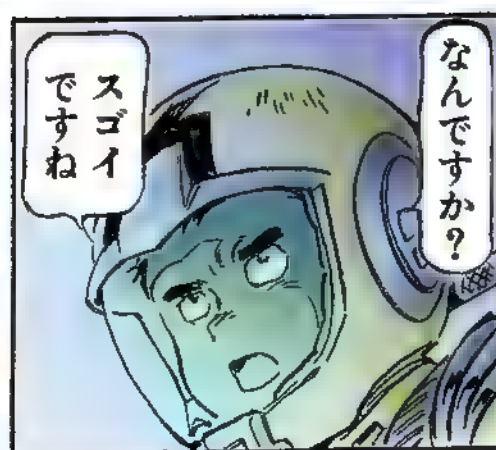
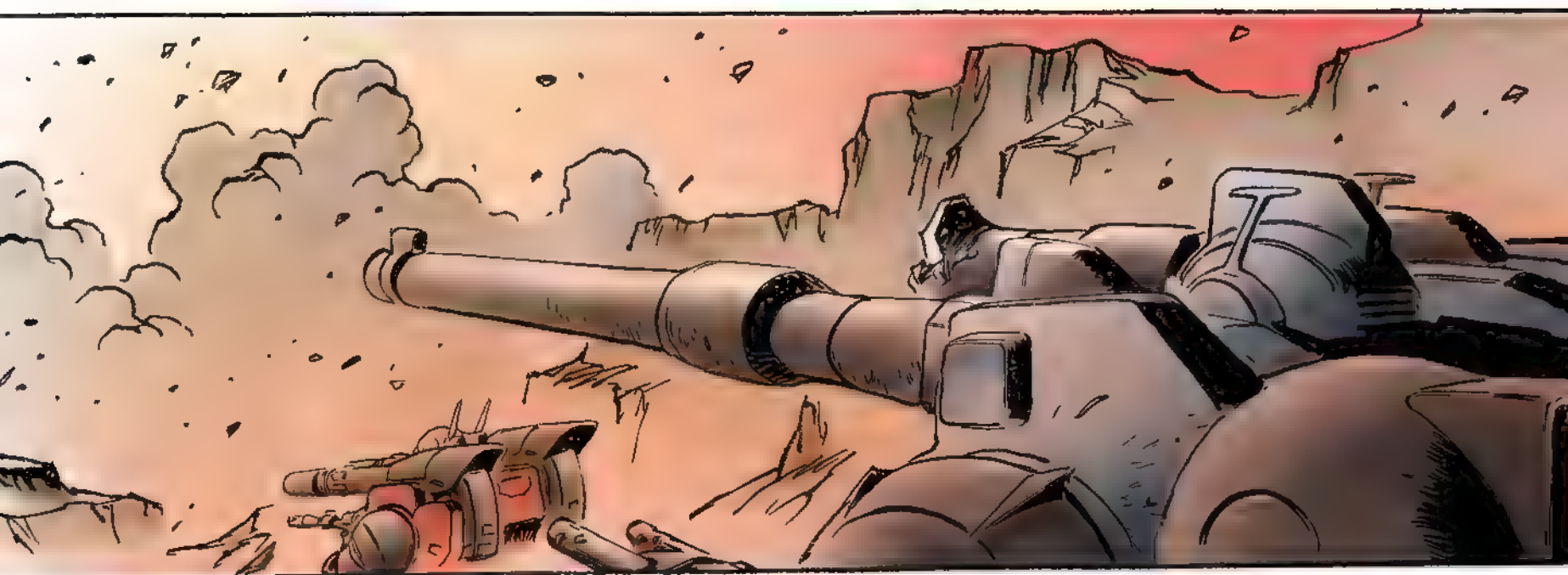
大佐  
たいさ



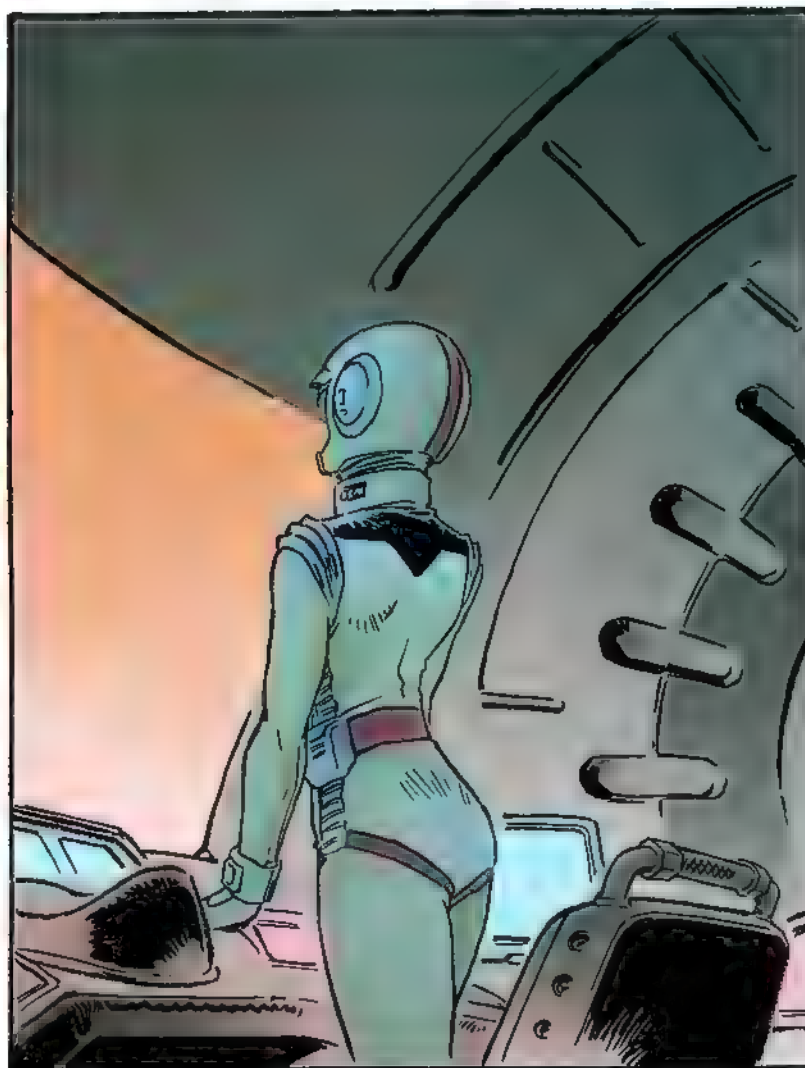
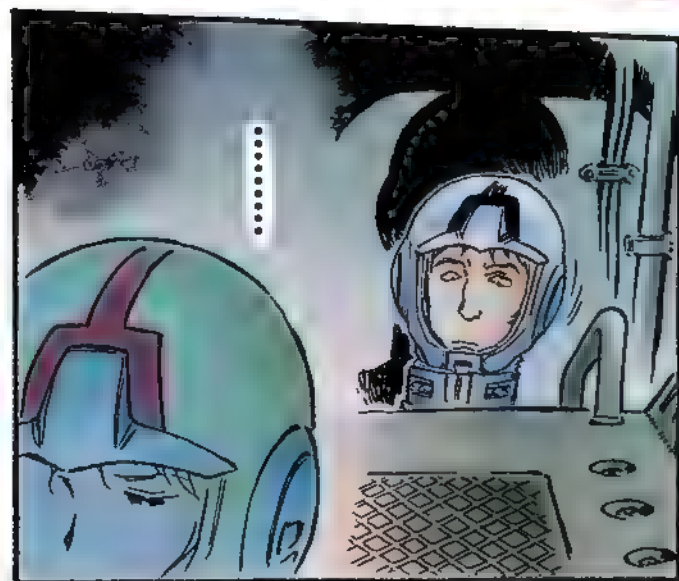
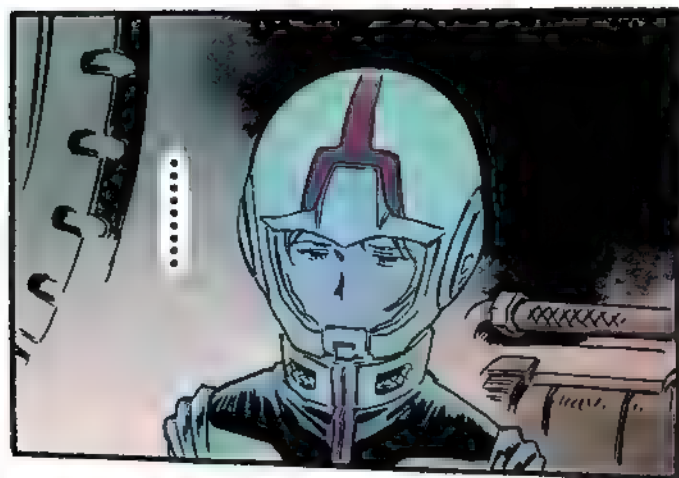
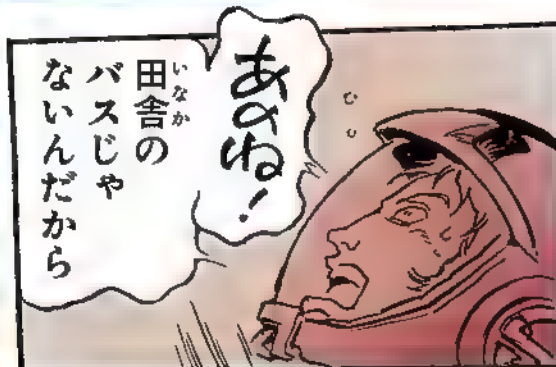
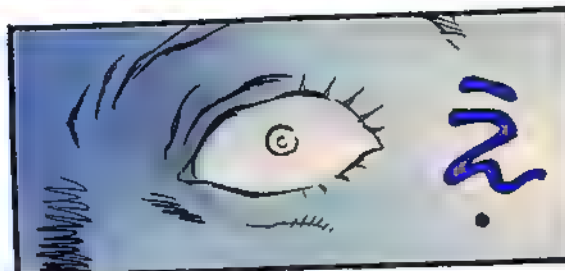
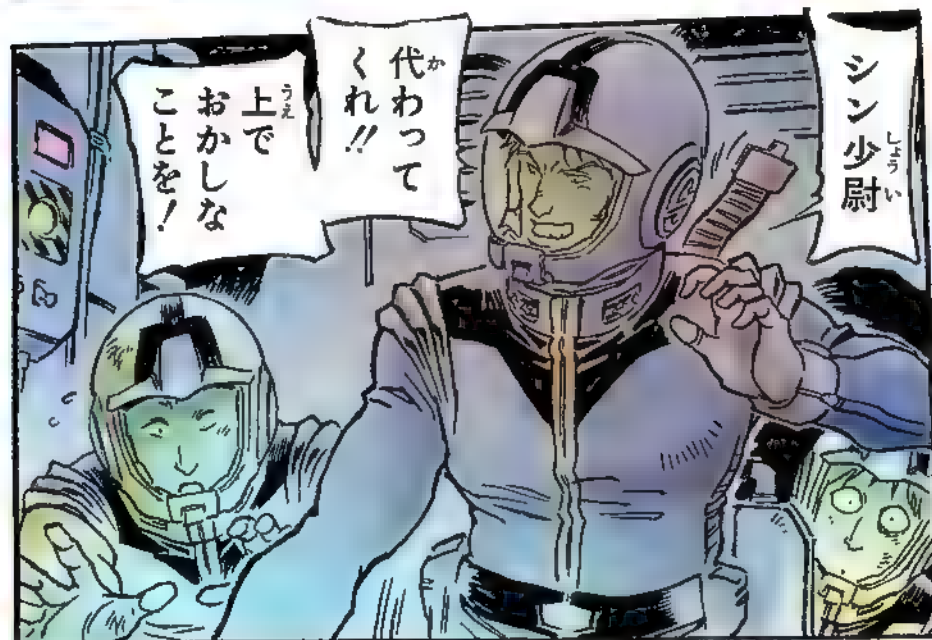
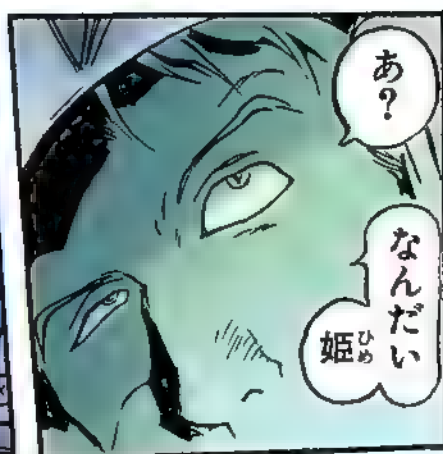
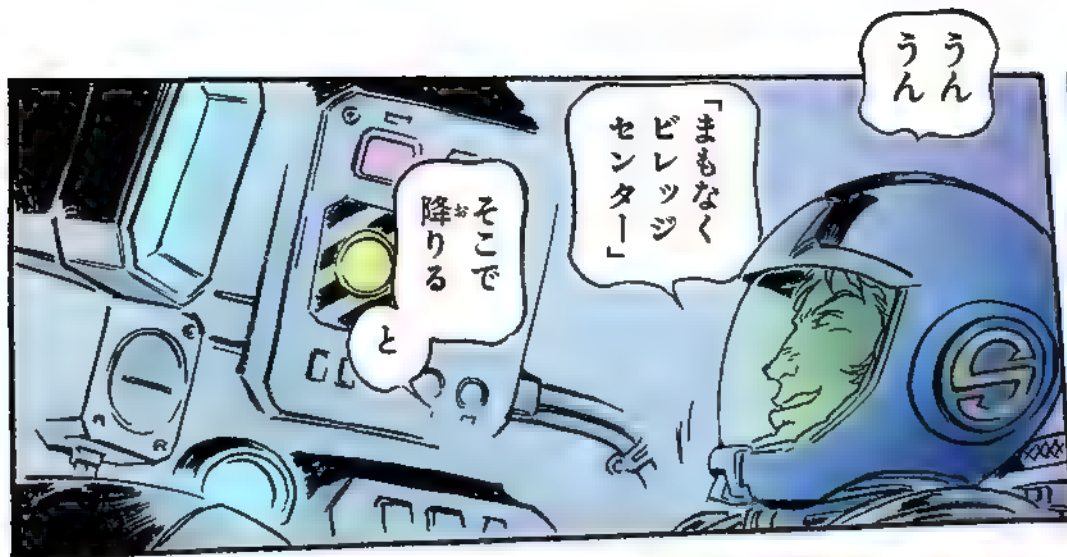
すぐに  
迎えを  
来させろ！！

そこから  
動くな！！

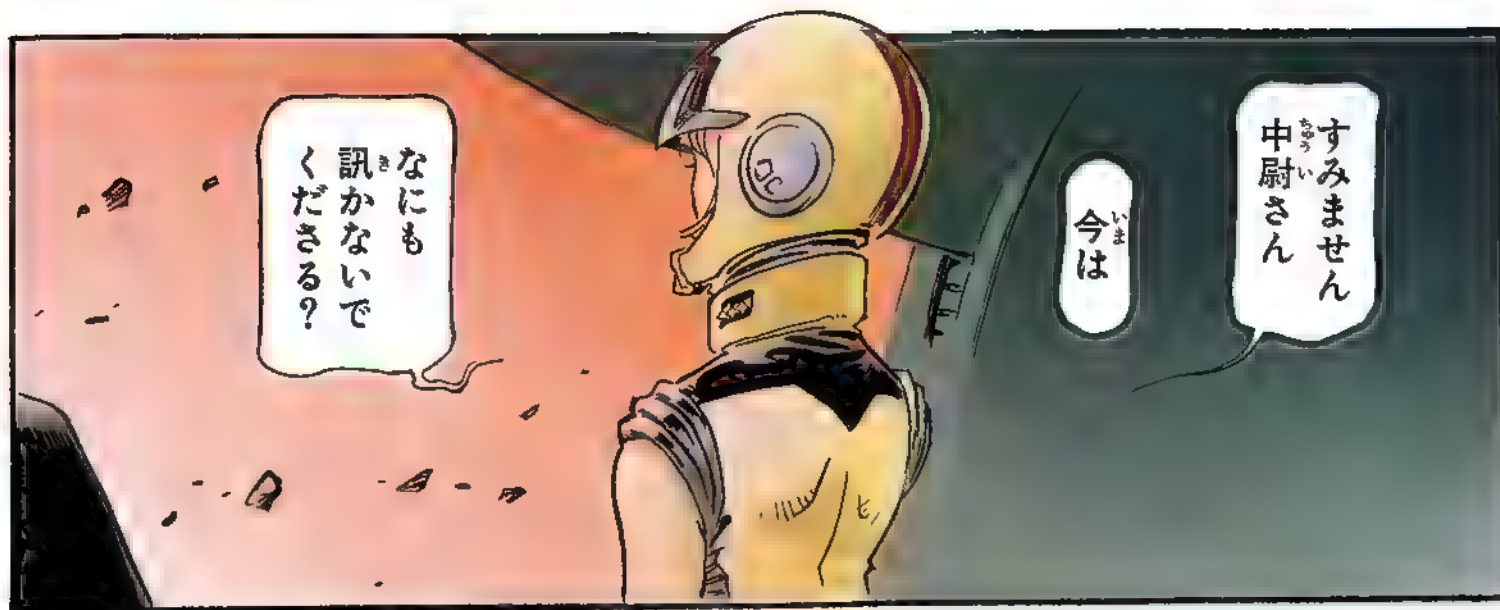












すみません  
中尉さん

今は

なんにも  
訊かないで  
くださる？



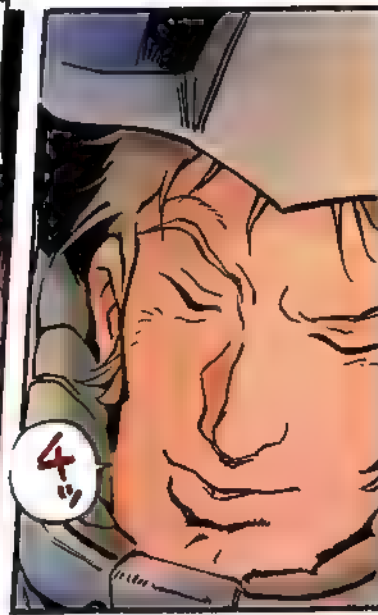
でもね

そういうのは  
どうも  
イキな男っぽく  
ないよね…

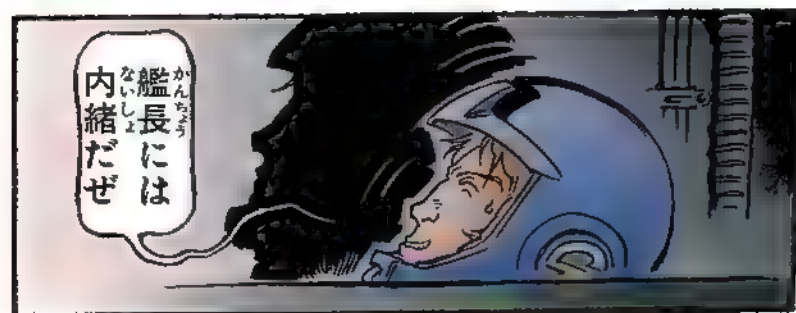


曹長

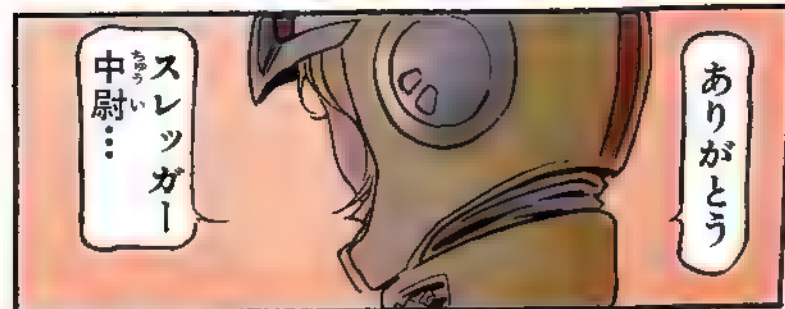
軍隊の  
決まりでは  
なあつ  
「フザけるな！」と言って  
あんたを殴り倒すことも  
できるんだ！



4ッ

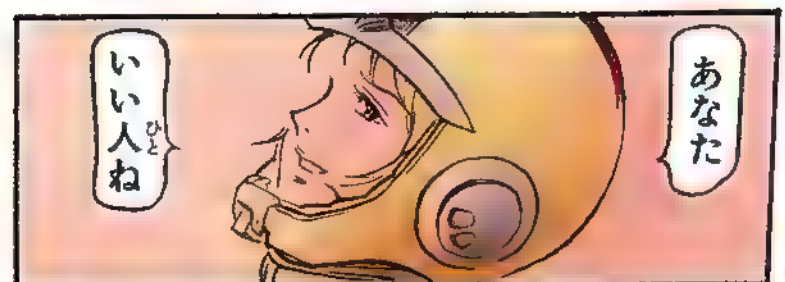


艦長には  
内緒だぜ



ありがとう

スレッガー  
中尉…



あなた

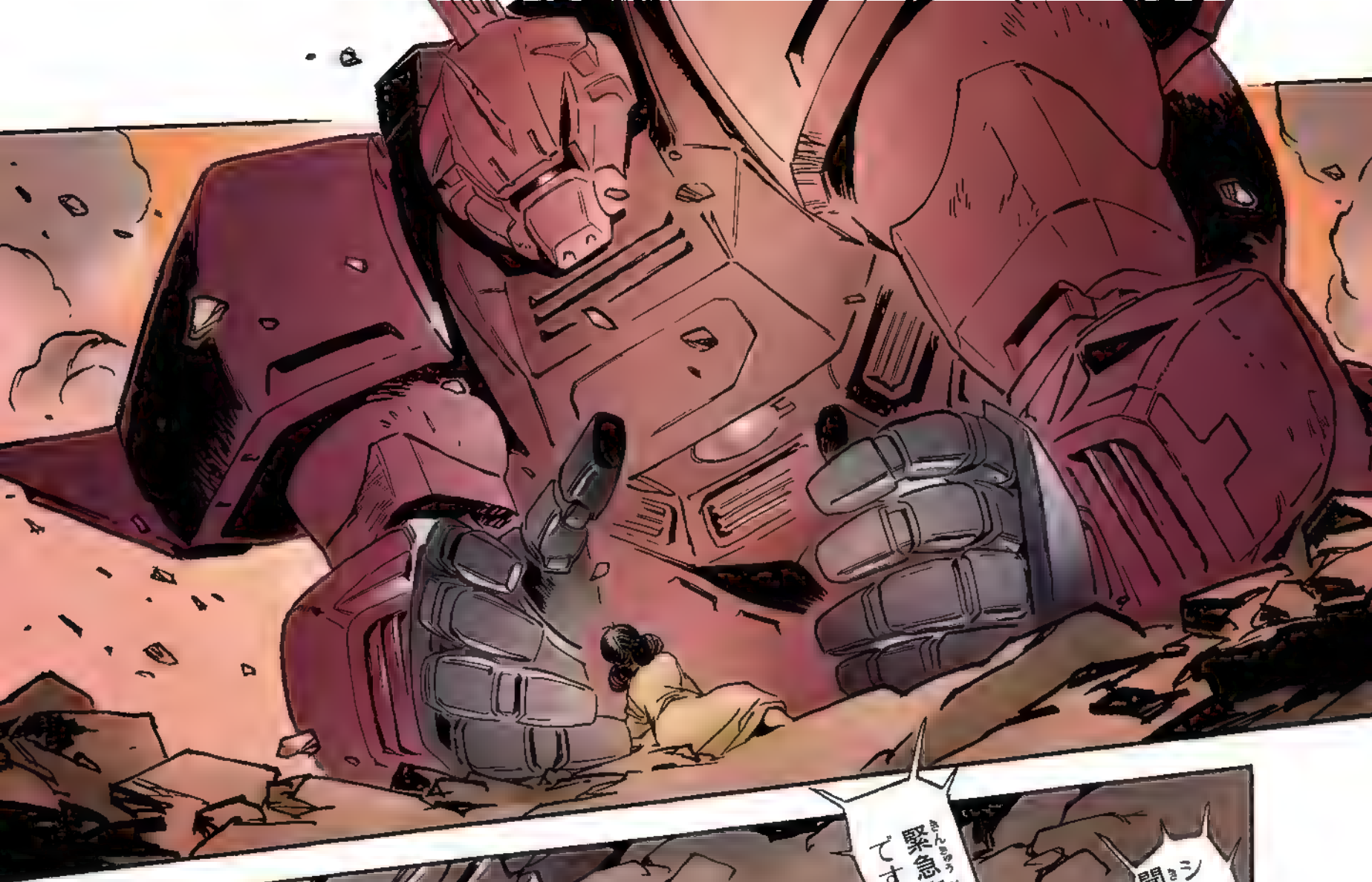
いい人ね



許可する

ただし  
帰りのバスに  
乗り遅れたら  
敵前逃亡罪で  
銃殺刑  
かもよ





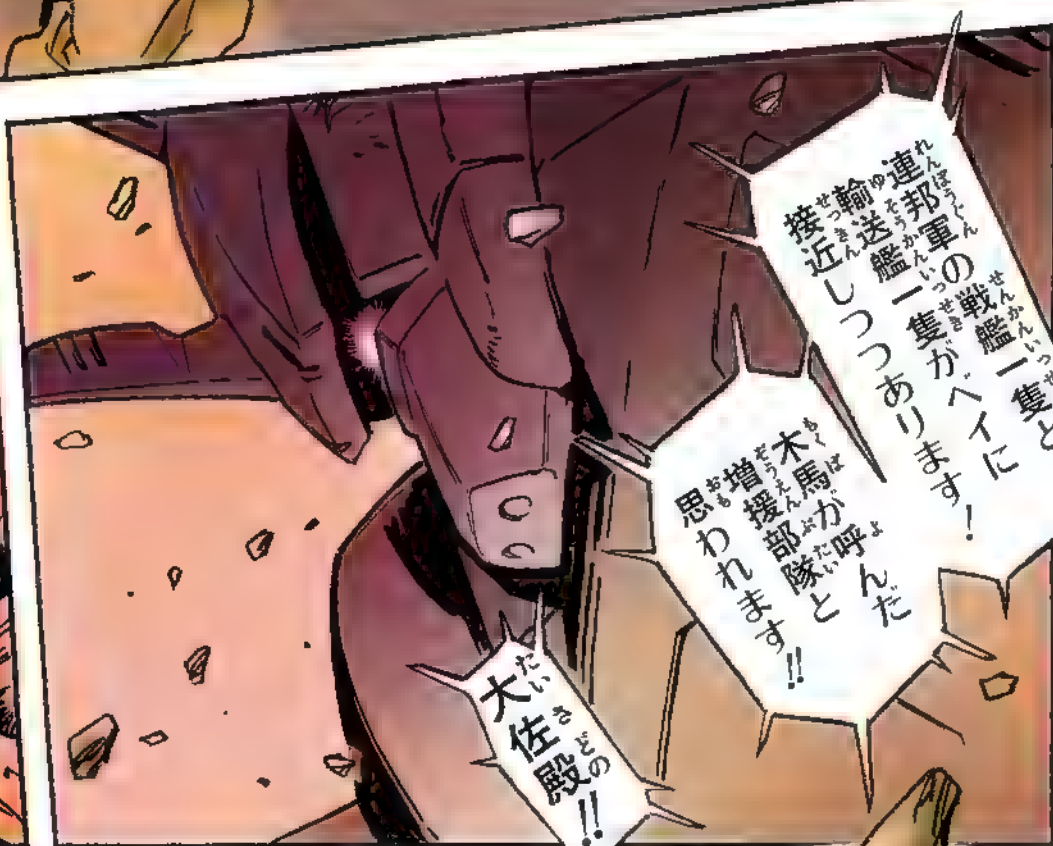
緊急事態  
です！

シャア大佐殿  
聞こえますか？！



それで  
「撤収」か

わかった...

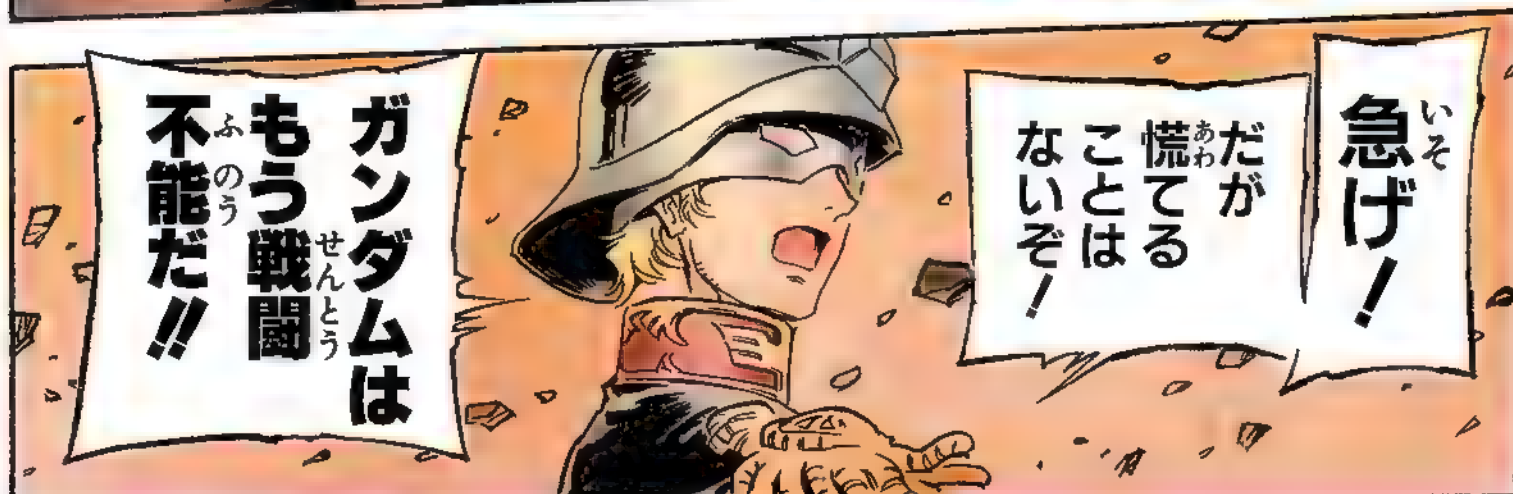
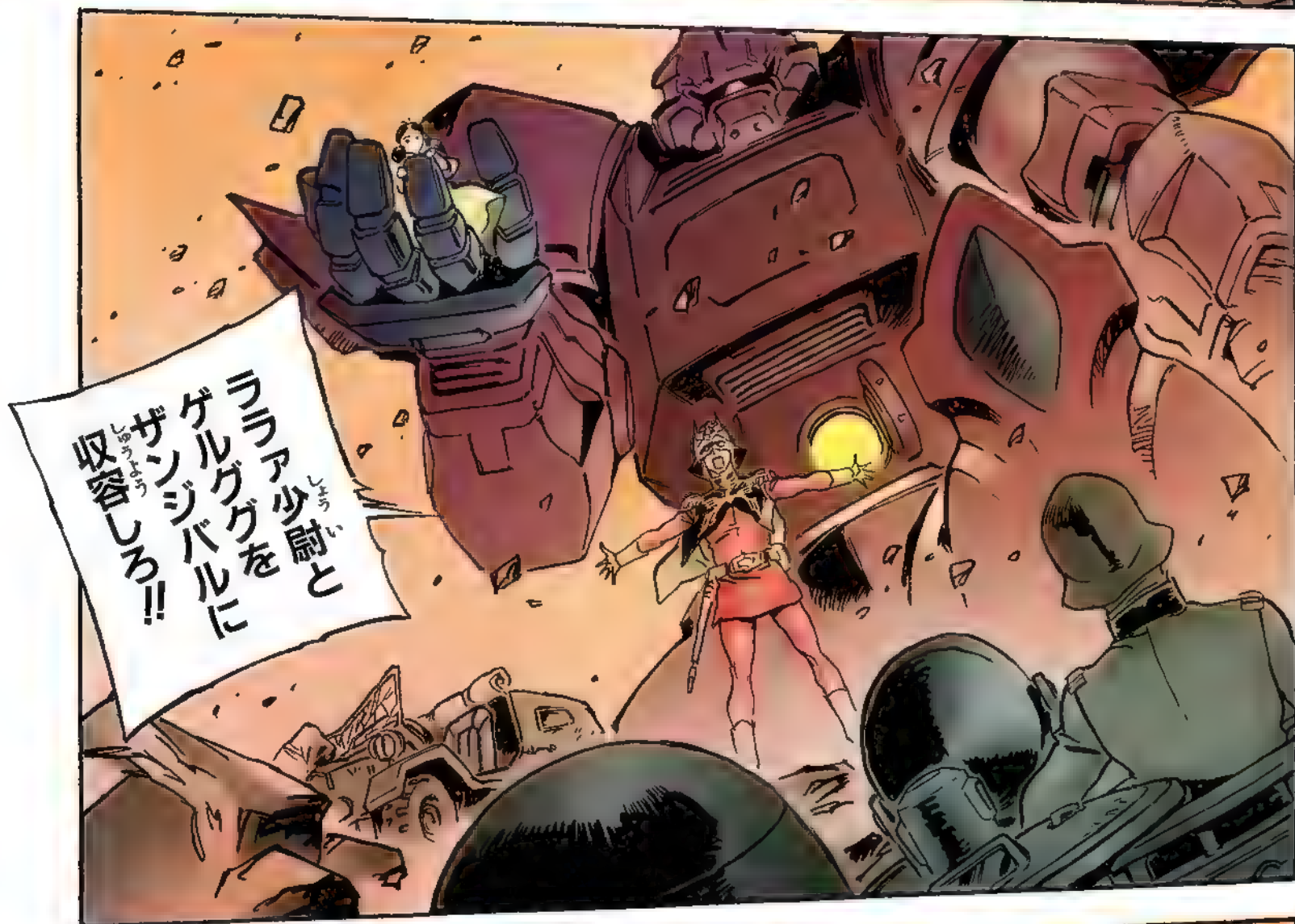
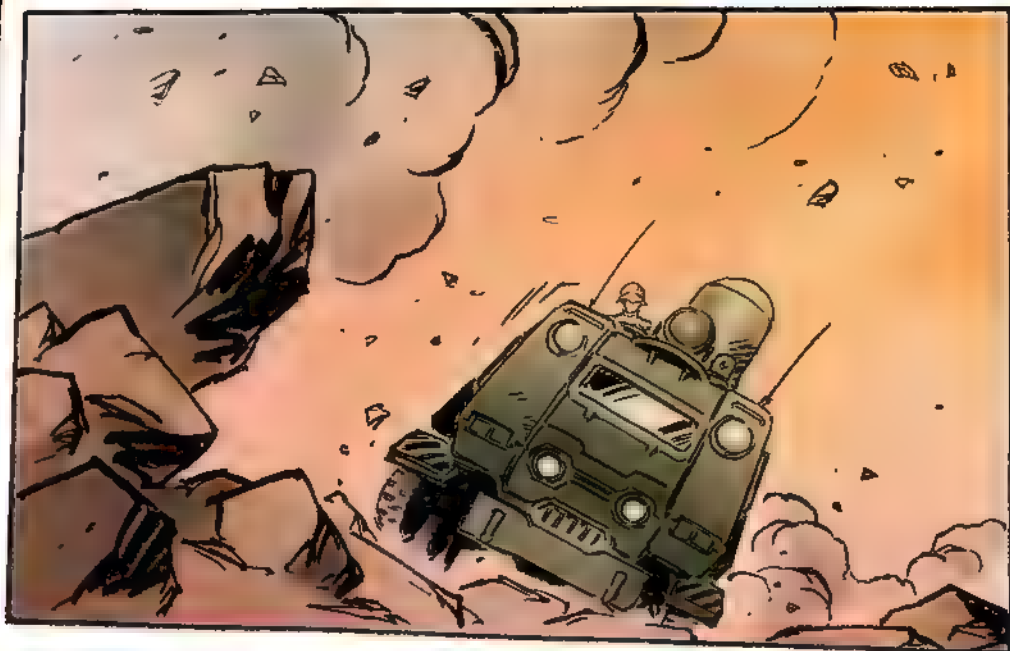
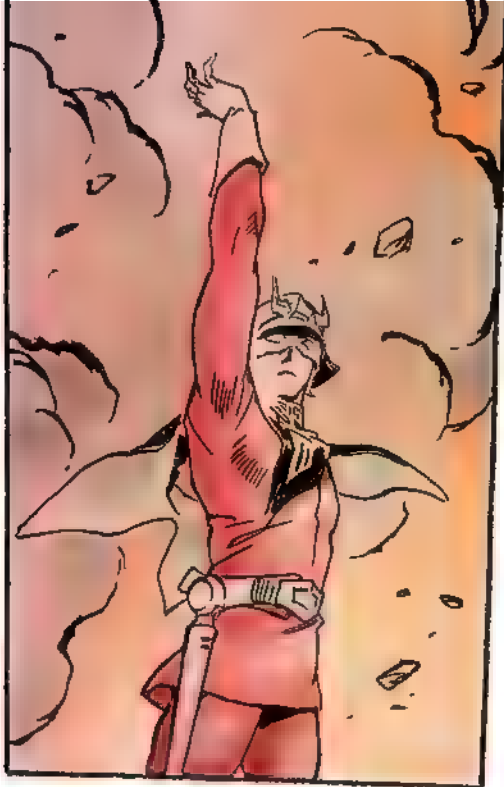


連邦軍の戦艦一隻と  
輸送艦一隻が、ヘイに  
接近しています！

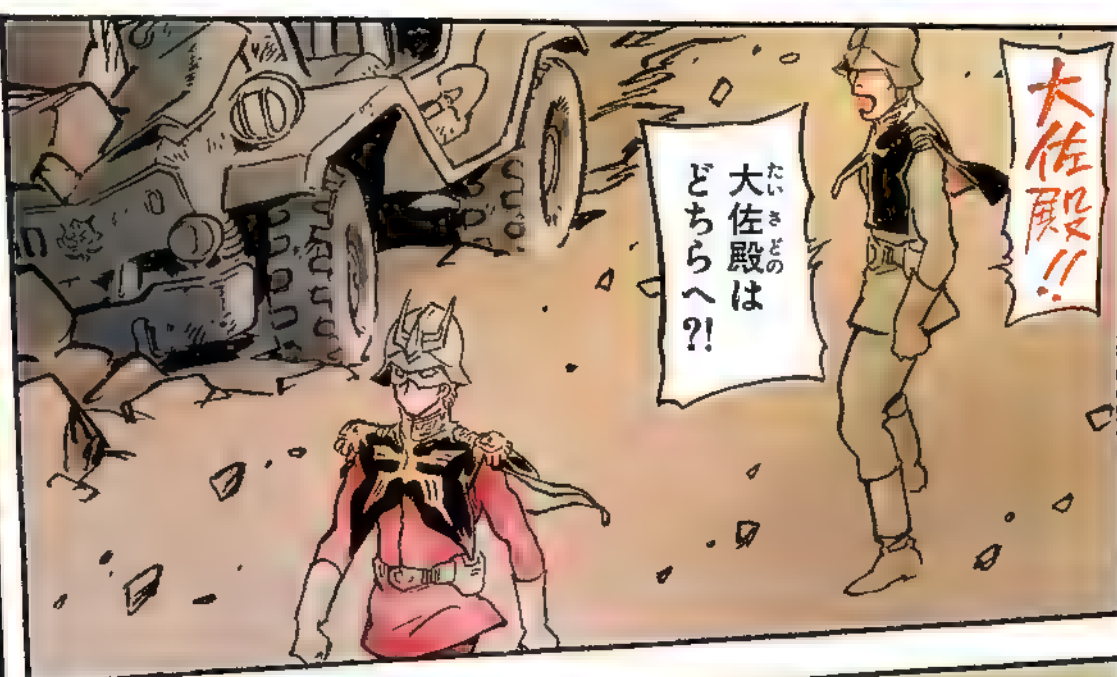
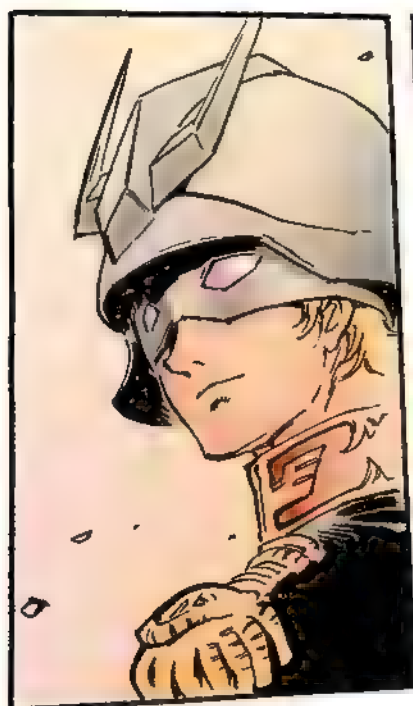
木馬が呼んだ  
増援部隊と  
思われます！！

大佐殿！！





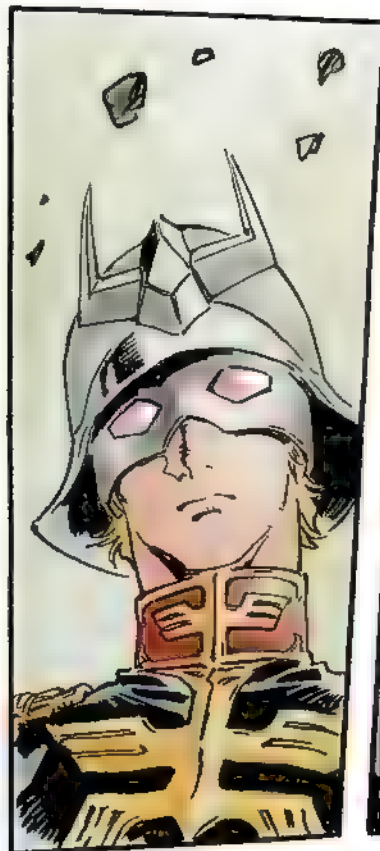




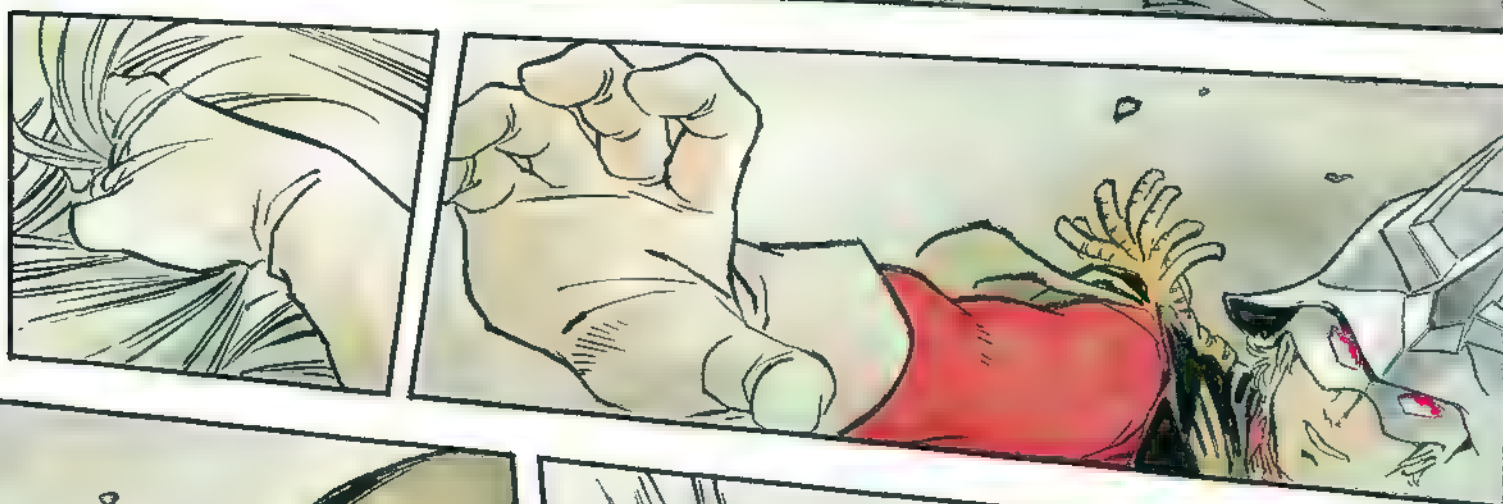
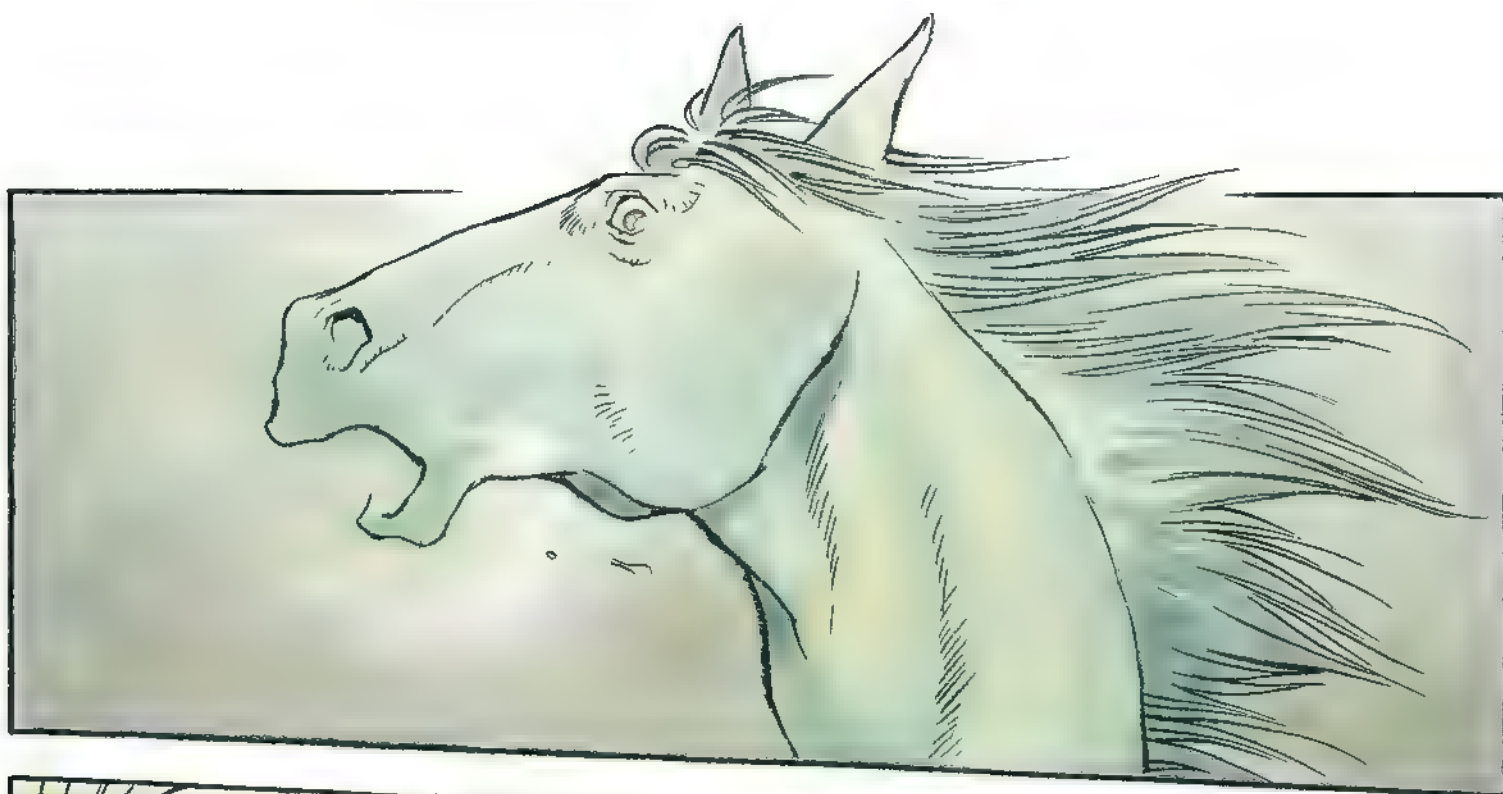








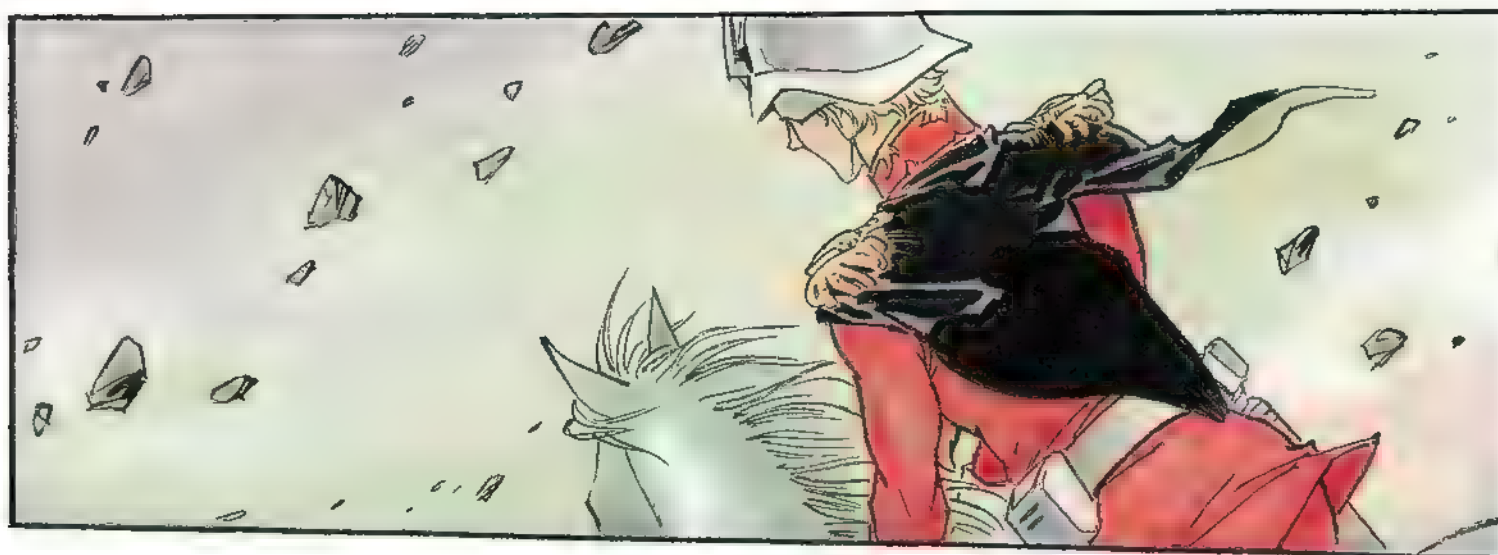




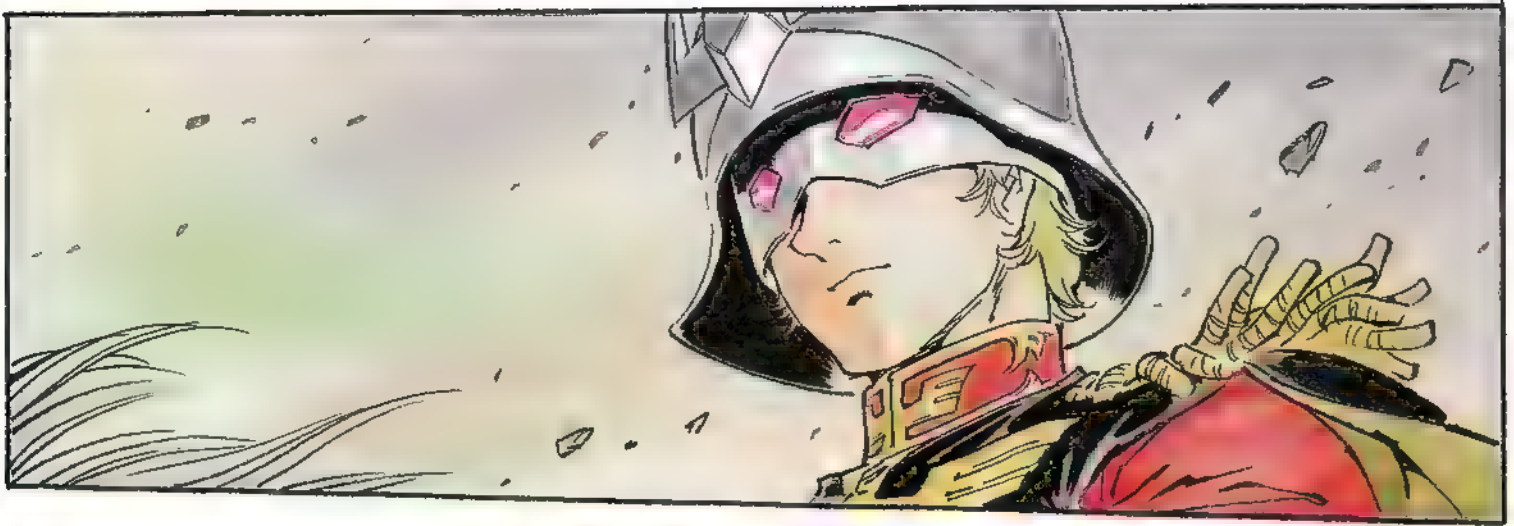










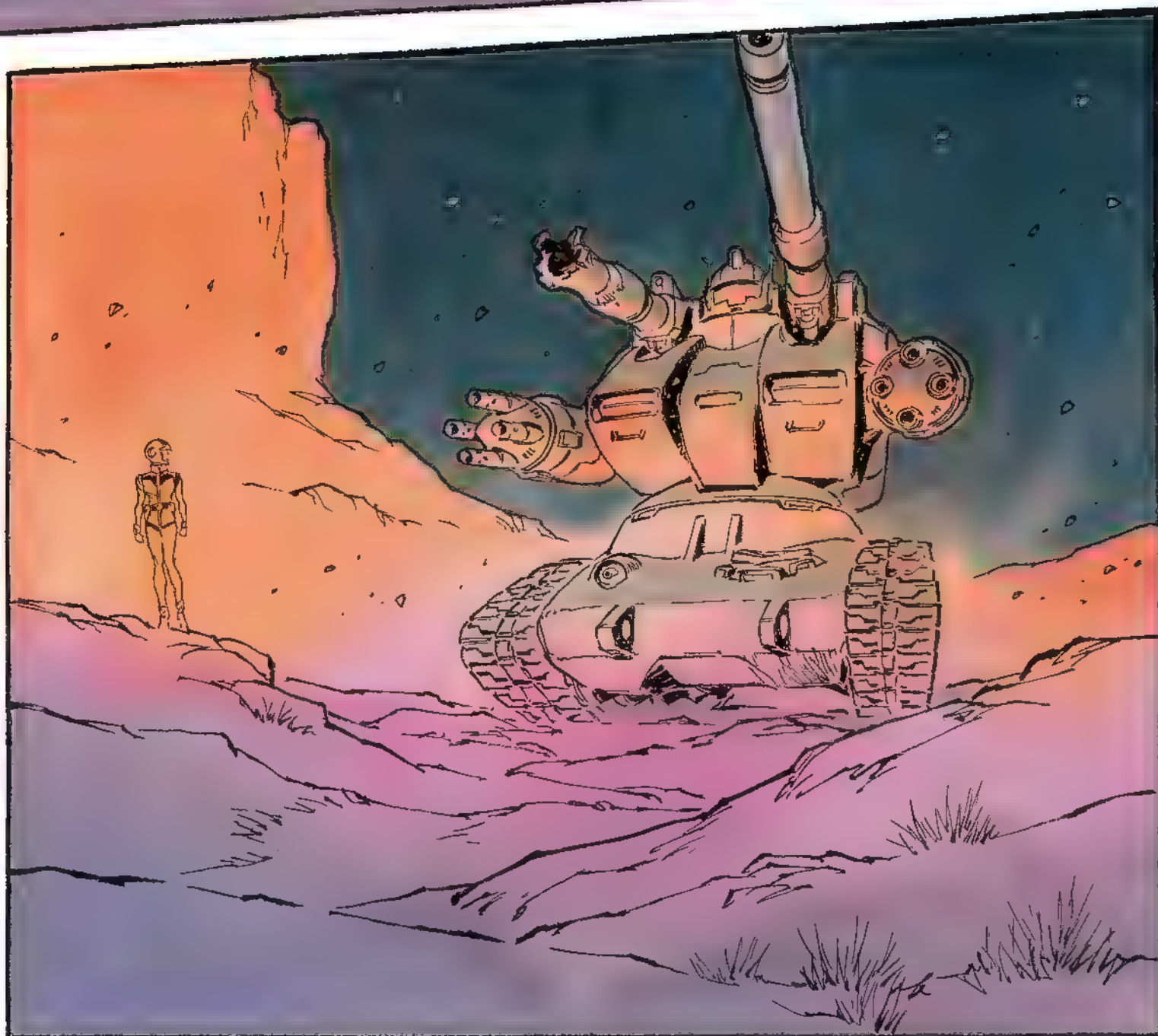
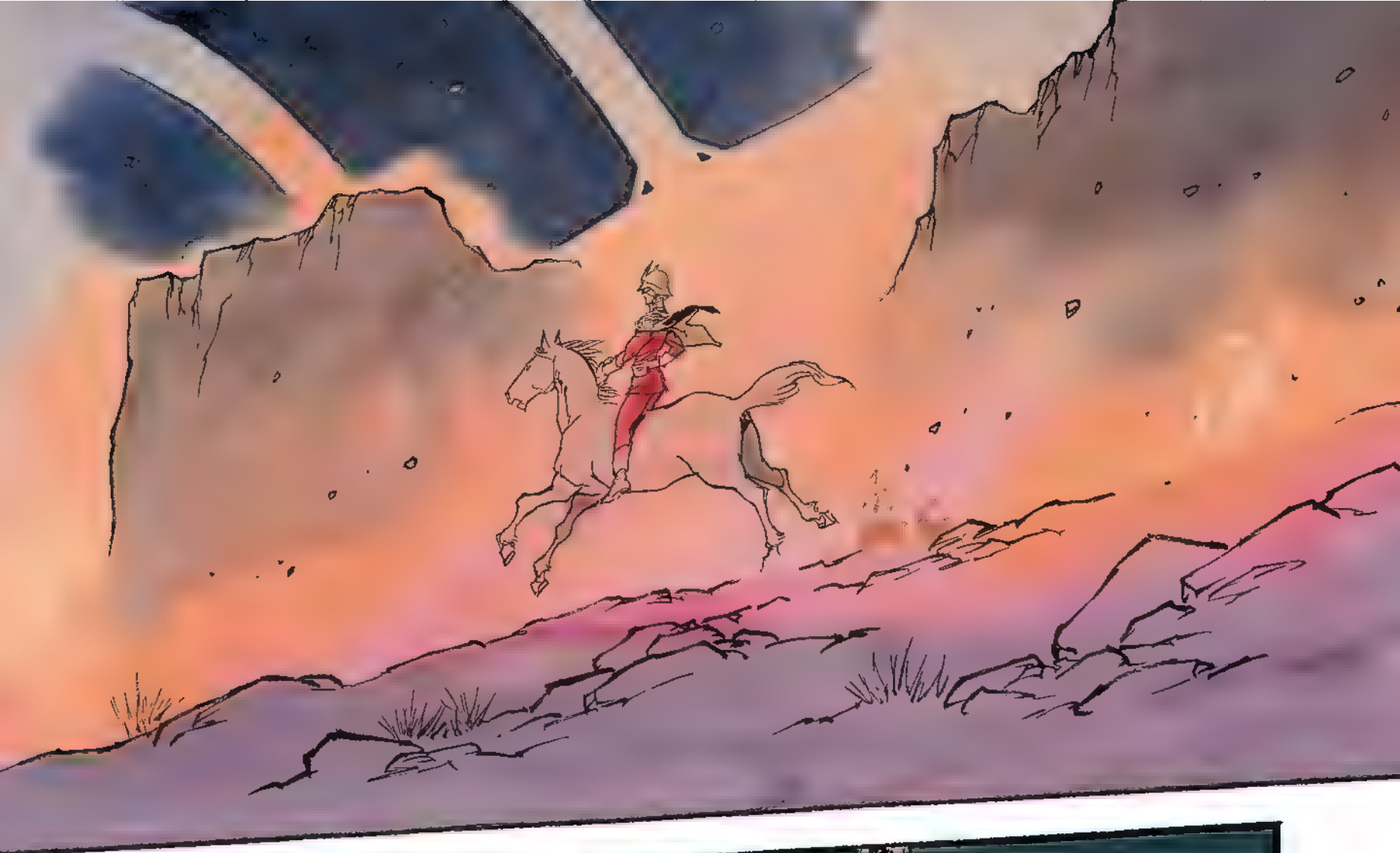




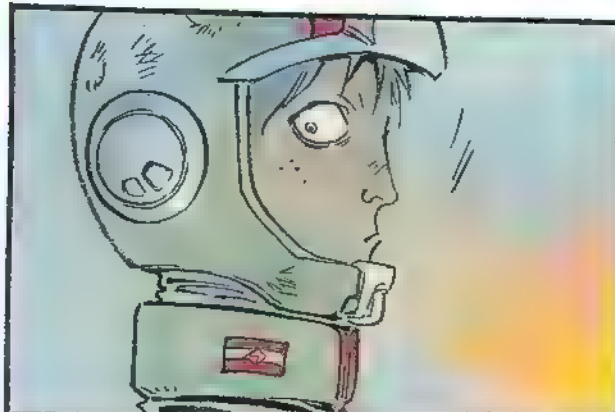
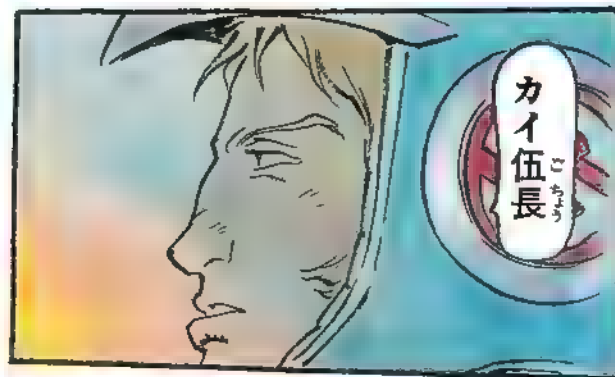
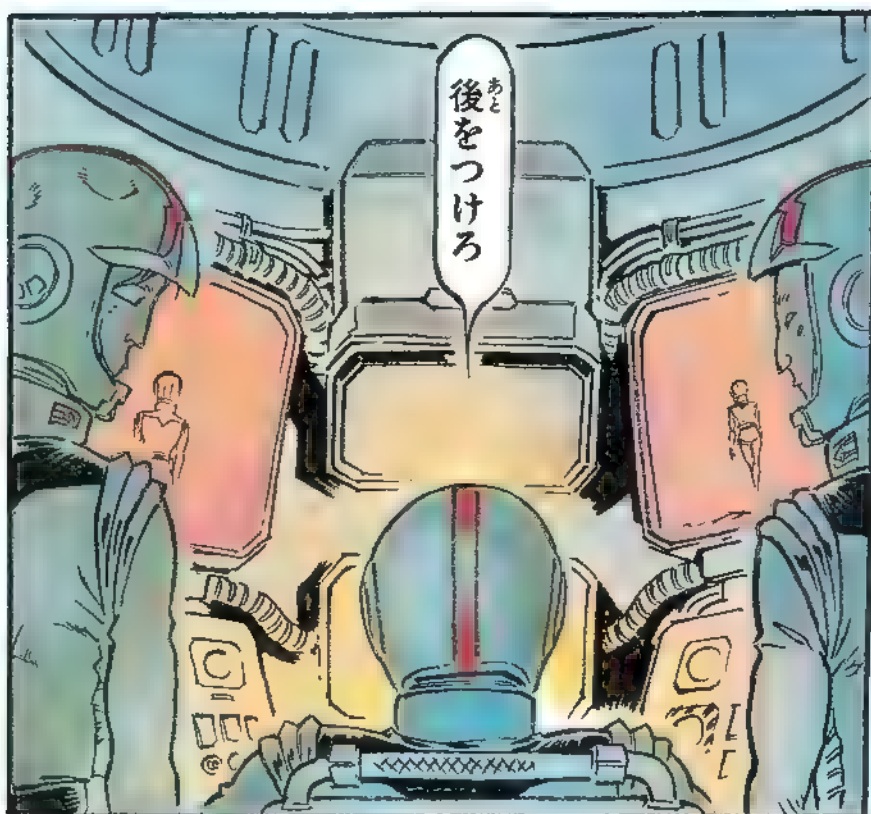
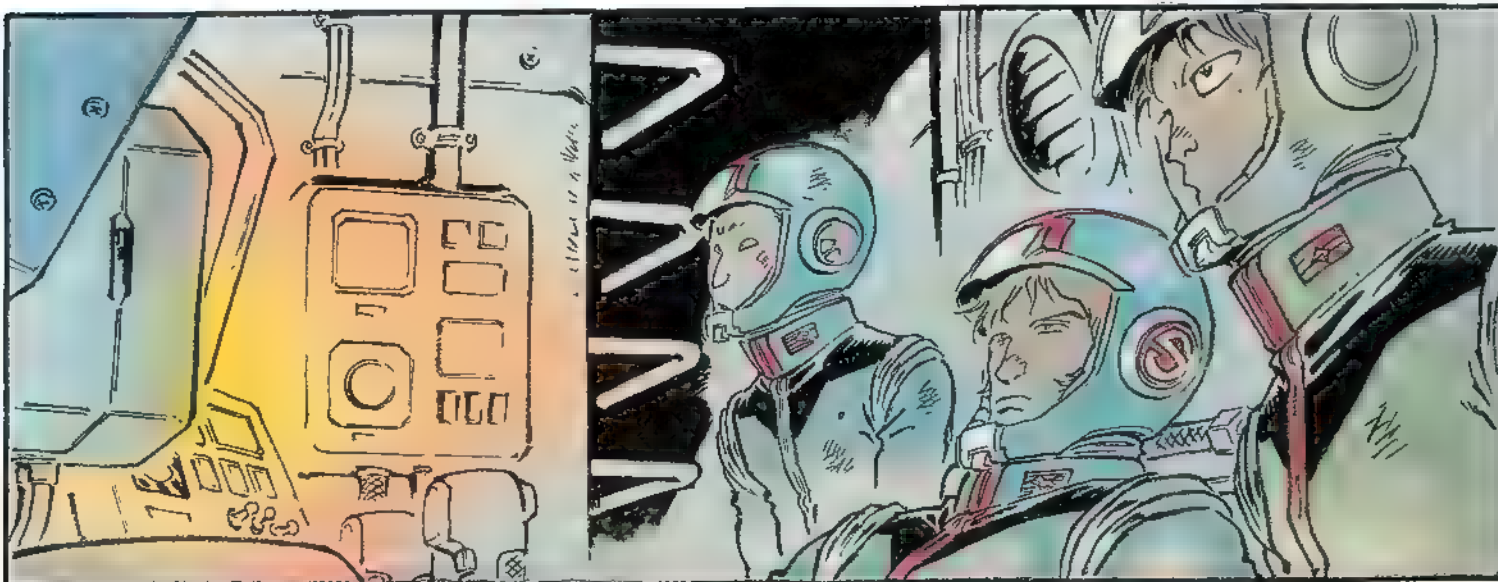
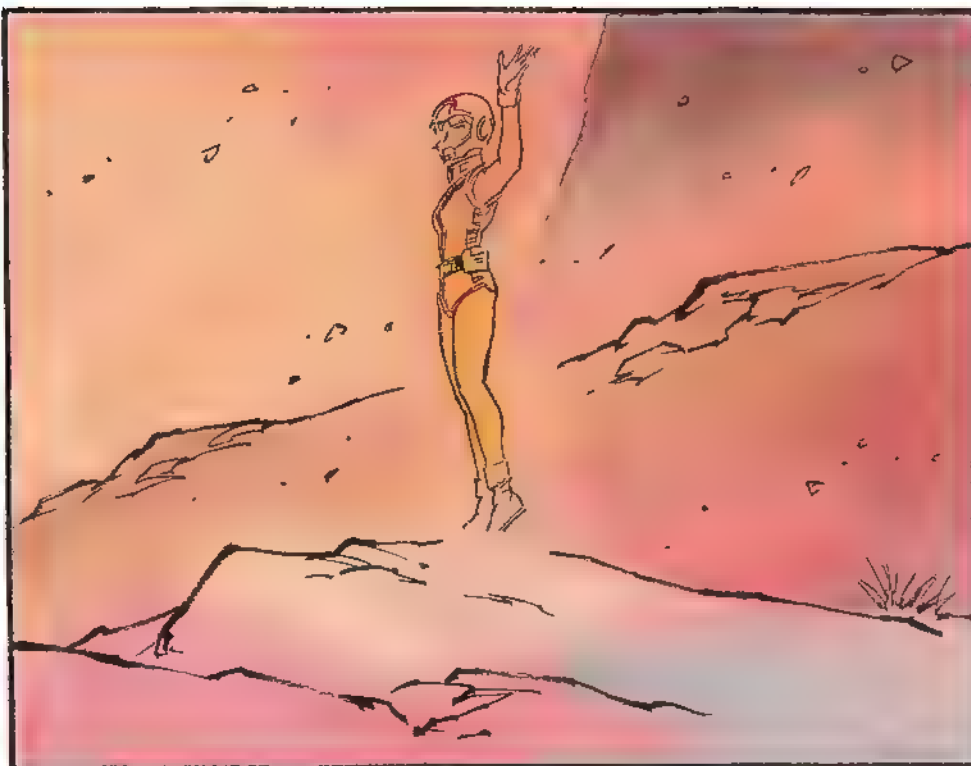
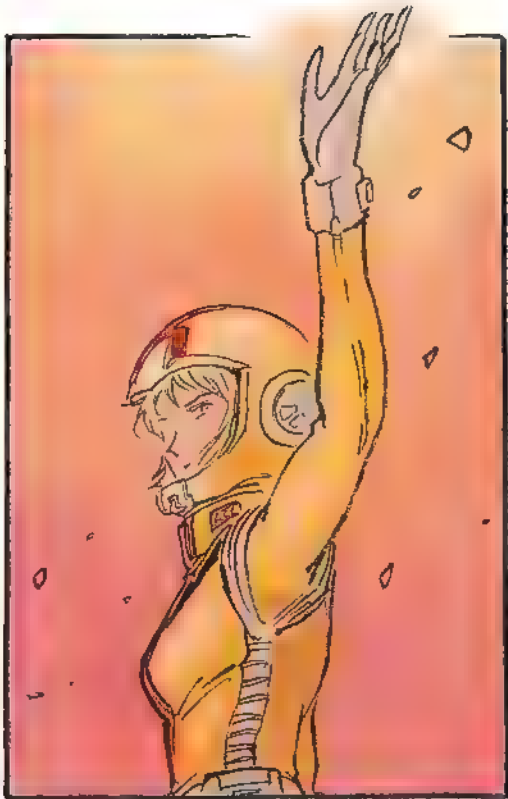
— ラファ編・後 —

SECTION  
XVI

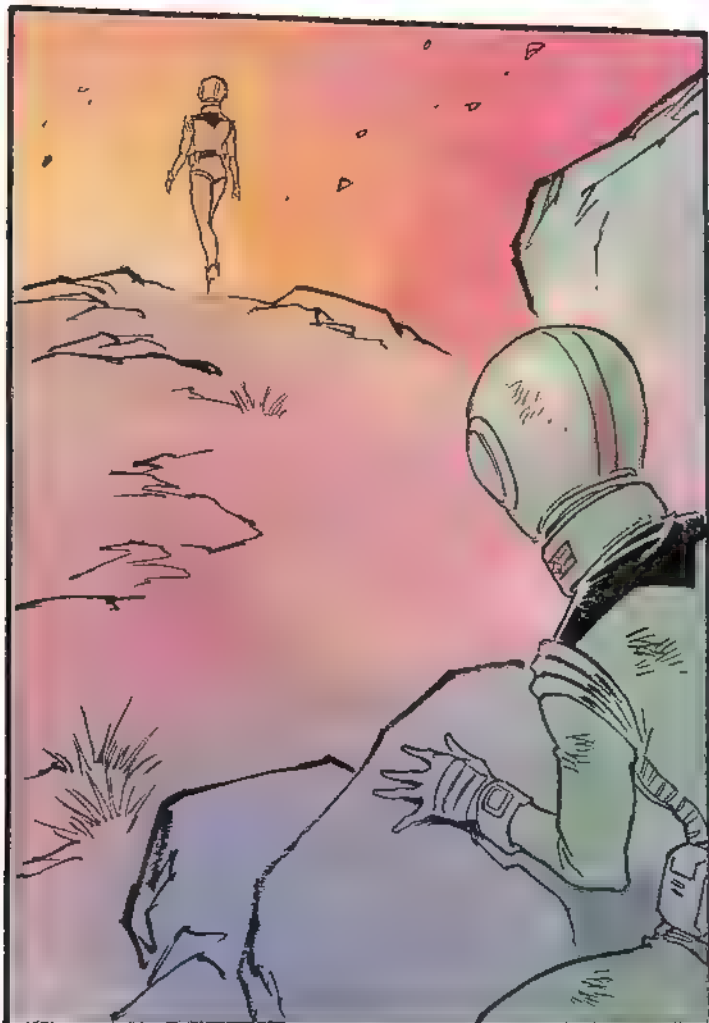
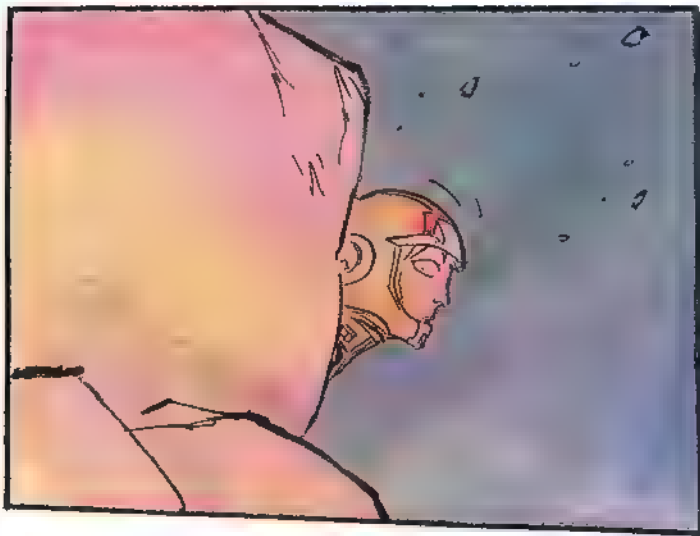
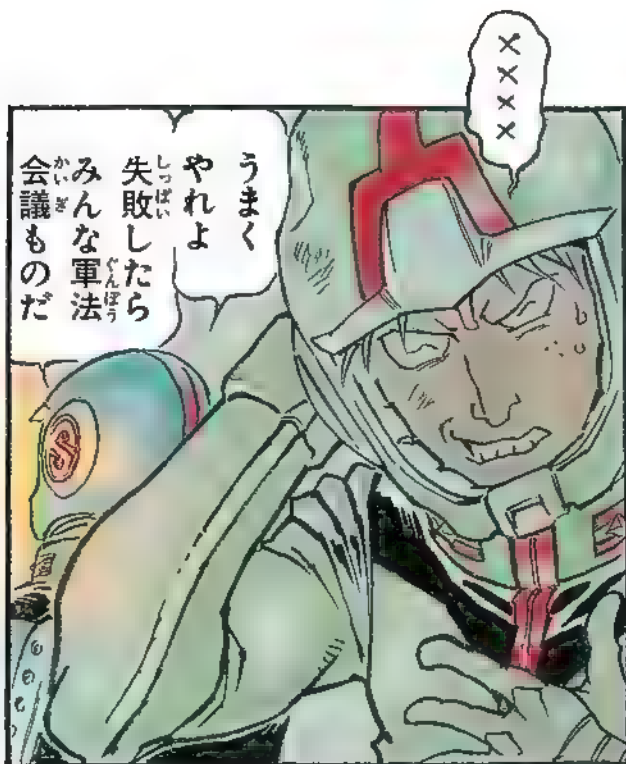
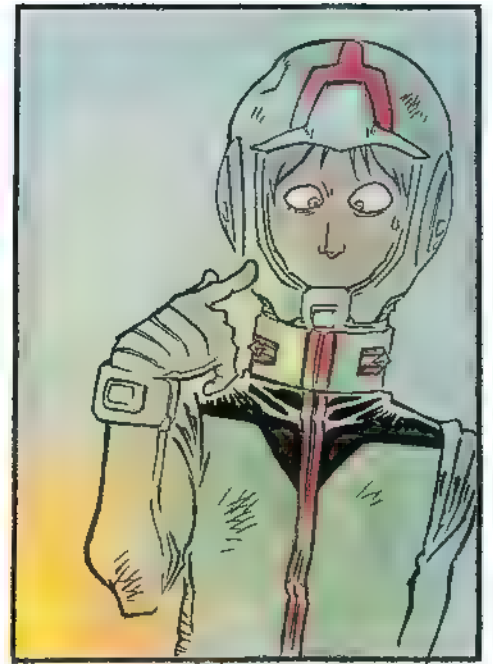




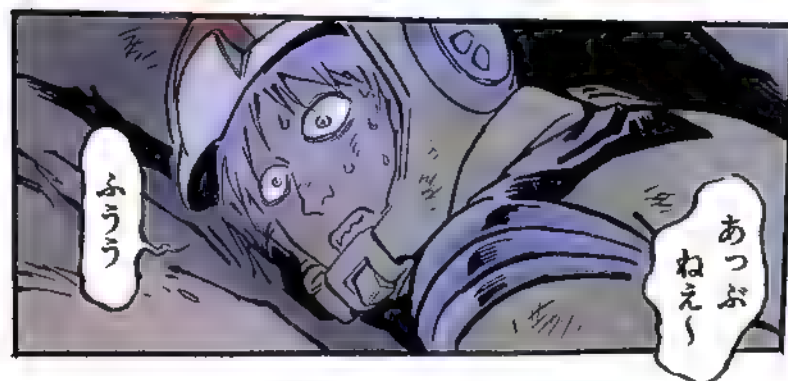
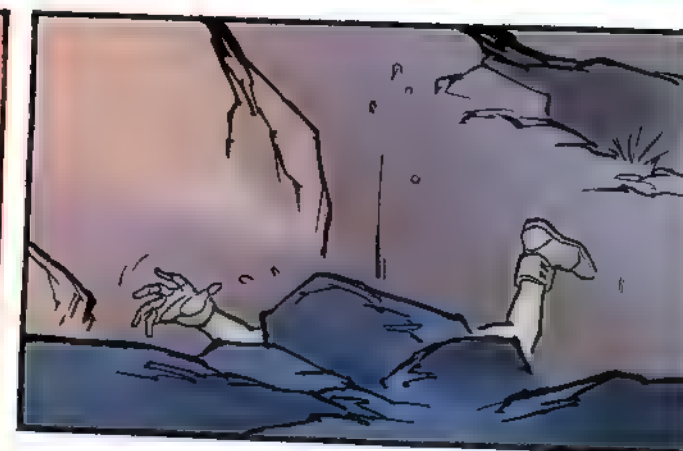
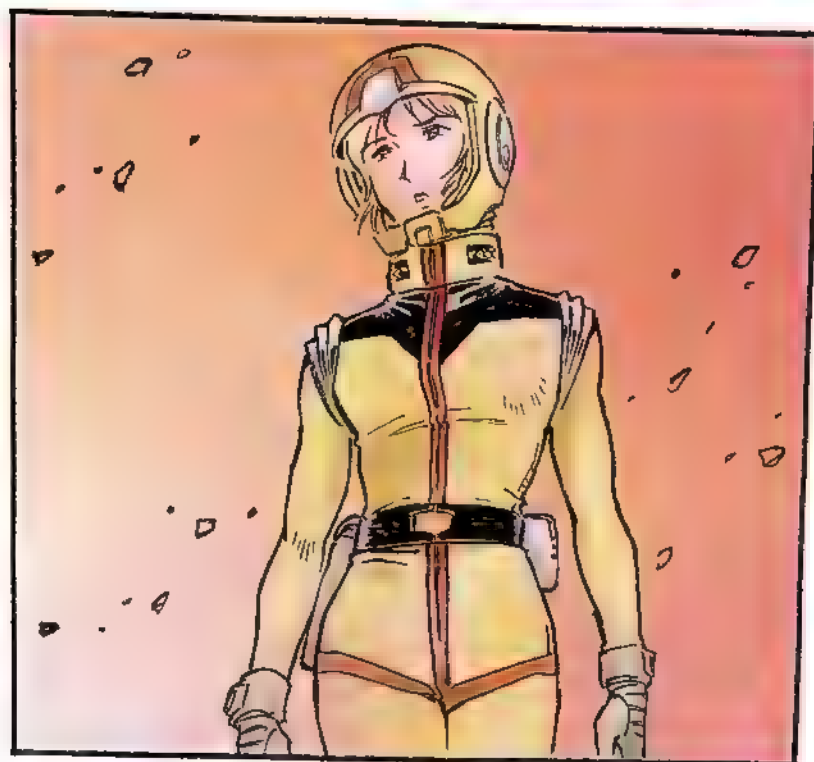
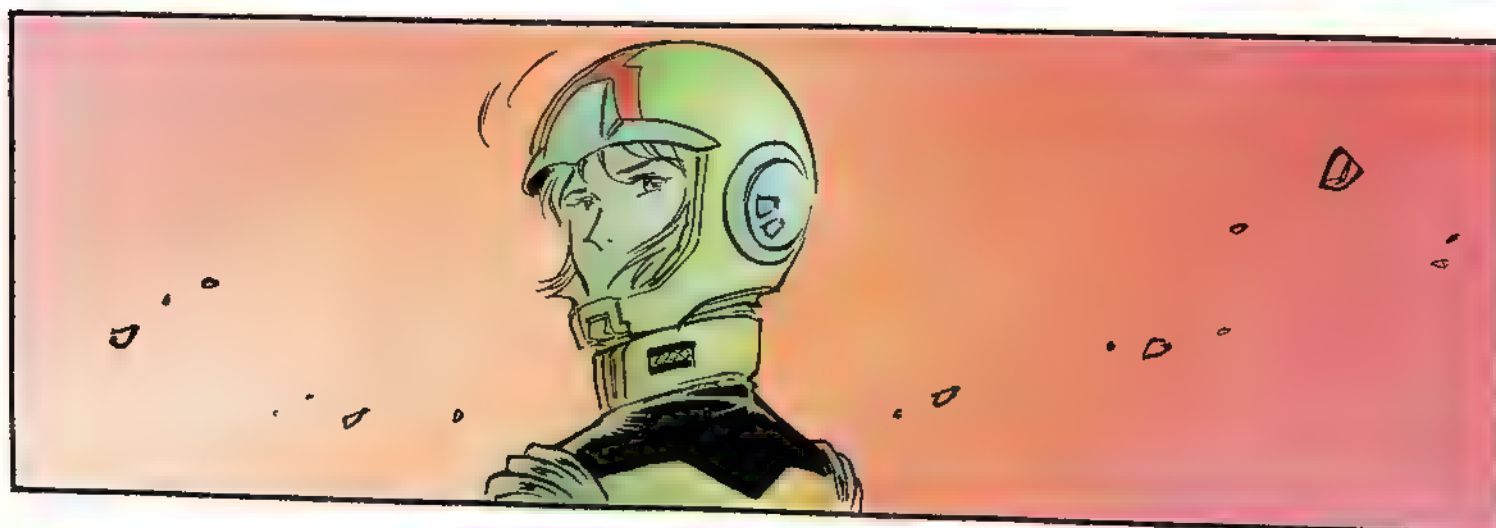
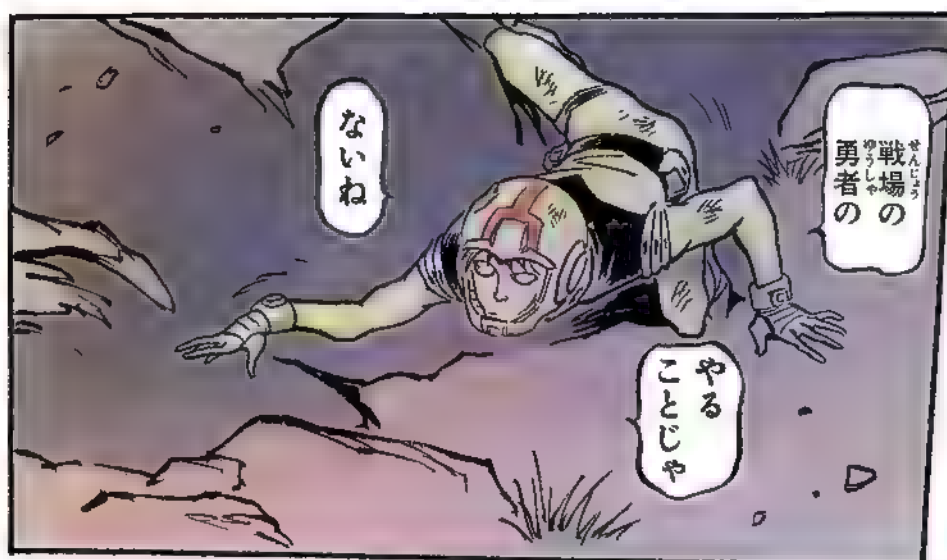




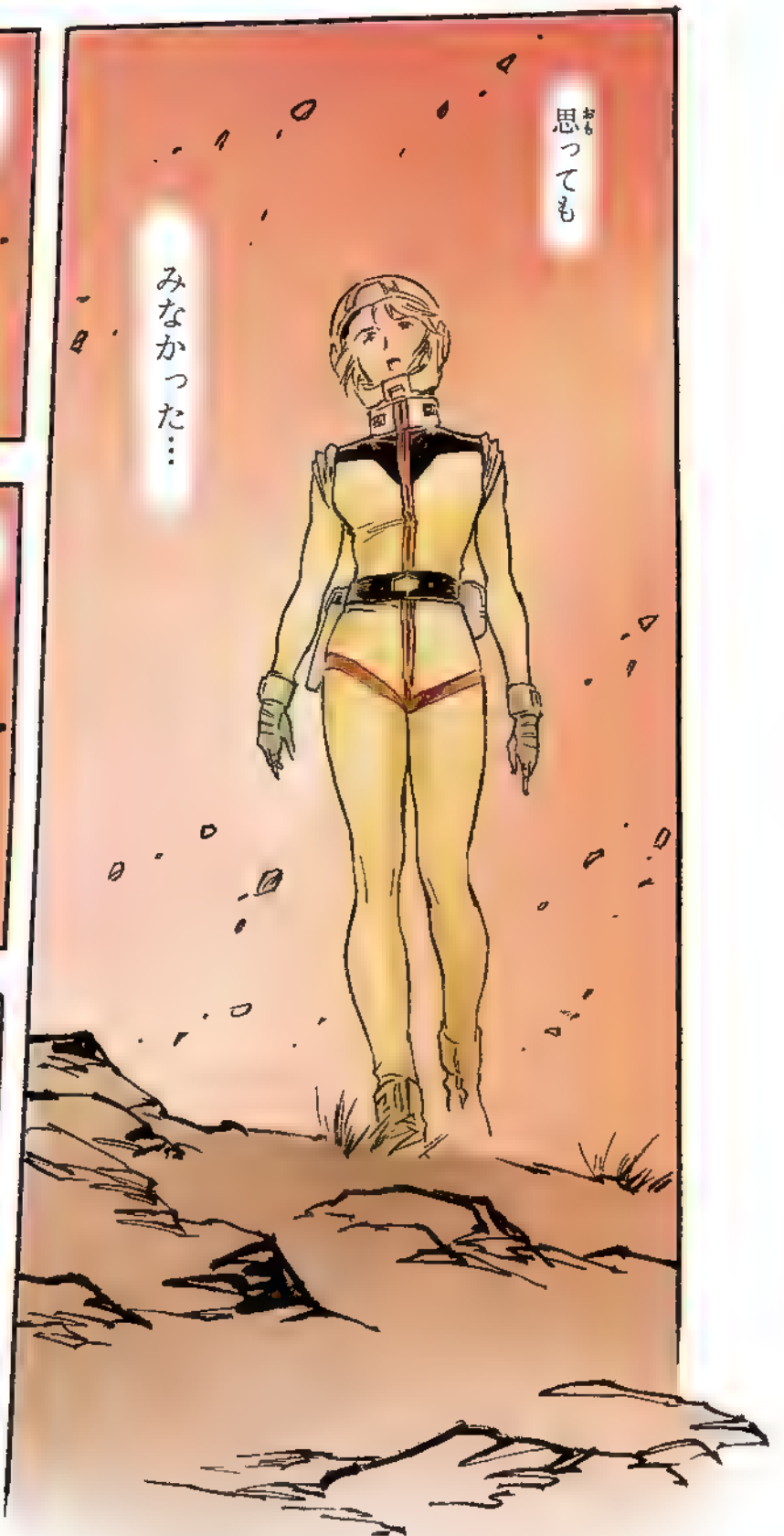
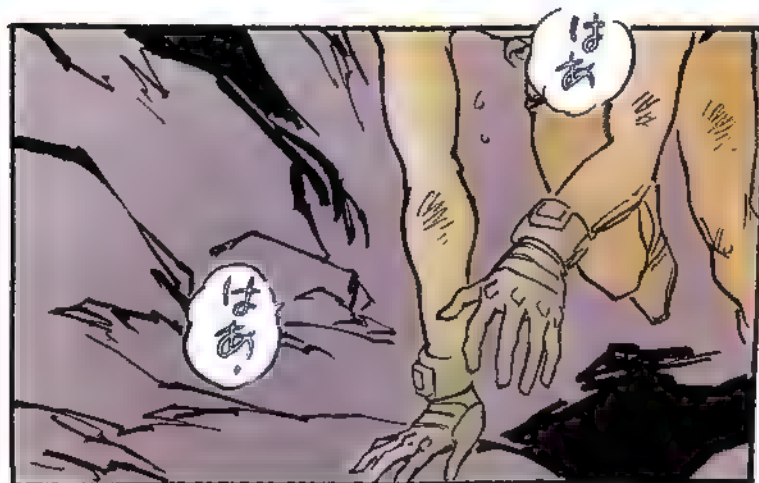
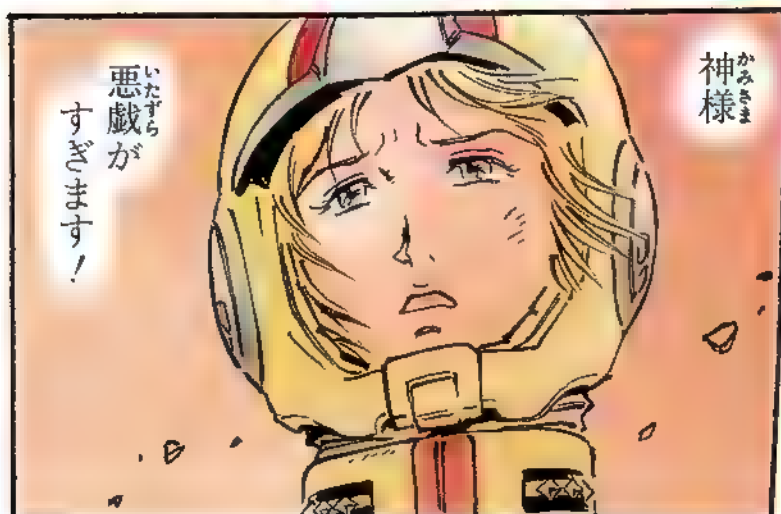
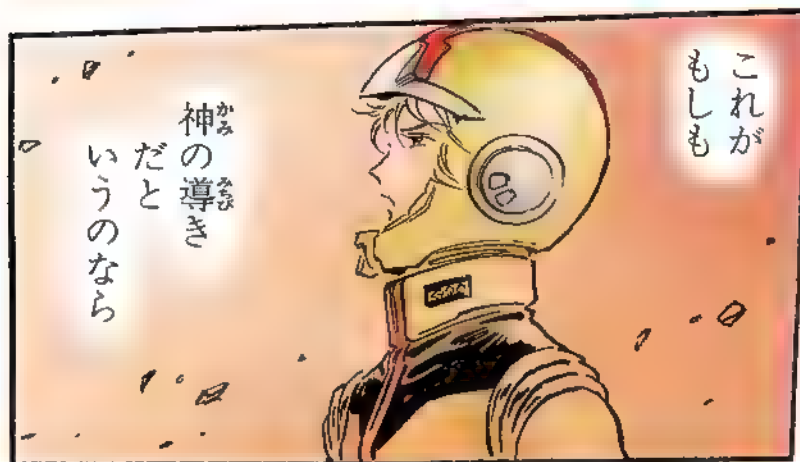
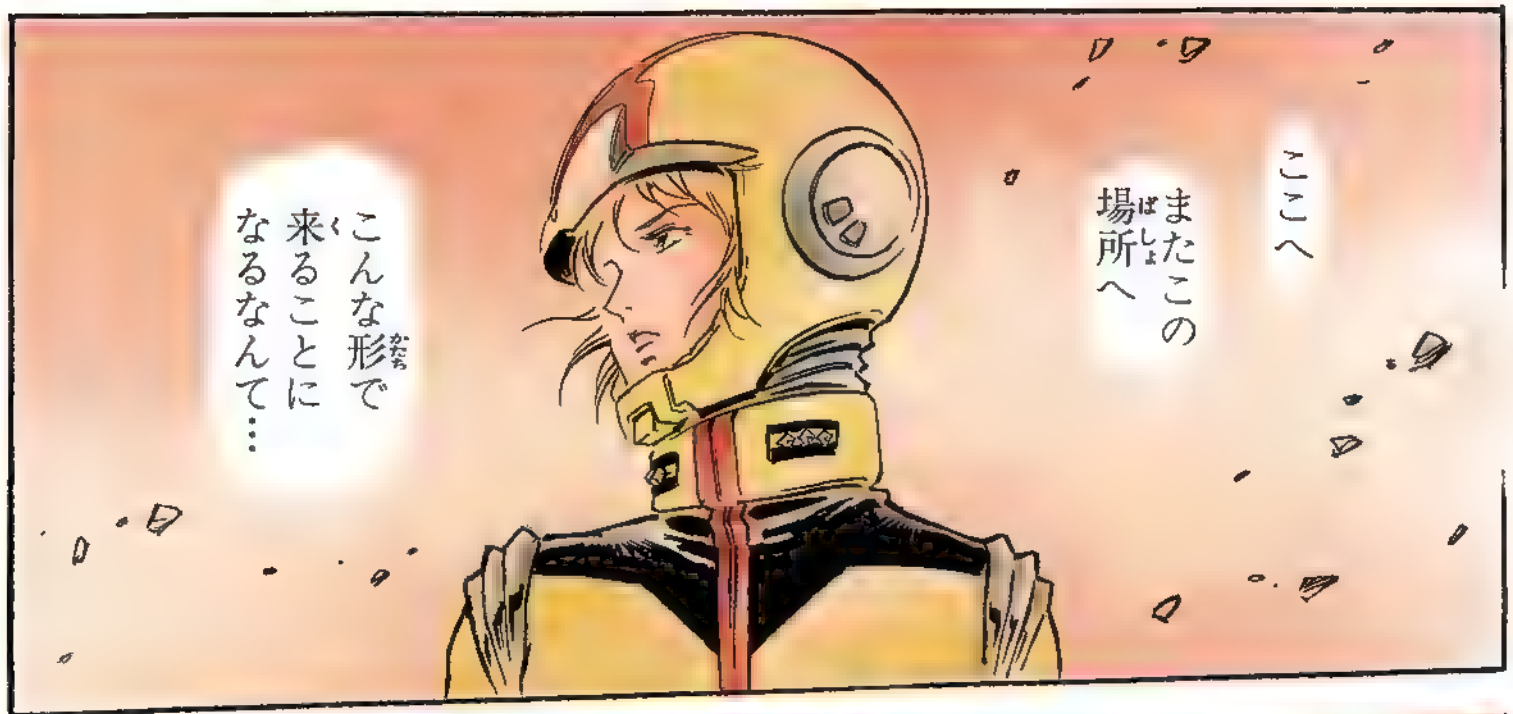




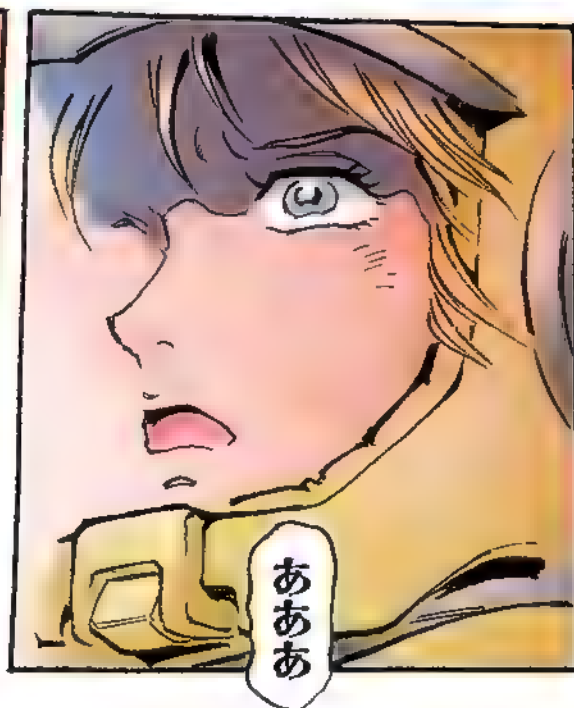
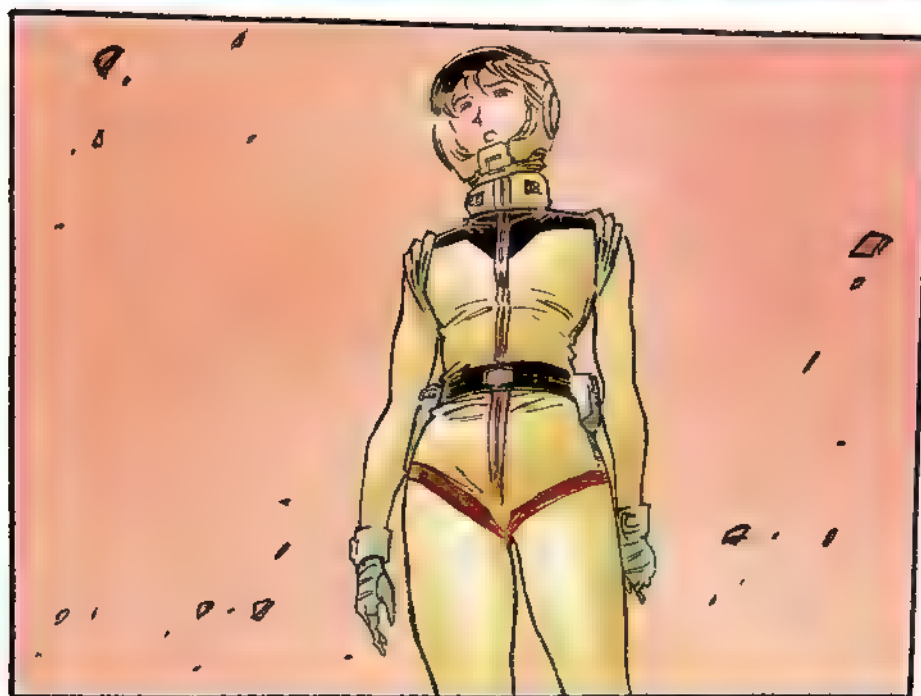








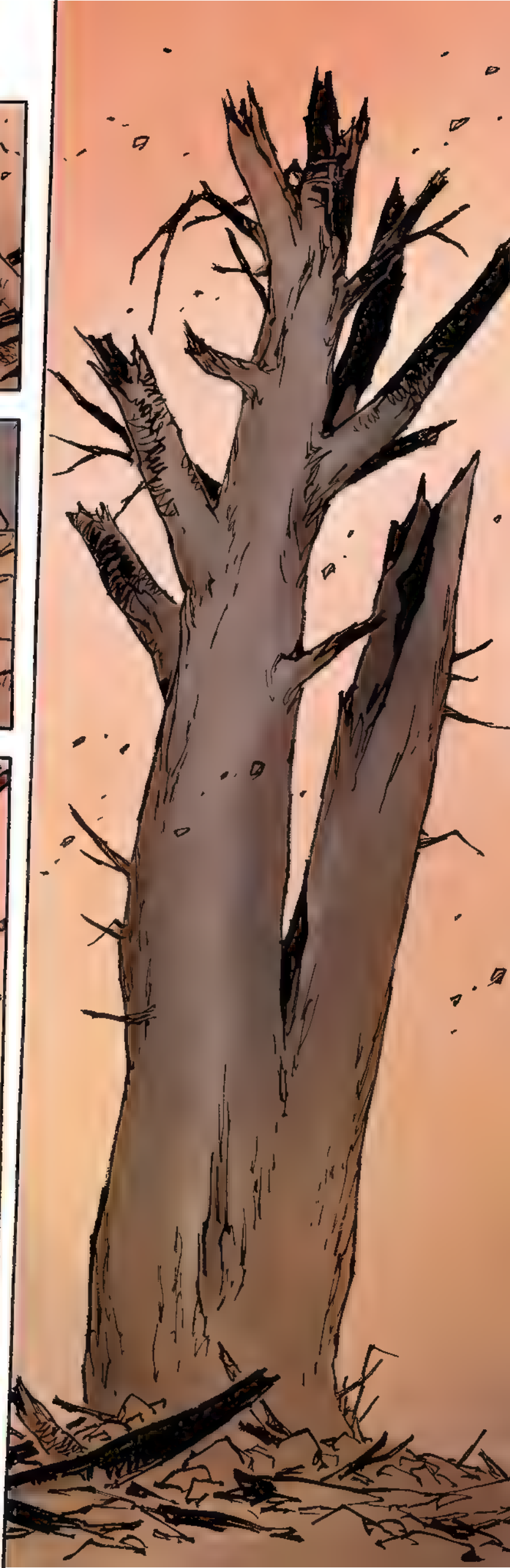
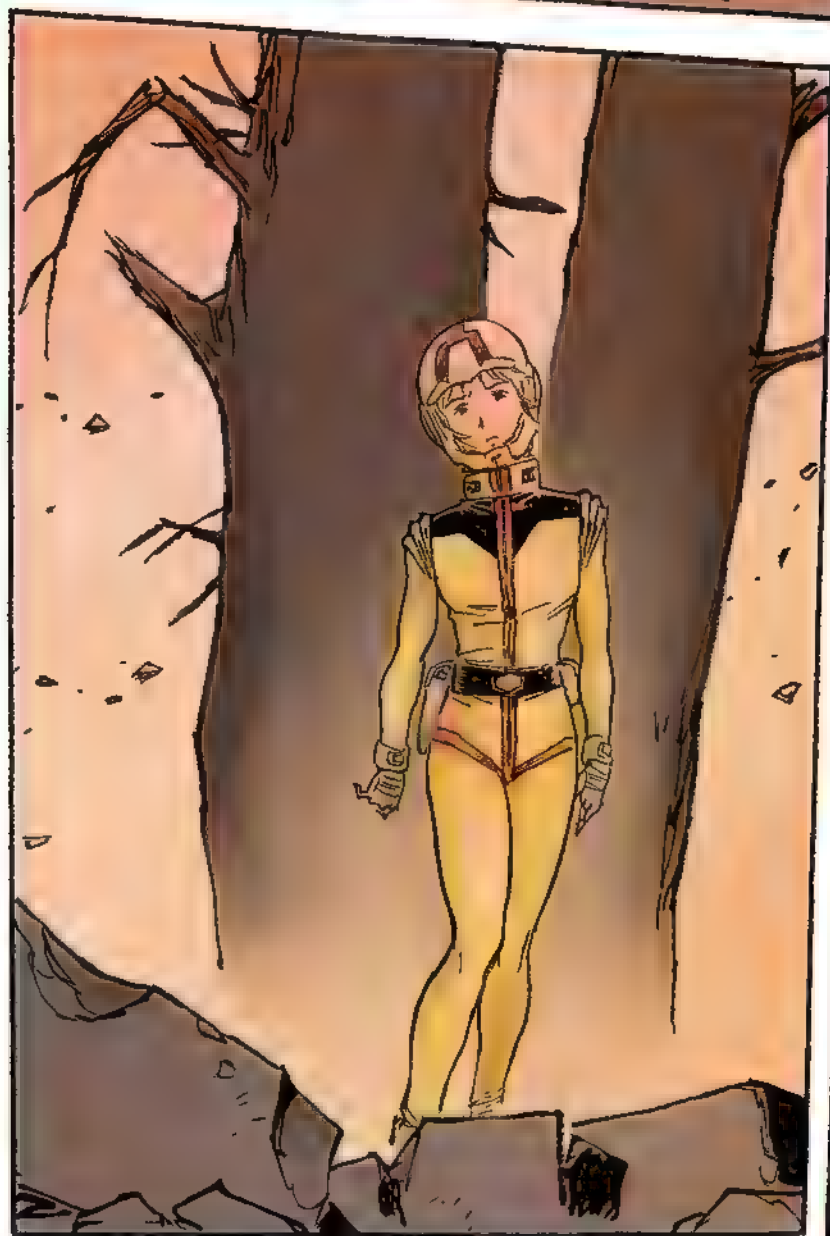




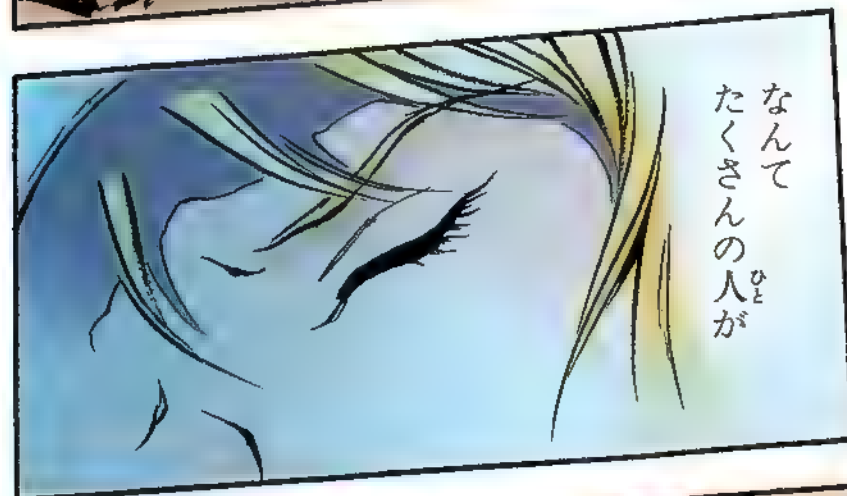
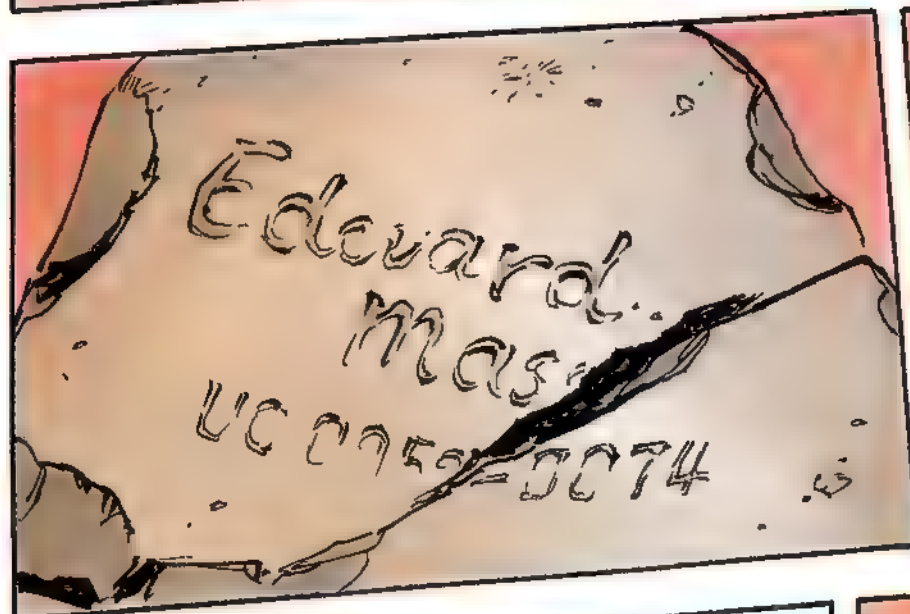
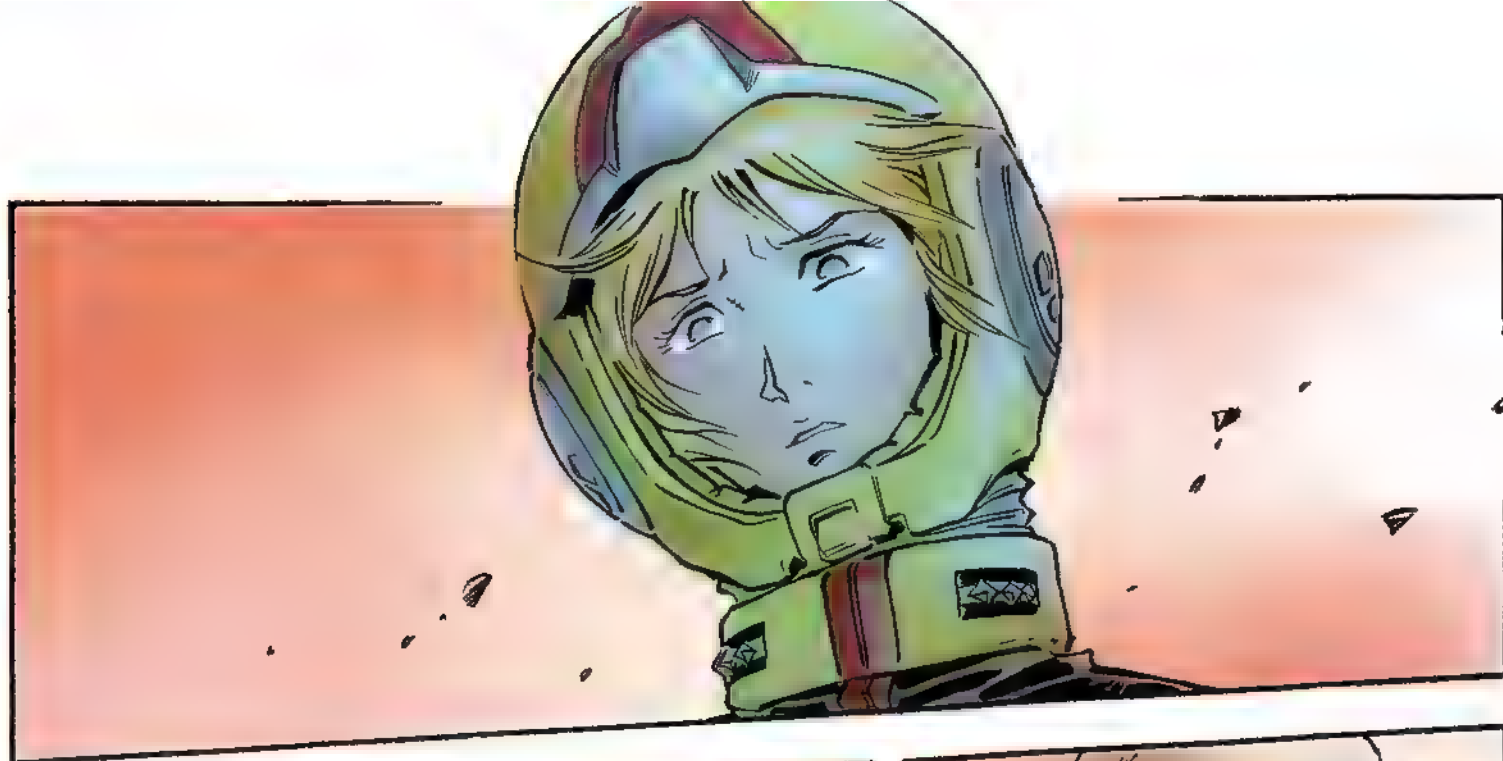




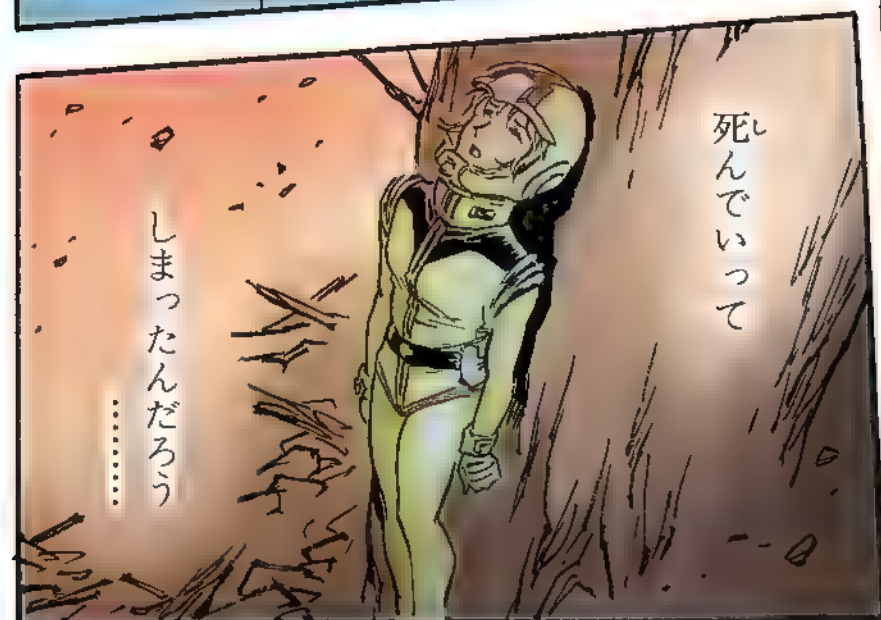






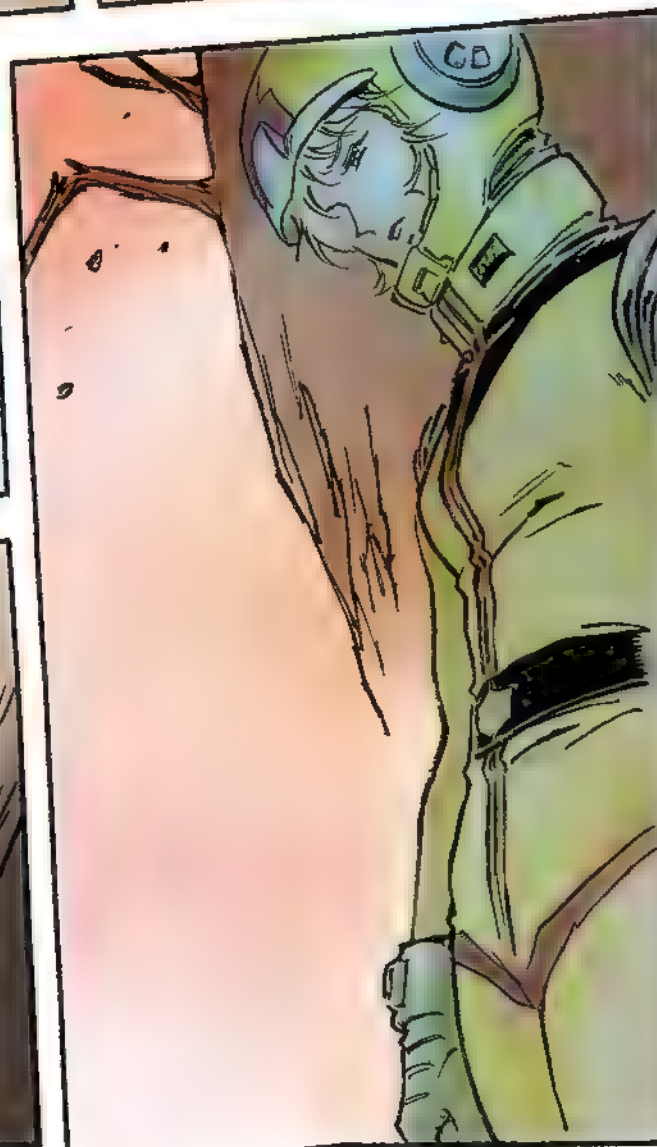


なんて  
たくさんの方が



死んでいった

しまったんだろう  
.....









お母さん<sup>かあ</sup>

デアボロさん

アズナブルさん

シャアさん

ハモンさん…

ラル

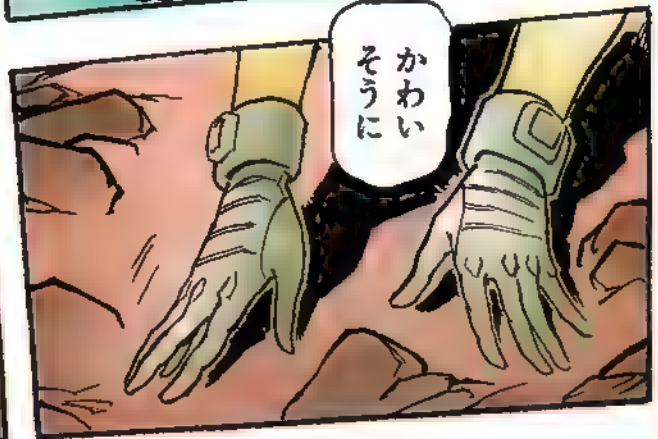




ああ  
そうだ  
それに...



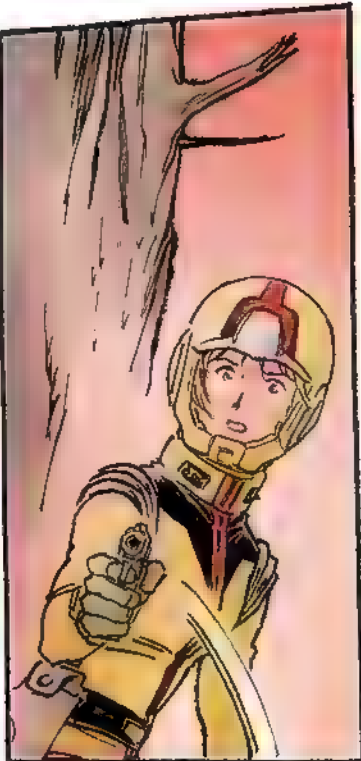
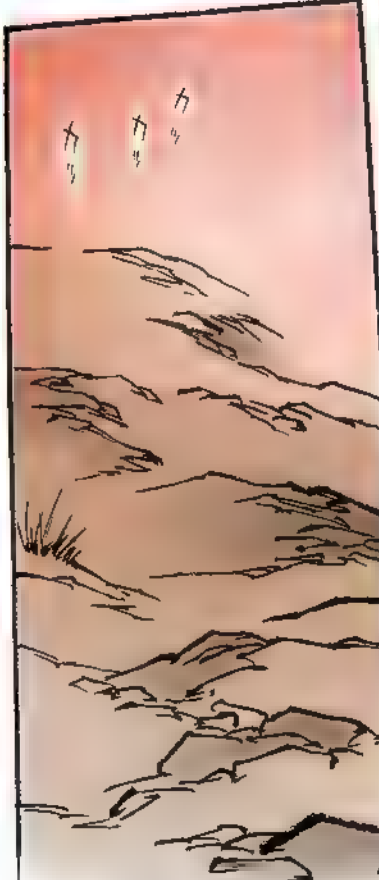
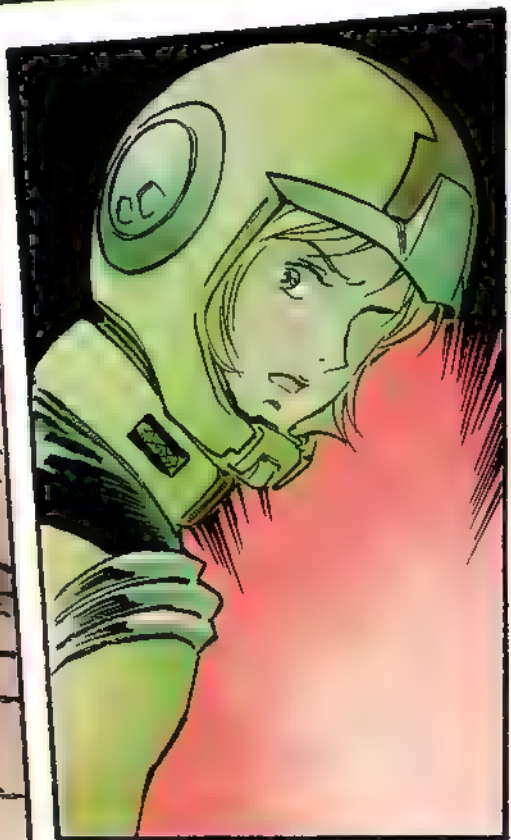
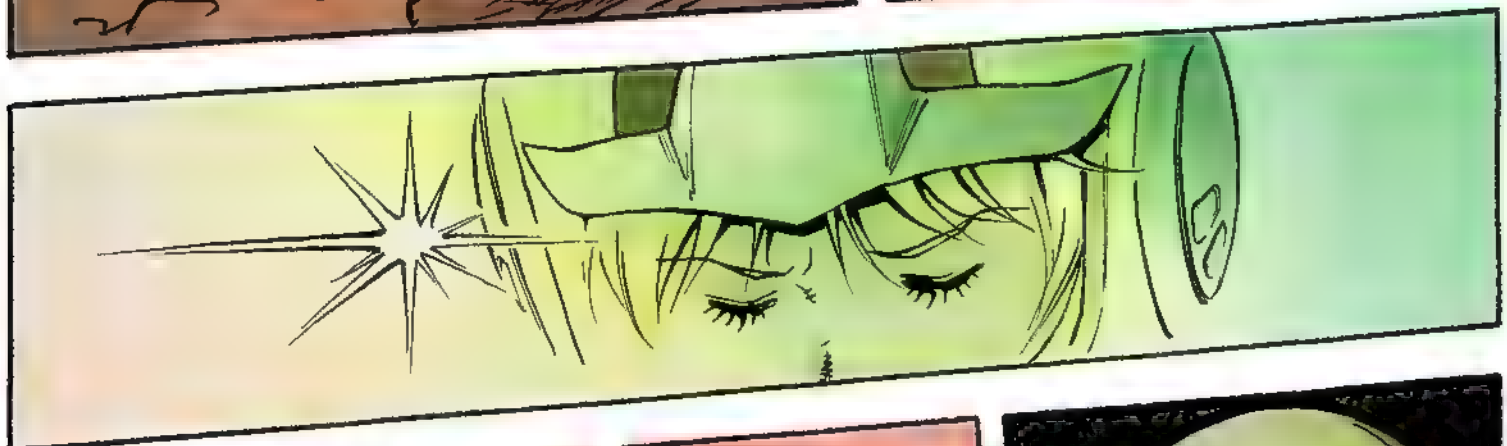
ルシファ



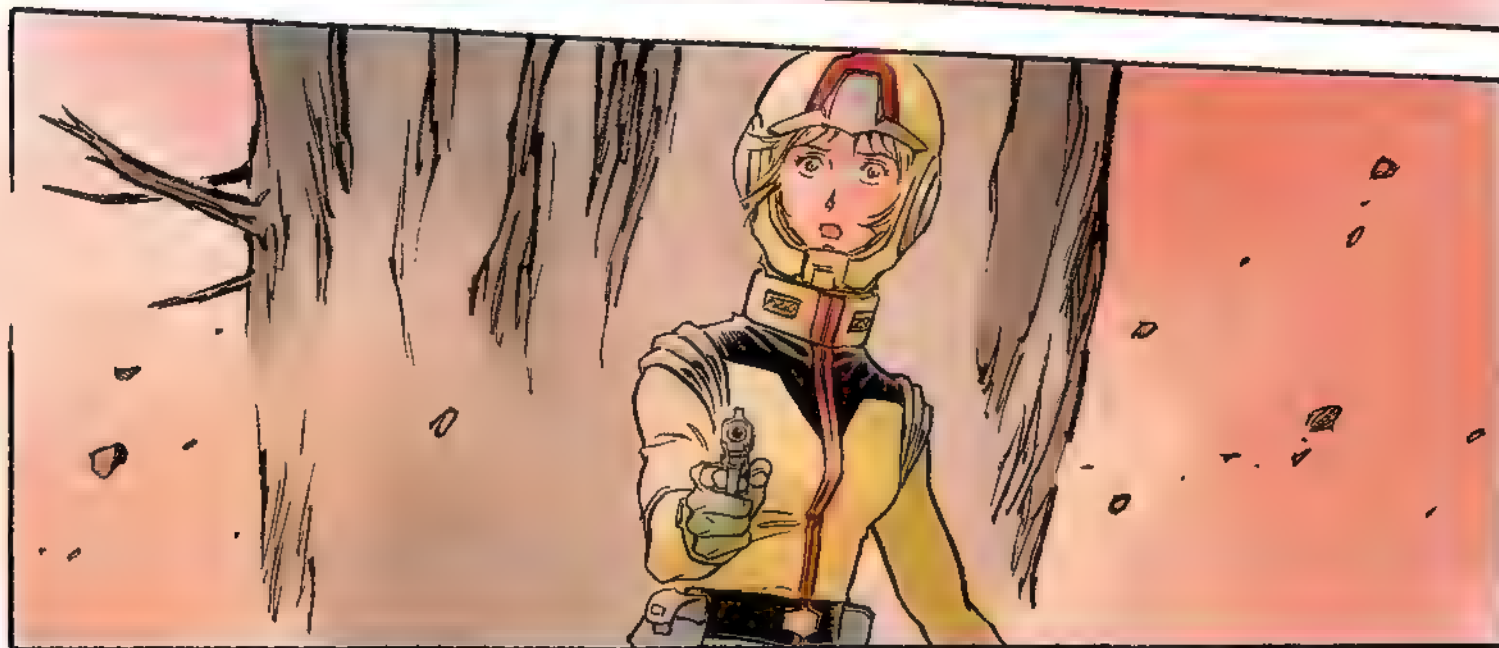
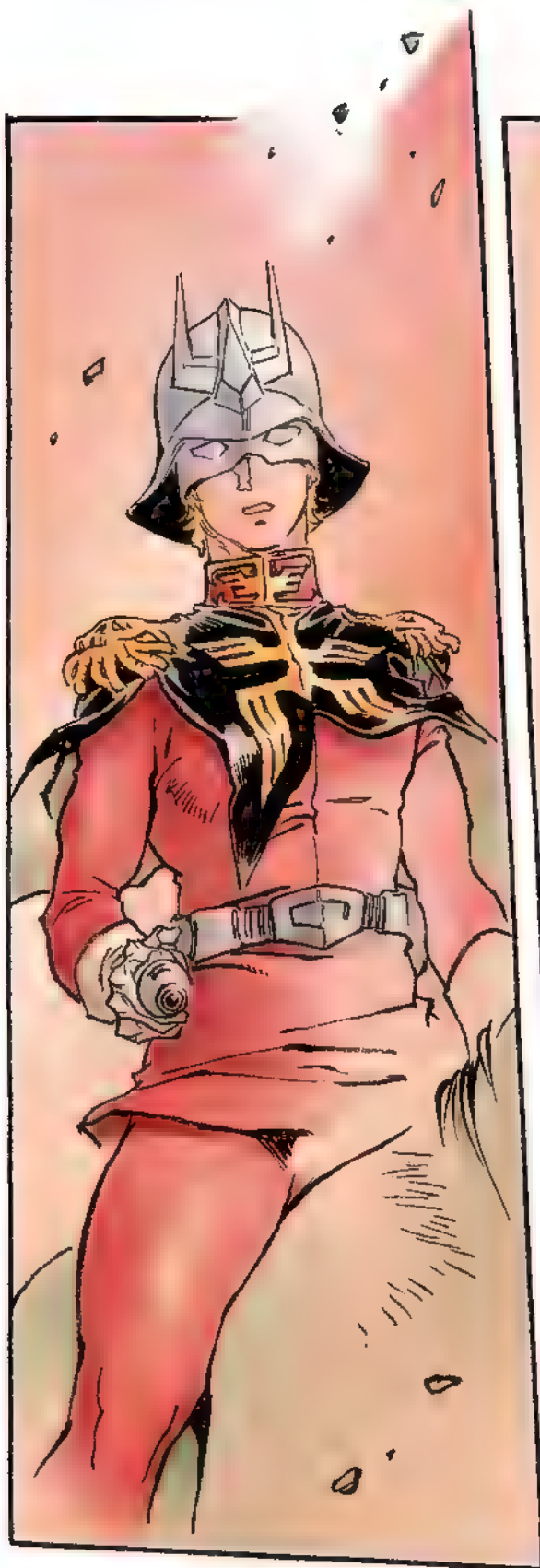
かわい  
そうに

お前のお墓の  
あの小さなクロスは  
もう探しても

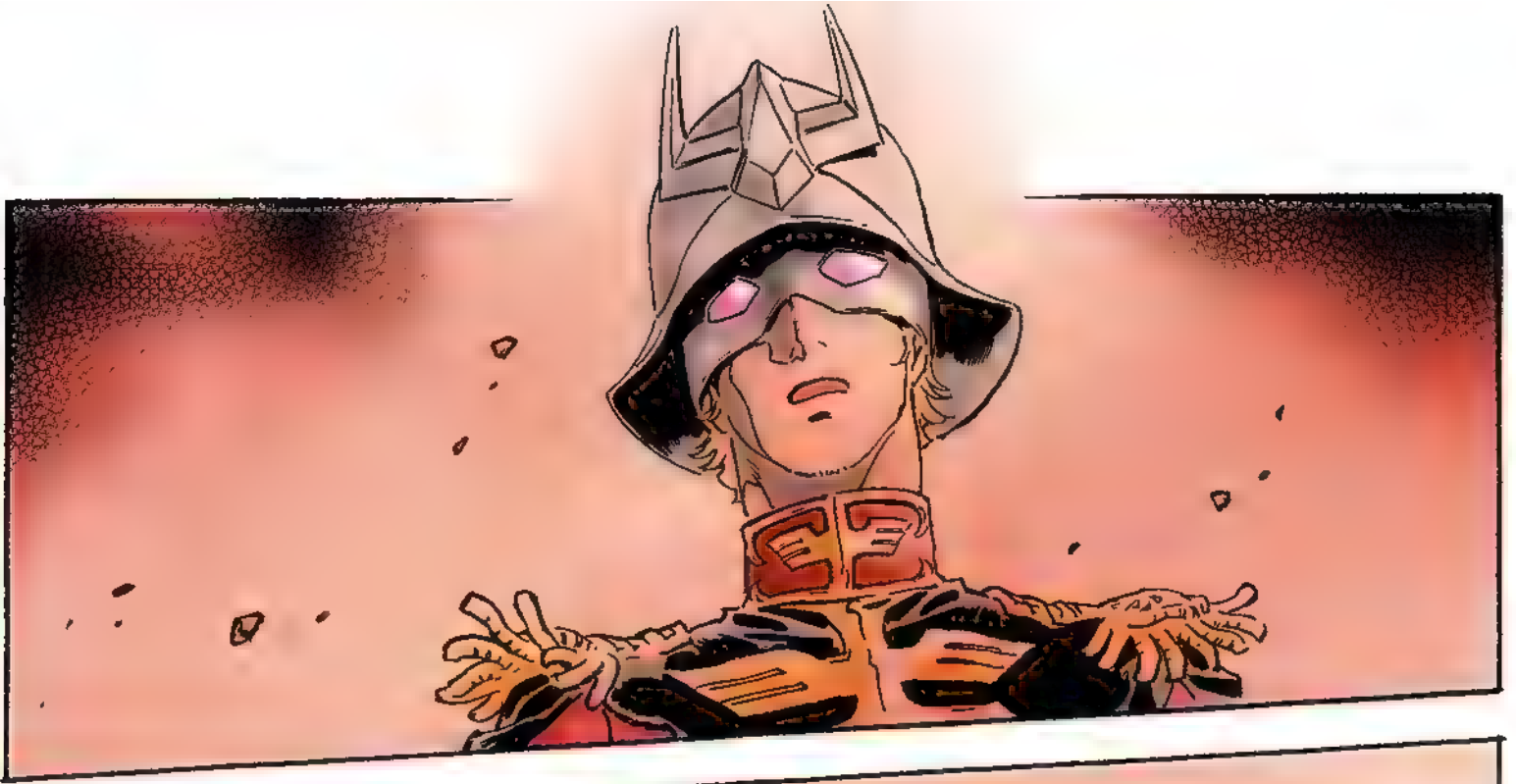
見つからないのね













アルティシア

軍を離れろと  
言った筈だぞ!!

兄さん  
これ

私達を  
捨てて

お母さん  
死なな  
い為に  
討つ

テキサス  
コロニーから

出て  
行ったんじや  
なかったの?

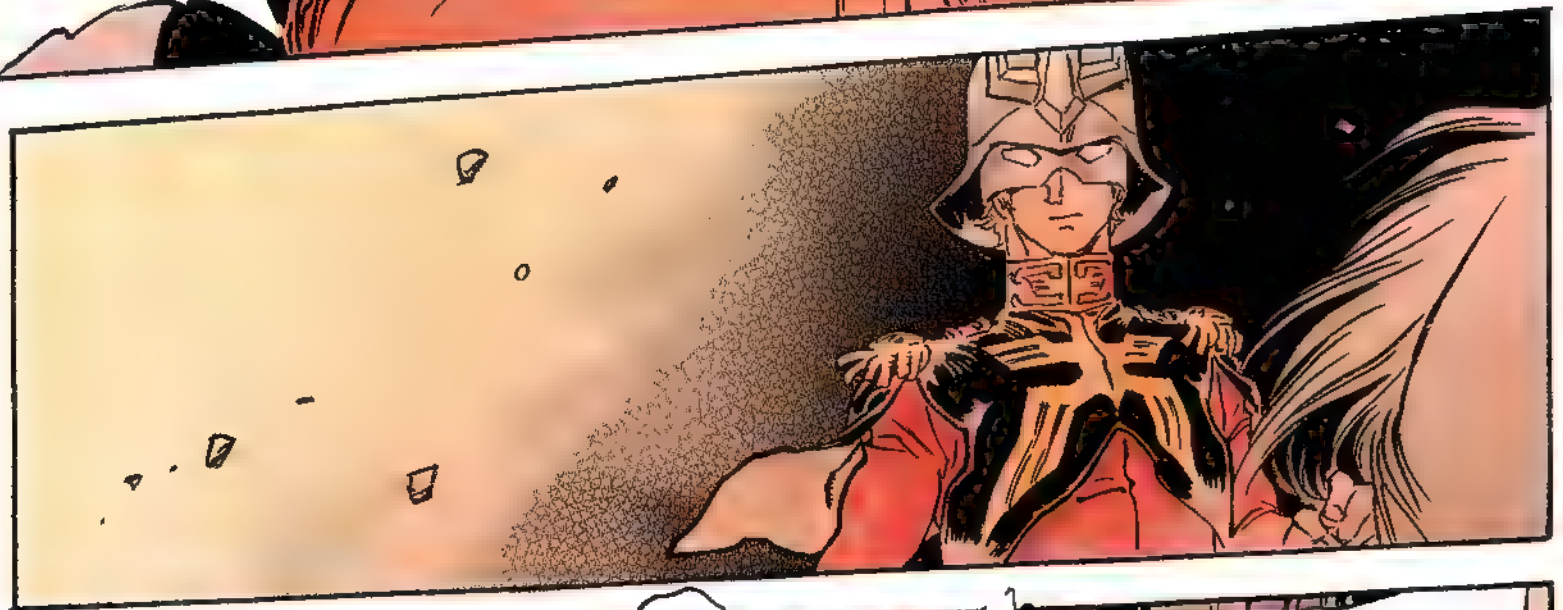
それがジオンの  
軍人になつて!

英雄だなどとい  
言われながら  
手先になつて  
戦つて!!



筋<sup>すじ</sup>が  
ない  
んじや

ない  
んですか?!!



あれからここで  
何が  
あったか  
御存知?!!

ジオン親派と  
見なされて  
ルウムの暴徒に  
襲われて

そのルウムが  
私達の国でも  
あったルウムが

地獄のような火で  
焼かれるのを  
私達はここから

テアポロさんは  
死んで  
そして

あああ!

そうだ!!



にいさんは  
見ていたの  
よね

あの時!!

河<sup>かわ</sup>の  
ブリッジから!

赤<sup>あか</sup>いモビルスーツ!

あれは  
やっぱり...

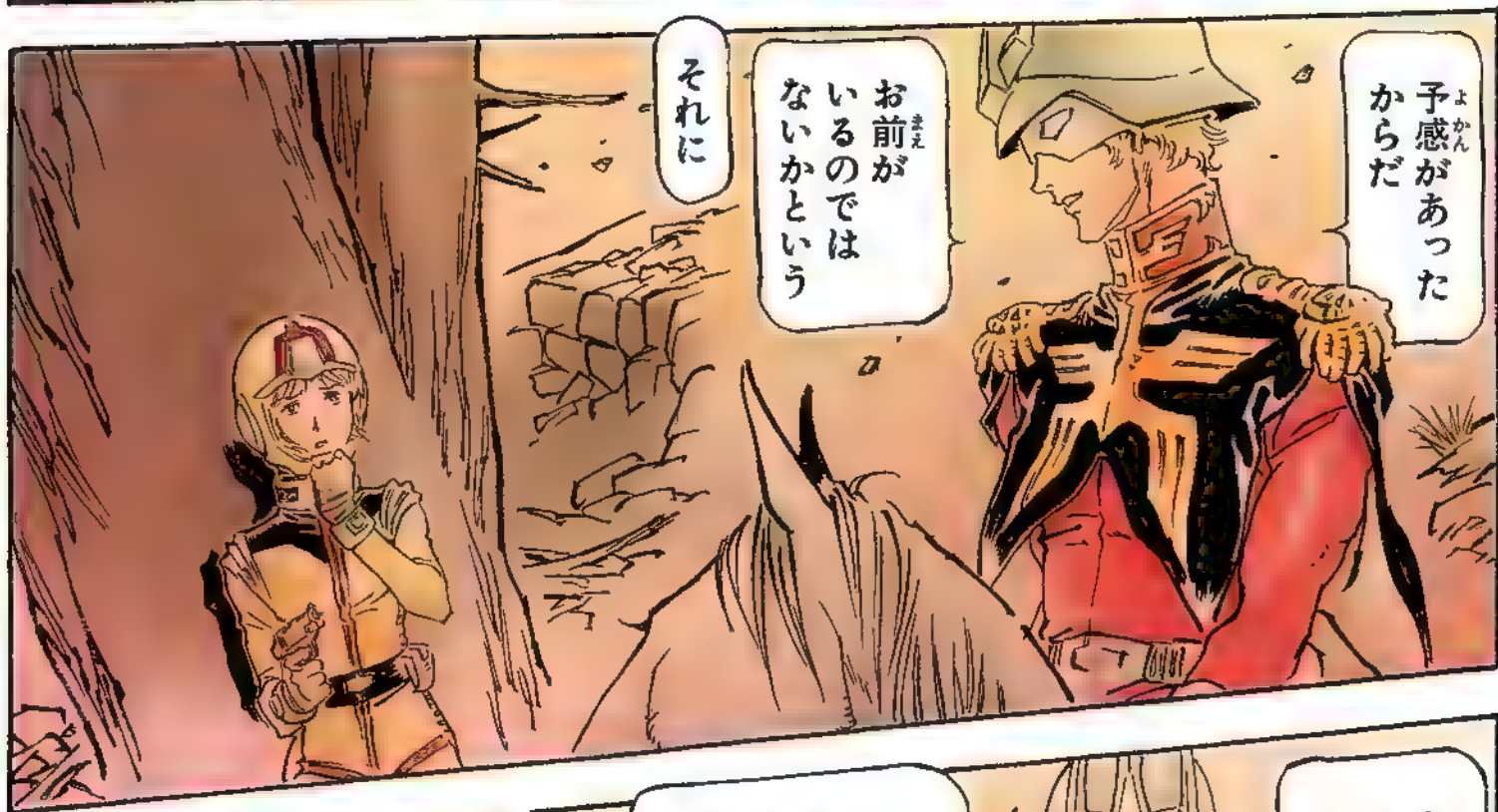






私だ

テキサス・コロニーを  
攻撃させなかったのは



予感があった  
からだ

お前が  
いるのでは  
ないかという

それに

流刑地でしか  
なかったこの  
コロニーも

ここで見知った  
人々も  
あの頃の私と  
お前には  
かけがえのない  
存在だ

他のパンチ  
のように  
するのは

しのびなかった

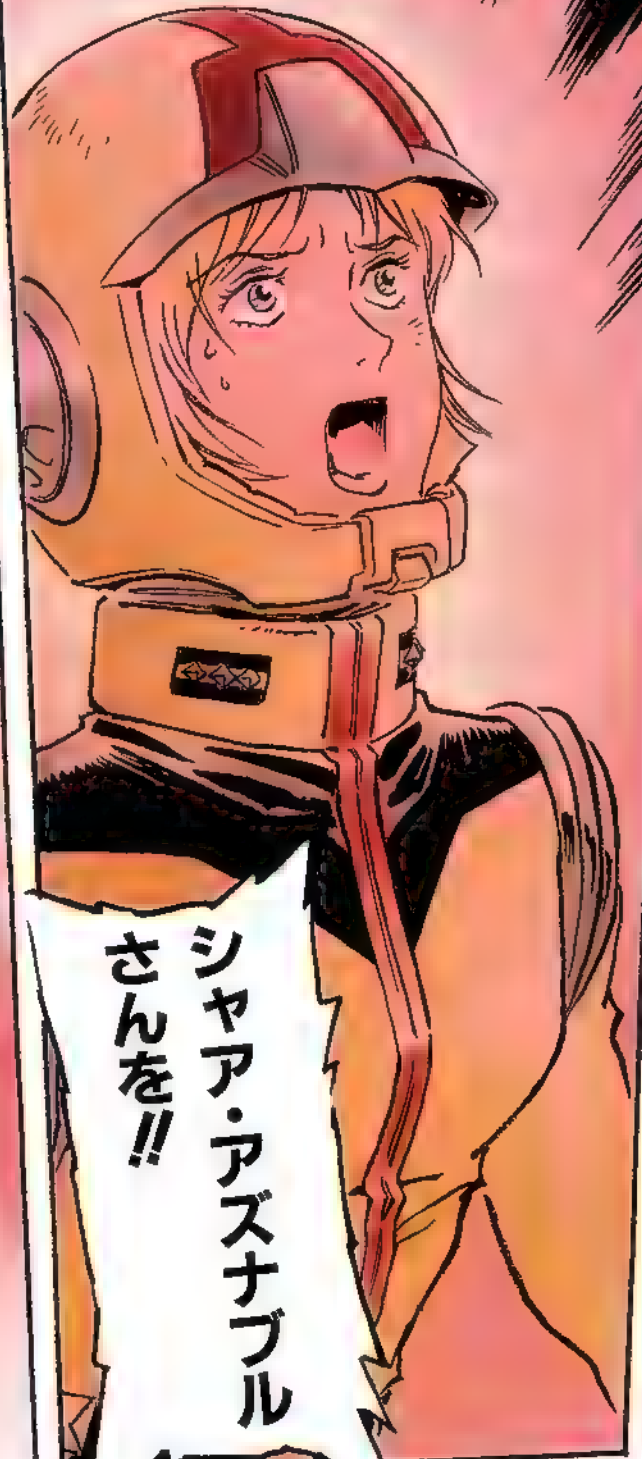
でも

兄さん  
あなたは



あの人を殺し  
たんでしよう?!!

何も知らない  
あの



シャア・アズナブル  
さんを!!

そしてあの人の  
入学証明書を  
奪ってあの人に  
なりすまし

ジオンの  
士官学校に  
入学した!

何てひどいことを!!

シャア・  
アズナブルは  
我が子だって  
思ってたわ  
おられたわ

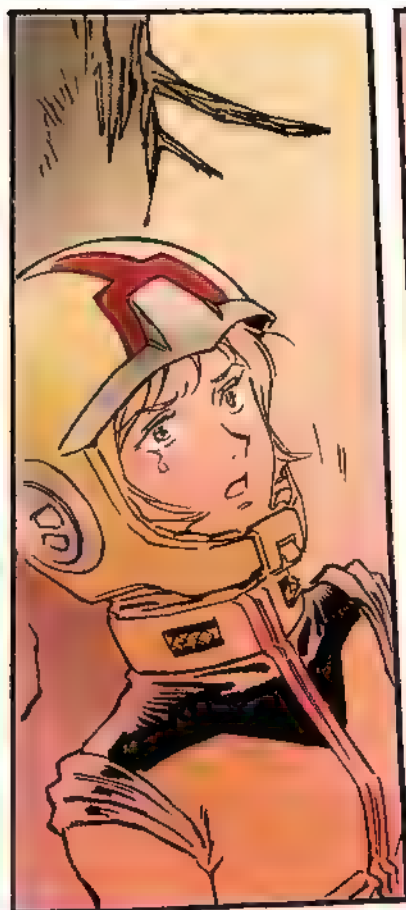
アズナブルさんも  
奥様もずうっと

そして

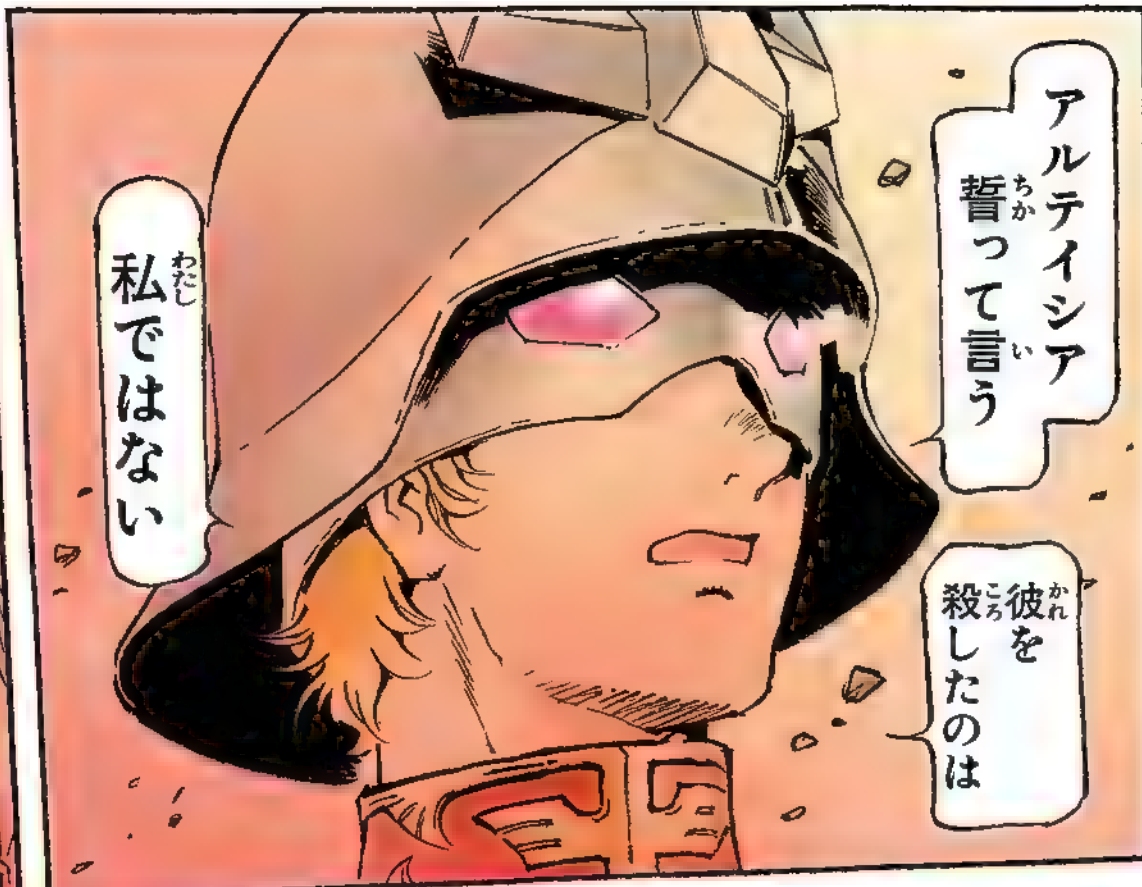
息子に会いに  
行きたいと言って  
最後は...





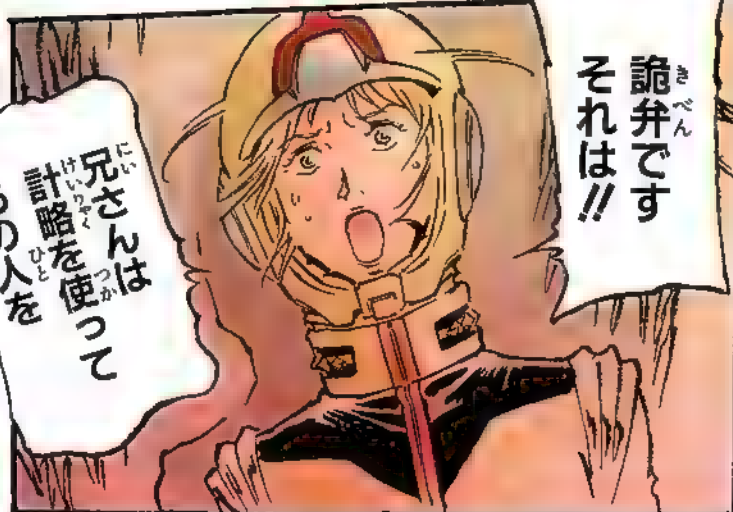


私ではない



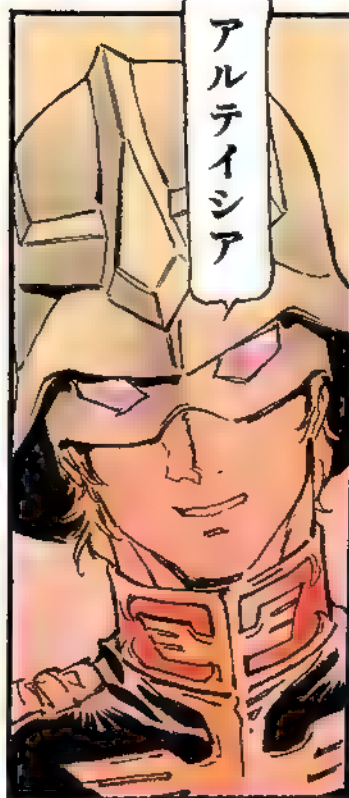
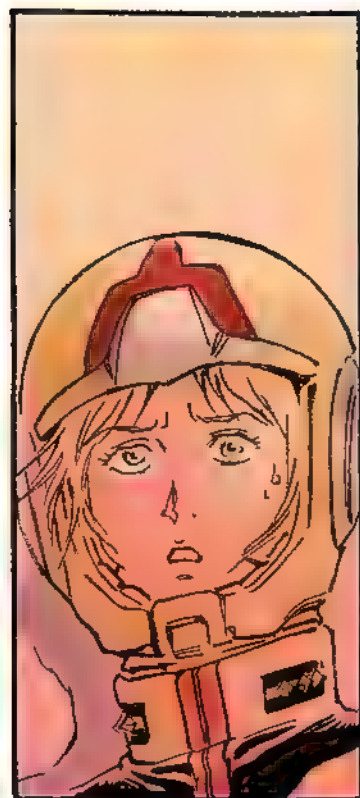
アルティシア  
誓って言う

彼を  
殺したのは



詭弁です  
それは!!

兄さんは  
計略を使って  
あの人を



アルティシア



殺したのは  
キシリア機関だ

私のやった犯罪的な  
ことといったら私に  
近づくことが危険だと  
いうことを彼に教えて  
やらなかったこと

そして  
反対に

それを利用  
したただけだ



すべては

大義のためだ

大義…?

そうだ

人の革新  
という

大義だ

人の  
革新…

今さらと  
思うか?

思うだろうな  
ジオニズムの  
精髓だ

父 ジオン・ズム・  
ダイクンが唱えた  
思想で

スペースノイドはこれを  
精神の拠り所にする



しかし私は  
そんな『大義』など  
信じていなかった

不遇な大人達の  
負け惜しみだと  
思っていた!

子供心に——な!

だから私は

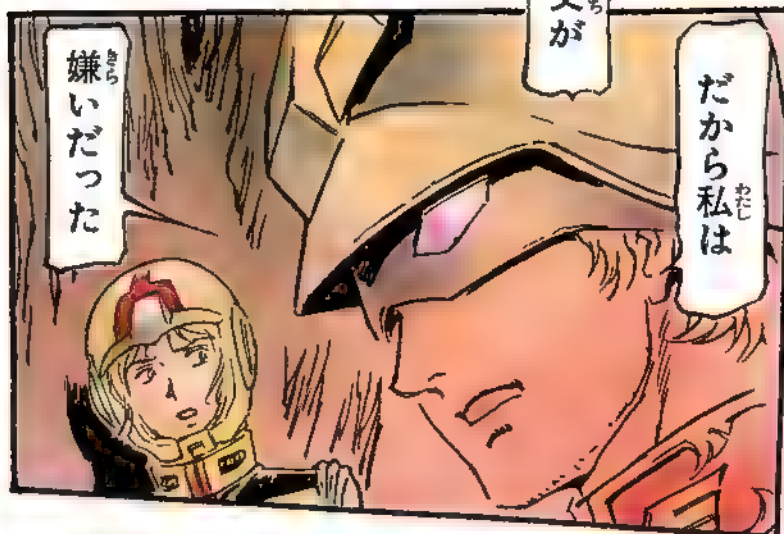
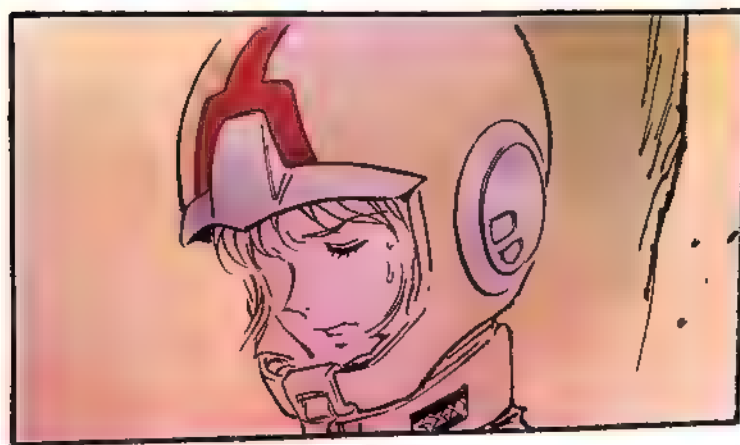
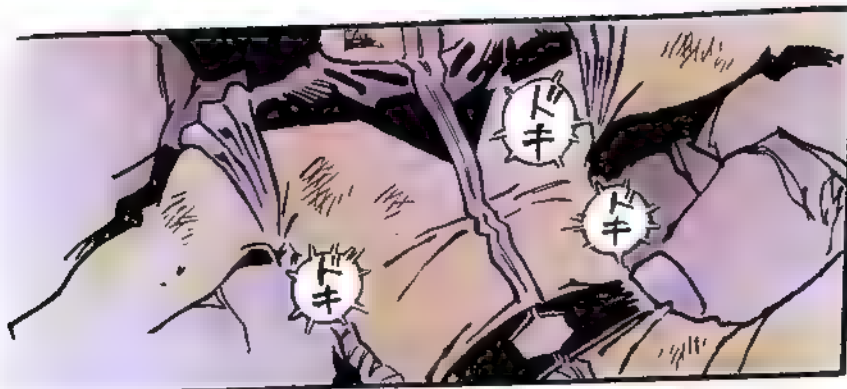
父が

嫌いだった

空論を  
もてあそび

家族を  
かえりみず  
母を苦しませて  
ばかりいる父を  
憎いとさえ

思った





だから  
父の死が

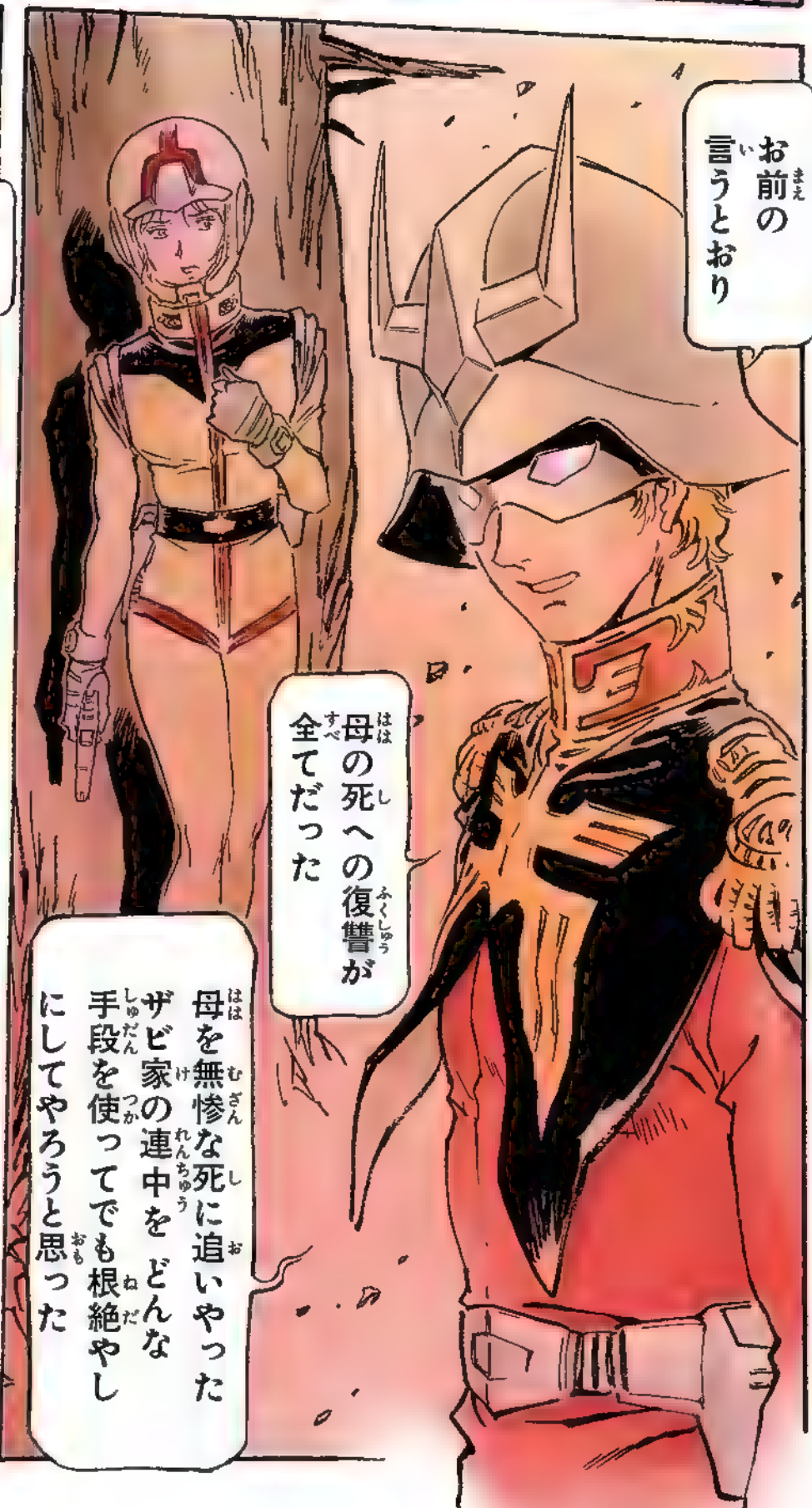
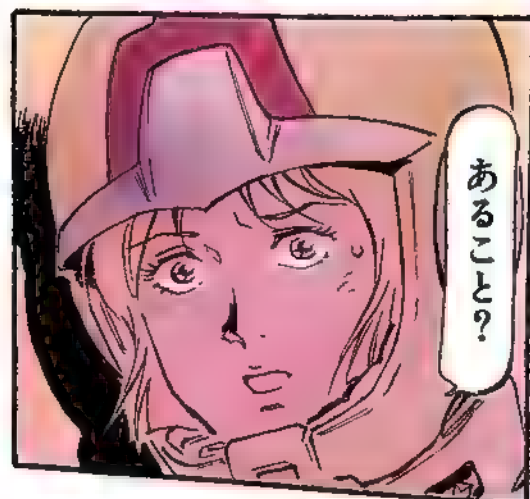
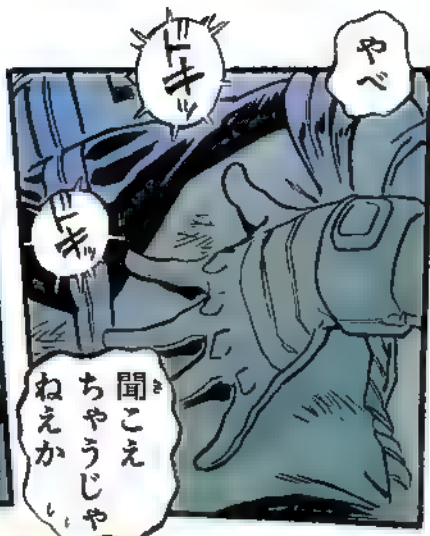
ザビ家<sup>け</sup>による  
暗殺<sup>あんさつ</sup>であつても  
病死<sup>びやうし</sup>であつても

それは

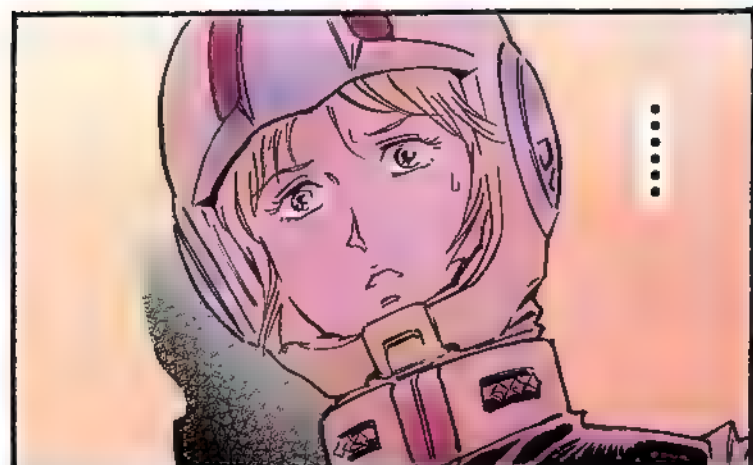
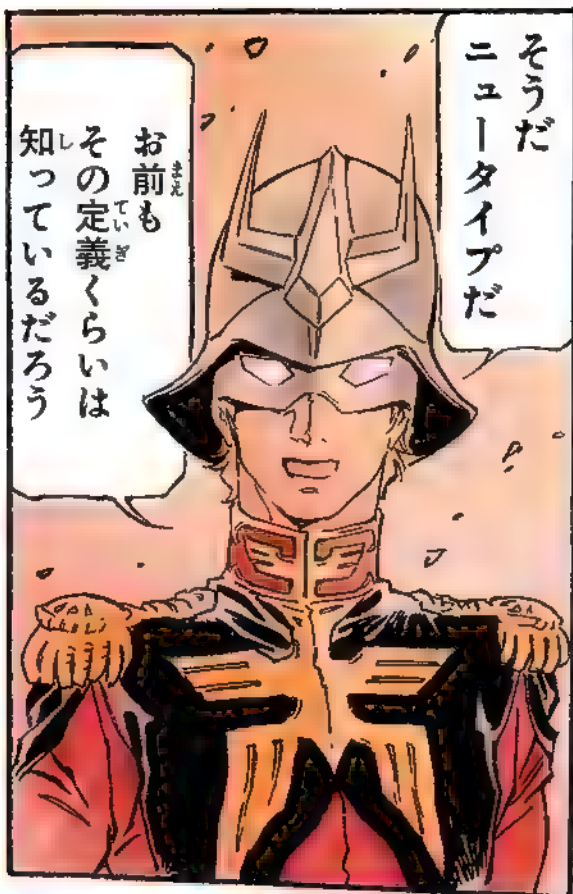
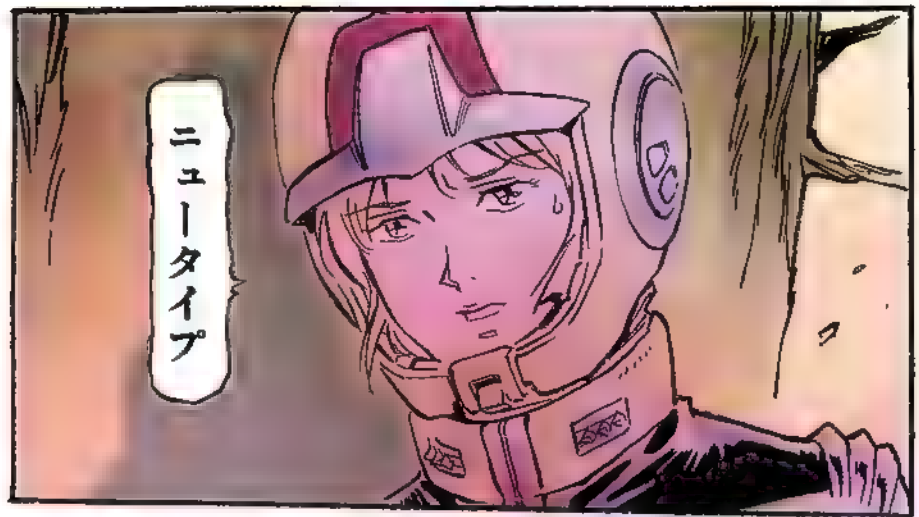
どうでもいい  
ことだった













そのことに気づいて  
はじめて私は

父の予感していたことを  
理解することができた！

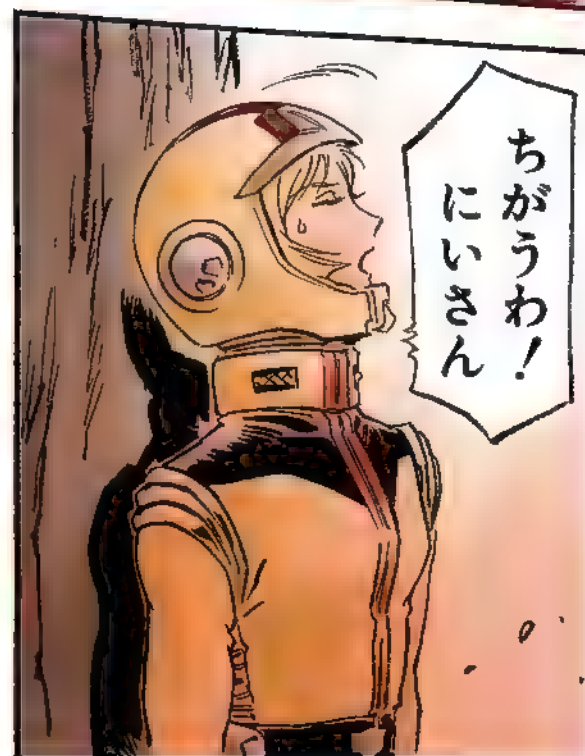
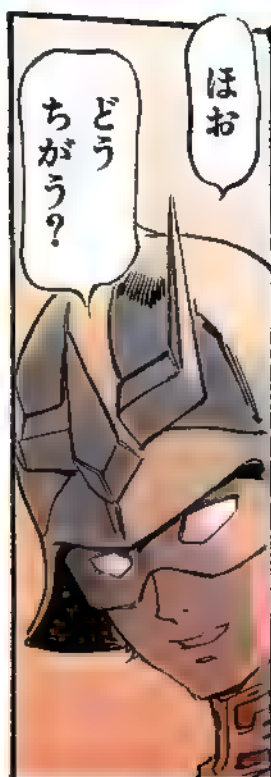
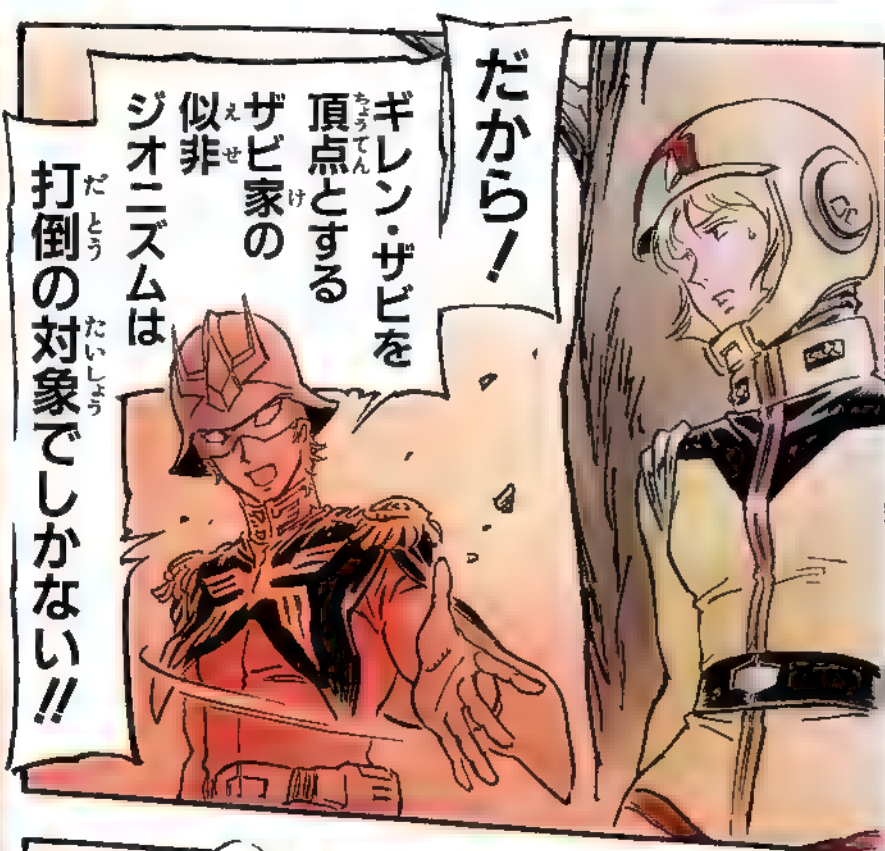
しかし！

父はまちがって  
いたんだ！

棄民に等しい  
スペースノイドに  
思い入れる  
あまり

新しい  
人としての  
覚醒が  
いすれ等しく  
スペースノイドに  
訪れると父は  
信じた！  
だがそれは  
ちがう！







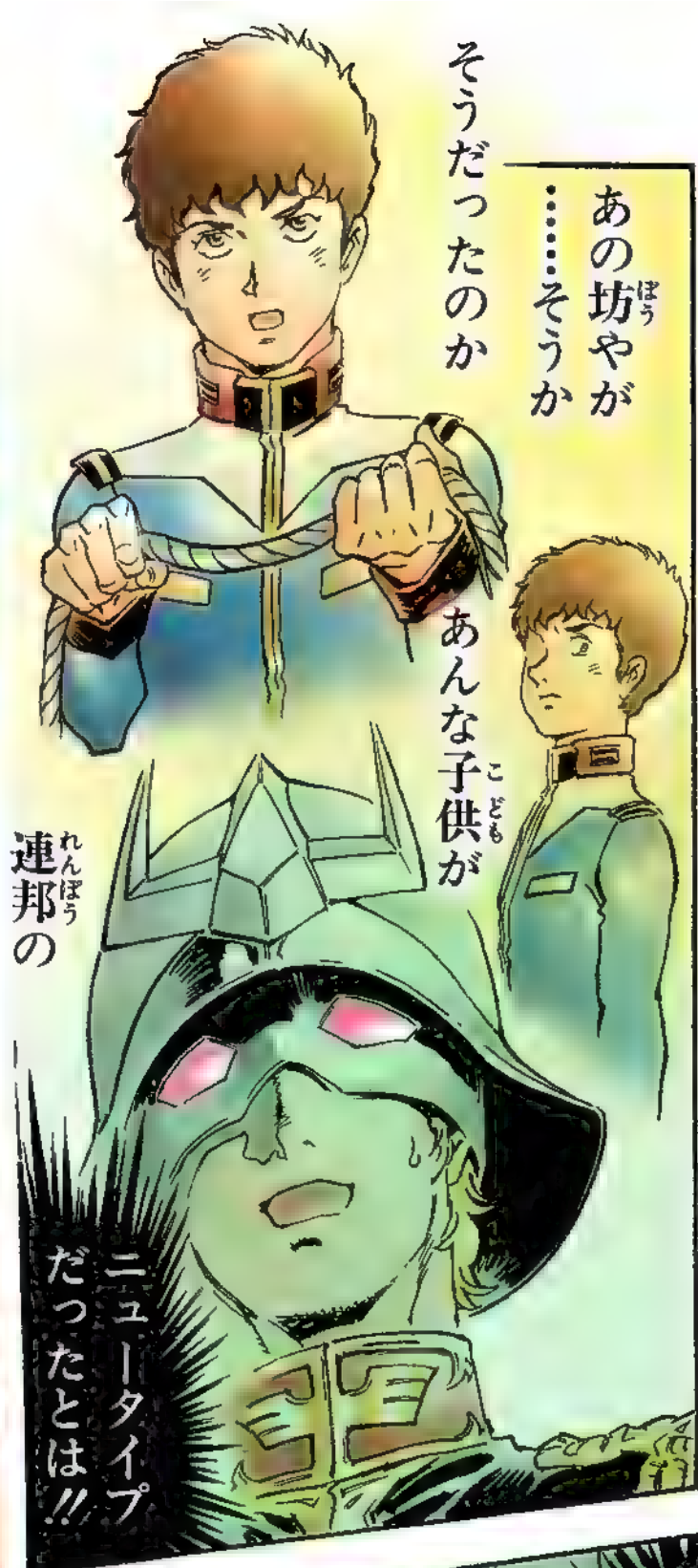






あら  
新たな  
可能性を

かれ  
彼と私に  
あた  
与えたのか!?



あの坊やが  
……そうか

そうだったのか

あんな子供が

連邦の

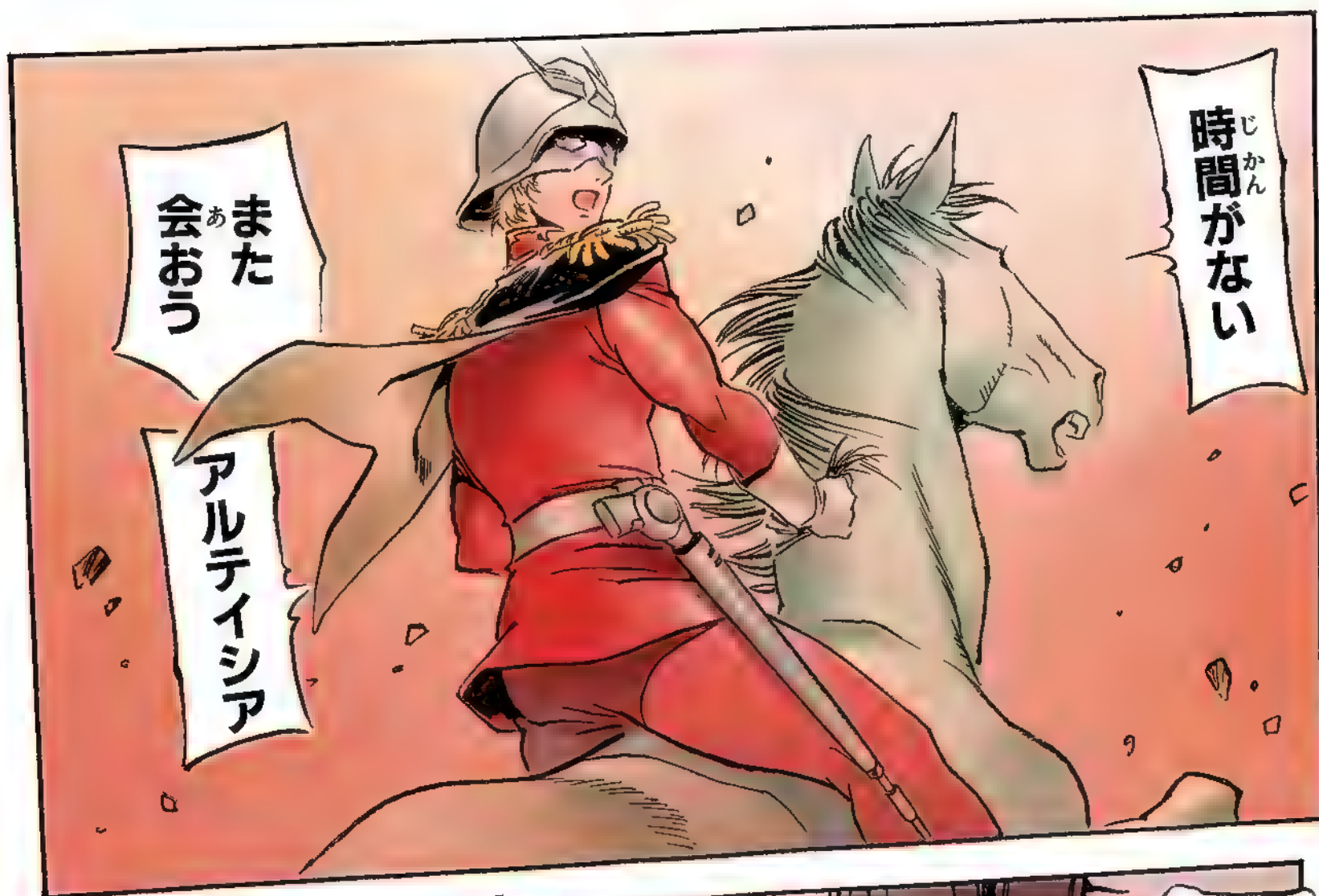
ニュータイプ  
だったとは!!



それでは

あの時とどめを  
刺さなかったことが

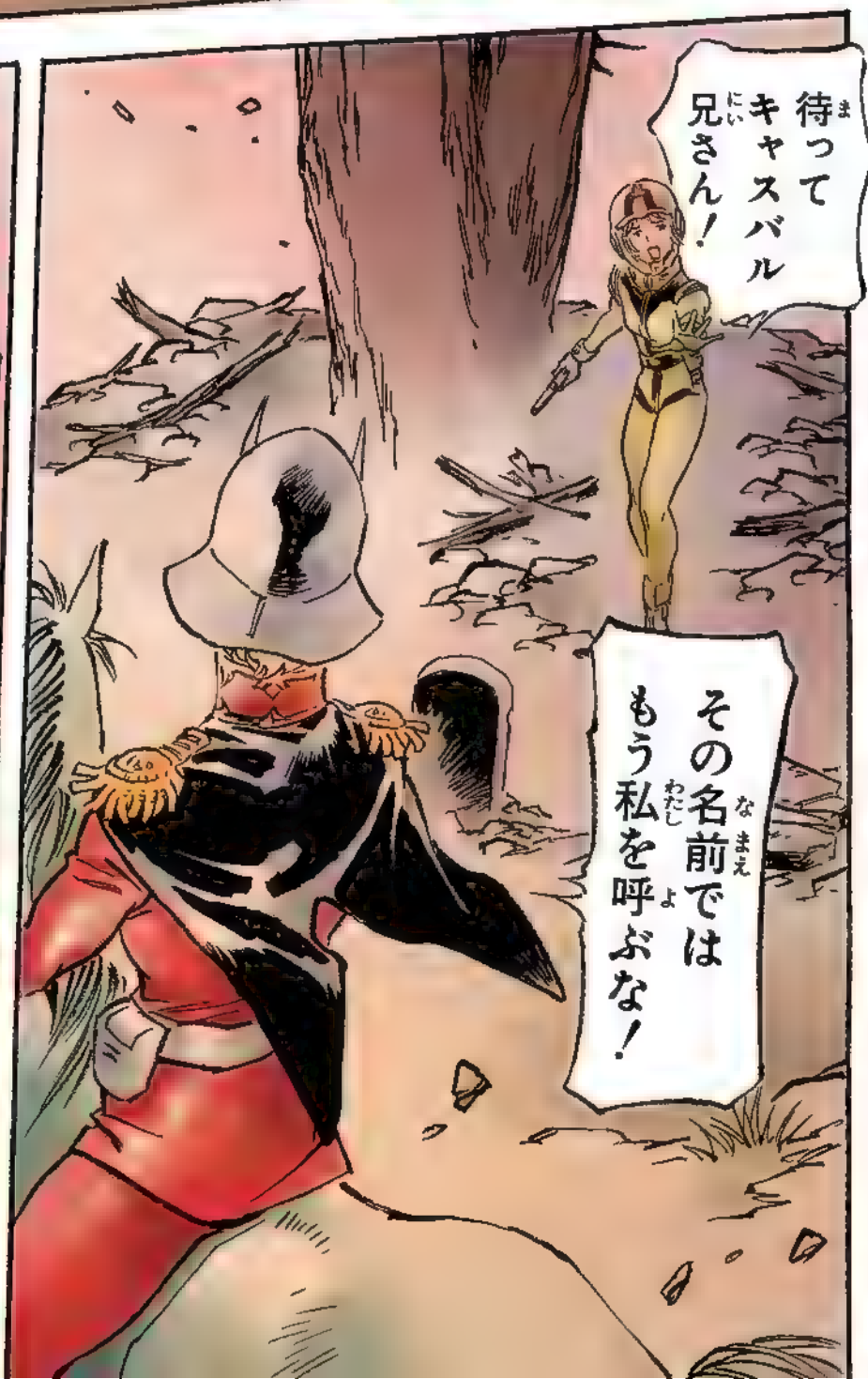




時間<sup>じかん</sup>がない

また  
会<sup>あ</sup>おう

アルティシア



待<sup>ま</sup>って  
キヤスバル  
兄<sup>にい</sup>さん!

その名<sup>な</sup>前<sup>まえ</sup>では  
もう私<sup>わたし</sup>を呼<sup>よ</sup>ぶな!



この仮<sup>か</sup>面<sup>めん</sup>の  
意<sup>い</sup>味<sup>み</sup>を  
知<sup>し</sup>っているか?!

私<sup>わたし</sup>は過<sup>か</sup>去<sup>こ</sup>を  
捨<sup>す</sup>てた男<sup>おとこ</sup>だ

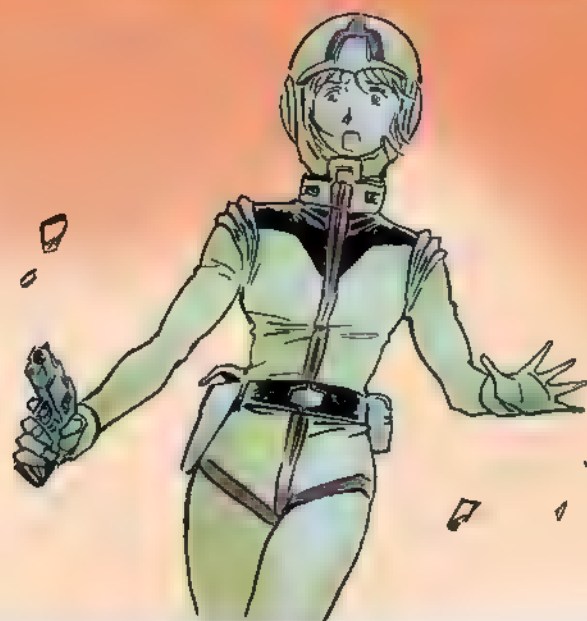


エドワウ・マスは  
この地で  
眠って  
いる！

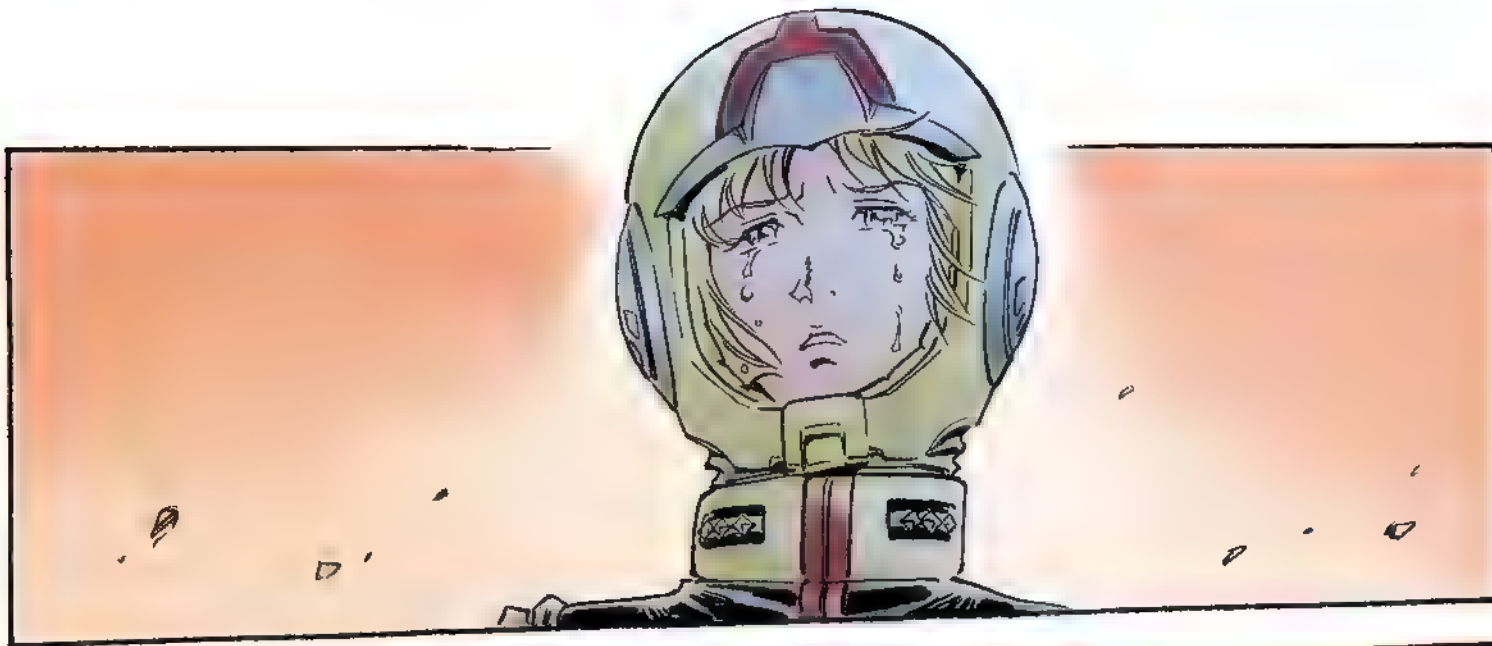
私の名は  
シャア・アズナブル！！

アムロという  
パイロットに  
伝えろ

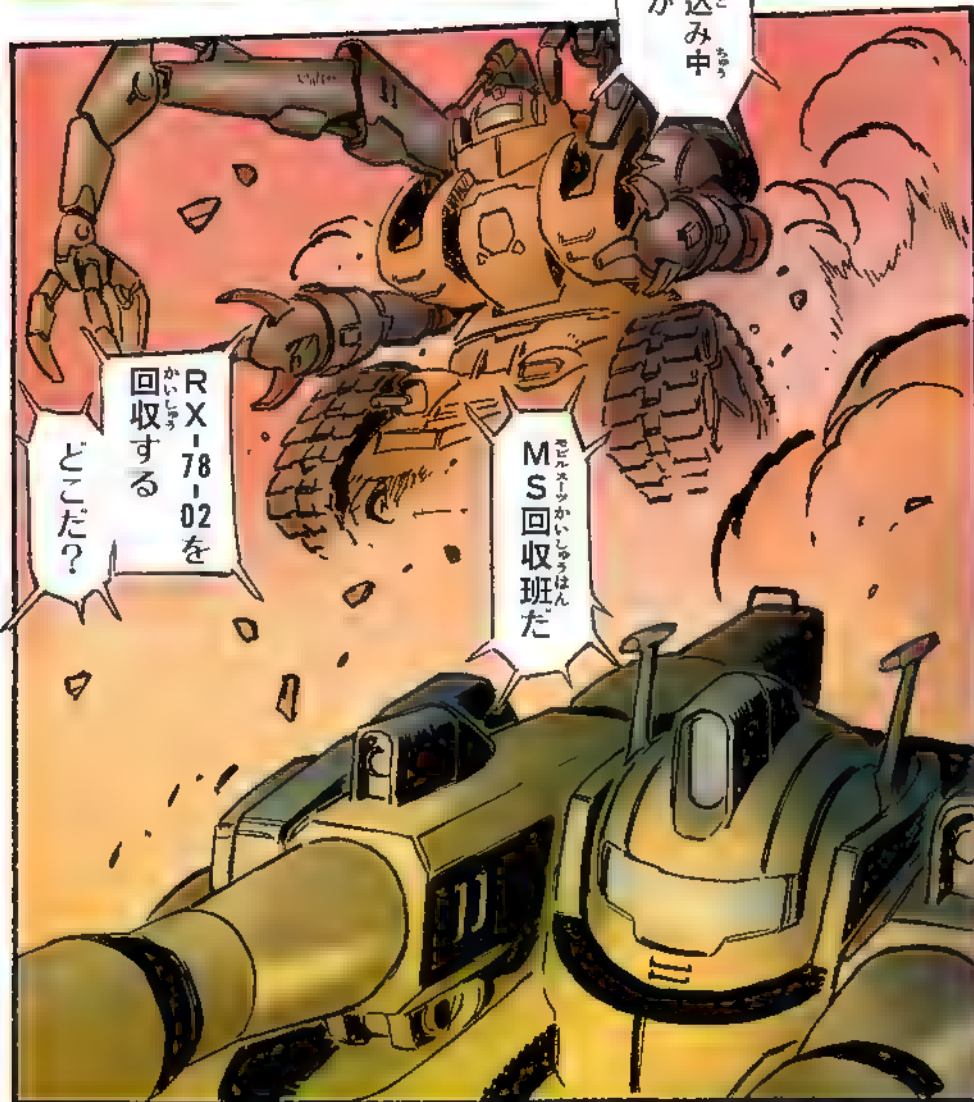
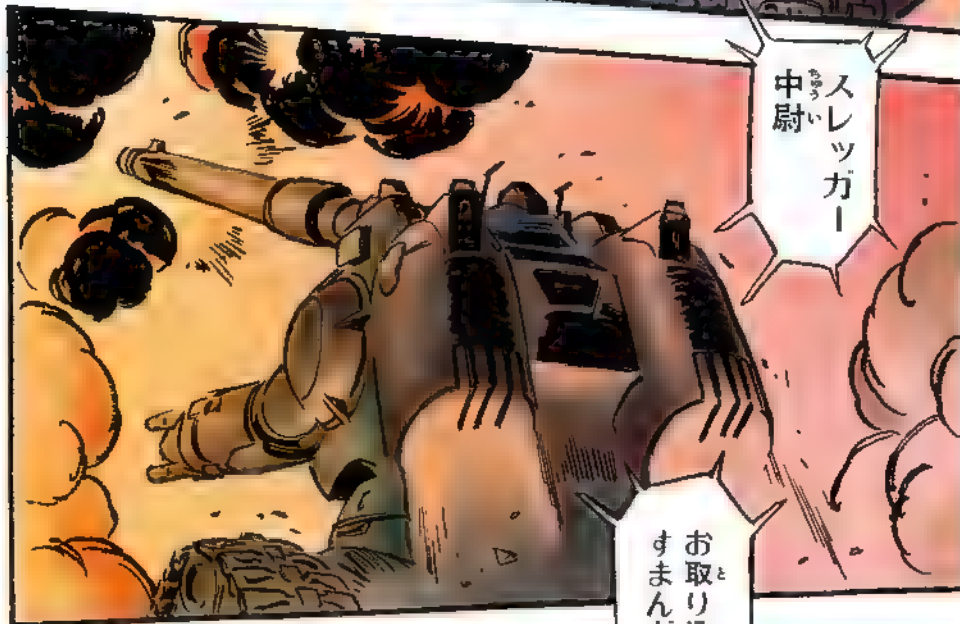
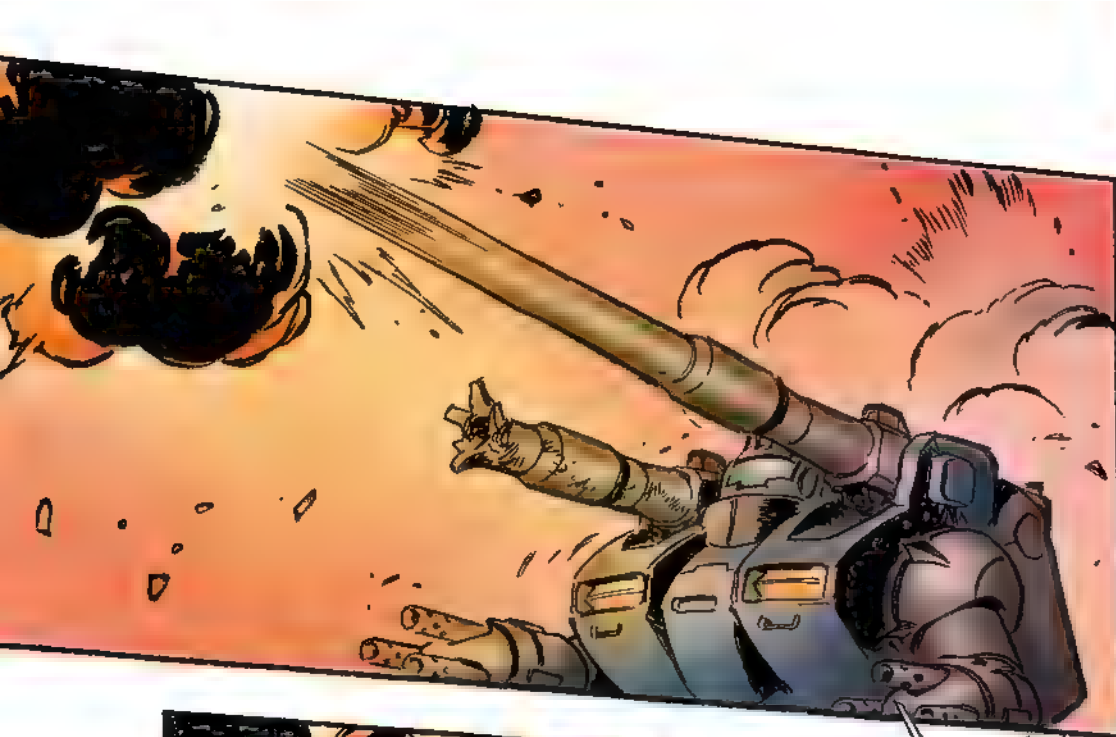
ニュータイプが  
ニュータイプとして  
生まれ出る道を  
この私が作ると！！



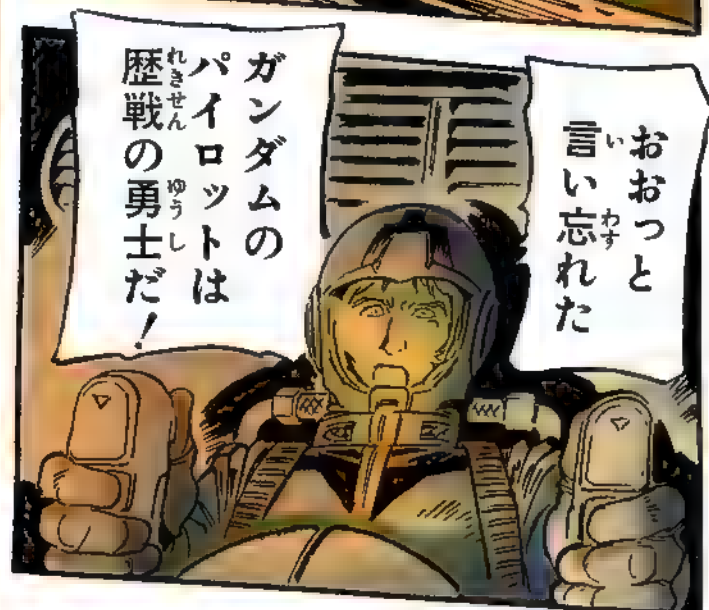
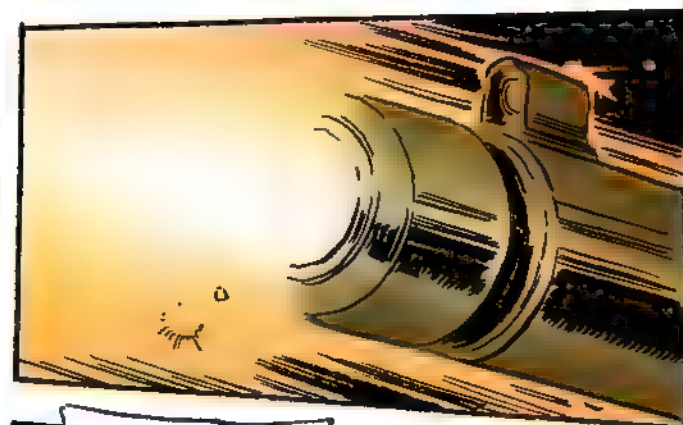
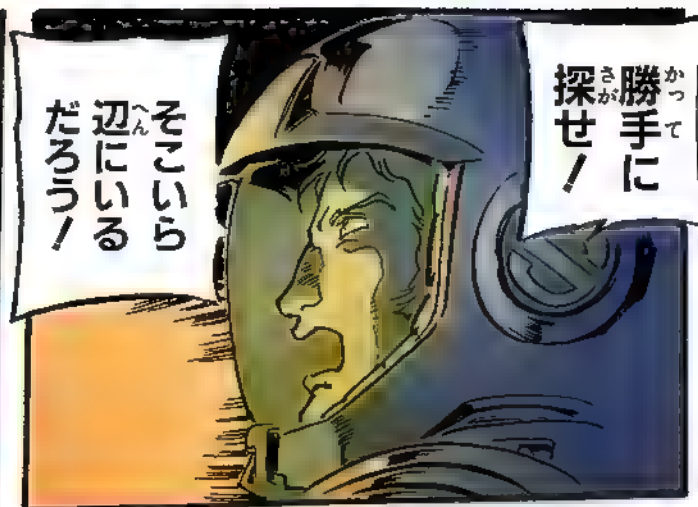
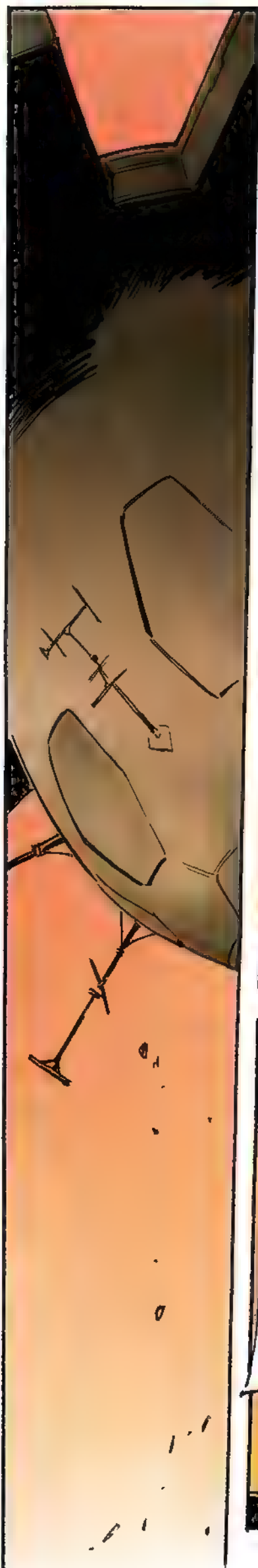




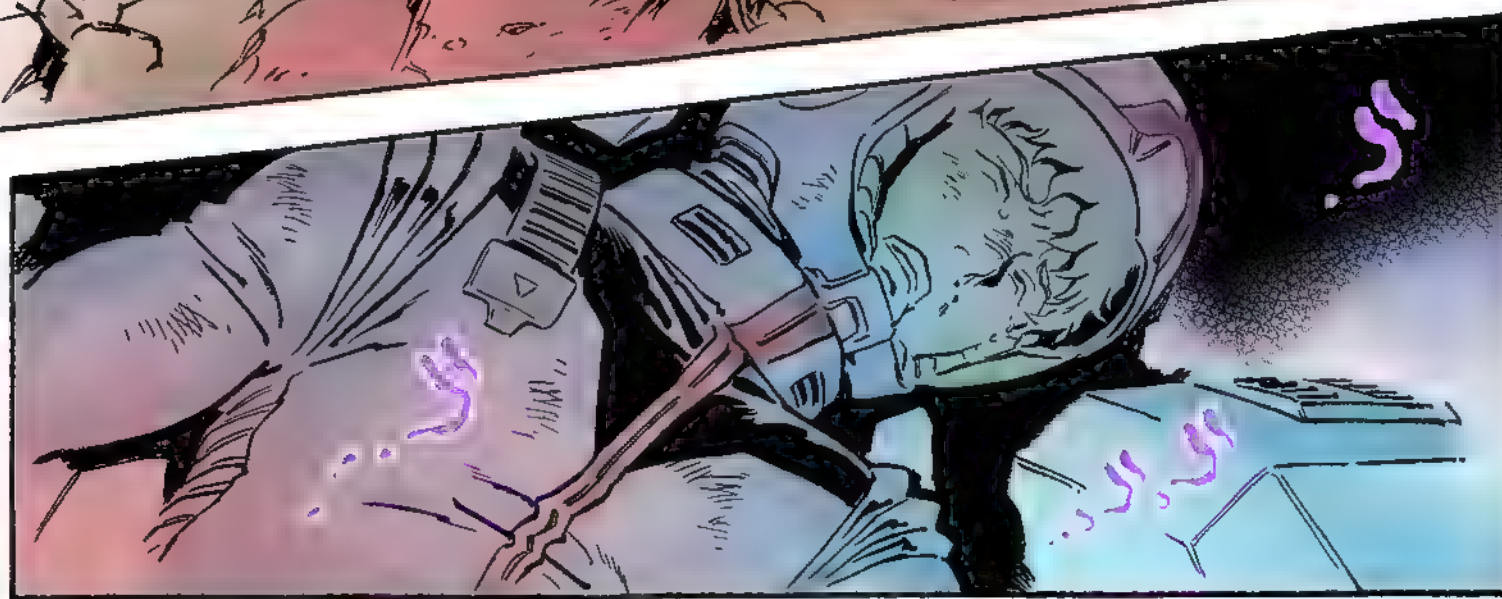
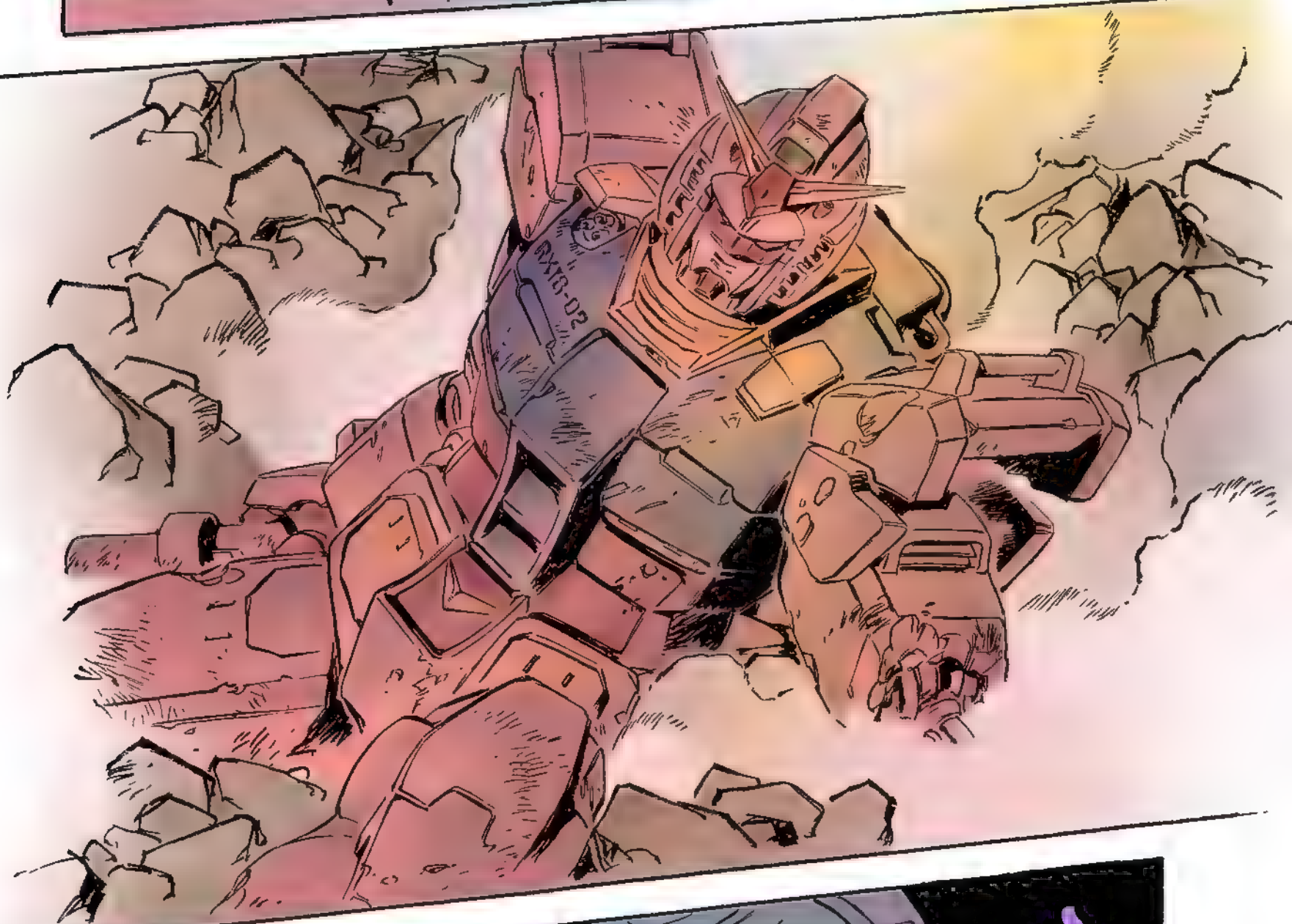
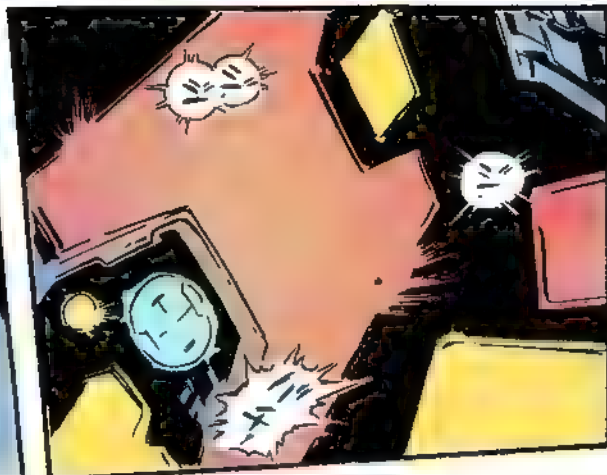
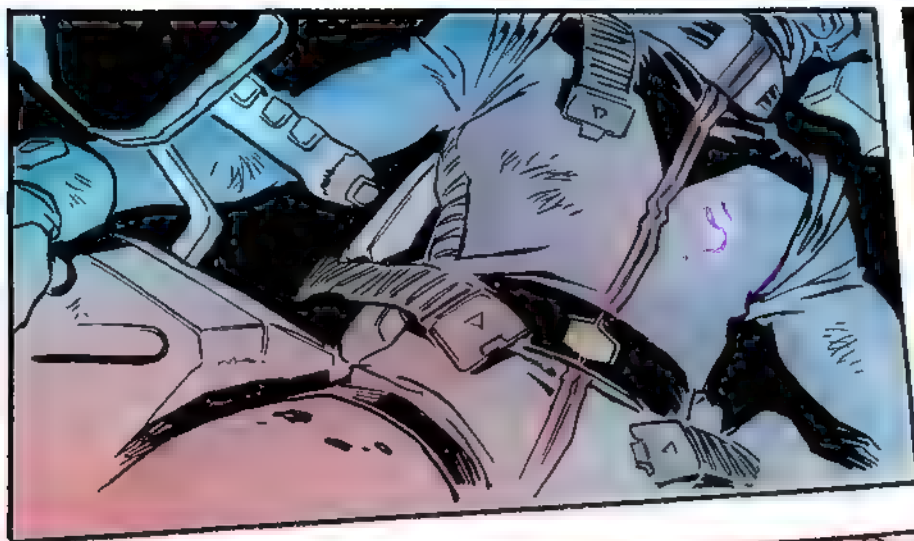




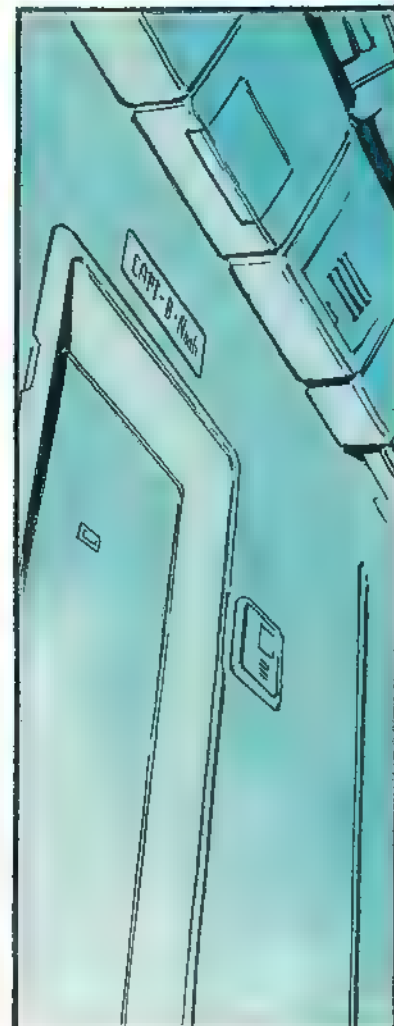
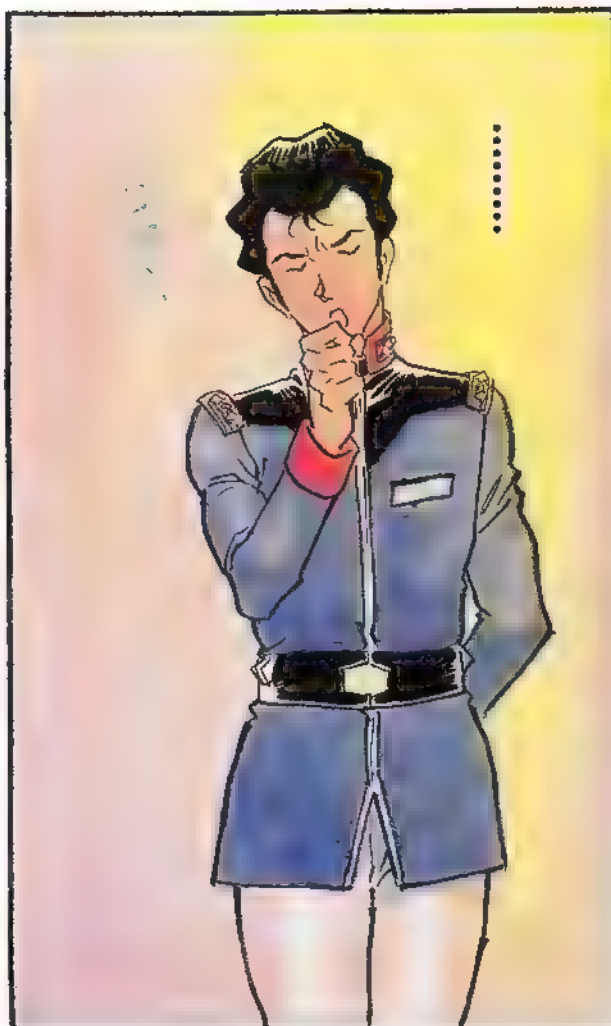
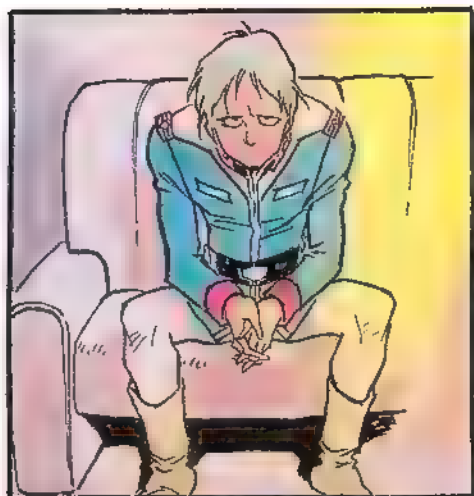
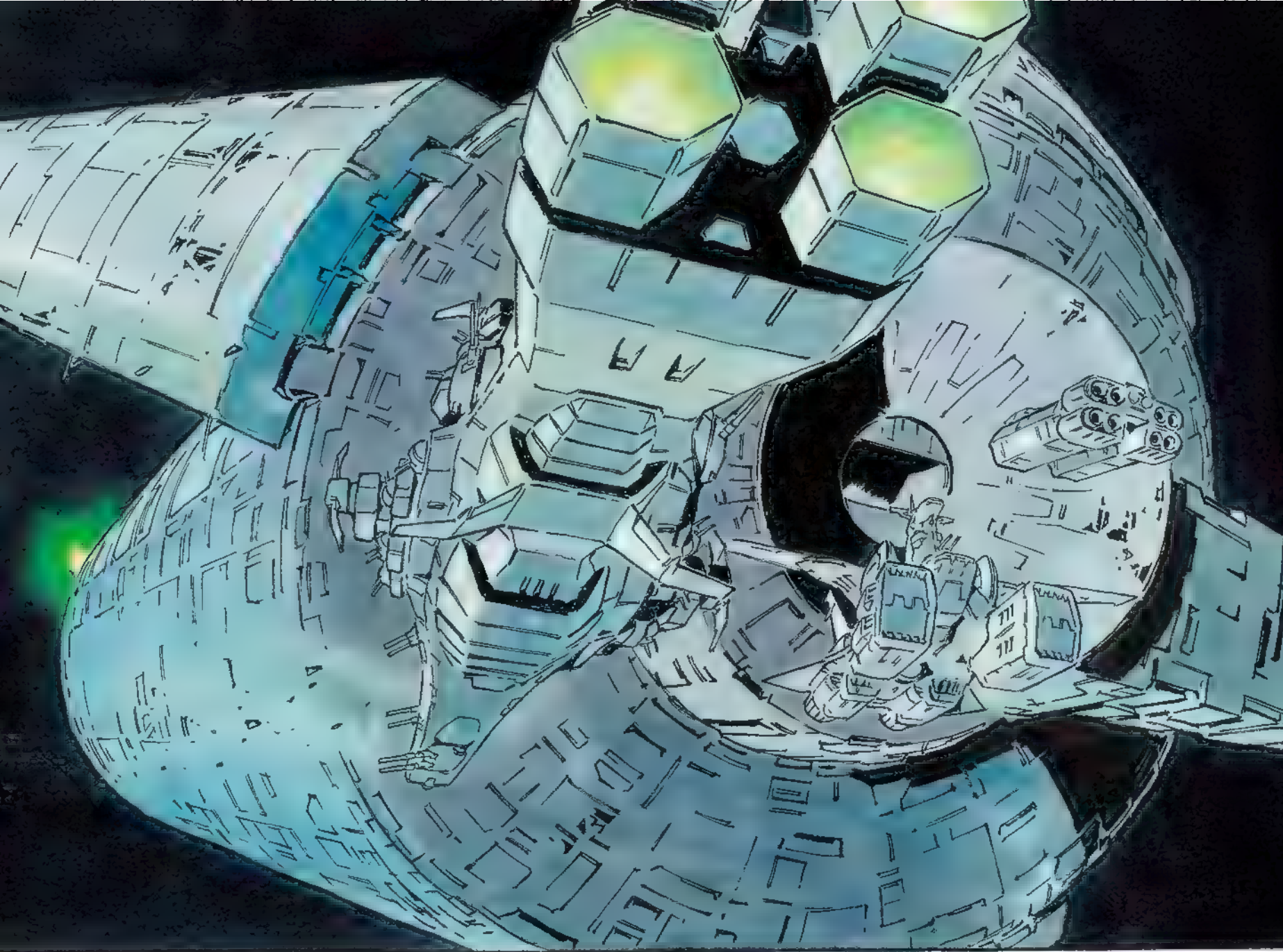




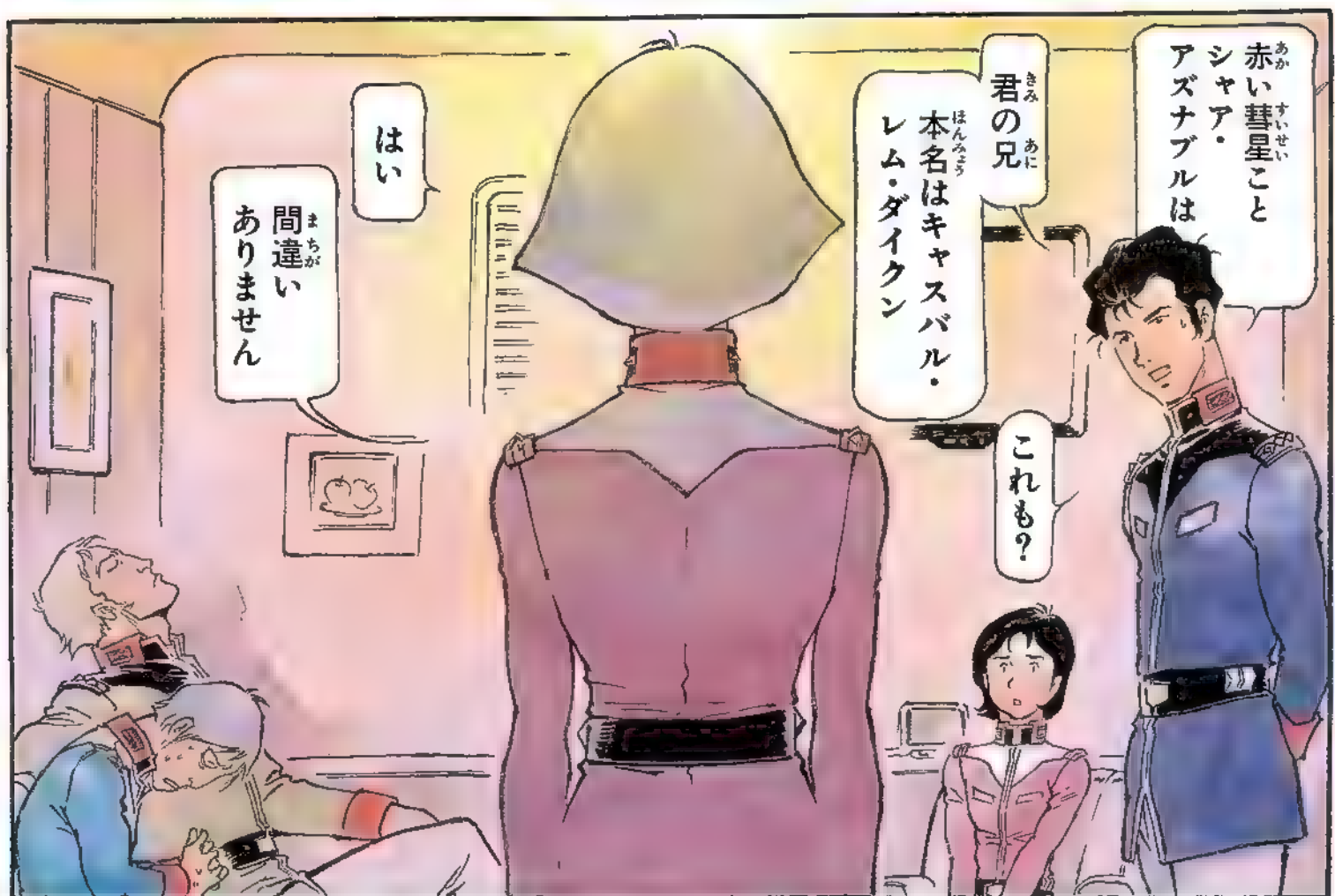
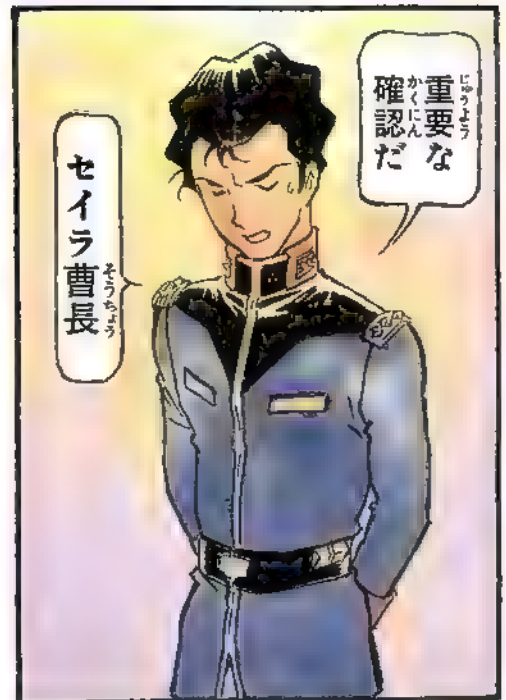
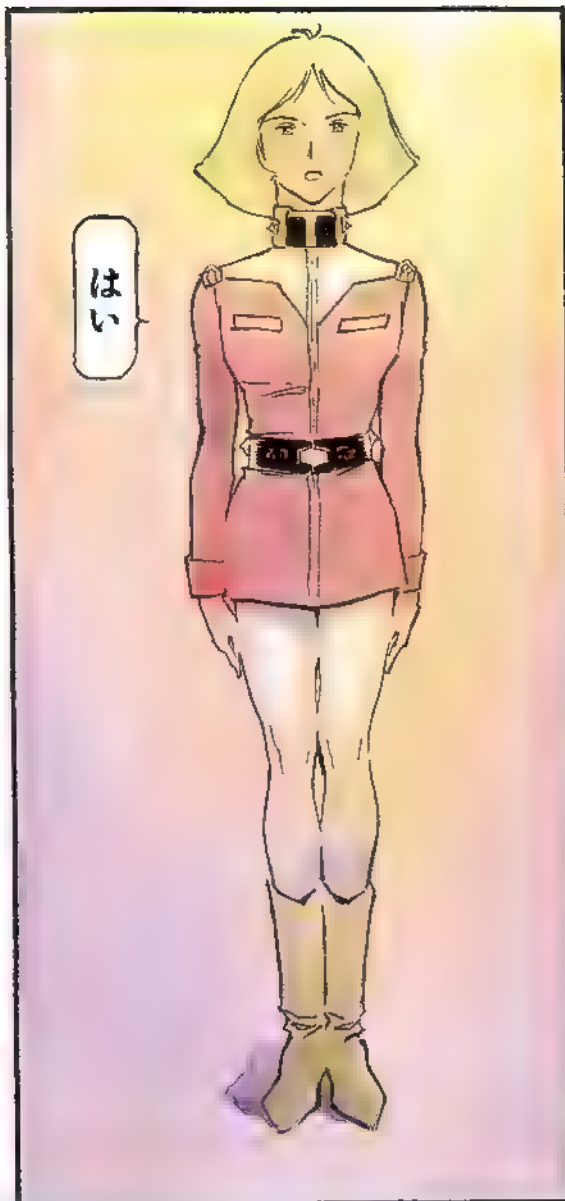
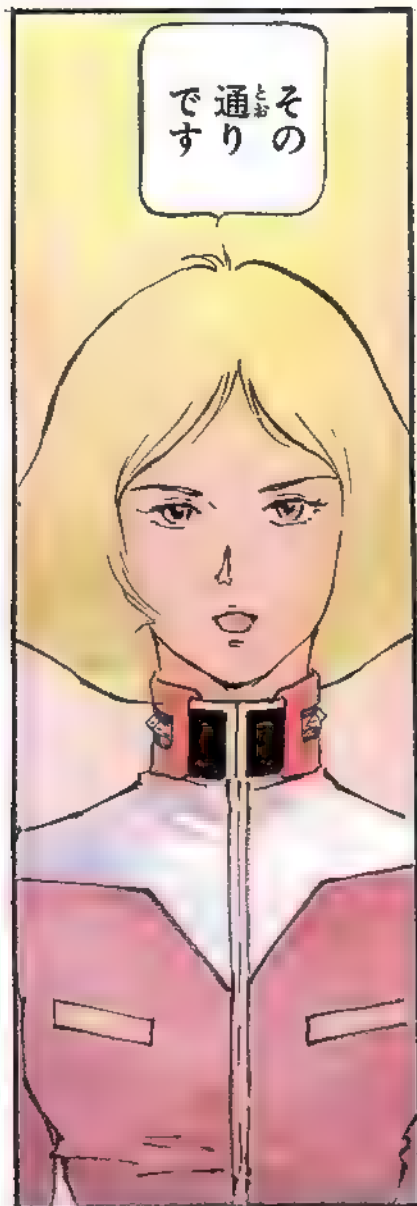
















重大な事実だ

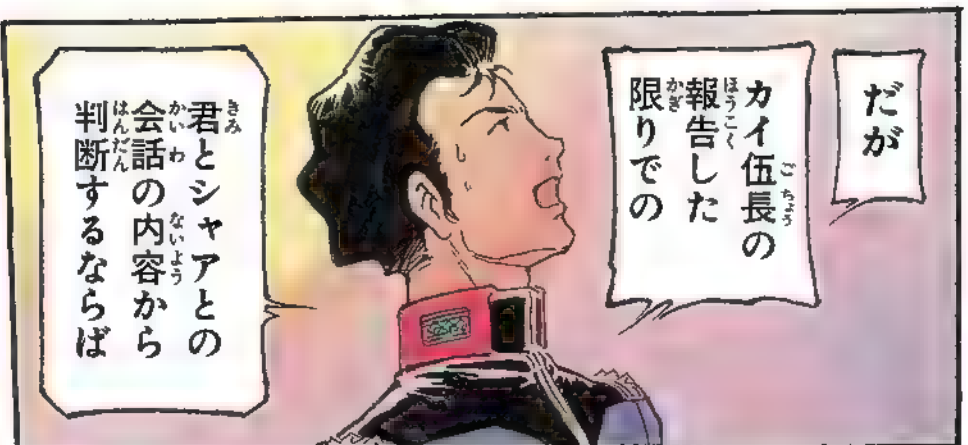
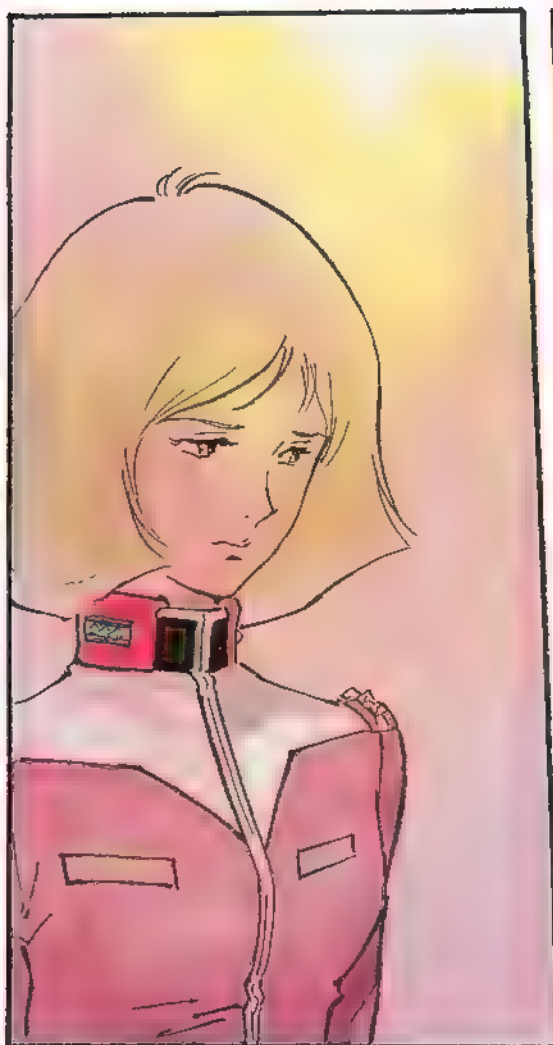
重大すぎる  
事実だ

いや

軍の最上層部へ報告  
しなければならぬ

正式な処置は  
そのあと

指示に基づいてと  
いうことになる



だが

カイ伍長の  
報告した  
限りでの

君とシャアとの  
会話の内容から  
判断するならば



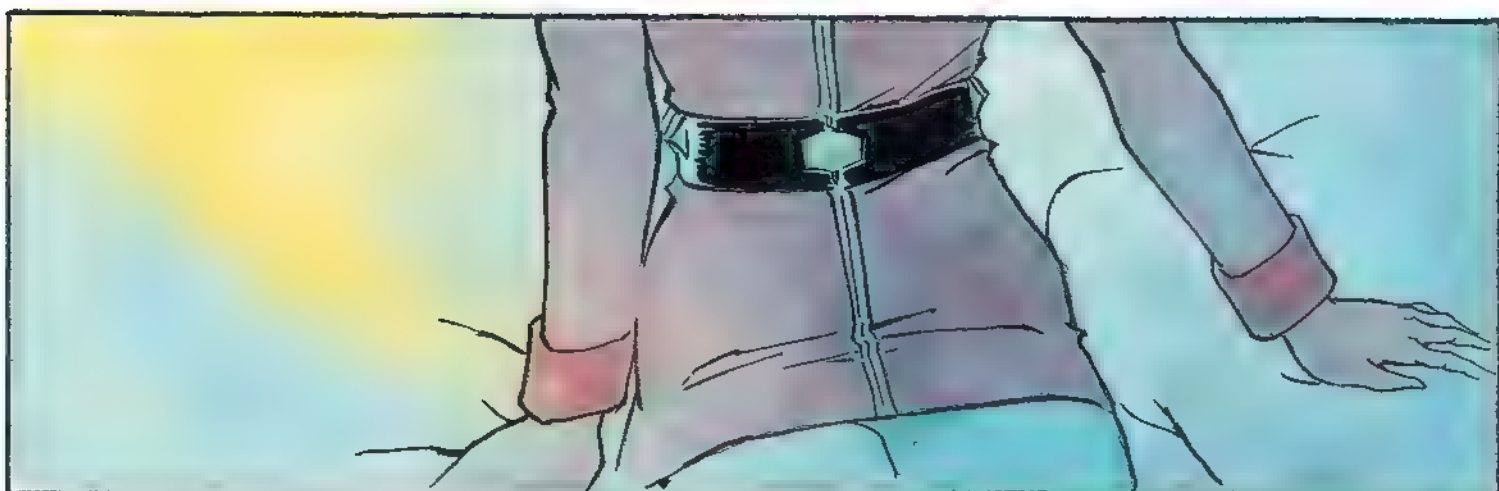
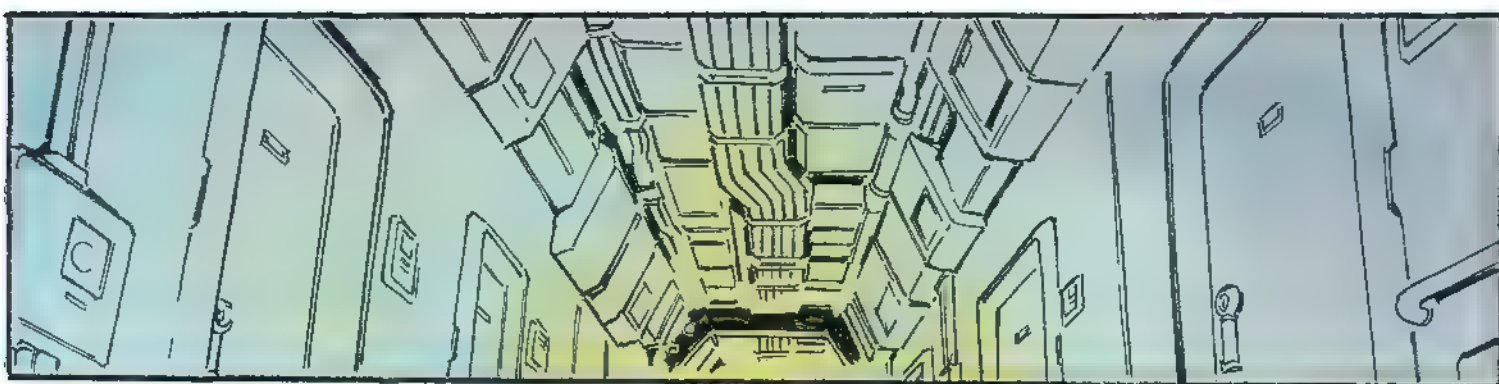
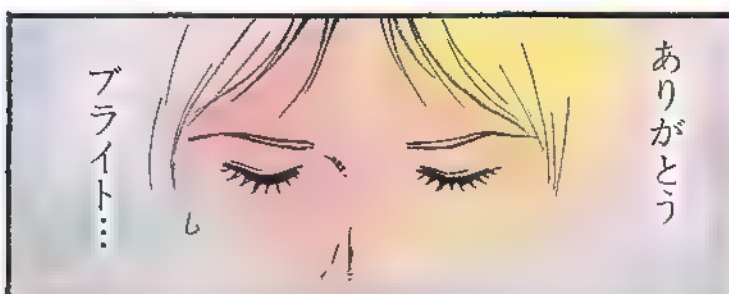
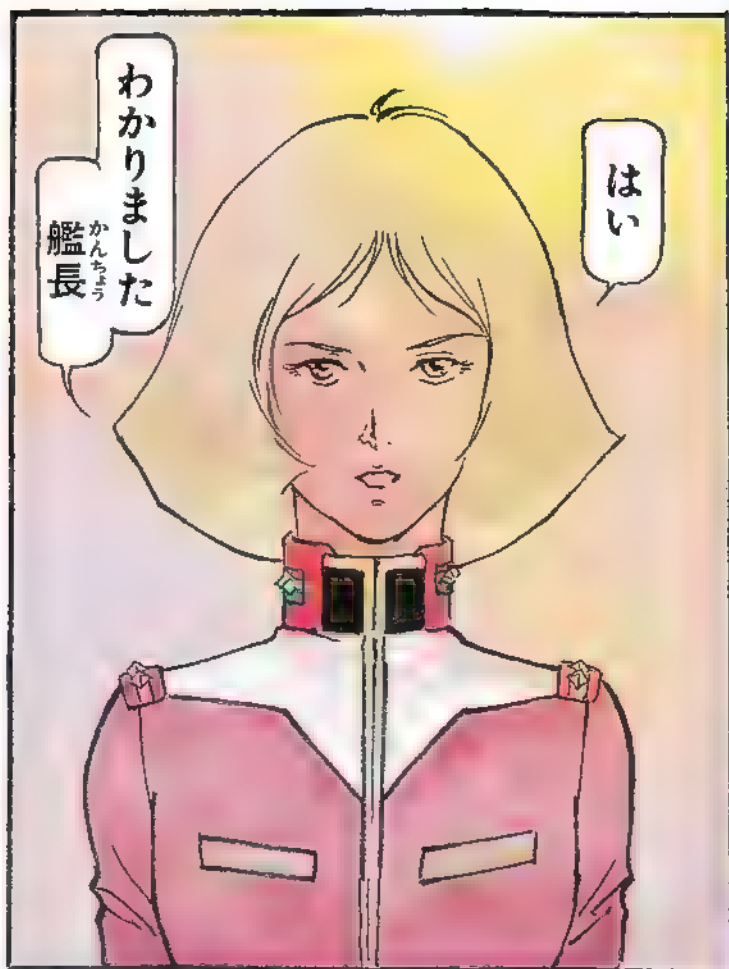
思われない



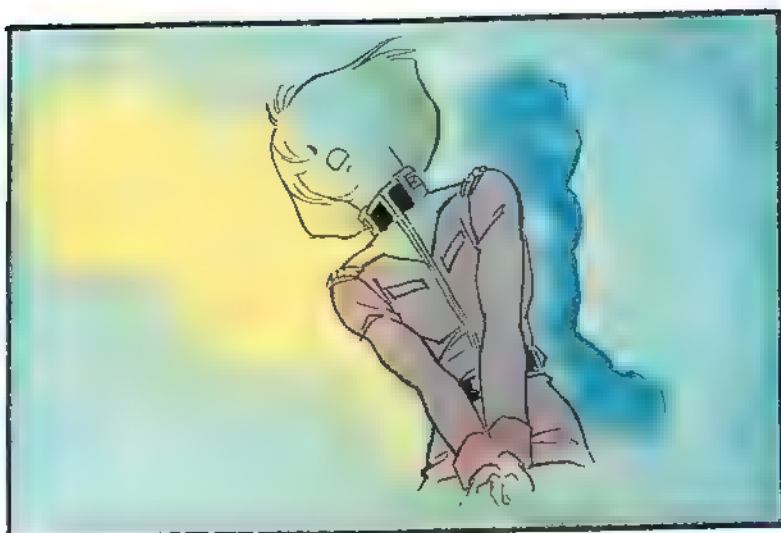
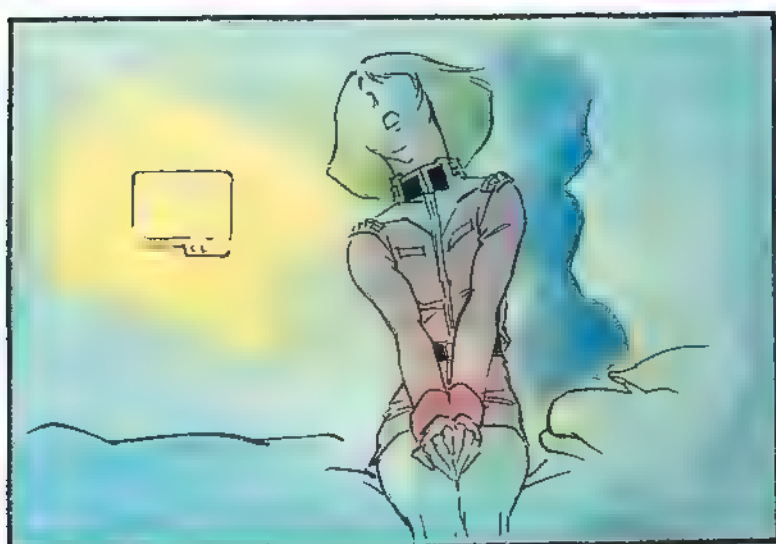
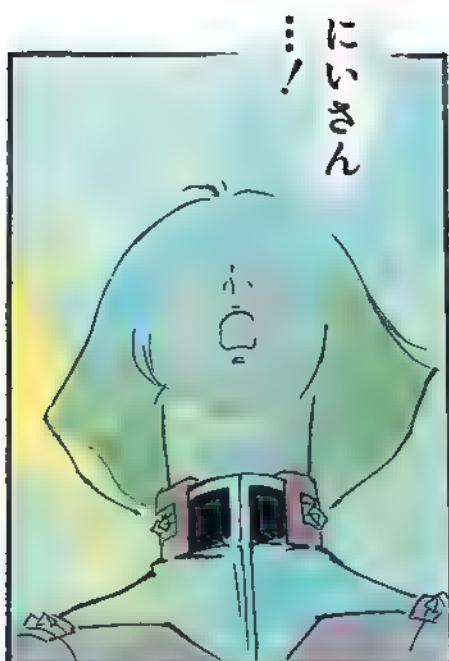
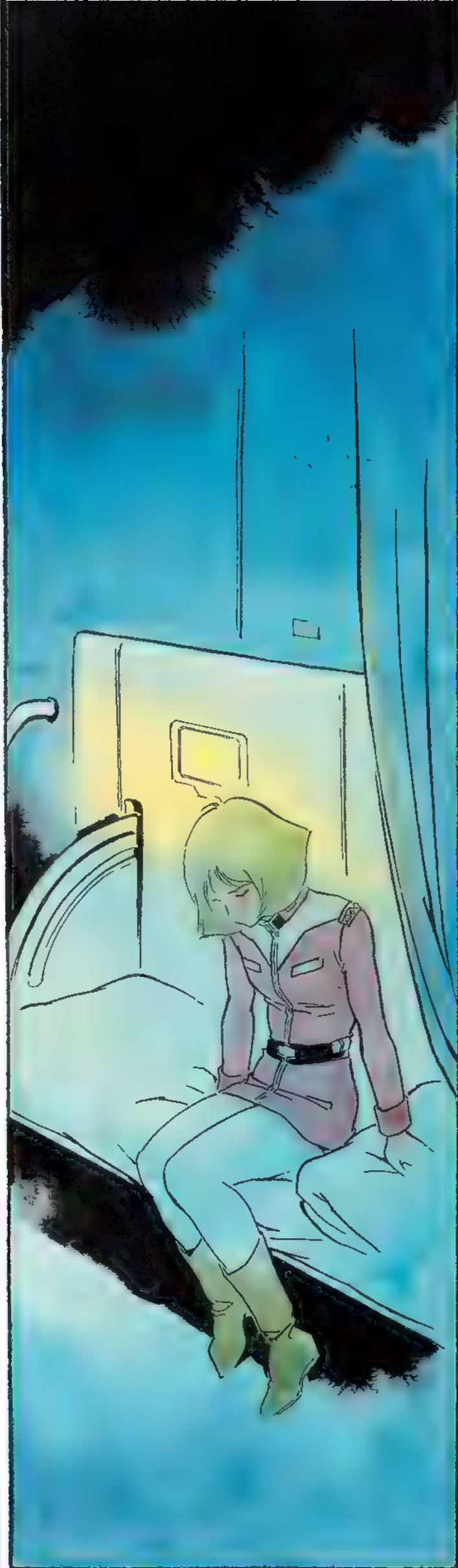
本艦において君が

利敵行為を  
働いていたとは















to be continued...

Can you remain alive in spite of the WAR?



角川コミックス・エース

# フルカラー版 機動戦士ガンダムTHE ORIGIN<sup>⑮</sup>

著者 安彦良和

原案 矢立肇・富野由悠季

メカニックデザイン 大河原邦男

2022年3月26日 発行  
ver.001

©Yoshikazu YASUHIKO 2022  
©創通・サンライズ

本電子書籍は下記にもとづいて制作しました  
『機動戦士ガンダム THE ORIGIN』  
(Comic Walker掲載)

発行者 青柳昌行  
発行 株式会社KADOKAWA  
<https://www.kadokawa.co.jp/>

## ●お問い合わせ

<https://www.kadokawa.co.jp/> (「お問い合わせ」へお進みください)

※内容によっては、お答えできない場合があります。

※サポートは日本国内のみとさせていただきます。

※Japanese text only

本電子書籍の全部または一部を無断で複製、転載、配信、送信すること、  
あるいはウェブサイトへの転載等を禁止します。  
また、本電子書籍の内容を無断で改変、改ざん等を行うことも禁止します。  
本電子書籍購入時にご承諾いただいた規約により、有償・無償にかかわらず  
本電子書籍を第三者に譲渡することはできません。  
本電子書籍の内容は、底本発行時の取材・執筆内容にもとづきます。  
本電子書籍を示すサムネイルなどのイメージ画像は、再ダウンロード時に  
予告なく変更される場合があります。  
また、ご覧になるリーディングシステムにより、表示の差が認められることがあります。

この物語はフィクションであり、実在の人物・団体名とは関係がございません。

装丁・デザイン 福島トオル(Smile Studio)  
カラーリスト 凸版印刷株式会社





BOOK★WALKER